

2002(平成14)年度

講義計画

経済学部

 駒澤大学

講 義 内 容

目 次

経済学科フレックス A・第1部経済学科・商学科	
I 全学共通科目	
1 宗教教育科目	11
2 教養教育科目	25
3 外国語科目	99
4 保健体育科目	239
II 専門教育科目	287
III 他学部履修科目	425
IV 「日本語」・「日本事情」科目	473
経済学科フレックス B・第2部経済学科	
I 全学共通科目	
1 宗教教育科目	491
2 教養教育科目	499
3 外国語科目	529
4 保健体育科目	559
II 専門教育科目	573
III 他学部履修科目	649

経済学科フレックス A・第1部経済学科・商学科	全学共通科目	宗教教育
		教養教育
		外国語
		保健体育
経済学科フレックス B・第2部経済学科	全学共通科目	宗教教育
		教養教育
		外国語
		保健体育
	科目	専門教育
	履修科目	他学部
	「日本語」	「日本事情」

経済学科フレックスA

第 1 部 経済学科

商 学 科

I 全学共通科目

1 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

仏教と人間（経A）〈熊本英人〉	11
仏教と人間（経A）〈金沢篤〉	11
仏教と人間（経A）〈岡部和雄〉	11
仏教と人間（経A）〈永井政之〉	12
仏教と人間（商）〈飯塚大展〉	12
仏教と人間（商）〈石井修道〉	13
仏教と人間（商）〈片山一良〉	13
仏教と人間〔再クラス〕〈熊本英人〉	13
仏教と人間〔再クラス〕〈木村誠司〉	14
仏教と人間〔再クラス〕〈晴山俊英〉	14
仏教と人間〔再クラス〕〈田中良昭〉	15
文化と宗教〈長谷部八朗〉	15
社会と宗教〈池上良正〉	16
自然と宗教〈小川順敬〉	16
坐禅〈木村誠治・熊本英人〉	17

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間	<small>くまもと えい にん</small> 熊 本 英 人	経 A 1 必	4

講義のねらい

仏教とはどのようなものか、禅を中心に解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教の歴史と意義を概観したうえで、特に禅について考える。また、禅の歴史の中で、特徴的な人物やことばを紹介する。

禅はインドで生まれ、中国で独自の展開を見せ、日本でも一つの文化を築いた。宗教的にも文化的にも複合の積み重ねになる歴史をみることによって、宗教の意味を探りたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験。随時レポートを課す。

教 科 書

適宜プリントで配布する。

参 考 書 等

石川力山著『禅宗小事典』（法蔵館）2,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間	<small>かなざわ あつし</small> 金 沢 篤	経 A 1 必	4

講義のねらい

ほぼ2,500年前に遙か遠隔の地インドで成立をみた仏教の基本と、それが持つ多様な側面を易しく概説する。教科書については教場で指示するが、人間にとっての大事な資源たる仏教にともかくも関心を持つことから始めたい。

教 科 書

教場で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間	<small>おかべ かずお</small> 岡 部 和 雄	経 A 1 必	4

講義のねらい

仏教の全体像をなるべくわかりやすく講義する。現代において仏教を学ぶことの意義をたえず念頭におきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義のはじめに提示する。

成績評価の方法

年度末の試験による。

教 科 書

特定のものを用いない。

参 考 書 等

必要があれば講義の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	ながい まさし 永井 政之	経 A 1 必	4

講義のねらい

入学式ではじめて知った方もあろうが、駒澤大学は日本仏教の宗派の一つである曹洞宗が設立の母体になっている。したがって4年間の大学での生活の中では、さまざまな機会に「宗教的」なものに触れるであろう。

ところで学生諸君は、「宗教」とか、「仏教」という言葉を聞いたとたん、「辛気くさいもの」「前近代的なもの」「怪しげなもの」などの、漠然とした感想を持たれるものと想像する。実際、ここ1年間の、宗教、特に「仏教」をとりまくさまざまな事件—オウム真理教にせよ宗教法人法の改正にせよ—は、興味の対象とはなっても、そのイメージを好転させる方向にはないようである。現代人の多くが、宗教に関心を失った原因の過半は、既存の教団にその責任があるように私は考えている。したがって若者が宗教に無関心であったり、あるいは過度の期待を抱くことを批判することはできない。

ただ今から2,500年前にシャカによって総称された「仏教」は、けっして「おどろおどろしい」ものではないし、前近代的なものでもない。きわめて理性的な教えといつてよいであろう。そんなオートドックスな「仏教」そして「禪」の立場を考えてみたい。

なお「宗教教育科目」という名称ではあるが、「個人の信仰」の領域にまで踏み込んで信仰を強制するものではない。

講義の内容・
授業スケジュール

広い意味での「宗教」を考えることから、「仏教」はなにをめざしているか、「禪」の立場はいかなるものかを、歴史に生きた人々を具体的に挙げつつ見ていきたい。

履修上の留意点

授業には必ず出席すること（出席をとります）。初めの授業で課題図書を出すので、年末にはレポートを提出すること。期末には試験を行い、それらを総合的に評価して成績とする。

教科書

必要に応じてプリントを配布したり、参考文献を指示する。課題図書は購入すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
仏教と人間	いいづか ひろのぶ 飯塚 大展	商 1 必	4

講義のねらい

日本仏教史上にあらわれた個性的な人物に主眼を置いて、その時代的な背景を考えながら、仏教と人との関係を明らかにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

日本仏教史の概略を明らかにし、その枠組を設定した上で、個々の仏教者の生き方とその主張を講義する。

履修上の留意点

出席は毎講義とるので、無断欠席をしないこと。やむなく欠席する（した）場合は、事前・事後に欠席届を提出すること。

成績評価の方法

レポート（夏休み後に提出）及び年度末試験で評価するが、出席数を考慮に入れる。

教科書

特に指定しない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	い し い しゅうどう 石 井 修 道	商 1 必	4

講義のねらい 「仏教と人間」は、本学の宗教教育科目である。宗教、特に仏教は何を説き、その教えが一人一人とどうかかわるかを学びたい。
 仏教の教えを基本に、道元禪師の教えとそれらがどのように関連をもつのか。また、道元禪師は、中国の禪者をどのように取り上げ、自己の主張にどのように継承されているかを具体的に明らかにして行きたい。
 特に道元禪師の説かれる「坐禅」は、如何なる特色があるか、それがわれわれの生き方に何を教えているかを述べたい。

講義の内容・授業スケジュール ①宗教と自己との関係。②釈尊の伝記と教え（七回）。③中国禪者の個性と特色（六回）。④日中交流と仏教（三回）。⑤道元の伝記と思想（五回）。⑥坐禅。⑦曹洞宗（二回）。

履修上の留意点 「仏道をならうとは、自己をならうなり」（道元）をいかに主体的に考えるかを常に心がけて欲しい。

成績評価の方法 レポート（夏休み後に提出）20点と学年末試験80点満点で評価し、出席数も考慮する。

教科書 鎌田茂雄『仏陀の観たもの』（講談社学術文庫）273円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間	かた やま いちろう 片 山 一 良	商 1 必	4

講義のねらい 人間にとって宗教とは何かを考える。宗教としての仏教とは何かを考える。

講義の内容・授業スケジュール 前期は宗教一般について、すなわち宗教と呪術、神話と儀礼、民族宗教と世界宗教などについて講じる。後期は仏教の基本的な教えについて、すなわち縁起と四諦、智慧と慈悲、戒と禪などについて講じる。いずれも現代の我々にある身近な問題の中で取り上げ、考えたい。

履修上の留意点 「人間学」として把握し、学ぶことが望ましい。

成績評価の方法 レポート（夏期）および年度末テストによる。

教科書 とくに使用しない。随時、資料プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	くまもと えいじん 熊 本 英 人	全 学 科	4

講義のねらい 日本における宗教とは何か、仏教を中心に考察する。

講義の内容・授業スケジュール 仏教史を概観したうえで、日本の仏教および宗教の現在を考える。
 仏教に限らず、宗教は、社会の変容と相互関係をもって展開してきた。特に、明治維新以後の日本の近代化における仏教の功罪や、第二次世界大戦後の地域社会や家の変容に対して、仏教は何をしてきたかなどについてもみてみたい。

成績評価の方法 年度末の筆記試験。随時レポートを課す。

教科書 適宜プリントで配布する。

参考書等 講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	木 村 誠 治 <small>きむら せいじ</small>	全 学 科	4

講義のねらい

仏教の教えから、生命観や自己存在の意義を確認し、自己自身の生き方を探ることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えを明らかにして行く。出家に至るまでの課題が一人釈尊に限られるものではなく、生死の課題は人間の実存として関わっていることを学ぶ。成道後に展開された縁起の教えから、心と存在の在りようを学ぶ。

履修上の留意点

静粛を第一とし、雑談は禁止する。教科書は特に用意しないので、講義内容の記録が定期試験の鍵となる。

成績評価の方法

定期試験と出席率による。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

授業において紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	晴 山 俊 英 <small>はれやま しゅんえい</small>	全 学 科	4

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依るうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・
授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況を加味して評価する。

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	た な か り よ う し ょ う 田 中 良 昭	全 学 科	4

講義のねらい

本講座は、本学の建学の理念である仏教の教義と曹洞宗立宗の精神について、学生諸君に理解を深めてもらうために開設されたものであり、仏教や曹洞宗の教えが、現代に生きる私達人間にとって、いかなる意味を持ち、いかなる役割を果たすかを中心に検討し考察するものである。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教や曹洞宗学を理解するための前提として、宗教全般に関する考察を第Ⅰ部とし、仏教の基本的立場や教えの特色、その歴史や文化的特質等を第Ⅱ部とし、仏教の実践道として独自の展開をした中国禅や日本の曹洞宗の教えやその特色を第Ⅲ部とし、最後に第Ⅳ部として、仏教や曹洞宗の教えが、現代に生きる私達人間の様々な問題に対して、どのような解答を用意しうるかを考えてみることにしたい。

履修上の留意点

本講座は、他の大学では聞くことのできない本学独自の講座であり、本学の特色を理解する重要な科目である。再クラスという事情もあり、卒業単位を充たす上からも、授業への積極的参加を期待したい。

成績評価の方法

学年末に実施する学年末試験を中心とするが、平常の授業への出席も重視して評価する。

教 科 書

特に指定せず、ノートを使用するので必ず用意していただきたい。必要事項をノートに取った後、その内容についての種々の角度から解説を加え、理解を深めるようにしたい。

参 考 書 等

駒澤大学仏教学部研究室編『宗教学Ⅰ』『宗教学Ⅱ』（更生社）や、水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）等が、世界の宗教、仏教、禅、曹洞宗学の全般について論述しているので便利である。尚、近刊の田中良昭『やさしい仏教・禅入門』も、入門書として有益である。

そ の 他

授業の方法は講義であり、ノートを使用し、必要に応じて内容について詳細な説明を加えていく。特にその時その時に起きる宗教問題についても、取り上げていきたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文化と宗教	は せ べ は ち ろ う 長 谷 部 八 朗	経 A ・ 商 選	4

講義のねらい

本講義は、我が国の近代以降、各時代状況の中で、宗教が社会とどのようにかわり、近・現代の精神文化の形成に影響を及ぼしたかを、仏教を中心にみていく。具体的には、寺院の中でのいわゆる教会・結社組織に焦点を据え、それらが、仏教と民衆をつなぐ接点として果たしてきた役割を探ってみる。仏教諸宗派の中でも教会・結社活動の盛んであった曹洞宗や日蓮宗を主軸に講述する。

また、そうした教会・結社と新宗教・新新宗教を比較検討し、両者に対する民衆のニーズとそれに対する対応の仕方の類似点および相違点を明らかにしていきたい。

成績評価の方法

未定である。授業時に1、2回小論文を課し、評価の一部に加える予定である。

教 科 書

使用しない。

参 考 書 等

授業の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会と宗教	いけがみ よしまさ 池 上 良 正	経 A・商選	4

講義のねらい

宗教学・宗教社会学などの理論的成果をふまえて、「近代社会と宗教」というテーマを中心に講義する。近代という特異な時代が成立する過程において宗教はどのような関わりをもったのか、様々な問題を抱えた近現代社会のなかで宗教はどのような形態で存続し、またどのような意義や役割を担っているのか、といった問題を考える手がかりを探ってみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、宗教が近代社会の形成に果たした役割についての考察からスタートして、世俗化論、私事化論などの検討する。後期は、現代世界における宗教の動態的理解、近代日本の社会変動と民衆宗教の展開、といった問題を考える。近年の精神世界ブームや新宗教の動向などにも触れる予定。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教科書

特に指定しない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然と宗教	おがわ としゆき 小 川 順 敬	経 A・商選	4

講義のねらい

人間は古来から、自然のいとなみの背後に説明のつかない大きな力を感じ、自然の事物や、自然現象を崇拝の対象としてきたと言われます。それでは、人間は自然の背後にどのような“説明のつかない力”をみたのでしょうか。あるいは、自然を人間とのつながりでどのようにとらえ、考えてきたのでしょうか。

この講義では、宗教と自然との関わりという角度から、これらの問題を考えてゆくことにしたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

まず最初に、宗教現象を考えていくための宗教学、宗教学人類学のいくつかの基本的な概念を概説、紹介します。その後、山と宗教、海と宗教、森と宗教、また仏教と自然、キリスト教と自然などのテーマを立て、具体的事例をあげながら人間と自然との宗教的な関わりを諸相を紹介していくことにしたいと考えています。また、環境問題に対する仏教やキリスト教、新宗教、あるいは伝統宗教からの発言や取り組みを紹介し、その考え方や今日的評価・議論を概観、紹介する予定です。

成績評価の方法

評価は原則として年度末の筆記試験により行います。なお、夏期休暇前にレポート課題を出しますが、提出は受講者の自由意志とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

原則として教科書は用いません。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
坐禅（前期）（後期）	くまもと えいじん きむら せいじ 熊本 英人・木村 誠治	経 A・商選	2

講義のねらい

駒澤大学では建学の理念に基づき宗教教育科目が設けられ、その中に「坐禅」の授業があります。本授業は、仏教学部だけではなく広く一般学生に門戸を開き「坐禅」の世界を知ってもらうことを、その目的としています。他大学では経験できない、駒澤ならではの授業が「坐禅」といえるでしょう。坐禅に触れることによって、本学の良さを味わい、学生生活の貴重な体験としてもらいたいと思い、この授業を進めるものです。

今、私たちの周りでは、さまざまな宗教が声高に叫んでいます。反面、多くの人は何を拠り所にしてよいか不安感が募っています。基本的な人生観を学生時代にこそ考えたいものです。

坐禅は、決して特殊な精神状態を作るものではありません。姿勢を整え、静けさの中で自己を見つめるのです。初めはごちないかもしれませんが、何回か経験するうちに静けさに落ちつきを感じることでしよう。

この授業では、初心者にも無理なく坐禅に親しめることに指導のポイントを置き、経験を積む中で、坐禅の静寂な時間に落ちつきと安らぎが感ぜられるよう実習を進めたいと思っています。併せて、坐禅の世界をより深く体得できるように、禅の歴史とその思想にも触れる時間を設けます。禅が作り出したさまざまな文化にも触れるよう進めます。

講義の内容・
授業スケジュール

半期単位ですので、全体で13回ほどの開講数が予定されます。その流れを以下のように進めます。

1～3「坐禅の作法指導」（坐禅堂に即して基本的知識と、坐るに至るまでの作法と修得）

4～13「坐禅実習」（一回の坐禅実習の時間は、初心者にも無理のない程度です。）

（道元禅師の書かれた坐禅の指導書ともいえる『普勸坐禅儀』・『正法眼蔵－坐禅儀』を通して坐禅の本来の姿を学びます。また、禅の世界をより深い理解のため、各祖師方の語録も参求してみたいと思っています。）

履修上の留意点

実習をその主なる内容としますので出席を重視します。また、まじめに授業を受けられることを要望します。

成績評価の方法

レポート、出席態度、出席数を総合して成績評価とします。

教科書

適宜、プリントにて配布します。

参考書等

『坐禅－講本－』（更生社）2,266円

2 教養教育科目

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P. 337)

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

文学〔日本文学「近代」〕〈渡邊重人〉	25
文学〔外国文学「中国文学」〕〈清水浩子〉	25
歴史学〔東洋古代史〕〈小川誠〉	26
芸術学(1)〔日本美術〕〈松田誠一郎〉	26
芸術学(2)〔西洋美術〕〈矢野陽子〉	27
芸術学(3)〔音楽〕〈赤羽由規子〉	27
哲学〔近代の人間観と世界観〕〈古田知章〉	28
哲学〔近代の人間観と世界観〕〈戸田洋樹〉	28
論理学〔科学方法論と現代論理学〕〈鈴木聡〉	29
論理学〔知の技法〕〈箭野浩司〉	29
論理学〔知の技法〕〈伊古田理〉	30
科学史〔科学と技術〕〈小宮山隆〉	30
倫理学(1)〔人間観〕〈古田知章〉	31
倫理学(2)〔応用倫理学〕〈黒崎剛〉	31
倫理学(3)〔価値観〕〈及川和剛〉	32
倫理学(4)〔応用倫理学〕〈箭野浩司〉	32
倫理学(5)〔制度とモラル〕〈久保陽一〉	33
倫理学(6)〔東洋倫理〕〈末木恭彦〉	33
宗教学(1)〔比較宗教文化〕〈池上良正〉	34
宗教学(2)〔聖と俗〕〈田中かの子〉	34
宗教学(3)〔思想と儀礼〕〈小川順敬〉	35
宗教学〔組織と運動〕〈洗建〉	35
人文地理学〔風土と文化〕〈竹林和彦〉	36
人文地理学〔空間と行動〕〈伊藤勝久〉	36
教育の思想〈伊藤茂樹〉	37
教育の思想〈萩原建次郎〉	37
教育の思想〈坂本信昭〉	38
教育と社会〈伊藤茂樹〉	38
教育と社会〈萩原建次郎〉	39
教育と社会〈坂本信昭〉	39
発達と学習の心理学〈大浜幾久子〉	40
発達と学習の心理学〈川田三夫〉	40
発達と学習の心理学〈山本政人〉	41
カリキュラムと学習〈大浜幾久子〉	41
カリキュラムと学習〈川田三夫〉	42
カリキュラムと学習〈山本政人〉	42

(2) 社会分野

社会学〔現代社会を考える〕〈金澤朋広〉	43
社会学〔現代文化を考える〕〈金澤朋広〉	43
統計学〔社会現象の統計的決定〕〈新行内康慈〉	44
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕〈杉井純一〉	45
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕〈鈴木一馨〉	46

法学・憲法〔法と権利〕〈和知恵一〉	47
法学・憲法〔法と国家〕〈佐藤多美夫〉	48
法学・憲法〔法と権利〕—夏季集中—〈西修〉	49
政治学〔社会生活とデモクラシー〕〈井戸正伸〉	50
経済学〔現代経済理解へのガイド〕〈橋本泰明〉	50
社会科学論〔社会認識の思想〕〈大石雄爾〉	51
教育学〔デス・エデュケーション〕〈柳堀素雅子〉	52
教育心理〔大学生の心理—教育臨床心理学の立場から—〕	
〈野中弘敏〉	53

(3) 自然分野

生物学〔生態と進化〕〈清水善和〉	54
地球科学〔地球環境の現在・過去・未来〕	
〈山縣毅〉	56
自然環境論〔生命と環境〕〈持丸真里〉	57
自然環境論〔自然史と環境〕〈藤井享〉	58
自然環境論〔環境と保全〕—夏季集中—	
〈山縣毅〉	59
自然誌(1)〔現代の自然像〕	
〈清水善和・篠原正雄 持丸真里・山縣毅〉	60
数学(1)〔微積分学入門〕〈小沢誠〉	61
数学(2)〔線型代数学入門〕〈小沢誠〉	61
数学(3)〔現代数学入門〕〈福田賢一〉	62
情報数学〔情報と論理〕〈高橋一嘉〉	62
物理学〔光と物質〕〈篠原正雄〉	63
化学(2)〔衣食住の化学〕〈持丸真里〉	64
宇宙科学〔星と銀河〕〈篠原正雄〉	64
コンピュータ基礎(1)(4)(6)(9)〔コンピュータの実際〕	〈小沢誠〉 65
コンピュータ基礎(2)(7)(23)(24)〔コンピュータの実際〕	〈山本博信〉 67
コンピュータ基礎(3)(8)〔コンピュータの実際〕	〈小川健次郎〉 68
コンピュータ基礎(5)(10)〔コンピュータの実際〕	〈竹田洋一〉 68
コンピュータ基礎(11)(15)〔コンピュータの実際〕—夏季集中—	〈竹田洋一〉 69
コンピュータ基礎(12)〔コンピュータの実際〕—夏季集中—	〈小沢誠〉 66
コンピュータ基礎(16)〔コンピュータの実際〕—夏季集中—	〈高橋一嘉〉 70
コンピュータ基礎(13)(17)〔コンピュータの実際〕—夏季集中—	〈山本博信〉 71
コンピュータ基礎(14)(18)(19)(21)〔コンピュータの実際〕—夏季集中—	〈長坂浩史〉 72
コンピュータ基礎(20)(22)〔コンピュータの実際〕—夏季集中—	〈小川健次郎〉 74
コンピュータ応用(1)(2)〔コンピュータの原理〕	〈今泉淳〉 75
人類学〔人類の進化〕〈遠藤万里〉	75
心理学〔人間関係を考える〕〈鈴木順一〉	76
心理学〔心を科学する〕〈中丸茂〉	77
心理学〔心を科学する〕—夏季集中—	〈堀内正彦〉 78

(4) 総合分野

総合	I	〈 休 講 〉	
総合	II	〈 休 講 〉	
総合Ⅲ(2)	[欧米の教育と日本の教育]	〈岡崎 寿一郎〉	79
総合Ⅲ(3)	[フランス現代思想]	〈桑田 禮彰〉	79
総合Ⅳ(1)	[現代アメリカ事情]	〈林 明人〉	80
総合Ⅳ(3)	[ポスト・モダンの世界]	〈丸小 哲雄〉	80
総合Ⅴ(1)	[イギリス文化探訪]	〈川股 陽太郎〉	81
総合Ⅵ(1)	[民族とは何か]	〈大野 祐二〉	82
総合Ⅵ(2)	[イスラム]	〈前期：青柳かおる、後期：吉田 京子〉	82
総合Ⅵ(3)	[フェミニズム・ジェンダー]	〈早川 紀代〉	83
総合Ⅶ(1)	[トラブルと法的解決]	〈北野かほる・小木曾 綾・王志 安・ 金子 昇平・佐藤多美夫・西 修〉	84
総合Ⅶ(2)	[都市論]	〈早川 純貴・品田 知美・中野 裕二・保坂 尚郎〉	85
総合	VII	〈 休 講 〉	

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 〔日本文学「近代」〕	わたなべ しげと 渡 邊 重 人	経 A・商選 12以降入学生/経B選	4

講義のねらい

近代小説の表現形式やサブジャンルの形成を検討することを通じて、わたしたちの《読む》行為におけるさまざまなバイアスについて考察し、履修者のリテラシーを高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 小説のジャンル認定—わたしたちは何を小説と呼ぶのか—
- 2 小説と物語—読者は小説を読むのか？物語を読むのか？—
- 3 三人称小説と一人称小説—錯綜する作者／語り手／読者—
- 4 小説とジェンダー—《読む》行為と性差—
- 5 小説のサブジャンル—商品としての小説—
- 6 表象文化における小説の位置付け—他の文化装置との比較—

履修上の留意点

出席については履修者も自己管理すること。

成績評価の方法

レポート・小レポート・出席状況・授業に対する積極性等を総合して評価する。詳細については第1回の授業時において説明する。

教科書

プリントを使用する。

参考書等

授業時に適宜紹介する。

その他

講義中心であるが、希望者がいる場合、履修者による研究発表や討論の実施に時間を割いてもよいと考えている。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文学 〔外国文学「中国文学」〕	しみず ひろこ 清 水 浩 子	経 A・商選 12以降入学生/経B選	4

講義のねらい

前期の前半は中国神話・伝説について解説を行うので、中国神話・伝説の特徴を理解する。その後はテキストを講読し、『風俗通義』の作者応邵の神話・伝説・俗説への考えを知る。

講義の内容・授業スケジュール

神話・伝説についての解説とテキストの講読・解説を行う。

履修上の留意点

積極的に授業に取り組んでほしい。

教科書

中村璋八・清水浩子著 『風俗通義』（明德出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
歴史学 〔東洋古代史〕	おがわ まこと 小 川 誠	経 A・商選 12以降入学生/経B選	4

講義のねらい

古代東アジア世界の歴史を講じる。そこでは、いわゆる通史ではなく、アジア全体を視野に入れた交流の視点から、中国を中心とする東アジアの世界像を浮き上がらせてみたい。講義を通じて、アジアに関する基礎知識が身につくように配慮していくつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

1. アジア入門（アジアの構造と歴史）
 2. 中華的世界観と東アジア世界の確立
 3. 中国と東アジア世界（中国古代史の流れ／秦漢～隋唐）
 4. 古代の朝鮮半島情勢と日中交流の歴史
 5. 中国と北アジア世界
 6. 中国と西アジア世界
- 以上のような内容で講義を行なう。

履修上の留意点

アジア世界に興味のある者の参加を望む。

成績評価の方法

学年末試験を中心に評価する。

教科書

教科書は使用せず、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

参考書等は使用せず、必要に応じて資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
芸術学(1) 〔日本美術〕	まつだ せいちろう 松 田 誠一郎	全 学 科 選	4

講義のねらい

飛鳥時代〔538～710〕から天平時代前期〔710～753〕にいたる仏教彫塑の歴史を詳しく講義する。講義では、関連史料を講読して、作品が造られた歴史的背景をたどる一方、時代ごとの表現や技法の特徴を指摘し、その歴史的変遷や研究上の問題点を説明する。また、中国や朝鮮半島の作品との比較を通して、日本的な美意識の問題についても論究する。

講義の内容・授業スケジュール

- | | |
|----------------------------|--------------------------|
| 【前期】 | 【後期】 |
| 第 1 回 ガイダンス | 第 1-3 回 5. 興福寺仏頭と薬師寺金堂本尊 |
| 第 2-4 回 1. 法隆寺金堂と釈迦三尊像 | 第 4-5 回 6. 法隆寺五重塔の塑像 |
| 第 5-7 回 2. 救世観音像と百済観音像 | 第 6-8 回 7. 興福寺の十羅漢・八部衆像 |
| 第 8-9 回 3. 法隆寺再建期の童顔童子像 | 第 9-10 回 8. 東大寺法華堂の乾漆像 |
| 第 10-12 回 4. 広隆寺と中宮寺の半跏思惟像 | 第 11-12 回 9. 東大寺・新薬師寺の塑像 |
| 第 13-15 回 進度調整のための予備日 | 第 13-15 回 進度調整のための予備日 |

履修上の留意点

仏像の本当のよさは、スライドを見ているだけではわからない。教室で講義を受けるだけでなく、できるだけ履修期間中に東京国立博物館の法隆寺宝物室や奈良・京都の古寺を訪れて、仏像に接する機会を積極的につくるように努力すること。

成績評価の方法

後期末に筆記試験を実施し、その得点によって評価する。

教科書

水野敬三郎著 『奈良・京都の古寺めぐり—仏像の見かた—』 1985年（岩波書店）650円

参考書等

水野敬三郎監修 『カラー版 日本仏像史』 2001年（美術出版社）2,500円

その他

毎回スライドを使用する。参考文献については、講義ごとに指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
芸術学(2) 〔西洋美術史〕	矢野陽子 <small>やの ようこ</small>	全学科選	4

講義のねらい

この授業では15世紀から18世紀までのヨーロッパ諸地域の美術を対象とし、まずその主要な流れを理解することを目的とする。そして表現内容と様式、芸術家とパトロン、美術理論などを踏まえて、美術作品がどのように制作され享受されたか、美術が社会の中で占めていた位置、さらに各国の美術の特質、地域間での影響関係について考察する。

 講義の内容・
授業スケジュール

前期は15・16世紀、すなわち初期ルネサンスからマニエリスム美術を、後期は17・18世紀、すなわちバロック・ロココ美術を扱う予定である。

履修上の留意点

教科書を毎回持参すること。スライドで作品を見ながら時代順に講義を進めるので、授業にはなるべく遅刻欠席をせず続けて出席するようにしてほしい。

成績評価の方法

夏休みの課題としてのレポートと学年末の試験とを合わせて評価する。

教科書

高階秀爾監修 『カラー版 西洋美術史』 (美術出版社) 1,900円

参考書等

授業中に適宜紹介する。

その他

授業では毎回スライドを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
芸術学(3) 〔音楽〕	赤羽由規子 <small>あかば ゆきこ</small>	全学科選	4

講義のねらい

前期 民族音楽学—日本人の伝統的な音感覚について考えていく。焼き芋屋さんの売り声や子ども遊びの歌から芸術音楽にまで共通する日本のメロディーについて考察し、それらと外国の歌との共通性、異質性について具体的に音を聴きながら学び、音楽とは何かを考えていきたい。

後期 20世紀と音楽—20世紀における音楽に関する様々な新しい動きを追って行き、「ポスト・モダン」といわれる今日の音楽の在り方について考えて行く。音や映像を用いて、わかりやすく進めて行くつもりである。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

夏期レポートと学年末試験で採点する。

教科書

印牧由規子著 『現代からの音楽史』 (公論社) 2,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲学 〔近代の人間観と世界観〕	ふるた ともあき 古 田 知 章	経 A・商選 12以降入学生/経B選	4

講義のねらい

現代に生きる我々は、いろいろな場面で西洋的なものに直面し、また、我々自身、知らず知らずのうち西洋的な人間観・世界観に基づいて判断あるいは行動していることも多い。そして、この西洋的なものは、古代ギリシア以来の伝統のもと様々な曲折を経て、近代ヨーロッパにおいて現れた人間観・世界観に強く影響を受けている。したがって、西洋的なものの理解のためにも、また、現代に生きる我々の自己理解のためにも、近代ヨーロッパの人間観・世界観がどのような伝統と時代意識のもとに形成され、また、いかなる形で現代社会へと流れ込んでいるのかを学ぶことは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

教科書やプリントを利用しながら、以下の内容を取り上げる。

- A. 近代の人間観・世界観の源流
 - 1. 古代ギリシアの思想
 - 2. キリスト教思想と中世の哲学
 - 3. 中世から近世への連続と変動
- B. 近世・近代の人間観・世界観
 - 1. いくつものルネサンス
 - 2. 近世の思想
 - 3. 近世から現代への展開

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲学 〔近代の人間観と世界観〕	と だ ひ ろ き 戸 田 洋 樹	経 A・商選 12以降入学生/経B選	4

講義のねらい

私たちは日常、自分の世界観・人間観について、特に詮索することはないが、多少なりとも反省してみると、それが時代の常識からそれほど隔たっていないことが分かる。私たちは知らず知らずのうちに常識というものを自分の考え方の基準や行動の指針として受け容れているのである。本講義では、常識の背景となっていたり、既成の常識を批判することによって新たな常識を生み出してきた思想の歴史について、欧米の世界観・人間観を中心に概観する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1. 古代ギリシアの世界観・人間観
- 2. ヘレニズム・ローマ時代の世界観・人間観
- 3. 中世の世界観・人間観
- 4. ルネサンスの世界観・人間観
- 5. 17世紀の世界観・人間観
- 6. 18世紀の世界観・人間観
- 7. 19世紀の世界観・人間観
- 8. 20世紀の世界観・人間観

成績評価の方法

前期・後期の2回の試験による。

教科書

授業開始時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	すずき さとし 鈴 木 聡	経 A・商選 1?以降入学生/経B選	4

講義のねらい

論理学の初歩の講義を、できるだけ丁寧にわかりやすく行う。我々は日常生活において様々な文を用いて様々なタイプの推論を行う。多種多様な姿を持つ文にも、実は或る一定の構造が存在する。その構造を見極めることが論理学の課題である。また多種多様に見える推論にも、実は或る一定のタイプが存在する。この推論のタイプについての研究が論理学の主要課題である。論理学の習得は、正しい推論結果を導出するために、すべての学問において重要なことである。

講義の内容・
授業スケジュール

講義内容は次のものを予定している。

1. 文論理
(a) 文論理の意味論 (b) 文論理の統語論
2. 第一階量化論理
(a) 第一階量化論理の意味論 (b) 第一階量化論理の統語論
3. 伝統的論理学と記号論理学との比較
4. メタ論理
(a) 健全性定理の意義 (b) 完全性定理の意義

履修上の留意点

毎回の出席が望ましい。

成績評価の方法

成績は、中間試験・期末試験・小テスト・出席点で評価する。

教 科 書

配布プリント

参 考 書 等

本講義は講義→小テスト(質問)→前回の講義の復習→小テストの解説・・・という形式で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
論理学 〔知の技法〕	や の ひ ろ し 箭 野 浩 司	全 学 科 選	4

講義のねらい

日本の教育制度はディベートやディスカッションの技術を教えない。同様に、レポートや小論文の書き方についても、それを教える学校は少ない。しかし社会人として、あるいは国際社会の一員として生きてゆくためには、考えを言語化してコミュニケーションをとることは必要不可欠なスキルである。

この授業は、各国の言論文化の違いに留意しながら、話すことと書くことに重点を置いて思考表現とコミュニケーションのスキルを向上させることをめざす。参加者は、表現する前に、恥ずかしい、言うことがない、意見がない、何も思いつかないといった状況に直面することになるが、それを乗り越えることも目的の一つとする。

講義の内容・
授業スケジュール

以下のような思考表現の技術について解説し、トレーニングを行う。ディベート、ディスカッション、プレゼンテーション、小論文、クリティカル・シンキング、情報分析等。

履修上の留意点

単位よりも能力が欲しいことを参加条件とする。ほぼ毎回、何かしゃべってもらうことになる。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、やる気、スキルの修得度等で評価する。

教 科 書

開講時に指定する。

参 考 書 等

その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
論理学 〔知の技法〕	いこた まさる 伊古田 理	全 学 科 選	4

講義のねらい

本講義は、文科系の文章技術について解説し、かつトレーニングを試みる。すなわち、あるテーマについて、文献を集め、読み、考え、そのうえで自分の考えを文章としてまとめるといった一連のプロセスについての実際的なノウハウの習得を目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

まず、最初に文献・資料集めのしかたについて、簡単に解説する。次にあるテーマについて異なる立場からの考察を読みこなすトレーニングを行う。そのうえでこうした読解をもとにして自分の考え、立場を文章としてまとめあげるトレーニングを行う。

履修上の留意点

以下の「成績評価の方法」でも触れてあるが、この授業は基本的に講義スタイルですすめてゆくが、それと平行して、数回のレポート課題を出す。そして、この提出したレポートを材料に授業を進めるケースも少なくない。したがって、レポート課題がこなせないという意識をもつ諸君には受講をすすめたくない。

成績評価の方法

随時課するレポート課題（問題演習＋文章要約、等々：年間10本以上はありうることを承知しておいてほしい。翌週提出厳守）のほかに、最終的に本講義で扱ったテーマに対する諸君の考えをまとめた原稿用紙20枚程度のレポート（12月最終週講義時提出）によって判定。定期試験はいっさい実施しない。

教科書

本年度は、テーマとして「道徳の理由（なぜ道徳なんでものに従って行動しなければならないのか）」をとりあげる。

教科書：大庭他著 『なぜ悪いことをしてはいけないのか』（ナカニシヤ出版）
副読本：野矢茂樹 『論理トレーニング』（産業図書）

参考書等

そのつど指示する。

その他

上記教科書のテーマに対する関心を予めそなえていることは、必ずしも前提しない。しかし無関心でいつづけることはできない。自分で興味をみつけてゆくつもりで授業に臨んでほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
科学史 〔科学と技術〕	こみやま たかし 小宮山 隆	経 A・商 選	4

講義のねらい

近代科学の成立およびその展開に深いかわりをもつ「技術」のいくつかを軸に、科学と技術および社会との関連を視野に入れ、歴史を概観する。科学と技術はしばしば車の両輪にたとえられるが、新しく登場した技術が科学の進展を促すばかりでなく、阻害するケースもあり、そうした個々の事例をふまえて今日の科学技術文明を考える手がかりとしたい。

後期には、IT、バイオ、ナノテクノロジー等、現代技術の動向についても紹介する。

履修上の留意点

自然科学的な知識は特に前提としないが、それだけに講義に対する積極的な取り組みが受講の要件となる。

成績評価の方法

出席状況、レポートおよび定期試験の結果を合算して評価する。

なお、試験については、「覚える」ことを強いる必要はないと思われるので、原則として、教科書・ノート等の参照を可とする。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

講義の際に随時、指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学(1) 〔人間観〕	ふるたともあき 古田知章	全学科選 12以降入学生/経B選	4

講義のねらい

われわれは、社会の中で、一人の人間として、さまざまなものを「よい」あるいは「悪い」と判断しながら生活している。逆に言うと、この判断なしにわれわれは生きていくことができない。では、このような倫理的生活を送っているわれわれ人間とは何者であろうか。日常、われわれは「人間」という言葉を自明なものとして扱っている。しかし「人間とは何か」と問われたとき、さまざまな問題が浮かび上がり、簡単には解答に到達できない。西洋の思想的領域では、この問いに対して、その時代の社会的状況や思想的背景との関連のもとで、さまざまな解答が示されてきた。現代に生きるわれわれが、自らが人間であることの意味を問い直すとき、これらの諸説を一度、検討することは有意義であると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

西洋倫理学の代表的学説を、古代ギリシアから現代への流れに沿って時代ごとに紹介し、「人間」、あるいは、この「人間」という名称を与えられる「私」や「自己」という概念が、どのように、「行為」や「善」などのその他の倫理学の主題とともに論じられてきたのかを考察する。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学(2) 〔応用倫理学〕	くろさき つよし 黒崎剛	全学科選 12以降入学生/経B選	4

講義のねらい

「倫理」というのは、人間が世界の中で、世界に対して振る舞う上にさいして基準とする「規範」—「価値」や「義務」、「習慣」といった—の正当性を問うものである。だから「倫理学」というのは、自分が行動するに際して自覚的・無自覚的にとっている規範が半端なものではないか、みずから検証するという課題を持っている。ところで、科学技術、そして最近の生命科学の驚異的な発展によって、私たちがこれまでまったく自明のものともみなしていた多くの「価値」「規範」がその地位を失おうとしている。そこで、この授業では、生命科学と医療の分野でここ二、三十年の間に起った変動ともなって提起されてきた問題を取り上げる。すなわち「生命倫理」をテーマとする。

講義の内容・授業スケジュール

「生命倫理」の諸問題のうち、以下のテーマを取り上げる予定

1. 生命の倫理——講義の課題概説
2. 「インフォームド・コンセント」：自己決定の思想
3. 人工妊娠中絶
4. 安楽死と尊厳死
5. 脳死と臓器移植
6. 「生殖革命」——人工生殖の現状と問題点
7. 遺伝子操作論

履修上の留意点

課題はすべて現在進行形のものばかりなので、受講生にも起りつつある問題に絶えず嗅覚を働かせる態度を望む。

成績評価の方法

受講態度、出席、試験（レポート）、を総合評価。

教科書

教科書はプリントを使用。参考書は教場で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学(3) 〔価値観〕	おいかわ かずよし 及 川 和 剛	全 学 科 選 12以降入学生/経B選	4

講義のねらい

「私はどうしたらいいのか」「ままならぬこの自分とはなんであるのか」といった問いは思春期にいる少年少女だけに特有のものではない。それはおそらく一生続きうる問いである。この授業では、それぞれの人生で繰り返し立ち現われ問い返される”私”や”自分”とはなんであるのかということ論じる。そうして行く中で、”私”はどのような”感情”に支配されてしまっている、ということがクローズアップされてくるであろう。そこで次に、その”感情”とはなんであるのかということ論じる。(この問題は<自由>の問題につながるはずである。)他方、”私”は自分一人で生きていけるわけではなく、他の”私”達とともに生きているという事実にも着目しなければならぬ。そこでまた、その”他者”とはなんであるのかということも論じたい。(この問題は<規範>の問題につながるはずである。)

講義の内容・授業スケジュール

- おおかた次のような内容を取り扱う。
- I 現代の日本で”私”について論じている人々
- II 「心の受動」としての”感情”
- III ウィトゲンシュタインと”他者”の問題

成績評価の方法

年2回(夏期と年度末)の試験、およびレポートで評価する。

教科書

久保・河谷編『原典による哲学の歴史』(公論社)

参考書等

北明子『メヌ・ド・ピランの世界 経験する<私>の哲学』(劉草書房)
野矢茂樹『心と他者』(劉草書房)
その他についてはその都度授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学(4) 〔応用倫理学〕	や の ひ ろ し 箭 野 浩 司	全 学 科 選 12以降入学生/経B選	4

講義のねらい

倫理学は、哲学の主要な一部門であり、人間がいかに生き、何をなすべきかを探求する学問である。言い換えれば、問題の多い世界の中で生き方を模索する哲学である。
われわれが自己の生き方を決めるためには、知識を習得するとともに、自分の力で考えねばならない。応用倫理学の<応用>という言葉は、理論の応用という意味ではなく、具体的な問題に参入して、意思決定のシミュレーションを行うことを意味する。この授業は、テクノロジー、医療、宗教、メディア、教育、環境破壊、テロ、人口圧、多様な価値観の共存など、さまざまな問題と向き合っ、どうすべきかを考え、自分の意見を持ち、判断を下すこと、言い換えれば、生きてゆくための知を構築することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

問題の多くはビデオで提示する。身近な問題から始めて、別の場所で起きている問題や未来に起きる問題にまで射程を広げてゆく。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

開講時に指定する。

参考書等

その都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学(5) 〔制度とモラル〕	くば よういち 久保陽一	全学科選 12以降入学生/経B選	4

講義のねらい

最近、簡単に人を殺害したり、職業倫理を無視したりする事件があとを絶たない。あらためて何が正しいかが問われている。そこで本講義では「正義」について、倫理思想の歴史をたどり、今日の問題を考える参考にしてもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

- I 近代以前の正義
 - (1)古代ギリシア（ギリシア悲劇・プラトン・アリストテレス・ストア派）
 - (2)キリスト教
- II 近代の正義
 - (1)人権と社会契約の思想（ホッブス・ロック・ルソー・カント）
 - (2)ヘーゲルの法哲学
 - (3)功利主義
- III 現代の正義
 - (4)社会主義と社会権
 - (5)ロールズとテイラー
 - (6)生命倫理と環境倫理

履修上の留意点

よく出席し、ノートを取ることを。私語や途中退室はつつしむこと。

成績評価の方法

中間試験、レポート、期末試験と出席状況。

教科書

河谷・久保編 『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

高木・末延・宮沢編 『人権宣言集』（岩波文庫）
シンガー 『私たちはどう生きるべきか』（法律文化社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
倫理学(6) 〔東洋倫理〕	す え き や す ひ こ 末木恭彦	全学科選 12以降入学生/経B選	4

講義のねらい

漢文古典はすべて「倫理」学と言っても過言ではない。それらを産み出した人々の主要な関心は、人と人の中で如何に生きるかにあった。従って、漢文古典を考えれば、白ずと倫理学となる。又、漢文古典が示す人の生き方は、東アジアの人々に等しく人生の指針であった。先人の積みあげた歴史の上に我々はいる。漢文古典の世界を知ること、決して他人事ではなく、我々の心の奥底を知ることである。これを知ること、我々の未来の生き方を開くことにもなる。この様な重要な意味を担う我々先人達の人生の思想を問い直し、そこから未来の手掛りを掴む—ここにこの講義の目標はある。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、東洋古典の智慧がどれだけ現代の問題を考えるのに役立つか検討を試みたい。環境倫理—環境問題にいかに対処してゆくかという問題を取り上げ、この問題に東洋の智慧がどのように光を投げかけるかを見てみたい。教科書は、この様な問題意識に基づいて開かれたシンポジウムの報告論文集である。講義は、教科書に収められた論文の中から講師が重要と考える論文を選び、順次読み進めながら考察を深めてゆく。

履修上の留意点

ノートは確実にとること。

成績評価の方法

基本は年二回以上の試験あるいはレポートにより判断する。それに、出席状況・受講への積極性（質問の有無—質問は原則書面で提出して貰う）などを加味して最終的な成績をつける。

教科書

『東洋的環境思想の現代的意義』（農山漁村文化協会）

参考書等

講義中に適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗教学 〔比較宗教文化〕	いけがみ よしまさ 池 上 良 正	全 学 科 選 12以降入学生/経B選	4

講義のねらい

宗教学という学問は、そもそもの出発点から比較宗教学という性格をもっていた。そこでは「ひとつの宗教しか知らない者は、いかなる宗教をも知らない」(マックス・ミュラー)という信念が前提になっていた。「国際化」が進む今日の世界において、異なる社会に育った人々の生活の基盤を形づくってきた宗教文化の相互理解は、ますます重要な課題となっている。

本講義では、宗教学の基本的な視点を紹介しながら、いくつかの具体的な研究成果を学ぶことにする。

講義の内容・
授業スケジュール

大きなテーマとして、次の三つを考えている。①近代宗教学の成立とその意義。②宗教の比較類型論の試み。③民俗・民衆宗教研究の展開。

成績評価の方法

年度末に筆記試験。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宗教学 〔聖と俗〕	た な か の こ 田 中 かの子	全 学 科 選 12以降入学生/経B選	4

講義のねらい

「聖と俗」という対立概念は、ある宗教的世界観のなかで生きる人間が「日常から非日常」「不浄から清浄」「苦悩から救い」「罪からの改悛」「離叛から和解」「死から再生」などのプロセスを体験するために仮設する自己一新の装置である。人格的「神」や非人格的「法」などに由来する「聖」なるものの完全さ・神秘性・絶対的力は、至らぬ無力な自己をおのずと「俗」なる領域に押しやるかにみえる。しかし実際には、「聖」なる人間性を志向してやまない日々の宗教生活そのものが既に、「聖」なる領域のなかに取り込まれて一体化しているのである。つまり、ここでの「聖と俗」は、世間一般にいう「宗教」と「非宗教」の対比としての「聖」と「俗」ではない。本講は、この点をおさえたいうで、1) 宗教学の基本的立場をふまえ、2) 世界の諸宗教の歴史・思想・文化における「聖と俗」の諸相を観察することにより、3) 「宗教」とは何か「人間」とは何かという問いを深めていくことをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

I. 宗教学とは何か、II. 宗教生活の原初形態(「いのち」の発見)、III. 宗教の類型論(ひとつの宗教の諸相・さまざまな宗教の比較)、IV. 「聖なるもの」をめぐる諸宗教の構成要素一覧、V. 芸術と聖なるもの、VI. 宗教的人間観、VII. 宗教的世界観、VIII. 本講の後半では、ゾロアスター教、ユダヤ教、キリスト教、イスラーム、シーク教、ヒンドゥー教、ジャイナ教、仏教の歴史・思想・文化を解説し、それぞれの現代的意義を考える。

履修上の留意点

板書を写すだけでは、本当にノートを取ったことにはならない。工夫してみよう。

成績評価の方法

各自の創意工夫と知識の応用力を問う論述式の学年末試験、レポート、出席状況。

教 科 書

必要に応じてプリントを配布する。

参 考 書 等

脇本平也著 『宗教学入門』 (講談社学術文庫)

そ の 他

講義担当者の現地調査に拠るスライドと録音テープを活用する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学 〔思想と儀礼〕	おがわとしゆま 小川 順 敬	全学科選	4
		1?以降入学生/経B選	

講義のねらい

人間の“宗教行動”を理解することはなかなか困難な作業です。目に見えぬものに語りかけたり、その声に耳をそばだてたり、時としてその声を代弁したりすることを一体どのように分かれれば良いと言うのでしょうか。祈りやお告げといった“宗教行動”は、信仰を持たぬものにとっては全く理解不可能な事なのでしょうか。宗教学は、そういった行動を信仰者の立場からではなく、“人間の行動”として、その背後の考え方を探ることによって理解しようと努めてきました。

この講義では、宗教学の立場から儀礼（宗教行動）とその思想について考えていこうと思えます。一見、不可解な行動に見えても、その背後の思想を知ることによって、宗教行動の意味をいささかでも理解する端緒が開かれるはずです。

講義の内容・授業スケジュール

まず最初に、宗教学の基本的な考え方や方法論、いくつかの基本概念などを具体事例にそって概説、紹介します。この際、儀礼に関する議論や理論を、宗教学や宗教人類学、あるいはもう少し広く社会科学や人文学の中から紹介する予定です。ついで、様々な儀礼の諸相を具体例をあげて紹介し、その事例の検討を通して、思想や世界観、神話との関係について考えてゆくことにしたいと考えています。

成績評価の方法

評価は原則として年度末の筆記試験により行います。なお、夏期休暇前にレポート課題を出しますが、提出は受講者の自由意思とします。成績評価の具体的な方法、年度末試験の方針、レポートの内容、出席等は最初の授業で詳しく説明します。

教科書

未定。授業開始後、紹介します。

参考書等

講義の内容に関連する参考書は適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
宗教学 〔組織と運動〕	あらい けん 洗 建	全学科選	4
		1?以降入学生/経B選	

講義のねらい

宗教学は、宗教現象の実証的研究を通じて宗教の客観的理解を目指す学問である。宗教現象は、文化、社会、個人の人格などの各次元にわたって展開するが、この講義では宗教の社会的展開を中心に考察する。宗教は個人の内面において、単なる知識としてではなく、情意的にも真実として把握された世界認識である。しかし、それはまったく個人的な信念にとどまるものではなく、多くの人々に共有された文化として存在する。そして宗教を共有する人々は、集団を作り、共に礼拝その他の宗教的実践をするのが一般的である。そこに社会現象としての宗教の問題が生ずる。社会現象としての宗教には、どのような集団が形成されるかという、集団内部の組織の問題と、宗教集団の活動が、外部の一般社会とどのような関係を生じるのかという宗教運動の問題とがある。これらの問題を事実にして考察し、宗教現象の理解を目指したい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の宗教伝統を形成する神道、仏教、儒教など、なかでもその基層をなしている神道的なもの、わが国の社会や文化の形成に、いかにかかわっているのかを考察したい。

履修上の留意点

受講者の人数にもよるが、事実を覚えることより、問題を理解し共に考えることを目指したいと思っているので、とにかく出席して受講して貰いたい。原則として出席をとる。

成績評価の方法

定期試験と、出席点を総合評価する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

随時、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 〔風土と文化〕	たけばやし かずひこ 竹林 和彦	全学科選	4

講義のねらい 人文地理学の基本的概念や思考対象について、具体的な事例を取り上げながら検討してゆく。特に本講義のサブテーマである「風土と文化」について、文化地理学のアプローチを紹介しながら検討していく。講義でアジアを主に取り上げていくが、適宜、ヨーロッパ・アメリカ等の地域と比較検討する。講義は、スライドやOHP等を使用し、事例として取り上げる地域を具体的にイメージできるように進める。

- 講義の内容・授業スケジュール**
1. ガイダンス
 2. 人文地理学の学問的性格
 3. 人文地理学の基本概念
 4. 人文地理学の思考対象とその方法
 5. 人文地理学と地誌学
 6. 地理学にとって文化とは何か？
 7. 地域とは（地域の概念）
 8. 文化地域
 9. 文化生態～主に人間と自然環境のかかわり～
 10. 文化景観
 11. 文化伝播
 12. 東南アジアの風土と文化
 13. 東アジアの風土と文化
 14. 市場の風景
 15. 都市での居住（都市の文化）
 16. 都市と農村
 17. まとめ

履修上の留意点 授業には必ず地図帳（中学・高校で使用したものでもよい）を持参すること。

成績評価の方法 定期試験80%、平常点20%

教科書 特に指定しない。必要に応じて講義中に指示する。

参考書等 特になし。必要に応じて講義中にプリントにて配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
人文地理学 〔空間と行動〕	いとうかつひさ 伊藤 勝久	全学科選	4

講義のねらい 社会科学全般の動向を眺みつつ、その中での人文地理学における空間論／行動論の展開と変化を概観する。

講義の内容・授業スケジュール 全般的な流れとしては、伝統的地理学から機能主義的地理学、歴史主義的地理学、批判主義的地理学、人間主義的地理学等の多様な空間観を把握しつつ、ポストモダニズムの空間論まで網羅する予定。具体的な授業スケジュールは講義初日に配付するシラバスに詳述する。

履修上の留意点 受講者には「データを収集し批判的に分析しつつ持論を展開する」というアカデミアの基本的態度を要望する。従って本講義では、受講者が各講義で得た知識を如何に使い、あるいは論理的に批判する事ができるかを重視したい。その具体的方法に関しては、授業の中で逐次教授する。

成績評価の方法 出席30%、中間試験（小論文）35%、期末試験（小論文）35%の総合点で評価する。

教科書 教科書は講義初日に配付するシラバスにて指示する。

参考書等 参考書等は講義初日に配付するシラバスにて指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育の思想 (前期)	いと う し げ き 伊 藤 茂 樹	経 A 2 選 11以降入学生/経 B 1 選	2

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的機能について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・
授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
・近代社会と教育
・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教 科 書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育の思想 (前期)	は ぎ わ ら けんじろう 萩 原 建 次 郎	経 A ・ 商 2 選 11以降入学生/経 B 1 選	2

講義のねらい

この授業を通し、「私」とのかかわりにおいて「学ぶこと」「生きること」をとらえ直す機会をもちたい。そのために自らの学校教育体験を、人間形成の大きな流れ、ライフサイクルという視点から問い直すこと。そこから、自らの学校教育体験に依拠しながら暗黙のうちに意味付けてしまっている「教育」や「学習」について相対化する視点と感性を養いたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①学習体験をふりかえるー「学び」のマップづくり
- ②人間形成のプロセスをふりかえる1ー私のライフライン
- ③人間形成のプロセスをふりかえる2ー「学び」の自分史
- ④人間形成のプロセスを考える1ーライフサイクル論の検討
- ⑤人間形成のプロセスを考える2ー教養小説にみる人生のプロセス
- ⑥人間形成に関わる「重要な他者」を考えるー子育てエージェントの歴史と現状
- ⑦あらためて私・学校・教育・学習を考える

履修上の留意点

この授業は講義だけではなく、受講者自身の作業が多く含まれる参加型学習である。よって授業への積極的な参加姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらう。

成績評価の方法

小レポート、作品の提出状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して評価する。

教 科 書

とくに使用しない。

参 考 書 等

そのつど紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教育の思想 (前期)	さかもとのぶあき 坂本 信昭	商 2 選 11以降入学生/経B1選	2

講義のねらい

民主主義的教育思想はルソー、ペスタロッチ、フレーベル、エレン・ケイ、デューイなど多くの思想家によって生み出され、継承されて今日に至り、教育思想と実践の面で多様な展開を示した。

20世紀の教育思想を生み出し、継承することに貢献した思想家たちの教育思想・教育目的を概観することを手初めに、次のようなテーマを取り上げて進める。

- ・教育の理想と目的
- ・わが国の教育目的
- ・現代・社会の変化と教育目的
- ・その他

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

教科書

西村絢子他著 『現代教育を考える』 (昭和堂) 2,600円

参考書等

デューイ著 『学校と社会』 (岩波文庫) 410円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教育と社会 (後期)	いとうしげま 伊藤 茂樹	経 A 2 選 11以降入学生/経B1選	2

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会において学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。

- ・現代の教育問題
- ・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がけること。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後期)	はぎわら けんじろう 萩原 建次郎	経 A・商 2 選 !!以降入学生/経 B 1 選	2

講義のねらい

80年代半ばから不登校問題とともに「居場所」という言葉がマスコミに登場したが、いまや教育学、心理学、社会学においてもキーワードになっている。居場所の喪失感が静かに広がる中で、私たちはそこにどのような人間の姿、世界の在り様を感じるのだろうか。この授業ではまず、子どもの自己形成空間と若者の文化変容、大人と子ども・若者の関係性の変容を読み解きながら、「居場所」が何において生まれ、何において失うのかを探っていく。次に「居場所」となりうる場のデザインを日指した具体的な方法論はあるのか、子ども・若者の居場所にかかわるいくつかの実践を手がかりに検討し、教育の可能性を考えていく。

この授業を通して、「居場所」を切り口として今いる自分を見つめなおしながら、他者（子ども・友人・親・先生など）とのかかわりの質を問い直し、さまざまな場面での教育実践に応用していける視点と感性を養ってもらいたいと願っている。

講義の内容・授業スケジュール

- ①「居場所」をめぐる言説の登場
- ②「居場所」の意味を読み解く
- ③子ども・若者の自己形成空間の変容
- ④子ども・若者の居場所空間をデザインする
- ⑤「居場所」に関わる指導者論
- ⑥「居場所」と子どもの参加論

履修上の留意点

授業はできるだけ参加型学習をとりいれたいので、積極的な姿勢が求められる。小レポートを毎回提出してもらう。

成績評価の方法

小レポート、出席状況、授業への参加度、学期末レポートを総合して判断する。

教科書

田中治彦編著 『子ども・若者の「居場所」の構想—「教育」から「関わり」の場へ—』 (学陽書房) 3,000円

参考書等

久田邦明編著 『子ども・若者の居場所』 (萌文社)
ロジャー・ハート著 『子どもの参画』 (萌文社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後期)	さかもと のぶあき 坂本 信昭	商 2 選 !!以降入学生/経 B 1 選	2

講義のねらい

人間の社会に余暇をもつ少数の人々が生まれたときに学校は生まれた。いわば余暇とともに学校は生まれたのである。もし余暇がすべての人々のものとなるとき、それは、社会そのものが全体として学習と教育の場所、つまり学校になるときであるかも知れない。

講義で取り上げるテーマとしては、次のようなものを考えている。

- ・学校教育のあゆみ
- ・学校の社会的機能
- ・学校教育の現実と課題
- ・その他

履修上の留意点

授業の出欠は厳密にとる。

成績評価の方法

課題レポート、自主レポート、試験、出席等により総合的に評価する。

教科書

西村絢子他著 『現代教育を考える』 (昭和堂) 2,600円

参考書等

デューイ著 『学校と社会』 (岩波文庫) 410円

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	おおはま きくこ 大 浜 幾 久 子	経 A・商 2 選 以 降 入 学 生 / 経 B 選	2

講義のねらい

子どもが大人になる過程を20世紀の心理学は、どのようにとりあげ、また解明しようとしてきたのだろうか。他の諸学問分野が心理学の成立に果たしてきた役割にも言及しつつ、次のような基本的な問題をめぐる諸研究を学んでいく。その際、基礎的な心理学実験の実習も試みたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達と学習は、どのように定義され、また両者の関係はどのように説明されるのか。
- 2) 知能の発達と情意の発達は、どのような関係にあるのか。
- 3) 障害をも含む発達および学習における個人差を、どのようにとりあげ得るのか。

成績評価の方法

リポート提出を中心とした平常点評価の予定である。

教科書

参考資料等については、必要に応じて準備、指示していく。

その他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程または社会教育主事講座に登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育心理学（教育方法論を含む）」あるいは「青年心理学（教育方法論を含む）」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	かわだ みつお 川 田 三 夫	経 A・商 2 選 以 降 入 学 生 / 経 B 選	2

講義のねらい

- 1) 子供の成長・発達の概要を理解する。
- 2) 学習心理学の基本的な事項を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 発達や学習の理論
- 2) 乳児期・幼児期
- 3) 児童期
- 4) 青年期
- 5) 青年後期・成人期
- 6) 人格の発達
- 7) 社会性の発達
- 8) 情緒や性意識の発達
- 9) 交友・対人関係の発達
- 10) 若者文化や社会風俗
- 11) 非行等の問題行動
- 12) 情緒障害や神経症的な問題行動
- 13) 学校生活をめぐる問題点
- 14) 試験

履修上の留意点

教科書は指定せずレジメ、資料等を配布し講義を行う。板書を少なくして、学生自身がノートを取るようになっている。日頃から努力して語彙力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

学期末に定期試験を行う。それ以外にも不定期に小試験（論述、レポート）を行うことがある。授業の際に口頭試問や提出してもらうものがあり、評価の際に考慮される。以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教科書

ない。

参考書等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

その他

授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろな質問される。現実を見聞しながら考えてほしいと思っている。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
発達と学習の心理学 (前期)	やまもと まさと 山 本 政 人	経 A・商 2 選	2
		11以降入学生/経 B1選	

講義のねらい

児童・生徒の発達と学習のメカニズム、およびそれらへの援助、指導のあり方について、教育心理学の見地から概説する。

講義の内容・
授業スケジュール

①発達とは何か ②発達の要因 ③発達理論 ④人格発達 ⑤認知発達 ⑥学習理論 ⑦学習の要因 ⑧発達と学習 ⑨発達と教育 ⑩発達・学習と臨床

履修上の留意点

不定期に小レポートを課すことがある。

成績評価の方法

学期末試験の成績に小レポートの成績を加味して行う。

そ の 他

講義形式で行う。教科書は指定しない。参考書は授業で紹介する。授業で資料を配布することがある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
カリキュラムと学習 (後期)	おおはま きくこ 大 浜 幾 久 子	11以降入学生/経 A・商1選	2
		11以降入学生/経 B1選	

講義のねらい

はじめに、学生自身が学んできた小学校、中学校、高等学校における教育課程がどのように編成されていたのかを、当該の学習指導要領により考える。次に、新しい教育課程を学び、その背景にある基本的考え方について考察していく。とくに教科・科目等の具体的内容の削減や再編については、子どもの発達と学習の観点からの考察を深めたい。さらに、諸外国における学習課程の歴史や編成原理について、異文化間教育学的な観点から検討を試みる。その際、潜在的カリキュラムにも注目することとする。

成績評価の方法

レポート提出を中心とした平常点評価の予定である。

参 考 書 等

『(小学校・中学校・高等学校)学習指導要領』(文部科学省)
その他の参考資料については、必要に応じて準備、指示していく。

そ の 他

前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。
この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
カリキュラムと学習 (後期)	かわだ みつお 川 田 三 夫	11以降入学生/経A・商1選	2
		11以降入学生/経B1選	

講義のねらい

- 1) 教育や学習の基本的な事項を学習する。
- 2) 教育課程を中心に学校・学級等の全般的な運営について理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 発達について
- 2) 発達と学習
- 3) 学習理論
- 4) 教育(学)・教育心理学
- 5) 教育方法(歴史の変遷)
- 6) 教育目標
- 7) 教育課程
- 8) 教授-学習
- 9) 教育評価
- 10) 学習指導要領(歴史の変遷)
- 11) 職業教育、生涯学習
- 12) 学校、教師、生徒の諸問題
- 13) その他(教科書、教育制度・教育行政等の問題、障害児教育等)
- 14) 試験

履修上の留意点

教科書は指定せずレジュメ、資料等を配布し講義を行う。板書を少なくして、学生自身がノートを取るようになっている。日頃から努力して語彙力を高めて欲しいと思っている

成績評価の方法

学期末に定期試験を行う。それ以外にも不定期に小試験(論述、レポート)を行うことがある。授業の際に口頭試問や提出してもらいものがあり、評価の際に考慮される。以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教科書

ない。

参考書等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

その他

授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。現実を見聞しながら考えて欲しいと思っている。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
カリキュラムと学習 (後期)	やまもと まさと 山 本 政 人	11以降入学生/経A・商1選	2
		11以降入学生/経B1選	

講義のねらい

児童・生徒の学習のメカニズムを踏まえ、学習指導とカリキュラムのあり方、学習の評価、学習の障害とその指導、教育相談等について概説する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①学習のメカニズム ②学習と動機づけ ③学習方法 ④学習の評価 ⑤学習の障害と指導 ⑥不適応の心理と教育 ⑦教育相談 ⑧学級集団 ⑨カリキュラムと学習 ⑩教師の役割

履修上の留意点

不定期に小レポートを課すことがある。

成績評価の方法

学期末試験の成績に小レポートの成績を加味して行う。

その他

講義形式を中心とするが、可能ならば討論を行いたい。教科書は指定しない。参考書は授業で紹介する。授業で資料を配布することがある。前期、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学 〔現代社会を考える〕	かなざわともひろ 金 澤 朋 広	経 A・商選	4
		12以降入学生/経B選	

講義のねらい	現代社会についていくつかの事例を扱いながら、社会学における基本的な考え方に対する理解を深めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	医療・福祉・組織・情報などの分野で「現代社会」を取り巻く状況を、「社会学」というフィルターを通して考えていく。社会学の基本的な考え方を学びながら、これまでとは違ったものの方を身につけられるようにしていく。
成績評価の方法	講義の中で扱った内容について学年末に行う試験によって評価する。
教科書	開講時に指定。
参考書等	講義時に指定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学 〔現代文化を考える〕	かなざわともひろ 金 澤 朋 広	経 A・商選	4
		12以降入学生/経B選	

講義のねらい	現代社会と文化についていくつかの事例を扱いながら、社会学における基本的な考え方に対する理解を深めることを目的とする。
講義の内容・授業スケジュール	「現代文化」を取り巻く状況を医療・福祉・組織・情報の分野での題材を、「社会学」というフィルターを通して考えていく。社会学の基本的な考え方を学びながら、これまでとは違ったものの方を身につけられるようにしていく。
履修上の留意点	講義の中で扱った内容について学年末に行う試験によって評価する。
成績評価の方法	開講時に指定。
教科書	講義時に指定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
統計学 〔社会現象の統計的決定〕	しんぎょうち こうじ 新行内 康 慈	経 A・商選 12以降入学生/経B選	4

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析、意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門として、その基本的な考え方と諸手法を、現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- ①記述統計 ②標本空間と確率
③確率変数と確率分布 ④母集団と標本
⑤推定 ⑥検定 ⑦相関 ⑧回帰

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

出席状況、課題演習、期末試験を総合して評価します。

教科書

- ・P. G. ホーエル著（浅井晃、村上正康共訳）『初等統計学』（培風館）1,650円
- ・必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

必要に応じて適時紹介します。

その他

教科書・配布資料に基づき、例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするため、適時課題演習を実施します。また、期末試験も実施します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学 〔諸民族とコスモロジー〕	すぎい じゆんいち 杉 井 純 一	経 A・商選 !!以降入学生/経B選	4

講義のねらい

様々な民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、相互の文化的相違についての認識を深める学問です。例えば、人々の生活様式や儀礼、慣行を通して「人間を取りまく世界、宇宙の成りたちやしきみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「他者を理解する」ことの困難さを味わいながら、「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
 - 1. 文化人類学とは何か
 - 2. 文化とコミュニケーション
 - 3. 環境と人間
 - 4. ジェンダーとセクシュアリティ
 - 5. 婚姻・家族・親族
- II 民族とコスモロジー
 - 1. 呪術と宗教
 - 2. 儀礼の構造
 - 3. 儀礼・神話・世界観
 - 4. 神聖王権
 - 5. 民族・宗教・国家

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート（20%）、期末試験（80%）で評価します。

教 科 書

特に指定しません。

参 考 書 等

祖父江孝男『文化人類学入門』（中公新書）
佐々木宏幹・村武精編『宗教人類学』（新曜社）

そ の 他

できるだけ、ビデオを利用します（年に4～5回程度）。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文化人類学 〔諸民族とコスモロジー〕	すずき いっけい 鈴 木 一 馨	経 A・商選 12以降入学生/経B選	4

講義のねらい

文化人類学は、人類を人類としている「文化」というものを、いろいろな方向から検討し、さまざまな文化の姿と、その本質を明らかにし、「人類とはなにか」を問う学問である。

この講義では、コスモロジーというものをどのように理解したらよいかを具体的な事例によって学び、同時に文化人類学ものの考え方を習得していく。それは自分を取巻く文化の形や、自分の所属する文化（集団）を理解することであり、国際化する現代社会の中で、これから出会うであろう異文化と上手に付合う術を学ぶことでもある。

講義の内容・
授業スケジュール

第1部、「文化人類学」の基礎的知識

I. 「文化」と「文化人類学」/II. 「民族」とはなにか

第2部、民族とコスモロジー

I. 「コスモロジー」とはなにか/II. さまざまなコスモロジー

第3部、「風水」のコスモロジーとひとびと

I. 風水をつくる要素/II. 風水と人間社会

履修上の留意点

この講義では学生諸君の積極性を重視する。授業中の質問に答えたり、授業後の不明な点の質問、レポート提出（任意）など、積極的な姿勢を見せてほしい。また、出席には特に厳しくし、出席カードの代筆や代出は厳禁とする。

成績評価の方法

出欠状況・期末試験・小テスト・受講態度など、評価につながるものは全て考慮する。

参 考 書 等

祖父江孝男『文化人類学入門（増補改訂版）』（中公新書560）
 綾部恒雄編『文化人類学15の理論』（中公新書741）
 佐々木宏幹『神と仏と日本人』（吉川弘文館）

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕	わかちけいいち 和知恵一	経A・商選 12以降入学生/経B選	4

講義のねらい

現代社会は、高密度に人が集合し、高度に発展した複雑な社会を構成している。その構成員である我々は、社会にとって必要不可欠である多くの法によって、取り囲まれながら生活している。諸君も、毎日のように電車やバスに乗るであろうし、スーパーマーケットで買い物もするであろう。それらの行為は、すべて法的な側面を持っている。電車に乗り料金を払うことや品物を受け取り代金を払うということは言葉を代えていえば、「権利を行使し、義務を履行することである。」といえる。講座名は「法学・憲法」であるが、サブタイトルは（法と権利）とされている。そこで、本講義においては、『法学の基礎を理解し、その上で、権利及び義務が法によってどう守られ、またどのような制限を受けているのか』を確認・検討してゆく。

講義の内容・
授業スケジュール

講義形式で進める。が、講義はどうしても一方通行になりがちなので、授業中に多数の質問を行い、挙手により回答してもらう。つまり、全員が参加できる授業を目指す。「未成年が行った契約は、どんな効果をもつか」「欠陥商品による被害や悪徳商法に引っかからないためにはどうすべきか」など、数多くの事例を挙げ、具体的に話を進める。また、「医療事故や交通事故にあった場合に、被害の救済はどうなるのか」など社会生活を営む我々の『権利』にスポットを当てて講義する。

講義は、おおよそ以下のスケジュールで進める。憲法については、特別にテーマを定めることをせず、関連するテーマが出てきたときに、随時、該当条文に当たり、年間を通してほぼすべての条文に触れられるよう配慮する。

(1) 法学

1. 法学を学ぶにあたって（権利と義務は反対語か）
2. 法とは何か
3. 法の体系と分類
4. 法の目的
5. 法と裁判
6. 裁判の基準（法源）
7. 法の解釈
8. 法と道徳をめぐる問題

(2) 法と権利

9. 犯罪者の権利と義務
10. 労働者の権利と義務
11. 消費者の権利と義務
12. 患者の権利と義務
13. 企業の責任
14. 憲法上の権利と義務

履修上の留意点

楽しい授業・わかる授業・全員参加型の授業を行う必要からも私語はいっさい認めない。また出席は重視する。原則的に、欠席・遅刻・早退を認めない。教科書・特に六法は毎回準備すること。できるだけ板書を多く行う。その単なる写し作業で終わらないよう、授業の中で十分考察し、理解することが肝要である。したがって単に教場にいるだけでは出席とは認めない。真剣に授業を受けようという意識のある者だけに履修してほしい。

成績評価の方法

出席を重視し、きちんと出席したものに、期末試験の受験資格を与える。その試験の得点に平常点を加味して評価する。

教科書

小林弘人・松村格編 『法学・憲法（新版）』（八千代出版）
塩野宏等編 『ポケット六法（平成14年版）』（有斐閣）
※すでに持っている六法があれば、それで構わない。

参考書等

大久保治男監修 『トピックスくらしの法』（芦書房）
その他授業の中で、随時紹介する。

その他

最初の講義日に受講票を提出してもらう。特別の事情のない限り、初回から出席のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と国家〕	さとう たみお 佐藤 多美夫	経 A・商選 12以降入学生/経 B選	4

講義のねらい

1. 近代憲法の思想史のなかの日本国憲法の位置を考える。
2. 日本国憲法の構造を人権の視点から考える。
3. 判例を材料として、日本国憲法の姿を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 憲法の内容
2. 憲法の歴史
3. 日本国憲法の特徴
4. 人権と憲法
5. 人権の種類①～③
6. 人権規定の効力①～③
7. 人権と政治機構①～⑦
8. 人権と裁判①～⑤
9. 思想と人権①～④
10. 教育と人権
11. 宗教と人権
12. 生存と人権
13. 刑事手続と人権①～③
14. 平和と人権

履修上の留意点

ノートを作成することが望ましい。

成績評価の方法

筆記試験と出席の総合評価とする。

教科書

開講時に指示します。(欠席しないように)

参考書等

『ポケット六法』(有斐閣)

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕 (夏季集中)	にし 西	おまむ 修	4
		全学科選 1?以降入学生/経B選	

講義のねらい

何年前かに発表された日米教育比較に関する米側専門家の報告書によると、日本の大学教育は完全に失敗していると診断しています。「授業は貧弱で、大学生はいたって不勉強」というのがその結論です。日本の大学改革が叫ばれているいま、このような診断が誤りであることを証明する必要がありますと思います。

私は、次のような授業方針でのぞみますので、了解されたい。

- ① 私の教師になってからのモットーは「授業は休まず、遅く始めず、早く終わらず」というものです。したがって、受講者諸君は講義には必ず出席し、かつ授業時間に遅れないように。
- ② あらかじめ講義計画（シラバス）を立て、その計画にそって授業を進めます。この講義計画は別に配布しますが、キーポイントと参考文献が示してあるので、理想的には予習・復習するのが望ましい。
- ③ 授業中の私語・遅刻は、他人の迷惑になるので、絶対に慎んでほしい。
- ④ 成績は平常点を重視。私が独自に作成した出席カードを利用し（質問欄あり）、双方向性を大切に授業内容にします。
- ⑤ 授業内容は、コピーの配布、ビデオ、スライド、OHPなどの活用をはかり、できるかぎり理解を容易にするよう工夫をこらします。
- ⑥ 成績評価の目安は、おおむね以下のとおり。
前期試験30%、後期試験40%、出席・レポート30%
要するに、講義内容を生き活きたものにし、受講者から知的関心を引き出し、知的満足感をもって終了するというのが、最大のねらいです。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義は「法学・憲法」という二つの標題になっていますが、「法と人権」を主たるテーマにしたいと思っています。日本国憲法のみならず、世界を視野において幅広い視点から考察をこころみます。日本国憲法における人権については、判例を中心に検討したいと考えています。取り扱うおもなテーマは、つぎのとおり。

- ① 「法と人権」を学ぶにあたって
- ② 人権の生成と発展（国際的視野にたつて）
- ③ 国民主権の意味
- ④ 平和と人権
- ⑤ 日本国憲法第3章における人権の意味と限界（法の下での平等、参政権、精神的自由、経済的自由、社会権など）
- ⑥ 西洋における人権観とアジアにおける人権観
- ⑦ 社会主義諸国における人権
- ⑧ イスラム諸国における人権
- ⑨ 「共生の権利」を求めて

開講時に指示。

教科書

その他

授業日程
法学・憲法〔法と権利〕

前半								後半							
	1	2	3	4	5	6	7		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○	○	○		8月20日	火	△	△	△	△	△	△
8月2日	金	○	○	○	○	○		8月21日	水						
8月5日	月	○	○	○	○	○		8月22日	木						
8月6日	火	○	○	○	○	○		8月23日	金						
8月7日	水	○	○	○	○	○		8月26日	月						
8月8日	木	○	○	○	○	○		8月27日	火						

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単 位
政治学 〔社会生活とデモクラシー〕	井戸正伸 <small>い 戸 正 伸</small>	経 A・商選 <small>12以降入学生/経B選</small>	4

講義のねらい

グローバル化、高齢化が進む今、先進国の福祉国家はいかなる問題に直面しているのか？各国は、この重要な政策課題に対して、いかなる対応をしてくれているのか？これらの政策対応に各国間の相違は存在しているのか？この講義では、これらの問題について考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

講義は次のスケジュールにしたがって、進めていきます。なお、最初に、よりくわしいシラバスを配りますので、そちらも参照してください。

1. 福祉国家の背景要因：社会連合、制度、グローバル化、高齢化
2. 年金レ짐とは何か？
3. 労働市場レジムとは何か？
4. イギリスの福祉国家
5. アメリカの福祉国家
6. スウェーデンの福祉国家
7. ドイツの福祉国家
8. フランスの福祉国家
9. まとめ：先進国における福祉国家の将来

履修上の留意点

授業中にプリントを配布しますので、授業には出てください。

成績評価の方法

出席、中間試験、期末試験をもとにして、総合的に判定する。

教科書

久塚・岡沢『世界の福祉』（早稲田大学出版会）2,800円

参考書等

その都度、プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経済学 〔現代経済理解へのガイド〕	橋本泰明 <small>は し も と ひ ろ あ き</small>	経 A・商選 <small>12以降入学生/経B選</small>	4

講義のねらい

経済学的なものの見方、考え方を修得することを目標とする。より具体的には、前期では、日本経済の現状を念頭におきつつ、一国の国民の所得や労働環境の決まり方を理論的に把握し、後期では、消費者と生産者の経済的行動が、ものの価格の決定にどう作用するのかを理解することを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期：日本経済の概観 経済循環 国民所得 消費・貯蓄 国民所得の決定要因の分析 物価為替変動と国民所得
後期：需要と供給 無差別曲線 所得の制約 需要量の決定 生産曲線 費用曲線 限界費用曲線 利潤最大化 供給量の決定 市場による価格決定 余剰概念 市場の効率性

履修上の留意点

さまざまな経済政策の背後にある理論の基礎を理解することが目標であるので、かなりの出席率を確保し、しかも授業中に脳細胞を働かせて思考し、論理展開を十分理解することが大切である。いったん考え方をマスターしてしまえば、かなりの応用が利き、試験のための丸暗記は不要になるであろう。

成績評価の方法

前期と後期の二回の筆記テストおよび授業中に課せられる小レポートによる。なお再試験は実施しない。

教科書

小野編著『現代経済学の基礎』（学文社）3,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	おおいし ゆうじ 大石 雄 爾	全学科選 12以降入学生/経B選	4

講義のねらい

私たちをとりまく社会はめまぐるしく変化しています。日本はいまだに「複合不況」とよばれる深刻な経済スランプから抜け出せていません。近年、危機に見まわれたアジア諸国の人々も、貧困にあえいでいるばかりか、好調に推移してきたアメリカ経済も大きくゆらいでいます。また、世界中の国々が協力して地球環境破壊を防止しようと前向きな姿勢を示しているときに、他方では、中東などの地域には戦闘の火だねが残っているのです。こうした問題を私たちはどのように捉えればよいのでしょうか。人々は、人種や信条のちがいを問わず、より豊かに、より自由により安全に生活できることを願っています。社会科学は、社会の仕組みと法則性を明らかにすることをとおして、こうした人類の願いに応える道を探ることを課題としています。複雑きわまらない現代社会の諸問題の原因をさぐり、問題解決への展望をさし示すことが求められている、とあってよいでしょう。

社会科学は、17世紀におけるイギリス資本主義経済の発展とともに芽生え、19世紀、機械成大工業の確立とともに体系的なものへと発展してきました。社会の変化とともに、社会を支配する法則の認識も発展してきたのです。

この講義では、資本主義の経済とそこにおける法や国家の仕組みに焦点をあてて、社会的諸関係を把握する方法について考えてゆきます。とくに、社会科学の前進にとって重要な意味をもった社会学者・思想家の社会観および思想をとり上げて、現代的な意味について考えてみたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 社会科学とは何か
2. 社会の歴史的発展と社会思想
3. 社会科学の生誕：ホブズとロック
4. 資本主義経済の把握：スミスとリスト
5. 資本主義の経済と国家：マルクスとウェーバー
6. 現代資本主義の捉え方：レーニン・ケインズ・ガルブレイス
7. 資本主義と民族
8. 現代社会の思想的諸潮流

なお、現代社会の時事的な諸問題についても、随時とり上げてみるつもりです。

履修上の留意点

この講義は、年間の講義をとおして聞くことではじめて社会科学の意味とおもしろさが理解できるように組み立てられています。また、講義を聴きながらノートをとるという作業を1年間続けることによって、皆さんの理解力、書写能力も飛躍的に高まります。講義には毎回出席することが前提です。

成績評価の方法

授業中に小レポートを作成してもらうことがあります。成績は、この小レポートと後期に行なわれる定期試験の点数の合計点で評価します。追再試を実施します。

参考書等

高嶋善哉『社会科学入門』（岩波新書）
 平野喜一郎『社会科学の生誕』（大月書店）
 城塚登編著『社会思想史の構図』（八千代出版）
 大石雄爾『商品の価値と価格』（創風社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教育学 〔デス・エデュケーション〕	やなぎほり 柳 堀 素雅子	全 学 科 選	4

講義のねらい

20世紀は医療が急速に進歩した時代であった。医学、医療が進めば、病気の治療も進み、これまで治療不可能と考えられてきた病気が、どんどん治療可能になってきた。現代医療のメリットだけを見ていれば夢と希望にあふれているが、デメリット、現代医療の影の部分、悪い部分にも目を向けることを忘れてはならないだろう。

たとえばヒトゲノム（人間の全遺伝子）が解読されたことは、オーダーメイド医療の普及や新薬の開発につながる可能性は大きい。しかし遺伝子情報は個人のプライバシーに触れるため、情報の管理がきちんとしていなければ重大な人権侵害となる。あるいは「脳死は死である」という社会的な合意が成立していない現時点で、脳死になった人からの臓器を勝手に摘出して他人に移植することは許されない。また植物状態になった人の人工呼吸器ははずしてもいいのか否かといった問題などもある。

現代医療の進歩にともなって、人間の生と死をめぐる新たな問題が噴出してきてきた。いずれも根本的解決には至っていない。以上のような人間の生と死をめぐるさまざまな問題について考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ・現代の医療をめぐる状況
- ・バイオエシックスとは何か
- ・生命をめぐる新しい視点
- ・人権の保護と生命の尊厳との相剋など

履修上の留意点

新聞等の医療問題記事には、なるべく目を通して欲しい。

成績評価の方法

出席、レポート提出等を総合的に評価する。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

必要なものをその都度紹介します。

そ の 他

授業の方法－講義、ビデオ、OHP、討論

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育心理 〔大学生の心理－教育臨床心理学の立場から－〕	の な か ひ ろ と し 野 中 弘 敏	全 学 科 選	4

講義のねらい

「心の健康」なる言葉を耳にすることがありますが、人がいろいろな意味でできる限り「豊かに」生きていこうとするのはなかなか大変なことのようです。そして様々ないきさつから、人が「心のつまずき」を経験することも少なからずあるようですし、それぞれ生い立ちや出会った人々、とりまく環境も様々な人間の「心を理解する」といっても、それについてただ一つの公式があるというわけでもなさそうです。

「心理学」と一口に言っても、人間の心の作用や行動などに関して、焦点を当てる領域や研究方法はきわめて多岐にわたっています。この講義では、主に臨床心理学の立場から、「心のつまずき」に対する広い意味での「心理臨床的援助」の実際と、そのような援助の手がかりとなる基本的な考え方を紹介したいと思います。また、心理臨床的援助の実際のありようを通じて、人のこころや他者との関係の構造・成り立ち・はたらきについて、これまでの理論でどのような仮説が与えられてきたか、などをお話しできればと思います。

講義の中で紹介する理論や話題を、自分の体験や身の回りで触れる出来事などについて考えてみるきっかけに生かしてもらえたら幸いです。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね以下のトピックをとりあげる予定です。

- ・「心理的異常」の考え方をめぐって
- ・人間の心理－社会的発達
- ・人格の構造と機能
- ・心理臨床的アセスメント（心理検査など）
- ・心理療法の基本的考え方
- ・さまざまな心理臨床現場での実際

成績評価の方法

夏休み（前）のレポートと年度末の試験（持込不可）とを併せて考慮します。

参 考 書 等

一読をお勧めしたい文献などは、その都度の講義の中で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生物学 〔生態と進化〕	しみず よしかず 清 水 善 和	経 A・商選 12以降入学生/経B選	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後に連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を背負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20 mを超すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この多様、複雑な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の進化、多様性、遺伝子を3つのキーワードにして、生物の分類や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化-我ら生物みな兄弟
 - (1) 生命の歴史性
 - (2) 遺伝子と生命現象
 - (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化-偶然と必然が織りなす奇跡
 - (1) 地質年代図
 - (2) マーグリスの共生説
 - (3) カンブリアの爆発
 - (4) 大量絶滅
 - (5) 生物の上陸
- 第3章 系統と分類-名もなき雑草はない
 - (1) リンネ式分類体系
 - (2) 生物五界説
 - (3) 種の定義と属性
 - (4) 分子時計と系統樹
- 第4章 行動と進化-生物は誰がために生きるか
 - (1) 動物行動学の歩み
 - (2) 適応度とゲーム理論
 - (3) 利他的行動と血縁淘汰
 - (4) 性選択と性比
 - (5) 利己的遺伝子
- 第5章 個体群生物学-産めよ殖えよ地に満てよ
 - (1) 潜在的な増殖率
 - (2) 密度効果
 - (3) 生命表
- 第6章 共生と競争-出し抜きながら深い仲
 - (1) 種間関係と共生
 - (2) 花と昆虫の共進化
 - (3) 菌根
 - (4) 擬態
- 第7章 人類の進化-ヒトは唯一の生き残り
 - (1) 霊長類の系統
 - (2) ヒトの発展段階
 - (3) ホミニゼーション(ヒト化)
 - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論-進化論も進化する
 - (1) ダーウィン以前
 - (2) ダーウィン進化論
 - (3) ネオ・ダーウィニズム
 - (4) 進化論批判
- 第9章 生態系-命は無数のつながりの中で
 - (1) 生態系(エコ・システム)
 - (2) 食物連鎖と生物濃縮
 - (3) 光合成と呼吸

- (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環-元素はめぐるよどこまでも
 - (1) 物質循環の大原則
 - (2) 水の循環
 - (3) 炭素の循環
 - (4) 窒素の循環
 - (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移-裸地もいずれは森林に
 - (1) 遷移のモデル
 - (2) さまざまな遷移
 - (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性-多様な世界に未来あり
 - (1) 3つの多様性
 - (2) 多様性の尺度
 - (3) 生物地理区と植生帯
 - (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物-生物界のグローバリゼーション
 - (1) 里山の生物
 - (2) 都市と生物
 - (3) 帰化種の侵入

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

レポート、試験、出席を勘案して評価する。

教科書

特に定めない。

参考書等

適宜紹介する。

その他

必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地球科学 〔地球環境の現在・過去・未来〕	やまがた 山 縣 たけし 毅	経 A・商選 1 以降入学生/経B選	4

講義のねらい

現在、地球温暖化、海水準の上昇、オゾン層の破壊などの地球規模の自然環境の変化が、21世紀の大きな問題として捉えられています。これらの問題に対処する手段、特に自然環境がどのように過去、将来において変化し、それが何に起因するかを推定・予測する手段の一つとして地球科学があります。本講義では、地球科学による過去の環境（古環境）の推定・復元方法を、地球環境の変遷を創生期から現在までたどりながら、理解してもらうことを目標としています。

また、私たちが住んでいる関東地方の古環境の復元も、いくつかの地域を例に取りながら解説していきます。受講者にとって、自分の居住地域と共にグローバルな自然環境についても考える契機になることを期待します。

講義の内容・
授業スケジュール

前半に地球科学の概説を行い、後半に地球環境の変遷、関東地方の地質について講義をしていきます。

1. 地球の内部構造と地質変動
2. 地球の環境変遷
3. 関東地方の地質
 - ・関東平野の断層と地震
 - ・房総・三浦半島の地質－付加テクトニクス－
 - ・伊豆大島、箱根の火山活動
 - ・関東山地の地質
 - ・関東平野の地下表層部の地質

成績評価の方法

定期試験と出席状況により評価します。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

『最新 図表地学』（浜島書店） ISBN 4 - 8343 - 4002 - 3 C7344

そ の 他

OHP、スライド等を使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
自然環境論 〔生命と環境〕	もちまる まりり 持 丸 真 里	経 A・商選	4
		12以降入学生/経B選	

講義のねらい

生物を中心とした自然環境の仕組みを理解した上で、現代の人間活動が生態系へもたらしている諸問題について考えることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は基礎知識として、生物の基本構造と多様性、物質及びエネルギー代謝、生態系の成り立ちなどについて解説する。
後期は、生化学・生態学的な視点を要求される現代の諸問題について各論的に取り上げてゆく。

- ①生態系の化学物質汚染：有機塩素系化合物の生物濃縮
内分泌攪乱物質
オゾン層破壊

- ②生物の多様性の危機：熱帯林の破壊
近代農業・林業の問題点（自然科学の観点から）

これらの事例を通して、生態系の保全のためにどのような姿勢が要求されるか考察する。

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

教 科 書

なし

参 考 書 等

大石正道 『入門ビジュアルエコロジー 生態系と地球環境のしくみ』（日本実業出版社）
1,500円
その他、講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
自然環境論 〔自然史と環境〕	藤井 享	経 A・商選 ?以降入学生/経B選	4

講義のねらい

最新の地質時代を第四紀というが、この時代は約170万年前にはじまり寒冷な氷期と比較的温暖な間氷期を繰り返した時代である。この170万年間には少なくとも6回の氷期が確認されているが、このうち最終の氷期を「ヴェルム氷期」と呼ぶ。ヴェルム氷期は約72,000年前にはじまり約1万年前までの62,000年間継続したとみられる。つまり、長く続いた氷河時代の、最後の氷期が終わったのはごく最近のことなのである。私たちは今、最終氷期のあとの、東の間の温暖期に生きているのである。

ヴェルム氷期の中でも、約2万年前から約18,000年前は特に寒かった時代であり、現在の氷河分布面積の約3倍にあたるおよそ4,900万km³もの氷河が陸地を覆っていたとみられる。北半球についてみると、それらの大部分は北緯40°以北に分布していた。

では、その頃の日本列島はどのような自然環境下にあったのであろうか。本講義は最終氷期以後の気候や植生、地形など気候変動に伴う自然環境の変化について考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業は最終氷期（ヴェルム氷期）と現在、後氷期（最温暖期）と現在の各気候、海面変化、植生、地形等の自然環境を比較しながら進めたいと思う。その内容とスケジュールは下記のとおりである。

- ① 第四紀の編年と氷期・間氷期
- ② ケッペンの気候分類と寒冷高緯度地域の気候
- ③ 日本列島周辺の気候と植生分布
- ④ 最終氷期の気候と植生変化
- ⑤ 日本海の古環境
- ⑥ 海面変動と地形の変化
- ⑦ 後氷期の自然と環境

履修上の留意点

この講義は、大気汚染、水質汚濁、地球温暖化等の「地球環境問題」を論ずるものではなく、最終氷期から後氷期に至る気候や地形、植生等の自然変遷史を考察するものである。したがって、ヴェルム氷期以後の自然史を扱うので、留意してほしい。

講義の中で地図を多用するので、講義ノートとともに地図帳を準備してほしい。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席状況を総合して評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

講義の中で紹介する。

その他

講義形式であるが、必要によりビデオ、スライド等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然環境論 〔環境と保全〕 (夏季集中)	やまがた 山 縣 たけし 毅	全 学 科 選	4
		1?以降入学生/経B選	

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化
(地球温暖化、大気の酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

成績評価の方法

定期試験と出席状況により評価します。

教科書

特に定めない。

参考書等

講義の中で紹介します。

その他

OHP、スライド等を使用します。

授業日程

自然環境論〔環境と保全〕

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○	○	○			8月20日	火							
8月2日	金	○	○	○	○	○			8月21日	水							
8月5日	月	○	○	○	○	○			8月22日	木							
8月6日	火	○	○	○	○	○			8月23日	金							
8月7日	水	○	○	○	○	○			8月26日	月							
8月8日	木	○	○	○	○	○			8月27日	火							

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然誌 〔現代の自然像〕	しみず 清水 持丸 よしかず 善和 眞理 しのほら 篠原 山縣 まさお 正雄 だけし 毅	経 A・商 選	4

講義のねらい

我々は何者か、なぜ、今ここにいるのか？ 大宇宙の中で人類存在の意味を問う本質的には哲学的なこの問いに対して、20世紀の自然科学が見いだした一応の答えは、我々を取り巻く自然環境が100億年を越える宇宙の進化と、46億年の地球及び生命の進化の果てに出来上がったかけがえないものであることを語っている。一方で、今世紀の科学技術の発展は、このかけがえない自然環境を脅かすに至っている。もはや科学の未来は科学者だけの問題ではありえない。社会を構成する一人一人が考えねばならないことである。

本講義では自然科学教室の専門を異にする4人の教員がそれぞれの専門分野の知識を持ち寄り、自然の階層構造と進化を軸に現代科学諸分野を総合して得られる自然像を語る。それは自然界全体を総合的、統一的にとらえるナチュラル・ヒストリー（博物学、自然誌）の伝統を現代的に蘇らせる試みでもある。地球の未来に向けいかなる道を目指すべきかを考える足掛かりとしてほしい。

講義の内容・授業スケジュール

自然科学教室の専任教員4人により、1人6回程度の輪講形式で行われる。
宇宙の始まりから地球と生命の進化を経て人類の時代に至る自然の歴史をたどり、私達にとっての自然環境がどのようにして今日の姿をとるようになったかを学ぶ。また、21世紀の重要課題となる地球環境問題の本質とその解決の方向についても考察する。

- 第1講 宇宙の進化と地球の起源 篠原正雄
 - (1) 宇宙の起源（自然の階層構造、膨張する宇宙、ビッグバンと元素の起源）
 - (2) 星の進化と物質の進化（星の一生、星間物質の進化、銀河の渦と星生成領域）
 - (3) 太陽系と地球の起源（太陽系起源仮説、牡牛座T型星、宇宙の有機化合物）
 - (4) 太陽と地球の進化（地球の核の形成、大気と海の起源、太陽の進化と地球環境）
 - (5) 宇宙の中の地球（太陽放射の変動、地球軌道の変化、隕石、銀河系）
- 第2講 生命の起源と進化 清水善和
 - (1) 生命の起源（生物体を作る物質、遺伝暗号とタンパク質合成、生命起源仮説）
 - (2) 生物の進化と進化論（生物進化40億年の歴史、進化のメカニズム、現代進化論）
 - (3) 人類の進化（霊長類の系統、ヒトの発展段階、ホミニゼーション）
 - (4) 生物の多様性（分類体系、生物多様性、植生帯、動植物の分布）
- 第3講 地球環境形成の歴史 山縣毅
 - (1) 地球環境の変遷（プレュームテクトニクスからプレートテクトニクス）
 - (2) 地震のメカニズムとその災害
 - (3) 火山活動のメカニズムとその災害
 - (4) 大陸移動による気候変化
- 第4講 産業の発達と環境の変化 持丸真里
 - (1) 化石燃料の消費と大気の変化（地球温暖化、大気汚染）
 - (2) 環境問題の歴史（公害から環境基本法制定まで）
 - (3) 石油化学工業の発達と生態系への影響
 - (4) 未来へ向けて-石油代替エネルギーの開発とその評価

履修上の留意点

本科目は1年間の継続的な講義を通じて総合的な自然像を養うことを目的としているので、毎回出席するのが困難な卒業年次生や運動部員等は履修を控えてほしい。一般の通年科目と異なり、4回の評価（テストやレポート等）を受けねばならないことの自覚をもって履修してほしい。

成績評価の方法

各担当者毎に小テストやレポート等の方法で評価し、最終的に4人の採点を合算して成績評価とする。

教科書

特になし。

参考書等

各担当者がそれぞれ講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学(1) 〔微積分学入門〕	おざわ まこと 小 沢 誠	全学科選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである微積分学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、一変数関数・一変数関数の微分・一変数関数の積分を、後期に、二変数関数・二変数関数の微分・二変数関数の積分を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子 『やさしく学べる微積分』 (共立出版) 2,000円

参考書等

石村園子 『やさしく学べる基礎数学 線形代数・微積分』 (共立出版) 2,000円

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単位
数学(2) 〔線形代数学入門〕	おざわ まこと 小 沢 誠	全学科選	4

講義のねらい

数学の基礎分野の一つである線形代数学の入門的事項を学ぶ。将来必要になった時に困らないよう、例題を丁寧に解説し、練習問題を解けるようにする。また、単に問題が解けるだけでなく、その過程において、論理的思想を身に付けることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、行列・連立一次方程式・行列式を、後期に、空間ベクトル・線形空間・内積空間を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教科書

石村園子 『やさしく学べる線形代数』 (共立出版) 2,000円

参考書等

石村園子 『やさしく学べる基礎数学 線形代数・微積分』 (共立出版) 2,000円

その他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
数学(3) 〔現代数学入門〕	ふく だ けん い ち 福田 賢 一	全 学 科 選	4

講義のねらい	現代数学の基礎概念を、諸科学への応用例を通して学ぶ。特に社会現象に応用例を求め具体的事例から無理のない抽象化を計り、理論体系の理解、実的な応用力の養成を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	1. 論理の基礎 2. 論理の応用 3. 線型代数 4. 線型計画法 5. 幾何学 6. 微分法 7. 積分法 8. 微積分法とその応用 9. 確率現象とその捉え方 10. 種々の応用
履修上の留意点	高校2年程度の平均的な学力があれば十分理解できるが、数学は系統性の強い学問であるから、基本的な事項を確実に理解する必要がある。
成績評価の方法	期末試験、レポート、小テスト等の結果を総合的に判定する。
教科書	使用しない。プリントを配布する。
参考書等	その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報数学 〔情報と論理〕	た か ほ し か ず よ し 高 橋 一 嘉	全 学 科 選 12以降入学生/経B選	4

講義のねらい	コンピュータ科学やコンピュータによる情報処理などについて学ぶ際に必要な基礎数学を解説する。
講義の内容・授業スケジュール	本年度は初歩的な初等整数論から始めて、公開鍵暗号のひとつであるRSA暗号について解説する予定である。
履修上の留意点	予備知識は仮定しないが、出題された演習を必ず解いているものとする。
成績評価の方法	評価は原則として前期末と後期末の2回の試験によって行う。
教科書	楫 元著『情報数理解シリーズA-5 工科系のための初等整数論入門-公開鍵暗号をめざして-』(培風館) 2,400円を使用する。
参考書等	必要に応じて紹介する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
物理学 〔光と物質〕	しのはらまさお 篠原正雄	経 A・商選	4

講義のねらい

地上の天文学者は天体から来る光を分析して、手の届かない天体を作る物質の種類、温度、運動などを読み取る。この天体物理学の方法は物質と光の関係の物理学的研究に伴って発展してきた。

本講では「光とはどのようなものか、光と物質の関係は？」という問いをめぐるさまざまな事柄を取り上げる。「光学」に限定されず、力学、電磁気学、熱力学、量子力学、宇宙物理等に及ぶ。

講義の目的は、光について学ぶことを通して、物理学的な目で世界を見ることを体験していただくことにある。数式は物理学に不可欠な言葉ではあるが、大切なのは数式により表現された意味である。数式の使用は極力避け、用いる場合はその意味をできるだけ平易に説明するので、数学的な予備知識は必要としない。

講義の内容・
授業スケジュール

次のような項目について講義する。

波としての光

光線 影 鏡 曇気楼 透明人間

光波 音波・地震波・水の波 シャボン玉の色

色とは何か

色即是波長？ 虹は七色か 三原色 茶色い光の波長？

電磁波としての光

電気と磁気 電磁波 光の速度と電磁気 電波望遠鏡 X線とガンマ線

光子 熱と光 星の色 人の光 原子構造と光 光波は粒子・電子は波

光と宇宙

光速不変 ブラックホール 膨張する宇宙 光の旅

履修上の留意点

十分に出席する自信のない者は、履修しないようお勧めする。

成績評価の方法

数回のテストを含む平常点を主に評価する。ただし、単位取得を希望する者は簡単な期末試験も受けていただく。

教科書

藤城敏幸著『生活の中の物理』（東京教学社）1,800円

参考書等

本間三郎・山田作衛著『電気の謎をさぐる』（岩波新書）563円。その他、講義の中で適宜紹介する。

その他

講義を中心とするが、理解を深めるためにほぼ毎回問題を考えてもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
化学 〔衣食住の化学〕	もちまる まり 持 丸 真 里	全 学 科 選	4

講義のねらい

現代の日常生活にあふれる化学物質について広く取り上げ、その利便性と問題点を理解するための基礎知識を解説してゆく。各受講生が、化学物質・技術の適用の可否や環境問題について、正確な基礎知識に基づいた意見を持てるようになることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、生体への化学物質の作用を理解するために必要な有機化学及び生化学の基礎について講義する。

その後、衣食住の化学として、以下のような各論の解説を行う予定である。

- ①衣の化学：合成繊維
合成洗剤（酵素化学の基礎、水質汚染問題も含む）
- ②食の化学：遺伝子組換え食品（遺伝子工学の基礎を含む）
食品の安全性
- ③住の化学：ダイオキシン問題
内分泌攪乱物質
フロン類によるオゾン層破壊 など

履修上の留意点

授業中の私語・飲食・携帯電話の使用は禁止。講義は、基礎的内容から順次、発展的・先端的事項へと進むので、欠席すると理解が困難になることを留意の上、履修すること。

成績評価の方法

出席点と筆記試験による。

教科書

なし

参考書等

講義の中で随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
宇宙科学 〔星と銀河〕	しの はら まさお 篠 原 正 雄	経 A・商 選	4

講義のねらい

観測装置やコンピューターの発展に伴い、宇宙の研究は急速に進展している。本講では現代の天文学が描く宇宙の姿を研究の手法と併せて紹介する。

宇宙が昔思われたような永遠不変・不生不滅の静かな広がりではなく、むしろ荒々しいまでにダイナミックな進化していく世界であること、我々人類もまたそうした宇宙の歴史の所産であることを知っていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は恒星について講義する。初めに最もよく知られた恒星である太陽について、構造やエネルギー源を調べる。次に恒星一般について、研究の方法、恒星の分類、その結果わかってきた恒星の進化についてのべる。最後に、太陽系の起源について最近の説を紹介する。

後期は銀河系および宇宙の起源と進化について講義する。銀河系の中で、星間物質から星々が生まれては、再び星間物質へと戻っていくことを繰り返す中で、物質が進化してきた。この過程の重要な現場である星生成領域の研究を紹介しつつ、前期に触れた恒星の進化を銀河系の進化の側面から捉えなおす。

星と銀河についての知識はほとんどすべて20世紀になって明らかにされたものである。前世紀の成果をふり返り、新世紀の天文学を展望しつつ講義を進めたい。

成績評価の方法

年度末の筆記試験による。平常点を加味する。

教科書

高瀬文志郎『星・銀河・宇宙』（地人書館）1,800円

その他

講義を中心とするが、天体の映像などを多用する予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (1)(4)(6)(9) [コンピュータの実際] (前期) (後期)	お ざ わ 小 沢 まこと 誠	経 A・商選	2

講義のねらい

HTML (Hypertext Markup Language) 及びCSS (Cascading Style Sheet) を学ぶ。同時に、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようにする。最終的に、自分のホームページを公開できるようにすることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学ぶ。HTMLでは基本構造・テキスト・スタイル・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・表示形式と配置方法・リストを扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。

成績評価の方法

レポートで評価する。HTML・CSS・内容の3点を重視する。

教 科 書

HTML 4.01 Specification (<http://www.w3.org/TR/html4/>)、Cascading Style Sheets, level 2 (<http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/>)

参 考 書 等

The World Wide Web Consortium (<http://www.w3.org/>)

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (12) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	おざわ まこと 小 沢 誠	経 A・商選	2

講義のねらい	HTML (Hypertext Markup Language) 及びCSS (Cascading Style Sheet) を学ぶ。同時に、コンピュータの基本的な知識や操作方法等も習得できるようにする。最終的に、自分のホームページを公開できるようにすることを目標とする。
講義の内容・授業スケジュール	まず前半部分にHTML、後半部分にCSSの基礎を学ぶ。HTMLでは基本構造・テキスト・スタイル・リスト・テーブル・リンクを、CSSではフォント・テキスト・色と背景・ボックス・表示形式と配置方法・リストを扱う。
履修上の留意点	毎回出席すること。
成績評価の方法	レポートで評価する。HTML・CSS・内容の三点を重視する。
教科書	HTML 4.01 Specification (http://www.w3.org/TR/html4/)、Cascading Style Sheets, level 2 (http://www.w3.org/TR/REC-CSS2/)
参考書等	The World Wide Web Consortium (http://www.w3.org/)
その他	実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程
コンピュータ基礎 (12)

前半								後半							
	1	2	3	4	5	6	7		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○				8月20日	火						
8月2日	金	○	○	○				8月21日	水						
8月5日	月	○	○	○				8月22日	木						
8月6日	火	○	○	○				8月23日	金						
8月7日	水	○	○	○				8月26日	月						
8月8日	木	△	△	△				8月27日	火						

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
コンピュータ基礎 (2)(7)(23)(24) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	やまもと ひろのぶ 山本博信	経A・商選	2

講義のねらい

EUCを念頭に置いた”コンピュータリテラシ”および”情報リテラシ”を実習を通じて理解する。特に、インターネットの原理や原則を学ぶ。インターネット上で実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

パソコンの高性能化やLANの普及により、ユーザは自分たちで情報を収集し処理加工して利用することができる。(1)表現手段としてのコンピュータ、(2)情報処理手段としてのコンピュータ、(3)コミュニケーション手段としてのコンピュータ、それぞれについて実習を通じて理解を深める。電子メールやWWWなどのインターネットのサービスを、できる限り具体的に技術的・倫理的側面などを加味した上で活用する。

- ・コンピュータによる情報処理
- ・コンピュータ・リテラシの理解
- ・Windowsの環境(個人情報)の自己管理)
- ・電子メールの利用
- ・文章の作成技法(自己の主張と他社の発言の区別、引用などのスタイル)、文章の編集
- ・文章の構成(構造的文書作成とドキュメント管理)
- ・インターネットの基本
- ・Webページの作成
- ・インターネットの諸サービス
- ・インターネットの利用(情報収集と文書作成)
- ・情報発信の法的・倫理的責任(知的財産権、個人情報保護法、モラル)

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業期間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

教科書

未定

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (3)(8) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	おがわ けんじろう 小川 健次郎	経 A・商選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。利用申請は、授業の中で適宜行う。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (5)(10) 〔コンピュータの実際〕 (前期)(後期)	たけだ よういち 竹田 洋一	経 A・商選	2

講義のねらい

これまでコンピュータにあまり接したことの無い初心者を対象にして、ビジネス社会に出たときに戸惑わない程度までの初歩的なパソコンでの情報処理能力を実習を通して身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

情報教育センターのパソコン(OSはWindows)で主としてワープロソフト(WORD)と表計算ソフト(EXCEL)を用いる実習を行う。Windowsの基本的操作、日本語入力の仕方、基礎的な文書装飾、基本的な表計算とデータ処理、などを扱う予定である。

履修上の留意点

一人一台のパソコンを使用する授業であるが教場のパソコン台数には限りがあるので受講希望者多数の場合は抽選を行う。また授業での学習だけでは不十分なので積極的な自主学習(自宅または情報センターの自習室などのパソコンで)を並行して行うことが強く望まれる。

成績評価の方法

毎回の出席状況、提出してもらった課題、そして筆記テストの三つを総合的に判断して最終的な成績評価を行う。

教科書

教科書は使用しない。そのかわり毎回プリントを配布する。

参考書等

参考書は必要に応じて適宜授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (11) (15) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	た け だ よ う い ち 竹 田 洋 一	経 A・商 選	2

講義のねらい

これまでコンピュータにあまり接したことの無い初心者を対象にして、ビジネス社会に出たときに戸惑わない程度までの初歩的なパソコンでの情報処理能力を実習を通して身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

情報教育センターのパソコン（OSはWindows）で主としてワープロソフト（WORD）と表計算ソフト（EXCEL）を用いる実習を行う。Windowsの基本的操作、日本語入力の仕方、基礎的な文書装飾、基本的な表計算とデータ処理、などを扱う予定である。

履修上の留意点

一人一台のパソコンを使用する授業であるが教場のパソコン台数には限りがあるので受講希望者多数の場合は抽選を行う。また授業での学習だけでは不十分なので積極的な自主学習（自宅または情報センターの自習室などのパソコンで）を並行して行うことが強く望まれる。

成績評価の方法

毎回の出席状況、提出してもらった課題、そして筆記テストの三つを総合的に判断して最終的な成績評価を行う。

教科書

教科書は使用しない。そのかわり毎回プリントを配布する。

参考書等

参考書は必要に応じて適宜授業の中で紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎 (11)

前半	1	2	3	4	5	6	7	後半	1	2	3	4	5	6	7
8月1日 木	○	○	○					8月20日 火							
8月2日 金	○	○	○					8月21日 水							
8月5日 月	○	○	○					8月22日 木							
8月6日 火	○	○	○					8月23日 金							
8月7日 水	○	○	○					8月26日 月							
8月8日 木	△	△	△					8月27日 火							

△は予備日

コンピュータ基礎 (15)

前半	1	2	3	4	5	6	7	後半	1	2	3	4	5	6	7
8月1日 木				○	○	○		8月20日 火							
8月2日 金				○	○	○		8月21日 水							
8月5日 月				○	○	○		8月22日 木							
8月6日 火				○	○	○		8月23日 金							
8月7日 水				○	○	○		8月26日 月							
8月8日 木				△	△	△		8月27日 火							

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (16) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	たかはし かずよし 高 橋 一 嘉	経 A・商 選	2

講義のねらい

コンピュータに対する基礎知識を習得し、基本的なソフトウェアやHTML言語の実習などを通じて、コンピュータでの情報処理能力を養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータに対する基礎知識（構成要素・動作原理等）の解説から始めて、ハードウェアとソフトウェアの役割、プログラム言語とプログラミング等の簡単な解説をし、それぞれについてコンピュータを操作する実習を行う。具体的には、基本的なソフトウェア（ワープロ、表計算、インターネットアクセス等）とHTML言語の実習及び簡単なプログラミングの演習を行いたい。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、集中講義なので講義には毎日必ず出席すること。
講義開始日までに駒澤大学総合情報センターのコンピュータ利用申請を済ませておくこと。
なお、本講義はコンピュータ初心者対象である。

成績評価の方法

評価は授業時間中に行う演習やレポートによって行う。

教科書

必要に応じて適宜指定する予定である。

参考書等

必要に応じて紹介する予定である。

その他

実習のため計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎 (16)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木				○	○	○		8月20日	火							
8月2日	金				○	○	○		8月21日	水							
8月5日	月				○	○	○		8月22日	木							
8月6日	火				○	○	○		8月23日	金							
8月7日	水				○	○	○		8月26日	月							
8月8日	木				△	△	△		8月27日	火							

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (13) (17) [コンピュータの実際] (夏季集中)	やまもと ひろのぶ 山 本 博 信	経 A・商選	2

講義のねらい

EUCを念頭に置いた”コンピュータリテラシ”および”情報リテラシ”を実習を通じて理解する。特に、インターネットの原理や原則を学ぶ。インターネット上で実現されている様々なサービスを実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

パソコンの高性能化やLANの普及により、ユーザは自分たちで情報を収集し処理加工して利用することができる。電子メールやWWWなどのインターネットのサービスを、できる限り具体的に技術的・倫理的側面などを加味した上で活用する。あらかじめ収集、蓄積した情報を分析することによって問題を解決する(グループ演習によって行う)。

- ・コンピュータによる情報処理
- ・コンピュータ・リテラシの理解
- ・表計算処理の概念
 - (1) 行・列の計算 (2) ファイル形式 (3) 並べ替え、平均、集計、分散 (4) データの視覚化 (5) 統合的利用(ワープロ文書への表・グラフの埋め込み) (6) マクロ機能
- ・Windowsの環境(個人情報の自己管理)
- ・電子メールの利用
- ・インターネットの利用(情報収集と文書作成)
- ・Webページの作成(内容の構造化、表現および技術)
- ・情報発信の法的・倫理的責任(知的財産権、個人情報保護法、モラル)
- ・情報生産のプロセスの演習

(1) 演習の方法 (2) メディアを利用したグループ演習 (3) 情報システムの活用について

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。

成績評価の方法

評価は授業期間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

教科書

未定

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもある。

授業日程
コンピュータ基礎 (13)

前半	1	2	3	4	5	6	7	後半	1	2	3	4	5	6	7
8月1日 木	○	○	○					8月20日 火							
8月2日 金	△							8月21日 水							
8月5日 月	○	○	○					8月22日 木							
8月6日 火	○	○	○					8月23日 金							
8月7日 水	○	○	○					8月26日 月							
8月8日 木	○	○	○					8月27日 火							

△は予備日

コンピュータ基礎 (17)

前半	1	2	3	4	5	6	7	後半	1	2	3	4	5	6	7
8月1日 木								8月20日 火	○	○	○				
8月2日 金								8月21日 水	○	○	○				
8月5日 月								8月22日 木	○	○	○				
8月6日 火								8月23日 金							
8月7日 水								8月26日 月	○	○	○				
8月8日 木								8月27日 火	○	○	○				

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (14) (18) (19) (21) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	ながさか ひろふみ 長 坂 浩 史	経 A・商 選	2

講義のねらい

初心者を対象にして、コンピュータの概要の把握、一通りの基本的な操作能力の習得を目標とする。また、社会に出たとき必ず要求されると思われる「入手した情報を自分なりに整理し、体裁を整えて他者に伝える」ということの基礎を学んでもらう。て他者に伝える」ということの基礎を学んでもらう。

講義の内容・授業スケジュール

情報教育センターのパソコン（OSはWindows）を使用し、実習を行う。ワープロソフト、表計算、データ処理、インターネット上のサービス利用（電子メール、WWW）等を通り体験したあと、これらを総合した簡単な資料の作成をしてもらうつもり。この資料はウェブページの体裁で作成してもらうので、ウェブページ作成のための基本も学ぶことになる。

履修上の留意点

初心者を対象としていることに注意。
予備知識は仮定しないが、短期集中講義なので毎回出席し、課題は必ず提出すること。
課題は基本的にファイルの形で提出してもらう予定だが、各自バックアップ用に、初日からフロッピーディスクを持参すること。

成績評価の方法

課題に対する提出物によって判断する。
実習という授業の性質上、毎日の基本課題をクリアしていれば、概ね厳しい評価はつかないと思つてよい。

教科書

前半は主に情報教育センターから配布されるガイドに沿って実習を行うが、その場で簡単な資料を配布する予定。

その他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講生数を制限することもある。

授業日程
コンピュータ基礎 (14)

前半	1	2	3	4	5	6	7	後半	1	2	3	4	5	6	7
8月1日 木	○	○	○					8月20日 火							
8月2日 金	○	○	○					8月21日 水							
8月5日 月	○	○	○					8月22日 木							
8月6日 火	○	○	○					8月23日 金							
8月7日 水	○	○	○					8月26日 月							
8月8日 木	△	△	△					8月27日 火							

△は予備日

コンピュータ基礎 (18)

前半	1	2	3	4	5	6	7	後半	1	2	3	4	5	6	7
8月1日 木				○	○	○		8月20日 火							
8月2日 金				○	○	○		8月21日 水							
8月5日 月				○	○	○		8月22日 木							
8月6日 火				○	○	○		8月23日 金							
8月7日 水				○	○	○		8月26日 月							
8月8日 木				△	△	△		8月27日 火							

△は予備日

コンピュータ基礎 (19)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木								8月20日	火	△	△	△				
8月2日	金								8月21日	水	○	○	○				
8月5日	月								8月22日	木	○	○	○				
8月6日	火								8月23日	金	○	○	○				
8月7日	水								8月26日	月	○	○	○				
8月8日	木								8月27日	火	○	○	○				

△は予備日

コンピュータ基礎 (21)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木								8月20日	火				△	△	△	
8月2日	金								8月21日	水				○	○	○	
8月5日	月								8月22日	木				○	○	○	
8月6日	火								8月23日	金				○	○	○	
8月7日	水								8月26日	月				○	○	○	
8月8日	木								8月27日	火				○	○	○	

△は予備日

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
コンピュータ基礎 (20) (22) 〔コンピュータの実際〕 (夏季集中)	おがわ けんじろう 小 川 健次郎	経 A・商選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスをとりあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は假定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。夏季集中の授業なので、就職活動などで1度でも休むことが当初から予想される学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。必ず事前に総合情報センターで利用申請をして、電子メールのアドレスを取得しておくこと。

成績評価の方法

授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

授業日程

コンピュータ基礎 (20)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○					8月20日	火							
8月2日	金	○	○	○					8月21日	水							
8月5日	月	○	○	○					8月22日	木							
8月6日	火	○	○	○					8月23日	金							
8月7日	水	○	○	○					8月26日	月							
8月8日	木	△	△	△					8月27日	火							

△は予備日

コンピュータ基礎 (22)

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木				○	○	○		8月20日	火							
8月2日	金				○	○	○		8月21日	水							
8月5日	月				○	○	○		8月22日	木							
8月6日	火				○	○	○		8月23日	金							
8月7日	水				○	○	○		8月26日	月							
8月8日	木				△	△	△		8月27日	火							

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ応用 (1)(2) [コンピュータの原理]	いまいずみ 今 泉 じゅん 淳	経 A・商選	4

講義のねらい

コンピュータの動作原理とプログラミングを学ぶ。また「効率のよいプログラム」とは何かを知る。

講義の内容・
授業スケジュール

コンピュータとは、単純な動作をたくさん積み重ねることで、さまざまな処理を行うことができる機械であることを知る。実際にまとまった処理を行う場合には、こうした単純な動作を目的に応じて組み合わせること（これを「プログラミング」とよぶ）が必要になる。そこでプログラミングの基礎を学ぶ。また、特定の問題を解決するためには「解決の手順」が必要になるが、同じ問題であっても異なる「解決の手順」があり、それらの比較を通じて「効率の良い解決手段」について学ぶ。

履修上の留意点

プログラミングに対する予備知識は仮定しないが、必要最低限のコンピュータの操作（ウィンドウ操作、電子メール、WWWの利用など）はマスターしていること。なお、駒澤大学の総合情報センターの利用申請と電子メールのアカウント取得は必須である。また、プログラミングで使用するコンピュータ言語はPascalである。本授業は一回でも欠席すると以後の授業についてこれなくなる可能性が非常に高く、欠席は厳禁である。

成績評価の方法

毎回の出席と適宜出題されるレポート課題の点数の総合評価によって行う。

教 科 書

山崎秀記 『Delphiによるプログラミング入門』（培風館）2,100円

参 考 書 等

随時紹介する。

そ の 他

授業は全て実習形式で、計算機室で行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
人類学 [人類の進化]	えんどう ばんり 遠 藤 萬 里	経 A・商選	4

講義のねらい

人類を理解し、その進化を知るには骨やその化石のことを聞くだけではほとんど意味をなさない。生物としてのヒトが自然界でどういう位置にあり、どのように分類され、身体の構造や機能がどうなっているかをきちんと考えることが重要である。進化史は年々書き替えられているが、このような基礎が不十分なためもある。しっかりとした基礎知識を持つように期待する。

講義の内容・
授業スケジュール

ヒトが生物のなかでどのような位置にあり、動物としてどこに分類されるか、現在のようになったヒトの特異性とは何か、身体のさまざまな構造・機能にどのような特徴があるのか、文化も含めてどのように進化してきたと現在考えられているのか等について進めて行く。毎年新しい知識が加わるので注意。

履修上の留意点

できるだけ出席すること。内容の進行に応じて時々小テストを行なう。これは理解度を知るためでもある。なお、体育系運動部の学生であまり出席できない学生には、この講義の一部についてのレポートを提出してもらい採点したいので、学年度初めに申出ること。

成績評価の方法

成績は年度末試験と小テストで行なう。また上記の学生はレポートで加点する。

教 科 書

遠藤萬里編 『人類生物学入門』（てらべいあ）

参 考 書 等

進化については
遠藤萬里 『人類学百話一話』（てらべいあ）2,000円、アンドリュース・ストリンガーイ
ラスト・ガイド 『私たちヒトの進化』（てらべいあ）2,400円
他の分野については難しすぎるか、古すぎるので紹介しない。

そ の 他

スライドを多く使い、身近な例を引き合いに出して楽しく進めたい。質問は歓迎する。これまでの人体や人類進化の通俗的常識は通用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学 〔人間関係を考える〕	すずき しゅんいち 鈴木 順 一	経 A・商選 12以降入学生/経B選	4

講義のねらい

心理学全般の幅広い知識の概念学習は、個人的にできるので自宅ですていただきたい。
授業では、主として性格心理学や臨床心理学を背景に、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いを鏡として自己を見つめ、自分や他人の性格を理解し、自己成長するための体験学習をしていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。

- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
- ② 自分や他人の性格を理解する。
- ③ 自分の性格形成史をふり返る。
- ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
- ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
- ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択してください。

毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないでください。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教科書

中村昭之編 『心理学概説』 (八千代出版) 1,500円

川瀬正裕・松本真理子編 『自分さがしの心理学』 -自己理解ワークブック- (ナカニシヤ出版) 1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学 〔心を科学する〕	なかまる 中丸	しげる 茂 経 A・商選 12以降入学生/経B選	4

講義のねらい

心理学は、人間の心（行動・言語を含む）を客観的に研究する学問である。心理学は、心の科学、および、心の工学と定義され、心の理解・説明・予測・制御を目的とする。本講義では、科学的観点より、日常場面での人間の行動を分析し、得られたデータの解釈の仕方といった科学的方法を身につけることを目的として行われる。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、科学論を中心に、心理学における中心的なパラダイムを紹介し、後期は、それらの日常生活への応用についての話を行う。また、講義は、下記のスケジュールにしたがって進めていく予定である。授業は、ビデオなどを使用し、簡単な実験を体験してもらいながら行っていく。

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1. オリエンテーション | 心理学って何？ |
| 2. 血液型と性格 | 本当に関係あるの？ |
| 3. 科学としての心理学 | 科学って何？ |
| 4. 行動分析学Ⅰ | ラムちゃんの電撃 |
| 5. 行動分析学Ⅱ | バナナとリンゴ |
| 6. 行動分析学Ⅲ | 月に向かって吠える |
| 7. 認知心理学Ⅰ | マジカルナンバー |
| 8. 認知心理学Ⅱ | カクテルパーティ |
| 9. 認知心理学Ⅲ | 悩めるオマタかおる |
| 10. 心霊現象の心理学 | 幽霊は乗り物が好き？ |
| 11. 社会心理学Ⅰ | 他人を好きになる時 |
| 12. 社会心理学Ⅱ | 恋、愛、そして、意志決定 |
| 13. 無意識の心理学 | UFOは存在するか？ |
| 14. 人格心理学 | 社交的な人は朝に弱い |
| 15. 占いの心理学 | ラッキーカラーは、赤！！ |
| 16. 呪いの心理学 | 呪殺は可能か？ |
| 17. 所信の心理学Ⅰ | 知識は人類を駄目にする！！ |
| 18. 所信の心理学Ⅱ | マインド・コントロール |
| 19. 宗教の心理学 | 神社の石段 |
| 20. スポーツ心理学 | イメージトレーニング |
| 21. プロファイリング | モラル・ハラズメント |
| 22. テクノ・コミュニケーション | 顔文字は使ったほうがいいか |
- その他（リクエスト可）

履修上の留意点

講義は、プリント中心に行い、毎回、参考文献や図書の紹介を行う。したがって、一冊の本を読めば本講義の内容を把握できるというものではなく、毎回の知識の積み重ねが必要である。
(教科書 理解度UP++)

成績評価の方法

筆記試験の絶対評価として処理される。また、心理学の実験や調査に参加することも、心理学を学ぶために重要であり、得点として加算される。

教科書

中丸茂 『心理学者のための科学入門』 1999（北大路書房）
中丸茂 『トワイライト・サイコロジー』 2000（北大路書房）
講義オリジナル資料 毎回配布（2～3枚） 年間 40～50枚

参考書等

講義用の配布資料で紹介。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
心理学 [心を科学する] (夏季集中)	ほりうち まさひこ 堀 内 正 彦	全 学 科 選 1/2以降入学生/経B選	4

講義のねらい

人間を理解するための1つの視点として心理学を学ぶことを本講義のねらいとする。ここでいう人間理解とは一個人の性格や人格の理解も含むが、そればかりではなく、人間が一般的にもつ特性を知ることを含む。例えば、物の見え方や判断の仕方などのような様々な場面で何気なく行なっている活動全般について理解するということである。

講義の内容・授業スケジュール

心理学の概略、行動の基本様式、感覚・知覚、記憶、学習、思考、発達、社会的行動などについて講義する予定である。

履修上の留意点

この講義に限らず何かを学ぶということの根底には、普段の生活の中での「当たり前」のこととして捉えているようなことに対して、素朴な疑問とでもいうべき問題意識を抱くことが大切であると考えている。このような問題意識をもって授業に臨むことを希望する。なお、その他の細かい点については以下の通りである。

- ① 私語は厳禁である。
- ② 講義中に分からないことがあった場合には、講義をさえぎって質問してもよい。また、E-mailでの質問も受け付ける。
- ③ 1回の講義において2回目以降に私語を中止された学生は、その講義に限り退場とする。

成績評価の方法

試験の結果を重視する。

教科書

特に指定しない。

参考書等

講義の中で紹介する。

その他

授業日程
心理学

前半	1	2	3	4	5	6	7	後半	1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○	○	○		8月20日	火		△	△			
8月2日	金	○	○	○	○	○		8月21日	水						
8月5日	月	○	○	○	○	○		8月22日	木						
8月6日	火	○	○	○	○	○		8月23日	金						
8月7日	水	○	○	○	○	○		8月26日	月						
8月8日	木	○	○	○	○	○		8月27日	火						

△は予備日

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ(2) 〔欧米の教育と日本の教育〕	おかざき としちろう 岡崎 寿一郎	全学科選	4

講義のねらい

日本の大学は、1949年の改革で、アメリカの一般教育の理念を採用し、人文・社会・自然科学・体育・外国語のコースを専門課程の前に課してきました。それが、新カリキュラムによって変更されました。しかし、アメリカの大学がいかなる変革を経て今日にいたったのか。また、その現状がどのようなものであるのかは、知られていないとおもわれます。大学数は、現在、アメリカでは、約3,000校、日本は、約1,000校（短大・四年制大学）です。ヨーロッパでは、まだ、日本の戦前における数（旧大学令・47校）とほぼ同数です。進学率も10%前後です。また、大学入試制度については、例えば、「各大学単位で独自の入学試験が行われている国は、OECD加盟国の中では日本とユーゴスラヴィアの二国だけであり、また選抜試験のみで大学生を入学させているのは、日本以外はポルトガルとトルコの二国のみである」（西尾幹二『ヨーロッパ像の転換』）とあります。欧米では、大学入学資格認定制度が採用されています。（例、イギリスの「A」レベル、ドイツのアビトゥア、フランスのバカロレア、アメリカのSAT等）講義では、文化相対論（異なる文化の風俗・習慣についての批判・評価と同時に、その風土・歴史的背景を十分に考慮する）の観点から、自国の教育（制度）を絶対視する価値観の単一化を避けつつ、国際化の時代に即したグローバルな教育観の展望について論究します。

成績評価の方法

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、講義内容に則したプリントを配布します。成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

参考書等

参考書・文献については適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅲ(3) 〔フランス現代思想〕	くわた のりあき 桑田 禮彰	全学科選	4

講義のねらい

今日に至るまでフランスは、世界の思想界をリードしてきました。この講義では、特に二十世紀に照準を絞って、その豊かな成果を皆さんにご紹介します。重要な思想家をおおむね時間順序に従って取り上げていきながら、時代背景も説明するつもりです。でも思想の最大の魅力は、スリリングと言ってもいいような鋭い洞察に触れる点にありますから、ときには、そうした著作の一節を一節と一緒に読んでみましょう。また、「フランス現代思想」とは言っても、孤立しているわけではないので、ドイツ・イギリス・アメリカなど諸外国の思想について触れることもあります。わくわくするような「知の冒険」のガイドになればと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 講義概要
2. 生の哲学とベルクソン
3. 実存主義とサルトル
4. 現象学とメルロ＝ポンティ
5. 構造主義(1)レヴィ＝ストロース
6. 構造主義(2)ロラン・バルト
7. 構造主義(3)ラカン
8. 構造主義(4)アルチュセール
9. フーコー
10. ブルデュー
11. デリダ
12. まとめ

(2～11は、各2～3回ずつを予定)

履修上の留意点

フランス語の知識は必要ありません。

成績評価の方法

成績評価は、学年末の試験で行います。

教科書

特に指定しません。

参考書等

講義の中で、その都度指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅳ(1) 〔現代アメリカ事情〕	はやし 林 明 人	全 学 科 選	4

講義の内容・
授業スケジュール

現代のアメリカが抱えているさまざまな問題を、具体的なキーワード (abortion, affirmative action, euthanasia, Brady Law等) を説明しながら紹介します。なぜその問題が起こったのか、そしてそれがどのように発展し、現在どうなっているのかを見てゆきます。知っているようで知らないアメリカの諸相が見えてきます。

成績評価の方法

前・後期のレポート、出席の総合評価。

教 科 書

プリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅳ(3) 〔ポスト・モダンの世界〕	まるこてつお 丸 小 哲 雄	全 学 科 選	4

講義のねらい

本講義の狙いは、近代化の批判と自己組織の確立を目指すことにあります。「大きな物語」が終息して、ポストモダンの世界は建築、視覚芸術、映画、文学、文学理論、歴史、哲学、宗教、経済、政治などのさまざまな分野で、さまざまな意味をこめて解釈されています。ポスト学際的な知の最前線として、固有なものに出会うために批判の方法によって権力の座(特権化された場所)を移動・転倒させつつ、歴史的過渡期の思想的表現としての近現代史を思想化(帝国主義と植民地化にたいする批判)することがあります。いわば、この講義の狙いは、自ら置かれている歴史的過渡期の時代状況とその意識を捉えて「自分探し」をすること、他者(=文化)をどう捉え、どう身体的に受け止めて、主体性をどう確立するかということに尽きます。

講義の内容・
授業スケジュール

講義に際して、関連文献リストを配布し、事前に読むテキストを指示します。また、クラス外では文庫本・新書版を読んでもらいます。講義の骨子は以下の通りです。

1. 前置き；「変わるものと変わらないもの」について
2. 現代という時代の捉え方；「今ここ」における事故言及のパラドックスについて
3. 「モダン」の語源と定義について；ポストモダンの特質について
4. ソシユールの言語観；言語の恣意性、ラングとパロールなどについて
5. テキストの遍在性とディスコースについて
6. 人間観、宇宙観、社会観の変化について
7. 西洋の理性批判について；ソクラテス、デカルト、ヘーゲルとマルクス；とりわけニーチェのルサンチマン哲学による理性批判としての「道徳の系譜」；を取り扱う。
8. マックス・ヴェーバーの問題について；合理的理性批判について
9. フーコーなどを中心にしてモダン批判；外部の力と内部の力について
10. トランスモダン(横断的近代；アメリカン・イデオロギーとグローバリズムに対するナショナル意識とリージョナル意識との対抗性について
11. レヴュー；冷戦後における自己組織と反省の人間の特質について特質について

成績評価の方法

出席、ターム・ペーパー(レポート作成)などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。さらに、前期、後期に配布された関連文献リストからそれぞれ1冊を選び、そのテキストの読み・解釈・批評を盛り込んだレポート作成。

教 科 書

- ・読書リスト配布
- ・プリント配布

科目名	担当者名	配当学科	単位
総合Ⅴ(1) 〔イギリス文化探訪〕	かわまた ようたろう 川 股 陽 太 郎	全 学 科 選	4

講義のねらい

ある民族の文化、ある国の文化を理解するのはそうたやすいことではない。日本とは、日本人とはと問われたとき、あなたがたはどう説明しますか。イギリスとは、イギリス人とはということ、ごく限られた時間で、しかしできる限り様々な視点から見ていこうと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

現代のイギリス人およびイギリスの文化を、現代から過去へ、過去から現代へ行きつ戻りつしながら、「イギリス」というものを文化的側面から眺めてみたい。ある民族の文化を理解しようとするとき、その民族の言語・風俗・習慣を知る必要がある。

例えば、「イギリス」というものを、地理的な面と人種的な面から眺めてみるとしよう。イングランド、スコットランド、ウェールズ、コーンウォール、シェットランド・オークニー諸島、ヘブリディーズ諸島という地理的側面から、またイングランド人、シェットランド人、ウェールズ人、コーンウォール人とか、シーズナルハンター、ピクト人、ケルト人、ローマ人、アングロサクソン人、デーン人、バイキング、ノルマン人という人種的側面から理解してみるのも一つのやり方である。

イギリス人は自分たちを「混血」(ミックスチャー)であるという。人がどの部族に属するか、どの人種に属するかを決定するのは「血」もさることながら、土地と無縁でないし、地域の文化(言語、風俗、習慣)と無縁ではない。しかしそれを決定するのはあくまでその人間の「所属意識」である。

ケルトの時代、ローマの植民地時代、キリスト教の普及、アングロサクソン人、デーン人、バイキングの侵入、ノルマン人のイングランド征服等、また封建社会の特異性をその崩壊過程、大英帝国の出現、産業革命、中産階級の出現等をテーマ別にみながら、今日のイギリスおよびイギリス人が持つ多様性を理解するように努める。

また、一つの文化を理解しようとするとき、同じテーマで日本とイギリスを比較・検討することで、よりいっそう明確にその差異を認識することができる。それは、自分の所属する社会と別の社会を比較することによって、それぞれの文化がもつ性格をいっそう明確に認識するということである。

「日本の常識は世界の非常識」であることが多いのも事実である。これは已と他を比較して初めて認識できるものである。いわゆる「国際化」の時代にあって、もっとも大切なことの一つは、已と他の違いを認識し、理解し、尊重できるように自己を訓練しておくことである。そのためには、まず自国の文化を理解し、そして他国の文化を理解することが重要である。

履修上の留意点

イギリスの文化を含め、「文化」そのものに興味がある学生を、特に「文明」と「文化」に関心のある学生を歓迎する。

成績評価の方法

レポートによる。レポート用紙10枚程度のもを、年1回提出。レポートには「参考文献名」を記入し、「引用文」には注)を付し、書名とページ数を記入すること。

教科書

教科書は使用しない。必要に応じ講義要録、参考資料等を適宜配布する。

参考書等

講義形式をとる。パソコン、ビデオ、書画カメラを用い、映像、写真、絵図、史料を提示しつつ講義を進める。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅵ(1) 〔民族とは何か〕	大野 祐二 <small>おの ゆうじ</small>	全学科選	4

講義のねらい

この講義は、文化人類学的な視点から「民族」にまつわる様々な現象を、我々の日常生活において理解することを、主たるねらいとしています。世界各地で噴出する民族問題の百科事典的な紹介ではなく、問題を理解する際に必要なアプローチなり、方法や認識について考察することを通して、我々の日常との関連について、つまり「あちら／他者」の問題としてではなく、「あちらとこちら／自己と他者」との関係のあり方から検討することを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

具体的なスケジュールについては最初の講義の際に伝えますが、前期においては文化人類学的な方法論（文化の概念、異文化の記述・異文化へのまなざし、文化相対主義、他者表象など）についてが中心になります。

後期は、ビデオ教材も使いながら、日本・朝鮮半島・北米などにおける事例を検討しながら、「民族」現象について国家・ナショナリズム・植民地主義・歴史・伝統文化などの関連から考察を進める予定です。

履修上の留意点

講義形式ですすめますが、一方的にならないため質問時間も可能な限りとりまします。大幅に遅刻する人はご遠慮ください。

成績評価の方法

前後期の定期試験（またはレポート）、および小テストで評価します。

教科書

詳細については授業中にプリントで伝える予定です。

参考書等

原尻英樹著 『コリアンタウンの民族誌』（筑摩書房）
吉野耕作著 『文化ナショナリズムの社会学』（名古屋大学出版会）
李孝徳著 『表象空間の近代』（新曜社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅵ(2) 〔イスラム〕	前期：青柳 かおる <small>あおやぎ かおる</small> 後期：吉田 きょう子 <small>よし た きょうこ</small>	全学科選	4

講義のねらい

現在、最も注目される思想、文化体系としてのイスラームに関して、日本人の知識は非常に低く、その結果誤った解釈や理解による偏見が生まれる可能性が大きい。国際社会への一員として最低限知っておくべき教養としての範囲のイスラームに関する知識を習得することが本講義の最大の目的である。イスラームを語る場合、あらゆる側面では、もっとも基本的な「イスラーム」という語を持つすべての領域における共通理念とも言える、イスラームの宗教的側面、信仰の概略、思想の根本に焦点をあてた授業を行う予定である。従って国際関係論的、政治学的、社会学的視座に基づくイスラーム概説とは異なる点を注意されたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期、後期において異なる教官による授業となるが、内容、問題意識等は一貫したものとする。前期、後期を通じ、イスラームの信仰の核である。クルアーン、預言者ムハンマド、イスラーム法学、イスラーム神学、歴史的分派、スーフィズム等々の点から概論的授業を行う。

履修上の留意点

宗教学的、基礎的側面からのイスラーム論なので、社会学的、歴史的、政治学的、国際関係論的、アプローチの前提となるような内容であるため、そのような意味でのイスラーム論を期待する学生には不相当である場合もある。

成績評価の方法

年間を通じ、出席率と、前期の提出物、後期末の試験により成績を決定する。

教科書

特になし。

参考書等

授業中紹介。

その他

数回のビデオ上映を予定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合 VI (3) 〔フェミニズム・ジェンダー〕	はやかわ のりよ 早 川 紀 代	全 学 科 選	4

講義のねらい

改正雇用機会均等法が施行されて3年たちましたが、依然新卒男女学生の就職率は格差があります。なぜこうした格差が生まれるのだろうか？ 世間の男と女の座標軸はいったいどのようなようにつくられているのだろうか？ こうした疑問を私たちがくらししている、さまざまな場面をとりあげて、経済学や社会学、歴史学の成果を土台にして考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1年間の講義を4期にわけます。
- a ジェンダーってなんだ？
フェミニズムの歴史とフェミニズムの歴史のなかから生まれたジェンダーという考え方について。
 - b 自分らしく働いて自分を高く売ってどういうこと？
雇用のなかの男女の分離、男性の会社人生、女性の会社人生？ 改正雇用機会均等法 男も女も自分らしく働く
 - c 家族ってなんだ？
家族の人間関係と機能、近代家族と現代家族、家族のなかのいろいろな問題
どんな家族を創りたい？ シングルの選択。
 - d セクシュアリティってなに？
オスの性と男の性、性における男性支配、セクシュアリティの歴史、援助交際は自分の考えで性をうるからいいの？ 人間らしい性関係ってなに？

成績評価の方法

論述試験。再試験は実施しない。

教 科 書

教科書は指定しない。講義にあわせて資料を配布する。また参考書を随時紹介するので、そのうち1冊は読むこと。映画やビデオの上映もする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合Ⅶ(1) 〔トラブルと法的解決〕	北野かほる・小木曾綾 王 志安・金子昇平 佐藤多美夫・西 修	全 学 科 選	4

講義のねらい

人間の日常生活は、常に順調であるとは限らない。社会生活にはトラブルがつきまとう。トラブルには様々な形で解決を試みる事が考えられるが、法的な解決は最も効力のある解決方法である。しかしその類型は一樣でなく、社会生活の様々な側面において様々なトラブルの類型とその法的解決方法がある。

法的トラブルにはどのようなパターンが考えられるか。法的トラブルに遭遇したらどのように解決すればよいのか。あるいは法的トラブルを未然に防ぐにはどのようにすべきなのか。これらの点についてマクロ及びミクロの観点から分析し、法治国家の市民として知っておくべき法的知識やトラブル解決の糸口について考えていきたい。

昨年度までは民事法的領域について考察したが、今年度は、公法と呼ばれる領域に焦点を当て、我々の社会生活の各側面から考えられる法的なトラブルとその解決方法について考える。

講義は6名の教員が交替で行う。講義の具体的内容については担当教員がそれぞれの開講の際に開示する。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 「トラブルと法概論」北野かほる
- (2) 「憲法裁判からみたトラブルと法的解決」西修
- (3) 「行政事件を巡るトラブルと法的解決」金子昇平
- (4) 「現代型犯罪と法的解決」佐藤多美夫
- (5) 「犯罪と刑罰（犯罪の実情と捜査・刑事裁判の諸原則、被害者支援など）」小木曾綾
- (6) 「国家間紛争と国際裁判の役割」王志安

履修上の留意点

各担当教員の実質講義回数が少ないため、講義には必ず出席すること。

成績評価の方法

各担当教員がそれぞれの担当枠の最後に実施する試験の成績を総合して評価する。講義に出席するほか、試験は必ず受けること。

教科書

特に指定しない。

参考書等

各担当教員が講義に際して必要の都度開示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合Ⅶ(2) 〔都市論〕	早川純貴・品田知美 中野裕二・保坂尚郎	全 学 科 選	4

講義のねらい

いま大都市は多くの問題を抱えている。しかしそれは独自のダイナミズムを持ち、拡大と変容を繰り返す都市社会が示す多様な表象にはかならない。都市の現状を政治学や経済学、あるいは社会学の観点から概観し、都市の将来を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は4名の講師により、各々6回ずつ行う。その順序/時期と講義内容は以下の通り。

早川純貴『都市論』のガイダンス(1回/4月)

品田知美「都市の変容と生活様式」(6回/4・5月)——都市には、多くの人々が集う場として独特の社会的現実が見いだせる。本講義では、日本の大都市の変容過程を主に2つの視点からたどっていく。①環境：都市の構造は、エネルギーや資源の消費と関係が深い。②家族：都市は次々と新しい家族生活のかたちを生み出してきた。変貌しつづける都市家族にみられる光と影。これら2つの視点を生活様式というキーワードで結びつけながら、近未来の都市のゆくえを考えたい。

保坂尚郎「都市と労働」(6回/6・7月)——労働による肉体的負担は、労働時間に通勤時間、乗り物の混雑なども加わり、都市部ほどその負担が大きい。また都市では居住環境の制約から核家族が多く、両親が就労しながら子育てする場合、保育施設の設定が不可欠であるが、現実には絶対数が不足している。この講義では、裁量労働制、時差通勤、SOHOワークなどの新たな働き方と駅周辺保育施設の整備などを組み合わせ、快適・効率的で、子育てと両立できる都市労働のあり方を考える。

早川純貴『「まちづくり」と住民参加」(6回/9月・10月)——いわゆる迷惑施設や道路建設をめぐる住民と行政の対立、地域による防災への取り組み、老人・障害者支援など身近にあるまちづくり、そして古い家並みや建造物の保存運動などを通じ、住みやすく愛着のある「まちのかたち」を住民参加の観点で考える。

中野裕二「移民問題とフランスの苦悩」(6回/11・12月)——移民や外国人労働者の問題は先進諸国で等しく見られるが、その問題の起こり方は国によって様々だろう。講義ではフランスの移民問題を概観した後、住宅や教育そして地域生活への参加に焦点を当て、フランスに特徴的な点を浮き彫りにする。さらにはこれらの点を中心に日本との比較を試みたい。

成績評価の方法

成績は各講師がレポートないし小テスト等により判定し、それらを早川が総合して評価する。

3 外国語科目

3. 外国語科目

[英 語]

英語	I A	(經A)	〈三 芳 康 義〉	99
英語	I A	(經A)	〈丹 治 弘 昌〉	99
英語	I A	(經A)	〈高 見 陽 子〉	100
英語	I A	(經A)	〈川 崎 浩太郎〉	100
英語	I A	(經A)	〈相 馬 美 明〉	100
英語	I A	(經A)	〈岩 永 祥 恵〉	101
英語	I A	(經A)	〈岩 屋 玉 江〉	101
英語	I A	(商)	〈相 馬 美 明〉	101
英語	I A	(商)	〈三 芳 康 義〉	102
英語	I A	(商)	〈水 崎 野里子〉	102
英語	I A	(商)	〈ピアス, D. M.〉	102
英語	I A	(商)	〈田 口 清 一〉	103
英語	I A	(商)	〈川 崎 笑 佳〉	103
英語	I A	(商)	〈鈴 木 美貴子〉	103
英語	I B	(經A)	〈増 田 恵 子〉	104
英語	I B	(經A)	〈藤 島 喬 樹〉	105
英語	I B	(經A)	〈伊良部 祥 子〉	105
英語	I B	(經A)	〈山 田 照 子〉	106
英語	I B	(經A)	〈甲 斐 捷 子〉	106
英語	I B	(經A)	〈大 庭 直 樹〉	106
英語	I B	(商)	〈大 庭 直 樹〉	107
英語	I B	(商)	〈増 田 恵 子〉	107
英語	I B	(商)	〈伊良部 祥 子〉	107
英語	I B	(商)	〈山 田 照 子〉	108
英語	I B	(商)	〈甲 斐 捷 子〉	108
英語	I B	(商)	〈藤 島 喬 樹〉	109
英語	I B	(商)	〈池 上 賀英子〉	109
英語	II A	(經A)	〈伊 藤 幸 一〉	110
英語	II A	(經A)	〈伊勢村 定 雄〉	110
英語	II A	(經A)	〈丹 治 弘 昌〉	111
英語	II A	(經A)	〈萩 原 輝〉	111
英語	II A	(經A)	〈逢 見 明 久〉	111
英語	II A	(經A)	〈鈴 木 美貴子〉	112
英語	II A	(經A)	〈牧 野 輝 良〉	112
英語	II A	(經A)	〈足 田 和 人〉	112
英語	II A	(商)	〈伊勢村 定 雄〉	113
英語	II A	(商)	〈岩 山 義 春〉	113
英語	II A	(商)	〈八十木 裕 幸〉	113
英語	II A	(商)	〈西 村 祐 子〉	114
英語	II A	(商)	〈山 本 長 一〉	114
英語	II A	(商)	〈太 田 雅 子〉	114
英語	II A	(商)	〈伊 藤 アヤ子〉	115
英語	II B	(商)	〈吉 川 直 澄〉	116
英語	II B	(商)	〈山 口 晃〉	116

英語 II B (経A)	〈牧野正秀〉	116
英語 II B (経A)	〈渡部孝治〉	117
英語 II B (経A)	〈市川仁〉	117
英語 II B (経A)	〈児林英子〉	117
英語 II B (経A)	〈樋渡俊光〉	118
英語 II B (経A)	〈植村恵子〉	118
英語 II B (経A)	〈川股陽太郎〉	119
英語 II B (商)	〈手島敬子〉	119
英語 II B (商)	〈佐藤孝一〉	119
英語 II B (商)	〈山口晃〉	120
英語 II B (商)	〈小布施圭佐三〉	120
英語 II B (商)	〈丸小哲雄〉	120
英語 II B (商)	〈岩原康夫〉	121
英語 II B (商)	〈飯沼好永〉	121
英会話 I	〈コプレーマッキー, D.S.〉	122
英会話 I	〈ウェルズ, J.K.〉	123
英会話 I	〈ソルタ, P.N.F.〉	123
英会話 I	〈デンドウ, G.〉	124
英会話 I	〈ハバード, W.D.〉	124
英会話 I	〈ジトウィッツ, P.D.〉	125
英会話 I	〈プラスキー, J.C.〉	125
英語 LL I	〈甲斐捷子〉	126
英語 LL I	〈埴美智子〉	127
英語 LL I	〈西村祐子〉	127
英語 LL I	〈加藤佐和子〉	128
英語 LL I	〈中林正身〉	128
英語 LL I	〈久保ひさ子〉	129

〔ドイツ語〕

ドイツ語 I A (経A)	〈井村行子〉	130
ドイツ語 I A (経A・商)	〈志真斗美恵〉	130
ドイツ語 I A (経A・商)	〈河上和史〉	130
ドイツ語 I A (商)	〈百濟勇〉	131
ドイツ語 I B (経A・商)	〈柴野博子〉	131
ドイツ語 I B (経A)	〈松岡晋〉	131
ドイツ語 I B (経A・商)	〈飯塚公夫〉	131
ドイツ語 I B (商)	〈柴野博子〉	132
ドイツ語 II A (商)	〈薮下紘一〉	132
ドイツ語 II A (商)	〈河上和史〉	132
ドイツ語 II A (経A)	〈野鳥利彰〉	132
ドイツ語 II A (経A)	〈薮下紘一〉	133
ドイツ語 II B (経A)	〈河上和史〉	133
ドイツ語 II B (商)	〈松岡晋〉	133

〔フランス語〕

フランス語 I A (経A)	〈長谷川光明〉	134
フランス語 I A (経A・商)	〈森本信子〉	134
フランス語 I A (経A)	〈伊藤なお〉	134

フランス語ⅠA (商)	〈長谷川 光 明〉	135
フランス語ⅠB (経A)	〈大 野 英 士〉	135
フランス語ⅠB (経A・商)	〈菅 原 猛〉	135
フランス語ⅠB (経A・商)	〈遠 山 博 雄〉	136
フランス語ⅠB (経A・商)	〈大 野 英 士〉	136
フランス語ⅠB (商)	〈菅 原 猛〉	136
フランス語ⅡA (商)	〈前 田 祝 一〉	137
フランス語ⅡA (商)	〈遠 山 博 雄〉	137
フランス語ⅡA (経A)	〈畑 中 千 晶〉	137
フランス語ⅡA (経A)	〈遠 山 博 雄〉	138
フランス語ⅡA (経A)	〈谷 川 かおる〉	138
フランス語ⅡB (経A)	〈菅 谷 暁〉	138
フランス語ⅡB (商)	〈畑 中 千 晶〉	139

〔 中 国 語 〕

中国語ⅠA・ⅠB (経A・商)	〈宮本 厚子・王 聡〉	141
中国語ⅠA・ⅠB (経A)	〈村松 哲文・鶴島俊一郎〉	141
中国語ⅠA・ⅠB (経A)	〈弘兼加奈子・岩崎 皇〉	142
中国語ⅠA・ⅠB (経A)	〈工藤 早恵・福地 桂子〉	142
中国語ⅠA・ⅠB (商)	〈村松 哲文・鶴島俊一郎〉	142
中国語ⅠA・ⅠB (法A)	〈天野 節・松本 丁俊〉	143
中国語ⅠA・ⅠB (商)	〈弘兼加奈子・岩崎 皇〉	143
中国語ⅠA・ⅠB (商)	〈福 地 桂 子〉	143
中国語ⅡA (商)	〈松 本 丁 俊〉	144
中国語ⅡA (商)	〈福 地 桂 子〉	144
中国語ⅡA (商)	〈陳 洲 拳〉	144
中国語ⅡA (商)	〈弘 兼 加 奈 子〉	145
中国語ⅡA (商)	〈胡 玉 華〉	145
中国語ⅡA (経A)	〈釜 屋 修〉	145
中国語ⅡA (経A)	〈櫻 庭 和 典〉	146
中国語ⅡA (経A)	〈李 雲〉	146
中国語ⅡA (経A)	〈松 本 丁 俊〉	146
中国語ⅡB (経A)	〈陳 洲 拳〉	147
中国語ⅡB (経A)	〈平 石 淑 子〉	147
中国語ⅡB (経A)	〈弘 兼 加 奈 子〉	147
中国語ⅡB (商)	〈根 岸 政 子〉	148
中国語ⅡB (商)	〈櫻 庭 和 典〉	148
中国語ⅡB (商)	〈李 雲〉	149

〔 ス ペ イ ン 語 〕

スペイン語ⅠA (経A・商)	〈荻 野 雅 司〉	150
スペイン語ⅠA (経A)	〈中 川 清〉	150
スペイン語ⅠA (経A)	〈宮 地 達 郎〉	151
スペイン語ⅠA (商)	〈中 川 清〉	151
スペイン語ⅠA (商)	〈宮 地 達 郎〉	151
スペイン語ⅠB (経A・商)	〈荻 野 恵〉	151
スペイン語ⅠB (経A)	〈ナバロ, ホワン J.〉	152
スペイン語ⅠB (経A)	〈ナバローポロ, L.S.〉	152

スペイン語 I B (商)	〈ナバロ, ホワンJ.〉	153
スペイン語 I B (商)	〈ナバローポロ, L.S.〉	153
スペイン語 II A (商)	〈宮地 達郎〉	154
スペイン語 II A (商)	〈ナバローポロ, L.S.〉	154
スペイン語 II A (経A)	〈大岩 功〉	154
スペイン語 II A (経A)	〈福本 久美子〉	155
スペイン語 II B (経A)	〈宮地 達郎〉	155
スペイン語 II B (商)	〈福本 久美子〉	155

〔ロシア語〕

ロシア語 I A (経A・商)	〈クロチコフ, Y.・杉山 秀子〉	156
ロシア語 I B (経A・商)	〈木村 英明〉	157
ロシア語 II A (経A・商)	〈木村 英明・佐野 朝子〉	157
ロシア語 II B (経A・商)	〈木村 英明・佐野 朝子〉	158

《再履修クラス》

〔英 語〕

英語 I A	〔再クラス〕	〈西村 祐子〉	159
英語 I A	〔再クラス〕	〈川 殷 陽太郎〉	159
英語 I A	〔再クラス〕	〈広 川 治〉	159
英語 I A	〔再クラス〕	〈太 田 美智子〉	160
英語 I A	〔再クラス〕	〈伊 藤 美代子〉	160
英語 I A	〔再クラス〕	〈高 橋 寛〉	161
英語 I A	〔再クラス〕	〈吉 江 正 雄〉	161
英語 I A	〔再クラス〕	〈前期：八十木裕幸、後期：中尾 俊光〉	162
英語 I A	〔再クラス〕	〈塚 本 利 男〉	162
英語 I A	〔再クラス〕	〈川 島 弘 之〉	163
英語 I A	〔再クラス〕	〈尾 上 典 子〉	163
英語 I A	〔再クラス〕	〈太 田 由紀子〉	164
英語 I A	〔再クラス〕	〈高 柳 文 江〉	164
英語 I A	〔再クラス〕	〈山 縣 裕〉	164
英語 I A	〔再クラス〕	〈森 田 隆 光〉	165
英語 I A	〔再クラス〕	〈岩 原 康 夫〉	165
英語 I A	〔再クラス〕	〈西 原 克 政〉	165
英語 I B	〔再クラス〕	〈牧 野 輝 良〉	166
英語 I B	〔再クラス〕	〈木 村 克 彦〉	166
英語 I B	〔再クラス〕	〈武 藤 久 緒〉	166
英語 I B	〔再クラス〕	〈手 島 敬 子〉	167
英語 I B	〔再クラス〕	〈田 中 保〉	167
英語 I B	〔再クラス〕	〈前 田 脩〉	167
英語 I B	〔再クラス〕	〈太 田 由紀子〉	168
英語 I B	〔再クラス〕	〈井 出 功 一〉	168
英語 I B	〔再クラス〕	〈神 戸 春 樹〉	168
英語 I B	〔再クラス〕	〈松 堂 啓 子〉	169
英語 I B	〔再クラス〕	〈三 浦 眞 理〉	169
英語 I B	〔再クラス〕	〈飯 沼 好 永〉	169
英語 I B	〔再クラス〕	〈甲 斐 捷 子〉	170
英語 II A	〔再クラス〕	〈牧 野 輝 良〉	170
英語 II A	〔再クラス〕	〈佐 藤 明 子〉	170
英語 II A	〔再クラス〕	〈宇都宮 秀 和〉	171
英語 II A	〔再クラス〕	〈今 井 夏 彦〉	171
英語 II A	〔再クラス〕	〈江 田 幸 子〉	171
英語 II A	〔再クラス〕	〈笹 倉 貞 夫〉	172
英語 II A	〔再クラス〕	〈井 伊 順 彦〉	172
英語 II A	〔再クラス〕	〈小笠原 隆 元〉	172
英語 II A	〔再クラス〕	〈八十木 裕 幸〉	173
英語 II A	〔再クラス〕	〈外 池 一 子〉	173
英語 II A	〔再クラス〕	〈岩 田 洋 子〉	173
英語 II A	〔再クラス〕	〈山 岸 二 郎〉	174
英語 II B	〔再クラス〕	〈山 縣 裕〉	174
英語 II B	〔再クラス〕	〈小布施 圭 佐三〉	174
英語 II B	〔再クラス〕	〈岩 井 洋 美〉	175

英語ⅡB〔再クラス〕	〈川手浩一〉	175
英語ⅡB〔再クラス〕	〈太田美智子〉	175
英語ⅡB〔再クラス〕	〈落合和昭〉	176
英語ⅡB〔再クラス〕	〈川股陽太郎〉	176
英語ⅡB〔再クラス〕	〈河内賢隆〉	176
英語ⅡB〔再クラス〕	〈三浦眞理〉	177
英語ⅡB〔再クラス〕	〈本間俊一〉	177
英語ⅡB〔再クラス〕	〈朝川真紀〉	177
英語ⅡB〔再クラス〕	〈西田義和〉	178

〔ドイツ語〕

ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈柴野博子〉	179
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈野島利彰〉	179
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈織田繁美〉	179
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈栗原万修〉	180
ドイツ語ⅠA〔再クラス〕	〈五十嵐信子〉	180
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈薮下紘一〉	180
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈松岡晋〉	181
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈薮下紘一〉	181
ドイツ語ⅠB〔再クラス〕	〈杉本正俊〉	181
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈柴野博子〉	182
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈本橋右京〉	182
ドイツ語ⅡA〔再クラス〕	〈杉本正俊〉	182
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈薮下紘一〉	183
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈百濟勇〉	183
ドイツ語ⅡB〔再クラス〕	〈本橋右京〉	183

〔フランス語〕

フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈菅谷暁〉	184
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈芦原眷〉	184
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈竹田正純〉	184
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈小玉齊夫〉	185
フランス語ⅠA〔再クラス〕	〈長谷川光昭〉	185
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈前田祝一〉	185
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈今関アーン〉	186
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈森本信子〉	186
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈長谷川光明〉	186
フランス語ⅠB〔再クラス〕	〈谷川かおる〉	187
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈畑中千晶〉	187
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈沼倉広子〉	187
フランス語ⅡA〔再クラス〕	〈谷川かおる〉	188
フランス語ⅡB〔再クラス〕	〈遠山博雄〉	188
フランス語ⅡB〔再クラス〕	〈沼倉広子〉	188
フランス語ⅡB〔再クラス〕	〈長谷川光昭〉	189

〔 中 国 語 〕

中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈胡 玉 華〉	190
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈平 石 淑 子〉	190
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈松 本 丁 俊〉	190
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈釜 屋 修〉	191
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐 藤 普美子〉	191
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈天 野 節〉	191
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈根 岸 政 子〉	192
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈天 野 節〉	192
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈曹 泰 和〉	192
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈李 雲〉	193
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈工 藤 早 恵〉	193
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈小 川 隆〉	193
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈塩 旗 伸一郎〉	194
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈秋 元 翼〉	194
中国語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈蘭 明〉	194
中国語ⅡA〔再クラス〕	〈江 林 英 基〉	195
中国語ⅡA〔再クラス〕	〈宮 本 厚 子〉	195
中国語ⅡA〔再クラス〕	〈天 野 節〉	195
中国語ⅡA〔再クラス〕	〈三 田 村 圭 子〉	196
中国語ⅡB〔再クラス〕	〈李 雲〉	196
中国語ⅡB〔再クラス〕	〈宮 本 厚 子〉	196
中国語ⅡB〔再クラス〕	〈蘭 明〉	197

〔 ス ペ イ ン 語 〕

スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈宮 地 達 郎〉	198
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈大 岩 功〉	198
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈上 野 勝 広〉	199
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐 藤 紘 子〉	199
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐 藤 麻里乃〉	199
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈福 本 久美子〉	200
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈大 岩 功〉	200
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈佐 藤 紘 子〉	200

〔 ロ シ ア 語 〕

ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈廣 田 英 靖〉	201
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈佐 野 朝 子・木 村 英 明〉	201
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕	〈安 徳 ニーナ〉	202
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈クロチコフ, Y.〉	202
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕	〈安 徳 ニーナ〉	202

《選 択 科 目》

英 文 講 読	〈林 明 人〉	203
英 文 講 読	〈前 田 脩〉	203
英 文 講 読	〈牧 野 輝 良〉	203
時 事 英 語 研 究	〈竹 村 恵 都 子〉	204
時 事 英 語 研 究	〈林 明 人〉	204
時 事 英 語 研 究	〈川 手 浩 一〉	204
マ ル チ ・ メ デ ィ ア	〈落 合 和 昭〉	205
マ ル チ ・ メ デ ィ ア	〈大 庭 直 樹〉	206
マ ル チ ・ メ デ ィ ア	〈町 田 尚 子〉	206
英 会 話 II	〈プラスキー, J.C.〉	207
英 会 話 II	〈ジトウィッツ, P.D.〉	207
英 会 話 II - 夏 季 集 中 -	〈ピアス, D.M.〉	208
英 会 話 III	〈ウエルズ, J.K.〉	209
英 会 話 III	〈ハバード, W.D.〉	209
英 会 話 III - 夏 季 集 中 -	〈レーン, C.M.〉	210
英 語 LL II	〈西 村 祐 子〉	211
英 語 LL II	〈町 田 尚 子〉	211
英 語 LL II	〈太 田 雅 子〉	212
英 語 LL III	〈井 伊 順 彦〉	213
英 語 LL III	〈西 村 祐 子〉	213
英 語 LL III	〈久 保 ひ さ 子〉	214
ド イ ツ 語 外 国 書 講 読	〈柴 野 博 子〉	215
時 事 ド イ ツ 語	〈野 島 利 彰〉	215
上 級 ド イ ツ 語	〈栗 原 万 修〉	215
ド イ ツ 語 LL I	〈小林ゲアリンデ〉	215
ド イ ツ 語 LL II	〈小林ゲアリンデ〉	216
ド イ ツ 語 I A (選)	〈栗 原 万 修〉	216
ド イ ツ 語 I B (選)	〈織 田 繁 美〉	216
ド イ ツ 語 II (選)	〈百 濟 勇〉	217
フ ラ ン ス 語 外 国 書 講 読	〈竹 田 正 純〉	218
時 事 フ ラ ン ス 語	〈桑 田 禮 彰〉	218
上 級 フ ラ ン ス 語	〈小 玉 齊 夫〉	218
フ ラ ン ス 語 LL I	〈ラリア・三倉, M.〉	219
フ ラ ン ス 語 LL II	〈ラリア・三倉, M.〉	219
フ ラ ン ス 語 I A (選)	〈井 田 清 子〉	219
フ ラ ン ス 語 I B (選)	〈桑 田 禮 彰〉	220
フ ラ ン ス 語 II (選)	〈小 玉 齊 夫〉	220
中 国 語 外 国 書 講 読	〈岩 崎 皇〉	221
時 事 中 国 語	〈塩 旗 伸 一 郎〉	221
上 級 中 国 語	〈釜 屋 修〉	221
中 国 語 LL I	〈佐 藤 普 美 子〉	222
中 国 語 LL II	〈小 川 隆〉	222
中 国 語 I A (選)	〈釜 屋 修〉	222
中 国 語 I B (選)	〈佐 藤 普 美 子〉	223
中 国 語 II (選)	〈岩 崎 皇〉	223
ス ペ イ ン 語 外 国 書 講 読	〈上 野 勝 広〉	224

時事スペイン語〈瓜谷アウロラ〉	224
上級スペイン語〈宮地達郎〉	224
スペイン語 LL I 〈ナバロ, ホワンJ.〉	225
スペイン語 LL II 〈ナバロ, ホワンJ.〉	225
スペイン語 I A (選) 〈ナバロ-ポロ, L. S.〉	225
スペイン語 I B (選) 〈瓜谷アウロラ〉	226
スペイン語 II (選) 〈荻野雅司〉	226
ロシア語外国書講読〈廣田英靖〉	227
時事ロシア語〈木村英明〉	227
上級ロシア語〈クロチコフ, Y.〉	227
ロシア語 LL I 〈安徳ニーナ〉	228
ロシア語 LL II 〈安徳ニーナ〉	228
ロシア語 I A (選) 〈クロチコフ, Y.〉	229
ロシア語 I B (選) 〈木村英明〉	229
ロシア語 II (選) 〈安徳ニーナ〉	230
朝鮮語 I A (選) 〈宋美玲〉	231
朝鮮語 I B (選) 〈宋美玲〉	231

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I A	<small>みよし やすよし</small> 三 芳 康 義	経 A 1 年	2

講義のねらい

この科目の目的は、音声言語としての英語を意識して、日常生活で用いられる会話文の表現を身につけると同時に、スピーチ・レベルでのリズムやイントネーションを再確認する。さらに口語表現を中心にしたオリジナル・エッセイを正確に読みこなし、それを基礎に平易な文章を書く能力を培うことにある。

履修上の留意点

授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとり、読解力をつけるために段落ごとの単位で精読し、徐々に全体の要旨をつかむことを重視する。また実際の対話文を繰り返し録音テープで聴き、リズムやイントネーションをまねる。

成績評価の方法

授業中の口頭発表、出席率、レポート、前・後期試験の結果などを総合して評価する。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とする。

教 科 書

山里勝己編著『英語コミュニケーション総合演習』(英宝社) 1,995円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I A	<small>たんし ひろまさ</small> 丹 治 弘 昌	経 A 1 年	2

講義のねらい

シナリオを通して英語を学ぶのがこの講義の目的です。

講義の内容・授業スケジュール

- 4月 俗語についての予備知識とシナリオの説明
- 5月 作品未選定
- 6月 作品未選定
- 7月 表現のまとめと前期試験実施
- 9月 英語のお国なまりと機能語の使い方
- 10月 作品未選定
- 11月 作品未選定
- 12月 表現のまとめ
- 1月 後期試験実施

履修上の留意点

実際の会話より表現のパターンを選びだし、その応用表現を学習します。そしてときに応じて文法事項について説明します

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席とそれぞれの期末テストによって行います。

教 科 書

プリントを使用します

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠA	高見陽子 <small>たかみ ようこ</small>	経 A 1 年	2

講義のねらい

これまでに学んだ構文知識を基礎としてライティングの力を伸ばし、英語でのコミュニケーションに活かす能力を身につけることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

英語表現の考え方や構造について読むことと書くこと両面から理解を深め、簡単なプレゼンテーションで実践することを課題とします。

成績評価の方法

前・後期試験とプレゼンテーションをベースに、授業での積極性など平常点を加え、総合的に評価します。全授業回数の3分の2以上の出席が必要です。

教科書

富岡龍明, James Hill著『Read Better to Write Better』(モデル英文からのライティング)(金星堂) 1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠA	川崎浩太郎 <small>かわさき こうたろう</small>	経 A 1 年	2

講義のねらい

大学生の日常生活に即した表現を学習する。Speakingに関しては、日常会話の基本的表現を解説する。Writingに関しては、入学時の英語からさらに一歩進んで、センテンス単位の作文ではなく、パラグラフ単位で表現できるようになることをめざす。Writing、Speakingだけでなく、Reading、Listeningなどとも相互に応用できるような学習方法を身につけてもらいたい。

履修上の留意点

辞書を必ず持ってくるように。

成績評価の方法

出席点、発表点50%、授業中のレポート50%。全授業日数のうち3分の1以上欠席したものは不可とする。

教科書

『Let's Write and Communicate』(金星堂) 1,850円(税別)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠA	相馬美明 <small>そうま よしあき</small>	経 A 1 年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、様々な英語の運用能力(発話・読解・聴解)を身につける。プリントを用いた文法問題、及び教科書による読解問題を通じ、精読・多読の両面から英語の基本的な運用能力を身につける。また、様々な検定対策も対応すべく、TOEICのリスニング・セクションの問題等にも触れ、聴解力を高めてゆく。

成績評価の方法

全授業日数の3分の2以上の出席を基本とし、前・後期に行う試験、及び授業で行う小テスト、また授業態度等を総合的に評価する。

教科書

Hiroko Nishida・William Gudykunst『American Communication Patterns』(金星堂) 1,200円
Mitsuho Sugawara『10-Minute Listening (Introductory)』(桐原書店) 780円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA	いわなが よしえ 岩 永 祥 恵	経 A 1 年	2

講義のねらい

近年では自分の意見、感想などを積極的に表現できる英語力が特に必要とされている。この講義では日本人学生がアメリカを旅行するという設定の題材を取り上げ、ビデオで状況を把握し、テープで発音練習を行い、より自然な発話環境に慣れていく。旅行というシチュエーションを基礎として、日常生活の多様な場面における表現能力を高めることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

以下の構成に従いつつ、会話表現を習得していく。
 Unit 1 At the Airport
 Unit 2 Getting into Town
 Unit 3 At the Hotel
 Unit 4 Dining Out
 Unit 5 Getting Around Town
 Unit 6 Sightseeing
 Unit 7 Using the Telephone

履修上の留意点

毎回の授業への積極的な参加。辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席、予習、課題提出、試験等を総合的に判断して評価する。

教科書

Paul McLean著『Survival English(Book1)』(朝日出版社) 1,359円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA	いわや たまえ 岩 屋 玉 江	経 A 1 年	2

講義のねらい

これまでに培ってきた英語力の充実とより英語らしい表現力を養うことを目標とします。テキストは、英米人の思想や文化的背景を、端的に表らわしているイディオムに焦点を絞ったものを使用します。

履修上の留意点

テキストの例文は、作文や会話に役立つ表現ばかりなので、覚えるよう心かけて下さい。予習をして授業に臨むこと。辞書は毎回持参すること。

成績評価の方法

評価は、出席および演習への参加状況、小テスト、定期試験の結果を総合しておこないます。

教科書

『Writing with Idioms』(南雲堂) 1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA	そうま よしあき 相 馬 美 明	商 1 年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として、様々な英語の運用能力(発話・読解・聴解)を身につける。プリントを用いた文法問題、及び教科書による読解問題を通じ、精読・多読の両面から英語の基本的な運用能力を身につける。また、様々な検定対策も対応すべく、TOEICのリスニング・セクションの問題等にも触れ、聴解力を高めてゆく。

成績評価の方法

全授業日数の3分の2以上の出席を基本とし、前・後期に行う試験、及び授業で行う小テスト、また授業態度等を総合的に評価する。

教科書

Hiroko Nishida・William Gudykunst 『American Communication Patterns』(金星堂) 1,200円
 Mitsuho Sugawara 『10-Minute Listening (Introductory)』(桐原書店) 780円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA	三 芳 康 義 <small>みよし やすよし</small>	商 1 年	2

講義のねらい

この科目の目的は、音声言語としての英語を意識して、日常生活で用いられる会話文の表現を身につけると同時に、スピーチ・レベルでのリズムやイントネーションを再確認する。さらに口語表現を中心にしたオリジナル・エッセイを正確に読みこなし、それを基礎に平易な文章を書く能力を培うことにある。

履修上の留意点

授業は予習を前提とし、毎回口頭による発表形式をとり、読解力をつけるために段落ごとの単位で精読し、徐々に全体の要旨をつかむことを重視する。また実際の対話文を繰り返し録音テープで聴き、リズムやイントネーションをまねる。

成績評価の方法

授業中の口頭発表、出席率、レポート、前・後期試験の結果などを総合して評価する。ただし、平常授業の出席率が3分の2に満たない場合は「不合格」とする。

教科書

山里勝己編著『英語コミュニケーション総合演習』（英宝社）1,995円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA	水 崎 野 里 子 <small>みずさき のりこ</small>	商 1 年	2

講義のねらい

簡単な英会話、ヒアリングが出来るようになることを目的とする。
Identifying, Reporting, Agreeing/disagreeing, Offerring assistance, Expressing wants/desires, など、どう英語で表現したら良いかを学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは、学生の方々の能力に応じて進むが、予定としては、一授業2課学習する。後期は別のテキストを使用する予定である。それは、教場で改めて学生の方々に通知する。

履修上の留意点

授業は毎度テープを使用し、ヒアリングの練習をしつつスピーキングを学んでゆく。学生の方々は積極的に授業に参加して欲しい。

成績評価の方法

成績評価は、前期後期二度の試験に平常点を加味し、総合評価する。平常点は出席を考慮する。学生の方々は、無理のない程度に出席に留意して欲しい。

教科書

J. ラウアー他著『実践英語コミュニケーションの技法』（英宝社）1,890円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA	ピアス, D. M.	商 1 年	2

講義のねらい

ELEMENTARY CONVERSATION
During most of the class time students will be talking with each other, so a student who wishes to take this class must have a sincere desire to speak English. Students will not learn any more English in this class, but instead learn to put their English knowledge to use by speaking it. The course is designed so that by the end you should be able to speak enough English to travel in foreign countries, talk with foreigners, and communicate about all the practical things that come up in everyday life. Conversation patterns for such everyday situation as buying things, getting information, making reservations, etc. will be studied. Every week practice in all the aspects of TOEFL, EIKEN, and TOEIC will be conducted so that students can score well in such exams. Practice in English conversation also involves hearing as many different voices and ways of speaking as possible, so students will also spend time walking around the room and mixing with other students for pontaneous conversation practice.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠA	<small>たぐちせいいち</small> 田口清一	商 1 年	2

講義のねらい

身近な科学的トピックを扱ったテキストの演習により、語彙、文法、背景知識（一般常識）が三位一体となった総合的英語力の向上を目指す。ⅠAなので表現力を重視するが、正しく読めずして正しく書ける筈はないので本文は精読する。近年、大学入学時まで体系的文法認識がなされていないという現状をふまえ、特に「表現文法」という観点からの解説に留意したい。尚、授業は演習形式をとるので予習を大前提とする。

成績評価の方法

出席と平常点を重視し、これに定期試験を加えて総合的に評価する。平常点では何よりも学問的意識のあり方を重視したい。尚、出席が3分の2に見たない場合は不合格とする。

教科書

『Science and Everyday Life (日常と科学)』（朝日出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠA	<small>かわさきえみか</small> 川崎笑佳	商 1 年	2

講義のねらい

入学時の英語知識を基盤として、意志伝達能力の向上を目指す。授業では、テキスト、又は必要に応じてその他の教材を用いて指導を行い、基本的な表現から、より効果的な表現へとステップアップすることを最終目標とする。

履修上の留意点

毎回授業中に英作文を書いて提出してもらうので、辞書持参が望ましい。

成績評価の方法

3分の2以上の出席、およびレポート、発表、授業態度、期末テストの結果をもとに総合的に評価する。

教科書

『パラグラフ・ライティング入門』（成美堂）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠA	<small>すずきみきこ</small> 鈴木美貴子	商 1 年	2

講義のねらい

英文法の復習をしながら正しいセンテンスを書けるようになることを目指す。

履修上の留意点

毎時間、学習意欲をもって英作文の基礎力をしっかり身に付けていただきたい。

成績評価の方法

出席状況、前・後期試験により総合的に評価する。

教科書

鈴木卓『Basic Writing Drills with Hints & Examples ヒント・例文で学べる英作文ドリル』（松柏社）1,800円

英 語 I B

〈英語 I B の授業内容と履修上の留意点〉

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening) : 入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I B	増 田 恵 子 <small>ますだ けいこ</small>	経 A 1 年	2

講義のねらい

「速読」や「精読」などの英文の読み方を体得し、臨機応変に運用する能力を身につける。それと同時にリスニング力の向上を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

音読、訳のほかに練習問題をおこなっていく。

履修上の留意点

十分な予習と授業への積極的な参加姿勢が必要となる。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前・後の定期試験を総合的に判断して評価する。

教 科 書

『Guide to Effective Reading』(金星堂) 1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠB	ふじしま たかき 藤 島 喬 樹	経 A 1 年	2

講義のねらい

入学時の英語力を基盤とし、使用TEXTにより一層高度の読解力と聴解力の習得を志向する。尚、読解力向上に当っては、より高度な構文理解も含め、精読力充実に加え、速読力〔TEXT各章、各段落等の大意把握〕の向上をも志向する。一方、聴解力向上に当っては、出来るだけ日本語を介入させずに、英語を英語で理解する実力向上を志向する。

講義の内容・授業スケジュール

語学学習の読む、書く、聞く、話す四技能は知ってのとおり切っても切れない関係。中でも「読む力」は四技能中最も必要不可欠。その点を十分踏まえ、本講義では基本的には下記TEXTを中心に授業を進める。又、指定TEXT以外にも所謂使える英語志向のプリント類もその都度配布し、補充教材として併用する。各回90分授業前半45分間では四技能向上志向のMINI TEST（原則的に英検2級程度）を実施する。（所要時間は基本的には前半45分間を目安とするが、内容量如何によっては45分を越える場合もあり得る。）

履修上の留意点

1. MINI TESTは各回授業開始と同時に即実施するので、遅刻や欠席のゴマかしは絶対に出来ない。もし欠席不受験なら勿論その日の得点は0点。遅刻もその都度減点の対象となるので十分に留意の事。又出席者についてもMINI TESTとは言え、ただ単に受ければ済むものではない。各回とも平均して全体の7割以上のPoint取得を心掛けて欲しい。
2. 年間全授業回数の最低2/3以上の出席がなくてはならない。即ち欠席率が授業全回数の1/3を越えれば否応なくその時点でDROP OUT。
3. 必ず然るべく予習をして受講する事。
4. 受講の際は各自必ず英和辞典を用意する事。

成績評価の方法

1. 平常点（具体的には以下の①～③）
 - ① 年間各回授業参加の度合い、（これは出席回数のみを意味するのでは決してない。大学生としての本来あるべき実質的受講態度を意味すると心得よ。）
 - ② MINI TEST各回のPoint（授業各回前半実施。）
各回それぞれ百点満点で換算すれば各回共70Point以上は取得するように。
 - ③ 授業内での質疑応答並びに発表時のPoint。
2. 前・後期両定期試験。（7月と学年末にそれぞれ実施。）前後期いずれの定期試験も①～③のうち最も比重は大きい。両試験共各100点満点で最低60Point以上獲得し、初めてCLEAR出来たとする。
3. 提出課題（然るべく解答の上、指定期日厳守で提出の事）
以上1, 2, 3三者を総合し、年間単位で評価を出す。

教科書

参考書等

4月開講第一回日の授業時に教場で指示する。

必要に応じてその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠB	いらぶ あきこ 伊良部 祥 子	経 A 1 年	2

講義のねらい

英語の読解力及びリスニング能力を身につけるとともに、アメリカ人の考え方や生活習慣について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

平易な英語で書かれたエッセイを読み、英語による質問を通して内容理解を深め、さらにディクテーションにより聴解力をつける。

履修上の留意点

予習をしてくること。

成績評価の方法

前期・後期の期末試験と授業時の発表、レポートの提出、出席率により評価する。

教科書

『Why Is That? -面白すぎるアメリカ』（金星堂）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠB	やまだてるこ 山田照子	経 A 1 年	2

講義のねらい

「人間とはどのような存在なのか」をテーマに、これまでは人文科学の分野に属していた問いを、さらに生物学的な新しい角度から見つめ直した興味深いアプローチがなされているテキストを用います。生きた英語で明確に述べられているので、英文の構造と大意の把握の仕方を学ぶ上で役に立つと思います。
発表形式の授業なので、予習が必要です。

成績評価の方法

出席率、発表、前期と後期の試験等によって、総合評価します。

教科書

P. Stapleton 著『知の再発見－明日への課題を考える (New Understandings)』(金星堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠB	かいかつこ 甲斐捷子	経 A 1 年	2

講義の内容・授業スケジュール

テキストはABC放送のアメリカ国内向けニュース番組、“World News Tonight”です。この多岐にわたる報道内容をビデオで学び、英語の運用能力を高めることを目的とします。毎回の授業は、「聞き」、「話し」、「読み」、「書く」、徹底的な総合演習です。

履修上の留意点

1 単元終えるごとに小テストを行います。これは詳細な復習のためのテストで、本試験と同じような傾向のものです。このテストで70%以上得点できるよう、復習に重点を置いて勉強して下さい。

成績評価の方法

応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が1/3を超えた場合、及び前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。

教科書

『ABC World News 4』(金星堂) 1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠB	おおばなおき 大庭直樹	経 A 1 年	2

講義のねらい

このクラスは講読のクラスなので、年間を通して、多読と精読を平行しておこなっていく。

講義の内容・授業スケジュール

このクラスでは、キリスト教をテーマにして文献を読み込んでいく。テキストには、キリスト教とヨーロッパ文明の関わりを論じたものを選び、それを精読していく。テキスト以外に、プリントとして、「旧約聖書」の抜粋、「新約聖書」に収められているイエスの譬え話などを読んでいく。基本的には、プリントはクラス外で読んで、その内容をクラスで発表してもらう。

成績評価の方法

成績は、3分の2以上の出席と、発表に重点をおく。課題の提出、そして前期と後期にそれぞれ定期試験を行う。

教科書

テキスト
『キリスト教と科学の進歩』(金星堂)
プリントは教場で配布する

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I B	お お ぼ な お き 大 庭 直 樹	商 1 年	2

講義のねらい

最新の出来事を、英字新聞・外国の雑誌・インターネットから入手して読んでいく。

講義の内容・
授業スケジュール

このクラスは、講読のクラスなので、できるだけ多くの情報を英語で読むことを重点におく。読み物は、プリントを教場で配布する。さらに課題として、ある出来事が外国の新聞等でどのように報道されているか、調べて発表してもらう。クラス以外にも相当の量の英文を読むことになる。たくさんの英文を読んで内容を要約する力を養うことが、このクラスの重点である。

成績評価の方法

成績は、3分の2以上の出席、発表、頻繁におこなうクイズ、そして定期テストによって行う。テキスト：プリントを配布するが、詳細は教場で指示する。

教 科 書

プリントで配布。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I B	ま す だ け い こ 増 田 恵 子	商 1 年	2

講義のねらい

「速読」や「精読」などの英文の読み方を体得し、臨機応変に運用する能力を身につける。それと同時にリスニング力の向上を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

音読、訳のほかに練習問題をおこなっていく。

履修上の留意点

十分な予習と授業への積極的な参加姿勢が必要となる。

成績評価の方法

出席回数、発表や提出物、前・後の定期試験を総合的に判断して評価する。

教 科 書

『Dialogues with Literary Texts』（開文社）1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I B	い ら ぶ あ き こ 伊 良 部 祥 子	商 1 年	2

講義のねらい

英語の読解力及びリスニング能力を身につけるとともに、アメリカ人の考え方や生活習慣について学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

平易な英語で書かれたエッセイを読み、英語での質問を通して内容理解を深め、さらにディクテーションにより聴き取る力をつける。

履修上の留意点

辞書を持ってくること。予習をすること。

成績評価の方法

前期・後期の各期末試験と授業時の発表、レポート提出、出席率で評価する。

教 科 書

『Real-life Scenes of Young Americans—アメリカの若者とライフスタイル』（成美堂）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	山田照子	商 1 年	2

- 講義のねらい**

効率的な読解のスキルを訓練しながら、読物として各章のトピックに自然な興味と関心を覚えることのできるようなテキストを用います。各章に読解についての技術の習得方法が解説されているので、読み進むうちに、その技術を確実に身につけることができるでしょう。発表形式の授業なので、予習が必要です。
- 成績評価の方法**

出席率、発表、前期と後期の試験等によって、総合評価します。
- 教科書**

土屋他著 『Read Up-22 Steps to Strategic Reading (英文読解スキルビルダー)』
(成美堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 I B	甲斐捷子	商 1 年	2

- 講義の内容・授業スケジュール**

テキストはアメリカの文化・社会事情を様々な角度から紹介するビデオ教材です。現場の映像と生の音声を通して、臨場感を楽しみながら英語の運用能力を総合的に高めることを目的とします。毎回の授業は、「聞き」、「話し」、「読み」、「書く」、徹底的な総合演習です。
- 履修上の留意点**

1単元終るごとに小テストを行います。これは詳細な復習のためのテストで、本試験と同じような傾向のものです。このテストで70%以上得点できるよう、復習に重点を置いて勉強して下さい。
- 成績評価の方法**

一応の日安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が1/3を超えた場合、及び前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。
- 教科書**

『American Dream』(朝日出版社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠB	ふじしま たかき 藤島 喬 樹	商 1 年	2

講義のねらい

入学時の英語力を基盤とし、使用TEXTにより一層高度の読解力と聴解力の習得を志向する。尚、読解力向上に当っては、より高度な構文理解も含め、精読力充実に加え、速読力〔TEXT各章、各段落等の大意把握〕の向上をも志向する。一方、聴解力向上に当っては、出来るだけ日本語を介させずに、英語を英語で理解する実力向上を志向する。

講義の内容・授業スケジュール

語学学習の読む、書く、聞く、話す四技能は知ってのとおり切っても切れない関係。中でも「読む力」は四技能中最も必要不可欠。その点を十分踏まえ、本講義では基本的には下記TEXTを中心に授業を進める。又、指定TEXT以外にも所謂使える英語志向のプリント類もその都度配布し、補充教材として併用する。各回90分授業前半45分間では四技能向上志向のMINI TEST（原則的に英検2級程度）を実施する。（所要時間は基本的には前半45分間を目安とするが、内容量如何によっては45分を越える場合もあり得る。）

履修上の留意点

- MINI TESTは各回授業開始と同時に即実施するので、遅刻や欠席のゴマかしは絶対に出来ない。もし欠席不受験なら勿論その日の得点は0点。遅刻もその都度減点の対象となるので十分に留意の事。又出席者に関してもMINI TESTとは言え、ただ単に受ければ済むものではない。各回とも平均して全体の7割以上のPoint取得を心掛けて欲しい。
- 年間全授業回数の最低2/3以上の出席がなくてはならない。即ち欠席率が授業全回数の1/3を越えれば否応なくその時点でDROP OUT。
- 必ず然るべく予習をして受講する事。
- 受講の際は各自必ず英和辞典を用意する事。

成績評価の方法

- 平常点（具体的には以下の①～③）
 - 年間各回授業参加の度合い、（これは出席回数のみを意味するのでは決してない。大学生としての本来あるべき実質的受講態度を意味すると心得よ。）
 - MINI TEST各回のPoint（授業各回前半実施。）
各回それぞれ百点満点で換算すれば各回共70Point以上は取得するように。
 - 授業内での質疑応答並びに発表時のPoint。
- 前・後期両定期試験。（7月と学年末にそれぞれ実施。）前後期いずれの定期試験も①～③のうち最も比重は大きい。両試験共各100点満点で最低60Point以上獲得し、初めてCLEAR出来たとする。
- 提出課題（然るべく解答の上、指定期日厳守で提出の事）
以上1, 2, 3三者を総合し、年間単位で評価を出す。
- 4月開講第一回目の授業時に教場で指示する。

教科書

参考書等

必要に応じてその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠB	いけがみ かえこ 池上 賀英子	商 1 年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として英語の読解力を養うことを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

英語の基礎学力の習熟を主眼とし、英米を始めとする英語圏における英語を取り巻く文化的・社会的な背景の理解を学習していきます。適宜に視聴覚器材も使用します。

履修上の留意点

可能な限り出席し、授業に積極的に参加することを、第一義と考え強く求めます。

成績評価の方法

授業内での演習と発表、周期的課題提出、小テスト、定期試験の成績を総合して評価します。

教科書

未定

英 語 II A

〈英語 II A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 II A	いとう こういち 伊 藤 幸 一	経 A 2 年	2

講義のねらい

多くの会話文も含み、平明な短文で記された「名作」を何度も音読し、暗唱できる程になれば、その意義は大きい。

講義の内容・授業スケジュール

毎回、着席順に当てるので予習して出席されたい。また、復習の為に3回(5月下旬、夏休み、大学祭後)宿題レポートを課し、最終授業時には、まとめのテストの予定。

成績評価の方法

成績は以上の予習、復習、まとめの成果による。詳細は最初の授業時に説明する。

教 科 書

『*The Adventures of Huckleberry Finn*』(英潮社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 II A	いせむら さだお 伊 勢 村 定 雄	経 A 2 年	2

講義のねらい

英語の発音・表現を主として音読、ダイアログの暗唱を通して学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの内容にある通り、本文の訳読にて語力を養い、長いダイアログで発音の練習、さらに進めて短いダイアログで暗唱となる。

進度は1ユニットを3~4時間で進む予定。後期は少し早くなる予定。

履修上の留意点

出席し、かつ予習しないものについては来れないものと心得ること。

辞書は必ず用意! CDは事前にチェックせよ!

成績評価の方法

評価は主としてダイアログのテスト(年に8~10回予定)と予習・出席状況による。

教 科 書

Sadao Isemura & David W. Chapman 著『オーラル・コミュニケーション英語演習』(北星堂) (CD付き) 1,900円

参 考 書 等

中型英和辞典

そ の 他

1限目に詳細は説明するので必ず出席のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA	<small>た ん じ ひ ろ ま さ</small> 丹 治 弘 昌	経 A 2 年	2

講義のねらい

シナリオを通して英語を学ぶのがこの講義の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

- 4月 俗語についての予備知識とシナリオの説明
- 5月 作品未選定
- 6月 作品未選定
- 7月 表現のまとめと前期試験実施
- 9月 英語のお国なまりと機能語の使い方
- 10月 作品未選定
- 11月 作品未選定
- 12月 表現のまとめ
- 1月 後期試験実施

履修上の留意点

実際の会話より表現のパターンを選びだし、その応用表現を学習します。そしてときに応じて文法事項について説明します。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席とそれぞれの期末テストによって行います。

教科書

プリントを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA	<small>は ぎ わ ら て る</small> 萩 原 輝	経 A 2 年	2

講義のねらい

1年時に学んだ英語を基礎にして、英語で自由英作文を作る能力の習得を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

4月から6月は“Judging People”と“Is Money Everything?”などについての章を学ぶ。7月には、前期のまとめと前期試験を実施する。9月から12月は“The Generation Gap” “The Most Precious of Human Qualities”などの章を学ぶ。1月は後期試験を実施する。

履修上の留意点

現代社会の中にある様々な問題や課題について自分の意見を、英語で表現できるようになってもらいたい。毎時間、教科書、英和・和英辞典を持参すること。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席、授業態度、試験の結果、等の総合評価。

教科書

ポール・マクレーン著『トーキング・アバウト・ジャパン』（朝日出版）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA	<small>お う み あ き ひ さ</small> 逢 見 明 久	経 A 2 年	2

講義のねらい

インターネットの英字新聞の記事・小説・詩・戯曲・映画など、様々な表現形式の英語に触れて、文語体と口語体の違いを確認し、音声面から口語体の表現を捉えて英語の聞き取りの力を養成することを目標にします。

履修上の留意点

平常点の比重が大きいため、欠席は成績評価に大きく影響します。遅刻した場合、発表の機会を失うことがあるので要注意。予習は必須で、少なくとも、未知の単語は調べておくように。発言は正誤に関わらず、事前に調べてきた成果を発表できている場合は、評価します。

成績評価の方法

評価の割合は、平常授業での発表や受講態度、及びレポートの合計をおおよそ60%までとし、前後期の試験の結果の合計を40%とします。

教科書

随時プリントを配布しますので、テキストを購入する必要はありません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA	鈴木美貴子	経 A 2 年	2

講義のねらい

日本人が非常に犯しやすい誤りを検証しながら、英語の知識を整理し確実なものにすることをねらいとする。英作文・会話作文・リスニング力の向上を目指す。

履修上の留意点

毎時間、学習意欲をもって英語運用力を高めていただきたい。

成績評価の方法

出席状況、前・後期試験により総合的に評価する。

教科書

木塚・Northridge『Common Errors in English Writing--- Third Edition英作文の盲点200(第三版)』(マクミランランゲージハウス) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA	牧野輝良	経 A 2 年	2

講義のねらい

ⅠAの授業より難しい英語の構文を学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストの英文を読み、文中に現われた重要な構文、慣用句、単語を正確に習得する。そのために小テストを多く行う。

履修上の留意点

学生はよく自習しておき、指名されたら答えられるように心掛けておくこと。毎時間の練習問題は解答し全員提出する。

成績評価の方法

成績評価は授業中の成績、小テスト、レポート、期末テスト等を総合して行う。

教科書

伊藤秀一注『ケンブリッジ プラクティカル・リーディング』(朝日出版社) 1,262円+税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA	足田和人	経 A 2 年	2

講義のねらい

英作文および英会話の運用能力向上をめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

発表形式で授業を行う。

成績評価の方法

毎時間小テストを行い平常点とし、発表やレポートの点数を評価に加える。

教科書

プリントを配布。

参考書等

必要に応じて紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA	いせむら さだお 伊勢村 定 雄	商 2 年	2

講義のねらい	英語の発音・表現を主として音読、ダイアローグの暗唱を通して学ぶ。
講義の内容・ 授業スケジュール	発表形式で授業を行う。
履修上の留意点	出席し、かつ予習しないものはついてこれないものと心得ること。辞書は必ず用意！CDは事前にチェックせよ！
成績評価の方法	評価は主としてダイアローグのテスト（年に8～10回予定）と予習・出席状況による。
教科書	Sadao Isemura & David W. Chapman 著『オーラル・コミュニケーション英語演習』（北星堂） （CD付き）1,900円
参考書等	中型英和辞典
その他	1回目に詳細は説明するので必ず出席のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA	いわやま よしはる 岩 山 義 春	商 2 年	2

講義のねらい	自分の考えを英語でまとめる練習をするのがこの授業の目的です。
講義の内容・ 授業スケジュール	前期においては、Dangling Modifiers, Parallelism, Wordinessといった基本事項を学びます。後期においては、自分の意見を1～2ページ位にまとめる練習を毎回行います。
履修上の留意点	成績評価は、3分の2以上の出席とプリント問題、作文、期末テスト等の総合評価で行います。
成績評価の方法	プリントを使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA	やそぎ ひろゆき 八 十 木 裕 幸	商 2 年	2

講義のねらい	よく使われる語彙を効果的に増やしより豊かな英語表現ができるようにすることを目的としています。プリントでは間違いや不自然な使い方の例題を取り上げ、ライティングの向上を目指します。
講義の内容・ 授業スケジュール	類義語、改まった表現とくだけた表現、コロケーションと基本動詞の表現、単語のイメージ、比喩的表現とイデオム表現、日英表現の比較、カタカナ英語、接頭辞と接尾辞、などを取り上げます。プリントでは日本人に多い間違いや不自然な使い方の例題を扱いながら授業を進めます。
履修上の留意点	毎回指名し、演習方式で授業をすすめますので、予習を必ず実行して下さい。
成績評価の方法	前期後期テスト、毎回の小テスト、レポート、出席状況（欠席1回－5点減点）などに基づいて総合的に評価します。詳細は最初の授業時に説明します。
教科書	石黒輝彦他『語彙、表現力のアップの総合演習』（英宝社） 1,680円 プリント
参考書等	授業時に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA	<small>にしむら ゆうこ</small> 西村 祐子	商 2 年	2

講義のねらい

インターネットをつかって海外の情報にふれながら内容を把握し、英語でサマリーしながらその内容を電子メールなどをいながら教場でインターアクティブに検討していく。後期には基本的なソフトウェアであるMSワードでの英文資料のつくりかた、パワーポイントをもちいたプレゼンテーションのつくりかたなどを学んでいく。インターネットを利用して欧米だけではなく、アジア、中東、アフリカなどの情報にもふれていく。

履修上の留意点

電子メールアドレスは商業プロヴァイダーのものをもちいてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なもので、かならず事前におこなっておくこと。なお、携帯電話の電子メールは長文の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。タッチタイピング修得用にフロッピーディスクを用いるので、はじめの授業から、かならず一枚持参のこと。

成績評価の方法

ほとんど隔週ごとに課題が与えられ、電子メールでの課題提出があるため、電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。なお、出欠はすべてその場での電子メール送付によって課題提出という形態での確認となるため、学生は全員電子メールアドレスを取得しておいてほしい。

教科書

『Web-Watching the World.』(南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA	<small>やまもと ちよういち</small> 山本 長一	商 2 年	2

講義のねらい

英作、聴解を中心に、文法力のブラッシュアップも図りながら、生きた音声教材を使用して、総合的な英語運用能力を高めることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

音声テープによる授業で、一名につき2～3回指名し、アサイメントをするので、予習が肝要。毎回1課づつ進む。

成績評価の方法

評価については、指名、アサイメントによるものと、教回のショート・テストとの総合評価とする。ゆえに、遅刻・欠席をすると評価不可能なので要注意。

教科書

『Let's Chat!』(朝日出版社) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA	<small>おおた まさこ</small> 太田 雅子	商 2 年	2

講義のねらい

英語のスピーキングとリスニングの力を養成することを目標とする。

履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には単位を認定しない。その他履修上の注意点は、第1回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回小テスト。

教科書

テキストは未定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA	佐藤アヤ子	商 2 年	2

履修上の留意点

まじめな授業態度を求めるので出席と発表を重視する。

教科書

4月最初の授業の時に指示する。

外
国
語

英 語 Ⅱ B

〈英語ⅡBの授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading：ⅡBを基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

演習科目なので、全授業日数の3分の2以上の出席が必要です。レポート、小テスト、プレゼンテーションなどの課題を重視します。

外国語

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB	きつかわ なおずみ 吉 川 直 澄	経 A 2 年	2

講義のねらい

外国語を読むという作業は、単語を手がかりとして、文意を探り当ててゆく作業だと思う。このことを全員で考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は3人のコラムニストの作品を隔から隔まで理解するつもりで精読し、英語に慣れ親しむのを目的とする。後期は3人それぞれの文体に注目し、ある言葉が何故選ばれたのか、その必然性について考察してみたい。また、読む速度をあげるため、量をこなす宿題や、大意を把握して要約する授業内課題も必要に応じて提出してもらう。

履修上の留意点

毎回教場でレポートを提出してもらう。出席はこれで確認する。欠席・遅刻回数についての問い合わせには一切応じない。

成績評価の方法

3分の2以上の出席、夏期課題、前・後期末試験で総合的に評価する。

教 科 書

『英文読解術』（ちくま新書）
プリント使用

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB	やまぐち あきら 山 口 晃	経 A 2 年	2

講義のねらい

基礎的なリーディング能力を前提として、英文をより多く正確に読めるようになることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

毎週異なったテーマで、リーディングの要点を説明し、実際にまとまった長さの英文を読んで理解する演習を行う。

履修上の留意点

授業中の演習が主となるので、予習の必要はないが、復習をして自分の理解度を確かめるようにする。

成績評価の方法

期末テストが主な評価基準となるが、授業参加の態度と出席も加味する。

教 科 書

開講時に指示する。

参 考 書 等

授業中に紹介する。

そ の 他

リーディングの内容について質問し、ディスカッションまで持っていくようにしたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB	まきの まさひで 牧 野 正 秀	経 A 2 年	2

教 科 書

最初の授業時教室で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB	わたべ こうじ 渡 部 孝 治	経 A 2 年	2

講義のねらい

英語の運用能力の向上を目指す。読解、作文を中心に行うが、リスニングにも力を入れたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の内容・授業スケジュールについては開講時に指示する。

履修上の留意点

会話にも活かせる基本的な表現を学び、さらに応用表現も学ぶ。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席とそれぞれの期末テストによって行います。

教科書

テキストについては、開講時に指示する。

参考書等

参考書についても開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB	いちかわ ひとし 市 川 仁	経 A 2 年	2

講義のねらい

英語ⅠBの基礎の上に、できるだけ多くの英文を読んでゆくことを目的とします。パラグラフごとに鍵となる語をひろいあげて大意をとってゆくことで、より速く読む練習も行ないます。

講義の内容・授業スケジュール

できる限り多くの英文を読むことが目的ですので、学生のみなさんの発表を中心に授業をすすめゆきます。

履修上の留意点

演習科目ですので、当然予習を前提として授業を行ないます。毎時間一人でも多くの学生に発表してもらうようにしますので、必ず予習をした上で出席してください。

成績評価の方法

成績評価は、年間授業回数の3分の2以上を条件とした上で、授業中の発表、前期と後期の試験および小テスト等を総合して行ないます。

教科書

テキストについては、こちらでプリントを用意します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB	こばやし ひでこ 児 林 英 子	経 A 2 年	2

講義のねらい

事件の多い13年度でした。時の言葉を知っておくことも必要かと考え、時事英語をとりあげようと思います。テキストは最初の授業の時発表します。

履修上の留意点

遅刻は三回で欠席一回としますので、注意するように。年間四回程度の試験をしますが、全出席日数の三分の二以上出席した者を、受験資格者とします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB	<small>ひわたり しゅんこう</small> 樋 渡 俊 光	経 A 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

アメリカの現代社会と日本の現代社会を比較することによって、その相違を知り、比較文化論を学問的にどのような立場で行なうかの方法を学ぶ。
又CNNニュースを通して、世界の今日の動きに対して、どのように、予測し、対処すべきかを学ぶことを目標とし、国際人の養成口座とする。

履修上の留意点

辞書持参。

成績評価の方法

4/5以上の出席とそれぞれの期末テストで評価を行います。

教科書

『A SHORTER COURSE IN READING (5分間リーディング)』(南雲堂)

参考書等

プリント教材

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB	<small>うえむら けいこ</small> 植 村 恵 子	経 A 2 年	2

講義のねらい

新聞・放送の英語ニュースの基本用語と語学的特質を知った上で、政治・経済・外交・軍事・環境保護からスポーツに至るまで多方面の英語ニュースを読んでいきたい。これにより新聞英語ニュースや放送英語ニュースの内容が理解できるようになることを最終目標とした。

講義の内容・
授業スケジュール

使用するテキストは各課6ページから成り、まずは関連ニュース類出用語を学び、次に2ページに渡るNewsを読んで内容を把握し、そしてEXERCISESで練習問題を解く、という作業を3回の授業で2課終える割合で前期・後期を通じて進んでいきたい。

履修上の留意点

よく予習をして授業に臨み、授業中は大学生としてのマナーをもって受講し、授業は休まず、積極的に発表することが大切である。もちろん授業中の私語、遅刻は厳禁、ガム、飲み物等は遠慮していただきたい。

成績評価の方法

出席状況(実授業回数の少なくとも2/3以上の出席が原則)、平常点(授業態度、予習や発表の内容、小テスト)及び前期・後期試験による。

教科書

藤井・内野『時事英語の総合演習-2002年度版-』(朝日出版社)1,400円

参考書等

『リーダーズ英和辞典』(研究社)7,600円

そ の 他

予習してきた内容を各自に発表してもらい、それに対して説明を補足し、また予習の結果生じた疑問に答えていきたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	<small>かわまた ようたろう</small> 川 股 陽太郎	経 A 2 年	2

講義のねらい

IBを基礎として英語の読解力をやしなう。

講義の内容・授業スケジュール

より高度な英語の読解力をやしなうと同時に、大意の把握練習をする。ビデオ等も使用する。

履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

発表、小テスト、定期試験の成績を総合し評価する。

教科書

プリント教材を適宜配布、使用する。教科書は未定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	<small>てじま けいこ</small> 手 島 敬 子	商 2 年	2

講義のねらい

本科目は「英文読解力向上」をテーマに、できる限り多くの英文を読むことで英文になれ、読解力および読解速度を引き上げることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

なるべく辞書に頼らず短時間に効率良くテキストを読む練習、さらに一定の時間内にテキストの趣旨・要点を正確にとらえる練習を行っていきます。

履修上の留意点

英和辞典を必ず持参。

成績評価の方法

中間・定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などに基づき総合的に行います。

教科書

『英文読解スキルビルダー』（成美堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB	<small>さと う こういち</small> 佐 藤 孝 一	商 2 年	2

講義のねらい

授業では、基本的に英文を正しく読めて、正しく理解できたかをチェックしていきます。授業中に英語を学習していくのは困難であると思います。予習・復習を通して段々に英語力を高めていく意欲や動機付けを自覚し、実行してもらいたいを思っています。

講義の内容・授業スケジュール

テキストはアメリカの文化や社会など多種多様な内容を学んでいきます。異文化理解に関してアメリカの文化が学生に身近に感じられると思っています。全体で100章ありますので、毎時間5章を消化するのをノルマにします。発表者は事前に内容をテープに吹き込んでください。希望者には、テキストのテープをコピーします。授業以外でも自主的にテープを用いた学習を強く望みます。リーディングの他に、リスニング能力の向上を計りTOEIC教材を用いる予定です。毎時間5人の人に発表をしてもらいますが、事前に割り振ります。

成績評価の方法

基本的に前期・後期の試験と発表点、レポート等で総合的に評価します。出席点はありません。

教科書

- (1) M. ドライバー著『It's as American as hot dogs, apple pie, and Chevrolet (World Communication)』 1,700円
- (2) TOEICテキストに関しては未定。授業で指示します。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB	山口 晃 <small>やまぐち あきら</small>	商 2 年	2

講義のねらい	英語の学習を通して、今年度は環境や生態系の問題を考え、表現する方法を身につける。IIBの授業である事を考え、とりわけ英語の理解に重点をおく。
講義の内容・授業スケジュール	毎回、英語のプリントを配布する。それを一つの素材として、具体的な表現の理解、またその背後の文化を理解する。
履修上の留意点	辞書は毎回必ず持参する事。 遅刻は他の生徒の妨げにもなるので、遅れない様に注意する事。
成績評価の方法	前期、後期それぞれ、レポートの提出、テストを行う。それに平常点を加味して評価する。
教科書	プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB	小布施 圭佐三 <small>おぶせ けいさぞう</small>	商 2 年	2

講義のねらい	国際化の観点から、内外の英字新聞の記事を読むことにします。合わせて英字新聞の読み方、英字新聞特有の文体、語法についても学習します。
講義の内容・授業スケジュール	前期：Section I (p.9～p.41) 前期：Section II (p.43～p.98)
履修上の留意点	予習の励行・レポーター制の採用・英語の辞書持参など。
成績評価の方法	出席点/レポーター点/試験(前・後期)などを加味して総合評価します。
教科書	S.Kathleen Kitao/ Kenji Kitao: 『Understanding English Newspapers』(桐原書店) 1,534円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB	丸小 哲雄 <small>まるこ てつお</small>	商 2 年	2

講義のねらい	広告の読みと批評について取り扱います。広告なくして、資本主義は生きのびることはできない。だが、商品に夢を与え、日常のショッピングを楽しいものにし、「不快」なものはすべて経済市場から追放します。夢と引き換えに広告は、政界に起こっているさまざまなことを隠蔽し、人間の不快な側面や非民主主義的なものを覆い隠して、広告が権力者の座にすわり、「欲望に身を焦がす」人々の欲望を管理しています。そこで、広告イメージにとらえられたわれわれは、消費者として、解放される必要があります。喪失した主体性の復権のために広告の読解と広告論による文化論を取り扱いたい。レポート提出もあります。
講義の内容・授業スケジュール	20分間を教材を利用してリスニング・タイムとして70分をリーディング・タイムとします。リスニング・タイムは語彙と総合理解を、リーディング・タイムはテキストの読み・解釈・批評の能力を涵養してゆきます。数回の小テストを行います。レポートもあります。
成績評価の方法	出席、平常テスト、前期・後期の語学試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。
教科書	リーディング：『Decoding Advertisements』(英宝社) リスニング：『Short Listening』(成美堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB	<small>いわはら やすお</small> 岩原康夫	商 2 年	2

講義のねらい

異文化間のコミュニケーションはまず彼我の差をよく理解することにはじまる。国際的な視野が求められる現代にあつて、多様な国民の生活様式を知り、その知識を持つことが必要不可欠になってきている。文化を余りにも日常的なレベルで眺めることは、必ずしも利益ばかりがあるわけではないが、そのようなことに十分留意しながら、人間の行動様式の彼我の差を学び、論理的な英語の読解力を養成していくことを目的とする。また比較文化的な物の見方や視点を養いたい。

講義の内容・授業スケジュール

クラスは基本的に沿って読み進むが、必要な文化的背景や英語表現などについて説明する。

履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスは進める。また辞書の積極的な使用を望む。

成績評価の方法

前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおけるparticipationによって判断する。

教科書

Peter Collett『*Human Watching* (しぐさから見た文化比較)』(成美堂) 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB	<small>い いぬま よしなが</small> 飯沼好永	商 2 年	2

講義のねらい

英語の技能において、リーディングは、情報を得る重要な要素であり、情報化社会である現代においては、氾濫する情報の中から自分の必要とする情報を正確に、かつ迅速に収集することが求められている。この授業においては、英語の文章の構造に慣れながら、段階ごとのmain ideaを押え、文意を正確に把握していく技能を訓練していきたい。ただし、日本語と英語では、段落の構成だけでなく、それを構成する文自体に違いがあるので、文法・語法の助けを借り、正確に意味を把握していくことも心がけていきたい。

履修上の留意点

リーディングの力を向上させるには、多くの英文に触れることが大切であるが、受け身の姿勢では、自己の力を向上させることは困難であるので、予習と復習は欠かさないで欲しい。また、速読には、多くの語彙が不可欠なので、日ごろから英単語、英語の表現等を積極的に身につけるよう心がけて欲しい。

成績評価の方法

成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価(50%)、前期・後期試験(50%)

教科書

塩川晴彦『*The Real World Today New Edition*』(桐原書店) 750円

英 会 話 I

〈英会話 I の授業内容と履修上の留意点〉

基本的な日常表現ができることを目指した大学初級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検 2 級合格、TOEFL のスコア 450 点、TOEIC のスコア 500 点程度。I A の振り替え選択科目です。各担当者の講義内容 (syllabus) をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

1 クラスの受講人数に制限があるので、希望通りに選択できない場合もあります。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話 I	コプレーマッキー, D. S.	経 A・商 1 年	2

外国語

講義のねらい

To develop the students' ability to understand and use spoken English in everyday contexts.

講義の内容・授業スケジュール

April : Introductions, greetings, asking for information
Talking and asking about families

May : Asking about and describing people
Asking and answering questions about personal history
Review
Test

June : Welcoming, making, offers, accepting&refusing
Asking about and telling prices, paying for goods
Asking about & identifying locations (inside), giving directions
Describing procedures, narrating a sequence

July : Reiview
Test

September: Routines & schedules, tellin time
Ordering food & drink, asking for information

November : Likes & Dislikes, gift giving
Suggestions, objections
Describing people & jobs
Asking & talking about past events

December : Review
Test

January : Presentations & Discussion

履修上の留意点

Must be active learners, using English individually, in pairs, and in groups. Weekly use of Internet resources will also be required.

成績評価の方法

Students will assessed by homework, interview, role - play simulations and written tests. There will be two formal tests each semester.

教科書

The main text used will be "Expressions: Book 1", by David Nunan, published by Heinle & Heinle Cam (price apx. ¥2,400). Students will also need a acquire the accompanying cassette tapes or CD.

参考書等

Supplementary materials may also be supplied by the teacher.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英会話 I	ウエルズ, J. K.	経 A・商 I 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

WELCOME to my class! The following is an example of my class.

- ・ quizzes 25%
- ・ tests 25%
- ・ attendance 50%

Assignments will be given weekly, with emphasis on group or pairwork
No one will be able to miss more than 3 classes
Let's have fun !

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英会話 I	ソルタ, P. N. F.	経 A・商 I 年	2

講義のねらい

English Conversation I was designed for typical Japanese high school graduates, who have studied English for six years in secondary school, but have great difficulty in speaking and understanding spoken English. The course helps students overcome their natural shyness at speaking in a foreign language, and gives them many opportunities to practice, in a meaningful context, communication in natural spoken English. The course builds up students' speaking and listening skills, and improves their ability to understand and use real English for real communication. Finally, this course seeks to increase the number of situations in which students can function using real-world English.

講義の内容・
授業スケジュール

A textbook and a workbook, each with 15 units, and the instructors worksheets, will be used as sources of classroom material. The course is based on the belief that language acquisition requires a lot of practical experience in using the language, and cannot be achieved by studying about it. The emphasis in this class, therefore, will be firmly on speaking and listening practice. Students will usually do exercises with another student (this is called pairwork) to give all students the maximum number of opportunities for speaking and listening practice.

履修上の留意点

It will be assumed that students taking this course have studied English language at secondary school level for six years. Students must be willing to take a class where the instructor will speak only English. Students should note that only two absence per semester are permitted in this course. Constant attendance, and a positive attitude towards and active participation in all class activities, will be a prerequisite for a passing grade in English Conversation I.

成績評価の方法

A final grade will be based on three measures: a mid-year exam (30%), an end-of-year exam(30%), and a mark based on attendance, attitude in class and class performance throughout the year(40%). The nature of the exams may vary depending upon the class size. An interview-style exam will given if the number of students is small. Otherwise, listening and written exercises will be used.

教科書

『Communicate: Book 1a』 David Paul / Macmillan LanguageHouse. Student's Book 1a (¥1,230)& Workbook 1a (¥880).

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英会話 I	デンドウ, G.	経 A・商 1年	2

講義のねらい

This course will concentrate on improving the communicative skills of students. Students will be taught functional English used in social situations, interviews, and international communication.

講義の内容・授業スケジュール

Classes will begin with review and practice of the previous week's lesson. Students will be expected to demonstrate fluency and accuracy in the assigned materials. New materials will be introduced and practiced every week.

Some of the areas covered will include social communication, job interviews, international communication and describing Japan. Supplementary materials such as Eiken will also be used.

履修上の留意点

Regular attendance and active participation are absolutely necessary. When a student is absent from class, it is his / her responsibility to get the assignment from the teacher or a classmate. Failure to do so will result in poor class performance.

成績評価の方法

Grades will be based on daily class performance, attendance and interviews.

教科書

No text will be used.

参考書等

Handouts from various sources will be distributed to the students.

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英会話 I	ハバード, W. D.	経 A・商 1年	2

講義のねらい

Goal:students are expected to acquire a basic ability to express themselves in day to day conversations.

講義の内容・授業スケジュール

This course includes oral/listening practice, role playing, pair practice, question and answer work, opportunities to exchange opinions and share information as well as other activities to improve student conversations skills in expressing topics of various interests.

履修上の留意点

Requirements:This is an introductory course for students who are not used to conversing in English.

成績評価の方法

Grading:Final grades will be based on attendance, class participation, preparation, and tests,

教科書

iTALK by Dale Fuller and Timothy Kiggell, Macmillan LanguageHouse, Tokyo(I also request a copy teacher's manual and textbook cassette for myself)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話Ⅰ	ジトウィッツ, P. D.	経 A・商 1年	2

講義のねらい

English I is designed to give students confidence in speaking English. This will be done by giving students practice, in every day English speaking situations and with intensive listening practice. Basic structures in conversation, vocabulary acquisition, and listening skills will be stressed. These exercises should make students better English communicators.

履修上の留意点

Textbook-Students will be given a variety of handouts to give them practice in listening, speaking, reading and writing. They will also have the opportunity to gain access to the instructor's English language practice web site.

成績評価の方法

Students are expected to come to class weekly and four absences in one semester will result in failure.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話Ⅰ	プラスキー, J. C.	経 A・商 1年	2

講義のねらい

The goal of this course is for students to reach a basic level of oral proficiency about topics with which they are familiar.

講義の内容・授業スケジュール

Basic grammar will be reviewed in a communicative context. Vocabulary development will be introduced through speaking activities primarily with other students. Pronunciation, intonation and listening practice will be incorporated through dictation exercises and tapes/CDs.

履修上の留意点

Conversations will be practiced with other students through pair discussions and dialogues.

成績評価の方法

Assessment will be a combination of class participation (50%), homework (30%), and a final oral test (20%).

教科書

None

英語 L L I

〈英語 LL I の授業内容と履修上の留意点〉

ランゲジ・ラボラトリ（1号館3・4階 LL 教場）を使用し、発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習とテープ教材またはビデオ教材を用いて、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。英検2級合格、TOEFL のスコアー450点、TOEIC のスコアー500点程度を達成目標とする初級レベルです。I A の振り替え選択科目なので、各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。1クラスの定員が30名ですから、希望通りに選択できない場合もあります。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 L L I	か い か っ こ 甲 斐 捷 子	経 A・商 1 年	2

講義の内容・ 授業スケジュール

テキストは日本人の留学生がアメリカの家庭、教育現場を通してアメリカ社会に馴染んでゆく過程を写したビデオ教材です。様々な意思伝達の現場をビデオで見ながらコミュニケーションのための英語運用能力を高めることを目的とします。徹底的に「聞き」「話す」授業の中で、基本的な発音の矯正も適宜行います。

履修上の留意点

授業としては週1回ですが、練習科目の成否は学習量で決まりますから、最低週2回は、LL自習室で復習して下さい。また1単元終了時には小テストを行います。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が1/3を超えた場合、及び前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。

教科書

【Viva!San Francisco】（マクミランランゲージハウス） 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語LLI	はなわ 美智子 埴 美智子	経A・商1年	2

講義のねらい

英語の実力の養成に関して口頭によるコミュニケーションの重要性が指摘されている。聞き、話す能力が要求されているのである。本LL教室ではリスニングの力をつけると共に英語の発音等を徹底的に練習し明確な英語を話すことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

単語の発音、アクセント、イントネーション等を重点的に取り入れ練習問題等をこなしていく。ヒアリング能力を高めるため日常的な会話を取り入れ簡単な文章の暗記、口頭練習を通して英語に慣れていく。

履修上の留意点

テキストは忘れないこと。必ず復習を行う。テープに入れた音等を家でも聞き声に出して練習する。

成績評価の方法

出席率、普段の授業態度、小テスト、前・後期試験等の総合評価で行う。

教科書

『Perfect Listening (パーフェクト・リスニング) - TOEICテスト対応問題付-』(朝日出版) 2,000円

参考書等

日常的な情景を集めた会話のビデオを見てヒアリング・オーラル・プラクティスを数多くこなすためにプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語LLI	にしむら ゆうこ 西村 祐子	経A・商1年	2

講義のねらい

基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめ、日常的なテーマを英語で話してみることから始める。後期は日常的スピードで話される会話を聞きとり、受け答えできるように聞き取る力を向上させていく。英語と日本語を半分程度づつ用いるが、後期にはほとんどの授業を英語で進めるようになる。英検2級程度の実力獲得をめざす。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。
電子メールアドレスは商業プロバイダーのものを持ちてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピューター教場の使用の際にも必要なので、事前におこなっておく。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。はじめの授業からききとり力をつけるためにテープ録音をするので、カセットテープ(90分程度)をもってくること。

成績評価の方法

ほとんど毎回英語でのサマリーをおこなう短い課題が与えられ、電子メールでの課題提出がある。電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。

参考書等

『サバイバルイングリッシュ』(朝日出版) 1、2をおもに使用するが、特に購入しなくともよい。
使用ビデオ：Grapevine1, 2, 3, Survival English1, 2, など

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語LLI	加藤 佐和子	経A・商1年	2

- 講義のねらい**

発音・アクセント・イントネーションを学習し、ネイティブ・スピーカーとのコミュニケーションが円滑にとれるようにする。TOEICスコア500を目標にする。
- 講義の内容・授業スケジュール**

毎回テキストを1 Lesson進む。更に、ヒットソング・映画の一場面・ニュース報道などのディクテーションをし、スピーキング・リスニングの力をつけていく。TOEIC受験のための学習も行う。
- 履修上の留意点**

各自カセット・テープを用意すること。必ず復習をすること。
- 成績評価の方法**

毎回の小テスト・授業参加度等で評価する。
- 教科書**

『アメリカ英語の発音教本』（研究社）
『10分間TOEIC リスニング演習』（桐原書店）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語LLI	中林 正身	経A・商1年	2

- 講義のねらい**

英語の発音、アクセント、イントネーション等の理解と習得。ほくたちが母語である日本語を習得してきたのと同じように、このクラスでは音声技能（リスニングとスピーキング）の習得に眼目を置く。英語の母音や子音の正しい発音を身につけて、英語の基本的な音を正しく発音できるようになり、また正しく聞き分けることができるようになってもらうことがこのクラスの第一のねらいである。第二のねらいは、多量の英語を聞き取り、リスニング能力を増強させることである。
- 講義の内容・授業スケジュール**

前期は、英語の特徴を掴みながら、とくにフレーズ、文章などのリスニングを重点的にやってもらう。この作業のなかで学生諸君他人には、日本語のアクセントはピッチ・アクセントであるのに対して、英語のアクセントはストレス・アクセントであるとか、日本語が各音節をほぼ等しい時間で発音することによってリズムをつくる言語であるのに対して、英語はほぼ等しい間隔でストレスを置くことによってリズムをつくる言語であるというようなことを実体験をおして知ってもらう。後期には、とにかく多種多様の英語をドンドン聞いて、英語の音に慣れてもらう。
- 履修上の留意点**

上述したような能力をつけるためには、週に一回の授業では当然不十分である。従って諸君には何らかの課題を毎週課し、翌週の授業までの一週間に家などでその課題のためにそれ相応の時間を割いてもらうことになることを覚悟してもらいたい。そして、その結果を確認するためのテストを毎週行うつもりである。授業時間外での復習は必須である。
- 成績評価の方法**

出席状況と授業への参加態度と毎回の確認テストを総合的に評価する。
- 教科書**

最初の授業時に指示する。
- 参考書等**

最初の授業時に指示する。
- その他**

家庭やLL自習室を利用したの予習復習は、毎週課せられることを認識して履修してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語LLI	く ぼ ひ さ こ 久 保 ひ さ 子	経 A・商 1 年	2

講義のねらい

レクチュアが、聞き取れ、ディスカッションできる程度をめざしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストを、聞き取り、書き取り、反復練習、録音、再生する。スピーチやビデオやディスカッションも含む。

履修上の留意点

LL授業は、ラボによる実習授業のため、欠席しないようお願い致します。

成績評価の方法

試験と授業実習点

教科書

World Times of Japan 『Michigan Action English Step 6』

[ドイツ語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA	<small>いむら ゆきこ</small> 井 村 行 子	経 A 1 年	2

講義のねらい

ドイツ語文法の基礎を一通り学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

前期は名詞を中心に、冠詞、形容詞の変化などを学び、後期は動詞を中心に、時制や態などを学ぶ。具体的な授業の予定は次の通りである。第1回 アルファベット 第2回 発音 第3回 動詞の現在形 第4回 定冠詞の変化 第5回 動詞の変化(不規則動詞) 第6回 不定冠詞の変化 第7回 複数形 第8回 人称代名詞 前置詞 第9回 形容詞の変化 第10回 過去形と未来形 第11回 比較級と最上級 第12回 完了形 第13回 助動詞第14回 分離動詞 第15回 関係代名詞 第16回 再帰代名詞 第17回 受動態 第18回 指示代名詞 不定代名詞 第19回 数詞 第20回 zu不定詞 分詞 第21回 接続法の形態 第22回 接続法の用法

履修上の留意点

学ぶべき項目は多く、与えられた時間は限られている。必ず予習のうえ授業に参加してほしい。

成績評価の方法

主として前期末と後期末の二度の筆記試験による。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA	<small>し ま と み え</small> 志 真 斗美恵	経 A・商1年	2

講義のねらい

初級文法の基礎を確実に習得することが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

ABCからはじめて接続法まで段階をおって学習します。

履修上の留意点

あらたな外国語を学ぶクラスです。欠席をすると自分で補うには授業の何倍もの時間を要するでしょう。できるかぎり休まず出席してください。

成績評価の方法

前・後期試験、授業中の小テスト、平常点(出席、発表等)を総合して評価します。

教科書

長谷川・川嶋他『らくらくドイツ文法』(三修社)2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA	<small>かわかみ かずひと</small> 河 上 和 史	経 A・商1年	2

講義の内容・授業スケジュール

近代化の歩み、敗戦とその後の経済的繁栄など、ドイツは日本と多くの共通点を持つ国です。しかしその一方、ドイツは日本と対照的な面も多く持っています。今、我々と我々の国が直面している様々な問題を考えようとするとき、「ドイツ」はいろいろなヒントを与えてくれるはずです。知っているようで意外に知らない「ドイツ」、そして「ヨーロッパ」とあらためて出会うために、これから一年間「もう一つの外国語」を学びます。

授業は単に「文法」の習得だけでなく、「話す」練習にかなり時間を使い、またビデオなどによって多角的で楽しいものにするつもりです。

教科書

「独和辞典」は必ず必要ですが、最初の授業でいくつか紹介しますので、あわてて買う必要はありません。教科書は「プリント」を使います。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA	<small>ももずみ いさむ</small> 百 済 勇	商 1 年	2

講義のねらい

1991年以来、ベルリン・ドイツ経済研究所の客員研究員をしているが、そこではドイツ人以外の外国の学生、院生も実習生として研修している。そこで共通していることは、学習、研究の目的意識が明確であること、さらに外国語修得が優れていることだ。初めてドイツ語を学ぶ学生が多いと思うが、毎回、出席すること。

成績評価の方法

原則として、毎時間、小テストを行う。それゆえに期末試験は、行わない。

教科書

中村浩平、中村仁『コンパクト10』（三修社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠB	<small>しばのひろこ</small> 柴 野 博 子	経 A・商1年	2

講義のねらい

ドイツ語の学習を通して、ドイツの文化にも触れる授業にしたいと思っています。

成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

教科書

小塩 節『ドイツ ころの旅』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠB	<small>まつおか すずむ</small> 松 岡 晋	経 A 1 年	2

講義のねらい

下記の教科書欄に掲げる教科書を用いてドイツ語の基礎的発音、基本的文章構造、日常的表現を最初から学び、練習することがこの授業の目的です。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書は12課からなり、各課にある練習問題を口頭ならびに文章で受講者諸君におこなっていただきます。さらに、この教科書はCD付きですので、それを用いた自学・自習も求められます。なお、独和辞典を毎回持参してください。

成績評価の方法

成績評価は、最低限2回以上行われる筆記試験に平常点（出席率、授業で与えられた課題をきちんとこなしたかどうか等々）を加味して行うつもりです。くれぐれも定期的出席を！

教科書

佐藤修子ほか著：『CD付き スツェーネン1 場面で学ぶドイツ語』（三修社）2,900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠB	<small>いづか きみお</small> 飯 塚 公 夫	経 A・商1年	2

講義のねらい

ドイツ語及びドイツ文化に親しみをもつこと。

講義の内容・
授業スケジュール

文法を簡単に説明してから、教科書の文章の理解と読み（発音）に取り組みます。

履修上の留意点

まじめであること。

成績評価の方法

前後期の試験及び平常点。

教科書

小川さくえ他著『はじめてのドイツ語コミュニケーション』（白水社）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠB	柴野博子	商 1 年	2

講義のねらい

ドイツ語の学習を通して、ドイツの文化にも触れる授業にしたいと思っています。

成績評価の方法

年3回の試験と、平常の学習態度を総合して評価します。

教科書

小塩 節『ドイツ こころの旅』(朝日出版社) 2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA	藪下 紘一	商 2 年	2

講義のねらい

中級文法を学びましょう。

成績評価の方法

成績は普段教室で、皆さんに発表してもらった平常点と、7月及び1月の試験の成績の合計で評価します。

教科書

M. Ferenbach u. B. Noonan『中級文法読本ドイツ語を読む』(朝日出版) 960円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA	河上 和史	商 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

2年生は学力にかなり差があるので、最初の授業の時に幾つかの「授業プラン」を示して、学生諸君と話し合い、一年間の勉強の予定を決めます。
いずれにしても初めのうちは、一年で学んだ「文法」の復習に、相当時間を割くつもりです。
諸君の積極性に期待します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA	野島 利彰	経 A 2 年	2

講義のねらい

前期は簡単な読み物を、後期は少し内容の高度な論文的なものを読みます。毎回テキストの文法解説をし、辞書が引きやすいようにした上で、訳を宿題として提出させます。授業はその訳を講評しつつ進めます。

成績評価の方法

提出した訳の総合成績と定期試験の成績により成績評価をします。

教科書

大岩信太郎『初期後期ドイツ語(5)』(三修社) 1,262円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA	やぶした こういち 藪 下 紘 一	経 A 2 年	2

講義のねらい

中級文法を学びましょう。

成績評価の方法

成績は普段教室で、皆さんに発表してもらった平常点と、7月及び1月の試験の成績の合計で評価します。

教科書

大谷弘道『ドイツ人に答えてみよう!』（三修社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡB	かわかみ かずひと 河 上 和 史	経 A 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

2年生は学力にかなり差があるので、最初の授業の時に幾つかの「授業プラン」を示して、学生諸君と話し合い、一年間の勉強の予定を決めます。
いずれにしても初めのうちは、一年で学んだ「文法」の復習に、相当時間を割くつもりです。
諸君の積極性に期待します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡB	まつおか すずむ 松 岡 晋	商 2 年	2

講義のねらい

教科書欄に掲げた教科書を用いてドイツ語の現代文を読みます。ドイツ語の新聞、雑誌等を読むための基礎訓練になれば、と思っております。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書は、各課とも、現代ドイツの生活や社会に関する約1ページのドイツ語の文章、関連する文法事項の説明および練習問題からなっています。ドイツ語の文章には注解も付いており、比較的容易に読みこなせるはずですが、教科書終了後は、また別の文章をコピーで配布して読むつもりです。

履修上の留意点

多少は予習をお願いいたします。また、毎回、独和辞典を持参してください。ドイツ語に限らず、外国語のテキストを読むには、最初のうちは時間と忍耐力が必要です。すぐに諦めないで、粘り強く続けてください。

成績評価の方法

成績評価は最低二回以上おこなう筆記試験の結果および平常点（出席率、授業に取り込む姿勢、分担箇所の和訳をきちんと準備したかどうかなど）によっておこないます。したがって、試験結果もさることながら、定期的出席、授業中の熱意なども重視します。

教科書

橋本政義ほか著『グレードアップドイツ語－初級から中級へ』（郁文堂）2,000円

[フランス語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA	はせがわ みつあき 長谷川 光 明	経 A 1 年	2

講義のねらい

フランス語の初級文法を一通り習得することがこの授業の目標です。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。練習問題の答案提出によって出欠をとります。試験は前期と後期2回で行います。

履修上の留意点

フランス語にまず慣れ親しむために、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組んでもらいます。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法

前期後期試験及び平常点。

教科書

小石悟『グラメール・オ・コティディアン』（第三書房）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA	もりもと のぶこ 森 本 信 子	経 A・商1年	2

講義のねらい

英語以外の外国語として初めて学習する学生が抵抗なく学習できる授業を目指す。第一に興味を持ってもらうことに重点を置く。その上で、話したり読んだりする際に基本となる文法上のきまりなどを、反復練習を重ねることで、体得していてもらいたい。

履修上の留意点

フランス語は難しいらしい、という風評を信じないこと。授業には積極的に参加すること。宿題は必ずやってくること。

成績評価の方法

平常授業内で行なう小テスト点、期末テスト点、出席点などを総合して評価する。従って欠席は極めて不利な事態となる事を自覚して欲しい。

教科書

『abCdfrensais』（白水社）CD付きなので活用して欲しい。

参考書等

授業内で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA	いと う 伊 藤 な お	経 A 1 年	2

講義のねらい

一年間かけてフランス語文法の基礎を習得します。

講義の内容・授業スケジュール

日常よく使われる単語と表現を用いて基礎的な文法を体系的に学んでいくとともに、発音練習と音読に力を注ぎます。各文法事項の定着を図るため、毎回練習問題を宿題として課します。

履修上の留意点

授業にはただ出席するだけでなく、積極的に参加して下さい。毎回与えられる宿題を必ずしてから授業に臨んで下さい。

成績評価の方法

平常点、小テスト、前・後期試験によって判定します。

教科書

内藤陽哉他『フランス語のパスポート』（白水社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA	はせがわ みつあき 長谷川 光明	商 1 年	2

講義のねらい

フランス語の初級文法を一通り習得することがこの授業の目標です。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書に従って、各文法事項を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。練習問題の答案提出によって出欠をとります。試験は前期と後期2回で行います。

履修上の留意点

フランス語にまず慣れ親しむために、出席者は口答問題、筆答問題に積極的に取り組んでもらいます。辞書は必ず毎回持参してください。

成績評価の方法

前期後期試験及び平常点。

教科書

小石悟『グラメール・オ・コティディアン』（第三書房）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠB	おの ひでし 大野 英士	経 A 1 年	2

講義のねらい

基礎的な文法知識を整理しながら、平易なフランス語の読解力・運用力を総合的に涵養する。

講義の内容・授業スケジュール

発音と綴字の関係をしっかり学習した後で、本文・文法・練習問題・スケッチと4つの部分に分かれた教科書を用いて、文法の流れに沿って無理なく、フランス語のさまざまな表現に慣らし、てゆく。

履修上の留意点

授業への積極的な参加を特に要望します。必ず予習・復習をしてから出席すること。

成績評価の方法

前・後期の試験及び平常点。

教科書

安田悦子『F・コム・ファシル』（白水社）1,680円

参考書等

最初の授業でガイダンスします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠB	すがわら たけし 菅原 猛	経 A・商 1 年	2

講義のねらい

英語以外にも外国語の一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。

講義の内容・授業スケジュール

ⅠAを補完するかたちで授業を進め、1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。

履修上の留意点

教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。

成績評価の方法

平常の授業、平常試験と学年末試験をプラスし、総合的な評価を出す。

教科書

瀬倉・田中・原田共著『新世紀グラシスー仏検対応文法演習ー』（駿河台出版社）2,500円＋税

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠB	^と おやま ^ひ ろお ^お 博 雄	経 A・商 1 年	2

講義のねらい	ある程度まとまったやさしい文章やスケッチを読み取り、発音できるようになること。
講義の内容・授業スケジュール	必要な文法事項の説明をしてから、辞書を使って応用していきます。リスニングと発音練習もあわせて行ないます。
履修上の留意点	必ず辞書を持って出席し、自分で取り組むこと。大きな声を出すこと。遅刻をして説明を聞きもらさぬこと。
成績評価の方法	筆記試験を2回行ないます。その中にリスニングも含まれます。必要に応じて動詞活用の書き取りもあります。
教科書	中村敦子著『友達とフランス語を』（白水社）2,400円
参考書等	最初の授業で仏和辞典のガイダンスをします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠB	^お おの ^ひ でし ^お 大 野 英 士	経 A・商 1 年	2

講義のねらい	基礎的な文法知識を整理しながら、平易なフランス語の読解力・運用力を総合的に涵養する。
講義の内容・授業スケジュール	発音と綴字の関係をしっかり学習した後で、本文・文法・練習問題・スケッチと4つの部分に分かれた教科書を用いて、文法の流れに沿って無理なく、フランス語のさまざまな表現に慣らしでゆく。
履修上の留意点	授業への積極的な参加を特に要望します。必ず予習・復習をしてから出席すること。
成績評価の方法	前・後期の試験及び平常点。
教科書	安田悦子『F・コム・ファシル』（白水社）1,680円
参考書等	最初の授業でガイダンスをします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠB	^す がわら ^た けし ^お 菅 原 猛	商 1 年	2

講義のねらい	英語以外にも外国語を一つ位は知っておく必要があることは世界中の常識。
講義の内容・授業スケジュール	IAを補完するかたちで授業を進め、1年間の限られた時間枠の中でフランス語を読解する基礎知識を身につける。
履修上の留意点	教科書・辞典を持参し、可能なかぎり出席すること。
成績評価の方法	平常の授業、平常試験と学年末試験をプラスし、総合的な評価を出す。
教科書	久松健一著『フェリシタシオン！－仏検シャ・シャ・シャー』（駿河台出版社）2,500円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡA	<small>まえだのりかず</small> 前 田 祝 一	商 2 年	2

講義のねらい

レベルを中級フランス語に設定します。したがって、1年生で勉強したフランス語の後半分から始めて、かなり詳しくじっくりと学習して行きます。仏検3級が取れる程度まで。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って進め、こまかいニュアンスの違いも感じ取ってもらいます。

履修上の留意点

初級フランスの単位が取れていない人、またあまり自信のない人は、自分で参考書を入手して、勉強をやり直す覚悟でいること。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績を評価しますが、授業中の課題・出席状況にも配慮します。

教科書

久松健一他編『ボン・ヌフー中級レベル50の鍵一』（駿河台出版社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡA	<small>とおやまひろお</small> 遠 山 博 雄	商 2 年	2

講義のねらい

辞書を使ってやさしいフランス語の文章を読み、発音すること。

講義の内容・授業スケジュール

1年次でやり残した文法事項の説明をまずすませ、その他の文法事項は復習したり追加しながら、辞書を片手に熟読していきます。後期は短い読み物に挑戦します。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席すること。

成績評価の方法

2回の筆記試験を行ないます。リスニングも含まれます。

教科書

藤田友尚著『ネット時代のフランス語』（白水社）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡA	<small>はたなかちあき</small> 畑 中 千 晶	経 A 2 年	2

講義のねらい

子ども向けに書かれたフランス語新聞を読むことを通じて、辞書を片手にまとまったフランス語の文章を読み解く力をつける。話題は、科学・医療・環境・教育など多岐にわたっており、さらにヨーロッパあるいはアジアなどの最近の話題も盛り込まれているため、今後、自分の力でフランス語の新聞・雑誌記事を読む際に必要な語彙を増やすことができる。

成績評価の方法

宿題などの提出物、小テスト、前期末・学年末テストなどを総合して評価する。

教科書

瀧川好庸・ガブリエル・メランベルジェ・東多鶴恵編著『やさしいフランス語新聞（3）』（第三書房）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡA	と お や ま ひ ろ お 遠 山 博 雄	経 A 2 年	2

講義のねらい

辞書を使ってやさしいフランス語の文章を読み、発音すること。

講義の内容・授業スケジュール

1年次でやり残した文法事項の説明をまずすませ、その他の文法事項は復習したり追加しながら、辞書を片手に熟読していきます。後期は短い読み物に挑戦します。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席すること。

成績評価の方法

2回の筆記試験を行ないます。リスニングも含まれます。

教科書

野村訓子他著『アニエスの日々』（駿河台出版社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡA	た に が わ 谷 川 かおる	経 A 2 年	2

講義のねらい

フランス語中級

講義の内容・授業スケジュール

1年次で学んだフランス語の基礎を復習・確認しながら、日常的なフランス語の文章を読み、フランス語の理解を深めます。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

半場由紀子『小説への旅立ち』（朝日出版社）2,100円

参考書等

そのつど授業で指がします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡB	す が や さとる 菅 谷 暁	経 A 2 年	2

講義のねらい

教科書はフランスの最近の新聞や雑誌の記事をやさしく書き直したものです。フランス語を読む力を養うとともに、フランスの社会や文化についての理解を深めます。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験によります。

教科書

ボームルー著『時事フランス語（2002年度版）』（朝日出版社）1,800円

その他

毎回数人の担当者をあらかじめ決めておくので、その者は担当部分を正しく発音し、訳せるようにしておいてください。なお必要な文法事項は詳しく説明し、発音はカセットテープを利用して練習します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡB	はたなか ちあき 畑 中 千 晶	商 2 年	2

講義のねらい

リスニング力を強化しながら、フランス語でコミュニケーションする能力を身につける。

履修上の留意点

ペアワークなど、クラス内の活動に積極的に参加してください。平常点を重視します。

教科書

中井珠子『コミュニケーションのためのフランス語リスニング入門』（白水社）1,800円

中国語

中国語ⅠA・ⅠB

中国語の入門クラス。発音と文字（簡体字）そして文法の基礎を学ぶ。授業では、まず「ピンイン」というローマ字表記を使って発音を学び、次いでその表記法によりつつ基本的な文法・文型等を学んでゆく。「ピンイン」表記を最初にしっかり覚えないと、その後の学習がほとんど不可能になる（漢字で書かれているので他の外国語より易しいというのは、誤った俗説である）。

ⅠA-ⅠBという週2コマの授業を通して1冊の教科書を使用する。ⅠA-ⅠBの組み合わせは固定されており、それを一人の教員が担当する場合と、二人の教員が共同で担当する場合とがある。いずれにしても必ずその2コマを1セットで履修しなければならない。

中国語の学習には自分の口と耳を使った教室での実地練習がきわめて重要である。休まず出席し、教員の指導のもと、積極的に練習を行ってほしい。出席は成績評価においても重要な判断材料となる。そのほか年間を通じての各種小テスト、中間・定期試験、課題提出、および授業中に見られる実際の習熟度等々に基づいて最終的な成績評価がなされる。日頃の努力の積み重ねが不可欠であり、定期試験のときだけ一夜漬けで乗り切るといったことは絶対に不可能である。

中国語ⅡA

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、ピンイン付の長文を学び、中級程度の読解力・文法的理解力を養う。正確な読解は、読み書きだけでなく、話したり聞いたりするための基礎ともなるものである。

授業は、各担当者によって多彩な内容が用意される。文学的なもの、中国の社会や文化の理解に役立つもの、文法学習を主とするもの、またいろいろな文章の抜粋を読むもの、1~2編の、まとまった作品をじっくり読み上げるもの、等々である。いずれの場合も、発音と基礎文法の復習・定着、やや複雑な中級程度の語彙・文法・文型の学習、そして長文の論理展開や文章構成の把握、といったことが目標となるであろう。また、それと同時に、教材を通して、表面的な知識や情報にとどまらない、内在的な中国理解の眼を養ってもらいたいと思う。

中国語ⅡB

ⅠA-ⅠBの学習を基礎としつつ、簡単な内容の文を言ったり書いたりすることのできるような、初歩的な表現力の獲得を目指す。長文読解中心のⅡAに対し、ⅡBの教材は短文の会話体を主とするもので、内容理解だけならさほど難しくはないであろう。ここで目標とされているのは新たな知識の拡張よりも、むしろ既修の知識を血肉化させ、それを「使える」ようにすることなのである。つまり、「発信型」の語学力の土台を築こうというわけである。そのため毎回の授業に休まず出席するのはもちろんのこと、教室で行われる練習に積極的に参加し、なるべく多くの反復練習をこなすよう努めてほしい。成績評価の原則は、上記ⅠA-ⅠBに準ずる。

【辞書について】

○1年次必修科目の学習しか想定しない場合

- ・相原茂『はじめての中国語学習辞典』（朝日出版社） 2,600円
- ・上野恵司『標準中国語辞典〔第2版〕』（白帝社） 2,300円

これらは初学者向けの語法解説を充実させているほか、例文にもピンインが付いており、単語の意味を調べるだけでなく文中での使われ方を会得するのに役立つ。ぜひ例文を音読したり書き写したりしてほしい。

○2年次まで学習する場合

- ・松岡榮志ほか『クラウン中日辞典』（三省堂） 4,000円
- ・上野恵司『基礎中国語辞典』（NHK 出版） 3,500円
- ・武信彰『プログレッシブ中国語辞典』（小学館） 3,500円
- ・相原茂『講談社中日辞典〔第2版〕』（講談社） 6,500円

ここに挙げた以外にも、同規模あるいはさらに小型の、また中日・日中を1冊で間に合わせるような辞書が幾つか出版されているが、内容が粗雑であったり、古かったり、学習に必要な配慮を欠いていたりで、薦められない。なお、日中辞典は必携ではないが、以下のものが手元があれば重宝するであろう。

- ・北京・対外経済貿易大学『日中辞典〔第2版〕』（小学館） 7,000円 2002年
- ・倉石武二郎・折敷瀬興『岩波 中日辞典〔第2版〕』（岩波書店） 5,000円 2001年

○2年次以降も継続して学習する場合は、以下のうち、実際に手に取ってみて気に入ったものを選ぶとよい。かなり値が張るものが多いが、じっくりと親しみ使い込むほどに、大枚を叩いた以上の恩恵が身にしみるのもこれらの書である。

- ・相原茂『講談社中日辞典〔第2版〕』（講談社） 6,500円
- ・伊地智善継『白水社中国語辞典』（白水社） 7,800円
- ・商務印書館・小学館『中日辞典』（小学館） 6,800円
- ・愛知大学『中日辞典〔増訂第2版〕』（大修館書店） 8,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A	宮本厚子	経 A・高 1 年	2
中国語 I B	王 聡		2

成績評価の方法	年に2～3回の筆記試験、(前後期末試験を含む)と平常点で評価する。
教科書	相原茂・陳淑梅『語学三十六景』(東方書店) 2,200円
その他	詳細は開講時に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A	村松哲文	経 A 1 年	2
中国語 I B	鶴島俊一郎		2

講義のねらい	中国語で簡単な日常会話が出来、平易な文章が読めるようになることを目標に、基本的な短文の暗記と徹底した発音訓練をする。
講義の内容・授業スケジュール	はじめは発音をマスターするために、中国語の発音表記(ピンイン)を反復練習し、その後、文法事項を確認しながら多くの文章を読みこなしていく。
履修上の留意点	授業は真剣勝負の時間である。特に語学は積み重ねが大切なので、真摯な態度で授業に臨むこと。
成績評価の方法	前期・後期の試験、授業中の小テスト、出席率などを総合して評価する。
教科書	牧田英二・楊立明『新編・例文中心初級中国語』(同学社) 2,300円
参考書等	参考書は授業中に適宜紹介する。
その他	授業には「守り」ではなく「攻め」の態勢で出席してほしい。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A	弘 兼 加奈子 <small>ひろ かねこ</small>	経 A 1 年	2
中国語 I B	岩 崎 皇 <small>いわさき ひろし</small>		2

講義のねらい

発音、文法、単語などの最も基礎的な部分を、拾得することが目標ですが、言葉の学習の面白さを伝えられたらと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って授業を進めていきます。最初の数回、発音を重点的に練習します。

履修上の留意点

授業での練習が大切です。どのような理由でも欠席が多い場合は成績評価をしません。

成績評価の方法

試験結果を中心にして、授業態度、出席状況を考慮して評価します。

教科書

八木章好『はじめての中国語ふうとんほあ』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A	工 藤 早 恵 <small>くどう ばい けい</small>	経 A 1 年	2
中国語 I B	福 地 桂 子 <small>ふくち けいこ</small>		2

講義の内容・授業スケジュール

ピンイン（中国語のローマ字）に従って正確な発音を学び、文法の基礎を学ぶ。福地と工藤がペアを組み、同一のテキストを使って授業する。発音篇は二人で担当し、本篇は福地が文法を説明し、工藤が練習を行う。

成績評価の方法

年4回の試験の成績に、平常点を加味。出席が5分の4に満たない場合失格。

教科書

相原茂他『語学三十六景』（東方書店）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A	村 松 哲 文 <small>むらまつ てつぶん</small>	商 1 年	2
中国語 I B	鶴 島 俊 一 郎 <small>つるしま しゅんいちろう</small>		2

講義のねらい

中国語で簡単な日常会話が出来、平易な文章が読めるようになることを目標に、基本的な短文の暗記と徹底した発音訓練をする。

講義の内容・授業スケジュール

はじめは発音をマスターするために、中国語の発音表記（ピンイン）を反復練習し、その後、文法事項を確認しながら多くの文章を読みこなしていく。

履修上の留意点

授業は真剣勝負の時間である。特に語学は積み重ねが大切なので、真摯な態度で授業に臨むこと。

成績評価の方法

前期・後期の試験、授業中の小テスト、出席率などを総合して評価する。

教科書

牧田英二・楊立明『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

参考書等

参考書は授業中に適宜紹介する。

その他

授業には「守り」ではなく「攻め」の態勢で出席してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A	天野 節	商 1 年	2
中国語 I B	松本 丁俊		2

講義のねらい

文法を踏まえ、「読む」、「聞く」、「書く」、「話す」という四技能を関連付けながら学習して行けるよう援助する。最終的には、その後独学でも継続して学習して行ける基本的な能力を修得することがねらいである。

履修上の留意点

最後まで情熱を持ち続け学習する決意をして、授業にのぞんで欲しい。

成績評価の方法

出席、授業態度、課題、小テストによる平常点と期末テストの結果を合わせ総合的に評価する。

教科書

牧田英二・楊立明『新編・例文中心初級中国語』（同学社）2,300円

参考書等

授業の中で紹介。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A	弘兼 加奈子	商 1 年	2
中国語 I B	岩崎 皇		2

講義のねらい

発音、文法、単語などの最も基礎的な部分を、修得することが目標ですが、言葉の学習の面白さを伝えられたらと思っています。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って授業を進めていきます。最初の数回、発音を重点的に練習します。

履修上の留意点

授業での練習が大切です。どのような理由でも欠席が多い場合は成績評価をしません。

成績評価の方法

試験結果を中心に、授業態度、出席状況を考慮して評価します。

教科書

八木章好『はじめての中国語ぶうとんほあ』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A	福地 桂子	商 1 年	2
中国語 I B			2

講義の内容・授業スケジュール

I AとI Bを一人の教員が一冊の教科書を用いて授業する。ピンイン（中国語のローマ字）に従って正確な発音を学び、文法の基礎を一通り学ぶ。

履修上の留意点

練習や小テストにできるだけ時間をかけ、一時間に一、二回は必ず当たるので復習しておくこと。

成績評価の方法

年4回の試験の成績に平常点を加味。出席が5分の4に満たない者は失格。

教科書

相原茂他『語学三十六景』（東方書店）2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	まつもと あつとし 松本 丁俊	商 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

中国の故事や民話、人民の生活、新聞記事、名作等から講読や鑑賞にふさわしい文章を選び、難易度に応じて、易しい文章から順に配列したテキストを使用。長文学習では、単に読解力の向上にとどまらず、中国人の生活、風俗習慣、ものの見方、考え方なども垣間みることができる。それによって、中国をより多く知ることができるだろう。

教科書

陳榮生・頼石博・蔡柱国編著『現代中文読本』（神保出版） 1,650円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	ふくち けいこ 福地 桂子	商 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

中国語Ⅰで学んだ文法の基礎を確認しつつ、少し長い文章を読む。又中国の歴史、文化についての理解を深める。

履修上の留意点

新出単語については必ず辞書を引いてくること。読みの練習をしておくこと。

成績評価の方法

期末テスト＋平常点。（テストでは読解、文法のほか発音テストも行う）。出席が5分の4に満たない者は失格。

教科書

小川郁夫『中国を知るための中国語中級テスト』（白帝社）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	ちん しゅうきよ 陳 洲 拳	商 2 年	2

講義のねらい

発音と基礎文法の復習、定着、中級程度の語い、文法、文型の学習、そして長文の文章構成の把握等を目標として、中級程度の読解力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

作者がいろいろな違った角度から中国の有名な都市の一つの側面を紹介した文章で綴ったテキストを使用。全22編なので、1回毎に1課のペースで授業を行う。文法項目と単語の解説がついているので、自習しても内容を把握することがある程度できるはず。授業中一人ずつ、少しずつ読んで、訳してもらって、そして発音の訂正とこまかい説明を行う。

履修上の留意点

辞書を引いて予習することが必要。本文の漢字にピンインがついているし、本文のカセットテープもあるので、予習は簡単。

成績評価の方法

テキストよりやや簡単な中国語の文章を日本語に訳す。辞書持ち込み可。後期のテストの成績を重視する。

教科書

陳洲拳他『中国名都物語』（中国文化出版センター）1,800円

参考書等

『簡明中日、日中学習詞典』（中国文化出版センター）3,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	<small>ひろかね</small> 弘 兼 <small>かなこ</small> 加奈子	商 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

一年次で学んだことを定着させ、更に発展させることを目標とする。
課文には現在の中国事情に関するものが多く取り上げられている。翻訳が中心となるが発音・声調も重視していく。

成績評価の方法

年数回のテスト、提出物、教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

山下輝彦『今日の中国トピック12』（金星堂）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	<small>こ</small> 胡 <small>ぎよくか</small> 玉華	商 2 年	2

講義のねらい

ピンインの付いた読み物の講読を通して、初級の授業で身につけた中国語の発音、読解力の基礎を実用的なレベルに高めることを目指す。また教材を通して、今日の中国社会がもつ様々な姿及び中国人の考え方や生活スタイルなどを理解する機会ともしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

本文の朗読・翻訳及び関連語彙・語句を用いた作文練習。

履修上の留意点

『中日辞典』を用意すること。
受講者は毎回十分な予習をした上で、出席すること。

成績評価の方法

「A+α」制で評価する。「A」は定期試験による評価；「α」は、出席状況、宿題の出来具合、授業中の積極性などによる評価。

教科書

孟广学・本間史『中国は今』（白水社）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	<small>かまや</small> 釜屋 <small>おさむ</small> 修	経 A 2 年	2

講義のねらい

中国語Ⅰで学んだ発音をより正確にするための復習、文法事項のより体系的な把握をめざす。簡単な文の中国語訳へも積極的にとりくんでもらう。

履修上の留意点

漢字表記だから易しいという誤った常識から、日本語とは異なった系列の外国語としての中国語の特質を楽しむ積極性を発揮してほしい。自主的学習を求める。

成績評価の方法

平常点、出席状況、宿題、小テスト、期末テスト（前後期各一回）により総合判定する。

教科書

荒川清秀『中国語文法システム』（同学社）1,800円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	さくらば かずのり 櫻庭和典	経 A 2 年	2

講義のねらい

やさしい長文の文章の読解と、日常生活に使われるより多くの語彙を習得し、実践会話の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

文章を正しく読めるよう、音読のトレーニングと文章の理解力を高める。受講者には一人一人読みと訳をしてもらい、さらに、日常生活に使われる語彙を実際につかかって会話のトレーニングを行う。

履修上の留意点

必ず予習を行うこと。
授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

平常評価（授業態度・出席日数）、小テスト、学期末テスト（前期、後期各一回）を行うが、特に平常評価に重きをおく。出席日数の足りない場合は、受験資格を失うため注意すること。

教科書

八木章好編著『漢語趣話』（白帝社）1,800円

参考書等

必要になったら授業のなかで紹介する。

その他

授業中の私語は厳禁とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	り 李 うん 雲	経 A 2 年	2

講義のねらい

講読と文法をかねたテキストを用いて、易しい読み物を通して中国語の発音、基礎的な文法の勉強を行う。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを使用し、だいたい3週間に2課の進度で授業を進めていく。

履修上の留意点

授業中、私語をしないこと。ちゃんと予習と復習をすること。

成績評価の方法

出席状況、日常の学習態度、並びに小テストによって成績評価を行います。

教科書

戸沼市子・邢玉芝・渋谷瑞江『動詞をながめて中国語』（朝日出版社）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	まつもと あつとし 松本丁俊	経 A 2 年	2

講義の内容・授業スケジュール

中国の故事や民話、人民の生活、新聞記事、名作等から講読や鑑賞にふさわしい文章を選び、難易度に応じて、易しい文章から順に配列したテキストを使用。長文学習では、単に読解力の向上にとどまらず、中国人の生活、風俗習慣、ものの見方、考え方なども垣間みることができる。それによって、中国をより多く知ることができるだろう。

教科書

陳榮生 頼石博 蔡柱国編著『現代中文読本』（神保出版）1,650円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	陳 <small>ちん</small> 洲 <small>しゅう</small> 挙 <small>きよ</small>	経 A 2 年	2

講義のねらい

今までの学習を活かしつつ、より実用的な運用能力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

やや簡単な会話体のテキストを使用。新出単語を学生自身が辞書でしらべて、授業中、簡単に文法事項と本文の内容を説明してから、学生に二人一組で大きな声で読んでもらう。そして、本文の内容をある程度書き直して、暗記してから発表してもらう。その時、発音と発表した内容の訂正を行う。

履修上の留意点

本文のカセットテープをよく聞き、まねをして練習して欲しい。

成績評価の方法

後期のテストの成績を重視。

教科書

授業の初日に指定する。

参考書等

『簡明中日、日中学習辞典』（中国文化出版センター）3,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	平 <small>ひらいし</small> 石 <small>よしこ</small> 淑 <small>しよ</small> 子 <small>こ</small>	経 A 2 年	2

講義のねらい

初級で習得した事柄を実際にコミュニケーションの手段として活用できるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

中国語の多様な動詞の使い方を中心に学習する。正しい発音の習得にも力を入れる。

履修上の留意点

①四分の三以上の出席を求める。②必ず予習をしてくること。③授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

平常点、及び期末試験による。

教科書

戸沼市子他著『動詞をながめて中国語』（朝日出版社）2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡB	弘 <small>ひろ</small> 兼 <small>かね</small> 加 <small>かな</small> 奈 <small>な</small> 子 <small>こ</small>	経 A 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

一年次で学んだことを定着させ、更に発展させることを目標とする。課文は会話体の本文、文法、口答練習のためのトレーニング問題、ヒアリング問題から構成されている。実践的な中国語を学んでほしい。

成績評価の方法

成績は年数回のテストと教場での平常評価によって総合的に判断する。

教科書

塚本慶一・劉穎『2年生のコミュニケーション中国語』（白水社）2,310円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡB	ねぎし まさこ 根 岸 政 子	商 2 年	2

講義のねらい	1年次に習得した基本文法を復習、確認しながら、身近な会話をもとに、「読む」「聞く」を中心とした中国語の習得をめざす。
講義の内容・授業スケジュール	会話を中心としたテキストを使用し、やさしい言葉ですぐ使える会話表現を身に付ける。
履修上の留意点	毎日の反復練習が中国語上達への鍵であるから、まずは大きな声を出して読むこと。付属のCDを活用して予習復習を忘れないこと。
成績評価の方法	前期後期の試験および小テスト、出席状況や授業への参加度などで評価する。
教科書	相原茂・喜多山幸子・魯暁晁『大事なことはみんなやさしい中国語で言える』（朝日出版社）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡB	さくらば かずのり 櫻 庭 和 典	商 2 年	2

講義のねらい	中国語は、特に発音（四声）が明瞭でないと、意味が通じないため、一年次で学んだことを復習しながらより正しい発音（四声）の習得と、実生活で使える会話の習得を目指す。
講義の内容・授業スケジュール	発音（四声）・ピンイン表記（中国式ローマ字）の習得、中国語文の反復・応用練習・暗誦を中心に授業をおこない、さらに、各課ごとに内容について、中国語で質問し中国語で答える練習をする。
履修上の留意点	必ず予習を行うこと。授業には辞書を携帯すること。
成績評価の方法	平常評価（授業態度・出席日数）、小テスト、学期末テスト（前期、後期各一回）を行うが、特に平常評価を重きをおく。出席日数の足りない場合は、受験資格を失うため注意すること。欠席・遅刻は日数により減点する。
教科書	櫻庭和典・服部元彦・堀誠共著『音で学ぶ中国語』（晃洋書房）1,600円
参考書等	必要になったら授業のなかで紹介する。
その他	授業中の私語は厳禁とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡB	李 ^り 雲 ^{うん}	商 2 年	2

講義のねらい

基礎文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教 科 書

相原茂・支宜青『中国語スピーキング倶楽部』（朝日出版社）2,300円

そ の 他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA	おぎの まさじ 荻野 雅司	経 A・商 1年	2

講義のねらい

スペイン本国のスペイン語に限らず、中南米で今日常用されているものも含めて、スペイン語の全体を概観することを狙いとします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストに沿って初級スペイン語を学習して行きますが、言葉のみでなく、出来るだけヒスパニック圏の人々の物の考え方や文化、習慣を学ぶことで、communication がより容易に行えるようになります。

さらに、このクラスはスペイン語の理解を促進するために、英語の語法との対比を常時行うことを特徴の一つとしています。

成績評価の方法

原則として年2回の正規のテストを行いますが、総合的な成績の評価に当たっては、良くても、悪くてもテストの結果のみによってこれを行いません。むしろ、日頃の出席状況と受講態度を同じくらいに重視して評価します。

参考書等

使用する教科書等は開講時に指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA	なかがわ きよし 中川 清	経 A 1年	2

成績評価の方法

前期・後期の各期末にテストを行うが、平常の授業の参加意欲を重視する。なお、希望者に対して課題レポートを提出させ、その成績を加点する。

教科書

中川・児玉『スペイン語への誘い』（芸林書房） 2,200円+税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA	<small>みやち たつろう</small> 宮 地 達 郎	経 A 1 年	2

講義のねらい

英語につぐ世界語のスペイン語にたいする興味を持たせる。大学入学まで学習してきた英語との対比で授業を行い、日本語対英語・スペイン語の比較も学習する。

履修上の留意点

各課の練習問題の提出は生徒の自主性に任せる。提出された問題は教員が添削した後、次週生徒に返還する。

成績評価の方法

前期、後期のテスト、練習問題提出、出席で総合判断する。

教科書

宮本博司著『ようこそスペイン語の世界へ』（大学書林）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA	<small>なかがわ きよし</small> 中 川 清	商 1 年	2

成績評価の方法

前期・後期の各期末にテストを行うが、平常の授業の参加意欲を重視する。なお、希望者に対して課題レポートを提出させ、その成績を加点する。

教科書

中川・児玉『スペイン語への誘い』（芸林書房） 2,200円＋税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA	<small>みやち たつろう</small> 宮 地 達 郎	商 1 年	2

講義のねらい

英語につぐ世界語のスペイン語にたいする興味を持たせる。大学入学まで学習してきた英語との対比で授業を行い、日本語対英語・スペイン語の比較も学習する。

履修上の留意点

各課の練習問題の提出は生徒の自主性に任せる。提出された問題は教員が添削した後、次週生徒に返還する。

成績評価の方法

前期、後期のテスト、練習問題提出、出席で総合判断する。

教科書

宮本博司著『ようこそスペイン語の世界へ』（大学書林）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠB	<small>おぎの めぐみ</small> 荻 野 恵	経 A・商 1 年	2

講義のねらい

イベリア半島を構成する2国、スペイン・ポルトガルの文化に関する簡単な会話と講読を通して、初級文法の基礎固めをする。

講義の内容・授業スケジュール

下記教科書を使用し、前期は第1課～第4課、後期は第5課～第8課まで進む予定。(途中プリントで文法やりスニング等の練習問題を行う)

履修上の留意点

毎回の予復習を心掛け、積極的姿勢で授業に臨んでもらいたい。

成績評価の方法

出席状況、年4回（前期2回、後期2回）のテスト、平常点（授業への取り組み、提出物等）を総合して評価する。

教科書

荻野・浜岡『イベリア文化への誘い』（大学書林）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠB	ナバロ, ホワンJ.	経 A 1 年	2

講義のねらい

この一年を通して卒業後も実用可能なスペイン語の基礎学力を修得する。

講義の内容・授業スケジュール

前期及び後期の約半分の時間は動詞の現在形、後期の残りの時間は動詞の過去形について、教師が一課毎に簡単な説明を行なう。その後学生諸君の動詞の活用練習を中心に、質疑応答形式の練習問題を解答して頂く。

履修上の留意点

毎回一課進むので必ず予習して頂きたい。この場合の予習とは、説明が理解でき練習問題をスムーズに行なう為の下調べ（辞書で調べるetc.）を意味する。疑問点は授業説明時、又は練習問題施行時に必要があれば質問し、確実に理解できるようにする。つまり授業自体が復習になるように心掛けて頂きたい。

成績評価の方法

練習問題の応答を通し、予習復習ができていないか否かで成績評価する。

教科書

Juan J. Navarro 『Español en laboratorio』 1,000円
この講義の初回授業時に、教室にて配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠB	ナバローポロ, L. S.	経 A 1 年	2

講義のねらい

スペイン語の基本的知識・能力をもとに、スペイン語の書き言葉および話し言葉の両面にわたって理解し、表現する実力を養う。文法・語彙については網羅的ではなく、必要と思われるものを集中的に練習する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 母音の文字と発音・子音の文字と発音
2. 名詞の性・冠詞（不定冠詞・定冠詞）・名詞の数・形容詞の語尾変化
3. 動詞SER・主語人称代名詞・疑問文
4. 動詞ESTAR・SERとESTARの相違点・HAYとESTARの相違点・指示詞・否定文
5. 動詞TENER・所有詞・TAMBIENとTAMPOCO・数詞・時間についての副詞句
6. 直説法現在の規則動詞（AR動詞・ER動詞・IR動詞）・不定語
7. 直説法現在の不規則動詞Ⅰ・TENER QUEとHAY QUE
8. 直説法現在の不規則動詞Ⅱ・I RA+不定詞・不定詞とともに用いられる動詞・SABERとCONOCER
9. 直接目的の人称代名詞・間接目的の人称代名詞
10. 直接目的と間接目的の人称代名詞についての規則・動詞gustar
11. 前置詞の後ろに置かれる人称代名詞

履修上の留意点

定期試験-7月と1月-

教科書

石崎優子/フェリサ・レイ『スペイン語世界への窓』（芸林書房）

参考書等

『現代スペイン語辞典』（白水社）・『西和中辞典』（小学館）
『新スペイン語辞典』（研究社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅠB	ナバロ, ホワンJ.	商 1 年	2

講義のねらい

この一年を通して卒業後も実用可能なスペイン語の基礎学力を修得する。

講義の内容・
授業スケジュール

前期及び後期の約半分の時間は動詞の現在形、後期の残りの時間は動詞の過去形について、教師が一課毎に簡単な説明を行なう。その後学生諸君の動詞の活用練習を中心に、質疑応答形式の練習問題を解答して頂く。

履修上の留意点

毎回一課進むので必ず予習して頂きたい。この場合の予習とは、説明が理解でき練習問題をスムーズに行なう為の下調べ(辞書で調べるetc.)を意味する。疑問点は授業説明時、又は練習問題施行時に必要があれば質問し、確実に理解できるようにする。つまり授業自体が復習になるように心掛けて頂きたい。

成績評価の方法

練習問題の応答を通し、予習復習ができていないか否かで成績評価する。

教 科 書

Juan J. Navarro 『Español en laboratorio』 1,000円
この講義の初回授業時に、教室にて配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅠB	ナバローポロ, L. S.	商 1 年	2

講義のねらい

スペイン語の基本的知識・能力をもとに、スペイン語の書き言葉および話し言葉の両面にわたって理解し、表現する実力を養う。文法・語彙については網羅的ではなく、必要と思われるものを集中的に練習する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 母音の文字と発音・子音の文字と発音
2. 名詞の性・冠詞(不定冠詞・定冠詞)・名詞の数・形容詞の語尾変化
3. 動詞SER・主語人称代名詞・疑問文
4. 動詞ESTAR・SERとESTARの相違点・HAYとESTARの相違点・指示詞・否定文
5. 動詞TENER・所有詞・TAMBIENとTAMPOCO・数詞・時間についての副詞句
6. 直説法現在の規則動詞(AR動詞・ER動詞・IR動詞)・不定語
7. 直説法現在の不規則動詞Ⅰ・TENER QUEとHAY QUE
8. 直説法現在の不規則動詞Ⅱ・IRA+不定詞・不定詞とともに用いられる動詞・SABERとCONOCER
9. 直接目的の人称代名詞・間接目的の人称代名詞
10. 直接目的と間接目的の人称代名詞についての規則・動詞gustar
11. 前置詞の後ろに置かれる人称代名詞

履修上の留意点

定期試験-7月と1月-

教 科 書

石崎優子/フェリサ・レイ『スペイン語世界への窓』(芸林書房)

参 考 書 等

『現代スペイン語辞典』(白水社)・『西和中辞典』(小学館)
『新スペイン語辞典』(研究社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA	みやち たつろう 宮 地 達 郎	商 2 年	2

講義のねらい

英語と比較して再度スペイン語に対する興味を持たせる。

履修上の留意点

最低復習をして、質問あれば次週にそれを行うことはしてほしい。

成績評価の方法

前・後期のテスト及び出席点。

教科書

『新日本語の基礎Ⅰ 分冊スペイン語訳』（スリーエーネットワーク）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA	ナバローポロ, L. S.	商 2 年	2

講義のねらい

日常会話の表現の習得を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 比較級・比較級の不規則形・最上級
2. 直説法過去：規則動詞と不規則動詞Ⅰ・過去の時を特定する表現
3. 直説法過去：不規則動詞Ⅱ・過去における期間の言い方
4. 直説法完了過去・過去の不定期間の表現
5. 未来形・JR+Aについて・未来を表わす語句
6. 天候と無人称表現・その他の無人称表現
7. 現在進行形・不規則現在分詞
8. 現在完了

履修上の留意点

定期試験-7月と1月-

教科書

石崎優子/フェリサ・レイ『スペイン語世界への窓』（芸林書房）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA	おおいわ いさお 大 岩 功	経 A 2 年	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

初めはスペイン語Ⅰで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。

履修上の留意点

予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。

成績評価の方法

出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。

教科書

寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA	ふくもと くみこ 福本 久美子	経 A 2 年	2

講義のねらい

基礎文法の終了と平易な日常会話の表現の習得を目標とする。

履修上の留意点

出席が全授業回数の2/3以下の者には評価を与えない。始業時より30分以上の遅刻は入室を認めない。但し欠席も遅刻も正当な理由がある時は考慮する。
授業を妨げるような振る舞い(私語・無断退出等)は慎むこと。場合によっては評価の対象から外す。

成績評価の方法

前・後期テストと授業中の平常点(宿題・小テスト)の合計に拠る。

教科書

佐藤惣平『楽しいスペイン旅行』(大学書林)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡB	みやち たつろう 宮地 達郎	経 A 2 年	2

講義のねらい

英語と比較して再度スペイン語に対する興味を持たせる。

履修上の留意点

最低復習をして、質問あれば次週にそれを行うことはしてほしい。

成績評価の方法

前・後期のテスト及び出席点。

教科書

『新日本語の基礎Ⅰ 分冊スペイン語訳』(スリーエーネットワーク)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡB	ふくもと くみこ 福本 久美子	商 2 年	2

講義のねらい

基礎文法の終了と平易な日常会話の表現の習得を目標とする。

履修上の留意点

出席が全授業回数の2/3以下の者には評価を与えない。始業時より30分以上の遅刻は入室を認めない。但し欠席も遅刻も正当な理由がある時は考慮する。
授業を妨げるような振る舞い(私語・無断退出等)は慎むこと。場合によっては評価の対象から外す。

成績評価の方法

前・後期テストと授業中の平常点(宿題・小テスト)の合計に拠る。

教科書

佐藤惣平『楽しいスペイン旅行』(大学書林)

ロシア語

外国語

よく一国を理解するにはその国の言葉を学べば、一番よくわかると人々の口に伝えられているように、現代ロシアの秘められた部分を理解するには、ロシア語を学ぶことが一番手っとり早い方法です。一口にロシア語と言ってもそれはモスクワを中心とした東スラヴ語をさします。ロシア語と兄弟の関係のように近い、よく似た言葉には、ポーランド語、ブルガリア語、ウクライナ語、チェコ語、スロヴァキア語、セルビア語、マケドニア語等、多くの言葉があります。これらの中東欧語を理解するうえでも、ロシア語は、もっとも基本的な言葉となります。またこれらのスラヴ諸国を理解するうえでもロシア語が最も中心的な位置を占めていると言っても過言ではありません。しかもロシア語人口はヨーロッパの全人口に匹敵し得る程の数のにぼっているのです。これからの国際的時代にはどうしても見すごすことのできない言葉と言えます。21世紀においては、単にロシア語を学ぶことのみならず、その背後にある文化と広大な精神風土についても学ぶことは多いに価値があることです。駒澤大学でのロシア語はこの国際化時代に向けて、実際に使えるロシア語の学習をめざします。ロシア語もどんどん変化しつつある昨今ですが、そのような流れにも常に敏感でありたいと願っています。駒澤大学での必修クラスのロシア語は1週間に2度しかありませんが、与えられた時間を最大限に有効に使うべく、次のような目標と年間スケジュールで授業はすすめられます。

なお、ここで参考までに辞典の紹介を若干しておきます。

- 『露和辞典』(研究社) 東郷正延他著
- 『露和辞典』(岩波書店) 和 久利他編
- 『博友社ロシア語辞典』(博友社) 木村彰一他編
- 『和露辞典』(研究社) 藤沼 貴著
- 『和露辞典』(講談社) 佐藤 勇著

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア語ⅠA	クロチコフ, Y. 杉山 秀子	経A・商1年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ホデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。
平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

戸辺又方 編『1年生のロシア語』(白水社)
杉山秀子他『やさしいロシア語読本』(大学書林) 1,600円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅠB	木村英明 <small>きむら ひであき</small>	経A・商1年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。
平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

戸辺又方 編『1年生のロシア語』(白水社)
杉山秀子他『やさしいロシア語読本』(大学書林) 1,600円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡA	木村英明 <small>きむら ひであき</small>	商 2 年	2
	佐野朝子 <small>さの あさこ</small>	経 A 2 年	

講義のねらい

1年次の文法事項の練習と、声を出してロシア語がスラスラ読めるように練習します。ロシア語のかんたんな会話と、速読による文意の把握をめざします。

講義の内容・授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

成績評価の方法

出席と平常点を重視します。

教科書

1年次に使用した教科書と文法表。

その他

プリント配布。教場にて指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語ⅡB	木 村 英 明	経 A 2 年	2
	佐 の 野 朝 子	商 2 年	

講義のねらい

正しい文法理解と速読によってロシア語の文意を適確に把握してもらうようにする。
さらにやさしいヒアリングの練習と応用により、更にロシア語力を深めます。

講義の内容・
授業スケジュール

- アクセント記号のついた文章をすらすらと読めるようにします。
- 日常つかわれる会話のより複雑なヴァリエーションを学びます。
- やさしい文章を速読で大意がつかめる練習をします。
- かんたんな文を正しく聴きとる練習をします。
- 中等文法のエッセンスを勉強をします。

教 科 書

1年で使用した教科書および1年のときに渡した文法表。

そ の 他

プリント配布。

〔再履修クラス〕

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	<small>にしむら ゆうこ</small> 西 村 祐 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

英語による電子メールの書き方を修得しながら「苦手な英語」から「使える英語」を習得することをめざす。基本的なタッチタイピングから指導し、インターネットをつかって英語で海外の各地の情報を得たり電子メールをといあわせたりしてみる。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期：自己紹介の仕方、確認、問い合わせ、お礼の英文メールなど基本的な英語表現を学ぶ。
後期：インターネットのウェブサイトをつかって実際に問い合わせ、サイトの感想のメールなどをかいてみる。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。
電子メールアドレスは商業プロバイダーのものを持ちいてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、事前におこなっておくこと。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。タッチタイピング修得用にフロッピーディスクを用いるので、はじめの授業から、かならず一枚持参のこと。

成績評価の方法

成績評価：ほとんど隔週ごとに課題が与えられ、電子メールでの課題提出がある。電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。なお、出欠はすべてその場での電子メール送付によって課題提出という形態での確認となるため、学生は全員電子メールアドレスを修得しておいてほしい。

教 科 書

テキスト：『Subject : E-mail : writing effective message .』 (南雲堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	<small>かわまた ようたろう</small> 川 股 陽 太 郎	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

入学時の英語を基礎として英語の運用能力をやしなう。

講義の内容・ 授業スケジュール

ヒアリング、スピーキング、ライティングの運用能力練習をする。ビデオ (VHS, DVD) 等も使用する。

履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

発表、小テスト、定期試験の成績を総合し評価する。

教 科 書

プリント教材を適宜配布、使用する、教科書は未定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	<small>ひろかわ おさむ</small> 広 川 治	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

映画のシナリオをテキストに使用する。

履修上の留意点

遅刻、居眠等は欠席扱いとなる厳しい授業。

成績評価の方法

平常点と前後期試験で評価。

教 科 書

授業内に購入を指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	お お た み ち こ 太 田 美 智 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

コミュニケーションの手段として英語を使えるようになることを目的とします。

講義の内容・
授業スケジュール

会話の基本フレーズを身につけ、応用する力を養いましょう。但し、大学の英語ということを加味し、表層的な会話だけでなく、もっと有意義且つ知的な英語の楽しみ方を学ぶ場にしたいと考えています。

履修上の留意点

必ず予習し、真摯な態度で授業にのぞむこと。単位の取得ではなく、各々の実力を向上させることが目的であるということを銘記してください。

成績評価の方法

平常点、授業中の態度、予習の有無、レポートの内容、等々からの総合評価。

教 科 書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	い と う み よ こ 伊 藤 美 代 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

英語による意思伝達を可能にすることがまず第一の目的。当然、ライティングだけでなく、スピーキングの訓練も行う。ライティングは、センテンスからパラグラフまで、スピーキングは日常会話からスピーチまでをめざす。その過程で当然、ヒヤリングの訓練も行い、総合的な英語力を強化する。

講義の内容・
授業スケジュール

原則として、英語による内容の理解を図る。できるだけ、英語を使用し、日本語の説明は必要最小限に抑える。

履修上の留意点

予習が絶対条件である。また、半期に4回以上欠席したものには、単位を与えない。また、遅刻2回で欠席1回と数える。

成績評価の方法

各学期毎に中間テストと期末テストを行い、その結果の平均が80%、残りの20%は、小テスト、平常点、提出物により計算する。

教 科 書

1. Nobukazu Aoki, Haruo Erikawa 『コミュニケーションのための基礎英作文』(金星堂) 1,850円
2. 伊藤美代子(編著) 『さらばジャパニーズイングリッシュ』(北樹出版) 1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	^{たか} はし 高 橋 ^{ひろし} 寛	全学科2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英会話を学ぶには語彙力や文法的知識を身につけることはもとより、口語体特有の言い回しも覚える必要があります。本講義では特に後者に力点を置き、なるべく多く会話に役立つ表現を覚え、それを実際に使う練習を行っていきます。

履修上の留意点

講義に臨む際、こちらがあらかじめ指定した部分については必ず予習をしておいてください。予習を怠ったもの、テキストを持ってこないものは欠席とみなします。

成績評価の方法

評価は出席点と定期試験の結果を合わせて出します。

教 科 書

【Terrific Talk】(金星堂)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	^よ しえ ^{まさ} お 吉 江 正 雄	全学科2年	2

講義のねらい

英文を正しく読み、発音し、その上で英文を正しく理解することを目標とする。しかし、そこには当然、構文の理解、文法的な正しい解釈も伴われなければならない。これからのことを総合的に学びながら、文明の黎明期、言語の発達段階等についても学ぶことになる。

講義の内容・
授業スケジュール

一講時に進む範囲は大体決まってくるので、その範囲の読みと、解釈を中心に据え、後に文法・構文の説明を加える。小説家による美しい文章に触れ、美しい英文の書き方に繋げたい。

履修上の留意点

大体決まってくる一講時に進む範囲の予習をしてくることを望む。

成績評価の方法

前・後期の試験の平均点をベースに、授業参加の積極度、発表回数等を鑑みて評価を出す。ただし、授業総数の三分の一を超える欠席のある学生の評価は出ないから注意すること。

教 科 書

【A Short History of the World】(こびあん書房)

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	(前期) <small>やそぎ</small> 八十木 裕幸	全 学 科 2 年	2
	(後期) <small>なかお</small> 中 尾 俊光		

講義のねらい	ことばの習得には誤りがつきものである。特に日本人がおかしやすい誤りを選び、これまで気付かずにいた誤りを訂正し、活用して総合的な技能の向上を計る。
講義の内容・授業スケジュール	文法項目の点から分類。特に述語動詞、準動詞、助動詞、時制、名詞、代名詞、形容詞、限定詞等を取り扱う。
履修上の留意点	参考書、辞書等を用いてよく調べてくること。
成績評価の方法	前期テスト、小テスト、レポート、出席状況、発表成果等を総合して評価します。
教科書	J. B. HEATON 『誤りから学ぶ英語演習』(英潮社) 1,400円(税別)
参考書等	ND Turton 『Longman Dictionary of Common Errors—New Edition—』 Longman Corpus Network
その他	授業は演習形式で行ないます。かならず一回は発表してもらいますので予習を忘れることなく行ってきて下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	<small>つかもと としお</small> 塚 本 利 男	全 学 科 2 年	2

講義のねらい	絶えず文法・語彙などの知識の増強を図りながら、英語の語順・文章構造を確実に理解し、日常生活の様々な事柄について英語で表現する事を目標とします。
講義の内容・授業スケジュール	各章で①基本文法事項②練習問題③発展問題さらに学習した事柄についての確認をする④復習問題をやりながら、運用の能力の練習をします。授業の最後に、毎回総仕上げとして、日常の身近な事柄、例えば、日本の四季、大学生活、コンパなどについて意見・考えを英語で記述してもらう小テスト(15~20分)を行います。
成績評価の方法	授業における発表・小テスト・前・後期の定期試験に基づく。全評価のうち授業時での発表・小テストが、50%、前・後期の定期試験が50%で評価します。特に、平常授業を重視しますので、全授業数の3分の2以上は、必ず出席して下さい。
教科書	『語順が身につく英作文』 (朝日出版) 1,800円+税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	かわしま ひろゆき 川 島 弘 之	全学科2年	2

講義のねらい

受験英語を生かして、英語を楽しんでもらうことを目指す。そのためには、学生が強い関心と興味を抱いているロック音楽を教材として使う。学生1人1人のロック音楽等のリクエスト曲を中心に授業を行う。

現代の若者にとって、ロック音楽の歌詞はかつての英詩にとって代っているばかりか、現代詩の一翼になっている。ロックの中には「生きがい（生きる真の目的、生きる意味、価値）」や「LOVE」について深い考え方や感性がこめられているので味わってもらいたい。ロック音楽を通して、人間の心が揺さぶられ、英語の感性が磨かれ、人間と社会、人間と自然、人間と人間を見る眼が深まることを望む。

英単語とPleaseだけで通じる超ミニ英会話を楽しんでもらう。

成績評価の方法

授業中、他の学生の発表に関心、興味、理解を抱くよう努力することを重視する。発表、レポート、前後期の定期試験に基づく。前期のテストは英語の歌を歌うことで行うこともできる。授業の欠席が3分の1を超えた場合は不合格とする。

教科書

『ロックの心』（大修館書店）
『超ミニ英会話』（明日香出版社）

参考書等

『ロックで読むアメリカ』（近代文芸社）
『ロックの意味』（草思社）
『ロック・ミュージックとアメリカ』（シンコーミュージック）
『ロック音楽と現代社会』（マクミラン・ランゲージハウス）

その他

ビデオ、レーザーディスク、DVDで英語を楽しむ。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	おの え の り こ 尾 上 典 子	全学科2年	2

講義のねらい

アメリカ合衆国の歴史的・文化的背景を理解させると同時に、実践的な英語運用能力の向上をはかる。

講義の内容・
授業スケジュール

Benjamin Franklin, Susan B. Anthony, Sitting Bull, Andrew Carnegie, Thomas A. Edison, Henry Ford, Helen Keller, Walt Disney, Martin L. King Jr, Elvis Presleyなどアメリカン・ドリームを形造るのに貢献してきた偉大な人々の生涯や業績を紹介した英文を取り上げ、アメリカ合衆国の歴史的・文化的背景を理解させると同時に、読解・聴解・作文などの総合的英語運用能力の向上をはかる。

また、折にふれて英米文化に関する英語ビデオを鑑賞させて、時事英語の理解力と聴解能力の増強もはかる。

履修上の留意点

正当な理由なくして年間の出席率が3分の2に満たないものおよび授業態度の非常に悪い者は落第させる。毎回、授業のための予習・復習を充分にしておいてもらいたい。

成績評価の方法

評価は、授業態度、出席率、年2回の前・後期試験および小テストによって総合的に判断する。

教科書

Roy E. Charron、宮野智靖著『Profiles of the American Dream』（アメリカン・ドリームを読む）（金星堂）1,800円（税別）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	お お た ゆ き こ 太 田 由 紀 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

英語の基本構造の確認と応用により「書ける」楽しさを実感して貰う。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは全十二章からなる。よって一章に二回分の授業を充てる予定。ある授業で該当章の文法事項を確認した上で応用英作文問題を課す。次週その解答を皆で検討する作業を終えたら、次章の解説に入る。

履修上の留意点

とにかく熱心に授業参加すること。

成績評価の方法

平常点と前期・後期それぞれの期末試験により総合的に判断する。

教 科 書

石黒照博・山内信幸著 『「橋渡し」英作文』（金星堂） 1,600円

参 考 書 等

安井稔・角谷裕子著 『英作文要覧』（開拓社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	た か や な ぎ ふ み え 高 柳 文 江	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

この授業においては、世界の中で現在生じている様々な問題について書かれた簡潔な文章を基に、まずそのListeningとComprehensionを行います。その後、章毎のトピック文の中の語彙、慣用句、文法を理解し、それを基にwriting、speaking両面から文章を作る事を学びます。

履修上の留意点

授業の性質上、予習が必ず必要です。又、単位取得には、2/3以上の出席が要求されます。前期後半より慣用表現の演習が課されます。

成績評価の方法

試験（前期試験、後期試験）60%、日常点（出席、演習テスト等）40%

教 科 書

『World Today-文化の諸相』（鳳書房）

参 考 書 等

テープレコーダー使用

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	や ま が た ゆ た か 山 縣 裕	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

アメリカ文化のさまざまな側面を学びながら、スピーキングの力の向上をはかる。

履修上の留意点

6回以上欠席した者には原則として単位を与えない。

成績評価の方法

出席点・中間テスト・期末テスト・小テストなどから総合的に評価する。

教 科 書

森田彰・飯尾牧子・狩野紀子・土屋武久・Jeff Martin共編 『ビデオで学ぶアメリカ文化・CD付』（成美堂） 2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	<small>もり た たか みつ</small> 森 田 隆 光	全学科2年	2

講義のねらい

英語の基礎から学生諸君にわかりやすく講義を行って行きます。聞く、書く、話すを全部行ってゆきます。クラスは非常に興味のある授業になると思います。授業は日本語と英語を併用し時にはフランス語でも行います。まずクラスに出席してみてください。

成績評価の方法

前期、後期の試験
レポート年1回（英文にて）

教科書

開講時指示

その他

欠席は3回まで（年間）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	<small>いわはら やすお</small> 岩 原 康 夫	全学科2年	2

講義のねらい

インターネットが地球を駆け巡り、通信衛星が日常生活にまで及び、外国旅行も自国以外の人々との接触も一般化してきた。ボーダレスな国際化という現実によって、世界語とも言える英語はコミュニケーションの手段としてますますその比重を高めつつある。このような観点にたつて、このクラスの英語学習は意思伝達の向上を狙いとする。そのために、ある一定の基本的な動詞を中心にした構文と用法をマスターし、日常的なレベルでのコミュニケーション力を高めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

クラスはテキストに沿って、表現練習問題をやり、その応用を行ってもらう。

履修上の留意点

学生諸君の予習を前提にしてクラスを進める。また辞書の積極的な使用を望む。

成績評価の方法

前期・後期の試験60パーセント、平常点40パーセントを基準として、成績評価をする。平常点はクラスにおけるparticipationによって判断する。

教科書

『Cultivating Writing Skills』（『基本語彙を使った発展英作文』（朝日出版） 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA 〔再クラス〕	<small>にしはら かつまさ</small> 西 原 克 政	全学科2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

英語を話すときに役立つ表現力を中心とした作文の演習用のテキストを用いる。外国人が英語を学習する際に役立つと考えられているBasic English (850語で大体日常生活の必要な表現がすべてできるという考え方)を基本にしている。英語が書けるということは、英語が話せるということと直結しているので、その基礎を自分のものとして、会話に応用していつてもらいたいと考えている。

履修上の留意点

受講者には第一回目の授業で、成績評価方法も含めて説明するので、必ず出席のこと。

教科書

『英語表現トレーニング』（北星堂書店）

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	まきの てるよし 牧野輝良	全学科2年	2

講義のねらい

英語の構文を再度学習し、英語の構造をしっかり身につけること。

講義の内容・
授業スケジュール

重要な英語の構造が一単元となっているテキストを使用するので、各単元の英文を覚える努力をする。

履修上の留意点

学生は辞書を持参し、自分にわからない語句が出て来たらすぐ辞書を引き、身につけることに心掛けること。

成績評価の方法

毎時間提出のレポートと期末テストによって成績評価する。

教科書

石黒他編 『大学英文法A to Z』 (金星堂) 1,300円+税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	きむら かつひこ 木村克彦	全学科2年	2

講義のねらい

やや平易な英文を精読することにより、徐々に実際の運用面も補っていきたい。テキストには各課ごとに練習問題があるが、これらを、本文を再読せずに解ければ、最も望ましいであろう。また、適宜、「エコノミスト誌」や「フォーチュン誌」の記事も訳読してゆきたい。

成績評価の方法

基本的には、前・後期の定期試験に因るが、それ以上に授業態度を重視する。私語厳禁。

教科書

『Developing Reading Skills』(朝日出版社) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	むとう ひさお 武藤久緒	全学科2年	2

講義のねらい

これまでに習得した英語知識を確実なものにしなが。語い、語法の面で難のない理解しやすい文章を読み英文に親しみ読解力を養うことを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

日常ひんぱんに使われている語、例えば、Smog, Kangaroo, Nicknameなど114の単語の由来、それぞれの持つ特有の歴史を読み、言語と文化に対する関心を高めたいと思う。

前期：1ページから44ページ

Piano から Tennis までの57の単語の由来について

後期：45ページから87ページ

Utopia から Postman に至る57の単語の由来について

履修上の留意点

授業は訳読形式で行い、受講者全員に本文を読み訳してもらいます。随時・文法を含む必要事項の説明をします。

成績評価の方法

成績評価は前後期のテストの成績；授業中の発表、出席状況などを考慮して行います。

教科書

Arkady Leokum and others 『Where Words Were Born』(朝日出版)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I B 〔再クラス〕	てじま けいこ 手 島 敬 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

本科目は発音・リズム等の音声面の指導に留意しながら、標準的な英語で書かれた文章を読む力を養うことを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

テキストは比較的平易な英語で書かれたものを使用し、短時間に効率良く、また適切に内容を読み取る練習を行っていきます。

履修上の留意点

英和辞典を必ず持参。

成績評価の方法

中間・定期試験、課題、出席状況、授業への参加度などに基づき総合的にを行います。

教科書

『日常生活の中のアメリカ文化』（マクミランランゲージハウス）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I B 〔再クラス〕	た な が たもつ 田 中 保	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

より高度な構文の理解と文章の大意の把握に重点を置きながら読解力をつける。また、サブ・テキストを使用して、リスニング力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

授業は予習・復習を前提とした発表形式によって行なう。

成績評価の方法

成績評価の方法は、以下の項目を総合的に検討して評価する。

1. 授業時の発表
2. 授業時の小テスト
3. レポート
4. 前期・後期の筆記試験
5. 出席状況

教科書

1. 『10 minute Basic Listening』（桐原書店）950円
2. 『大学生のための初級英語』（STEP-UP ENGLISH）（南雲堂）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I B 〔再クラス〕	ま え だ おきむ 前 田 脩	全 学 科 2 年	2

講義の内容・授業スケジュール

テキストに戯曲をもちいて、会話の面白さと、英語の文化を学びつつ語学力をつけていきます。毎回あてますので予習は必須です。時々、英字新聞のコピーを使用します。

成績評価の方法

授業中の発表等、日常評価と出席率、前期、後期のテストを総合評価します。

教科書

『フル・フォア・ラヴ』（鶴見書店）1,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	お お た ゆ き こ 太 田 由 紀 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

豊かな内容を楽しみながら語彙力・読解力を向上させる。

講義の内容・授業スケジュール

言葉と文学、歴史、自然科学といった様々な分野・領域における英語文化の基礎知識を学ぶ。

履修上の留意点

とにかく熱心に授業参加すること。

成績評価の方法

平常点と前期・後期それぞれの期末試験により総合的に判断する。

教 科 書

E.D.Hirsch, Jr. 著 村田薫 編註 『英語で築く知の礎』(鶴見書店) 1,600円

参 考 書 等

江戸川泰一郎著 『英文法解説』(金子書房) 1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	い で こう い ち 井 出 功 一	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

テキストは、私たちの身のまわりの経済生活の知恵を、平易な英語で綴った『くらしの経済学』である。「お金の役割」、「収入と支出」、「国の経済は誰が動かすか」など私たちのくらしがテーマになっている。

講義の内容・授業スケジュール

経済学は私たちの日常生活そのものなので、そこに出てくる英文を十分聞いたり、読んだりして、英語を正しく捉える力を養う。内容は、「国の経済は家の経済と同じ」、「お金とは何か」など。

履修上の留意点

全授業日数の3分の2以上の出席、予習、辞書の携帯が必要。

成績評価の方法

前後期テスト、平常テスト、レポート、出席による総合評価。

教 科 書

George Soule 『Economics for Living (くらしの経済学)』(南雲堂) 1,400円

参 考 書 等

英語を的確に理解し、表現する能力を高めるため、口語的表現と文語的表現、英米用法の相違、情報量の度合いにまで触れた文法書も使う予定。
『新しい学習英文法』(研究社)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠB 〔再クラス〕	こ う べ は る き 神 戸 春 樹	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

英語は、その基礎力の鍛錬がとくに重要なものである。テキストを用いながら、さまざまな角度から、英語の実力の養成を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

基本的な英文に触れることにより、英語の実践的な運用を身につけられるように、具体的に説明を加えながら進めていく。

履修上の留意点

積極的に授業に参加してもらうので、必ず予習をしてきてもらいたい。

成績評価の方法

出席率、授業態度、課題の出来具合などにより評価する。授業中の発表、そして前・後期の定期試験によって評価する。出席率と授業中の平常点が50%、前・後期の定期試験が50%で、総合的に決める。

教 科 書

最初の授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠB 〔再クラス〕	まつとう ひろこ 松 堂 啓 子	全学科2年	2

- 講義のねらい 最新科学に関するトピックを読み、構文の理解力を高め、大意把握の速度を上げていく。
- 履修上の留意点 予習が必要
- 成績評価の方法 試験と出席状況で評価する。
- 教科書 『To the Future - VOA Special English Program』(マクミランランゲージハウス)

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠB 〔再クラス〕	みうら まり 三 浦 眞 理	全学科2年	2

- 講義のねらい 非常に平易な英語で書いてある文章を、できるだけ速読し、量を多く読むことによって、英文を読む力と内容把握力の向上を図りたいと思います。ごく基本的な構文及び語句を中・高校生に戻ったつもりで復習し、再確認しながら学習していこうと思います。
- 講義の内容・授業スケジュール 英文のstoryを読んで、その内容がある程度把握できるようになることを目標に、ごく簡単な表現でかかれていた文を多読し、基礎的にしっかり学習していこうと思います。また、hearingの練習、さらに、時間が許す限りTOEIC等の練習をできるだけ行いたいと思います。ごく基礎的な英語を(最初から再学習するつもりで)しっかりとおぼえてもらいます。テストは学習した章を中心に分割して授業時間中に小テストとして行います。後期最後に総まとめ試験実施(授業時間中の小テスト重視)
- 履修上の留意点 成績評価は、3分の2以上の出席(厳守)、授業中の発表、小テスト(70~80%)及び後期試験の結果によりおこないます。
- 教科書 『Twenty Tales』(成美堂)1,600円
- 参考書等 プリントを使用することもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠB 〔再クラス〕	いぬま よしなが 飯 沼 好 永	全学科2年	2

- 講義のねらい 様々な英語の文章を読みながら、より正確な内容理解と、それに必要な基本的な文法事項も合わせて、修得することに努める。
- 履修上の留意点 リーディングの力を向上させるには、多くの英文に触れることが大切であるが、受け身の姿勢では、自己の英語力を向上させることは難しいので、積極的に授業に参加して下さい。特に英語に対し苦手意識のある学生は、予習に力を入れて下さい。
- 成績評価の方法 成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価(50%)、前期・後期試験(50%)
- 教科書 千葉元信・松尾秀樹・岡崎久美子 『Reading Landmarks of the world』 「英文読解のトレーニング」(三修社)1,800円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠB 〔再クラス〕	甲斐捷子 か ぜ かつ こ	全学科2年	2

講義のねらい

テキストはアメリカの文化、社会事情を様々な角度から紹介するビデオ教材です。現場の映像と生の音声を通して、臨場感を楽しみながら英語の運用能力を総合的に高めることを目的とします。毎回授業は、「聞き」、「話し」、「読み」、「書く」総合演習ですが、このクラスでは特にリスニングに重点を置きます。

履修上の留意点

1 単元終了時に小テストを行います。これは詳細な復習のためのテストで、本試験と同じような傾向のものです。このテストで70%以上得点できるように、復習に重点を置いて勉強して下さい。

成績評価の方法

一応の目安として、平常評価としての出席率10%、前期試験30%、後期試験30%、小テスト30%による総合評価とします。総合点が基準に達しなかった場合、欠席が3分の1を超えた場合、及び前後期試験のいずれかを欠試した場合は不合格となりますから、特に欠席をしないよう、十分注意して下さい。

教科書

『Century - Life in New Age』(朝日出版社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA 〔再クラス〕	牧野輝良 まきのてるよし	全学科3年	2

講義のねらい

英語の構文を再度しっかりと学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストの英文を読み、文中に現われた重要な構文、慣用句、単語を正確に習得する。そのために小テストを多く行う。

履修上の留意点

学生はよく自習しておき、指名されたら答えられるように心掛けておくこと。毎時間の練習問題は解答して全員提出すること。

成績評価の方法

成績評価は授業中の成績、小テスト、レポート、期末テスト等を総合して行う。

教科書

田本、サイモン・サナダ『基本英語表現法』(成美堂) 1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA 〔再クラス〕	佐藤明子 さとうあきこ	全学科3年	2

講義のねらい

リーディング・リスニング問題を中心に英語の運用能力を高めることを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは、内容読解やリスニングの問題も入った総合テキストです。1回の授業で、1章程度進む予定です。

履修上の留意点

授業ではなるべく多くの学生を指名します。毎回予習を十分にしてくることを望みます。

成績評価の方法

前期・後期試験、平常点、出席状況を総合的に評価します。(ただし出席が3分の1に満たない場合は「不合格」とします)

教科書

『Real Life in Britain』(イギリスを感じてみよう) (三修社) 1,850円 (税別)

参考書等

辞書を持ってきて下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA 〔再クラス〕	うつのみや ひでかず 宇都宮 秀 和	全学科3年	2

講義のねらい

長年英語を教えてきて感じることは、多くの学生諸君が、基本的なことを理解していないということである。土台をきちんと築かないことには、何の役にも立たない。
基本的なこととは、英文の文型、時制、名詞の複数にはSをつける、などのことである。英文を書くことは、論理的な思考の訓練にもなるのである。基本的なことをしっかりとやりたい。

成績評価の方法

成績は平常点とし、期末試験行わない。出席は2/3以上。

教科書

プリントを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA 〔再クラス〕	い ま い なつひろ 今 井 夏 彦	全学科3年	2

講義のねらい

日常的な場面の中でライティングとオーラル・コミュニケーション能力を養成することを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストに従って1章を2回でこなすことを心がけます。

履修上の留意点

日常のことが「書いて話せる」ようになることを望みます。

成績評価の方法

成績は、出席点、平常点、レポート、期末テストの点などを総合して評価します。

教科書

『日常会話英作文』（成美堂） 1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA 〔再クラス〕	え だ さちこ 江 田 幸 子	全学科3年	2

講義の内容・
授業スケジュール

読む、書く、聞く、話すの英語運用能力を総合的にバランスよく育成していくのがこの教科の目的です。これらの四大要素を生活の上で実践的に、臨機応変に運用出来るようになることがこの授業の最終的な目標です。従って、使用するテキスト中心に、まず、reading—読解、listening—耳で読む、を徹底し、次にテキスト中の英語表現を応用したwriting—運用、口頭で簡単に発表する—oral presentation in English、の学習プロセスで授業を進めて行きます。

成績評価の方法

前期、後期の定期試験、提出物、適宜行う小テスト等を総合した平均点60点以上、全授業回数の2/3以上の出席をもって合格点としますが、平常授業内での努力点も合わせて評価しますので、授業毎の学習—予習、発表—に対して熱心な姿勢で臨むことが望まれます。語学の習得には学習の地道な積み重ねが必要不可欠なので、このことは特に強調しておきたいと思えます。

教科書

David E. Bramley 河合忠仁 『Basic English for Communication (英会話のためのコミュニケーション英作文)』（松柏社） 1,500円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA 〔再クラス〕	ささくら さだお 笹 倉 貞 夫	全学科3年	2

講義のねらい

近年ますます国際化・ボーダーレス化していく現代社会に即応し得るような洗練された国際感覚の育成とともに、実践的な英語運用能力の伸長をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

平易な現代アメリカ口語英語で書かれたテキストを用いて、英語による文章表現を学びながら、英語による実践的な英語表現能力の育成に努めたい。従って、随時、英文による物語の内容要約を課すことがある。(リスニング教材併用)

履修上の留意点

予習・出席重視、常時英和辞典持参。

成績評価の方法

前・後期末テストの他、内容要約の英文レポート随時提出していただき、出席状況等々も勘案しながら総合的に最終評価を出す。

教科書

Pearl S. Buck 『The Story Bible』 (太陽社) 1,422円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA 〔再クラス〕	い い のぶひこ 井 伊 順 彦	全学科3年	2

講義のねらい

バラエティに富む楽しいテキストで、言葉の4技能をのばすとともに、現代アメリカの若者文化に触れる。

講義の内容・授業スケジュール

毎回テープをいやになるほど聞いてもらう。また、速読力や文法力の養成にも力を注ぐ。ときには授業の最後にビデオを観てアメリカ文化への理解を深め、同時に聞き取りの力をつける練習もおこなう。

履修上の留意点

毎回かなりの人数の諸君に何らかの形で答えてもらい、それを平常活動とする。発音のチェックもおこないたい。

成績評価の方法

数回の小テスト、平常活動、出席数を組み合わせて評価するが、詳細は教室で。

教科書

『Real-life Scenes of Young Americans (アメリカの若者とライフスタイル)』 (成美堂)
1,700円+税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA 〔再クラス〕	おがさわら りゅうげん 小 笠 原 隆 元	全学科3年	2

講義のねらい

これまで7～8年間学んだ英語力を生かして、英語による意志伝達、運用能力の向上を目標としたいが受講生の実力は各人各様と思われるので、日英両語によるレポート提出で各自の自己主張、表現力向上をめざしたい。

履修上の留意点

初回時の授業で諸資料配布と実力考査を実施したいので必ず出席してください。

成績評価の方法

再クラスは出席率が一定しないが成績は総合評価、受講者は各自、最大限の努力をして下さい。

教科書

『コミュニケーション ナウ』 (南雲堂) 1,300円
他にプリントコピーを適宜配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA 〔再クラス〕	やそぎ ひろゆき 八十木 裕 幸	全学科3年	2

講義のねらい

よく使われる語彙を効果的に増やし、より豊かな英語表現ができるようになることを目的とします。プリントでは間違いや不自然な使い方の例題を取り上げライティングの向上を目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

類義語、改まった表現とくだけた表現、コミュニケーションと基本動詞の表現、比喩的表現とイディオム表現、日英表現の比較、複合語などを取り扱います。並行してプリントで補いながら授業を進めます。

履修上の留意点

毎回指名して授業展開をしますので確実に予習をしてきてください。

成績評価の方法

前期・後期のテスト、小テスト、レポート、出席状況（1回欠席→5点減点）などを総合的に判断し評価します。

教科書

石黒昭博他『語彙・表現力のアップの総合演習』（英宝社）1,680円
プリント

参考書等

最初の授業時に紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA 〔再クラス〕	とのいけ かずこ 外 池 一 子	全学科3年	2

講義のねらい

現在日本や世界でいろいろ議論を巻き起こしているテーマを取り上げて、それらの問題について英語で自分の考えを述べられるようになることを目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

基本的にはテキストに従って進みますが、必要に応じて英字新聞や英語のニュース、討論番組のビデオなども使います。ディスカッションやディベートの意見の組み立て方についても訓練します。

履修上の留意点

テーマは皆さんの身近な問題です。授業の前にある程度自分の意見をまとめておいて積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

平常点30%、授業の進度にあわせて行う試験（目安は前期・後期各2-3回）70%。出席日数が3分の2以上の履修者のみが評価の対象となります。

教科書

開講時に指し示す。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA 〔再クラス〕	いわた ようこ 岩 田 洋 子	全学科3年	2

講義のねらい

「文は人なり」時間・空間をこえて、書物の＝言葉＝人との出会いには、無上の喜びがある。先人達人たちの簡潔鮮明な表現から、①単なる知識だけでなく知恵を学びとること。②選び抜かれた絶対的一語一語から修辭法を学ぶ。③言葉は言霊（ことだま）。頭だけで覚えるものではない。感得するもの、体得するものである。言葉にも音色や香りや匂いがあることを学びたい。"Who Said That?" が真実なるもの、美しいもの、素晴らしいものとの出会いになれば・・・"The truth makes you free!" かもしれない。

授業は徹底的な演習形式で行う。

成績評価の方法

毎回の出席状況、平常点、提出物、前期・後期の試験の結果等を総合して行う。

教科書

Jim Knudsen著 九頭見一士 注 『"Who said That?" A Book of Famous Quotation (名句で英語を学ぶ)』（南雲堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡA 〔再クラス〕	やまぎし じろう 山 岸 二 郎	全学科3年	2

講義のねらい

大学生の日常生活を英文で表現しよう。
 言語学習は通常Listening、Speaking、Reading、Writingの順に展開する。ここで四領域に分けたのも便宜上のもので、実施の学習は相互に影響し合って、すすめられる。あるレベル以上になると四技能は一体となる。そうになると言語は大きな力を発揮し、思考力の発達を促す。このときReadingは、知識の吸収と、それに基づく思索の世界を形成する上で、中心的役割を課す。Writingは、書く事柄について反省・整理し、それを説得力ある言葉で、明快あるいは情緒的に表現する訳である。
 教室ではそのための準備として、目標に掲げたような身近な英語表現能力の向上を目指す。

成績評価の方法

出席を重視する。平常の学習、小テスト、テストその他総合的に評価する。

教科書

未定

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB 〔再クラス〕	やまがた ゆたか 山 縣 裕	経A・商3年	2

講義のねらい

ビデオの助けを借りて、CNNのニュースを読む。

履修上の留意点

6回以上欠席した者には原則として単位を与えない。

成績評価の方法

出席点・中間テスト・期末テスト・小テストなどから総合的に評価する。

教科書

関西大学英语教育研究会編著 『CNN: ビデオで見る世界のニュース』(朝日出版社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB 〔再クラス〕	おぶせ けさぞう 小 布 施 圭 佐 三	経A・商3年	2

講義のねらい

読むためのスキル (skill) として、英文構成の理解・語彙力・内容予測・大意把握・趣旨判別などの力を養成します。

講義の内容・授業スケジュール

教材内容は比較文化が中心となっており、文化の裾野を広げることができます。
 前期: Lesson 1 (p.1) ~Lesson 10 (p.42)
 後期: Lesson 11 (p.43) ~Lesson 20 (p.86)

履修上の留意点

予習の励行・レポーター制の採用・英語の辞書持参など。

成績評価の方法

出席点/レポーター点/試験(前・後期)などを加味して総合評価します。

教科書

Alan Turney/川辺康男 『Seeing More of the World』 (SEIBIDO) 1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	いわい ひろみ 岩 井 洋 美	経 A・商 3 年	2

講義のねらい

様々な英文を通して、実用的な英語の力をつけていく。

講義の内容・
授業スケジュール

英文を日本語に訳しながら読み進めていくリーディングだけではなく、旅行などで外国へ行った時に見るインフォメーションや案内といったものの大意を把握し、必要な情報を得るといったリーディングも行う。また、異文化についての知識も深めたい。

履修上の留意点

第一回目の授業からの出席。

成績評価の方法

出席とクラス内のテスト50%、前期、後期試験50%で評価する。

教 科 書

北尾・S・キャスリーン、北尾謙治『アメリカ実際生活―会話と読解―』（朝日出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	かわて ひろかず 川 手 浩 一	経 A・商 3 年	2

講義のねらい

外国語を学習する目的はその国の文化を知ることにある。今や世界はせまくなり、自国の文化のみにとらわれては日常生活すらできなくなっている。特に英語は世界各地で使いやすい言葉として国際語の役割をはたしている。

講義の内容・
授業スケジュール

ここでは主として読解力に重点をおいているが、重要な単語、イディオム、構文などを英文の中にちりばめて、多様性に富んだ学習ができるようにしてある。

成績評価の方法

出席、レポート、テストなど総合評価である。

教 科 書

Tuyoshi Tiba 『Prosperous Life [豊かな生活]』（Nanundo） 1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	おおた みちこ 太 田 美 智 子	経 A・商 3 年	2

講義のねらい

コミュニケーションの手段として英語を使えるようになることを目的とします。具体的には伝達内容を正しく速く把握するための訓練を行う予定です。

講義の内容・
授業スケジュール

我々人間にとっても興味深い動物の生態について読みます。さらに、毎回リスニングの練習も積みます。歌、映画、ニュースなどの様々な素材から幅広く学ぶつもりです。

履修上の留意点

必ず予習し、真摯な態度で授業にのぞむこと。単位の取得ではなく、各々の実力を向上させることが目的であるということを銘記して下さい。

成績評価の方法

平常点、授業中の態度、予習の有無、レポートの内容、等々からの総合評価。

教 科 書

『Animal Watching』（南雲堂）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	おちあ い かずあ き 落 合 和 昭	経 A・商 3 年	2

講義のねらい

このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とし、現代口語英語で書かれた文章とヒヤリングを通して、口語表現に慣れ、英語の運用能力を高めることを目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL 等）の受験準備にも役立つようにする。

講義の内容・授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、ヒヤリングを通して、英語の自然なスピードに慣れる。第二段階はそのなかで、使用されている慣用表現の意味や用法を、テキストを通して、確認する。第三段階は、学生に会話文の発音練習をしてもらう。

履修上の留意点

授業は徹底した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

成績評価の方法

前・後定期試験が全評価の40%、課題・授業中の発表等が60%（課題は年間約10回程度提出。授業中の発表等に関しては、全員に一回の授業に最低一回は当てるつもりである。）出席率が三分の二を超えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 『決まり文句書き取り練習帳』（鶴見書店） 800円
- 『ネイティブ英語の慣用表現 (2)』（マクミラン） 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	かわまた ようたろう 川 股 陽 太 郎	経 A・商 3 年	2

講義のねらい

IBを基礎として英語の読解力をやしなう。

講義の内容・授業スケジュール

より高度な英語の読解力をやしなうと同時に、大意の把握練習をする。ビデオ等も使用する。

履修上の留意点

3分の2以上出席し、授業に参加すること。

成績評価の方法

発表、小テスト、定期試験の成績を総合し評価する。

教科書

プリント教材を適宜配布、使用する、教科書は未定。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	かわうち けんりゆう 河 内 賢 隆	経 A・商 3 年	2

講義の内容・授業スケジュール

本テキストは身近な話題を易しい英語で取り上げている。英字新聞の記事としては、全く初歩的なものである。再クラスだけに、文法事項や語法などを詳しく解説しながら、スローペースですすめる。

成績評価の方法

出席点と発表点（年間3回以上）を重視する。前者30、後者30に定期試験の二回の点数を加える。良い結果が出なくとも、努力している姿を見せて欲しい。

教科書

- 『やさしい英語ニュース』（成美堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB 〔再クラス〕	みうら まり 三浦 眞理	経A・商3年	2

講義のねらい

非常に平易な英語で書いてある文章を、できるだけ速読し、量を多く読むことによって、英文を読む力と内容把握力の向上を図りたいと思います。
ごく基本的な構文及び語句を中・高校生に戻ったつもりで復習し、再確認しながら学習していこうと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

英語の story を読んで、その内容がある程度把握できるようになることを目標に、ごく簡単な表現で書かれている文を多読し、基礎的にしっかり学習していこうと思います。
また、hearing の練習、さらに、時間が許す限り TOEIC 等の練習をできるだけ行いたいと思います。ごく基礎的な英語を(最初から再学習するつもりで)しっかりとおぼえてもらいます。
テストは学習した章を中心に分割して授業時間中に小テストとして行います。
後期最後に総まとめ試験実施(授業時間中の小テスト重視)

履修上の留意点

成績評価は、3分の2以上の出席(厳守)、授業中の発表、小テスト(70~80%)及び後期試験の結果によりおこないます。

教科書

『Twenty Tales』 (成美堂) 1,600円

参考書等

プリントを使用することもあります。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB 〔再クラス〕	ほんま としかず 本間 俊一	経A・商3年	2

講義の内容・
授業スケジュール

教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに、年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。

学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。

成績評価の方法

前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻は3回で1回の欠席と計算する。

なお、課題の提出の仕方については、授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。

教科書

『Checknote For Business Trends』(金星堂) 1,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅡB 〔再クラス〕	あさかわ まき 朝川 真紀	経A・商3年	2

講義の内容・
授業スケジュール

国際的な視野を養いながら実用的な英語力を身につけること、英文を速く正確に読める能力を養うことを目的とする。授業ではニュース記事を扱ったテキストと、英字新聞を読んで行く。

成績評価の方法

評価は出席・平常点40%、前期後期試験60%とする。出席が3分の2に満たない者は不合格とする。

教科書

『やさしいニュース英語 2002/2003』 (成美堂) 1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語ⅡB 〔再クラス〕	にしだ よしかず 西 田 義 和	経 A・商 3 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

この授業では質的な深さの精読だけではなく、読解力の量的幅の拡大も含めて、総合的に学習しながら、読解力を養成する。
英語に限らず、外国語を読むとき文法をはじめ語いなど重要な要素があるが、それ以外にも文化的な背景なども重要な役割を果たしている。表現や文法に注意するだけでなく、敏速に大意・要点をつかみながら授業を進める。学生諸君の知識で容易に読みこなせるテキストを採用する。時として未習の語句等があると思うが、文脈からそれらの意味は容易に理解できよう。

成績評価の方法

出席率を重要視し、中間試験・期末試験、普段の授業態度等を総合して評価する。
原則として授業回数の3分の1以上欠席した場合は不合格とする。

教 科 書

開講時に指示する。

そ の 他

上記にあげたことを最初の授業でさらに詳しく説明するので必ず出席するように。

[ドイツ語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA 〔再クラス〕	^し ^ぼ の ^{ひろ} ^こ 柴 野 博 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

この授業は、初級文法の最も基本的な事柄のみを重点的に教え、ドイツ語の大枠がつかめるようにすることを目標にしています。

履修上の留意点

ドイツ語の勉強には、特に初級では、一步一步積み重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席することを希望します。

成績評価の方法

試験は、年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。

教科書

大岩信太郎『ドイツ文法のかなめ（新装版）』（三修社） 1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA 〔再クラス〕	^の ^じ ^ま と ^し ^あ ^き 野 島 利 彰	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

ドイツ語の文法を理解するにはドイツ語で簡単な作文練習をすることが非常に役に立ちます。この授業では作文問題を中心に文法の授業を行います。

成績評価の方法

教科書の作文問題を毎回宿題とします。宿題を提出して初めて出席とします。成績評価は定期試験と宿題の総合評価によります。

教科書

横山靖『ドイツ語の作文と文法』（郁堂文堂） 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA 〔再クラス〕	^お ^だ ^し ^げ ^み 織 田 繁 美	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

文法と聞くと、どうも面白くないという気持ちが先だち、勉強意欲が湧かないと思う学生が多いと思われるが、ドイツ語の会話では恐らく英語以上に正しい文法が要求されると思われる。美しいドイツ語の言葉が電話を通じて快く感じるのも、高度な文法をこなして話しかけてくるからである。

講義の内容・ 授業スケジュール

この授業では教科書を用いるが、副教材としてドイツの日常生活を題材としたプリントを用いて文法事項の理解に役立てたい。前期は単純な文の構成を主に扱うが、後期になると、文体として少し複雑になるが、あくまで前期に学んだことが土台になるので、真面目に出席している学生には、演習が苦になるところか、むしろ興味さえ感じ、楽しく思えるようになると思う。

成績評価の方法

前期、後期の試験も勿論考慮されるが、平常点に重きが置かれるので、出席が大切である。

教科書

高橋『わかりやすいドイツ文法』（芸林書房） 1,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅠA 〔再クラス〕	くけはら かずのぶ 栗原 万修	全学科2年	2

講義のねらい

このクラスの受講者は、すでに初級ドイツ語は終了しているはずですが、〔再クラス〕ですので、最初からのつもりで、できるだけ丁寧に、わかりやすく説明します。ただし、外国語は継続的に勉強しないと習得できませんので、出席を重視します。欠席を続けると名簿から名前を抹消し、再び<再履修>となります。

成績評価の方法

成績評価は、テストのほか、平常の教場での学習意欲、さらに出欠等も含め、すべてを総合して判断します。

教科書

大岩信太郎 『快速ドイツ文法』 (朝日出版社) 2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅠA 〔再クラス〕	いがらし のぶこ 五十嵐 信子	全学科2年	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な文法を理解し、これを身につけます。一年間で一通りの文法をマスターし、ドイツ語の文章を辞書をひきながら読むことができるようになります。そのことにより、ドイツ語圏のさまざまな文化現象への関心、理解がふかまり、一そう広い視野を獲得することができます。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) くり返しテープを聞き、また声に出して言うことで、ドイツ語の正しい発音を身につけます。
- 2) ドイツ文法の基本を理解し、文法の各項目の例文、練習問題を読み解くことでしっかり覚えこみます。
- 3) やさしいドイツ語会話ができるようになります。

履修上の留意点

学生諸君にのぞむこと。
新しい言葉を学ぶことは本来楽しいことです。しかし言語は、どの部分も欠くことのできない一つの建造物に似ています。柱一本抜けても傾いてしまう、それゆえこの時間は休まず出席して下さい。

成績評価の方法

年2回の定期試験および時間内の小テスト、これに出席や授業への参加態度などを加えて評価します。

教科書

在間進・納谷昌宏・清野智明『明るく楽しくドイツ語を!』(改訂版)(三修社)1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅠB 〔再クラス〕	やぶした こういち 藪下 紘一	全学科2年	2

講義のねらい

初級ドイツ語の復習をしましょう。今年で絶対ⅠBの単位をとるぞ、と肝に銘じて、普段辞書をひいて教室に来てください。

成績評価の方法

成績は教室で、皆さんに発表してもらった平常点と、7月及び1月の試験の成績の合計で評価します。

教科書

佐藤洋子 他 『シュリット・フェア・シュリット』 (白水社) 1,500円

その他

月曜日 5時限

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠB 〔再クラス〕	^{まつおか} 松 岡 ^{すすむ} 晋	全 学 科 2 年	2

講義のねらい	あまり難しくないドイツ文を読み通すことによって、同時に、初等文法の復習も行おう、というのがこの授業の目指すところです。		
講義の内容・ 授業スケジュール	授業は下記の教科書に即して行われます。各課は読章（1ページからなるドイツ語の文章）、文法説明および練習問題からなっています。文法説明は最小限にとどめ、ドイツ文の読解と簡単な文章での表現練習に専念します。独和辞典を毎回、必ず持参してください。		
履修上の留意点	再履修する羽目になった理由は、たいていの場合、出席不足です。今年こそ規則的に出席してください。さほど難しくない教科書をゆっくり進めますので。		
成績評価の方法	成績評価は、最低限2回以上行われる筆記試験および平常点（出席率、担当箇所の和訳をきちんと行ったかどうか等々）によって行います。		
教 科 書	入谷幸江ほか著 『ドイツ語コミュニケーション 独検4級対応』（三修社） 2,000円		

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠB 〔再クラス〕	^{やぶした} 藪 下 ^{こういち} 紘 一	全 学 科 2 年	2

講義のねらい	初級ドイツ語の復習をしましょう。今年で絶対ⅠBの単位をとるぞ、と肝に銘じて、普段辞書をひいて教室に来て下さい。		
成績評価の方法	成績は、教室で皆さんに発表してもらった平常点と、7月及び1月の試験の成績の合計で評価します。		
教 科 書	浦野・酒井 『ドイチュラント・ライヴ』（有久堂） 500円		
そ の 他	水曜日 2時限		

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠB 〔再クラス〕	^{すぎもと} 杉 本 ^{まさとし} 正 俊	全 学 科 2 年	2

講義のねらい	「再」クラスではあるが、学生がドイツ語を「全く知らない」事を前提に、発音と文法を初めからやり直し、その知識を基礎にドイツ語の文を読む練習をする。		
講義の内容・ 授業スケジュール	一年でいちおう初級文法のすべてを終え、それに対応したドイツ語の文を読むつもりです。		
履修上の留意点	学生諸君は、必ずしも予習は要求されない。しかし授業中は勉強に集中する。また、負担にならない程度の課題が時々出るが、きちんとこなして行けば力が付くと思う。学生の理解力に応じた授業を行うので修得すべき事項は何度でも反復説明します。		
成績評価の方法	前後期2回の大テストの他、随時小テストを行う。平常点もかなり重視する。		
教 科 書	桐川修 岸川良蔵 『ドイツ語のアウトライン』（東洋出版） 1,800円		

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA 〔再クラス〕	しばのひろこ 柴野博子	全学科3年	2

- 講義のねらい** この時期は、初級文法で習った事柄を復習しながら、ある程度まとまった、やさしい文章を読んでいきます。テキストは、はじめてドイツに留学した日本の大学生の〈異文化との出会い〉を扱ったものです。
- 履修上の留意点** ドイツ語の学習には、一步一步つみ重ねて行くことが非常に大切です。従ってできるだけ休まずに出席して下さい。
- 成績評価の方法** 試験は、年に3回行います。この3回の試験と、平常の学習態度を総合して、成績評価を行います。
- 教科書** 岩崎英二郎・山路朝彦・Wolf Gewehr 『留学生のみたドイツ』（朝日出版社）1,748円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA 〔再クラス〕	もとはしうきょう 本橋右京	全学科3年	2

- 講義のねらい** 初級文法項目を確認しながら、比較的やさしいテキストを読むことで、読解力を高めてゆきます。
- 講義の内容・授業スケジュール** ドイツ語のやさしい文章にできるだけ多く触れ、基本的な語彙や枠組みを習得していきます。その過程で、ドイツ語圏の社会や文化についても学びます。毎時間CD-ROMを利用します。まずは、発音・数字・日常的な表現等から始め、徐々に基本的な語彙や表現、文法事項を確実にものにします。
- 履修上の留意点** みなさんの積極的な学習を希望します。
- 成績評価の方法** 前期後期の試験や出席などで総合評価します。
- 教科書** Schlecht&三宅 CD-ROMブック 『パソコンで学ぶドイツ語 ハロー、ヴィーゲーツ?』（三修社）4,800円
- その他** スライド、テープなど。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅡA 〔再クラス〕	すぎもとまさとし 杉本正俊	全学科3年	2

- 講義のねらい** 発音と、初級文法をはじめからやり直し、その知識を土台にして、やさしいドイツ語の文を読む練習をする。
- 講義の内容・授業スケジュール** 一年間でいちおう初級文法の必要知識をすべて与え、それに応じたドイツ語の文を読むつもりです。学生の理解力に応じた授業を行うので、難解な事項は何度でも反復説明します。
- 履修上の留意点** 学生の皆さんには必ずしも予習は要求しません。しかし授業中は勉強に集中して下さい。また時々負担にならない程度のやさしい課題を出しますが、きちんとこなして行けば力がつくと思います。
- 成績評価の方法** 前後2回の大テストの他随時小テストを行い、平常点もかなり重視する。
- 教科書** 志田裕朗・羽根田知子 『コンタクトドイツ語』（三修社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	やぶした こういち 藪 下 紘 一	経 A・商 3年	2

講義のねらい

ドイツ語中級の復習をしましょう。今年こそⅡBの単位をとるぞと、肝に銘じて、普段辞書をひいて教室に来て下さい。

教科書

内藤 『中級・小文法読本』 (同学社) 650円

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	ももずみ いさむ 百 濟 勇	経 A・商 3年	2

講義の内容・
授業スケジュール

1991年以来、ベルリン・ドイツ経済研究所の客員研究員をしているが、そこではドイツ人以外の外国の学生、院生も実習生として研修している。そこで共通していることは、学習、研究の目的意識が明確であること、さらに外国語修得が優れていることだ。これまで習った蓄積を基礎にして、さらに使えるドイツ語の修得を目指す。ドイツ語・英会話を併存させる。毎回、何等かの形でテストを行う。

成績評価の方法

平常点で採点、期末試験は行わない。

教科書

プリント配布。

科目名	担当者名	配当学科	単位
ドイツ語ⅡB 〔再クラス〕	もとはし うきょう 本 橋 右 京	経 A・商 3年	2

講義のねらい

伝統的なドイツ語初級文法の配列にしたがって、やさしい文章をできるだけ多く読み、運用能力の涵養を期します。

講義の内容・
授業スケジュール

文法を初めから復習し、場合によっては補足します。文法面からドイツ語の仕組みを把握し、それをテキストで確認します。そこに出てきた簡単な文法表現を覚え、練習問題でもって理解を確実なものとしします。

履修上の留意点

みなさんの予習や授業中の発表など積極的な取り組みに期待します。

成績評価の方法

前期後期の試験や出席などで総合評価します。

教科書

未定

[フランス語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA 〔再クラス〕	菅 谷 暁 <small>すが や さとる</small>	全学科2年	2

講義のねらい

フランス語文法の基本を勉強します。

成績評価の方法

前期末と後期末の試験、および小テストによります。

教科書

瀬倉他著 『新世紀グラス』(駿河台出版社) 2,500円
『基本問題集』(駿河台出版社) 300円

そ の 他

教室でのさまざまな練習を軸に授業を進めるので、休まずに出席することが非常に重要です。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA 〔再クラス〕	芦 原 眷 <small>あしはら けん</small>	全学科2年	2

講義のねらい

1年かけて、仏語のやさしい文章(おもに会話の多い文章)が読めて(発音)、その内容が理解(読解力)できるようにします。読解力をつけるためには、文法の知識を身につけることがどうしても必要です。文法は読解力に非常に役立つ道具です。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、文法を土台にして、仏語の読み方、辞書の上手な引き方を覚えます。後期は、前期の作業を発展させて、できるだけ多くの仏文を読めるようにします。

履修上の留意点

教科書と同時に辞書を持参して下さい。

成績評価の方法

毎回小テストか辞書を使う和訳のテストをします。それに、期末の総合テスト。ときどきレポート。

教科書

『キャロット』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA 〔再クラス〕	竹 田 正 純 <small>たけだ まさずみ</small>	全学科2年	2

講義のねらい

クラスの性質上、文法の復習が中心となるが、反復練習によって基礎的事項の徹底理解を目指したい。可能なかぎり、個別指導を心懸けていくつもりである。

成績評価の方法

前・後期の最終日のテストを中心に評価するが、平常授業での課題も真面目に取り組んでほしい。

教科書

内藤他 『フランス語へのパスポート』 (白水社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA 〔再クラス〕	こだま なりお 小 玉 齊 夫	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

フランス語文法の復習です。文の仕組みの基礎を知る授業ですから、単純に繰り返して記憶する項目が多くなりますが、可能なかぎり、多様な観点から、フランス語の表現を覚えていくようにしたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

一回の授業で一課あるいは二課ほど、進んでいくことになります。全課を終えると、同時に、フランスの各地域の概観を知ること出来るようになっていきます。文化的な面での知識も獲得できるようにしたいと思います。

履修上の留意点

予習・復習をきちんと行うこと。特別な場合を除いて、授業には必ず出席すること。

成績評価の方法

随時行われる小テストと、前期・後期の試験によって成績評価をします。

教 科 書

青木『エグザゴヌ』（駿河台出版社）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA 〔再クラス〕	はせがわ みつあき 長谷川 光 昭	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

フランス語の基礎の習得。

講義の内容・
授業スケジュール

もう一度ゼロから、しっかり確認していきましょう。あまり無理をしないで、基礎力を確実に身につけることをめざします。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業における評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教 科 書

山村嘉己他『ジュタンプラス』（朝日出版社）2,000円

参 考 書 等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠB 〔再クラス〕	まえだ のりかず 前 田 祝 一	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

2年生が対象とはいえ、初めてフランス語を勉強するものとして、発音・綴字の読み方など、一番の基礎から開始します。

講義の内容・
授業スケジュール

練習問題などをていねいにクリアし、その積み重ねで少しずつ理解を深めてもらいます。

履修上の留意点

毎週の授業が、それまでの学習の成果の上に成り立っているのですから、つまり毎週新しいことの勉強が始まるのですから、欠席しないように努力してください。欠席すれば取り残されるものと覚悟すること。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストを基本に成績を評価します。しかし教室での課題、出席状況にも配慮します。

教 科 書

滑川他編 『ポケットにフランス語 改訂版 』（第三書房） 2,000円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠB 〔再クラス〕	いまぜき 今 関 ア ン	全 学 科 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

練習問題（口頭、聞き取り、作文）を中心に進めてゆく。

履修上の留意点

学習者主体の授業なので、積極的な参加を切望する。もちろん欠席など論外である。授業終了時にその日の成果を提出してもらい、これをもって出席とみなすつもりである。

成績評価の方法

平常点により評価するので、毎回出席すること。
辞書、教科書を必ず持ってくること。

教 科 書

藤田裕二著 『新・えすかるご1』 （朝日出版社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠB 〔再クラス〕	もりもと の ぶ こ 森 本 信 子	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

フランス語に対する苦手意識を取り除くことが主眼。あまり複雑な文法の解説をせずに会話的な表現をどんどん使っていく、活気ある授業にしたい。学生同志のペアワーク、グループワークを活用しながら、参加型の授業にするつもりである。1年学習した後は、フランス語に対して自分なりの達成感を持てる様努力したい。

履修上の留意点

とにかく授業に欠かさず出て、毎回何かをつかんで教室を出ていけるように、積極的な参加を強く望んでいる。

成績評価の方法

授業での取り組み方、小テスト点、期末テスト点、出席点等を統合して評価する。最も重視するのは出席である。

教 科 書

『C'est facile!』(三修社)

参 考 書 等

参考書等は授業内で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠB 〔再クラス〕	はせがわ みつあき 長 谷 川 光 明	全 学 科 2 年	2

講義のねらい

実用的な会話文を通じてフランス語の基礎を学習します。

講義の内容・
授業スケジュール

旅行の場面と実際に活用できる表現を用いて文法事項を再確認していきます。各項目を解説したのち、その場で練習問題に取り組んでもらいます。練習問題の答案提出によって出欠をとりまです。試験は前期と後期二回行います。

履修上の留意点

フランス語にまず音からなじんでいくために、授業中はテープに従ってなるべく大きな声で発音することが望まれます。教科書付属のCDを習慣的に聴くことも必要です。辞書は必ず持参してください。

成績評価の方法

前期後期試験及び平常点。

教 科 書

林田遼右 『テキスト版 パリ散歩』 （朝日出版社） 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠB 〔再クラス〕	<small>たにかわ</small> 谷 川 かおる	全学科 2年	2

講義のねらい

旅行で使うフランス語を通じて、フランス語の基礎からゆっくりやり直します。

講義の内容・授業スケジュール

まず、旅行のさまざまな場面で必要とされるフランス語表現を暗記し、関連する文法を習得します。基本が理解できたら練習問題に取り組み、応用表現を学びます。毎週授業の最後に、暗記のための小テストを行います。

履修上の留意点

教科書に付属するカセットテープをなるべく繰り返し聴き、耳からフランス語に親しむようにして下さい。

成績評価の方法

前期・後期試験および毎週の小テスト。

教科書

瀬戸秀一・瀬戸和子 『街かどのフランス語』新訂版 (朝日出版社) 2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡA 〔再クラス〕	<small>はたなか ちあき</small> 畑 中 千 晶	全学科 3年	2

講義のねらい

フランス文化についての短い読み物を読み進めながら、同時に、話す力、書く力につながるように、文法を復習する。

履修上の留意点

出席重視。長時間にわたって、連絡もせず、また、理由なく休んだ場合は、単位を放棄したものと見なすので、注意すること。成績はクラス内の小テスト、前期末、学年末テストなどから総合的に評価する。

教科書

澤田直之・リリアヌ・ラタンジオ・黒川学著『アミカルマンーフランス語・フランス文化への誘い』(駿河台出版社) 1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡA 〔再クラス〕	<small>ぬまくら ひろこ</small> 沼 倉 広 子	全学科 3年	2

講義のねらい

辞書を使いこなして、文章を読む力をつける。

講義の内容・授業スケジュール

文化、地理、スポーツなどを題材にフランスの現在を知る。

履修上の留意点

文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要。

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点も重視する。

教科書

クリスチャン・ポームルー著『時事フランス語』(2002年度版)(朝日出版社) 1,800円

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡA 〔再クラス〕	^{たにかわ} 谷川 かおる	全学科3年	2

講義のねらい

フランス語の基本文法を復習し、中級程度のフランス語が読めるようになることを目標とします。

講義の内容・授業スケジュール

ごく基本的な文法の復習から始め、簡単な読み物を読みます。後期には、出席者と相談の上、簡単な新聞記事など、少し本格的なフランス語に取り組む予定です。

履修上の留意点

指定の予習箇所は必ず予習してきて下さい。

成績評価の方法

前期・後期試験および小テスト。

教科書

牛場由紀子 『小説への旅立ち』 (朝日出版社) 2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡB 〔再クラス〕	^{とおよまひろお} 遠山 博雄	経A・商3年	2

講義のねらい

ごくやさしい文章やスケッチを読み、会話的表現を覚えること。

講義の内容・授業スケジュール

最小限の文法知識を復習して身につけ、辞書を片手に調べて読み、かつ繰り返し発声練習をしていきます。

履修上の留意点

必ず辞書を持って出席し、声を出すこと。

成績評価の方法

2回の筆記もしくは口述試験を行います。

教科書

中井珠子他著 『発見！フランス語教室』 (第三書房) 2,600円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡB 〔再クラス〕	^{ぬまくらひろこ} 沼倉 広子	経A・商3年	2

講義のねらい

辞書を使いこなして読解力をつける。

講義の内容・授業スケジュール

フランス語圏の学生たちのために書かれた歴史、文学、文化、経済など多岐にわたる内容のテキストを使用する。

履修上の留意点

文法の説明など随時行うので、休まないことが肝要。

成績評価の方法

前後期とも試験を行うが、平常点も重視する。

教科書

特に決めず、その都度プリントを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡB 〔再クラス〕	はせがわ みつあき 長谷川 光 昭	経 A・商 3年	2

講義のねらい

フランス語中級

講義の内容・
授業スケジュール

フランス語の基礎を復習・確認しながら、平易な文章を読んでいます。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教 科 書

野村訓子他『アニエスの日々』（駿河台出版社） 1,800円

参 考 書 等

そのつど授業で指示します。

[中国語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	こ 胡 ぎょくか 玉 華	全学科2年	2

講義のねらい

中国語の発音の仕組み、発音の方法、中国式ローマ字の発音表記（ピンイン）を理解しながら、繰り返し聞き発音し、中国語の発音の仕方を修得する。音声を通して、基礎的な単語や単語の結び付き方、配列順序、基本的な文句や表現を学び、簡単な文章や会話を「聞き」・「話す」基礎力を養成する。コトバだけではなく、コトバの勉強を通じて中国或いは中国文化への理解を高めることを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

前期の前半は、発音の基礎の習得が中心となり、ピンイン表記の通りに正確な発音ができるようにする。前期の後半は、発音を復習しながら、本文を通じて簡単な日常あいさつができるようにする。後期は、本文の学習によって、初級レベルの基本的な文の構造、語彙、文法を習得し、聞き、話し、読み、書く能力をバランスよく身につけるようにする。

履修上の留意点

発音の習得には授業への出席と復習がカギとなる。故に出席と復習を心掛けてほしい。

成績評価の方法

「A+α」制で評価する。「A」は、平常の小テスト（発音チェック、単語テストなど）及び定期試験による評価、「α」は、出席状況、宿題の出来具合、授業中の積極性などによる評価。学べ側と教える側が共に楽しい授業になるように、授業中の積極性を高く評価したい。

教科書

渡辺晴夫・楊幸雄・高村麻実 著 『フレッシュ中国語（改訂版）』（白水社）2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	ひらいし よしこ 平 石 淑 子	全学科2年	2

講義のねらい

中国語の基礎的な発音、文法の習得を目指す。

講義の内容・授業スケジュール

比較的やさしいテキストを用い、練習問題や小テストなどによって内容の習得をはかる。

履修上の留意点

①四分の三以上の出席を求める。②必ず予習・復習をすること。③授業には辞書を携帯すること。

成績評価の方法

小テストなどを含む平常点、及び期末試験による。

教科書

方如偉他著 『中国語10課』（白水社）1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	まつもと あつとし 松 本 丁 俊	全学科2年	2

講義の内容・授業スケジュール

最初は発音篇1～11課まで基本発音を覚える。つづいて本篇に入るが、日本人が中国家庭を訪問するという設定で、会話を通じて文法・文型の基礎を学んでゆく。

教科書

植田渥雄著 『八木さんの中国家庭訪問—会話で学ぶ文法の基礎』（金星堂）1,800円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	かまや 釜屋 修	全学科2年	2

- 講義のねらい 中国語の発音、ピンイン表記、文法の基礎をあらためて再学習するが、目標はⅠA、ⅠBに同じ。
- 履修上の留意点 前年度ⅠA、ⅠBの挫折の原因をしっかりと総括し、前向きの学習姿勢であらたな一年に挑戦すること。散漫な出席は許されない。とりわけ高学年次生は注意されたい。
- 成績評価の方法 平常点、出席点、小テスト、前・後期の期末考査により総合的に判定する。
- 教科書 荒川清秀・許秋寒・上野由紀子 『中国語スケッチ15』（朝日出版社） 2,200円
- 参考書等 辞書は開講後に解説する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	さとう 佐藤 普美子	全学科2年	2

- 講義のねらい 中国語の基礎になる発音、語彙、基本文法をしっかりと身につける。中国式ローマ字表記（ピンイン）を正確に読み、書けるようにする。
- 履修上の留意点 授業時は、耳、口はもちろん、手もフルに活用して言葉の整理定着をはかるので、気力及び体力がないと継続受講は難しくなるだろう。覚悟が必要。
- 成績評価の方法 学期末テストも行うが、小テスト、平常点（出席、授業時の意欲）を重視する。
- 教科書 野澤俊敬監修 『中国語レッスンA・B・C』（白帝社） 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	あまの 天野 節	全学科2年	2

- 講義のねらい 文法を踏まえ、「読む」、「聞く」、「書く」、「話す」という四技能を関連付けながら学習して行けるように援助していく。最終的には、独学でも学習を継続していけるような基本的能力を修得することがねらいである。
- 履修上の留意点 最後まで学習を継続する決意をして授業にのぞんで欲しい。
- 成績評価の方法 出席、授業態度、小テスト等の平常点と期末テストの結果を合せ、総合して評価する。
- 教科書 榎本英雄『できる中国語』（同学社）1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	ね ぎ し ま さ こ 根 岸 政 子	全学科2年	2

講義のねらい

中国語の正しい発音と基本文法を習得する。

履修上の留意点

最初の1ヶ月は中国語の発音を確認しながら進むので、必ず出席すること。学習したことがちゃんと身につけているかを確認するために随時小テストを行う。

成績評価の方法

前期後期のテストおよび小テスト、出席状況などで評価する。

教科書

是永駿・陳薇 『中国語入門晶子さんのホームステイ』(郁文堂) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	あ ま の せ っ 天 野 節	全学科2年	2

講義のねらい

日常生活でよく使う表現を選び、実生活に役立つ基礎的な中国語会話の習得を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

始めは、発音(四声)・ピンイン表記(中国式ローマ字)の習得に重きをおき、初歩的な語法にはいり、平易な文型を通して表現力を高める。中国語文の反復・応用練習・暗誦により基礎語学の向上を計る。

履修上の留意点

授業の開始までに、教科書・辞書を必ず購入すること。

成績評価の方法

平常評価(授業態度・出席日数)、小テスト、学期末テスト(前期、後期各一回)。出席日数の足りない場合受験資格を失うため注意すること。欠席・遅刻は日数により減点する。

教科書

小川郁夫著 『中国語初級対話64』(白帝社) 1,550円

参考書等

辞書は当然必要ないが、必要になったら授業のなかで紹介する。

その他

授業中の私語は厳禁とする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	そ う た い わ 曹 泰 和	全学科2年	2

講義のねらい

中国語の基礎的な発音、基本文法をしっかり身につける。

履修上の留意点

4分の3以上の出席と、元気よく、積極的に授業に参加すること。

成績評価の方法

テスト、宿題、出席、学習態度で総合評価する。

教科書

楊凱榮・張麗群著『身につく中国語』(白帝社) 2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	李 ^り 雲 ^{うん}	全学科2年	2

講義のねらい

基礎文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。

履修上の留意点

平常の練習が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。

教科書

尹景春・竹島毅 『中国語はじめの一步』(白水社) 2,200円

その他

内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	工 ^く 藤 ^{どう} 早 ^さ 恵 ^え	全学科2年	2

講義のねらい

中国語学習の基礎となる発音をしっかりマスターした後、基本的な語彙や文法を身につける。

履修上の留意点

語学は積み重ねである。欠席せずに最後まできちんと授業に出ることが大切である。

成績評価の方法

出席状況、平常点、小テスト、定期試験によって総合的に評価する。

教科書

相原茂等著 『学ビテ時ニ之ヲ習フ』(好文出版) 2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	小 ^お 川 ^{がわ} 隆 ^{たかし}	全学科2年	2

履修上の留意点

発音と文法の基礎をゼロから学び直す。1年生のとき、なぜ失敗したか、自分でその原因をしっかりと反省して授業にのぞむこと。やり直しだからといってしよげる必要はないが、同じ失敗はくり返さないでほしい。授業ではまったくの基礎からていねいに学び直すので、やり直しの良い機会だと考えて、前向きに取りくんでもらいたい。

成績評価の方法

年間4～5回のテストと平常点。出席は最重視。必ず第1回の授業から出席すること。当たり前だが、遅刻・私語は厳禁。とくに卒業年次生は初回に指示を受けること。

教科書

八木麗『初めての中国語ぶうとんほあ』(朝日出版社) 2,200円 (CD付)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	しおばた しんいちろう 塩 旗 伸一郎	全学科2年	2

講義のねらい

中国語は漢字を使うから簡単だと思った人ほど実は挫折しやすい。字には音を書いてないので、いつまで経っても中国語が読めないのだ。もう一度スタートラインに立ち、耳と口づくりから始めよう。でもどうしても、あの魅力あふれる音と相性が悪いという人は、せめて毎回出席し、課毎に提出してもらおうドリルで張り切ろう。

履修上の留意点

毎回出席が当然。

成績評価の方法

定期試験＋小テスト－欠席点。欠席が3回超えた場合は理由を問わず10点ずつ減点。

教科書

尹景春・竹島毅『新版 中国語ははじめの一步』（白水社） 2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	あきもと たすく 秋 元 翼	全学科2年	2

講義のねらい

再履修者がこれまでの学習方法の欠点を自覚し、自分でその欠点を克服して当初の学習目標を達成できるようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

発音入門からやり直し、初級の文法と表現を一年間でマスターする。

履修上の留意点

発音訓練が重要なので、教室では口を大きく動かし、積極的に声を出すようにしてほしい。また、基本単語を覚えることも大事なので、CD等を活用し、復習をすることを望む。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常の学習態度と理解度および前・後期の期末テストで評価する。

教科書

山田真一「500語マスター基本中国語」（同学社） 2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	らん めい 蘭 明	全学科2年	2

講義の内容・
授業スケジュール

前期は最初の一ヶ月において、ピンインを読めるように集中的練習をする。その後、簡単な会話の練習に進む。後期は、やさしい日常会話を中心におき、授業を展開する。

成績評価の方法

出席など授業姿勢に評価の重きを置く。前後期二回に分け試験を行う。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語』（北京篇1）（朝日出版社） 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	こうりん ひでもと 江 林 英 基	全学科3年	2

講義のねらい

授業は発音とピンイン表記を再学習後、各課の文法を解説しながら本文と会話の文型を説明し、学生諸君に順番に朗読させ、正しい発音と声調を求める。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストは中国人が日常生活でよく使用する単語と簡単な文型を内容とするものであり、全25課、各課の本文のあとに会話の例文を付してある。その内容も易から難へと自然な順序で配列されている。

成績評価の方法

小テスト、宿題、年2回の定期試験及び出席状況と学習態度を総合して判定する。

教科書

張乃方、長谷川寛 『中国語読本（初級編）』（白水社） 1,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	みやもと あつこ 宮 本 厚 子	全学科3年	2

講義のねらい

前半は指定した教科書を用い基礎を固め、後半はプリントを配りより難しい文章を読んでいく。

履修上の留意点

授業の前に、必ず辞書をひき予習を行なうこと。

成績評価の方法

年に2～3回の筆記試験（前後期末試験を含む）と平常点で評価する。

教科書

董燕・遠藤光暁 『読む中国語』（朝日出版社） 2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	あまの せつ 天 野 節	全学科3年	2

講義のねらい

中国語Ⅰの基本を復習しながら、会話文を通し中国語Ⅰ以上の表現を学習する。最終的には、独学でも学習を継続して行けるような基本的能力を修得することがねらいです。

履修上の留意点

最後まで学習を継続する決意をして授業にのぞんで欲しい。

成績評価の方法

出席、授業態度、小テスト等の平常点と期末テストの結果を合せ、総合して評価する。

教科書

荒川清秀『美香 in China』（同学社） 1,900円税別

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡA 〔再クラス〕	三田村 圭子 <small>みたむら けいこ</small>	全学科3年	2

講義のねらい	基礎の復習をしながら、中級への橋渡しになるような文章を読む。
講義の内容・ 授業スケジュール	前半は、中国語Ⅰの復習を行い、後半は比較的長い文章を読解する。
履修上の留意点	まとめてやろうとせず、毎時間課題を確実に仕上げるように。
成績評価の方法	出席重視。試験は年4回実施する。遅刻は3回で1回の欠席とする。
教科書	竹島金吾『中国語さらなる一歩』（白水社） 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	李 雲 <small>り うん</small>	経A・商3年	2

講義のねらい	基本文型と表現が織り込まれた会話を中心に授業を進める。日常生活に必要な会話力、文章力をさらに高めることを目的とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	基本文型、会話文、練習問題の順で練習し、各課ごとに、書き取りの練習もする。
履修上の留意点	平常の練習が大切なので必ず出席すること。
成績評価の方法	筆記試験、書き取り・会話のでき具合と出席率などによって総合的に評価する。
教科書	水野蓉・渡辺安代・滝澤恭子 『元気です中国』（朝日出版社） 2,000円
その他	内容的に結構量があるので、きちんと予習、復習のできる学生に受講してもらいたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	宮本厚子 <small>みやもと あつこ</small>	経A・商3年	2

講義のねらい	1年次に学んだ文法事項を復習しつつ、実際に役立つような会話体の文を学ぶ。
履修上の留意点	学んだ文が実際に言えるようになるよう繰り返し練習を行なうので、積極的に取り組んでもらいたい。
成績評価の方法	前後期末試験、中間試験（2回）、出席点。
教科書	王占華・劉慶 『就職に役立つ中国語』（駿河台出版） 1,800円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅡB 〔再クラス〕	らん 蘭	めい 明	経 A・商 3 年 2

講義のねらい

基礎文型を復習し、日常生活でよく使う表現を習得する。

講義の内容・
授業スケジュール

発音の練習・基礎文法の確認・会話文の暗誦という三つの内容を中心に進めていく。

履修上の留意点

授業時には大きな声で読むこと。欠席しないこと。

成績評価の方法

出席を重視する。宿題など提出物も評価に加味する。

教 科 書

董燕・遠藤光暁 『話す中国語』（北京篇2）（朝日出版社） 2,500円

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	<small>みやち たつろう</small> 宮 地 達 郎	全学科2年	2

講義のねらい

文法解説をできるだけ容易に説明する。簡単な日常会話も織込み、興味を持続させる。

履修上の留意点

最低限の復習、それに対する質問が望ましい。

成績評価の方法

前・後期のテスト及び出席点。

教科書

宮本博司著 『ようこそスペイン語の世界へ』（大学書林）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	<small>おおいわ いさお</small> 大 岩 功	全学科2年	2

講義のねらい

初級文法の基礎を概観し、スペイン語とその世界に対する理解を深めることをねらいとします。

講義の内容・ 授業スケジュール

文法事項の解説と演習をベースに、折りに触れて会話の練習なども行います。ビギナーが特につまづきやすいポイントを押さえながら授業を進めます。

履修上の留意点

予習するかしないかは一義的に学習者の自主性の問題ですが、なるべく予習をして授業に臨むよう心がけてください。予習して損をすることは絶対にありません。なお、授業には辞書を必ず持参してください。

成績評価の方法

数回のテストと日頃の出席状況、受講態度を総合して評価します。

教科書

寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』（教材マルコ社）
長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。

参考書等

辞書
有本紀明編『西和辞典』（白水社）4,500円
宮城昇編『現代スペイン語辞典』（白水社）4,000円
カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』（研究社）4,860円
桑名一博編『西和中辞典』（小学館）6,120円
これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	うえの かつひろ 上野 勝 広	全学科2年	2

講義のねらい

スペイン語の基礎（発音、文法、語彙）を身につけ、その背景文化への理解と関心を深めてゆきます。

講義の内容・
授業スケジュール

下記のテキストを用いて、前期は1課～9課まで、後期は10課～18課を解説します。同時に口頭および筆記の練習も行ないます。

履修上の留意点

新しい外国語を少しでも身につけるには、ただ授業に出席するだけでは達成できません。集中して教師や録音テープのスペイン語を聴き、疲れるくらい口や手を動かしてレッスンに励みましょう。

成績評価の方法

年間4回のテストと平常点を総合的に評価します。

教科書

淵上英二・アルフレッド・ロベス 『確認して進むスペイン語』（朝日出版社） 2,500円

参考書等

初回の授業で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	さとう ひろこ 佐藤 紘子	全学科2年	2

講義のねらい

必要最低限の文法事項に一通り目を通し、コミュニケーションのためのスペイン語運用能力の基礎を習得する。

履修上の留意点

欠席すると授業についていけなくなるので、できるだけ欠席しないように心掛けてください。

成績評価の方法

毎回授業の始めに行う小テストの成績の集計と、後期試験の成績を合わせて評価する。

教科書

佐々木克美著『スペイン語との出会い』（芸林書房）

参考書等

最初の授業で指示する

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	さとう まりの 佐藤 麻里乃	全学科2年	2

講義のねらい

文法の初歩を習得し、スペイン語の基本的特徴を理解する。

履修上の留意点

初回の授業で述べる注意事項を必ず出席のこと。

成績評価の方法

出席率、授業態度、課題の出来具合などにより評価する。

教科書

寺崎英樹著『スペイン語文法のシステム』（同学社）

参考書等

『西和中辞典』（小学館）、『現代スペイン語辞典』（白水社）
『新スペイン語辞典』（研究社）、『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）など。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語Ⅱ A [再クラス]	ふくもと くみこ 福本 久美子	全学科3年 経A・商3年	2
スペイン語Ⅱ B [再クラス]			

講義のねらい	基礎文法の充実とスペイン語圏の文化に触れることを目的とする。前期は文法を、後期は講読を中心とした授業とする。
履修上の留意点	出席が全授業回数の2/3以下の者には評価を与えない。始業時より30分以上の遅刻は入室を認めない。但し出席も遅刻も正当な理由がある時は考慮する。 授業を妨げるような振る舞い(私語・無断退出等)は慎むこと。場合によっては評価の対象から外す。
成績評価の方法	前・後期テストと授業中の平常点(宿題・小テスト)の合計に拠る。
教科書	西川 喬著 『新スペイン語ゼミナール』(第三書房) 2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語Ⅱ A [再クラス]	おおいわ いさお 大岩 功	全教科3年 経A・商3年	2
スペイン語Ⅱ B [再クラス]			

講義のねらい	スペイン語Iで学習した内容を踏まえ、文法の理解をさらに深めるとともに、スペイン語で書かれた文章に親しむことをめざします。
講義の内容・授業スケジュール	初めはスペイン語Iで学習した文法項目を復習し、その後、さらに新しい項目を学習していきます。まとまった長さの文章を読むための教材も適宜使用します。
履修上の留意点	予習することによって授業の学習効果は何倍にも増幅されます。学生諸君はぜひ予習をしっかりやって授業に参加してください。なお、授業には必ず辞書を持参すること。
成績評価の方法	出席状況と年数回のテストの得点、および授業に臨む姿勢などを考慮して総合的に評価します。
教科書	寿里順平・大岩功『読む・書く・話すスペイン語』(教材マルコ社) 長文読解用の教材についてはプリントを適宜用意します。
参考書等	辞書 有本紀明編『西和辞典』(白水社) 4,500円 宮城昇編『現代スペイン語辞典』(白水社) 4,000円 カルロス・ルビオ、上田博人編『研究社新スペイン語辞典』(研究社) 4,860円 桑名一博編『西和中辞典』(小学館) 6,120円 これらのうちどれか一冊を入手することが望ましい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語Ⅱ A [再クラス]	さとう ひろこ 佐藤 紘子	全学科3年 経A・商3年	2
スペイン語Ⅱ B [再クラス]			

講義のねらい	1年次で学習した基礎文法を復習し、更にそれを広げていく。同時にスペイン・中南米の現代事情について基礎的な理解をめざす。
履修上の留意点	欠席すると授業についていけなくなるので、できるだけ欠席しないように心掛けてください。
成績評価の方法	毎回授業の始めに行う小テストの成績の集計と、後期試験の成績を合わせて評価する。
教科書	『現代感覚でおぼえるスペイン語のエッセンス』(朝日出版社)
参考書等	最初の授業で指示する

【ロシア語】

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	<small>ひろた ひでやす</small> 廣 田 英 靖	全学科2年	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号（力点）の法則、イントネーションの5つ型をみっちりやります。
- 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現（ボデー・ラングウエジを含む）を身につけます。
- 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
- 4) 基礎的な初等文法を学びます。
- 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。

はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返して練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のまとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。
平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

戸部又方編 『1年生のロシア語』（白水社）
杉山秀子他 『やさしいロシア語読本』（大学書林） 1,600円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	<small>さの あさこ きむら ひであき</small> 佐野 朝子・木村 英明	全学科2年	2

講義のねらい

発音、イントネーション、会話を学び、同時にやさしいテキストを読んでいきます。
会話クラスにありがちな簡単な日常会話以外のことはいっさいわからない、という結果にならぬよう努力するつもりです。

履修上の留意点

予習はまずいらないと思いますが、ロシア語の発音、イントネーションを少しでも多く耳にするよう、できるだけ授業には出席して下さい。

成績評価の方法

平常点を重視します。

教科書

絵や図がたくさん入っているロシアで出版された教科書を使って授業をすすめますが、手に入りにくい教科書ですので、コピーを用意します。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	<small>あんどく</small> 安 徳 ニーナ	全 学 科 2 年	2

講義のねらい	基本的な文法、発音、読み、書き、が出来る事を目標とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	教科書に基づいて講義を進める。
履修上の留意点	要点の復習は必ずしてほしい。
成績評価の方法	講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。
教 科 書	桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）
参 考 書 等	必要に応じてその都度資料を配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	クロチコフ, Y.	全 学 科 3 年	2
ロシア語ⅡB〔再クラス〕		経 A・商 3 年	

講義のねらい	以前に学習した発音、文法、会話の復習。 講師が作成した練習用テキストを用いて、文法の基礎を学習しながら、同時に、会話、作文を練習する。
履修上の留意点	出席を重視します。
成績評価の方法	平常点で評価します。授業中に時々、簡単なテストを行います。
教 科 書	プリント配布。
参 考 書 等	ビデオ、オーディオ等を使用します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡA〔再クラス〕	<small>あんどく</small> 安 徳 ニーナ	全 学 科 3 年	2
ロシア語ⅡB〔再クラス〕		経 A・商 3 年	

講義のねらい	一般的な文法、発音、読み、書き、ができる事を目標とする。
講義の内容・ 授業スケジュール	教科書に基づいて講義を進める。
履修上の留意点	要点の復習は必ずしてほしい。
成績評価の方法	講義の中で時々行う練習問題を主として学習態度を参考にする。
教 科 書	桑野隆『はじめてのロシア語』（白水社）
参 考 書 等	必要に応じてその都度資料を配布する。

〔選択科目〕

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英文講読	ほやし 林 明 人	経A・商1・2・3・4選	4

講義の内容・
授業スケジュール

現代アメリカ文学の短編をなるべくたくさん読みます。単に英語を読むことから鑑賞できるようになれば幸いです。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、発表、レポート、小テスト、出席の総合評価。

教 科 書

教員が作成したものを用います。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英文講読	まえだ 前 田 脩	経A・商1・2・3・4選	4

講義の内容・
授業スケジュール

イギリス風景庭園を主題としますが、まずはじめに、イギリス及びヨーロッパの庭園の概略を知ってもらうため、簡単な庭園史のテキストを使います。その後、イギリス庭園と対比されるフランス庭園の概念を知るためのテキストのコピーを使用します。最後にイギリス風景庭園の成立の原因をさぐるために適すると思われる本を読みます。庭園の概念についての説明はしますが、授業はあくまでも講読です。

成績評価の方法

授業中の発表等日常評価を重視します。後期テストも評価に入れます。

教 科 書

- 1) 『イギリス庭園物語』 (南雲堂) 1,200円
- 2) コピーを使用

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英文講読	まきの 牧 野 輝 良	経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

内容のある英文を読み、正しく内容を理解すること。

講義の内容・
授業スケジュール

高い教養の持主である筆者の歴史や文化の見方を学ぶ。特に結果から原因をたどる手法を学ぶ。

履修上の留意点

受講する学生はよく自習しておき、指名されたら解答出来るように心掛けること。

成績評価の方法

時間中の成績と期末テストの成績を総合して評価する。

教 科 書

ピーター・ミルワード『西欧文明をどう理解するか』(南雲堂) 1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	たけむら えつこ 竹村 恵都子	経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

今後の情報化時代に伴い、世界の動きに目を向け、国際社会の実状を的確に把握する必要があります。本授業では、基礎的な英語力を土台に、英文ニュースを学びます。新聞に使用される英語表現は、斬新な語句やイディオム、字句の省略など様々な特徴があります。日頃から内外の英字新聞を読むよう心掛けて下さい。十分な予習を望みます。

成績評価の方法

評価は前期・後期の試験を主とし、平常点（授業態度・発表も含む）、出席率及びレポートなどを総合的に判断し評価します。

教科書

テキストは最初の授業時に発表します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	はやし あきと 林 明人	経A・商1・2・3・4選	4

講義の内容・
授業スケジュール

CNN, Herald Tribune紙などから集めたニュース英語によく使用される語をキーとした短文をたくさん読むことにより、そのキーワードの意味、および使い方をおぼえることを目的とします。そのほかに実際に英字新聞を読んだりします。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、小テスト、レポート、出席の総合評価です。

教科書

教員が作成したものを用います。

参考書等

Sanseido's Dictionary of News English (三省堂)

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語研究	かわて ひろかず 川手 浩一	経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

外国語を学習する目的はその国の文化を知ることである。しかしながら今や世界はせまくなり、自国の文化のみにとられていては日常生活すらできなくなっている。

講義の内容・
授業スケジュール

ここでは主として読解力に主眼をおいて、重要な単語、イディオム、構文などを英文の中にちりばめて、多様性に富んだ英文が学習でき生活英語としても活用できる。

成績評価の方法

成績評価は出席とテスト、レポートなど総合評価です。

教科書

教科書は Shino Sano 『Health and Business (健康とビジネス)』 (Nan'Undo) 1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
マルチ・メディア	おちあい かずあき 落合 和 昭	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

このクラスにタイトルを付けるとすると、「日常会話から映画の英語へ」とでもなるだろう。このクラスのレベルは英語の中級（英検準二級、二級、準一級）程度とする。自然な日常会話文や映画の台詞を通して、英語圏の日常生活で、頻繁に、使用される現代口語英語表現を学びながら、英語の運用能力を高めることを第一の目標とする。また、各種の実用検定試験（英検、TOEIC、TOEFL等）の受験準備にも役立つようにする。さらに、時間が許す限り、アメリカやカナダの作家、都市、国立公園等に関するビデオを鑑賞し、ヒヤリングの向上、文化や自然の多様性を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

一回の講義は、主として、三段階からなる。第一段階として、日常会話文や映画を通して、英語の自然なスピードに慣れ、ヒヤリングを向上させる。第二段階は、その会話文や映画の中で、使用されている表現の意味や用法を、文字を通して、確認する。第三段階は、学生に登場人物になってもらって、会話文や台詞（せりふ）を再現しながら、会話練習をする。授業は徹底的した演習形式を取り、学生の予習を前提にして、進める。

履修上の留意点

このクラスの受講を希望する学生は、最初の授業の時に、担当者の許可を得なければならない。教場は40名しか入れないL1教場を使用するので、40名以上の履修希望者がいた場合は、最初の授業の時に、抽選をする。そのため、最初の授業に出席しない学生はこのクラスを受講できない可能性がある。

成績評価の方法

定期試験が全評価の40%（ヒヤリングが20%、会話英作文が20%）、課題・授業中の発表・小テスト等が60%（課題は年間約10回程度提出。授業中の発表等に関しては、一回の授業に、全員が最低一回は当てるようにする）。出席率が三分の二を越えなければ、成績は「不可」とする。

教科書

- 1) 『5分間口語英語表現(1)』 (南雲堂) 900円
- 2) 『ルル・オン・ザ・ブリッジ』 (松柏社) 1,900円
- 3) 『Phrasal Verbs』 (洋書) (オックスフォード大学出版局) 2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
マルチ・メディア	お お ぼ な お さま 大 庭 直 樹	全学科1・2・3・4選	2

講義の内容・
授業スケジュール

このクラスの第一の課題は、Office 2000 を使いこなすことである。Office 2000 は Word (ワープロ)、Excel (表計算)、PowerPoint (プレゼンテーション)、Schedule+ (スケジュール管理) を中心としたアプリケーションである。Word と電子辞書を使いながら、論文、公式文書、ビジネス文、手紙、英文等の書き方を訓練する。また、このソフトが持つ機能、アウトライン・プロセッサ、テンプレートを「思考の道具」として利用するノウハウをを体得する。更に、Excelでの表、グラフ、データベースの作成、また、図形、画像、デザイン文字の作成を学び、それらをリンクさせた複合文書を作成する訓練をする。

第二の課題は、インターネット (マルチメディア) の世界を探索することである。インターネットという広大な情報空間を探索し、各分野ごとに有用なサイトを紹介していく。ネット・サーフィンで大切なことは、必要な情報探索ができるようになることである。したがって、このクラスでは、受講生が様々なサーチ・エンジンを使って、学術ネットワークの情報検索のための基本的なテクニックを身につけることに重点を置く。

第三の課題は、データベース・ソフト「ファイルメーカー」を使いこなすことである。このソフトは、カード型のデータベースをつくることを目的とし、受講生は各自の研究、文献・資料整理等、それぞれの必要に合った「メモ・カード」の作り方を学び、またその有効的な使い方を身につける。

第四の課題は、ホームページの基本的な概念を理解し、受講生全員が「ホームページ・ビルダー2001」を使って、自分のホームページを作成する。出来上がったホームページは、インターネット上に流すことになる。

後期からは、受講生一人一人にプレゼンテーションをしてもらう。発表内容は、コンピュータ、インターネットについてならば何でもよい。発表は、コンピュータ・インターネットについての知識、情報の交換を目的とする。受講生は、前期から発表のプロジェクトを決めて、入念に発表の準備をしてほしい。

履修上の留意点

受講生は、一年間の課題をこなせば、コンピュータを活用した知的な活動において、相当なレベルに達するたするはずである。従って、このクラスを受講するには、年間を通じて毎週クラスに出席することが条件である。

成績評価の方法

試験、定期試験なるものは行わない。受講生には、サーバーの自分のフォルダに、一年間に20程度のファイルを提出してもらう。インターネットで各自が検索する情報もすべて、サーバーの自分のフォルダに入れてもらう。成績は、各学生が一年間にフォルダにセーブされたファイルの成果をもって評価する。

そ の 他

受講者は、教室以外、各自の必要度にあわせて総合情報センターの自習室 (朝9時より夜9時まで開館) で補修すること。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
マルチ・メディア	ま ち だ な お こ 町 田 尚 子	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

インターネット上のマスメディアの英語理解の上達を考えている人たちのためのコースです。

講義の内容・
授業スケジュール

4-204教場のPCで、英語新聞のウェブサイト上のオンライン記事・論説・特集等を選んで速読し、Wordで要約、さらに自分の見解をまとめ、電子メール・添付ファイルで提出し、添削指導を受けます。担当者とのメールは英文で行い、英文メール作成をマスターします。受講者のPC習熟度にあわせて、個別指導から始める予定です。

履修上の留意点

クラス人数は30名以下に限定し、メールアドレスを取得していることが前提となります。授業時間内に終了しないときは、自習室あるいは自宅で完成させて送信します。

成績評価の方法

毎授業の要約と作成メールの成績で評価します。

教 科 書

教場で指示します。

英 会 話 II

〈英会話Ⅱの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅰのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。関心のあるトピックを話したり、議論できることを目指した大学中級レベルの英語会話の授業です。達成目標の目安は英検準1級合格、TOEFLのスコア480点、TOEICのスコア700点程度。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅱ	プラスキー, J. C.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

The goal of this course is for students to express themselves in a range of situations beyond the most basic level.

講義の内容・
授業スケジュール

Grammar will be presented in a communicative context. Getting the main idea, guessing vocabulary from context and drawing inferences will be practiced through speaking activities primarily with other students. Pronunciation, intonation and listening practice will be incorporated through dictation exercises and tapes/CDs.

履修上の留意点

Conversations will be practiced with other students through pair discussions and dialogues.

成績評価の方法

Assessment will be a combination of class participation (50%), homework (30%), and a final oral test (20%).

教 科 書

None.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅱ	ジドウイツ, P. D.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

English 2 is designed to give students additional practice in basic conversational forms and to extend their range to more advanced conversational and social situations. Students will be expected to positively participate in class and prepare group presentations along with role-playing, debating, an oral interpretation. Students will also see short passages from films and be responsible for practicing short dialogs that have been taken from these films.

履修上の留意点

Students are expected to come to class weekly and four absences in one semester will result in failure.

教 科 書

Textbook. -"Hit Parade Listening"-Macmillan Language House, 1998, Nobuhiro Kumai, Stephen Timson and a wide variety of instructor's handouts/instructors.

They will also have the opportunity to gain access to the instructor's English language practice web site.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話II (夏季集中)	ピアス, D. M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

Elementary and Intermediate students would do well to master an ordinary conversational ability in this class. Students will spend most of the class time talking to each other in pairs or groups; it would be good to take this class together with a friend. Students will sit together with companions who have a similar degree of English ability, since English conversation is learned most quickly by practicing with people who have equal ability.

Part of the class time will be devoted to TOEFL grammar and listening comprehension problems so that students may get high scores in TOEFL and TOEIC tests. English composition will also be taught with a view to giving students an intuitive sense of how a good English sentence should sound. Learning composition will not consist of studying grammar or translating sentences. Advanced practice in listening comprehension will be conducted through short lectures on the different ways that Americans and Japanese think about work, money, marriage, politics, friendship, etc. The entire course is carefully organized and programmed in our textbook, which will be explained at the commencement of classes.

講義の内容・
授業スケジュール

授業日程
英会話II

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○	○	○			8月20日	火							
8月2日	金	○	○	○	○	○			8月21日	水							
8月5日	月	○	○	○	○	○			8月22日	木							
8月6日	火	○	○	○	○	○			8月23日	金							
8月7日	水	○	○	○	○	○			8月26日	月							
8月8日	木	○	○	○	○	○			8月27日	火							

英 会 話 Ⅲ

〈英会話Ⅲの授業内容と履修上の留意点〉

英語を母語とする外国人教師が担当します。英会話Ⅱのレベルを修得しているか、またはそれに相当する力を持っていることを前提とします。自分の専門分野のトピックを発表し、論じられる表現力を目指した大学上級レベルの英語会話の授業です。達成目標は英検1級合格、TOEFLのスコア500点以上、TOEICのスコア900点程度。各担当者の講義内容(syllabus)をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅲ	ウェルズ, J. K.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

WELCOME TO MY CLASS! MY CLASS IS FOR STUDENTS WHO CAN SPEAK ENGLISH SOMEWHAT FLUENTLY. YOU WILL ONLY BE ACCEPTED IF YOU CAN UNDERSTAND. YOU WILL LEARN TO SPEAK OPENLY AND QUIZZES, REPORTS, AND HOMEWORK WILL BE GIVEN.

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話Ⅲ	ハバード, W. D.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

The goal of this course is to develop the skills of Research, Analysis, and Reasoning that build fluency in communication.

講義の内容・ 授業スケジュール

For successful communication Japanese students need a high English ability and the ability to convey their opinions logically and clearly. Debating issues help Japanese students develop these skills. This course develops the skills of Research, Analysis, and Reasoning through current and sensitive topics related to youth culture and ethics and morals that are discussed and debated in countries around the world. Students will also have the opportunity to practice public speaking and discuss issues related to their own fields.

履修上の留意点

Requirements: Students who take this course are strongly advise to have taken level 2.

成績評価の方法

Grading: Final grades will be based on attendance, class participation, preparation, and tests.

教 科 書

Textbook: Debating the Issues by Stephen Hesse, Macmillan LanguageHouse, Tokyo
(I also request a copy of the teacher's manual and the textbook cassette for myself)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英会話Ⅲ (夏季集中)	レーン, C. M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

There are two important aims of this course. First, and most important, is to help students develop their English conversation skills and to learn to express their opinions spontaneously on a number of topics with confidence. However, as the majority of misunderstandings between different nationalities stem, not only from language difficulties, but also from cultural ones, the second aim is to promote knowledge and awareness of the cultural heritages of other countries.

講義の内容・授業スケジュール

This is a highly intensive class concentrated within six days. During that period a number of different themes will be covered. These will range from simple personal issues, current trends and cultural issues to deeper more involved international problems. Included within the course will be research projects where in the students will be expected to collect information and present it to the class. Individual presentations will also be required.

履修上の留意点

This course offers students an opportunity to express their ideas on a variety of everyday matters. However, as this course is based on fluency and discussion, it is not recommended for students who want to concentrate on grammar skills, or for students who are unwilling to participate fully in pair work, role plays or group activities.

成績評価の方法

Evaluation
 25% attendance
 25% presentations
 50% participation and contribution to discussions.

参考書等

Reference Books Dictionary

その他

Method of Teaching.

Each lesson will have a central theme. A short explanatory lecture will introduce the topic and then students will be invited through pair work or group discussions to express their opinions. Depending on the interest generated by the topic within the groups, students will be encouraged to produce short presentations, role plays and situational conversations. All classes will be conducted entirely in English.

授業日程
 英会話Ⅲ

前半		1	2	3	4	5	6	7	後半		1	2	3	4	5	6	7
8月1日	木	○	○	○	○	○			8月20日	火							
8月2日	金	○	○	○	○	○			8月21日	水							
8月5日	月	○	○	○	○	○			8月22日	木							
8月6日	火	○	○	○	○	○			8月23日	金							
8月7日	水	○	○	○	○	○			8月26日	月							
8月8日	木	○	○	○	○	○			8月27日	火							

英語 L L II

<英語 LL II の授業内容と履修上の留意点>

中級：LL I 程度の基礎訓練を修得していることを前提とします。テープ教材またはビデオ教材を用いて、ニュース等の時事問題、やや専門的なテーマの英語スピーチ等の聴解力を集中的に訓練します。また、英語で要約・説明できる表現力を修得します。英検準1級合格、TOEFL のスコア480点、TOEIC のスコア700点程度をめざします。各担当者の講義内容（syllabus）をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 L L II	にしむら ゆうこ 西 村 祐 子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

基本的な会話と英語表現を学んだレベル I を終了した学生もしくはそれと同程度の英語力がある学生のためのクラス。レベル II ではナチュラルスピードで話されるさまざまなストーリーのビデオを見ながら、さらに込み入った日常表現を修得していく。授業はすべて英語でおこない、質問もすべて英語でおこなう。学生同士の英語での話し合いなどとりいれ、インターアクティブに授業をすすめる。到達目標は TOEIC700 程度。難易度が高いので学生によっては受講を制限することがある。

履修上の留意点

学生への要望：学生は全員電子メールアドレスを取得しておいてほしい。
電子メールアドレスは商業プロバイダーのものを持ちてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくことがのぞましい。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。はじめの授業からききとり力をつけるためにテープ録音をするので、カセットテープ（90分程度）をもってくる。

成績評価の方法

ほとんど毎回英語でのサマリーをおこなう短い課題が与えられ、電子メールでの課題提出があり、電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。

教科書

『Headway』(pre-intermediate)(Oxford Univ. Press.)

参考書等

使用ビデオ：Headway(elementary), および(pre-intermediate)、その他。(いずれも本学 LL 事務室に備え付けのものなので、予習、復習用に借り出して活用してほしい。)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 L L II	まちだ なおこ 町 田 尚 子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

初級程度の LL 授業履修済み、または未履修の場合、英検2級程度の英語力のある学生を対象に、TOEIC、TOEFL のテストに備えた聴解力と表現力の上達を目指すコースです。

講義の内容・授業スケジュール

- 4, 5 月：ビデオテープを用い、TOEIC の基本的な練習問題による復習。
- 6 月と 7 月第 1 週：TOEIC スコア 700 程度を目指した聞き取り練習（添削指導）。
- 7 月第 2・3 週：TOEIC リスニング模擬テスト。
- 9, 10 月：TOEFL のテスト用練習問題の添削指導。
- 11, 12 月：パラフレイズ、含意、文脈による英文理解と表現力の向上。
- 1 月 9 日（最終授業日）：テスト

履修上の留意点

Email で連絡・添削等をするので、自習室(KOMAnet)あるいは自宅のメールアドレスがあること。

成績評価の方法

毎授業のテストと最終テストで評価点を出します。

教科書

LL 事務室備付けの教材『Basic Skills and Strategies』『English Master Box (1)(2)』『Cambridge Preparations for the TOEFL Test』等を使用します。

参考書等

教場で指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 L L II	お お た ま さ こ 太 田 雅 子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

90分の授業の前半は、テキストを用いて英語の難しい音のききとりを徹底的に学習する。そして後半は、映画の中の英語をききとれるように練習を重ねる。又、その中の表現を応用して、英語での自己表現力を養成する。

履修上の留意点

全授業回数の3分の1以上欠席した者には単位を認定しない。その他履修上の注意点は、第一回目の授業で指示するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

毎回小テスト、年に2回ほど総テストを実施。

教 科 書

プリント教材
テキストは未定

英語 LL III

〈英語 LL IIIの授業内容と履修上の留意点〉

上級：LL IIを修得、またはそれと同等以上のレベルであることを前提とします。英語圏の大学の教養／専門科目等の授業が聞き取れ、演習で議論できる程度の英語の表現力を養成します。英検1級、TOEFLのスコアー500点以上、TOEICのスコアー900点程度を目指した訓練コースです。各担当者の講義内容(syllabus)をよく読み、時間表で曜日・時限を確認してクラスを選び、事前登録をしなければなりません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 LL III	井 伊 順 彦	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

リスニング、ボキャブラリー、発音のいずれの面でも一定水準以上にある学生を対象とし、会話などを浴びるように聞いて耳をさらにきたえるとともに、スピーキング力を開発するべくパラエティに富んだ練習をおこなう。

講義の内容・授業スケジュール

プロの通訳も取り入れているシャドーイングを重視する。また、ビデオや別のテープを用いての発展的リスニング練習も、授業の後半におこなうことになる。

履修上の留意点

毎回一度はほぼ確実に指名したい。その答えの出来を平常点として採点する。録音用テープを各自が用意してほしい。

成績評価の方法

数回の小テスト、平常活動、出席数を組み合わせて評価するが、詳細は教室で。

教科書

『Listening, Shadowing, and Speaking (リスニング・シャドーイング・スピーキング)』(新潮社) 1,700円+税

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 LL III	西 村 祐 子	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

基本的な表現をつかってまず「話すこと」からはじめたLL Iのレベルに対して、レベルIIでは日常的なテーマを掘り下げ、より高度な表現をききとることをめざした。レベルIIIは一層高度な、それを利用して会話の表現力を増していくことをめざしている。授業はすべて英語でおこなわれ、質問も英語のみ受けられる。ほとんど毎回英語でのプレゼンテーションが要求され、それにもとづいた教員との応答によって授業がすすめられる。LLレベルIIを終了し、英検一級程度(TOEIC900程度)をめざす学生用なので、このレベルにみえない学生はレベルIIを受講することをすすめる。

履修上の留意点

学生への要望：学生は課題提出用に全員電子メールアドレスを取得しておいてほしい。電子メールアドレスは商業プロヴァイダーのものもちいてさしつかえないが、大学の電子メールアドレスの取得はコンピュータ教場の使用の際にも必要なので、かならず事前におこなっておくことがのぞましい。なお、携帯電話の電子メールは長文英語の課題提出が不可能であり、返信に困難をきたすこともあるため、原則として本授業用には使用しないこと。聞き取り練習用にテープ録音をするので、カセットテープ(90分程度)をもってくること。

成績評価の方法

ほとんど毎回英語での短い課題が与えられ、電子メールでの課題提出がある。電子メールでの課題提出の頻度とその内容によって成績評価がなされる。定期試験はおこなわない。

教科書

特に指定しない。

参考書等

使用カセットテープ：Open University Program シリーズ (LL事務室備え付け)。
使用ビデオ：Mapping the Landscape (ジェムコ出版、LL事務室備え付け) その他オープンユニヴァーシティシリーズを適宜使用。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 L L III	く ば ひ さ こ 久 保 ひ さ 子	全学科2・3・4選	2

外
国
語

講義のねらい	海外旅行の場面別に、一回で通じる短い会話文を習得する。
講義の内容・ 授業スケジュール	旅行会話の短文を、ラボを使用して、聞き取り、書き取り、反復練習、録音、再生する。さらに、応用できるように暗記する。小テストあり。
履修上の留意点	LL授業は、ラボによる実習授業のため欠席しないようにお願い致します。
成績評価の方法	小テスト合計点と授業実習点
教 科 書	マイケル・ブラウン『旅行でしゃべる英会話』（南雲堂）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語外国書講読	しばのひろこ 柴野博子	経A・商3・4選	4

講義のねらい

異文化を理解し、またそれを介して自国の文化を反省することは、国際化の進展する今日、非常に大切なことです。そこでこの授業では、日本とドイツの間の異文化理解の問題を扱ったいくつかの文章を読んで行きます。それによって、ドイツ語の文章に慣れると同時に、日独の文化の相違についても、理解を深めることができればと思っています。

成績評価の方法

年2回の試験と平常点で行います。

教科書

教科書は使用しません。教材はコピーしてお渡しします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事ドイツ語	のじまとしあき 野島利彰	経A・商3・4選	4

講義の内容・
授業スケジュール

世界的にも評価の高い高級紙であるフランクフルターアルゲマイネ紙から環境、動物保護、麻薬、外国人受け入れなどの問題を扱った記事を選び、読む。日本語での知識がないと理解が難しいので、日本の新聞や雑誌で関連記事を十分に読んでおくこと。予習しやすいよう毎回、次回の分の文法および用語の解説を行う。

成績評価の方法

成績評価は授業に対する貢献度による。

教科書

教材には記事のコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上級ドイツ語	くりはらかずのぶ 栗原万修	経A・商3・4選	2

講義のねらい

上級ドイツ語は、1、2年で習得した語学力をのばし、さらに内容を文法的にも正確に読みとり、より高度なドイツ語が身につくようにするのがねらいです。継続的に1年間つづけければ、かなり力がつくはずですので、欠席をしないでつづけてください。テキストは特定せず、受講者の語学力に合わせ、また受講者の希望も聞きながら、最適と思われるものをその都度、教場で配布します。

成績評価の方法

成績評価は、試験ではなく日常の勉学過程を中心に総合的に判断します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語LLI	こばやし 小林ゲアリンデ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語の基礎的な知識を履修するとともにドイツおよびドイツ語を国語とするオーストリア、スイスの国情について知識を身につけることを目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

日常的な状況でのドイツ語を話し、理解することに重点をおく。そのため発音練習やパートナー練習を数多く取り入れる。基本的な文法の習得と並んでドイツ語を読む楽しみにも触れたい。適宜宿題を課す。

教科書

テキストは教室で配布する。

その他

ビデオ、カセットを使用する。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語LLII	^{こばやし} 小林ゲアリンデ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語を1年(LLまたは他のドイツ語科目)で学んだ学生を対象とする。ドイツ語を話し、理解する能力をさらに伸ばし、ドイツ語圏諸国についての知識を拡げることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

話す力、とくに正しい発音を習得する。ややこみ入った状況での会話、中級テキストを読む練習をする。

教科書

Themen I neu

その他

ビデオを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語IA(選)	^{くりはらかずのぶ} 栗原万修	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

ドイツ語の文法を最初からやります。できるだけいねいに、わかりやすく説明します。ただし、初習の外国語は継続的につづけないと習得できませんから、出席を重視します。欠席しないように。欠席をつけると名簿から名前を抹消します。

成績評価の方法

成績評価はテストのほか、日常の出欠、学習意欲等も含め、すべてを総合して判断します。

教科書

大岩信太郎『快速ドイツ文法』(朝日出版社) 2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語IB(選)	^{おだしげみ} 織田繁美	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

ヨーロッパには実に沢山の言語があり、その一つ一つに歴史、文学、芸術など独自の文化を持つ。十六世紀のスペインの宮廷社社の人物を用い、十八世紀ほぼ同じ頃、一つはイタリアで、一つはドイツで別々の詩人が戯曲を書き、この二作品を土台にしてイタリアの作曲家がオペラという音楽戯曲を作曲した。事の成り行きでオリジナルはフランス語の歌詞が付き、その歌詞がイタリア語、ドイツ語等に翻訳され、しかもこれらの翻訳が同一の内容ではなく、元の内容からはみ出し、翻訳に工夫が凝らされている。このようにヨーロッパでは異なる言語でありながら、文化的には早くから一つの統一体であったかに見える。先ずその一つの砦としてのドイツ語を切り崩す一歩を踏み出す切っ掛けをこの授業で始めてみたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

教科書を用いるが、プリントを用い、日常生活で大切な言い回しを学び、テープレコーダーを用いて耳で聞き取る練習もする。

成績評価の方法

前期末、後期末の試験も勿論勘案するが、平常点に重きが置かれるので、出席が大切である。

教科書

荻野『ドイツってすてき!』(前編) (朝日出版社) 1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語Ⅱ（選）	ももずみ いさむ 百 済 勇	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

1991年以来、ベルリン・ドイツ経済研究所の客員研究員をしているが、そこではドイツ人以外の外国の学生、院生も実習生として研修している。そこで共通していることは、学習、研究の目的意識が明確であること、さらに外国語修得が優れていることだ。これまで習った蓄積を基礎にして、さらに使えるドイツ語の修得を目指す。ドイツ語・英会話を併存させる。

成績評価の方法

毎回、何等かの形でテストを行う。平常点で採点、期末試験は行わない。

教科書

プリント配布。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語外国書講読	竹 田 正 純 <small>たけだ まさずみ</small>	経A・商3・4選	4

講義のねらい

フランスの文学者・思想家の文章を取り上げて読むのもフランス理解のひとつの方法であるが、現在起こりつつある事柄を新聞・雑誌で読んでいくのもまたフランス理解のひとつの仕方である。『ル・モンド』紙の記事を中心に、適宜、他の雑誌記事もまじえながら、世界に起こりつつある事柄を読んでいきたい。

成績評価の方法

前・後期の最終日のテストを中心に評価するが、平常授業にも真剣に取り組んでほしい。

教科書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事フランス語	桑 田 禮 彰 <small>くわた のりあき</small>	経A・商3・4選	4

講義のねらい

時事フランス語に親しむこと。

講義の内容・授業スケジュール

フランス語の基礎を復習・確認しながら、新聞・雑誌記事を読んでいきます。

履修上の留意点

最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教科書

プリント（フランス語の新聞・雑誌）配布。

参考書等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上級フランス語	小 玉 齊 夫 <small>こだま なりお</small>	経A・商3・4選	2

講義のねらい

「上級フランス語」クラスでは、フランス語検定試験に合格することをめざして、文法事項の再確認とともに、聞きとり、作文、ならびに会話についての実力を養うことを目指しています。さしあたっては4級および3級に受かるように、1、2年次の知識を復習し、視聴覚教材も用いて、可能なかぎり、総合的なフランス語能力を身につけるよう、勉強していく予定です。

講義の内容・授業スケジュール

前期に、下記の教科書を終え、後期は、主としてプリントを用いて行います。詳しくは、最初の授業で。

履修上の留意点

上記の「意気込み」とは矛盾しないはずですが、出席するのが楽しい授業にしたいと思いますので、「遊び心」も持って参加して下さい。

成績評価の方法

数回の小試験・学年末の試験で評価しますが、仏検に合格することも、目標であり、従って評価に含まれることにもなります。

教科書

澤田・原田『ビデオで学ぶ中級フランス語一聴解から実践へー』（第三書房）2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 L L I	ラリア ^{みくら} ・三倉, M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

フランス人講師や教材のフランス語を聞きながら、学生が簡単なフランス語で表現力を身につけることを学ぶ。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と簡単な口頭面接評価。

教科書

H. TAKAHASHI, S. GIUNTA 『P. P. P (ペーパーペーパー) *Presenter Pratiquer Produire*』(第三書房) 2,800円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 L L II	ラリア ^{みくら} ・三倉, M.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の基礎学習の経験のある学生のためのクラスです。生徒は小さなグループにわかれ、フランス語会話をたくさんすることで発音、表現力の向上をめざします。尚、ビデオで現在のフランスの若者の生活パターンが多く紹介されているので、それに触れながら楽しく学習できます。

成績評価の方法

筆記試験はしない。授業の平常評価と口頭面接評価。

教科書

井上美穂他 『C'EST A TOI !』(仲興通商) 1,900円

科目名	担当者名	配当学科	単位
フランス語 I A (選)	井 ^い 田 ^だ 清 ^{きよ} 子 ^こ	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の初級文法を中心に基本的知識をマスターできるように学習します。文法事項のみにかたよらず、パリの生活情景を主題とした読本としても楽しめます。文章体と会話体とを同時に身につけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

パリを中心とした生活が身近に感じられるよう、文章と会話を生きたフランス語として習得します。

履修上の留意点

辞書をひく手間を惜みず、自分で面白さを味わってください。

成績評価の方法

前期・後期の試験を中心に、通常点も加味します。

教科書

教科書は、山崎庸一郎他『パリのどこかで』(第三書房)です。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠB（選）	くわ た のり あ き 桑 田 禮 彰	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

フランス語の基礎の習得

講義の内容・
授業スケジュール

まず発音の基本をしっかりと確認した上で、簡単な会話表現に親しみながら、初級文法を理解し、読解力の基礎を身につけます。

履修上の留意点

発音練習や文法理解のために最も重要なのは、もちろん授業への出席です。一回一回の出席を大切にしてください。

成績評価の方法

ふだんの授業での評価をベースにして、年二回の試験の成績で決定します。

教 科 書

滑川明彦、前川泰子『ポケットにフランス語』（第三書房）

参 考 書 等

そのつど授業で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語Ⅱ（選）	こ だ ま な り お 小 玉 齊 夫	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

初級フランス語の応用・展開として、一年次での文的知識を復習しながら、文化的な要素の込められた文章を、さまざまに考えながら、読み進んでいくつもりです。

講義の内容・
授業スケジュール

必ずしも、教科書の構成にこだわらずに、時には調査してもらうことがらも含めて、フランス・日本間の文化的な「つながり・へだたり」を理解していきたいと思います。

履修上の留意点

特別な場合を除き、かならず出席すること。

成績評価の方法

随時行われる小テスト、前期・後期の試験によって成績評価をします。

教 科 書

コルノリエ・野村『私の日仏異文化体験』（第三書房）1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語外国書講読	<small>いわさき</small> 岩崎 <small>ひろし</small> 皇	経A・商3・4選	4

講義のねらい

外国語の文章は、声に出して読めなければ、たとえ意味が分かってもおもしろくありません。まず発音できるようになることが第一目標です。
中国語の文は漢字が隙間なく並んでいるので、ある程度の単語量がないと、どこが単語の切れ目なのか分かりません。一目でそれと分かるよう単語をどんどん覚えましょう、これが第二の目標です。
最後に文法の知識を使う練習をしましょう。これが三番目です。

履修上の留意点

配布したプリントにあらかじめ目を通して、発音を調べ読む練習をしてください。何もしないで出席されては困ります。

成績評価の方法

随時ミニテストを行って単語量のチェックをします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事中国語	<small>しおはた</small> 塩旗 <small>しんいちろう</small> 伸一郎	経A・商3・4選	4

講義のねらい

インターネットで中国の各サイトを訪れ、速読（初見）と精読の2種のアプローチにより様々な文体を読み解く力を養う。併せて中国語入力や検索の体験学習も行う。

講義の内容・授業スケジュール

見出しとリード中心の速読は、初見とはいえ画面上で自動的に拼音のルビがつくので、逐一辞書で音を調べなくても声に出して読むことができる。精読は、文の構造を捕える練習が眼目となる。

履修上の留意点

精読部分は予習が必要である。

成績評価の方法

平常点。

教科書

ネット上で採取。

参考書等

辞書は中日大辞典（大修館書店）、中日辞典（講談社or小学館）、中国語辞典（白水社）を推奨する。これらより遙かに薄いものや、中日・日中を一冊で兼ねる安直な辞書は役に立たない。

その他

教場は総合情報センター。

科目名	担当者名	配当学科	単位
上級中国語	<small>かまや</small> 釜屋 <small>おさむ</small> 修	経A・商3・4選	2

講義のねらい

中国語4科目8単位の修得を前提とする。これまでの学習成果をさらにブラッシュ・アップし、スムーズな発音、正しい構文の把握をめざす。今年度は、具体的な場面設定に基づく実践的会話力の練習に重点をおく。

履修上の留意点

中国社会、中国語に強い関心を持ち、持続的、集中的学習意欲をもった諸君と創造的で楽しい授業を展開したい。

成績評価の方法

平常点を中心として評価する。

教科書

竹島毅・徐迎新『中国語会話ルート66』（東方書店）CD付き2,400円

参考書等

辞書を必要とするが、適わしい辞書を開講後に紹介する。

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 L L I	佐 藤 普 美 子 <small>さ と う ふ み こ</small>	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

初級用のビデオ、テープ教材を用い、会話と聴き取りの基礎訓練を行う。すでに IA - IB の単位を取得しているか、それと同程度の学習経験のある人を対象とする。

講義の内容・授業スケジュール

授業では基礎的な文法・文型の徹底的な習得を旨とする。耳と口の反復練習を大量に行い、中国語の基礎を、文字でなく音で身につけてほしい。

履修上の留意点

予習は必要ないが、復習と自習は不可欠。授業で学んだ内容は次回までにすべて暗誦すること。また教科書付録のCDを活用して、毎日、中国語を口にし耳にしてほしい。

成績評価の方法

平常点（授業への参加意欲）を重視。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語－北京篇2－』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 L L II	小 川 隆 <small>お が わ たかし</small>	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

テープを使って、中級ていどの会話と聴き取りの練習をする。週1回、年20数回の授業では、練習量が絶対的に不足なので、授業のほかに毎日の音読と暗誦を課す。それさえ怠らないなら、現在の基礎学力に自信がない人でも、充分に行けると思う。

履修上の留意点

また、短期・長期の留学をめざす人は、この科目やその他の中国語選択科目をなるべく多く履修しておいてほしい（個別に学習の相談に応じます）。

成績評価の方法

出席および暗誦の成果をもとに平常点評価。

教科書

楊顕栄『表現する中国語』（自帝社）2,400円（CD付）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語 I A（選）	釜 屋 修 <small>か ま や おさむ</small>	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

週一回一年で中国語初歩の一通りの修得をめざす。正確な発音、ピンイン表記のマスター、基本文法の理解を中心に進めるが音読を重視し、「目」にたよらない「耳」で学ぶ姿勢をたいせつにする。

履修上の留意点

初級外国で週一回の授業ゆえ、欠席は許されない。IB（選）その他とあわせて受講する人も同じ。自主的な学習を求める。

成績評価の方法

平常点、出席点、小テスト、前・後期の期末テスト等で総合的に評価する。

教科書

守屋宏則・柴森『フォーアップ初級中国語』（同学社） CD付き 2,500円

参考書等

辞書については開講後に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅠB（選）	佐藤 普美子	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

中国語入門段階で最低限の基礎知識を系統的にまとめたテキストを用い、豊富なドリルをも活用して発音の基礎をしっかりと学ぶ。

履修上の留意点

休まないでテキストをじっくり読みこむこと。異文化、外国語としての中国語の魅力を発見すること。

成績評価の方法

声の大きさ+小テスト+期末テスト+出席状況により総合的に評価。

教科書

野澤俊敬監修『中国語レッスンA・B・C』（白帝社）2,500円+税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語Ⅱ（選）	岩崎 皇	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

新たな知識を獲得するというよりも、中国語の音声になれるということを目標にします。具体的には、テキストのスキットを全て憶えて言えるように練習します。

履修上の留意点

授業での練習が大切なので、出席を重視します。欠席が既定の回数を超えた場合は成績評価をしません。また、音声の習得は人により早い遅いの差がありますから、自分の状況を見て各自で補う必要があります。

成績評価の方法

教室での学習状況および試験結果で判断します。

教科書

董燕、遠藤光暁『話す中国語-北京編1』（朝日出版社）2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語外国書講読	うえの かつひろ 上野 勝 広	経A・商3・4選	4

講義のねらい	スペイン・イスパノアメリカ地域への理解と関心を深めながら、スペイン語の読解力の向上を図ります。
講義の内容・授業スケジュール	スペイン・イスパノアメリカの社会・文化事情を論じた文章を中心に講読します。
履修上の留意点	受講者は訳読や簡単なコメントの発表が求められます。一定量の予習が必須条件です。
成績評価の方法	平常点を重視します。これに前期・後期末のテストの結果を合わせ、総合的な評価をします。
教科書	プリント使用。授業時に配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事スペイン語	うりたに 瓜谷アウロラ	経A・商3・4選	4

講義のねらい	今までは初級文法を中心にスペイン語の基本を学んできた。これに対して時事スペイン語では、スペイン社会や文化に関する知識の学習を行う。
講義の内容・授業スケジュール	毎回異なったテーマのプリントで学習する。よりよく理解するために、プリントは予習が前提となる。必要に応じて関連するビデオも見る。 授業内容：次のテーマに関する記事を読んで訳す。 1) 言語 2) 地理 3) マドリードとバルセロナ 4) 歴史 5) 今日のスペイン 6) マスコミ 7) 社会 8) 教育 9) 家族 10) 余暇 11) バル 12) 習慣 13) 食生活 14) ワイン 15) スポーツ 16) 闘牛 17) 祭り 18) 美術 19) フラメンコ 20) クリスマス
成績評価の方法	平常点及び期末筆記試験その他から総合的に判断する。この授業では出席も非常に重視する。欠席と遅刻は減点の対象となり、欠席が7回に達すると自動的に期末試験の受験資格が失われるので、注意すること。
教科書	毎回プリントを配布する。
参考書等	特になし。
その他	受講生の積極的な参加が期待されている。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上級スペイン語	みやち たつろう 宮 地 達 郎	経A・商3・4選	2

講義のねらい	日本で日本語を学んでいるスペイン語圏内の学習者が使用している、スペイン語で書かれた文法書を使い、外国語からみた日本語を観察する。
履修上の留意点	予習、復習が望ましい。漠然と教室内でのみテキストを開くだけでは学習のねらいが達成出来ない。
成績評価の方法	授業態度、出席点、前期/後期のテストで総合判断する。
教科書	『新日本語の基礎Ⅰ 文法解説書』 (スリーエーネットワーク：海外技術者研究協会編集)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語LLI	ナバロ, ホワンJ.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

授業対象者：基礎スペイン語終了者
 ※スペイン語を勉強したことがない方はご遠慮下さい。
 授業目的：ビデオ教材を使用し、音と映像を通じて実際のスペイン語会話に触れると同時に、スペインの習慣や情景を知り、スペイン語習得の上での基礎知識を増やして頂きたい。

教科書

Viaje al español
 テキスト及びVTR教材

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語LLII	ナバロ, ホワンJ.	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

授業対象者：中級スペイン語終了者
 ※スペイン語を勉強したことのない方及び初級程度の学力の方には困難、御遠慮頂きたい。
 授業目的：ビデオ教材を使用し、音と映像を通して上級スペイン語会話に接して頂く。

教科書

Viaje al español 上級編
 テキスト及びビデオ教材

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語IA (選)	ナバロ-ポロ, L. S.	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の基本的知識・能力をもとに、スペイン語の書き言葉および話し言葉の両面にわたって理解し、表現する実力を養う。文法・語彙については網羅的ではなく、必要と思われるものを集中的に練習する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 母音の文字と発音・子音の文字と発音
2. 名詞の性・冠詞（不定冠詞・定冠詞）・名詞の数・形容詞の語尾変化
3. 動詞SER・主語人称代名詞・疑問文
4. 動詞ESTAR・SERとESTARの相違点・HAYとESTARの相違点・指示詞・否定文
5. 動詞TENER・所有詞・TAMBIENとTAMPOCO・数詞・時間についての副詞句
6. 直説法現在の規則動詞（AR動詞・ER動詞・IR動詞）・不定語
7. 直説法現在の不規則動詞1・TENER QUEとHAY QUE
8. 直説法現在の不規則動詞2・IR A+不定詞・不定詞とともに用いられる動詞・SABER・CONOCER
9. 直接目的の人称代名詞・間接目的の人称代名詞
10. 直接目的と間接目的の人称代名詞についての規則・動詞GUSTAR
11. 前置詞の後ろに置かれる人称代名詞

履修上の留意点

定期試験－7月と1月－

教科書

石崎優子/フェリサ・レイ『スペイン語世界への窓』（芸林書房）

参考書等

『現代スペイン語辞典』（白水社）・『西和中辞典』（小学館）
 『新スペイン語辞典』（研究社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠB（選）	^{うりたに} 瓜谷アウロラ	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語の初級文法をベースに会話表現を覚える。必要に応じてプリントによる練習も行う。

講義の内容・
授業スケジュール

挨拶、自己紹介、家族紹介、職業、交通手段、食料、色、店の名前、体の調子、スポーツ、時刻、日常生活、犬候。

成績評価の方法

平常点及び期末筆記試験その他から総合的に判断する。この授業では出席も非常に重視する。欠席と遅刻は減点の対象となり、欠席が7回に達すると自動的に期末試験の受験資格が失われるので、注意すること。

教科書

Vivir@España.es（生活cスペイン、スペイン語）（芸林書房）

その他

読解だけではなく、口頭表現練習も重視するので、受講生の積極的な参加が期待されている。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語Ⅱ（選）	^{おぎの} 荻野 ^{まさじ} 雅司	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

スペイン語Ⅰで学習したものをさらに広く深く学ぶことで実際に使えるスペイン語を習得し、3億人といわれるヒスパニック圏の人々を行うcommunicationの術を身に付けることを狙いとします。

講義の内容・
授業スケジュール

上記の目的を達成するために、一方でスペイン語Ⅰで得た知識を今一度リフレッシュしながら、新しい領域に進んで行きます。この過程では教科書以外に、プリント、テープ、ビデオ等を通じて実際に使われている、生きたスペイン語にも接して行きます。

履修上の留意点

言葉の学習には継続が肝要ですから、年間を通じて、コンスタントに出席できる学生の受講を期待します。

成績評価の方法

成績の評価に当たっては、テストの成績よりも、むしろ日頃の受講態度を重視します。

教科書

佐藤玖美子著『新・何を話しましょうか』（芸林書房）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語外国書講読	<small>ひろた ひでやす</small> 廣 田 英 靖	経 A・商 3・4 選	4

講義のねらい

1～2年で得たロシア語の基礎力のうえにさらに読解や表現力の応用を身につけることを目標とします。最新ロシア情勢をふまえた読みもの、クロコディール、ノーヴォエ・プレーミヤ等を取りあげて様々なスタイルのロシア語文に馴れるようにします。ロシア語の文章を眼で追うだけでなく、その中に書かれている内容を正しく伝達することも重要です。このためには正しいイントネーション、発音、表現が必要なことは言うまでもありません。
授業では簡単な読みものを読むだけでなく、普通に話しているロシア人の声もきき、発話の練習もしてもらいます。

成績評価の方法

出席を重視し、平常点で評価します。

教科書

プリント配布

その他

状況に応じて、総合情報センターの教場新システムを利用し、インターネットによるロシアのメディアをリアルタイムに解説、紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事ロシア語	<small>きむら ひであき</small> 木 村 英 明	経 A・商 3・4 選	4

講義のねらい

ソヴィエト連邦の誕生と崩壊は20世紀の世界を揺るがした一大事件でした。その影響は政治や経済のみならず、学術・文化の領域においても多大なものでありました。ロシア連邦と名称が変わった現在は、困難な経済状況の下で、新しい社会システムの模索が続けられています。混乱の中にあるとはいえ、ロシアは依然としてヨーロッパからアジアにまたがる巨大な国家として国際的に重要な地位を占めています。隣国日本にとっても、今後ロシアとのいっそうの経済的、文化的交流が進むことが予想され、じかにロシア語を通じて彼の国のアクチュアルな動向に接する練習を積むことは極めて意義が深いと思われれます。

講義の内容・
授業スケジュール

ロシアの政治や経済、文化についての比較的平明な記事や論文を講読します。ビデオ教材も使用する予定です。テキストは適宜プリントの形で配布します。

履修上の留意点

各自が、授業を通じて自分の問題意識と出会えるよう、積極的な態度で参加して欲しいと思います。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上級ロシア語	クロチコフ, Y.	経 A・商 3・4 選	2

講義のねらい

会話練習。
簡単な新聞、雑誌の記事、文学書を辞書を用いて講読する。
講読した内容について自由会話を行う。

履修上の留意点

出席を重視します。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

教場にて指示します。プリント配布。
学生の要望も考慮してテキストを選びます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語LLI	安 ^{あん} 徳 ^{とく} ニーナ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

ロシア語I、IIで学んだことを基に、日常会話からロシア文学への入門ができることを目標とします。

日常の話題等についても自由に会話ができるようになることを目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書にもとずいて会話形式に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

S, KHAVRONINA著『RUSSIAN AS WE SPEAK IT』(ナウカ社)を使用します。

参考書等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語LLII	安 ^{あん} 徳 ^{とく} ニーナ	全学科2・3・4選	2

講義のねらい

日常会話からロシア文学への入門、新聞、雑誌を読みこなせることを目標とします。また自由に会話ができるようになることをめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

資料にもとずいて会話形式に講義を進めます。

成績評価の方法

講義で行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教科書

新聞、雑誌の記事など必要に応じてその都度資料を配布します。
(学生の希望も考慮します。)

そ の 他

講義の状況に応じビデオ等を使用し「現在のロシアとロシア語について」説明と話もします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅠA (選)	クロチコフ, Y.	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

- 1) 母音、子音の基本的発音、アクセント記号(力点)の法則、イントネーションの5つの型をみっちりやります。
 - 2) かんたんな挨拶の表現、日常つかわれるロシア語の独特な表現(ボデー・ラングウエジを含む)を身につけます。
 - 3) 平易な内容をききとりによって理解できるようにします。
 - 4) 基礎的な初等文法を学びます。
 - 5) アルファベットを活字体、筆記体で書けるようにします。
- はじめに絵やビデオをみながら、ロシア語のやさしい単語や短文を何回も繰り返しかえし練習します。教員が質問した事を何回もくりかえしてもらい、うけ答えをします。少し音に馴れてきたらテープを使い更に理解度を深め、語尾変化に抵抗感のなくなるように何回もゆっくり、くりかえしながら発話してもらおうようにします。授業では各人が何回も発話をさせられますが、全く恐れる必要はありません。全教員が優しく指導してくれますので恥かしがらないことが大切。

講義の内容・授業スケジュール

4、5、6月でかんたんな単語や文章を復習しながら発音やイントネーションの型を学びます。やさしい語尾変化に馴れるようにし、7月頃から平易な文章を声を出して読めるようにします。9月には6、7月頃に学んだ初歩の文法のとめをします。10月頃からより複雑な文章を声を出して読み、内容を把握するように努めます。毎回授業の始めには楽しいクイズをしてできるだけロシア語に馴れてもらうようにします。

成績評価の方法

何よりも授業の出席を重視。
平常の受け答えの得点、ミニテストなどを総合的にプラスして評価点を出します。

教科書

プリントを配布、教場にて指示します。
『セメスターのロシア語』(白水社) 1,300円
杉山秀子他『やさしいロシア語読本』(大学書林) 1,600円

参考書等

『露和辞典』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅠB (選)	木村英明	全学科1・2・3・4選	2

講義のねらい

ロシアは現在、政治的、経済的に混迷の淵をさまよいつづけている観がありますが、依然として国際社会において様々な分野で多大な影響力を有しています。隣国日本との関係も、文化交流や地域間協力など確実に広がりつつあり、ロシアの人々と直接にコミュニケーションできる機会、必要性は徐々に高まっています。この授業では、言葉を通してロシアの文化や人々の暮らしなども紹介していきたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

この授業では、簡単な日常表現に即しながら初歩のロシア語文法を学習することにします。音声面にも留意して、コミュニケーションに役立つロシア語の修得を計ります。

成績評価の方法

試験は行わず、平常点で評価します。

教科書

桑野隆著『エクスプレス・ロシア語』(白水社)をもとに、必要に応じ適宜プリントを配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア語Ⅱ（選）	^{あんとく} 安 徳 ニーナ	全学科2・3・4選	2

外
国
語

講義のねらい

ロシア語Ⅰで学んだことを基に、ロシア文学を理解できることを目標とします。

講義の内容・
授業スケジュール

教科書にもとずいて会話を主体的に講義を進めます。

履修上の留意点

講義で時々行う練習問題を主として学習態度も参考にし平常点で評価します。

教 科 書

S. KHAVRONINA著『RUSSIAN AS WE SPEAK IT』（ナウカ社）を使用します。

参 考 書 等

必要に応じてその都度資料を配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
朝鮮語 I A (選)	<small>そん</small> 宋 <small>みりょん</small> 美 玲	全学科1・2・3・4選	2
朝鮮語 I B (選)			

講義のねらい

同一の教員が同一の教科書で授業を行う。選択科目なので I A (選) または I B (選) のどちらか 1 科目か、必要に応じて A, B 2 科目選択してもよい。A クラスは会話中心、B クラスは文法中心という方針である。朝鮮語の文字と発音、語彙と文法の基礎を獲得し、朝鮮語を学び朝鮮語に触れることの楽しさを堪能することを目指す。同時に韓国を始めとする朝鮮語圏の文化との触れ合いも試みる。

講義の内容・
授業スケジュール

文字と発音の基礎を学び、実用的な会話文を中心に基本的な文法および表現を学習する。基本的な学習の内容は A, B クラス同様であるが、後期からは A クラスでは、口頭練習および聞き取りと書き取り、B クラスでは、文法事項による作文や読解などに力を注いでいく。

履修上の留意点

最初の文字と発音に慣れていくまでがその後の進歩と楽しさを決定するたいせつな時期なので、熱心に取り組んでほしい。

成績評価の方法

授業への参加度、学習態度、小テストや期末試験の成績により、総合的に評価する。

教 科 書

野間秀樹 著『至福の朝鮮語』（朝日出版社）2,900円

参 考 書 等

野間秀樹 著『暮らしの単語集 韓国語』（ナツメ）1,000円

4 保健体育科目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、白己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

4. 保健体育科目

健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	〈内山雅博・館岡儀秋〉	239
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	〈光 永 吉 輝〉	240
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	〈佐藤政之・館岡儀秋・三幣晴三〉	241
健康・スポーツ実習 (体操&ウォーキング)	〈三 幣 晴 三〉	242
健康・スポーツ実習 (室内球技)	〈川村正義・牧野 茂〉	243
健康・スポーツ実習 (卓球)	〈内山雅博・牧野 茂〉	244
健康・スポーツ実習 (空手道)	〈高 橋 俊 介〉	245
健康・スポーツ実習 (テニス)	〈江 口 淳 一〉	246
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	〈佐 藤 政 之〉	247
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(室内球技)	〈竹田幸夫・田中佳孝・長濱友雄・宮沢栄作〉	248
健康・スポーツ実習〔再クラス〕(簡化太極拳)	〈大 石 武 士〉	249
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース (サッカー)	〈秋 田 浩 一〉	250
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース (ソフトボール)	〈村 松 誠〉	251
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース (卓球)	〈川村正義・鈴木淳平〉	252
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース (空手道)	〈高 橋 俊 介〉	253
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース (バドミントン)	〈竹田幸夫・牧野 茂〉	254
健康・スポーツ実習〔再クラス〕集中授業コース (トレーニング)	〈鈴 木 淳 平〉	255
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前期後期・基礎) (簡化太極拳)	〈大 石 武 士〉	256
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前期後期・基礎) (バドミントン)	〈長 濱 友 雄〉	257
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前期後期・基礎) (室内球技)	〈牧 野 茂〉	258
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前期後期・基礎) (室内球技)	〈宮 沢 栄 作〉	259
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前期後期・基礎) (卓球)	〈宮 沢 栄 作〉	260
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前期後期・応用) (簡化太極拳)	〈大 石 武 士〉	261
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前期後期・応用) (ニュースポーツ)	〈大 石 武 士〉	262
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前期後期・応用) (バドミントン)	〈長 濱 友 雄〉	263
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前期後期・応用) (バドミントン)	〈牧 野 茂〉	264
生涯スポーツ実習Ⅰ～Ⅳ (前期後期・応用) (卓球)	〈牧 野 茂〉	265

生涯スポーツ実習 I～IV (前期後期・応用) (室内球技)	
〈牧野 茂〉	266
生涯スポーツ実習 I～IV (前期後期・応用) (室内球技)	
〈宮沢 栄作〉	267
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎/応用) (テニス集中)	
〈江口 淳一〉	268
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) (テニス集中)	
〈江口 淳一〉	269
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) (ゴルフ集中)	
〈三幣 晴三〉	270
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) (ゴルフ)	
〈三幣 晴三 他〉	271
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) (スキー)	
〈竹田 幸夫 他〉	272
健康・スポーツ論 1 〈高橋 俊介〉	273
健康・スポーツ論 1 〈川村 正義〉	274
健康・スポーツ論 2 〈大石 武士〉	275
健康・スポーツ論 2 〈牧野 茂〉	276
健康・スポーツ論 2 〈宮沢 栄作〉	277
健康・スポーツ論 2 〈村松 誠〉	278

「健康・スポーツ実習」開講種目一覧

(於：玉川校舎)

		1時限 (商)		2時限 (経済-1)		3時限 (経済-2)	
火曜日	※佐藤	ゴルフ	※三幣	ゴルフ	※高橋	空手道	
	光永	トレーニング	高橋	空手道	館岡	ゴルフ	
	三幣	体操&ウォーク	牧野	卓球	牧野	室内球技	
	川村	室内球技	川村	室内球技	光永	トレーニング	
	館岡	ソフトボール	佐藤	ジョギング	三幣	体操&ウォーク	
	江口	テニス	江口	テニス	江口	テニス	
	内山	卓球	内山	ソフトボール	内山	ソフトボール	

※は、科目の主担当者

保健体育

「生涯スポーツ実習 I ~ IV」開講種目一覧

(於：本校体育館)

		月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		
1時限												
2時限	長	前期・基礎	大	前期・応用			牧	前期・応用	野	前期・応用	牧	
		バドミントン		ニュースポーツ※				卓球		室内球技		
	後期・基礎	後期・応用		後期・応用				室内球技				
	バドミントン	ニュースポーツ※		卓球				室内球技				
3時限	長	前期・応用	大	前期・基礎	宮	前期・応用	宮	前期・基礎	沢	前期・基礎	牧	
		バドミントン		簡化太極拳※				室内球技		卓球		室内球技
	後期・応用	後期・基礎		後期・応用				後期・基礎		室内球技		室内球技
	バドミントン	簡化太極拳※		室内球技				卓球		室内球技		
4時限	大	前期・応用			宮	前期・基礎	牧	前期・応用	野	前期・応用		
		簡化太極拳※				室内球技		バドミントン				
	後期・応用	後期・基礎				後期・応用		バドミントン				
	簡化太極拳※	室内球技				バドミントン						

※印の科目は、本校修道館（第2体育館）にて実施し、それ以外は、本校第1体育館で実施します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ソフトボール)	うちやま まさひろ たておか よしあき 内山 雅博・館岡 儀秋	経 A・商 1 必	2

講義のねらい

ソフトボールは野球と同様1チーム9名で2組が得点を争うゲームである。野球が体育実技で取り上げづらいのは、ある種の経験を要するからであり、ソフトボールは、チームの中で1～2名の未経験者がいてもゲームはある程度成立する。野球は、9回の攻守に対してソフトボールは7回と、時間の区切られた実技に適している。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、打撃練習；トス・ハーフ・フリーバッティング、走塁練習、その他）
- 2時限目： 〃
- 3時限目：試合（勝ち点制）
- 4時限目： 〃
- 5時限目： 〃
- 6時限目： 〃
- 7時限目： 〃
- 8時限目：審判の仕方（球審、1・3塁審）
- 9時限目： 〃
- 10時限目：試合（勝ち点制）
- 11時限目： 〃
- 12時限目： 〃
- 13時限目： 〃
- 14時限目： 〃
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

用具：貸与
 服装：ユニフォームの着用が必要はないが、実技のできる服装とする。
 シューズ：ランニングシューズ、アップシューズは可。野球のスパイクシューズは不可とする。

成績評価の方法

出席を重視し、試合毎の勝ち点も加えて評価する。

そ の 他

雨天時は、視聴覚室において、ルールの解説とビデオ観戦とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (トレーニング)	みつなが よしてる 光 永 吉 輝	経 A・商 1 必	2

講義のねらい

トレーニングとは、運動刺激に対する、人体の適応性を利用して、人体の作業能力をできるだけ発達させる過程であると定義されている。骨、筋肉、靭帯、腱、心臓、肺臓など身体の形態や機能を強化発達させる過程をいい、社会生活をするうえで必要な心身の力を向上させるために行なう練習、訓練である。

近年、科学の著しい発展に伴う様々な社会的環境の変化などから、日常の筋肉運動量が少なくなり、かつまた知育偏重の傾向が一段と高まり、進学競争を低年齢化させ、加えて、栄養の過剰によって肥満傾向となるなど、日常生活における身体運動の必要性が盛んに論じられてきている。一般に日常生活以外に運動を行なわないでいると成長発育期では、体格の発達に体力が伴わない、いわゆる体力低下が見られ若年者でありながら成人病に罹り易い。したがって、これらに対する対抗策の一つとしてトレーニングが必要とされるのである。

講義の内容・
授業スケジュール

始めに体力測定を行ない、各自の体力に応じたトレーニングメニューを作成し、毎時間、ストレッチ体操・エアロビクス（有酸素運動）・ウエイトトレーニングなどを行なう。

ウエイトトレーニングは、米航空宇宙局（NASA）で宇宙飛行上のトレーニングマシンとして開発されたカイザーカムⅡという空気抵抗を利用したマシンを用いて行なう。このマシンは、ダイヤル調整だけで負荷の調節が可能であり簡単でかつ安全なトレーニングマシンである。

授業計画

- 1 時限目：オリエンテーション、体力測定
- 2 時限目：カイザーカムⅡ最大筋力測定
- 3 時限目：ク
- 4 時限目：トレーニング開始 毎時間、最大筋力の1/3～2/3の負荷を各自で選び5～8種類のマシンを、2～3セット行なう
- 5 時限目：トレーニング
- 6 時限目：トレーニング
- 7 時限目：トレーニング
- 8 時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 9 時限目：トレーニング
- 10 時限目：トレーニング
- 11 時限目：トレーニング
- 12 時限目：負荷を男子は2kg up、女子は1kg up
- 13 時限目：トレーニング
- 14 時限目：トレーニング
- 15 時限目：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装、トレーニングウェア、体育館シューズ（室内専用）を用意すること。

成績評価の方法

出席、トレーニング内容（毎時間記録をする）、授業への参加意欲、態度を総合的に判断して成績評価とする。

そ の 他

ストレッチ体操の各種、器具のいろいろなトレーニング方法（単独法、対人法）などを各時間に詳しく講義する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ゴルフ)	<small>さとう</small> 佐藤 <small>みぬき</small> 三幣 <small>まさゆき</small> 政之 <small>はるみ</small> 晴三 <small>たておか</small> 館岡 <small>よしあき</small> 儀秋	経 A・商 1 必	2

講義のねらい

ゴルフゲームは、現在将来ともにより豊かな余暇時間体験を持つことのできる活動として最良の生涯スポーツである。

生涯スポーツとして、ゴルフのラウンドを楽しくプレーすることのできる基礎的知識、技術、および態度を身につける。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：グリップ、アドレス、スイング
- 3 時限目：打撃練習（7・9 アイアン）
- 4 時限目：打撃練習（7・9 アイアン）・ビデオによるスイング理論の解説
- 5 時限目：打撃練習（5 アイアン）
- 6 時限目：打撃練習（5 アイアン）
- 7 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 8 時限目：打撃練習（W1・W3）
- 9 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 10 時限目：打撃練習（アプローチ）
- 11 時限目：打撃練習（パッティング）・ルールの解説
- 12 時限目：打撃練習（パッティング）・ラウンドにおけるマナー、エチケットの解説
- 13 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 14 時限目：ラウンド（模擬コース）
- 15 時限目：実技テスト

履修上の留意点

1. 服装は、一般的な運動服装とする。
2. シューズは、運動靴とする。
3. ゴルフ用グローブを各自用意すること。

成績評価の方法

授業に出席して実習することが重要である。したがって成績は、出席点70%・実技点（実技テストを含む）30%の割合で評価する。

そ の 他

雨天時および強風などの場合は、教場を変更する場合がありますので掲示板を確認すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (体操&ウォーキング)	みねさ はるみ 三 幣 晴 三	経 A・商 1 必	2

講義のねらい

「体操」という種目を広義に捉え、健康体操やストレッチ体操、ならびに器械運動を含めた体操の実技を行なう。「Walk」は戸外で新鮮な空気に触れて実施し、それによって自分の感性を豊かにする。健康体操・ストレッチは体のバランスをチェックし矯正する。器械運動は、マットや鉄棒、さらにトランポリンなどの種目を中心にしてやさしい技から難しい技へと段階的に技を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
- 2 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 3 時限目：同
- 4 時限目：器械運動（マット・トランポリン）
- 5 時限目：同
- 6 時限目：Walk
- 7 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 8 時限目：同
- 9 時限目：器械運動（男子：あん馬、つり輪、平行棒、跳馬）
（女子：平均台、段違い平行棒、跳馬）
- 10 時限目：同
- 11 時限目：Walk
- 12 時限目：健康体操とストレッチ体操
- 13 時限目：自主練習
- 14 時限目：同
- 15 時限目：まとめと評価

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。底の薄い体操シューズを用意するのが望ましいが、ソックスでも良い。実技は、玉川体育館1階の体操場で行なう。なお、体操場にセットされている鉄棒やトランポリンなどの器械は、扱い方を誤ると怪我や事故につながるので、授業時間内の指示を守ること。Walkはグラウンドや戸外で実施する。

成績評価の方法

健康体操・器械運動・Walkは、毎回授業に出席して実践することに大きな意味がある。とくに器械運動は、技を習得していく過程にも魅力を見出すことのできるスポーツ種目である。したがって、成績は出席点70点、実技点30点の割合で評価する。器械運動ではやさしい技から難しい技まで約40～50の課題を設定してあるので、受講生はそこから自分で習得したい技、能力に応じた技を選択する。技の達成度の評価は、受講生同士で行なう。

そ の 他

授業の進行状況に応じて、課題となっている技のビデオ、ならびに体操競技の競技会のビデオを観る。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (室内球技)	かわむら まさよし まきの しげる 川村 正義・牧野 茂	経 A・商 1 必	2

講義のねらい

バスケット・ボール、バレーボール、バドミントンを教材とし、それぞれの競技を楽しむための基礎技術やルールを学びながら、健康・体力を維持し、自己の身体への認識を深め、ゲームを通じて、これらの競技を理解すると共に、豊かな人間関係づくりを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容の説明
(バスケット・ボール)
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、グループ分け
- 3 時限目：ハーフ・コート 2 対 1、ゲーム (1 次リーグ)
- 4 時限目：ハーフ・コート 3 対 2、ゲーム (1 次リーグ)
- 5 時限目：ハーフ・コート 4 対 3、ゲーム (1・2 次リーグ)
- 6 時限目：ハーフ・コート 3 対 3、ゲーム (2 次リーグ)
- 7 時限目：実技テスト、ゲーム (2 次リーグ)
(バレーボール)
- 8 時限目：オーバー・アンダーパス、ゲーム (リーグ戦)
- 9 時限目：レシーブ・スパイクの基本、ゲーム (リーグ戦)
- 10 時限目：サーブ・レシーブ・スパイクの応用、ゲーム (リーグ戦)
- 11 時限目：実技テスト、ゲーム (トーナメント)
(バドミントン)
- 12 時限目：ラケットイング、ミニラリー、スマッシュ、ドロップショット
- 13 時限目：クリアー、ネット・ショット、ダブルスのルール
- 14 時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装とする。体育館シューズを用意すること。担当教員によって時間配分を多少変更することがある。

成績評価の方法

出席点 (70 点)、実技テスト (20 点)、態度点 (10 点)、60 点以上を合格とする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	うちやま まさひろ まきの しげる 内山 雅博・牧野 茂	経 A・商 1 必	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明
- 2 時限目：ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形
- 3 時限目：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム
- 4 時限目：フォアハンドドライブのショート、ロングの打ち方。シングルスゲーム
- 5 時限目：バックハンドショートの打ち方。バックハンドゲーム
- 6 時限目：カットの打ち方、返球の方法。カット&カット、シングルスゲーム
- 7 時限目：カット&ドライブリターン、シングルスゲーム
- 8 時限目：スマッシュ（3球目）、シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10時限目：ダブルスゲームのやり方。ダブルスゲームの練習
- 11時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 12時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 13時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 14時限目：ダブルスゲーム（5人一組でのリーグ戦）
- 15時限目：まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点、実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

30分以上の遅刻は認めない。とくにゲームの班分けをした後の授業参加は認めない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (空手道)	たかほし しゅんすけ 高 橋 俊 介	経 A 1 必	2

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11時限目：総合的に反復して練習
- 12時限目：総合的に反復して練習
- 13時限目：総合的に反復して練習
- 14時限目：総合的に反復して練習
- 15時限目：実技試験

履修上の留意点

服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (テニス)	え ぐ ち しゅんいち 江 口 淳 一	経 A・商 1 必	2

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって生涯を通じて楽しくテニスが行える能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通じてスポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、自立的にスポーツを生活化する態度を養うことを目指す。さらに、テニスという共通の体験を通して大学時代でなければ得られない人間関係を作り社会性を養うと共に、総合的な人間形成を目指す。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：ラケットティング、ミニラリー
- 3 時限目：フォアハンドグラウンドストロークの基本技術
- 4 時限目：バックハンド
- 5 時限目：フォアハンドボレー、バックハンドボレー
- 6 時限目：スマッシュ、サービ、ストロークの応用
- 7 時限目：ストロークの応用とミニゲーム
- 8 時限目：半面でのシングルスゲーム(ゲームを楽しむ)
- 9 時限目：(戦術と応用)
- 10 時限目：
- 11 時限目：ダブルスのルールとポジショニング
- 12 時限目：ダブルスのゲームを楽しむ
- 13 時限目：より高度なダブルスのゲームへ
- 14 時限目：トーナメント形式の試合の進め方
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

1. 服装は一般的な運動服装とする。
2. テニスシューズを必ず用意すること。
3. ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説及び分析などの講義を行うか、または、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行う予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ジョギング)	さ と う ま さ よ し 佐 藤 政 之	経 A 1 必	2

講義のねらい

健康、体力の維持増進を目的として行われる走運動、それがジョギングである。普及し始めて約25年位になる比較的新しい種目でもある。健康作りの運動はひとりひとりの体力に応じた運動処方が必要であり、指導者任せのトレーニングにすることなく、その処方を自分自身の手によって立案し、安全に実施することのできる能力を高めることを学習目標とする。実際の内容については、エクササイズ・ウォーキング（速歩）によってジョギングに必要な技術と体力を高めながら、30～60分程度のジョギングを実施することとする。

**講義の内容・
授業スケジュール**

- 1時限目：心拍数測定・諸注意・体重測定
- 2時限目：エクササイズ・ウォーキング（速歩）
- 3時限目： 〃
- 4時限目： 〃
- 5時限目：ジョギング（時間走、距離走、初歩のインターバルランニング）
- 6時限目： 〃
- 7時限目： 〃
- 8時限目：12分間走
- 9時限目：ジョギング（前半より幾分高度な時間走、距離走、初歩のインターバルランニング、
屋外走、クロスカントリー）
- 10時限目： 〃
- 11時限目： 〃
- 12時限目： 〃
- 13時限目： 〃
- 14時限目：12分間走
- 15時限目：まとめ

**保
健
体
育**
履修上の留意点

事前にメディカルチェック（心電図、負荷心電図、その他）を受けることが望ましいが、体調を整えての受講とする。（食事をとること、睡眠時間の充分なこと）ジョギングによって相当量の発汗を伴うため着替えの用意が必要である。

成績評価の方法

出席を最重視するが、12分間走到に於ける走行距離を得点に加えて評価する。

そ の 他

雨天時は走のための補強トレーニング

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 (室内球技)	たけだ ちかお たなか よしたか 竹田 幸夫・田中 佳孝 ながはま ともお みやざわ えいさく 長濱 友雄・宮沢 栄作	全 学 科	2

講義のねらい

室内で行なう球技（卓球、バドミントン、バレーボール、バスケットボール）の基本技能の習得をベースにして、各種目ともゲーム中心の授業を展開する。いずれの種目とも、将来さまざまな場で「生涯スポーツ」として楽しむことができる種目である。したがって、それぞれの種目の基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについての理解も深めたい。

講義の内容・授業スケジュール

【前期】

- 1 時限目：オリエンテーション、前期授業内容の説明
- 2 時限目：卓 球（ラケットの握り方、フットワーク、ミニゲーム）
- 3 時限目： ♪ （サーブとリターン、ルールの解説、シングルスゲーム）
- 4 時限目： ♪ （シングルスゲーム）
- 5 時限目： ♪ （シングルスゲーム）
- 6 時限目： ♪ （ダブルスゲームの進め方、ゲーム）
- 7 時限目： ♪ （ダブルスゲーム）
- 8 時限目： ♪ （まとめと評価）
- 9 時限目：バドミントン（ラケットの握り方、フットワーク、半面コートでのミニゲーム）
- 10 時限目： ♪ （ストローク、ドロップショット、スマッシュの練習、シングルス）
- 11 時限目： ♪ （ルール解説、シングルスゲーム）
- 12 時限目： ♪ （ダブルスゲームの進め方、ダブルスゲーム）
- 13 時限目： ♪ （ダブルスゲーム）
- 14 時限目： ♪ （ダブルスゲーム）
- 15 時限目： ♪ （まとめと評価）

【後期】

- 1 時限目：オリエンテーション、後期授業内容の説明
- 2 時限目：バレーボール（パスとサーブの技術、ミニゲーム）
- 3 時限目： ♪ （アタックとブロッキングの技術、ルール解説）
- 4 時限目： ♪ （フォーメーション、ゲーム）
- 5 時限目： ♪ （ゲーム）
- 6 時限目： ♪ （ゲーム）
- 7 時限目： ♪ （ゲーム）
- 8 時限目： ♪ （まとめと評価）
- 9 時限目：バスケットボール（パス、ドリブル、ショットの基本技術）
- 10 時限目： ♪ （レイアップショット、ジャンプショットの技術、ルール解説）
- 11 時限目： ♪ （ファウルの種類と罰則の解説、ゲーム）
- 12 時限目： ♪ （ゲーム）
- 13 時限目： ♪ （ゲーム）
- 14 時限目： ♪ （ゲーム）
- 15 時限目： ♪ （まとめと評価）

履修上の留意点

実技は、本校第1体育館で行なう。一般的なスポーツウェア、ならびに室内球技に適した体育館シューズを用意する。なお、卓球、バドミントンで使うラケットは、貸与する。

成績評価の方法

基本的な練習方法や楽しいゲームの展開のしかたについて理解するためには、毎回授業に出席して、実技を实践することが重要である。したがって成績は、出席点70%、実技点30%の割合で評価する。実技点は、各種目における個人別の技能、およびゲームの結果を加味して評価する。

そ の 他

曜日・時限によって定員がらがうので注意、『履修要項』を確認の上履修すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 (簡化太極拳)	お お い し た け し 大 石 武 士	全 学 科	2

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

1時限目:オリエンテーション	16時限目:太極拳動作について説明
2時限目:重心の移動・腹式呼吸運動	17時限目:総合
3時限目:第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅	18時限目:総合
4時限目:第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱	19時限目:総合
5時限目:第三組 左攬雀尾・右攬雀尾	20時限目:総合
6時限目:第四組 単鞭・雲手・単鞭	21時限目:総合
7時限目:第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚	22時限目:総合
8時限目:第六組 左下勢独立・右下勢独立	23時限目:総合
9時限目:第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂	24時限目:総合
10時限目:第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・収勢	25時限目:総合
11時限目:総合	26時限目:総合
12時限目:総合	27時限目:総合
13時限目:総合	28時限目:総合
14時限目:総合	29時限目:総合
15時限目:テスト	30時限目:テスト

履修上の留意点

- 1) 定員:50名
- 2) 服装:一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場:修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース (サッカー)	あ き た こ う い ち 秋 田 浩 一	全 学 科	2

講義のねらい

サッカーのゲームは、ボールを蹴ること（キック）、止めること（トラッピング）、運ぶこと（ドリブル）から成り立っている。週一回の授業で全てをマスターすることは難しいが、各々の技術の要領を知ること数段ボール扱いがうまくなり、ゲームもまた楽しいものになる。本授業では、毎時間基本技術とゲームを行ない、サッカーの楽しさを実感する。また、正しいルールを学び、ゲームに生かすことへの理解度を高める。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目午前：基本技術練習（キック、トラップ、ヘディング、ドリブル）チーム分け
1日目午後：　　〃
2日目午前：パス練習、ゲーム
2日目午後：ロングキック、ゲーム
3日目午前：ドリブル、ゲーム
3日目午後：シュート、ゲーム
4日目午前：ルールの解説、ゲーム
4日目午後：ゲーム（リーグ戦）
5日目午前：　　〃
5日目午後：　　〃

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが必ずアップシューズもしくはゴム底のスパイクシューズを用意すること（6本ポイントのスパイクは不可）。靴下は厚手ものがよい。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

再クラス 集中授業コースについて

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(木)～22日(月)
(後期) 12月21日(土)～25日(水)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース (ソフトボール)	むらまつ まこと 村 松 誠	全 学 科	2

講義のねらい

補強運動、練習及びゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。技術やルールを習得し、ソフトボールのゲームを行う基本的能力を身につける。また、ソフトボールの楽しさをゲームや技術の習得を通して体験する。さらに、クラスの仲間と協力して練習やゲームを行う中で社会的態度を養う。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 第1日目 午前：チーム分け、基本練習（キャッチボール、フライ・ゴロの捕球、トスバッティング、走塁練習、その他）
午後：同上
- 第2日目 午前：ゲーム
午後：〃
- 第3日目 午前：〃
午後：審判法・ゲーム
- 第4日目 午前：〃
午後：〃
- 第5日目 午前：〃
午後：〃

履修上の留意点

一般的の体育服装を用意すること。野球用ユニフォームでも良い。運動靴は必ず用意すること。スパイクシューズは認めない。用具は貸与する。

成績評価の方法

出席を重視し、総合的に評価する。

そ の 他

雨天の場合は、室内において補強トレーニングまたは視聴覚機材を用いて、ルールや競技の理解を深める。

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（木）～22日（月）
（後期）12月21日（土）～25日（水）
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川グラウンド集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への「履修届（事前登録）」は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース (卓球)	かわむら まさよし すずき じゅんぺい 川村 正義・鈴木 淳平	全 学 科	2

講義のねらい

卓球の様々な技術の向上を図る事により、卓球の面白さを知る。また、スポーツの中で最も簡単だと言われるルール（シングルス、ダブルス）を理解し、将来、生涯スポーツの一つとしての基盤をつくる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 日目午前：オリエンテーション、授業内容と服装等の説明。ラケットイング、ネットの張り方の学習、フォアハンドの基本形。
- 1 日目午後：フォアハンドドライブ、フォアハンドゲーム。
- 2 日目午前：バックハンドショットの打ち方。バックハンドゲーム。
- 2 日目午後：カットの打ち方と返球の方法。シングルスゲーム。
- 3 日目午前：シングルスゲーム。ダブルスゲームのやり方。
- 3 日目午後：ダブルスゲームの練習。
- 4 日目午前：ダブルスゲーム。
- 4 日目午後：ダブルスゲーム。
- 5 日目午前：トーナメント形式の試合。
- 5 日目午後：まとめ。

履修上の留意点

服装は、一般的な運動服装で良いが、必ず体育館シューズを用意すること（土足厳禁）。土足の場合は、授業を受けることはできない。

成績評価の方法

評価は出席点70点。実技点30点とする。実技点は平素のゲームの中で採点し、受講態度を加味して評価する。個人の実技テストは行なわない。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(木)～22日(月)
(後期) 12月21日(土)～25日(水)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース (空手道)	たか 橋 しゅんすけ 高 橋 俊 介	全 学 科	2

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1日：空手道の歴史と技の説明
自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 第2日：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 第3日：総合的に反復して練習
総合的に反復して練習
2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 第4日：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
総合的に反復して練習
総合的に反復して練習
- 第5日：総合的に反復して練習
総合的に反復して練習
実技試験

履修上の留意点

服装は、一般的運動服装で身軽に動きやすいもの。

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

そ の 他

- 再クラス 集中授業コース実施について
- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(木)～22日(月)
(後期) 12月21日(土)～25日(水)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川グラウンド集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンド
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限
- (5) 備 考：再クラス集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕集中授業コース (バドミントン)	たけだ ゆきお まきの しげる 竹田 幸夫・牧野 茂	全 学 科	2

講義のねらい

ゲームを楽しむための基本的な技術やルールを習得し、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともに、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につけることを目標とする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目午前：オリエンテーション、ラケットイング、ストロークの基本技術（回内、回外）
- 1日目午後：オーバー・ヘッド・ストローク
 - ①（スマッシュ、ドロップ）、コート反面のシングルス・ゲーム
- 2日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
 - ②（スマッシュ、クリアー、ドライブ）、サービス
- 2日目午後：アンダー・ハンド・ストローク
 - ①（クリアー、ヘアピン・ショット）、サービス、コート反面のシングルス・ゲーム
- 3日目午前：アンダー・ハンド・ストローク
 - ②（ロブ、クロス、ネットショット）、シングルス・ゲーム
- 3日目午後：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、サービス、シングルス・ゲーム
- 4日目午前：オーバー・ヘッド・ストローク
 - ③（カット、プッシュ）、総合練習、ダブルス・ゲーム
- 4日目午後：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 5日目午前：総合練習、ダブルス・ゲーム
- 5日目午後：総合練習、トーナメント形式のゲーム

履修上の留意点

- (1) 服装は、一般的な運動服とする。
- (2) 体育館シューズを用意すること。
- (3) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出欠は午前午後の二回確認する。成績は授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：（前期）7月18日（木）～22日（月）
（後期）12月21日（土）～25日（水）
7月18日及び12月21日は更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 集中授業コース (トレーニング)	す ず き じ ゅ ん べ い 鈴 木 淳 平	全 学 科	2

講義のねらい

基礎的な体力要素である筋力、持久力、柔軟性、敏捷性を高めることを目的にして、さまざまなトレーニングを実践する。また、自分の体力の特徴を知ることによって、それに応じたトレーニングの方法を学ぶことを主なねらいとする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1日目 午前：オリエンテーション、体力測定
- 1日目 午後：カイザーカムⅡの使用法の説明、最大筋力の測定
- 2日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 2日目 午後：トレーニング
- 3日目 午前：ストレッチ体操、マッサージ法
- 3日目 午後：トレーニング
- 4日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 4日目 午後：12分間走
- 5日目 午前：ストレッチ体操、トレーニング
- 5日目 午後：体力測定、まとめ

履修上の留意点

服装は、一般的なスポーツウェアを用意する。実技は、おもに体育館地下のトレーニング場で行なうので、体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席状況、トレーニング内容、授業態度を総合的に判断して評価する。

そ の 他

再クラス 集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：(前期) 7月18日(木)～22日(月)
(後期) 12月21日(土)～25日(水)
7月18日及び12月21日更衣の上、午前10時に玉川体育館集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川体育館
- (4) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届(事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限
- (5) 備 考：再クラスの集中授業は、前期・後期を履修して2単位である。

科 目 名	担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (簡化太極拳)		全学科4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとって、一定の早さを保ち、ゆっくりとした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5時限目：第三組 左攢雀尾・右攢雀尾
- 6時限目：第四組 單鞭・雲手・單鞭
- 7時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚
- 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (バドミントン)	なが はま とも お 長 濱 友 雄	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り組むことができる基本的能力を身につける。
また、技術課題として、以下の点に留意して行なう。
(1) フォアハンド、バックハンドとも使うことが出来る。
(2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ルールの説明、サーブ、ハイクリヤー
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドロップショット
- 4時限目：反面での簡易ゲーム
- 5時限目：ク
- 6時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 7時限目：サーブ、ドライブ、スマッシュ
- 8時限目： } 総合練習・シングルゲーム
- 11時間目： }
- 12時間目： } 総合練習・ダブルゲーム
- 15時間目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (室内球技)	まさきの野 牧 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

バスケットボールとバドミントンを教材とし、基本的な技術やルールを学びながらゲームの楽しみ方を身につけるとともに、体力や運動能力の向上をはかる。また、仲間づくりを通して社会的態度を養うとともにスポーツを生涯にわたって、生活の中に取り入れ実践していく基礎的能力をも養うことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：授業内容の説明（バスケットボール）
- 2 時限目：ボール・ハンドリング、ドリブル・シュート、ハーフコート2メン・ダッシュ
- 3 時限目：ランニング・パス、ハーフ・コート2対1、ミニゲーム
- 4 時限目：ランニング・パス、ハーフ・コート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 5 時限目：レイアップ・シュート・ドリル、フル・コート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 6 時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE①、ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7 時限目：初歩的なマンツーマン・オフENSE②、ハーフ・コ
- 8 時限目：実技テスト、ゲーム（トーナメント）
- 9 時限目：（バドミントン）ラケットティング、ストロークの基本技術（回内、回外）
- 10 時限目：オーバー・ヘッド・ストローク（スマッシュ、ドロップ、クリアー）
- 11 時限目：アンダー・ハンド・ストローク（クリアー、ヘアピン）
- 12 時限目：サービス、ストロークの応用とミニゲーム、ダブルスのルール
- 13 時限目：総合練習、ダブルスのゲーム
- 14 時限目：総合練習、ダブルスのゲーム
- 15 時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点（70点）、実技テスト（20点）、態度点（10点）

科 目 名	担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	みやざわ えい さく 宮 沢 栄 作	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・基礎)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・基礎)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (室内球技)		全学科4選	

講義のねらい

文明発達の著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは、益々減少しつつある。このような生活環境を改善して、出来るだけ身体を動かすことが心身の健康につなげることを認識させ、その実践をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：実技各種目の競技の性格、ルールの説明
- 3 時限目：バスケットボール競技の構成基礎技術実習
- 4 時限目：3：3の簡易ゲーム
- 5 時限目：3：3の簡易ゲーム
- 6 時限目：バレーボール競技の構成基礎技術実習
- 7 時限目：簡易ゲーム
- 8 時限目：簡易ゲーム
- 9 時限目：卓球の基本技術
- 10時限目：シングルス、ダブルスでのゲーム
- 11時限目：シングルス、ダブルスでのゲーム
- 12時限目：バドミントンの基礎技術実習
- 13時限目：シングルス、ダブルスでの簡易ゲーム
- 14時限目：シングルス、ダブルスでの簡易ゲーム
- 15時限目：評価（全種目を通して）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 本校第1体育館で行う。
- (3) 服装は一般的な運動服装とする。体育館用シューズを用意すること。
- (4) 用具は貸与する。

成績評価の方法

出席点70%、実技点30%とする。

科目名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・基礎) (後期・基礎) (卓 球)	みやざわ えい さく 宮 沢 栄 作	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. 卓球の技術やルールを習得し、生涯スポーツとして取り組むことが出来る基本的技術を身につける。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
(1)フォアハンド、サーブレシーブ、ラリー
(2)スマッシュを打つことが出来る。
(3)ゲームの中で各種技術を使うことが出来る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：ラケットの持ち方、サーブ
- 3時限目：サーブ、サーブレシーブ、ラリー
- 4時限目：サーブ、フォアハンドドライブ
- 5時限目：サーブ、バックハンドの使い方、ラリー
- 6時限目：サーブ、フォアハンド、バックハンド
- 7時限目：シングルスゲームの練習
- 8時限目：
- 9時限目：
- 10時限目：} 総合練習・シングルスゲーム
- 11時限目：}
- 12時限目：}
- 13時限目：} 総合練習・ダブルスゲーム
- 14時限目：}
- 15時限目：}

履修上の留意点

1. 定員は50名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽で動きやすいものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名	担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ (前期・応用)		全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ (後期・応用)		全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ (簡化太極拳)		全学科4選	

講義のねらい

太極拳は、中国古来の武術であるが、硬拳のように筋骨を鍛錬するものではなく、腰を軸に手足のバランスを取り、呼吸法にのっとり、一定の早さを保ち、ゆっくりした柔軟な動作が要求される。このしなやかな動作は日本の能の所作に似ており、繰り返し稽古することによって内面の気、優美さ、心の静けさを養い、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：重心の移動・腹式呼吸運動
- 3時限目：第一組 起勢・左右野馬分鬃・白鶴亮翅
- 4時限目：第二組 左右膝拗歩・手揮琵琶・左右倒卷肱
- 5時限目：第三組 左攬雀尾・右攬雀尾
- 6時限目：第四組 単鞭・雲手・単鞭
- 7時限目：第五組 高探馬・右蹬脚・双峰貫耳・轉身左蹬脚
- 8時限目：第六組 左下勢独立・右下勢独立
- 9時限目：第七組 左右穿梭・海底針・閃通臂
- 10時限目：第八組 轉身搬攔捶・如封似閉・十字手・収勢
- 11時限目：総合
- 12時限目：総合
- 13時限目：総合
- 14時限目：総合
- 15時限目：総合

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不用。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行う。

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (ニュースポーツ)	おお いし たけ し 大 石 武 士	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 9 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 10 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 11 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 12 時限目：スポーツチャンバラ： ♪ ♪
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：35名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
- 3) 教場：修道館2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バドミントン)	なが ほま とも お 長 濱 友 雄	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得などを通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
また、技術課題として、以下の点に留意して行なう。
 - (1) スマッシュ、ドロップショットを打つことが出来る。
 - (2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
- 2時限目：サーブ、ハイクリヤー、ドライブ
- 3時限目：サーブ、ハイクリヤー、スマッシュ
- 4時限目：総合練習
- 5時限目：総合練習
- 6時限目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
- 10時限目： }
- 11時限目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
- 15時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名		担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (バドミントン)	まきの 牧野 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

1. 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行い、体力や運動能力を高める。
2. バドミントンの楽しさをゲームや技術の習得などを通して体験することから、これからの活動欲求を高める。
3. クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。
また技術的課題として、以下の点に留意して行なう。
 - (1) スマッシュ、ドロップショットを打つことが出来る。
 - (2) ゲームの中で各種技術を効果的に使えるようにする。

講義の内容・授業スケジュール

- 1時限目：オリエンテーション
 2時限目：ストロークの基本技術、スマッシュ
 3時限目：ドロップ・ショット、ハイ・クリヤー、ドライブ
 4時限目：サーブ、ネット、ショット、プッシュ
 5時限目：総合練習
 6時限目： } 総合練習・ゲーム（シングルス）
 10時限目： }
 11時限目： } 総合練習・ゲーム（ダブルス）
 15時限目： }

履修上の留意点

1. 定員は40名とする。
2. 実技は本校第1体育館で行なう。
3. 服装は身軽に動作できるものがよい。
4. シューズは体育館専用のものを用意する。
5. その他のものは用意しなくてもよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (卓 球)	まきの 牧 野 しげる 茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

- (1) 補強運動、練習およびゲームなどを積極的に行ない、体力や運動能力を高める。
- (2) 卓球の楽しさやゲームを通して、これからの活動欲求を高める。
- (3) クラスの仲間と協力して練習やゲームを行なう中で社会的態度を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
2 時限目：サーブ、サーブレシーブ
3 時限目：サーブ、ラリー
4 時限目： } 総合練習・シングルスゲーム
8 時限目： }
9 時限目：総合練習、ダブルスゲーム練習
10 時限目： } 総合練習・ダブルスゲーム
13 時限目： }
14 時限目：総合練習、シングルス勝ち抜き戦
15 時限目：総合練習、ダブルス勝ち抜き戦

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館で行なう。
- (3) 服装は身軽で動きやすいものがよい。
- (4) シューズは体育館専用のものを用意する。
- (5) その他のものは用意しなくてよい。

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科 目 名		担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (室内球技)	まきの野 しげる茂	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

バスケットボールとバドミントンを教材とし、体力や運動能力の向上をはかりながら、基本的な技術を復習し、より高度な技術の習得を旨とする。また、審判法やゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより次元の高いゲームを実施できる能力を養うことを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1時限目：授業内容の説明（バスケットボール）
- 2時限目：ボール・ハンドリング、レイアップ・シュート・ドリル、ハーフ・コート2対1
- 3時限目：シューティング・ドリル、フル・コート3対2、ゲーム（リーグ戦）
- 4時限目：著名なマンツーマン・オフense①ハーフ・コート2対2、ゲーム（リーグ戦）
- 5時限目：著名なマンツーマン・オフense②ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 6時限目：モーション・オフense・ドリル①ハーフ・コート3対3、ゲーム（リーグ戦）
- 7時限目：モーション・オフense・ドリル②ハーフ・コート4対4、ゲーム（リーグ戦）
- 8時限目：実技テスト、ゲーム（トーナメント）
- 9時限目：（バドミントン）ストロークの基本技術（回内、回外）
- 10時限目：オーバー・ヘッド・ストローク（スマッシュ、ドロップ、クリアー、ドライブ、カット）
- 11時限目：サイド・ハンド・ストローク（ドライブ、クリアー）、シングルのゲーム
- 12時限目：アンダー・ハンド・ストローク（クリアー、ネット・ショット）、シングルのゲーム
- 13時限目：サービス、ストロークの応用、ダブルスのゲーム
- 14時限目：総合練習、ダブルスのゲーム
- 15時限目：実技テスト、ダブルスのゲーム

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 実技は本校第1体育館にて行う。
- (3) 服装は、一般的運動服装とする。体育館シューズを用意すること。

成績評価の方法

出席点(70点)、実技テスト(20点)、態度点(10点)

科 目 名		担当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習Ⅰ	(前期・応用) (後期・応用) (室内球技)	みやざわ えい さく 宮 沢 栄 作	全学科1選	1
生涯スポーツ実習Ⅱ			全学科2選	
生涯スポーツ実習Ⅲ			全学科3選	
生涯スポーツ実習Ⅳ			全学科4選	

講義のねらい

文明発達の著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは、益々減少しつつある。このような生活環境を改善して、出来るだけ身体を動かすことが心身の健康につながることを認識させ、その実践をはかる。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、授業の目標の説明
- 2 時限目：バスケットボール競技の基本応用技術の全般についての実習
- 3 時限目：正式ゲーム
- 4 時限目：正式ゲーム
- 5 時限目：バレーボール競技の基本応用技術について
- 6 時限目：正式ゲーム（6人制）
- 7 時限目：正式ゲーム（6人制）
- 8 時限目：卓球の基礎応用技術について
- 9 時限目：シングルス、ダブルスのゲーム
- 10時限目：シングルス、ダブルスのゲーム
- 11時限目：バドミントン技術について
- 12時限目：シングルス、ダブルスの正式ゲーム
- 13時限目：シングルス、ダブルスの正式ゲーム
- 14時限目：まとめとして、希望種目の実施
- 15時限目：評価（全種目を通して）

履修上の留意点

- (1) 定員は50名とする。
- (2) 本校第1体育館で行う。
- (3) 服装は一般的な運動服装とする。体育館用シューズを用意すること。
- (4) 用具は貸与する。

成績評価の方法

出席点70%、実技点30%とする。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中前期・基礎/応用) テニス集中	えぐちじゅんいち 江 口 淳 一	全 学 科 選	1

講義のねらい

テニスは、華やかなプロスポーツから、ファミリーテニスまで色々な技術レベルによって楽しむことができ、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。

本実習においては、フォアハンド・バックハンドグラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど基本的なテニスの技術の習得と、ゲームに関するルール、マナーを学ぶことによって、生涯を通じて楽しくテニスが行なえる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスを教材にスポーツを楽しむという活動や経験を通して、スポーツのもつ価値を実感し、自分の能力や技術に合わせた楽しみ方を身に付け、スポーツを自律的に生活化する態度を養うことを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通した人間関係を広げ深めることの楽しさを知る。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」ことや指導法などを学びながらHighでFullにテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：ラケットティング、フォアハンド・バックハンドグラウンドストロークの基本技術
- 1日目午後：ミニラリー、ラリーを楽しむ
- 2日目午前：フォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ、ストロークの応用
- 2日目午後：ラリーの応用とミニゲーム
- 3日目午前：半面でのシングルスゲーム (ゲームを楽しむ)
- 3日目午後：クク (戦術と応用)
- 4日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 4日目午後：ダブルスのゲームを楽しむ
- 5日目午前：トーナメント形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況 (出欠は午前午後の二回確認する。)、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：7月18日(木)～22日(月)
7月18日更衣の上、午前10時にテニスコート集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届 (事前登録)』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限 (前期)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) テニス集中	え ぐ ち じ ゅ ん い ち 江 口 淳 一	全 学 科 選	1

講義のねらい

テニスは、我が国の生涯スポーツとして完全に定着したスポーツの1つである。本実習では、フォアハンド・バックハンド グラウンドストローク、ボレー、サービス、スマッシュなど打球技術の習得と、ゲームに関する戦術やセオリーを学ぶことによって、生涯を通じてより高度な次元でテニスに関わる能力と、態度を養うことを目標にしている。

また、テニスは、打球技術の習得ばかりでなく《あがり》や《プレッシャー》といったメンタル面を克服することが重要視される心理ゲームで、それゆえに奥が深く、勝敗の行方が読めないスポーツとなっている。本実習においては、このテニスにおけるメンタルトレーニングの重要性を実技と解説を交えながら理解し、さらなるステップアップを目指す。

さらに、5日間集中的に行なうことでテニスを通じた人間関係を広げ深めることの楽しさを知ることが目標とする。

(基礎) …初心者を対象とする。「テニスを楽しむ」という観点から段階的に技術を習得し、ゲームを楽しむことを目標とする。

(応用) …エキスパートを対象とし、「ゲームに勝つ」とことや指導法などを学びながらHighでFullにテニスと関わる態度を養う。

講義の内容・授業スケジュール

- 1日目午前：フォアハンド・バックハンド グラウンドストロークの基本技術の確認
- 1日目午後：ラリーの応用練習
- 2日目午前：より高度なフォア・バックハンドボレー、スマッシュ、サーブ
- 2日目午後：より正確でスピーディーなテニスを目指して
- 3日目午前：ダブルスのルールとポジショニング
- 3日目午後：ダブルス（平行陣への移行）
- 4日目午前：ダブルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 4日目午後：シングルス・ゲーム（メンタル面を考慮した）
- 5日目午前：団体戦形式の試合
- 5日目午後：まとめ

履修上の留意点

- (1) 履修者の技術レベルは問わない。
- (2) 服装は一般的な運動服装とする。
- (3) テニスシューズを必ず用意すること。
- (4) ラケットは貸与する。

成績評価の方法

出席状況（出欠は午前午後の二回確認する。）、授業参加態度から総合的に判断する。

そ の 他

雨天の場合は、テニスの歴史、技術の科学的な解説、ビデオによる戦術の解説および分析などの講義を行なうかまたは、テニスに必要なトレーニングを解説を交えながら行なう予定である。集中授業コース実施について

- (1) 実施期間：12月21日（土）～25日（水）
12月21日更衣の上、午前10時に玉川テニスコート集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川グラウンドのテニスコート
- (4) 定 員：40名とする
- (5) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限（前期）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ実習 (集中後期・基礎/応用) ゴルフ集中	みぬさ はるみ 三 幣 晴 三	全 学 科 選	1

講義のねらい

ゴルフは、今や国民的スポーツになりつつある。初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象として実施する。

本講義は、ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに受講者同士とのコミュニケーションも重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1日目 実技：打撃練習（グリップ・アドレス・スイングの基本練習）
講義：スイングの基本
- 2日目 実技：打撃練習（9I、7I・アプローチ練習）
講義：マナーとエチケット
- 3日目 実技：打撃練習（7I、5I、1W・パッティング練習）
講義：ゴルフルール
- 4日目 実技：打撃練習（PW、7I・アプローチ練習・パッティング練習）
講義：ゴルフコースとラウンドについて
- 5日目 実技：打撃練習（総合的打撃練習）

履修上の留意点

- (1) 服装・用具
- ① 一般的な運動服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によっては必要）
 - ② グローブ（ゴルフ用グローブに限る）は、必ず各自で用意すること。

そ の 他

- (1) 実施期間：平成14年12月21日（土）～25日（水）
12月21日更衣の上、午前10時に玉川グラウンド集合
- (2) 実施時間：10：00～12：00
13：00～15：30
- (3) 実施場所：玉川校舎グラウンド
- (4) 費用：受講者の上達度によっては、民間の練習場を利用する予定である。この場合ボール代として、2,000円程度必要である。
- (5) 定員：40名
- (6) 申込方法：「生涯スポーツ実習」と同様。ただし、教務部への『履修届（事前登録）』は集中授業コース用に設定された下記の曜日・時限で提出すること。
土曜日・8時限（後期）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン前期・基礎/応用) ゴルフ	みめさほるみ 三 幣 晴 三 他	全 学 科 選	2

講義のねらい

「健康・スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフの基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。

ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・ 授業スケジュール

- (1) 事前授業 1回目 5月18日(土) 講義:12:10~12:50 2研-101教場
「ゴルフの基本知識1、オリエンテーション」
2回目 7月20日(土) 講義:13:00~15:30 2研-101教場
「ゴルフの基礎知識2」

※上記の事前授業は、オリエンテーションを兼ねるので必ず出席すること。

- (2) 実習内容
- 1日目 9月9日(月) 実技:14:00~17:00 《オリエンテーション・打撃練習》
講義:19:00~21:00 《ゴルフスウィング基本》
- 2日目 9月10日(火) 実技:09:00~12:00・13:30~16:30 《打撃練習・その他》
講義:19:00~21:00 《ゴルフのエチケット・マナー》
- 3日目 9月11日(水) 実技:09:00~12:00・13:30~16:30 《打撃練習・その他》
講義:19:00~21:00 《ゴルフルール・ラウンドについて》
- 4日目 9月12日(木) 実技:09:00~12:00・13:30~16:30 《ラウンド・その他》
講義:19:00~21:00 《ラウンドの反省と総括》
- 5日目 9月13日(金) 実技:09:00~11:00・12:30~14:30 《ラウンド・その他》

履修上の留意点

- (1) 服装・用具
- ① 一般的なゴルフ服装(セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要)
 - ② ゴルフシューズ(ソフトスパイクに限る)は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - ③ グローブは、必ず各自で用意すること。
- ※ゴルフクラブ・キャディーバック等は大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。
- (2) 場所・宿泊
- ① 宿泊先:軽井沢千ヶ滝温泉ホテル 電話0267-46-1111
長野県北佐久郡軽井沢町千ヶ滝温泉
 - ② 練習場:軽井沢ゴルフ練習場 電話0267-48-1211
 - ③ コース:晴山ゴルフ場・ホテルコース・和美パー3コース・その他
- (3) 実施期間:平成14年9月9日(月)~13日(金) 4泊5日
- (4) 募集人員:定員30名(事前登録科目である。)
- (5) 集合・解散:現地(軽井沢千ヶ滝温泉ホテル)。詳細については(時間:道順など)事前授業で説明するので必ず出席すること。
- (6) 費用:49,500円 ※交通費は含まれない。
- (7) 納入方法:経理部窓口で、平成14年5月24日(金)~6月6日(木)までに納入すること。

成績評価の方法

出席点70%、技術の上達度および小テスト30%(ルール、マナー等)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
生涯スポーツ演習 (シーズン後期・基礎/応用) スキー	たけだゆきお 竹田幸夫 他	全学科選	2

講義のねらい

現在我が国においてスキーは、国民スポーツと言われるまでに普及し、「生涯スポーツ」として楽しむことのできるスポーツとして定着している。スキーを楽しむ為に、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーについて理解を深めていきたい。実習は、スキーの技術レベルに応じて、1班10名程度にグループ分けして実施する。コースの内容は、以下の通りである。

基礎コース：雪面に慣れることから始まり、ブルーク更にシュテムターンの習得

応用コース：パラレル、ウェーデルンと斜面に応じた総合滑降技術の習得、および完成をめざす。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 事前授業： 5月18日(土) 12:10~12:50 2研-102 教場
「オリエンテーション・スキーの基礎知識1」
12月21日(土) 13:00~15:30 2研-101 教場
「スキーの基礎知識2」
- 実習内容および現地講義
 - 1日目 <2月17日(月)> 午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スキー基礎技術解説および安全・マナー」
 - 2日目 <2月18日(火)>
午前・午後：班別実習および全体講義「スキー応用技術解説」
 - 3日目 <2月19日(水)>
午前・午後：判別実習および全体講義「スキーと自然・ウィンタースポーツ」
 - 4日目 <2月20日(木)>
午前・午後：判別実習および全体講義「本実習の反省とまとめ」
 - 5日目 <2月21日(金)>
午前・午後：判別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

- シーズンコーススキーの授業は、下記の要領で実施する。
- 1) 日程：平成15年2月17日(月)～2月21日(金)の4泊5日
 - 2) 場所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グラウンド 電話(0195)73-5019
 - 3) 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
受講者は、費用を納入期間平成14年5月24日(金)～6月6日(木)までに経理部窓口で納入すること。
 - 4) 定員：90名
 - 5) 『履修届(事前登録)』に関する注意：教務部窓口へ提出する。『事前登録申請書』には、シーズンコース用に設定された『土曜日8時限(後期)』で記入すること。
 - 6) オリエンテーション：上記の事前講義(5月18日(土)・12月21日(土))で実習の説明を行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

事前授業および実習(5日間)に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びにスキー基本技術や、理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部(03-3709-0717)に連絡すること。尚、実習に不参加の場合、受講料の一部は、返却されないことがある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 1 (前期)	た か は し し ゅ ん す け 高 橋 俊 介	経 A 1 選	2

講義のねらい

健康スポーツ論学習の内容は健康で楽しい社会生活を送るためにもスポーツを行なうことは心身をリフレッシュさせ、体力の維持、健康の増進には欠かすことのできないことですが、体育とは何か、体育とは何をめざして行うのか、また現在のスポーツがどのような変革の道を辿って今日に至ったのか、その歴史を知ることによって体育の意義を知り、健康を考えることに役立つものである。

- I 1時限目：運動はなぜ必要か
 2時限目：人類が生命を維持するのに必要な労働本能から生まれた運動
 3時限目：一人の人間の健康が、国家、社会、団体に与える問題と運動
 4時限目：体育によってどのような教育が考えられるか
 5時限目：学校体育による教育
 6時限目：社会体育による教育
 7時限目：生涯体育による教育
 8時限目：現在行なわれている運動がどのような経緯で生まれてきたか
 9時限目：実用の面から生まれてきた運動
 10時限目：健康の面から生まれてきた運動
 11時限目：ホモルーデンスの面から生まれてきた運動
- II “レポート提出”授業時間内に課題に対する独自の見解をレポートする。
 12時限目：(例)スポーツの文化性、芸術性について
 13時限目：(例)スポーツマン精神について
 14時限目：(例)大衆スポーツ論
 15時限目：(例)スポーツと政治

成績評価の方法

出席を重視し、特にペーパーテストは行なわないが、レポート提出によって試験に代え評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 1 (前期)	かわむら まさよし 川 村 正 義	経 A・商 1 選	2

講義のねらい

「健康は人間が自分に贈れる最大のプレゼントである」ことを忘れず、生涯にわたり健康的でより豊かな生活の実現に必要な身体にかかわる教養を高めることをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時 限 目 講義のねらいと内容説明
- 2 時 限 目 からだの組織と機能について。
- 3 時 限 目
- 4 時 限 目 身体活動量と健康について。
- 5 時 限 目 ・スポーツマンは長生きか
- 6 時 限 目 ・寝て暮らしたらどうなるか
- 7 時 限 目 ・女性はなぜ長生きか 等々
- 8 時 限 目 健康づくりの運動と栄養
- 9 時 限 目 ・有酸素運動と健康づくり
- 10 時 限 目 ・筋力トレーニングの必要性
- 11 時 限 目 ・脂肪と運動 等々
- 12 時 限 目 健康に関する時事問題
- 13 時 限 目 ・「健康日本21」 等々
- 14 時 限 目 まとめ・「健康寿命をのばし自分の意志で自由に行動できる長生きほど幸せな生涯はない」
- 15 時 限 目

成績評価の方法

出席状況とレポートによる評価

教 科 書

特に指定しません。 資料を配布。

参 考 書 等

『健康と運動の科学』（大修館書店）
『運動・健康とからだの秘密』（近代科学社）
『スポーツと寿命』（朝倉書店）

そ の 他

講義形式を基本とするが、運動生理の医学ビデオも使用する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 2 (前期)	お お い し た け し 大 石 武 士	全 学 科 選	2

講義のねらい

生涯を通じての健康や体力・身体運動の効果、体育・スポーツの概念やエイズ問題にふれていき、スポーツ・レクリエーション時や日常生活において、我々はいつどこで、どのような急病や傷害に出会うかもしれない。このような時、救急車が来るまでにしなければならぬ処置、とっさの処置が生命の別れ目になる。また、小さい怪我でも最初の手当が悪ければ経過が長引く。救命救急のための知識や技術を身につける事によって、病人や怪我人の生命、病気や怪我の経過に大きな差が生じてくる。このことをよく理解し、主な病気・傷害に対する救急処置法について講義を行う。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：講義内容の説明
- 2 時限目：体育の概念
- 3 時限目：身体運動と体育運動
- 4 時限目：健康の概念、身体運動の効果
- 5 時限目：人体構造の概略、エイズ問題
- 6 時限目：救急処置の目的、一次救命処置
- 7 時限目：一次救命処置
- 8 時限目：一次救命処置実習
- 9 時限目：出血多量、ショック
- 10 時限目：熱中症、やけど（熱傷）、凍傷
- 11 時限目：R・I・C・E処置、創傷、創傷のない障害
- 12 時限目：挫減傷、打撲、刺し傷
- 13 時限目：中毒、鼻出血、咬傷、虫や毒魚
- 14 時限目：体力について
- 15 時限目：テスト

成績評価の方法

出席・実習および学期末試験で評価する。

参 考 書 等

- 1 駒澤大学保健体育部編 『保健体育概論』（カヅサ出版）1,700円
- 2 『最新図解救命救急一応急手当の手引きー』（小学館）700円

そ の 他

救急処置法については、心肺蘇生訓練用マネキンを使った実習や、ビデオを交えながら講義を展開していく。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 2 (前期)	まきのしげる 牧野 茂	全 学 科 選	2

講義のねらい

現代社会における健康の意義と認識を深めるとともに、ますます高齢化していく社会において、学生生活を含め生涯にわたって健康な生活を送るための基礎的な知識と、自己の健康管理能力を高めることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：目的と課題の把握 全体ガイダンス、アンケートとその解説
- 2 時限目：健康とは何か① 語源・定義・性格
- 3 時限目：健康とは何か②
- 4 時限目：健康とは何か③
- 5 時限目：恒常性と適応 ストレス学説
- 6 時限目：健康の成立条件 健康を規定する条件
- 7 時限目：健康の保持増進① 科学的研究、健康教育
- 8 時限目：健康の保持増進② 保健衛生サービス、健康の獲得
- 9 時限目：健康指標 WHOの総合健康指標
- 10 時限目：日常生活と健康① 運動・栄養・休養①
- 11 時限目：日常生活と健康② 〃 ・ 〃 ・ 〃 ②
- 12 時限目：日常生活と健康③ 嗜好品と健康
- 13 時限目：感染症について① インフルエンザ、結核
- 14 時限目：感染症について② 性行為感染症
- 15 時限目：筆記試験

成績評価の方法

筆記試験において、60点以上を合格とする。

教 科 書

教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布するが、主として黒板を用いるので、出席し、ノートを整理しておくこと。

参 考 書 等

『保健体育概論』（カヅサ出版部） 1,700円
他は、講義のなかで紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 2 (前期)	みやざわ えいさく 宮 沢 栄 作	全 学 科 選	2

講義のねらい

健康としての具備すべき条件（13項目）の追求と、それに深くかかわる体育、スポーツの本質を見つめて、その科学的、医学的知識を持って、将来の社会的な生活拡充化の意識の育成を図る。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時 限 目：体育の発生と今日までの各々の時代的変遷と併わせて古代体育の目的と現代の体育の具体的目標について。
- 2 時 限 目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を人間以外の動物の寿命等を例として認識させる。
- 3 時 限 目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特徴、分類について
- 4 時 限 目：スポーツと体力の関係について
- 5 時 限 目：運動能力発達の原理
- 6 時 限 目：運動能力の領域
- 7 時 限 目：運動能力の構造
- 8 時 限 目：運動能力とスポーツ技能の分析
- 9 時 限 目：総合体力の定義
- 10 時 限 目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ生涯について
- 11 時 限 目： 〃
- 12 時 限 目：トレーニング理論全般
- 13 時 限 目： 〃
- 14 時 限 目： 〃
- 15 時 限 目：まとめ

成績評価の方法

成績評価は学期末の筆記試験による。

教 科 書

不要。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論 2 (前期)	むらまつ 村 松 <small>まこと</small>	全 学 科 選	2

講義のねらい

現代は健康の時代の不健康な時代と言われる。健康に関する情報は、テレビに、雑誌にと、世に溢れている。健康情報が商品になる時代である。また、民間療法による健康法も数多く存在している。このような状況の中で、健康とは何であるかという、しっかりした健康観をもつことは、間違った選択をしないためにも大切なこととなる。そして、学生時代は人生の中でもっとも健康な時期と言われるが、現代の健康問題とされる生活習慣病は、この学生時代より多くは始まると言われている。このような認識のもとに、現代における健康問題も話題に取り上げながら、生涯に渡っての健康を考えて行く。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：健康観の変遷
- 3 時限目：現代の健康観
- 4 時限目：健康の成立要因
- 5 時限目：健康の成立条件
- 6 時限目：病気の原因
- 7 時限目：疾病構造の変遷と病気の予防
- 8 時限目：現代の感染症
- 9 時限目：喫煙と健康
- 10 時限目：飲酒と健康
- 11 時限目：ストレスと健康
- 12 時限目：食べ物と健康
- 13 時限目：運動と健康
- 14 時限目：環境と健康
- 15 時限目：まとめ

履修上の留意点

数回の小テストを行なう予定。

成績評価の方法

定期試験とその他を加味して評価する。

教 科 書

教科書は特に指定しないが、保健体育部編 『保健体育概論』 を参考図書とする。

Ⅱ 専 門 教 育 科 目

経済学科フレックスA・第1部経済学科
商 学 科

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P.573)

Ⅱ. 専門教育科目

※印の科目については、経済学科フレックスB・第2部経済学科の頁を参照してください。

経済学概説《経A》〈小杉修二〉	287
経済学概説《経A》〈小林正人〉	288
経済学概説《経A》〈溝手芳計〉	289
経済学概説《商》〈岩永宏治〉	290
経済学概説《商》〈代田純〉	291
経済理論ⅠA・資本の原理《経A》〈大石雄爾〉	292
[平成11年以前入学生：経済原論Ⅰ]	
経済理論ⅠA・資本の原理《商》〈長谷川義和〉	293
[平成11年以前入学生：経済原論Ⅰ]	
経済理論Ⅱ・ミクロ経済学〈畠中貴〉	293
[平成11年以前入学生：経済原論Ⅱ]	
経済理論Ⅱ・ミクロ経済学〈松井柳平〉	294
[平成11年以前入学生：経済原論Ⅱ]	
経済理論Ⅱ・マクロ経済学〈荒木勝啓〉	295
[平成11年以前入学生：経済原論Ⅱ]	
経済理論Ⅱ・マクロ経済学〈浅野克巳〉	296
[平成11年以前入学生：経済原論Ⅱ]	
経済学史〈福原好喜〉	297
経済史〈安元稔〉	298
経済政策〈萩原伸次郎〉	299
財政学〈里中恆志〉	300
金融論〈代田純〉	301
社会政策〈光岡博美〉	302
日本経済論〈小林正人〉	303
国際経済論〈徳永俊明〉	304
商学総論〈大吹勝男〉	305
経営学総論〈岩波文孝〉	306
会計学総論《商》〈森田佳宏〉	307
会計学総論《経A》〈寺坪修〉	307
商業政策〈岩下弘〉	308
マーケティング〈曾我信孝〉	309
経営管理論〈百田義治〉	310
労務管理論〈堀龍二〉	311
簿記論〈島崎規子〉	312
簿記論〈石川祐二〉	312
財務会計論〈小栗崇資〉	313
経済理論ⅠB・経済システムの原理〈阿部弘〉	314
経済数学〈水野勝之〉	315
価格理論〈荒木勝啓〉	316
国民所得論〈吉野紀〉	317
計量経済学〈休講〉	
統計原論〈吉野紀〉	318
景気循環論〈野村信廣〉	319
現代資本主義論〈長島誠一〉	320

社	会	思	想	史	〈阿	部	弘	321
日	本	經	濟	史	〈橋	野	知	322
西	洋	業	政	史	〈友	松	憲	323
農	業	業	政	策	〈溝	手	芳	324
工	業	政	地	策	〈休	講	〉		
經	濟	地		理	〈須	山	聰	324
交		通	業	論	〈塩	見	英	325
中	小	企	業	論	〈吉	田	敬	326
環	境	業	業	論	〈山	口	由	327
公	共	業	業	学	〈半	谷	俊	328
財	政	政	政	策	〈休	講	〉		
地	方	財	政	論	〈篠	原	章	328
国	際	金	融	論	〈齊	藤	壽	329
銀	行	行	場	論	〈齊	藤	正	330
証	券	市	場	論	〈磯	谷	玲	331
保	險	論		論	〈今	泉	敬	331
人	口	論		論	〈森	岡	仁	332
教	育	論		論	〈谷	敷	正	333
勞	働	論		論	〈休	講	〉		
貿	易	論		論	〈古	沢	紘	334
ア	ジ	ア	經	論	〈鄭	章	淵	335
中	国	經	濟	論	〈小	杉	修	336
ア	メ	リ	カ	論	〈瀬	戸	岡	337
ヨ	ー	ロ	ッ	論	〈清	水	卓	338
ロ	シ	ア	・	論	〈山	縣	弘	339
情	報	・	東	論	〈中	濟	光	340
プ	ロ	グ	ラ	論	〈濱	本	和	341
情	報	処	理	論	〈岩	瀬	弘	342
商	品	学		史	〈石	崎	悦	342
商	業	史		論	〈幸	野	保	343
消	費	論		論	〈川	島	美	344
經	營	戰	略	論	〈田	淵	泰	345
財	務	管	学	理	〈小	椋	康	346
經	營	管	学	史	〈岩	永	宏	347
会	計	監	査	論	〈森	田	佳	348
管	理	会	計	論	〈石	川	祐	348
原	価	計	算	論	〈鈴	木	勝	349
税	務	会	計	論	〈柳	裕	治	349
經	営	分	実	析	〈休	講	〉		
貿	易	実		務	〈休	講	〉		
憲				法	〈内	田	真	350
民	法	一		部	〈大	宮	隆	351
民	法	二		部	〈織	田	晃	352
商	法	一		部	〈山	田	泰	352
商	法	二		部	〈春	田	博	353
經		濟		法	〈岡	田	外	353
勞		働		法	〈藤	本	茂	354
行	政	政		法	〈金	子	昇	355

国	際	法	〈齋藤洋〉	355						
原	書	講	〈岩永宏治〉	356						
原	書	講	〈岩波文孝〉	356						
原	書	講	〈小杉修二〉	357						
原	書	講	〈清水卓〉	357						
原	書	講	〈鄭章淵〉	357						
原	書	講	〈中田秋男〉	358						
原	書	講	〈中濟光昭〉	358						
原	書	講	〈福原好喜〉	359						
原	書	講	〈堀龍二〉	359						
原	書	講	〈安元稔〉	360						
原	書	講	〈山縣弘志〉	360						
現	代	經	情	Ⅰ	〈菅原章文〉	361				
現	代	經	情	Ⅱ	〈羽田野治朗〉	362				
現	代	經	情	Ⅲ	〈井田森太郎〉	363				
現	代	經	情	Ⅳ	〈長尾邦彦〉	363				
現	代	産	業	事	情	Ⅰ	〈休講〉			
現	代	産	業	事	情	Ⅱ	〈休講〉			
現	代	産	業	事	情	Ⅲ	〈齊藤正〉	364		
※	現	代	産	業	事	情	Ⅱ	〈小栗崇資〉	(622)	
※	綜	合	専	門	科	目	Ⅰ	〈休講〉		
※	綜	合	専	門	科	目	Ⅱ	〈休講〉		
※	綜	合	専	門	科	目	Ⅲ	〈阿部弘〉	(624)	
※	綜	合	専	門	科	目	Ⅳ	〈石川祐二〉	(625)	
※	綜	合	専	門	科	目	Ⅴ	〈休講〉		
※	綜	合	専	門	科	目	Ⅵ	〈休講〉		
※	会	計	資	格	特	別	演	習	〈鈴木勝浩〉	(625)
※	情	報	資	格	特	別	演	習	〈永井勇〉	(627)
※	教	員	試	験	特	別	演	習	〈谷敷正光〉	(627)
演	習	Ⅰ	〈浅野克巳〉	365						
演	習	Ⅰ	〈阿部弘〉	365						
演	習	Ⅰ	〈荒木勝啓〉	366						
演	習	Ⅰ	〈石川祐二〉	366						
演	習	Ⅰ	〈岩下弘〉	367						
演	習	Ⅰ	〈岩永宏治〉	367						
演	習	Ⅰ	〈岩波文孝〉	368						
演	習	Ⅰ	〈大石雄爾〉	368						
演	習	Ⅰ	〈大吹勝男〉	369						
演	習	Ⅰ	〈小栗崇資〉	369						
演	習	Ⅰ	〈小杉修二〉	370						
演	習	Ⅰ	〈小林正人〉	370						
演	習	Ⅰ	〈齊藤正〉	371						
演	習	Ⅰ	〈里中恆志〉	371						
演	習	Ⅰ	〈清水卓〉	372						
演	習	Ⅰ	〈代田純〉	372						
演	習	Ⅰ	〈瀬戸岡紘〉	373						
演	習	Ⅰ	〈曾我信孝〉	373						
演	習	Ⅰ	〈鄭章淵〉	374						

演	習	I	〈德	永	俊	明〉	375
演	習	I	〈友	松	憲	彦〉	375
演	習	I	〈中	濟	光	昭〉	376
演	習	I	〈橋	野	知	子〉	377
演	習	I	〈百	田	義	治〉	378
演	習	I	〈福	原	好	喜〉	379
演	習	I	〈古	沢	紘	造〉	380
演	習	I	〈堀		龍	二〉	380
演	習	I	〈松	井	柳	平〉	381
演	習	I	〈光	岡	博	美〉	381
演	習	I	〈溝	手	芳	計〉	381
演	習	I	〈森	岡		仁〉	382
演	習	I	〈森	田	佳	宏〉	382
演	習	I	〈谷	敷	正	光〉	383
演	習	I	〈安	元		稔〉	383
演	習	I	〈山	縣	弘	志〉	384
演	習	I	〈吉	野		紀〉	384
演	習	I	〈吉	田	敬	一〉	385
演	習	II	〈浅	野	克	巳〉	385
演	習	II	〈阿	部		弘〉	386
演	習	II	〈荒	木	勝	啓〉	386
演	習	II	〈石	川	祐	二〉	387
演	習	II	〈岩	下		弘〉	387
演	習	II	〈岩	永	宏	治〉	388
演	習	II	〈岩	波	文	孝〉	389
演	習	II	〈大	石	雄	爾〉	389
演	習	II	〈大	吹	勝	男〉	390
演	習	II	〈小	栗	崇	資〉	390
演	習	II	〈小	杉	修	二〉	391
演	習	II	〈小	林	正	人〉	391
演	習	II	〈齊	藤		正〉	392
演	習	II	〈里	中	恆	志〉	392
演	習	II	〈清	水		卓〉	393
演	習	II	〈代	田		純〉	393
演	習	II	〈瀬戸	岡		紘〉	394
演	習	II	〈曾	我	信	孝〉	394
演	習	II	〈鄭		章	淵〉	395
演	習	II	〈德	永	俊	明〉	396
演	習	II	〈友	松	憲	彦〉	396
演	習	II	〈中	濟	光	昭〉	397
演	習	II	〈橋	野	知	子〉	398
演	習	II	〈長谷	川	義	和〉	399
演	習	II	〈百	田	義	治〉	399
演	習	II	〈福	原	好	喜〉	400
演	習	II	〈古	沢	紘	造〉	400
演	習	II	〈堀		龍	二〉	401
演	習	II	〈松	井	柳	平〉	401
演	習	II	〈光	岡	博	美〉	402

演	習	Ⅱ	〈溝	手	芳	計	402
演	習	Ⅱ	〈森	岡		仁	402
演	習	Ⅱ	〈森	田	佳	宏	403
演	習	Ⅱ	〈谷	敷	正	光	403
演	習	Ⅱ	〈安	元		稔	404
演	習	Ⅱ	〈山	縣	弘	志	404
演	習	Ⅱ	〈吉	野		紀	405
演	習	Ⅱ	〈吉	田	敬	一	405
演	習	Ⅲ	〈淺	野	克	巳	406
演	習	Ⅲ	〈阿	部		弘	406
演	習	Ⅲ	〈荒	木	勝	啓	407
演	習	Ⅲ	〈岩	下		弘	407
演	習	Ⅲ	〈岩	永	宏	治	408
演	習	Ⅲ	〈大	石	雄	爾	408
演	習	Ⅲ	〈大	吹	勝	男	408
演	習	Ⅲ	〈小	栗	崇	資	409
演	習	Ⅲ	〈小	杉	修	二	409
演	習	Ⅲ	〈小	林	正	人	409
演	習	Ⅲ	〈齊	藤		正	410
演	習	Ⅲ	〈里	中	恆	志	410
演	習	Ⅲ	〈清	水		卓	411
演	習	Ⅲ	〈鈴	木	勝	浩	411
演	習	Ⅲ	〈瀨	戸	岡	紘	411
演	習	Ⅲ	〈曾	我	信	孝	412
演	習	Ⅲ	〈鄭		章	淵	412
演	習	Ⅲ	〈德	永	俊	明	413
演	習	Ⅲ	〈友	松	憲	彦	413
演	習	Ⅲ	〈中	濟	光	昭	414
演	習	Ⅲ	〈橋	野	知	子	415
演	習	Ⅲ	〈長	谷	川	義和	416
演	習	Ⅲ	〈百	田	義	治	416
演	習	Ⅲ	〈福	原	好	喜	417
演	習	Ⅲ	〈古	沢		紘造	417
演	習	Ⅲ	〈堀		龍	二	417
演	習	Ⅲ	〈松	井	岡	柳平	418
演	習	Ⅲ	〈光	岡	博	美	418
演	習	Ⅲ	〈森	岡		仁	418
演	習	Ⅲ	〈森	田	佳	宏	419
演	習	Ⅲ	〈谷	敷	正	光	419
演	習	Ⅲ	〈安	元		稔	420
演	習	Ⅲ	〈山	縣	弘	志	420
演	習	Ⅲ	〈吉	野		紀	420

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済学概説	こ す ぎ し ゅ う じ 小 杉 修 二	経 A 1 必	4

講義のねらい

心理学者の小此木啓吾氏は言っている。昔のスキーとは山に登る時間が大半で、滑るのはほんの一瞬である。今日、余暇の増大、リフトの普及によって、スキーは体力の鍛錬から楽しみにとその心理的意味が変わったと。このような変化を生み出したのは高度経済成長であり、諸君が育った時代である。

今日それは「成熟」の時代に入り、低成長時代にある。この中で、新製品の開発・販売競争、貿易摩擦、「金あまり」、マネーゲーム、土地価格高騰のバブル経済崩壊を経て、デフレ時代に入っている。そこではまた経済成長を求める声が高まると同時に、地域的規模、地球的規模で環境悪化が進行している。

本講義では経済成長とこれらの問題群に諸君の注意を喚起し、現象相互のつながり、その意味について、映像を使って見聞し、考えることにする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は経済成長と人間、後期は経済成長と環境問題を予定。

履修上の留意点

出席がよくない者は自動的に不合格。

成績評価の方法

前期、後期ともテストによる。これに出席点を加味して判定。

教科書

新聞を読みなさい。

参考書等

アンドレ・ゴルトツ『エコロジスト宣言』、同『エコロジー協働体への道』（緑風出版）、ポール・ワクテル『「豊かさ」の貧困－消費社会を超えて－』（TBSブリタニカ）

その他

ビデオ映像＋解説＋質疑応答形式で行なう。授業終了時に小レポートを毎回課す。見たこと、考えたことをまとめるトレーニングになり、文章を書く練習になるので取り組もう。

科専
門教
育目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済学概説	こばやし まさと 小林 正人	経 A 1 必	4

講義のねらい

経済学の基礎的な概念を解説し、世界と日本の経済史について主要点を概説する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 経済と経済学
2. 企業と株式会社
3. 価格とコスト
4. 経済成長と経済統計
5. 情報とは
6. 資本主義の世界史
 - A) 産業革命と情報革命
 - B) 産業革命
 - C) 大量生産とフォード
 - D) 国際通貨体制の変遷
 - E) 計画経済と社会主義
7. 経済学説
8. 日本経済の戦前と戦後
9. 労働の質と労働時間
10. 市場メカニズムの意義と問題
11. 産業構造と標準産業分類
12. 戦後日本経済と産業政策

履修上の留意点

講義資料を配布する。

成績評価の方法

講義の節目で行なう小テストと定期試験を中心に評価する。再試験実施。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

講義中に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済学概説	みそてよしかず 溝手芳計	経 A 1 必	4

講義のねらい

経済学概説は、経済学を初めて学ぶ皆さんがこれからの学習の見通しをたてられるよう経済学とはどんなものかを知るとともに、経済学の基礎的学力の取得をめざします。

この授業で、わたしは皆さんに「事実学ぶ」、「全体との関連の中で学ぶ」の2つの姿勢を身につけてほしいと考えています。

すべての科学は正確な事実認識から出発します。経済学も然りです。そこで、授業では、経済を見る眼のパワー獲得をめざして、現代の経済問題をいくつか取り上げて解説します。皆さんが経済に関する新聞・雑誌記事を読めるようになることを期待します。

大学の学習は個別の専門科目の履修をつうじておこないますが、個々の科目がバラバラに存在するわけではありません。学生の皆さんが各自の関心にそって科目を選択し関連づけながら学ぶことが大切です。でも学習計画を立てるには、経済学ってどうやって学習・研究したらいいのか、イメージづくりが必要かと思ひます。その手がかりとして、この授業では、著名な経済学者による理論形成過程を紹介してみたいと思ひます。

講義の内容・授業スケジュール

詳細未定ですが、「経済問題の解説」、「経済理論の形成過程」の順の予定です。

履修上の留意点

新聞の経済記事をしっかりと読んで下さい。出欠票をかねて「コミュニケーション・カード」を配布しますので、授業の感想・要望・質問等書いて下さい。

成績評価の方法

成績評価は定期試験、及び数回の課題レポートの成績を基準としますが、出席状況も考慮します。

教科書

必要な資料等、授業中に配布します。

参考書等

・日本経済新聞社編『経済学新語辞典』（日本経済新聞社）・日本経済新聞社編『「日経」によく出る最新キーワード』（日経ビジネス文庫）・経済学教育学会編『経済学ガイドブック』（青木書店）・内橋克人編『経済学は誰のためにあるか』（岩波書店）

科専門
教育
科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済学概説	いわなが こうじ 岩 永 宏 治	商 1 必	4

講義のねらい

経済学・商学・経営学・会計学などの科目は、社会科学を構成する学問分野ですが、それらは独自の研究対象をもつ自立した学問であると同時に、互いに密接に関連しています。経済学部に入學された皆さんは、今後これらの分野の学習・研究を開始されるわけですが、当講義では、各専門分野へ皆さんが進んでいくうえで必要な基礎的な知識の獲得を目指します。なかでも、商学科に関連する領域を相対的に重視し、そこに焦点を当てながら講義していくことになります。

社会科学は社会的諸現象の科学的究明を課題としますが、そのなかで経済学・商学・経営学・会計学は財の生産と消費、その生産と流通と販売を担う組織体としての企業とその経営と労働などの経済的、経営的、商業的、会計的諸活動の科学的究明を課題としています。これらを学んでいくことは、今日問われている経済的諸問題や企業経営のあり方などを正しく把握し、解決していくための不可欠の出発点でもあります。そこで、皆さんが興味・関心を高め専門の各分野に発展させていくことができるような基礎的な知識を提供すること、また論理的思考ができるような考え方・見方を提示することが当講義の目標です。

専 門 教 育 目

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 資本主義生産
2. 資本主義生産と企業
3. 企業形態
4. 企業集中と独占企業の形成
(企業集中形態)
5. 中小企業・協同組合・公企業
6. 資本主義企業と経営管理
7. 企業管理の基本的特質
8. 現代企業と経営管理

履修上の留意点

疑問などを積極的に提示して下さい。

成績評価の方法

ペーパーテストと出席状況により評価します。
再試験を実施する。

教 科 書

使用しないので、講義ノートをしっかり取るようにして下さい。

参 考 書 等

必要に応じて随時指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済学概説	しろた じゅん 代 田 純	商 1 必	4

講義のねらい

経済学は幅広い学問分野であり、また概説する場合にも学説史的なアプローチや、理論的なアプローチもあろう。しかしこの講義では理論的なアプローチはせず、経済現象のなかから、いくつかの分野を取り上げ、新聞やマスコミをにぎわしている問題が経済学の基礎からどのように考えられるのか、に焦点をしばらくしたい。最近、大学教育において、高校教育との関係が重視されており、高校の教科書から出発して、解説することを心がける。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 現代企業入門
現代日本の企業と「リストラクチャリング」、海外生産、国際競争
企業の種類、株式会社、所有と経営の分離、多国籍企業化
- 2 金融入門
銀行の不良債権問題と日本の不況
金融とは何か？ 信用創造 中央銀行 金融政策の働き
- 3 財政入門
日本の財政赤字 公共事業 国債発行残高
財政の機能 予算の仕組み 政府経費と租税
- 4 国際経済入門
日本の貿易黒字 海外直接投資 円高と円安
国際収支の仕組み 為替レートの決まり方

履修上の留意点

出席は問いませんが、私語は禁止します。

成績評価の方法

小テストを数回実施し、それで評価する。再試験は実施する。

教 科 書

特に指定しません。

科専
門
教
育
目
録

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済理論Ⅰ A・資本の原理	お お い し ゆ う じ 大 石 雄 爾	12以降入学生/経A1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12	4
経済原論Ⅰ		11以前入学生/経A1・2・3・4・5・6・7・8・9・10・11	

講義のねらい

現在私たちが生活している社会は、資本主義社会とよばれています。それは、利潤追求を目的とする資本が支配的な力となり、生産や分配のあり方を規定しているからです。現代社会はますます複雑化していますが、それだけに、まず資本主義経済の仕組みや一般的な経済法則を学ぶことは、この社会で生活する私たちにとって不可欠なこととなっています。この「経済理論ⅠA」では、科学的方法に基づいて立ち立てられたマルクス経済学の理論を中心に講義することになります。

現在の資本主義社会は、高い生産力を達成した、高度に発展した資本主義社会です。歴史的に見れば、それはきわめて豊かな社会といってよいでしょう。

たしかに、アメリカ・日本など少数の先進国では人々の暮らしは楽になりましたが、他方ではまたそれだけに、南の貧しい発展途上国の人たちとの経済格差が拡大しています。経済摩擦などの諸国間の対立も激しさを増し、地球環境問題という人類全体に関わる問題も深刻になりつつあります。そのうえ、豊かな国の代表である日本においても、労働者の長時間労働は解消されていませんし、不況の影響で失業率が一段と高まっているのです。これらの問題を解決していくためには、どうしてこうした深刻な、豊かな生活というにはほど遠い事態が生まれたのかについて、根本的に考えてみる必要があります。すなわち、これらの事態は資本主義の発展に不可避なことなのかどうか問われなくてはなりません。

新聞やテレビなどの報道に注意し、世界や日本で生じている経済・政治の現実の動きを知るとともに、資本主義経済の仕組みとその一般法則を学ぶ必要がここにあるといつてよいでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は、次のようなテーマの流れに沿って進める予定です。

1. 経済学とは何か
2. 商品の2要因と商品生産社会
3. 貨幣の本質と諸機能
4. 資本の一般的定式
5. 資本の生産過程
6. 賃金とは何か
7. 資本の蓄積過程
8. 資本の循環と回転
9. 社会的総資本の再生産と流通
10. 利潤と利潤率
11. 平均利潤率と生産価格
12. 資本主義経済の長期的傾向

履修上の留意点

経済理論は体系的なまとまりをもっているので、1年間を通して出席し、ノートをよくとることが必要です。なお、この講義は「経済理論ⅠB」と密接な関係にありますので、次年度以降に「経済理論ⅠB」を履修するとよいでしょう。

成績評価の方法

授業時間中に、何回か小レポートを書いていただきます。成績の評価は、後期に実施される定期試験の点数を基礎に、小レポートの点数を勘案して行ないます。

追・再試験を実施します。

教科書

金子ハルオ編著『資本主義の原理と歴史』（青木書店）2,000円

参考書等

大石雄爾著『商品の価値と価格』（創風社）
大石雄爾編著『労働価値論の挑戦』（大月書店）

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済理論Ⅰ・資本の原理 経済原論Ⅰ	はせがわ よしかず 長谷川 義和	12以降入学生/商1・2・3・4選 11以前入学生/商1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代の社会・経済システムは資本主義のシステムであること——20世紀末の日本と世界の経験は、そのことを改めて強く認識させるものであった。この講義では、この、誰にとっても逃れることの出来ない資本主義のシステムとはいかなるものであるかを考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期の講義では、バブルの形成と崩壊および世界的な規模での「マネーゲーム」を念頭に置きながら、「お金」が万能の力を発揮するのはなぜか、そのことに焦点を当てながら、資本主義の社会・経済システムの基本構造を解明していきたい。

20世紀は、資本主義が世界的システムに発展した時代だった。生産力の急激な発展と大量生産—消費—廃棄の社会・経済システムの発展。それがもたらす「豊かな社会」と失業・貧困、インフレーション、南北問題、環境破壊等々の問題、そしてそれへの社会的な対応。それらのあらゆる経験を通して、我々は、21世紀の初頭に資本主義の歴史的な意義と限界、そして、その限界をのりこえる道について考察しうる地点がようやく立っている。後期の講義では、前期の講義を基礎にして、資本主義の歴史的意義と展望について考察する。

履修上の留意点

この講義は、出来る限り毎回出席するようにしてほしい。

成績評価の方法

成績は、定期試験の結果を主に、授業中に何回か行なう小レポートを従にして決定する。

教科書

教科書は指定しない。参考書として大谷禎之介『図解 社会経済学——資本主義とはどのようなシステムか』（桜井書店）

参考書等

参考書として、大谷禎之介『図解 社会経済学——資本主義とはどのようなシステムか』（桜井書店）

その他

授業方法—講義

科専
門教
育

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済理論Ⅱ・ミクロ経済学 経済原論Ⅱ	はたなか たかし 畠 中 貴	12以降入学生/商1・2・3・4選 11以前入学生/商1・2・3・4選	4

講義のねらい

市場機構が果たす基本的な役割をよりよく理解するための理論（ミクロ経済学）について一通り講義する。市場機構がうまく機能しないのはどのような場合かという問題（市場の失敗）も扱う。

この講義の目標とするところは、以下の2点である。

- (1) 経済のありさまを自分なりに把握するための能力を磨く。
- (2) 注意深く筋道だった思考ができるようになるための訓練を行う。

講義の内容・授業スケジュール

授業は基本的に教科書に沿って行う。前期は、第1章（価格理論の考え方）、第2章（需要と供給）、第3章（消費者の選択行動）、第4章（消費者行動と需要曲線）、第5章（純粋交換経済）、第6章（費用と供給）、第7章（生産と費用最小化）、第8章（費用曲線と供給曲線）を扱う予定。後期は、第9章（競争市場と市場均衡）、第10章（長期均衡の性格）、第11章（独占と寡占）、第12章（市場機構と効率性）、第13章（不完全情報の経済学）、第14章（生産要素と派生需要）、第15章（労働と賃金）、第16章（貯蓄と投資）を扱う予定である。

履修上の留意点

上に挙げた目標を達成するためにはまず、教科書に書かれている内容を正確に理解し、ミクロ経済学の理論体系をしっかりと頭に入れる必要がある。抽象的な理論の内容は、一度説明を聞いただけではなかなか頭に入らない。根気よく予習・復習を行い、1年を通して頭を働かせ続けることが肝要なのである。

成績評価の方法

基本的に二度の期末試験の総合評価。

教科書

倉澤資成著『入門価格理論』第2版（日本評論社）3,000円＋税

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済理論Ⅱ・ミクロ経済学 経済原論Ⅱ	まついりゅうへい 松井柳平	12以降入学生/履修2・3・4級・商1・2・3・4級 11以前入学生/履修1・2・3・4級・商1・2・3・4級	4

講義のねらい

世の中にはさまざまな経済的社会的問題が存在する（いままで経済的社会的な問題意識をもったことのない極楽な人には、新聞を毎日読む習慣を身につけることを勧める）。さまざまな経済的社会的問題に対して、どのように考え答えていったらよいのであろうか。

現実の経済はあまりに複雑すぎて、そのままでは物事の本質を見失いかねない。そこで複雑な現実の経済をある程度単純化し、実際の経済の模型（モデル）を構築し、それを対象に分析をおこなうことになる。もちろん、プラモデルのような物理的な模型を作るのではないが、現実を単純化、抽象化することによって、本質を取り出そうというのである。経済モデルは数学を用いて記述される場合が多いが、経済学には、十分整理して議論しないと、とんだ理由づけをしかねない場合や、論点が未整理のため自ら混乱を招く例は少なくなく、このようなとき、数学的思考が役に立つのである。実際、数学における思考訓練は、無限の可能性の中から必要な論理をえぐり出すことにある。いわゆる抽象力である。それは単純化による論理の明確化と言ってもよい、あるいは見通しをつける能力と言ってもよい。理論にとって、数学的思考による自己点検は怠ることはできない。だが、本講義では微分等の数学は一切使わない。小学校レベルの四則演算と中学校レベルの1次方程式程度の理解のみを前提する。

こうして現実を単純化、抽象化した経済モデルを用いて得られた結果は、分析の前提となっているさまざまな仮定に大きく依存している。得られた結論は、あくまでそこでの仮定、つまり採用したモデルに依存しており、仮定が変われば、結論も自ずと変わりうる。そのため、経済学（少なくともミクロ経済学とマクロ経済学）においては、導かれた結論だけを暗記したりしてもまったく意味はない。議論の前提となるさまざまな仮定や論理的な推論プロセスといっしょになってはじめて、結論が意味をもつのである。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義では、ミクロ経済学の基礎理論を教場での実験等を通じて体験的に学習する。

ミクロとは微視的ということであり、ミクロ経済学は諸主体の行動の動機づけにまでさかのぼって、経済全体を理解しようとする。社会に存在する資源は稀少であり、すべての人の欲望を無制限に満たすことはできない。当然、稀少な資源の利用を、だれに、どれだけ、許すべきか、といった資源配分の問題が発生する。資源配分のメカニズムとしてはさまざまあるが、私たちが生活している市場経済における価格メカニズムが挙げられる。価格メカニズムは、その資源に対してもっとも高い価格を支払える人に優先的にその資源の利用を許すメカニズムである。本講義ではこの価格メカニズムという資源配分の機構に焦点を当てることになる。

こうした価格メカニズムのしくみを、教場での市場取引のシミュレーション等を通じて学んでいくことになる。

履修上の留意点

授業に出席する人には、授業前の予習が必須要件として求められる。授業に出席していれば偉いというものではない。授業後、熟考してもなお疑問点があれば積極的に質問してほしい。

成績評価の方法

期末試験によって評価するが、授業中の練習問題解答のプレゼンテーションや実験への参加などにも特別の評価を与える。（再試験実施）

教科書

開講時に指示する。

参考書等

授業中に随時、紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済理論II・マクロ経済学 経済原論II	あ ら き よ し ひ ろ 荒 木 勝 啓	12以前入学生/経A・2・3・4選・商1・2・3・4選 11以前入学生/経A・2・3・4必・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

乗数理論の完全理解、貨幣の役割と信用創造理論、IS-LM-BP曲線による国際経済と国内経済の関係の理解、経済成長と技術進歩の理解という5つのメインテーマを中心にマクロ経済理論を学習する。

講義の内容・
授業スケジュール

授業の内容は次の通り。

1. 国民経済の成立
2. 所得の循環図式
3. 国民所得の概念
4. 国民所得の決定
5. 政府・輸出入の導入
6. 乗数理論
7. ビルト=イン=スタビライザー
8. 貨幣とは何か
9. 信用通貨の成立
10. 信用創造理論
11. 貨幣数量説と古典派学説
12. 流動性選好説
13. LM曲線
14. 投資関数
15. IS曲線
16. IS=LM曲線による均衡実質国民所得の決定
17. マンデル=フレミングの定理
18. IS=LM=BP曲線による国際経済と国内経済の関係の理解
19. コブ=ダグラス生産関数に基づく経済成長率の算出
20. ハロッド=ドーマーモデル
21. 新古典派成長理論
22. 期待理論その1
23. 期待理論その2

成績評価の方法

再試験実施。

教 科 書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経済理論Ⅱ・マクロ経済学	あさの かつみ 浅野 克巳	12以降入学生/経A1・2・3・4履・商1・2・3・4履	4
経済原論Ⅱ		11以前入学生/経A1・2・3・4履・商1・2・3・4履	

講義のねらい

現代経済学は「マクロ理論」と「ミクロ理論」からなる。「マクロ」とは「大きい」という意味をもち、「ミクロ」とは「小さい」という意味をもつ。このコースでは経済全体の動きを分析する「マクロ理論」の基礎を勉強する。たとえば、景気の良し悪しは何によって決まるのか？物価の変化はどのような要因によるものか？現在、我が国の失業率は上昇傾向にあるといわれるが、その原因は何か？さらに政府の経済活動についてどのように考えるべきか。また輸出・輸入、経常収支といった外国との経済関係をどのように捉えたらよいか。マクロ理論はこれらの疑問に答えようとするもので、きわめて日常的で身近な分野であるといえる。しっかり勉強すれば、面白くてためになる「一粒で二度おいしい」基礎コースの1つだ。

なお、上にも述べたように「ミクロ理論」とはペアであるから、必ず両方の授業を履修することが現代経済学を体系的に理解するためには不可欠である。

講義の内容・授業スケジュール

年間のスケジュールは以下のとおりであるが、理解しにくい部分をできるだけクローズアップし時間をかけて説明するが、テキストなどで「読めばわかる」箇所は簡単に済ませ時間の節約を心がけたい。

1. マクロ経済の仕組みと考え方
2. 国民経済計算と国民所得の諸概念
3. 国内総生産とは何か、それはどのようにして決まるのか
4. 独立支出の変化と国内総生産の関係
5. 消費と投資は何によって決まるのだろうか
6. 利子率とは何か
7. IS-LMモデルと財政金融政策の考え方
8. インフレとデフレ
9. 輸出と輸入
10. 経済成長の仕組み

履修上の留意点

現代経済学を勉強するうえで不可欠なことは、現実の経済問題にできるかぎり関心をもつことだ。これらはさまざまなメディアをおしあふれるほど提供されている。特に『日本経済新聞』には毎日必ず目をおしてもらいたい。授業でも関連する記事やデータは参考にするので、できるだけ持参してもらいたい。また必要な記事・データはスクラップ・ブックなどに整理しておくこと、授業だけでなく将来の就職試験などにも大いに役立つだろう。

また、経済学を理解するために数学の知識が必要だといわれるが、入門的なコースで用いる数学は高校の基礎解析あるいは代数程度で十分。必要があれば授業の中でも説明するが、要は「習うより慣れる！」のつもりで反復練習にかざる。

ついでに、初心者でも使いやすいコンピュータのソフトが「駒沢大学情報センター」に常備されている。それらを利用しシミュレーションしてみることも、おもしろく経済学を学ぶ方法だろう。ともあれ、授業には必ず出席しノートをしっかり取り、予習復習を実行すれば「100点取るのも夢じゃない！」なお授業中は、私語厳禁、勝手に席を立たないこと、ケータイなどもってのほか、以上厳守。守れない者は、直ちに退席してもらおう！

成績評価の方法

定期試験（再試験も実施する）による。問題は2種類出す。1つは論述形式で、もう1つは客観式（グラフを書いたり、簡単な計算問題など）を数題出題する予定。再試験実施。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）1995年

参考書等

青山『経済原論の頻出問題』（実務教育出版）1998年、これは問題集だけど、できるかぎり練習問題を解くことも、理解を確実にする第一歩。自分で復習を兼ねて解いてみることをすすめる。この方法は公務員試験等の国家試験の受験対策としても大変有効だ。

その他

経済学部浅野ゼミHPの『過去問コーナー』には、授業に必要な資料・参考文献、あるいは練習問題と解答などを掲載しておくので、各自でダウンロードして参考にしてもらいたい。また、質問その他どんなことでも書き込みOK！大いに利用してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済学史	ふくはら よしのぶ 福 原 好 喜	経 A1・2・3・4選必 商1・2・3・4選	4

講義のねらい

学問としての経済学の成立は、近代ブルジョア社会の生誕と軌を一にしている。例えばイギリスの重商主義、フランスの重農主義、ドイツの歴史学派、そして又イギリスの古典学派などの経済諸理論は、一方では世界資本主義の発展段階に、そして他方ではその国民経済の編成過程によって色濃く規定されている。経済学の歴史を単に経済学者による経済理論の受容、継承の歴史としてではなく、近代ブルジョア社会の成立、並びにその変容の過程の中で捉えようと思う。近代における経済学の成立・体系化の歩みを、近代資本主義の成立並びに確立過程の中に位置づけるというのが私の基本的視角である。講義は重商主義段階からマルクス経済学の成立までを包括する。経済学の歴史とはまさしく近代ブルジョア社会の自己認識の歴史に他ならない。かかる観点から、学生諸君に経済学及び経済学史に対する心底からの興味を喚起できればと思っている。授業ははじめに近代ヨーロッパの生成史を英、仏、独について概括し、後半で各国経済学の成立史を講義する。

履修上の留意点

出席点を40点つけるので不真面目な人はとらないでほしい。大人数の授業となるので、私語居眠りは厳禁、ひどい場合は退場願う。授業は学生の興味ある具体的な話から始める。

成績評価の方法

出席もせず単位がほしいなどという不屈きな学生がいるので出席を頻繁にとる。テストも厳格につけるつもりなので、それでもという熱意のある学生のみとってほしい。前期レポート、後期試験。再試実施。

そ の 他

一部で横道の話の方が面白いという風評があるが、学生の次元で経済学の話をしようという意図であって、本人には少し不本意な評価である。授業には全力投球する。PHS禁止。履修者多数で授業の混乱が予想される場合、履修者の制限をする。

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済史	やすもと 安元 みのる 稔	経A1・2・3・4選必 商1・2・3・4選	4

講義のねらい

この講義の目的は、社会科学のものの見方がある程度身につけた諸君に、『経済史』という学問領域の特色を知ってもらうことです。経済学と歴史学双方の学問的特色をもった『経済史』とは、人間のどのような営みを対象にするのか。どのような切り口で対象に接近するのか。今、『経済史』では何が問題になっているのか。先ず、こうした点を簡単に説明します。

次に、外国の経済史を勉強する意味について考えてみます。特にわれわれが生活しているアジア社会の歴史的な発展とヨーロッパのそれとは、どこが、どのように違うのか。環境・政治的要因・技術のあり方は、どのように経済発展の道筋を決定するのか。幾つかの考え方を紹介しながら、広い視野からこの点を捉え直してみたいと思います。

講義の後半では、ヨーロッパの中世以降における経済発展を取りあげます。中世に生きる人々は、物質的な欲求の充足をどのような形でやってきたのか。そのためにどのような制度・慣習・技術を自らのものとしてきたのかを考えてみます。およそ1000年から1500年のヨーロッパは、農業中心の社会でした。農業生産はどのような形で組織され、その生産性はどの程度のものであったのか。中世社会における都市の機能は、どのようなものであったのか。中世社会が崩壊し、近代の誕生を告げた1500年～1750年におけるヨーロッパの社会経済システムは、中世のそれとどのように違っていたのか。こうした点を具体的にみていきます。

最後は、現代社会の根幹を形造った産業革命＝工業化とは何であったのかを説明します。工業化の波は、次々にヨーロッパ諸国、さらにアジア・その他の地域に拡大して行きました。国際経済の生成と発展の時期、19世紀末期から20世紀初頭の世界経済のメカニズムを具体的に説明して行くつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

第1編 『経済史』とは何か

- | | |
|---------------|--|
| I 『経済史』の対象と課題 | 1. 「経済的営為」の特色
2. 『経済史』の課題 |
| II 資源配分の方法 | 1. 市場経済と非市場経済（慣習・指令経済）
2. J・R・ヒックスの『経済史の理論』 |

第2編 外国経済史を学ぶ意味

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| I ヨーロッパとアジア | 1. 比較史の視点 |
| II 環境・政治支配の型と経済発展 | 2. E. L. ジョーンズの『ヨーロッパの奇跡』 |

第3編 ヨーロッパ経済の歴史的発展

- | | |
|--------------|--|
| I 中世の経済と社会 | 1. 農業生産と土地領主制
2. 中世都市と商業組織
3. 中世社会経済システムの崩壊 |
| II 近世の幕開け | 1. 農業革命・価格革命
2. 「長期の18世紀」の人口
3. プロト工業化 |
| III 最初の工業国家 | 1. 産業革命をどう捉えるべきか
2. 人口の動向と農業革命
3. 18・19世紀イギリスの経済変動
4. 都市化と工業化 |
| IV 工業化の伝播と拡大 | 1. ヨーロッパ大陸諸国の工業化
2. イギリス経済の退潮 |
| V 国際経済の生成と発展 | 1. 国際経済の構造
2. ヨーロッパとアジア |

履修上の留意点

この講義は、ヨーロッパを中心に、経済発展を歴史的に概観し、経済史的なものの見方を身につけることを主な目的にしています。聞き慣れない用語・概念や事実が多くでてきますので、億劫がらずに調べ、理解して行くことが必要です。受講者は、授業スケジュール・講義資料（講義中に配布します）をいつも持参して下さい。

成績評価の方法

前期試験を行わない代わりに、夏休みに参考書 E. L. ジョーンズ『ヨーロッパの奇跡』を読み、レポート（200字詰め原稿用紙10枚以上＝40点配点）を提出してもらい、後期試験（60点配点）と総合して成績を評価します。

教科書

参考書等

その他

特に指定しません。

E・L・ジョーンズ『ヨーロッパの奇跡－環境・経済・地政の比較史－』（名古屋大学出版会）

授業の方法は、講義方式です。但し、OHP・ビデオ・資料を使って説明します。再試験実施。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経済政策	はぎわら しんじろう 萩原 伸次郎	経A1・2・3・4選必 商1・2・3・4選	4

講義のねらい

講義の内容・
授業スケジュール

現代の経済政策を歴史的パステキティブの下に講義します。経済政策を経済構造との関連で把握する重要性を理解してほしいと思います。

1. 経済政策論の課題 2. 現代資本主義の形成と経済政策（大恐慌からニューディールへ、ファシズムとブロック経済化） 3. 現代資本主義の確立と経済政策（パックス・アメリカナの形成、巨大化した国家と経済政策、経済成長とケインズ政策） 4. 現代資本主義の構造転換と経済政策（ケインズ政策の危機、新自由主義的経済政策、金融自由化と金融不安定） 5. 21世紀の経済政策とは

履修上の留意点

教科書は講義において参照しますから必ず持参して下さい。またノートも必ず持参し、筆記を怠らないで下さい。必要事項は板書します。

成績評価の方法

定期試験と出席率

教科書

萩原伸次郎『アメリカ経済政策史』（有斐閣）3,000円

参考書等

田代・萩原・金澤『現代の経済政策』（有斐閣）2,900円

その他

授業は講義形式で行います。教科書、参考書の関連箇所について詳しく解説する方式をとりまますから、教科書は授業に持参し、ノートをとって下さい。良い成績をとる最も効率的方法は、授業に出席し、教科書を参照しながら白筆ノートを作ることです。講義用の資料は教科書に含まれていますから配布しません。

科専門
教育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財政学	さとなか 里 中 恆 志	経A1・2・3・4選必	4
		商1・2・3・4選	

講義のねらい

経済生活の中で公共部門の占める比重は確実に増加しつつある。財政学は公共財政経済を対象とする学問であるが、そこでは市場経済原理の私経済とは異なる原理が作用する。公経済は租税徴収等による資金調達と、それをとおしての財政支出によらねば需要を充足できない経済領域である。したがって租税負担配分の方式、財政支出基準の考え方を問題にする。経済社会の変遷につれて負担の方式や支出基準についての考え方も変化する。そして公経済の比重が高まるにつれて、公経済と私経済の相互のかかわりもますます重要になる。

国民が財政意志の形成に参加する方法は民主主義の手続きをとおしてであるから、有効な財政政策の実現のためには、国民が財政をコントロールするルールと、その背後に作用し合う諸力について理解していなければならない。国民はまた財政政策に対する基礎的な判断基準をもっていなければならない。このような観点から財政意志の形成過程、租税徴収による負担の配分、歳出の効率と合理性、財政の総需要管理政策について講ずる。

講義の進め方はまず財政意志の形成過程では予算の編成手続きの理解から入る。歳入面については租税収入を主要税種別に扱い、つぎに歳出面について主要経費別の考察を進める。さらに公経済の私経済へのかかわりについて総需要管理政策の視点から講ずる。

講義の内容・授業スケジュール

(第1週) 講義内容の紹介と年間授業計画の説明 (第2週) 公共財と公共部門 (第3週) 財政の歴史概略 (第4週) 予算編成と主計局の査定 (第5週) 予算編成と政党政治 (第6週) 予算政府案と議会審議 (第7週) 予算の執行と競争入札 (第8週) 予算の政治過程 (第9週) 租税原則学説 (第10週) 給与所得税と課税の普遍性 (第11週) 申告所得税と累進課税 (第12週) 法人税と徴税技術 (第13週) 国際化と移転価格税制 (第14週) 一般消費税と付加価値 (第15週) 地方税と地方歳出 (第16週) 地方財政費と財政調整の制度 (第17週) 機関費と純粋公共財 (第18週) 公共事業費と費用＝便益分析 (第19週) 公共事業費と公共財産の形成 (第20週) 社会保障関係費と所得再分配 (第21週) 補助金とスビロオーバー (第22週) 公債費と公債負担 (第23週) 総需要管理政策と国民所得の決定 (第24週) 課税乗数と均衡予算定理 (第25週) 公債による財源調達と債券価格 (第26週) 大量国債の累積とその限界 (第27週) 財政金融政策と国際収支 (第28週) 財政投融资と政府貯蓄 (第29週) 試験と評価についての説明 (第30週) 試験

授業の配当曜日によって年度授業回数に若干の異動があり、予定どおりの時間数が組めないことがある。その場合は一部予定を割愛することがある。

履修上の留意点

関連科目として、経済学部専門教育科目である「経済原論Ⅱ」、「価格理論」、「国民所得論」、「行政法」の履修が望ましい。「財政学」は経済と政治の学際的分野の科目でもあるから、他学部履修科目として開設されている法律学科の「行政法各論」、政治学科の「地方自治法」等の履修も有効である。

成績評価の方法

成績評価は学期末テストとして行われる試験による。試験は論述式による。自筆のノート持ち込み可。再試験を実施する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

大蔵省大臣官房調査企画課長編『図説日本の財政』各年度版(東洋経済新報社)
野口悠紀雄 著『公共政策』モダン・エコノミックス12(岩波書店)2,000円
中谷巖 著『入門マクロ経済学』(日本評論社)3,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
金融論	しろた じゅん 代 田 純	経 A 1・2・3・4 選必 商 1・2・3・4 選	4

講義のねらい

4～5月においては、金融入門として、金融論の基礎について説明する。金融とは何か？についてまず解説する。資金の貸借関係としての金融について説明し、部門間のマネーフローについて説明する。また、金融の区分について解説し、間接金融、直接金融についても説明する。

6～7月においては、間接金融について日本の実情に即して説明する。伝統的に日本においては企業金融の特質は間接金融の優位であったことを明らかにする。メインバンク、系列融資、護送船団方式、業態規制といった日本の特質についても説明する。

9～10月においては、金融の証券化、換言すれば間接金融から直接金融へのシフトが進んでいることを明らかにする。80年代以降の株式発行増加、90年代に入ってから社債発行増加によって、企業金融は証券形態での資金調達を増加させた。90年代後半からは、海外に居住する外国人投資家による日本株投資も増加している。

11～12月においては、日本の証券市場の構造変化について説明する。外国人投資家による日本株投資が増加する一方、株式相互持ち合いが崩壊している。また日本においても日本版401Kなど年金基金が株主として成長しつつある。株式保有構造の変化に伴い、日本型経営にも変化が生じていることを明らかにする。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 金融入門 部門間資金フロー 金融についての諸学説
- 2 日本における間接金融
- 3 金融の証券化 間接金融から直接金融へ
- 4 証券市場の構造変化

履修上の留意点

出席は問わないが、私語は禁止します。2回生以上の履修が望ましい。

成績評価の方法

小テストを実施し、それで評価します。再試験は実施します。

教 科 書

前期はテキストの指定はしない。後期は代田 純『日本の株式市場と外国人投資家』（東洋経済新報社）2001年を使用する。

科専門
教
目
育

科目名	担当者名	配当学科	単位
社会政策	みつおか はくみ 光岡博美	経A1・2・3・4選必	4
		商1・2・3・4選	

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけではなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととした。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本経済論	こばやし まさと 小林 正人	経A1・2・3・4選必 商1・2・3・4選	4

講義のねらい

日本経済の（第二次世界大）戦後の歴史について総合的に講義する。とくに日本経済を支える産業の発展史について詳しく説明し、これに対する日本的経営システムの役割について検証する。さらに、平成不況のなかで浮き彫りになってきた日本の経済システムの課題について述べる。

日本経済は、高度経済成長をへたのち、幾度かの「危機」（とくに1970年代の石油ショックと、1980年代後半の円高）をのりこえてきた。しかし今日の平成不況の中で、日本の経済システムや経営システムの問題点も浮き彫りになった。これまでの発展の条件が、地球規模での技術発展と競争環境の中で、逆の条件に転化したのである。このような経済の発展や変化の意味をリアルにつかむには、産業や企業のレベルにまで立ち入り、技術発展や企業間競争の実態について調べる必要がある。講義ではここに力を注ぐ予定である。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 戦後日本経済の展開過程
景気の現状と雇用情勢
戦後改革
日本の高度経済成長：歴史とその原因
産業政策の役割
石油ショック、円高、バブル経済、平成不況
- イノベーションと産業発展
産業構造の理論と歴史
主要産業の歴史：鉄鋼、自動車、電機、半導体、工作機械
日本型経営システムの意義。欧米諸国との比較
製品の安全性とPL法
- 日本の経済発展の総括と展望
平成不況の意義
情報通信革命（インターネット）

履修上の留意点

配布した講義資料は保管をする。講義ではOHPなどをよく使うので、見やすい位置に着席すること。また、講義の節目に出席状況の調査をする。

成績評価の方法

学期末テストによる。試験は論述式である。再試験は実施する。

教科書

なし

参考書等

適時指定する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
国際経済論	とくなが としあき 徳 永 俊 明	経A 1・2・3・4 選必	4
		商 1・2・3・4 選	

講義のねらい

学問への出発点は「私はどこにいるのか？」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけではありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。では「どこ」にいるのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えになりません。どのような世界なのか、どのような日本にいるのか——少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているものです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして“社会主義”経済に十分言及することはできません。資本主義世界経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは〈階級的支配関係〉と〈民族的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成立し始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は、言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としていますが、同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう1本の命綱としていることが重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすものです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基本的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

講義の内容・授業スケジュール

〈講義のテーマ（予定）〉

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日＝第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱の一つずつ検討します。

前期——世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源の蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

後期——今日の世界経済

- (1) 第2次世界大戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民地主義と世界経済
貿易・国際通貨制度・資本輸出——（「援助」と多国籍企業）・〈南北問題〉と新国際経済秩序
- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

〈講義の方法〉

教場では毎回資料をプリントして配布し、それを説明するという形で講義をすすめます。

成績は世界経済の基本事項、世界経済の“枝葉”ではなく、“幹”の理解度をミニ・レポート（3回予定）および学年末レポートで評価します。（レポート評価のため追・再試験は行ないません。）

成績評価の方法

参考書等

講義の中で適宜紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
商学総論	おおきかつお 大吹勝男	11以降入学生/商1・1・1・1選必	4
		10以前入学生/商1・2・1・1必	
		経A1・2・3・4選	

講義のねらい

近年、大学においてさえも、学問が軽視される風潮にあります。そして生残りをかけ、学生集めのために実用主義を売りものにする大学もあります。また、大学は社会的要請に答えねばならないという主張のもとに、その実、社会ではなく、会社・企業のために大学が存在することを主張し、かつ君たちに会社人間になることを勧めるマスコミや評論家等がいます。そして一方で、学問に背を向け、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は入学した君たちのためにあり企業のためにあるものではありません。そして、大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学でしか学べないこと、物事の見方、考え方を学ぶことです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。実用的なことは、その場限りのものであり、また入社してから容易に身につくものなのです。何年間かキャリアを積んだビジネスマンから聞くことは、大学時代に学問をしておくべきであったということです。諸君も、使い捨てのサラリーマンになることのないように、体系的に思考する能力を身につけて下さい。そして、社会に出て現実に困難な問題に出会った時に、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、科学的経済学の立場から流通論を、そして商業論を講義するものであり、その内容からして商業経済学といいかえてもよいとおもいます。したがって、授業では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論（物流の基礎理論を含む）および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。そのためには一年間を通して授業に出席することが必要です。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策のための基礎理論を提供するとおもいます。

科専門教育

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目の通りですが、本年度は、これらの項目について講義しながら、現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論について特に力を入れたいと思います。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・流通時間・流通諸費用）
- (4) 資本の回転と流通資本
- (5) 商業資本の本質論
- (6) 商業資本の自立化論・電子商取引（eコマース）
- (7) 商業利潤論
- (8) 純粹流通費用論
- (9) 商業労働論
- (10) ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）
- (11) 商業資本の回転と価格
- (12) 大規模商業資本論
- (13) 独占的商業資本論
- (14) 卸売排除論
- (15) 流通系列化論

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねてレポートを課すこともありうる。また各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確かめ、一層の理解を深める手段とします。

期末試験は論述形式でおこなう。再試験は実施する。

教科書

- | | |
|------------------------------|------------------|
| 1 大吹勝男著『新版流通費用とサービス理論』（梓出版社） | 5 『経済学論集』第22巻第4号 |
| 2 『経済学論集』（駒沢大学経済学部発行）第20巻第2号 | 6 『経済学論集』第26巻第1号 |
| 3 『経済学論集』第20巻第4号 | 7 『経済学論集』第27巻第1号 |
| 4 『経済学論集』第22巻第1号 | |

以上、2から7までの『経済学論集』には、大吹勝男の執筆する商業資本、商業利潤および商業労働に関する論文が掲載されていますから、図書館にてコピーして利用して下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営学総論	い わ な み ふ み た か 岩 波 文 孝	11以降入学生/商1・2・3・4選必	4
		10以前入学生/商1・2・3・4選必	
		経A1・2・3・4選	

講義のねらい

経済学部には、現代企業の経営に関連する科目が多く開講されています。とくに経営学史、経営管理論、労務管理論、経営戦略論、財務管理論、マーケティングなどは、現代企業の構造と機能、あるいは企業経営に関連する諸問題の系統的・体系的理解には不可欠な科目です。経営学総論では、経済学部において経営学関連科目を学ぶことの意義について講義します。日本の企業を取り巻くビジネス環境は、経済のグローバル化、企業経営の国際化、IT革新の急激な進展など急激に変化しています。本講義では、企業経営を理解するための基礎的な知識の獲得を目的とします。はじめて経営学を学ぶ学生に向けて、企業経営の仕組みについて身近な例を取り上げながら、授業を進めていきます。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 授業の概要・ガイダンス
- 2 現代の企業社会と経営学を学ぶ目的
- 3 経営学とは何か（経営学の対象と問題領域）
- 4 現代企業とマネジメント
- 5 マネジメントの新たな動向
- 6 現代企業のトップ・マネジメント
- 7 経営資源と経営戦略
- 8 企業経営と組織
- 9 企業活動と意思決定
- 10 企業の資金調達と運用
- 11 経営システムと情報システム
- 12 企業文化の意味と形成

授業の進め方について、付言しておきます。授業の進行はテキストの順序とは異なります。

履修上の留意点

現代社会の諸事情や企業経営について興味関心を持って受講してもらいたい。

成績評価の方法

レポートおよび学年末の定期試験により総合的に評価します。再試験実施。

教科書

片岡信之・齋藤毅憲・高橋由明・渡辺峻著『はじめて学ぶ人のための経営学』（文真堂）2,000円

参考書等

随時レジュメ等配布します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会計学総論	もりた よしひろ 森 田 佳 宏	11以降入学生/商1・2・3・4選必	4
		10以前入学生/商1・2・3・4必	

講義のねらい

会計とは、特定の経済主体が営む経済活動およびこれに関連する経済的事象を、主として貨幣額で測定・記録・伝達する行為である。また、これらの行為を通じて得られる各種の情報を会計情報という。この会計情報の中心的存在が貸借対照表や損益計算書などの財務諸表である。会計学の主たる研究領域としての企業会計は、企業が作成する会計情報の提供先の相違により、財務会計と管理会計とに分類されるが、とりわけ財務会計は、財務諸表の作成および公開をその主要な課題とする。公認会計士による会計監査も財務会計の領域に属する。

本講義は、会計学の初学者を対象として、会計学の概要を理解し、財務会計討論や会計監査論を学習する上での基本的な知識を習得することを目的としている。このためには、財務諸表の作成・公開についての制度面・理論面からの理解のみならず、これと表裏一体をなす財務諸表作成のための技術的な側面、すなわち簿記の基礎についての理解も不可欠である。

講義の内容・授業スケジュール

財務諸表の作成から公開に至る一連の過程を概括的に理解できるよう、会計の制度面、理論面および技術面における基本的事項について解説を行う。

具体的には、わが国の企業会計制度、簿記の基礎、財務諸表の仕組み・内容、財務諸表の公開、監査制度の順で講義する。スケジュールとしては、簿記の基礎（日本商工会議所簿記検定試験3級程度）までを前期、それ以降を後期とする予定である。

成績評価の方法

原則として期末試験の結果により評価する。なお、再試験は実施する。

教科書

新井清光『現代会計学』（中央経済社）2,500円

加古宜士、渡部裕巨編著『新検定簿記講義3級商業簿記』（中央経済社）648円

参考書等

適宜紹介する。

科専門教育
目録

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
会計学総論	てらつぽ おさむ 寺 坪 修	経A1・2・3・4選	4

講義のねらい

経済学専攻の履修者に、会計学の全体を判りやすく講義する。

講義の内容・授業スケジュール

経済や経営と比較しながら、「活きた会計」を取りあげる。講義は教科書に沿って行う。内容等は、おおむね次のとおりとなる。

〈前期〉

会計とはどのようなものか（会計基礎概念）

簿記の基本的な考え方（複式簿記原理）

財務諸表にはどのようなものがあるか（財務諸表論）

〈後期〉

財務諸表で何が判るか（財務分析）

経営管理のための会計（管理会計）

監査とは（会計監査）

履修上の留意点

教科書・電卓を持参すること。

成績評価の方法

小テストと定期試験による（教科書参照可）。

教科書

寺坪修著『会社会計論』（創成社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商業政策	いわした 岩 下 ひろし 弘	商1・2・3・4選必	4
		経A1・2・3・4選	

講義の内容・
授業スケジュール

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
 - 1 90年代の小売商業構造
 - 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
 - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 わが国の流通政策論
 - 1 中小小売商保護政策論
 - 2 流通近代化政策論
 - 3 流通システム化計画論
 - 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
 - 1 70年代の流通
 - 2 80年代流通産業ビジョン
 - 3 90年代流通ビジョン
 - 4 21世紀へ向けた流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
 - 1 百貨店法
 - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
 - 2 中小小売商業振興法
 - 3 小売商業調整特別措置法
 - 4 大店法
 - 1) 1973年法 2) 1979年改正法
 - 3) 1991年改正法
 - 5 凍結宣言、要綱及び条例
 - 6 通産省による行政指導＝抑制措置
 - 7 規制緩和
 - 1) 規制緩和の流れ－前川レポート、行革審報告
 - 2) 日米構造問題協議 3) 適正化措置
 - 8 特定商業集積法
 - 9 街づくりと都市計画
- 五 流通政策の転換
 - 1 大店立地法
 - 2 中心市街地活性化法
- 六 海外の流通政策
 - 1 イギリス
 - 1) 出店調整政策－都市・農村計画法
 - 2) 日曜営業問題－商店法
 - 2 フランス－ロワイエ法
 - 3 ドイツ－土地利用計画
 - 4 アメリカ－ゾーニング規制

専
門
教
育
目

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席により評価。再試験は実施しない。

教 科 書

指定しない

参 考 書 等

その都度指示する

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
マーケティング	曾 我 信 孝	商1・2・3・4選必 経A1・2・3・4選	4

講義のねらい

大規模企業が展開するマーケティング政策の原理を理解してもらい、それらが消費者にどのような影響を与え、経済さらには文化に影響を与えているかも考えてもらうことを狙いにしている。

講義の内容・授業スケジュール

1. マーケティングの問題点
 - ・消費者の価値観とマーケティング支配
 - ・マーケティングと収奪関係
2. 製品政策
 - ・新製品開発が意味するもの（切れない電球は出来ないのか）
 - ・差別化政策、多様化政策、細分化政策（なぜブランドがあるのか）
 - ・ライフサイクルの短縮化（なぜ「モデルチェンジ」をするのか）
3. 価格政策
 - ・価格の概念（価格の内訳は何であろうか）
 - ・価格設定の方法（高級品ほど利益率が高いのはなぜか）
 - ・新製品の価格設定（価格操作による購買意欲の操作を知っていますか）
 - ・再販売価格維持（定価とオープン価格のちがいは何でしょう）
4. チャネル政策
 - ・流通組織、流通経路（商品はメーカーから消費者までどのように流れていますか）
 - ・販売チャネル（販売チャネルを支配する理由は何でしょう）
 - ・チャネルの支配形態（ディーラーって何ですか）
5. 販売促進政策
 - ・販売員管理（賃金の高低で販売員を管理できますか）
 - ・広告（貴方の潜在意識が広告にさらされているのを知っていますか）
 - ・サービス（現在存在していないようなサービスを思いつきますか）
6. 国際化戦略
 - ・現地化（なぜ日本企業は生産の現地化をする必要があったのか）
 - ・マーケティングの現地化（なぜ現地でマーケティングを展開する必要があったのか）

履修上の留意点

講義を通じて基礎理論を理解してもらうことはもちろんですが、毎時間2～4度は問題を提起します。学生諸君は、単に講義を聴くだけではなく、積極的に問題意識に取り組む姿勢を持っていただきたい。

成績評価の方法

1. 期末試験を最重視する。期末試験は年間の講義範囲から論述問題を提出する。評価の基準はその内容を十分理解でき、さらに現実の問題意識ができていのかどうかを判断する。したがって、参考文献等の抜き書き解答等には厳しい評価となる。
2. 中間期に夏休みの課題としてレポートを提出してもらい評価の参考にする。
3. 著しく授業を妨害したものは、評価対象からはずす可能性がある。
4. 再試験は実施する。

教 科 書

指定なし

参 考 書 等

1. 曾我信孝ほか3名著『現代マーケティングの基線』（同文館）3,000円
2. 曾我信孝『総合商社とマーケティング』（白桃書房）4,000円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営管理論	ひやくた よしはる 百 田 義 治	商1・2・3・4選必	4
		経A1・2・3・4選	

講義のねらい

21世紀を迎えて、日本企業は大きく変貌しています。その底流には、IT革命やグローバル化の進展があります。IT革命はいん石が地球に衝突した（恐竜の死滅）のと同様な影響を産業構造・経営組織・労働組織に及ぼし、コア・コンピタンスを武器としたネットワーク型経営を現実化し、ビッグ・ビジネスだけが競争優位を確立できる時代に終止符を打とうとしています。また、ボーダレス化したグローバルな市場統合はメガ・コンペティション（大競争）を現出し、「グローバル・スタンダード（アメリカン・スタンダード）」が「日本的経営」の根本的変革を追っています。頻繁かつ大規模な企業再編（合併や提携）、持株会社の解禁・普及、企業集団や下請関係の再編、猛烈なリストラ、終身雇用・年功制の崩壊、能力主義・成果主義の台頭などなど、日本企業の変貌が日々新聞やテレビで報じられています。本講義では、このような激動のなかにある日本企業の経営管理の問題に焦点をあて、国際比較の視点からその現状と今後の課題についてアプローチします。

講義の内容・ 授業スケジュール

（前期の授業スケジュール）

- ① 授業ガイダンス（経営管理論とはどのような学問か）
- ② 現代企業と経営管理（経営管理とは何か）
- ③ 大量生産体制と経営管理（テイラー・システム、フォード・システム）
- ④ 経営管理と人間性（人間関係論と行動科学、労働の人間化…）
- ⑤ 経営組織の基本形態と発展形態（ラインとスタッフ、事業部制、カンパニー制、分社化…）

（夏休みのレポート）

（後期の授業スケジュール）

- ⑥ IT革命の進展と企業経営の変容（ネットワーク型経営と企業間関係）
- ⑦ グローバリゼーションの進展と企業経営の課題（グローバル化、ローカル化、異文化共生）
- ⑧ 日本的企業システムの変化（所有構造、統治システム、企業と政府）
- ⑨ 日本的生産システムの再編（トヨタ・システム、製販統合システム…）
- ⑩ 日本的労働システムの変化（終身雇用、年功制、能力主義、成果主義、…）

（学年末試験）

履修上の留意点

現代の企業経営をめぐるホットな話題を取り上げ、授業テーマと関連づけて講義します。新聞・雑誌・ニュースなどを通して企業、経営、労働などに関心を向け、現代の企業経営についての問題意識をもって授業に参加してください。また、経営学総論、経営学史、労務管理論、経営戦略論、財務管理論、マーケティングなどと併せて履修することを勧めます。

成績評価の方法

出席、レポート、試験で総合的に評価します。再試験なし。

教 科 書

稲村毅・百田義治編著『経営組織の論理と変革』（ミネルヴァ書房）2002年

参 考 書 等

授業や課題レポート（夏休み）に関連して随時紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労務管理論	ほり 堀	商1・2・3・4選必	4
		経A1・2・3・4選	

講義のねらい

最近急激な変化をみせているわが国の労務管理の基本的動向と特徴を把握することをねらいとしている。高度経済成長期に形成されたいわゆる「日本的経営」ないし「日本的労務管理」は年功賃金、終身雇用、企業別組合を柱としていた。1970年代以降、大企業は基本的にはこうした労務管理慣行ないし制度の利点と有効性を認識しながらも、他方で「画一的年功制からの脱皮」を目指して「能力主義管理」を推進して、その再編・強化を図った。こうして「日本的労務管理」は今まで「良好なパフォーマンス」を示してきた。ところが、近年における日本経済の低迷のなかで、中高年層を中心に正規従業員の大量リストラが断行されるとともに、雇用形態の多様化、年俸制の導入などにみられる賃金・処遇の成果主義化、職能資格制度の再編、採用方法の柔軟化、退職金・年金制度の改編等々、雇用と賃金・処遇に関する基本的な制度・慣行にかつてない変化が進行してきている。これらの変化は従来の「日本的労務管理」からの脱却であり、そこにみえるのは人事労務への市場原理の導入、内容的にはその流動化、個別化、成果主義化という傾向である。こうした傾向・特徴の内実を明らかにし、その背景にあるものと今後の展望を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

大略すれば、まず「日本的労務管理」の形成過程とその構造や機能についてまとめる。ついで能力主義管理に関して同様のまとめを行う。とくに、職務給、職能給・職能資格制度、人事考課といった賃金・処遇制度に焦点を当てる。これら日本的労務管理と能力主義管理の整理を踏まえて、現在進行中の労務管理の「地殻変動」の現状と特徴を把握するという段取りを考えている。なお、初回講義において具体的なガイダンスを行う予定であるが、およその予定は以下のとおりである。

- I. 労務管理論の体系と歴史
 1. 労務管理の目的、機能、対象
 2. 労務管理論の歴史
- II. 戦後日本の労務管理
 1. 電産型賃金体系
 2. 戦後初期の労使関係と労務管理
- III. 高度経済成長期の労務管理
 1. 日本的労務管理の形成と展開
 2. 労使関係の転換
 3. 能力主義管理と年功制
- IV. 現代の動向
 1. 雇用形態の多様化
 2. 賃金・処遇の成果主義化
 3. 職能資格制度とキャリア形成
 4. 成果主義と目標管理と人事考課
 5. 労働時間の弾力化
 6. 「新・日本的経営」と労使関係

成績評価の方法

原則としてレポートと定期試験で評価する。再試験は実施しない。

教科書

黒田兼一ほか著『現代の人事労務管理』（八千代出版）2001年

参考書等

講義中に適宜紹介する。

科専門教育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
簿記論	しまどきのりこ 島 崎 規 子	商1・2・3・4選必 経A1・2・3・4選	4

講義のねらい

最も授業で目的とする点は、簿記とは、どのようなものであるかを理解してもらい、簿記のおもしろさを知り、好きになって簿記検定試験に挑戦してもらいたいことです。
簿記は、実践学です。学生各人が電卓とペンを使って先生といっしょに勉強に参加する授業です。
簿記の授業では、会社で日常使う言葉がたくさんでくるので、就職する前の準備教育にもなります。

講義の内容・
授業スケジュール

今年度の講義は、簿記検定を受験する者や経理で活躍しようとする者にすぐ役立つような以下の内容で体系的に進めたい。友達といっしょに参加して下さい。

講義の大筋は、次のとおりです。

〈前期〉——複式簿記の基礎知識——

- (1) 簿記の主要概念
- (2) 取引・仕訳・勘定記入
- (3) 決算手続・試算表・精算表（その1）
- (4) 決算整理事項と精算表（その2）
- (5) 貸借対照表と損益計算書の作成

〈後期〉——主要取引・帳簿記入・応用問題——

- (6) 現金・預金・有価証券の取引
- (7) 商品売買・掛・債権・債務の取引
- (8) 固定資産・手形・資本の取引
- (9) 売上帳・仕入帳・商品有高帳の記入
- (10) 応用問題

履修上の留意点

授業では、毎回、教科書、ノート、電卓、筆記用具、定規が必要です。他人に迷惑をかけないように忘れないで持ってきて下さい。

成績評価の方法

出席率、授業態度、小テスト、定期試験などを総合評価して決めます。なお、欠席理由が学校行事への参加や教育実習などの場合は出席扱いとします。きちんと届けを出して下さい。再試験を実施します。

教 科 書

下野武司・島崎規子・石田九州男著『複式簿記の理論と演習』（中央経済社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
簿記論	いしかわ ゆうじ 石 川 祐 二	商1・2・3・4選必 経A1・2・3・4選	4

講義のねらい

簿記は、会計を理解する上で欠くことができない基盤である。会計情報は、簿記のシステムを介して生み出された「コトバ」を源泉としている。本講義では、その簿記の技術を学ぶことに重点を置く。これによって、経済を理解するのに必要なコトバを身につけることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義では、日商簿記検定試験3級レベルの内容を取り上げる。技術を身につけてもらうため、練習問題を多く解くことにしたい。具体的には簿記一巡の流れを学ぶことになるが、いくつかの重要な個別論点にも触れることにする。

履修上の留意点

計算練習を多く行うので、必ず電卓を持参すること。また、積み重ねの練習が重要なので、毎回積極的に参加してもらいたい。基本をマスターすることで、簿記の技術を、是非とも身につけよう。

成績評価の方法

小テストと前期末・後期末の各試験の結果を総合的に評価する。再試験は行わない。

教 科 書

プリントを配布する。

参 考 書 等

必要に応じて、ワークブックなどを紹介する。

そ の 他

一年間の講義後、日商簿記検定3級の試験に、是非ともチャレンジしてください。

科目名	担当者名	配当学科	単位
財務会計論	おぐり たかし 小栗 崇 資	商1・2・3・4選必 経A1・2・3・4選	4

講義のねらい

企業の活動内容を外部の利害関係者や投資家に報告・開示することを目的とするのが財務会計である。外部報告会計とも言われ、報告内容による社会的な影響も大きいことから、財務会計については商法や証券取引法のような法律や規則によって社会的に規制されている。日本の財務会計を規制する企業会計制度は現在、会計ビッグバンと呼ばれる大きな変化のまっただなかにある。戦後、日本独自の発展をとげてきた企業会計制度もグローバルスタンダードの影響のもとに国際的に比較可能なものへと変わりつつある。制度変化による経済やビジネスへの影響は大きく、日本の財務会計がどのような発展をとげていくかが、現在、問われているところである。

講義の前半では、そうした制度変化を理解する上で必要な、経済社会と会計との関係や会計に関する規制の仕組みなどについて論じたのち、日本の企業会計制度の歴史と会計ビッグバンの概要について学習を進める。講義の後半では財務諸表（貸借対照表、損益計算書）の基本的な構成や内容について論じ、さらに現代会計のテーマである連結会計、金融商品会計、年金会計などを取り上げ検討する予定である。

講義の内容・授業スケジュール

次のような構成で進めたい。

1. 財務会計とは何か
2. 経済社会と企業会計
3. 会計規制の仕組み
4. 日本の企業会計制度と会計ビッグバン
5. 財務諸表の仕組み
6. 貸借対照表の構造と内容
7. 損益計算書の構造と内容
8. キャッシュフロー計算書の構造と内容
9. 連結財務諸表の構造と内容
10. 金融商品会計
11. 退職給付会計
12. リース会計
13. 現代会計と会計の国際化

履修上の留意点

会計学は専門知識を積み上げていく学習スタイルが必要ですし、時々、副教材としてプリントを配布しますので、欠席しないこと。

成績評価の方法

中間試験（またはレポート）および学年末試験により評価します。また、時々、小テストも実施し、成績評価に加算します。なお、再試験は行わないので注意して下さい。

教科書

遠藤・小栗・新谷・徳前著『新世紀の企業会計論』（白桃書房）

参考書等

必要に応じて紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済理論ⅠB・ 経済システムの原理	あ べ 阿 部 弘	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3選	

講義のねらい

この講義は「経済理論ⅠA・資本の原理」の後篇です。したがって、ここでは、前篇で問題提起した「資本」が、具体的に運動をしていくに当って、どのような形をとるのか、そして現在のわたしたちの社会にあって運動している資本の基本的なメカニズムを明らかにしていくことが、その課題となります。

講義の内容・ 授業スケジュール

- A：利潤の生産
1. 剰余価値と利潤
 2. 利潤の生産と生産価格体系の形成
 3. 社会的虚偽の価値体系の形成
- B：利潤体系の運動
1. 利潤体系とその構成要素
 2. 利潤の分配と再分配
 3. 資本の商品化
- C：恐慌と独占
1. 過剰生産恐慌とその必然性
 2. 失業とその産業予備軍機構化
 3. 労働組合と独占体

成績評価の方法

1. レポートによる評価
 - (1) 年間4回のレポート作成を通じて「成績評価」を行いません。
 - (2) レポートは：NO1：7月
：NO2：10月
：NO3：11～12月
：NO4：1月

なお、NO.1レポートの場合には、その1ヶ月前に講師が課題を提示し、NO.2以降は、受講生各自のレポートから次のレポート用のテーマを設定します。

2. その他

「定期試験」および、「追試」また「再試」は行いません。

教 科 書

教科書は用いません。しかし、講義の性格上、マルクスの『資本論』やレーニンの『帝国主義論』は基本的な文献ですから、次の文献を「参考書」として指定しておきます。

1. マルクス『資本論』（大月書店）国民文庫 1～9分冊
2. レーニン『帝国主義論』（大月書店）国民文庫
3. ヴァルガ『資本主義経済学の諸問題』（岩波書店）1996

そ の 他

講師との連絡方法

受講生と講師の連絡ができるように、次に講師の住所を掲載しておきます。

阿部弘：〒179-0072

練馬区光が丘6-1-4-204、Tel03-3976-7984

科目名	担当者名	配当学科	単位
経済数学	みずのかつし 水野勝之	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

経済理論は数学を利用して説明される。しかしながら、数学のうちどれが必要か不必要かは現段階で諸君は知らない。また、経済学の授業で突然数学が使われても忘れてしまった諸君もいればはじめて目にする諸君もいるはずだ。本講義では、今後の諸君の経済学の勉強への数学の適用を念頭において、そこで利用されるであろう数学の基礎とその経済学へのあてはめを行っていきたいと思う。講義内容は、経済学の例示としてマクロ、ミクロととびとびになるが「経済学に利用される数学」という方針の下に体系化させる。数学の苦手な諸君にも十分理解できるような授業の進め方をしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 数学の用語・記号あれこれ
 - ①関数
 - ・関数
 - ・同次性
 応用：効用関数と生産関数
 - ② Σ （シグマ）
 - ・応用：予算式の表示
 - ・物価指数
 - ③その他
2. 微分と偏微分
 - ①微分の意味と最大・最小
 - ・応用：弾力性・他
 - ②微分いろいろ
 - ・積の法則
 - ・合成微分
 - ・その他
 - ③偏微分
 - ・偏微分の意味
 - ・応用：効用関数と限界効用
 - ・生産関数と限界生産力
 - ④その他
 - ・全微分
 - ・オイラーの定理
 - ・ラグランジュ未定係数法—最適消費—
3. 行列
 - ①ベクトルと行列
 - ②行列の加減と積
 - ③行列式
 - ④逆行列
 - ⑤余因子と余因子行列
 - ⑥連立方程式

履修上の留意点

数学は全く苦手でない、出席することが望ましい。

成績評価の方法

授業中の課題と期末テストの総合評価
尚、再試験は実施しない。

教科書

水野勝之『テキスト経済数学』（中央経済社）
水野勝之『マクロ経済分析入門』（創成社）

参考書等

水野勝之『どうなってるの!?日本の経済』（中央経済社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
価格理論	あらき よしひろ 荒 木 勝 啓	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3選	

講義のねらい

授業のあらまし：価格理論の目的は、経済の中でマイクロ主体が互いに競争と最適化を行うことにより、市場および経済一般がどのような方向に向かうかを研究することでもある。もし競争が理想的に行われ、情報や資源移動の完全性が保証されるならば、市場はパレート最適と呼ばれるある種の理想状態に達し、価格は自然に社会的厚生を最大化する水準に定められる。しかし例えば市場参加者が2という少数者で行われるならば、たとえ同様の競争自体が行われても、結果はクールノ・ナッシュ均衡とよばれるような、完全競争とは異なった市場均衡に到達するであろう。またその競争のありようによっては同じ2という参加者の競争から、シュタッケルベルク均衡と呼ばれるさらに異なった均衡状態が作り出されることになる。その点はもはやパレート最適からはほど遠い点である。

このように、価格理論は、一般に「物価水準」と呼ばれているような現実のデータとしての価格というよりも、経済の市場の枠組みやマイクロ主体の行動様式に関する様々な想定から導出されるas ifパフォーマンスとしての価格決定を調べる科目である。従ってその分析のためにはどこまでも「最適化」手法がつかまとう。しかも経済学の場合最適化はほとんどの場合「制約付き最適化」である。

制約のないところに経済は成立しない。近代経済学を生み出した限界革命の旗手であるカール・メンガーは次のように述べる。村にわき出る泉があり、その水をだれでもが飲めるならば、その水をめぐる「経済」現象は生じないのであろう。しかし、旅人が増えて村人が水を自由に飲めなくなったときから泉の水に経済現象が生じ始める。

以上のように価格理論では内容の理解がほぼ制約付き最適化手法の理解如何にかかっているといてもよい。従って講義のかなりの部分があるために準備と練習にあてられると提供できたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

- (1) 価格理論で学ぶこと
- (2) 多変数関数と曲面
- (3) 微分、偏微分、全微分
- (4) 対数関数の微分と成長理論
- (5) 生産関数、コブ・ダグラス生産関数
- (6) ベクトルの直交と勾配ベクトル
- (7) 制約付き最適化問題のグラフィカルな理解
- (8) ラグランジュ乗数法
- (9) 加重限界効用均等の法則
- (10) 練習問題
- (11) 代替効果と所得効果の計算
- (12) 需要曲線と需要の価格弾力性
- (13) パレート最適、ボックスダイアグラム
- (14) MR曲線
- (15) 独占均衡
- (16) 消費者余剰と生産者余剰、独占均衡の死重的損失
- (17) 消費曲線と供給曲線
- (18) 生産関数から短期費用関数の導出
- (19) 生産関数から長期費用関数の導出
- (20) クールノ・ナッシュ均衡
- (21) クールノ・ナッシュ均衡解の練習問題
- (22) 等利潤曲線
- (23) シュタッケルベルク均衡解
- (24) シュタッケルベルク均衡解の練習問題
- (25) ゼロサムゲームの解法

成績評価の方法

試験はノート・教科書・参考書持ち込み可。再試験実施。

教 科 書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
国民所得論	よしの 吉野	おさむ 紀	4
		経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・2・3選	

講義のねらい

わが国は法人企業だけで277万(平成3年)あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財(商品)やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP(国内総生産)にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,400万に昇る家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成7暦年のGDPによって483兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとすれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言えよう。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その1つ1つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的(マクロ)分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。ここでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ(経済主体)毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

科専
門教
育目

講義の内容・
授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5回
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。
《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」(配布資料)
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4回
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。
《参考》中谷巖『入門マクロ経済学』(日本評論社)第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8回
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。
《参考》伊達邦春(編)『マクロ経済学』(八千代出版)第9章
4. 「金融政策、財政政策」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4回
前講までの内容が理解できれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内および国際的クラウディング・アウト効果が取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学(上)』(CAP出版)第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」・・・・・・・・・・ 5回
ここまで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わせられる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は実施。

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミックス(上)』(第6版)(多賀出版)

成績評価の方法

教科書

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
統計原論	よしの吉野 おさむ紀	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・2・3選	4

講義のねらい

現代の統計学の基本は推測統計学にあるという認識に立って講義を進めてゆく。それでは、推測統計学の基本とは何であろうか。サムエル・バトラーは「人生とは、不十分な証拠から十分な結論を引き出す芸術である」と言っているが、この文言の「人生」を「統計学」に置き換えるならば、相当の部分を言い当てていることになる。「相当の」であって「完全に」ではない理由は、元来、人生には偶然性や不確実性がつきものである。偶然が支配していると思えないデータから何がしかの決定や判断を下すためには、すべての経験に裏打ちされた人間性・人格を総動員して粗なデータをインテリジェンス（情報）へと昇華させなければならず、その過程こそ人生そのものであるからである。

統計学の扱う世界は不確実性が支配する世界であり、人間はこの偶然性に長い間悩まされてきた。「偶然とは、おそらく、神が自分の名をサインしなくなかったときの、神の仮名であろう」（アナートル・フランス）。端的に言えば、統計学の住む世界では、どのような結論が下されようとも、そこには確実に誤りが何パーセントかの確率で含まれるのである。この世界の住人たることに何がしかの面白味を感じてもらえればと期待する。

専 門 教 育 目

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 記述統計——標本データの整理——
度数分布表
統計値（平均値、中央値、最頻値）
散らばりを表す統計値（分散、標準偏差）
2. 確率変数と確率分布
2項分布
ポアソン分布
正規分布
3. 標本抽出と標本分布
ランダム・サンプリング
中心極限定理
t分布
4. 統計的推定
推定とは何か
平均値の区間推定
5. 仮説検定
検定とは何か
平均値の検定
6. 回帰分析Ⅰ
単純回帰モデル
最小2乗法
回帰と相関
7. 回帰分析Ⅱ
回帰における統計的推測
多変量回帰（重回帰）
8. 経済成長の見方
弾力性の話
eの話

履修上の留意点

第2講では、2項分布や正規分布の分布の様子を見るために、パソコンでプリント・アウトさせた資料を配布して、具体的なイメージをもってもらえるよう努めたい。

また、1-201教場を使ってインターネット上のアプリレットにアクセスして授業を行うことも、年に数回予定している。

数学上の知識は特に必要としない。

成績評価の方法

再試験は実施。

教 科 書

最初の授業で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
景気循環論	のむらのぶひろ 野村信廣	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

景気（循環）への関心は高い。それは(1)景気循環が多くの人の生活に影響する(2)景気循環の姿がその時々で変化する(3)景気循環が経済の諸問題に影響する一などのためである。授業では、(1)景気循環を把握する方法(2)景気循環を引き起こす原因とメカニズム(3)景気循環を応用しての景気の現状観測と将来予測一などを学ぶ。学生達が一般の景気判断に対する理解・評価能力を身に付け、自分自身で景気判断や予測が出来るようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

- (1)景気循環を学ぶ意味
- (2)景気循環の推移
- (3)景気指標による景気循環の把握
- (4)景気循環を引き起こす原因とメカニズム
- (5)景気循環が経済に及ぼす影響
- (6)景気循環による景気予測の方法
- (7)景気循環による景気予測の実践

履修上の留意点

日々の経済動向に関心を持つ

成績評価の方法

定期試験・レポート・出席状況。再試験なし。

教科書

田原昭四『日本と世界の景気循環－現代景気波動論－』（東洋経済新報社）3,780円

参考書等

随時参考資料を配布

その他

講義中心だが、質問や討論を歓迎する

科専門教育
目録

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代資本主義論	ながしま せい い ち 長 島 誠 一	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3選	

講義のねらい

第2次大戦後の経済社会（現代資本主義）の構造と循環と発展過程を説明する。現代資本主義は資本制商品経済が成立・確立・発展（変質）してきた歴史的（社会）有機体であるとの認識にたつて、今後の展望と改革の方向をも考えてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 資本主義の段階的発展（原始蓄積期・自由競争段階・独占段階）
- II 戦後資本主義の構造（世界経済の戦後体制・国家の政策・独占資本・資本＝賃労働関係・産業構造・産業予備軍・金融資本（企業集団）・金融寡頭制）
- III 戦後の資本主義の循環と発展（世界の景気循環・世界資本主義の長期的発展過程・日本の循環と発展）
- IV 高度経済成長期の経済（世界の景気・日本の景気・景気循環の変容）
- V スタグフレーション期の経済（高度成長からスタグフレーションへ・IMF体制の崩壊（金・ドル変換停止）・スタグフレーションの進展・日本の景気・スタグフレーションと景気変動・インフレーションの軽微化とバブルの発生）
- VI バブルの進展と景気循環（世界経済の投機化・バブルの構造・日本の景気・金融寡頭制支配の腐朽化（経済スキャンダル）
- VII バブルの崩壊と1990年代（世界経済の変化と世界の景気・不良債権下の日本の長期不況）
- VIII 現代資本主義の構造変化と構造危機（構造変化・構造危機・構造改革）
- IX 新しい社会の建設（社会主義への展望）

履修上の留意点

なるべく多く教室に来て講義を聞いてほしい。現代の諸問題に関心を持ってほしい。受講者数が少なければゼミ形式でやることもありうる。

成績評価の方法

夏休み前にレポート、学年末に教場試験（ペーパー・テスト）。両方の成績再試験は実施する。

教 科 書

拙著『戦後の日本資本主義』（桜井書店）2001年

参 考 書 等

拙著『経済学原論』（青木書店）1996年

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会思想史	あ べ ひろし 阿 部 弘	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B・社中選	

講義のねらい

「経済学」という科学は、人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持ちます。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入って、ヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしています。

この講義では「経済学」の成立と「市民社会」との関係を明らかにすることを目標にしていますが、「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた、「帝王学」的な政治・経済政策論に求められるから、最初にその実態を、東洋社会の「経世済民論」とインド・ヨーロッパの農業政策技術や重商主義的な政策論の展開に観ていくことにします。第2部として近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」、およびその後登場してくる「プロレタリアート」が「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察します。そのうえで、現代社会において、「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていきたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

年間の講義は次の構成となります。

第1部：「経世済民」という考え方

第1章：古代中国での「経世済民」思想

第2章：インド・ヨーロッパ的帝王学

第3章：日本における輸入学問としての「経世済民論」

第2部：ヨーロッパ社会での「経済学」の形成過程

第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開

——マンデヴィル思想から「道徳感情論」へ

第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程

第3章：マルクスの経済学体系

成績評価の方法

1 「成績評価」は年間4回のレポートの作成で行います。

レポートは7月・10月・12月・1月におこないます。したがって「定期テスト」は行いません。年4回のレポートを行うのは、講義形式のばあいには評価を年1回のテストで行いますと、とかく受講生の皆さんと講師との交通がみられなくなるからです。

レポートの形式は、7月の第1回目は講師が受講生全体に共通なテーマを設定し、第2回以後は作成されたそれぞれのレポートからテーマを設定します。

2 上記のように年間4回のレポートを皆さんとともに実施していくのですから、回数が少なくてもよいとか、1回だけレポートを密かに作成して「送りつけ」てきたり、私のポストに投げ入れたりしても、評価が悪くなるだけですから注意してください。

3 「評価」はレポートで行いますので、「定期試験」および「追試験」とか「再試験」は行いません。

教科書

教科書や参考書は講義の中で指定します。

その他

受講生と講師が「レポート」外で連絡し得るようにするために、講師の住所を下に記しておきます。

阿部弘：179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204 Tel03-3976-7984

研究室：第2研究館5F No.2538/TEL03-3418-9360

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本経済史	橋野知子	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・2・3選	4

講義のねらい

本講義では、近代日本における経済社会の動きを国際的な経済環境のなかに位置づけながら考察していきます。特に近年の数量経済史や経済発展論の分野における研究蓄積を利用しながら、また西欧やアジアとの比較を念頭において講義する予定です。

学生諸君には、日本経済における現代的課題や戦後経済史の重要な問題が、この講義での考察する歴史的背景のなかで生まれてきたことを理解して欲しいと思っています。よって、単なる「丸暗記」を要請するものではありません。知ることこそが重要なのです。講義の中で、第二次大戦以前の日本経済における基本的事実を理解し、大まかな流れをつかみ、重要な問題を発見して下さい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 近代日本経済史へのアプローチ1－日本経済史に対するさまざまな見方
2. 近代日本経済史へのアプローチ2－幕末の経済と開港、明治維新、近代国家の形成と経済共通基盤の整備
3. 近代経済成長の始動－殖産興業と松方財政、在来部門の成長と再編成
4. 国際政治・経済秩序「ボックス・ブリタニカ」のなかの日本経済
5. 工業化の進展1－近代工業の発展と貿易、技術移転とその担い手
6. 工業化の進展2－農業部門と非農業部門との関係
7. 日清・日露戦争と日本経済
8. 第一次世界大戦と日本経済1－世界秩序の変化と日本経済
9. 第一次世界大戦と日本経済2－動力革命、在来産業の近代化、重化学工業化の進展
10. 「慢性的不況」－金融再編成と産業合理化
11. 二重構造の発生と都市化に伴う社会の変化
12. 「ボックス・ブリタニカ」の解体と日本経済－国際金本位制度の終焉
13. 1930年代の経済成長1－政策の転換、銀行制度
14. 1930年代の経済成長2－産業構造、産業組織の変化
15. 戦後経済史への展望－市場経済の変容、戦時統制経済、太平洋戦争

履修上の留意点

重要なトピックスについては参考文献に加えて統計資料、一次資料などを配布して説明します。配布された資料を通じて、図表を理解する力を養いましょう。日本経済史への理解を深めるためにも、講義中紹介された参考文献については、できる限り読むように心がけて下さい。

現在起こっているさまざまな問題には、必ず歴史的な背景があります。日常生活の中でニュースや新聞などに積極的に慣れ親しみ、そこで感じた「なぜ？どうして？」という疑問を大切にしてください。また、当時の社会や経済を実際に知る人の話を積極的に聞いてみて下さい。教科書では得られない新鮮な驚きや発見があるはずです。

成績評価の方法

期末試験、レポート、出席（小テストを実施）などで総合的に評価します。再試験はありません。

教科書

指定しません。毎回プリントを配布します。

参考書等

講義の中でその都度紹介します。

その他

授業は講義形式ですが、昨年度と同様に映像の利用による説明も取り入れたいと思っています。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西洋経済史	ともまつ よしひこ 友松 憲彦	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・2・3選	4

講義のねらい

「西洋経済史」という科目名を聞いて、21世紀の日本に生活する自分に18世紀や19世紀のヨーロッパやアメリカの経済を学ぶ意味があるのだろうか、という疑問をもつ人もいるでしょう。あるいは、これまでの経験から人名や年号の丸暗記を強いられる科目ではないかと思ひ、それだけでウンザリの人もあるかもしれません。

しかしこの講義は、歴史的事実を解説し、それを暗記することを少なくとも主題にはしていません。講義がめざすことは、資本主義とよばれる現代経済の特徴や問題がどのように生まれてきたのか、またそれが今後どう変化していくのかを、資本主義の母体であった西ヨーロッパやアメリカの「過去の経済」(＝経済史)の研究によって考えることです。また、「過去の経済」を知ること、われわれの生きている現在の経済や社会を見なおし、相対化する目を養ううえでも重要なことです。

さらに「西洋経済史」は、経済学を学ぶうえでの基礎科目でもあることも指摘しておきます。例えば、この講義からは経済学の発達の歴史的背景を知るうえでの不可欠の知識が得られるでしょう。あるいは、世界経済の流れを理解し、そこに日本経済の歴史を位置づければ、現在の日本経済の特徴や問題にもより深い理解が可能となると思ひます。そうした意味で、「西洋経済史」は経済学の広範な諸科目と密接な関係を持ち、経済学学習の土台となる科目といえるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

1. なぜ西洋経済史を学ぶのか
2. 資本主義とはなにか
 - (1) 商品経済と市場経済
 - (2) 近代と前近代の経済
3. ヨーロッパ中世の経済 ―封建制の構造―
 - (1) 中世農村と農業
 - (2) 中世都市と商工業
4. 中世から近代への移行期の経済 ―資本主義の成長―
 - (1) 「封建制の危機」と資本主義の発生
 - (2) 農村工業の成長
 - (3) 海外市場の発達
 - (4) 国内市場の発達
5. 近代の経済① ―資本主義の確立―
 - (1) 産業革命の原因
 - (2) 産業革命の過程
 - (3) 産業革命の結果
6. 近代の経済② ―世界資本主義の形成―
 - (1) イギリス経済と世界経済
 - (2) 後発国の産業革命
 - (3) 植民地の形成
7. 近代の経済③ ―資本主義の変質―
 - (1) 「大不況」と資本主義の構造変化
 - (2) 植民地支配とその結果
8. 現代の経済

成績評価の方法

期末試験、授業中の小レポートに出席状態を加味する。再試験は実施する。

教科書

配布される「資料」が教科書の代わりとなる。

参考書等

岡田泰男編著『西洋経済史』(八千代出版)1996年
 長岡・太田・宮本編著『世界経済史入門』(ミネルヴァ書房)1992年
 石坂・船山・宮野・諸田著『新版西洋経済史』(有斐閣)1994年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
農業政策	みぞて よしかず 溝 手 芳 計	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3選	

講義のねらい

農業のあり方は、様々な問題に関わってくる。現代の農業は、他産業、とりわけ川上の農機具・資材産業や川下の食品関連産業などいわゆるアグリビジネスとの関連が重要となり、経済の国際化の中で農業の位置付けを問われている。農業に携わる人々にとっては、安定した就業条件、収入確保が必要である。消費者にとっては、適正な価格で良質の食料が安定的に供給されることが望まれる。農業が自然環境や生態系に及ぼす影響、国土保全機能などいわゆる多面的機能に対する関心も高まっている。地域作りや住宅問題では、農地の扱いもかかわってくる。

授業では、こうした事実を念頭に置きつつ、現代日本の農業政策と関連分野の政策の構造を明らかにするとともに、その背景、経済学的意義、問題点も検討する。

講義の内容・授業スケジュール

- 農業に関わる諸問題の概況を説明し、問題状況のイメージをつくる。
- 土地利用産業、生物資源培養産業といった農業の産業的特性について考察するとともに、それらの現代的展開を紹介する。
- 戦後日系の農業政策の流れを概観したうえで、WTO体制の下での農政の特徴を示す。
- 食品安全、環境、土地、住宅、地域振興など関連分野の政策が農業政策に及ぼす影響を検討する

履修上の留意点

出欠票をかねた「コミュニケーション・カード」を配布するので、授業の感想や質問を書くこと。授業改善の参考にします。

成績評価の方法

成績評価は定期試験を基本とするが、出席状況も考慮に入れる。

教科書

使用しない。授業時にレジュメ、資料等を配布する予定。

参考書等

・井野隆一ほか『農業問題入門』（大月書店）・北出俊昭『日本農政の50年』（日本経済評論社）・田代洋一『日本に農業は生き残れるか』（大月書店）・食糧政策研究会編『WTO体制下のコムと食糧』（日本経済評論社）・中野一新編『アグリビジネス論』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済地理	すやま さとし 須 山 聡	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3選	

講義のねらい

地域の経済的つながり、地域経済の分析、経済の地域間格差を理解するためのツールとしての地理学的観点や基本概念を提供する。

講義の内容・授業スケジュール

前期はおもに地理学の目的と基本概念を図上実験を交えて講義する。後期には経済現象の地域的な捉え方の例としていくつかの地域の産業活動を例に講義を進める。

履修上の留意点

出席を厳密にとる。途中退席者を排除するために、同一授業時間中に出席を2回とる場合もある。授業中携帯電話を鳴らした者、妄りに私語を交わす者は即刻退席させる。

成績評価の方法

学年末試験（50％）、出席（50％）で評価する。したがって、出席率が50％の場合、試験で70点以上確保できないと単位が取れない。再試験なし。

教科書

適宜資料を配布する。

参考書等

地図帳（高等学校で使用していたものでよろしい）を持参されたい。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
交通論	し お み え い じ 塩 見 英 治	経 A・商 1・2・3・4 選 12以降入学生/経 B1・1・1 選	4

講義のねらい

「交通」を経済面から眺め、交通現象に経済理論の光をあて、様々な交通問題の解決策について考察します。同時に、「交通」を通して「経済学」「経済」の理解を深めることを狙いとしています。とくに、現代の交通市場の変化と規制を中心とする政策の課題について検討します。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 交通の概念と交通経済論の特質
2. 交通技術の発展と交通政策の展開
3. 現代資本主義における交通政策の展開
4. 情報社会における交通
5. 交通需要の性質と市場対応
6. 環境変化と交通需要マネジメント
7. 交通サービスと交通システム
8. 交通の産業組織と市場構造
9. 交通の規制と規制緩和(1)
10. 交通の規制と規制緩和(2)
11. 物流の変革とSCM
12. 航空の規制緩和と企業行動
13. 運賃学説の系統
14. 負担力主義・差別運賃
15. 限界費用・平均費用決定運賃、二部料金制
16. インセンティブ規制運賃
17. 交通事業の変革と運賃制度改革
18. 道路混雑とロードプライシング
19. 交通事業における運賃制度
20. 交通社会資本の整備と費用負担
21. 高速道路の整備と料金問題
22. 交通投資の決定と評価
23. 国際交通の自由化と航空産業の再編
24. 総合交通政策の「総合性」の期待と限界

履修上の留意点

出席しないと理解できない部分が含まれています。出席可能なことを前提に履修して下さい。

成績評価の方法

授業期間中に授業内容に関する課題レポート（一回）を提出のこと。課題レポートを提出しないと期末試験をうけることができないので、履修の際に注意して下さい。また、簡単な小テストを授業期間中に実施します。なお評価は期末テスト結果を最大重視し、小テストとレポートの参考点を加味して行います。再試験なし。

教科書

教科書は指定しません。基本的にプリントを配布します。

参考書等

塩見英治編『改訂 交通産業論』（白桃書房）1994年
小淵洋一著『現代の交通経済学』（中央経済社）1996年
金本良嗣・山内弘隆編『講座・公的規制と産業』（NTT出版）1995年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中小企業論	よ し だ け い い ち 吉 田 敬 一	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

中小企業は日本の企業総数の99%を占めており、そこで働く従業員は被雇用者全体の80%近くにも及んでいます。さらに製造業についてみると、付加価値額の50%以上は中小企業が生み出しています。そして、これらの中小企業の優れた部品加工・組み立て能力を抜きにして、日本の大企業は高品質で低価格の製品を国内・国際市場に供給することができなかつた、というのが真実です。ところが、今日、経済構造転換の下での新3K現象（空洞化・価格破壊・規制緩和）により、戦後経済発展を下支えしてきた中小企業は深刻な存立危機に直面しています。日本経済に占めるこうした経済的比重を考えると、中小企業の21世紀的再生を抜きにして日本経済の復活・発展がありえないことは明確です。

そこで本講義では、戦後日本の経済発展において中小企業が果たしてきた重要な役割と、それとは逆に中小企業のおかれている立場・条件の劣悪性を明らかにし、経済大国にとどまらず、生活大国を21世紀に建設するための重要課題としての日本の中小企業問題の解決の方向と展望を考えることを主要課題とします。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の項目を柱として行ないます。

- I 中小企業問題研究へのアプローチ
- II 戦後日本の経済発展と中小企業—自動車工業の生産分業システムを事例として—
- III 戦後日本の中小企業政策の歩み
- IV 中小企業振興の主要問題
- V 21世紀の日本経済の課題と中小企業の新たな展望

履修上の留意点

中小企業問題は、国民経済全体が抱える諸問題の集約として発現してしているので（例えば、貸し渋り問題、商工ローン問題、生産の海外移転による下請企業の苦悩など）、日々の経済動向に対する鋭い感受性が求められます。そこで受講生は、新聞やテレビの経済報道に関心を持つことが望ましい。

成績評価の方法

学年末試験とレポートで評価します。また再試験も実施します。

教科書

本講義では教科書は使用しません。

参考書等

吉田・永山・森本編著『産業構造転換と中小企業』（ミネルヴェテ書房）
（レポート課題指定文献）
吉田敬一『転機に立つ中小企業』（新評論）
中小企業庁編『中小企業白書』（大蔵省印刷局）
巽・佐藤編『新中小企業論を学ぶ』（有斐閣）
渡辺・小川・黒瀬・向山『21世紀中小企業論』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
環境経済論	やまぐち ゆうじ 山 口 由 二	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B11・12選	4

講義のねらい

産業革命以降、人類は無限とも思える生産力を得て、それまでとは比べものにならない急速な経済発展・成長を成し遂げてきた。この大量生産、大量消費を美德とする社会における経済成長は、すべての人々に文化的で豊かな生活を与えるものとして、これまで、声高に異議を唱える者はほとんどいなかった。しかし、21世紀が間近にせまる現在、様々な矛盾が露呈してきている。そのもっとも大きな問題が、環境問題である。

現在の環境問題は、かつての水俣病に代表される公害問題のように加害者と被害者が明確に分離されるものばかりではなく、地球温暖化のように、ほとんどすべて人々が加害者であると同時に被害者となりうる問題や、熱帯雨林の破壊や、酸性雨問題のように、貧しさゆえに引き起こされ、そのことが南北問題にまで発展しているより複雑な問題もある。

本講義では、経済成長と環境の相互関係を歴史的視点と理論的視点の両視座から論じると共に、様々な事例を提示して経済成長の意味や、経済成長と環境破壊とのトレードオフの関係について論じる。この講義を通して、受講者の方々に環境経済学への問題意識を喚起したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、おもに、資源・環境問題、及び環境経済学を理論的に論じる。その上で、後期では、地球温暖化問題、国有林や東京湾の漁業のコスト・ベネフィット分析、捕鯨問題、自動車の社会的費用、ダイオキシンの問題、農業の環境問題など様々な実例を取り扱う。

履修上の留意点

本講義は、近経の基礎的知識を必要とするが、講義過程でその都度、簡単に復習を行いたい。環境経済学は、まだ確固とした学問体系が出来上がっておらず、発展的余地があり今後ますます重要となる研究分野である。この講義で積極的な質問や議論ができることを希望する。

成績評価の方法

前期はレポート、後期はテストを行う。

また、適宜に簡単なレポートを提出していただき、これも考慮する。再試験を実施する。

教科書

未定、最初の授業時に指定する。

参考書等

・K. W. カップ著 篠原泰三訳『私的企業と社会的費用』（岩波書店）

環境経済学の古典的名著。生産過程で第三者や社会が受ける、公害、環境汚染による損失を社会的費用として、大気汚染、水質汚染、動植物の絶滅、人災、エネルギーの枯渇、森林の濫伐等について理論と実際の両面で分析を試みている。1905年に原著は刊行されている。

・宇沢弘文著『自動車の社会的費用』岩波新書（岩波書店）

若い人ならば皆大好きで、現代社会においてこれなしには成り立たないと思われる自動車の外部不経済性を徹底的に追求した名著。私が自動車の免許を取らないのもこの本を読んだため？。宇沢氏は日本の近経の一人者で、ノーベル賞をもらってもまさか文化勲章はもらうまいと思っていました…。ちょっと古い本だがおすすめ。

・宮本憲一著『環境経済学』（岩波書店）3,600円ぐらい

筆者は公共経済学者、政治経済学者の立場から長年様々な公害問題に立ち向かってこられた。環境経済学を「容器の経済学」と称し、環境をあらゆる経済活動の「容器」としてとらえている。やはり、読んでおいてほしい本。

・環境庁編『環境白書平成13年度版』（株）ぎょうせい

白書というと堅苦しく難しいイメージがあるが、『環境白書』は、現在の環境問題についてかかっている良書。総説は毎年サブタイトルがかわり13年度版は“地球と共生する「環の国」日本を目指して”となっている。「環の国」の環は「環境」や「循環」の環の意で、「持続可能な簡素で質を重視する循環型社会」をイメージしたものである。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公共経済学	はんやとしひこ 半谷俊彦	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

公共部門（国、地方自治体、公企業など）の経済的役割は市場経済を補完することであり、これには①資源の効率的配分、②富と所得の再配分、③経済の安定化がある。この授業では、こうした目的を達成するためには公共部門がどう行動すべきであるのかを、経済学的な視点から学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 公共経済の手段（予算、租税、公債、公共投資、年金保険、介護保険など）
2. 資源の効率的配分（環境政策、環境税、外部経済、公共財の理論など）
3. 富と所得の再配分（租税や社会保険、生活保護などの役割と問題点）
4. 経済の安定化（景気対策および経済成長政策の効果や問題点）

成績評価の方法

原則として前期試験および後期試験により評価するが、出席状況も平常点として加味する。4年次生については再試験を実施する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

H. ツインマーマン・K.-D. ヘンケ著、里中恆志・篠原章・半谷俊彦・平井源治・八巻節夫訳『現代財政学』（文真堂）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地方財政論	しのはら 篠原章	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

地方財政の枠組みを理解するとともに、地方財政の基本問題を分析するための基礎的な手法を学ぶことを主眼とする。時事問題なども、折に触れて取り上げる予定である。

講義の内容・
授業スケジュール

年間を通じて以下の項目を講義する予定である。

[基礎編]（主として前期）

1. 地方財政論を学ぶということ
2. 地方公共支出の役割
3. 地方公共支出の現状
4. 地方公共支出と公共財供給
5. 租税体系と地方税
6. 地方税制度の歴史と現状
7. 負担と受益
8. 地方債の基礎知識

[応用編]（主として後期）

1. 分権と集権
2. 地方財政調整の実態
3. ケーススタディ：沖縄問題と地方分権
4. 地方財政と地域開発
5. 地方財政制度の国際比較
6. ケーススタディ：高齢化と地方財政
7. ケーススタディ：「東京」の社会経済学

履修上の留意点

初学者を対象としたコースだが、財政学の知識があれば、より深く理解することができる。したがって財政学の履修経験があるか、財政学を履修中であることが望ましい。

成績評価の方法

学期末の筆記試験と授業時の課題（レポート）等によって総合評価する。再試験実施。

教 科 書

片桐昭泰・兼村高文・星野泉共編著『地方財政論』（税務経理協会刊）2,800円（本体価格）

参 考 書 等

参考書・参考文献・資料等は随時指示する。

そ の 他

テキスト・参考書以外に、新聞等の時事的な資料やビデオ資料等もしばしば利用する予定である。質問等については電子メール（akirashinohara@ma2.justnet.ne.jp）でも受けつける。また、篠原ホームページ（http://www.daito.ac.jp/~akirashi/）にも講義関連の情報を掲示するので活用してほしい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国際金融論	さいとう ひさひこ 齊 藤 壽 彦	経 A・商 1・2・3・4 選 12以降入学生/経 B 11・12 選	4

講義のねらい

外国為替、国際通貨、国際銀行業の理論と歴史と現状を中心として国際金融を講義する。金融面に重点を置きつつ、できるだけわかりやすく講義し、時事問題にも言及する。

講義の内容・ 授業スケジュール

前 期

前期は外国為替および国際金融市場について説明する。

- 4月：外国為替の仕組み
- 5月：外国為替相場論
- 6月：外国為替銀行論
- 7月：国際金融市場論

後 期

後期は国際通貨、IMF体制、旧IMF体制崩壊後の国際金融上の諸問題、日本の国際金融について講義する。

- 9月：国際通貨の理論
- 10月：IMF体制の成立、IMFの制度と機能と現実、旧IMF体制の崩壊
- 11月：変動為替相場制、SDR、ユーロダラー、インターナショナル・バンキング
- 12月：戦前日本の国際金融、戦後日本の国際金融（とくに日本の金融の国際化としての円の国際化、銀行の国際化、東京の国際金融センター化、日本企業の国際的資金調達、東アジアにおける日本の金融の国際化の進展）
- 1月：講義の要約と国際金融の将来展望

履修上の留意点

できるだけ出席するよう履修者に望みたい。年に数回出欠を点検する。また前期授業の最後に小論文（試験ではない）を提出してもらう。

成績評価の方法

学年末の筆記試験を中心とする。前期末の授業時間中に行う小論文の作成と出席点を若干考慮して成績をつける。
再試験を実施する。

教 科 書

授業時間中に指定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
銀行論	さいとう 齊 藤 ただし 正	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・2・3選	4

講義のねらい

「フリー、フェア、グローバルな金融市場」の実現を掲げた「日本版金融ビッグバン」の展開のなかで日本の金融制度は大きく様変わりした。大手銀行の統合や合併、外資系金融機関の対日参入攻勢、異業種によるネットバンキングや決済専門銀行への参入、など、グローバル化とIT革命を背景とした激しい競争が「華々しく」繰り広げられている一方、バブル崩壊後の長期不況、不良債権処理の遅れのなかで、「銀行不倒神話」が崩壊し、金融システム不安も依然解消されていない。影響は、特に地域金融機関において厳しく、地域経済は深刻な衰退状況にある。

不良債権の「最終処理」、バイオ解禁への対応、など、銀行を取り巻く状況はきわめて厳しいが、銀行は依然として「貨幣の供給および決済システム」を同時に担う唯一の主体であり、社会的に不可欠の存在であることには変わりはない。それゆえ、いまこそ21世紀における「持続的成長」を保証する金融システム、銀行の健全なあり方が強く問われている。

本講義では、銀行の基礎理論に関連づけながら戦後の日本経済に果たしてきた銀行の役割を具体的に検証し、今後のあるべき銀行の姿を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) まず、講義へのガイダンスとして、1990年代以降、銀行が直面して諸問題を概観し、新聞紙上等でよく見聞きする基本的用語と「銀行論」との関連づけを行なう。
- (2) 前期は銀行の基礎理論を中心に講義する。
 - 1) 銀行経営の不振とは対照的に消費者金融会社（貸金業）は史上最高の収益を達成している。銀行制度の成立以前からすでに存在していた「金貸し業者」や「高利貸し」と「銀行」の違いがどこにあるのかを考えながら、「銀行」の基本的機能および経済社会（メーカー、流通業、消費者、さらに国家など）との関連を明らかにする。
 - 2) 銀行が一方で預金を受け入れ、他方で貸出を行っていることは広く知られている。しかし、銀行は受け入れた預金をそのまま貸し出すのではなく、「信用創造」という銀行のみに認められた方法で行い、その際「預金通貨」という「マネー」を供給する。このメカニズムを明らかにするとともに、インターネットバンキングや電子マネーなど、エレクトロニクス技術の発展にもとづいた「キャッシュレス社会」の意味について考える。
- (3) 後期は戦後の日本経済に果たした銀行の役割を時期ごとに検証する。
 - 1) 「専門的金融機関制度」といわれる戦後日本の金融制度の特徴とそれぞれの専門機関（普通銀行、長期金融機関、中小企業専門金融機関、証券会社、保険会社など）の役割を理解する。
 - 2) 時期区分は、おおまかに高度成長期（1974年まで）、低成長・自由化期（1985年まで）、バブル経済期（1990年まで）、バブル崩壊以降（1990年代以降）とし、欧米の動向も参考にしながらそれぞれの時期にどのような「銀行理論」が展開されていたのかを紹介する。
- (4) 現代の銀行制度が抱えている主要な問題を浮かび上がらせる契機となったのが80年代後半以降の「バブル経済」と90年代以降の「バブル崩壊」、「グローバル化」である。戦後銀行制度の抜本的改革目指すビッグバンを様々な角度から検討しながら望ましい銀行システムのあり方を考える。

成績評価の方法

成績は、前期試験（またはレポート）と後期試験による評価を基本とするが、出席状況、授業態度における積極性も十分に加味するので、講義に対する質問、疑問を大いに歓迎する。再試験を実施する。

教科書

教科書は特に指定しないが、最初の講義で紹介する。授業はレジメに沿って進める。

参考書等

大橋・小西・齊藤・田村・平沢著『日本のビッグインダストリー6 金融業』（大月書店）2001年
山田・野田編『現代日本の金融』（新日本出版社）1997年
日本銀行『新版 わが国の金融制度』

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
証券市場論	いそや 磯谷 玲	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・1・1選	

講義のねらい

広義の金融仲介の一分野という点から証券市場の特徴と機能を検討する。対象地域としてはアメリカを中心とする。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は以下の三点を軸として進める。
 ・広義の金融仲介と証券市場の位置付け
 ・証券市場を構成している発行市場、流通市場、株式、債権、および派生商品等に関する概説
 ・アメリカにおける株式市場の機能（特に1980年代以降を中心とする）

成績評価の方法

各項目につき1回ないし2回小テストを実施する。小テストの合計によって成績評価する。再試験なし。

教 科 書

教科書、参考書は初回の授業で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
保険論	いまいずみ 今 泉 敬 忠	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・1・1選	

講義のねらい

近年、個人であると企業であるとを問わず、多様化しかつ巨大化した危険（リスク）をどのように処理するかは、経済生活上大きな問題となっている。そうした危険の処理に当たって大きな役割を果たすのが保険制度である。本講義では、まず保険の基本的原理を理解し、その上で個別の保険を取り上げてその実際がどのようにになっているかが理解できるようにすることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

保険の研究方法には種々の方法があるが、本講義では、前期には、保険の基本的原理（すなわち、保険の生成、保険の概念、保険の機能、保険料、責任準備金、資産の運用とその規制、保険者の組織、保険の分類等）を取り上げ、後期には、個別の保険（例えば、歴史的に一番古く、その後生成したその他の保険に大なり小なり影響を与えた海上保険）を取り上げ、経済生活上危険の発生が予測される場合、その危険が現実発生し、それによって生じる経済的不利益（すなわち損害）が保険によってどのように補償されるかを、どの保険にも応用できる形で講義する。

履修上の留意点

保険は、必要があって生成し、長い年月を経て発展してきた経済制度であるから、それなりの独自の機構や組織をもち、更に用いられる用語にも特殊性がある。したがって、講義に出席してノートをとるだけでなく、下記参考書のいずれかを熟読することが必要であり、そうすることを希望する。

成績評価の方法

出席状況、授業時間中の態度および学年末試験を総合して評価する。再試験実施。

教 科 書

特に指定しないが、下記参考書を利用することが望ましい。
 なお、必要に応じて資料を配布する。

参 考 書 等

鈴木辰紀編著『保険論』（第10版）（成文堂）
 石名坂邦昭著『リスク・マネジメントの理論』（白桃書房）
 前川寛『現代保険論入門』（中央経済社）
 今泉敬忠・大谷孝一著『海上保険』（損害保険事業総合研究所）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人口論	もりおか 森岡 じん	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B中・小選	

講義のねらい

人口に関わる学問分野は数多く存在するが、とくに経済学との関係から接近しようとするところにこの授業の特徴がある。経済と人口との関係はどちらかが一方的に他に働きかけるというのではなく、互いに作用しあう相互依存の関係にある。1970年代に成立しその後大きな発展を遂げた経済人口学は、この点に注目する人口学の一分野であるが、本講義も経済人口学の立場に立って、経済と人口の相互依存の関係を理論的、実証的に追求するものである。そこにおいては、日本を含む世界全体の人口について、過去から現在、そして可能なかぎり将来に及ぶ人口現象にまで論及してみたい。ことに、先進工業諸国に現在共通してみられる少子化と年齢構造の高齢化の問題は、わが国においても経済との関係から早急に解決を迫られている関心事であり、将来益々その重要度を高めていく。

一方発展途上諸国に生じている人口増加の問題は、貧困からの脱却のため、あるいは資源・環境の観点からも緊急に解決しなければならない困難な課題を提起している。このようにみえると、今や人口問題は地球規模で考え、そして解決していかなければならないことが理解されよう。しかしながら、人口を取り巻く関連分野が広範囲に及ぶことから、はたしてどこまでが人口の問題であり、どこまでが他の分野の問題であるのかを的確に見極めることが重要になってくる。真の人口問題が不明確だとすれば、それに対応する政策も不適切なものにならざるをえない。的確な事実判断の下に適切な政策を施すには、しっかりとした理論的知識を備えていなければならない。ここでは、経済人口学の成立と発展の過程を辿ることによって、人口理論の基礎的知識を養い、政策論にも言及してみたい。

この授業では人口という眼鏡を通じて経済をじっくりと眺めることによって、一人でも多くの学生諸君が人口に関心を抱くようになってほしいと考えている。なぜなら近年の先進諸国においては子供を公共財的に扱う傾向があり、人口問題が国民一人一人の問題になっているからである。

講義の内容・授業スケジュール

- I. 経済人口学の生成と発展
- II. 日本の人口と経済発展
- III. 人口高齢化の経済的諸問題
- IV. 人口政策

履修上の留意点

履修に当たっての条件というものはとくに無いが、近年大きな関心事になっている人口の“高齢化”や“少子化”に関する知識を、どのような手段をつうじてでも良いから得ておくことが望ましい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、出席状況
再試験を実施する。

教科書

大淵 寛・森岡 仁『経済人口学』（新評論）1981年

参考書等

大淵寛『少子化時代の日本経済』（日本放送出版協会）1997年
大淵寛・黒田俊夫編『現代人口問題』（大明堂）1990年

その他

授業の方法：講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
教育経済論	谷 敷 正 光	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3選	

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を説明するとともに、2000年に向けて一連の教育改革を行ってきた。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「アメリカ教育法」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向、日本の経済と教育の現状をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

科 専 門 教 育 目 録

講義の内容・ 授業スケジュール

- 先進国の経済発展と教育
 - 日本の産業化とリテラシー・識字率
 - 日本の経済成長と教育
 - アメリカの教育最前線 (ビデオ)
 - レーガン大統領の経済と教育1 「危機に立つ国家」 (一部ビデオ)
 - レーガン大統領の経済と教育2 「国家は応える」 (一部ビデオ)
 - ブッシュ大統領の経済と教育1 「全米教育サミット」 (一部ビデオ)
 - ブッシュ大統領の経済と教育2 「2000年のアメリカ」 (一部ビデオ)
 - クリントン大統領の経済と教育「アメリカ教育法」 (一部ビデオ)
 - サッチャー首相の経済と教育「教育改革法」 (一部ビデオ)
 - メジャー首相の経済と教育「競争力白書」 (一部ビデオ)
 - ブレア首相の経済と教育「知のネットワーク」 (一部ビデオ)
- 戦前日本の経済発展と実業教育政策
 - 学制時代における経済と教育1 富国強兵・殖産興業 (映画)
 - 学制時代における経済と教育2 学制公布と「行政管理学校」
 - 教育令時代における経済と教育1 工場払下と産業の勃興 (一部ビデオ)
 - 教育令時代における経済と教育2 教育令公布と実業補習学校・徒弟学校
 - 学校令時代における経済と教育1 産業革命と産業の発展 (一部ビデオ)
 - 学校令時代における経済と教育2 学校令公布と実業教育・「機業地学校」
 - 実業学校令時代における経済と教育1 資本主義の確立 (一部ビデオ)
 - 実業学校令時代における経済と教育2 実業学校令公布と「委託教育」「企業内学校」
- 戦後日本の経済発展と産業教育政策
 - 復興期の経済発展と教育 産業教育振興法公布 (一部ビデオ)
 - 高度成長第1期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - 高度成長第2期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - 高度成長第3期の経済発展と教育 (一部ビデオ)
 - 高度成長終焉後の経済発展と教育

履修上の留意点

- 年間5～6回程度小テストを実施し、平常点とする。
- 現実的理解のためビデオ・映画を使用する。
- 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- 毎時間かなり板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

成績評価の方法

- 授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。
- 再試験を実施する。

教科書

毎時間、講義の教材として年間40～50枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

参考書等

参考文献は講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。
土志田征一『レーガノミックス』(中公新書)

原田和明『ブッシュの米国経済』（日本経済新聞社）
 大原進『クリントンの米国経済』（日本経済新聞社）
 小林泰宏『アメリカで進む教育改革』（朝日新聞社）
 森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』（岩波新書）
 G・メイナード『サッチャーの経済革命』（日本経済新聞社）
 舟場正富『ブレアのイギリス』（PHP新書）
 プライアン・サイモン『現代の教育改革・イギリスと日本』（エイデル）
 A・グリーン、J・ハリスン『英国病』（新評論社）
 横西光速『日本資本主義発達史—産業資本の成立と発展—』（有斐閣）
 猪木武徳『学校と工場』（読売新聞社）
 三好信浩『日本の女性と産業教育—近代産業社会における女性の役割—』（東信堂）
 天野郁夫『教育と近代化』（玉川大学出版部）
 沼口博『学校教育と経済発展』（学文社）
 その他は講義の中で紹介します。

専
門
教
育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
貿易論	ふるさわ こうぞう 古 沢 紘 造	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1/小4選	4

講義のねらい

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って、貿易問題、さらには国際分業のあり方について深く考えてみたいと思います。その中で、経済学、生態学、倫理学からなる総合的視角の重要性を認識しつつ、私たちの生活のありようを問うことにも力を注ぎたい。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存、などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

講義の内容・
授業スケジュール

- I. 生産・消費と貿易
 1. 農産物と貿易
 2. 水産物と貿易
 3. 林産物と貿易
 4. 鉱物資源と貿易
 5. 工業製品と貿易
- II. 政治・経済・社会と貿易
 1. 開発援助と貿易
 2. 環境と貿易
 3. 公正と貿易
 4. グローバリゼーションと貿易
 5. 持続可能な発展と貿易

具体的な内容については、最初の講義のときに話したい。

成績評価の方法

ペーパーテスト、レポート、討論、報告発表など、できれば多面的な評価を試みたい。答案やレポートを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたい。思考の跡がうかがえないものは、評価の対象とはならないでしょう。再試験を実施する。

教 科 書

とくにこれといった教科書は使いません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえれば内容は充分理解できると思います。

参 考 書 等

講義の中で特に興味をもち、もう少し掘り下げてみたいことがありましたら、遠慮なく相談にきてください。参考になる本など教えます（研究室：第2研究館、4階34号室）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アジア経済論	ちよん 鄭 ちやんよん 章 淵	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・11・14選	4

講義のねらい

この講義では、受講生諸君のアジア経済に対する理解を深めるために、アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、できるだけその全体像に迫る予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化したアジアの経済発展を20世紀後半期に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾のメカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来のアジア経済論のように（典型的には、新古典派開発経済学）工業化の本格化した60年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」をなす時期（特に、植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、60年代以降の工業化過程において常に経済発展をリードしてきたアジア国家の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまでもアジアに視座を置きつつも、現在に至る歴史過程において、その都度、アジア経済に決定的な影響を及ぼしてきた世界経済の動向にも注意を払いたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

1. 経済発展の前史
 - (1) 植民地経済の概要
 - (2) 戦後経済発展の初期条件
2. アジアNIEsの経済発展
 - (1) アジアNIEsの範疇と経済発展の特徴
 - ※NIEsの用語説明、経済開発戦略の特徴、産業的特徴
 - (2) 開発独裁体制の成立
 - ※韓国の事例、その他の開発独裁
 - (3) 経済発展と民主化の弁証法
3. ASEAN諸国の経済発展
 - (1) タイ・マレーシア・インドネシアの経済発展過程
 - (2) ASEANの歴史
 - (3) 日本企業の進出状況

〔後期〕

4. アジア社会主義諸国の開放政策
 - (1) 中国の開放政策
 - (2) その他……ベトナム、北朝鮮
5. アジア経済発展論の系譜
 - (1) アジアNIEs論
 - (2) 東アジア経済発展論
6. アジアにおける地域経済協力
 - (1) APECの発展過程
 - (2) ASEANの自由化過程
 - (3) その他の中小規模経済圏
7. アジア経済の現状
 - (1) アジア通貨危機の発生とその影響
 - (2) その他の諸問題…環境問題etc.
 - (3) 日本とアジアとの関係の展望

成績評価の方法

前後期二回のペーパーテストと夏期レポートで総合的に評価する。試験の際に自筆のノートを参照にしてもらうので、講義中ノートをよくとってもらいたい。追・再試験を実施する。

教科書

特に定めませんが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。
大野健一・桜井宏二郎『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税抜き）

参考書等

参考文献については、講義中に随時紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国経済論	小杉修二	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B12中選	4

講義のねらい

この講義は中国の長期的動態をとらえる。
現在の中国は対外開放、経済成長と生活の向上の結合、経済改革の試み等、新たな活気がみなぎるようになった。また、企業自主権の拡大、株式会社、個人営業の公認、失業・倒産の制度化、「1国2制度」「6. 四天安門事件」等々話題に事欠かない状況である。
本講義ではこのような目前の変化をとらえると同時に、より長い視野と射程で問題を論じることとする。即ち、本講義のキーワードは、超大国志向、社会主義、発展途上国である。この三点で中国の長期的動態を論ずる。

講義の内容・授業スケジュール

この講義は3つのキーワードで歴史的解明をはかる。
前期授業のはじめに、キーワードを3週間分けて説明する。ここでは、地域研究が本来もっている特徴である、問題のさまざまな面をとらえる、ということと、そのうち比重の大きい側面は何であるかをつかむ、といった点に留意する。特に、私独自の見方である中国の超大国志向について詳しく説明する。

これにつづいて、中国経済の解明に取組むが、それは一言でいえば歴史的方法をとる。すなわち、中華人民共和国の成立(1949年)から今日までを、3つの特徴的な時期に分けて、(1)ソ連モデル(1949~57年)、(2)毛沢東モデル(1958~78年)、(3)鄧小平モデル(1978~)として、それぞれの時期の特質とその変化の動因を説明する。

このような方法をとるのは、今現在の目先の出来事も何かの方向へ向かって動いている訳だが、その方向というものは、あまり近くで見ているとわかりにくいものだからである。つまり、現在および将来というのは、過去の何らかの延長であると考えからである。それが単純な延長である場合もあろうし、新しい条件に見合った微修正の延長である場合もあろうし、また全く過去の否定的総括に立った転換である場合もあろう。その場合も、過去の何が否定的に総括されたのかを知らねば、将来への延長線は引かれないうであらう。そこで歴史的方法をとるわけである。

上記の3つのモデルを超大国志向、社会主義、発展途上国の3つのキーワードを軸にして説明していくが、そこでの中国は著しく軍事大国志向、経済成長志向である。世界の他の国々がそのような志向性をもっている中で、また中国が途上国であることからして、やむを得ない面もあるが、世界が環境問題で行き詰まりつつある中で、このような志向性のもつ問題点をも相対化し得る見方をもてるように留意したいと思う。

履修上の留意点

授業の進め方は、教科書に沿った講義とビデオ上映による説明の二本立てで行っている。
教科書は専門家向けに書かれており、自明のことや初歩的なことは書かれていない。したがって、中国経済に全くの初心者であると思われる学部学生に対しては、自明とされていることや、初歩的な知識の説明を補いながら講義を行う。
また、何分にも外国のことなのでイメージがわきにくいといった問題があるので、年に数回、中国関係のビデオを見る。例えば、新日鉄宝山製鉄所、天津の用水路、長春第1自動車工場、江南億元郷、天安門激動の40年等。

成績評価の方法

受験勉強の本質は正解当てクイズである。しかし、このような方法は実社会では通用しない場合が多いし、正解も変わっていく。諸君が物事(中国経済)を自前の頭で理解し判断できるための勉強が高等教育の場である。そのために、無数にいる専門家の意見の比較、優劣判定、取捨選択、時間による検証、といった作業が必要になる。その前提になるのが、各専門家の学説の正確な理解である(学説の受入れとは異なる)。テストは基準となる一つの学説(とりあえず、私の説)の正確な理解ができたかどうかを見るものである。
<再試験実施>

教科書

小杉修二著『増補 現代中国の国家目的と経済建設——超大国志向・低開発経済・社会主義』(龍溪書舎)4,000円

その他

学習が正解当てクイズに終わるかどうかは諸君の学習意欲にも係わっている。教科書の脚注引用文献や同第5章「諸学説の検討」あるいは授業中にその都度指摘する文献を積極的に読むことを希望する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
アメリカ経済論	せとおか 瀬戸岡 紘	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。アメリカ経済を自力で理解していく力をつけることが目標です。

講義の内容・授業スケジュール

以下の項目をさしあたり準備しています。受講者の要望の強いものから講義していきます。

◇大統領の今年の経済政策、◇建国の理念と現実、◇アメリカの農業、◇アメリカの工業、◇ヴェンチャービジネス、◇雇用と労働者、◇商業とサービス、◇金融、◇教育と経済、◇科学技術、◇先端産業、◇経済と環境問題、◇アメリカ社会とヴォランティア、◇女性・マイノリティー、◇ドルの地位とIMF、◇アメリカの貿易、◇軍の世界的ネットワークと経済的意義、◇海外援助、◇他国籍企業とアメリカ経済、◇アメリカとEC、◇アメリカと日本、◇アメリカとアジア・太平洋、◇アメリカとカナダ・メキシコ、◇アメリカの経済学、など

履修上の留意点

1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。アメリカの諸大学の授業にみられる長所を可能なかぎりとり入れた授業です。受講者の側からの評価や採点、改善提案なども実施します。

成績評価の方法

随時、受講者には小論を書いてもらい、それで成績評価をします。平常点重視のためまえから、一発勝負の年度末試験は、受講者の強い要望がないかぎり実施しません。それゆえ再試験も実施しません。

教科書

最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定の教科書は使用しません。講義では、随時よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体がこの講義の教科書ですが、どうしてもといわれれば、グリーンバーク著 瀬戸岡訳『資本主義とアメリカの政治理念』（青木書店）1994年 をおすすめします。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨーロッパ経済論	しみず たかし 清水 卓	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・2・3選	4

講義のねらい

本年1月1日から、EU諸国の統一通貨であるユーロが一般に流通するようになり、EU諸国の経済統合は高度な段階に入りました。数年のうちには10カ国を超える中欧、東欧諸国がEUに加盟することになっており、EUの機構改革も着手されました。こうして、世界におけるEUの存在はますます大きくなってきます。

本講義はEUとメンバー諸国の動きを紹介し、その意義を明らかにします。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期にはEUの主な課題の経過と現状を取り上げます。

市場統合の経過と現状
市場統合への道
1992年市場統合計画
現段階における市場統合への課題

欧州通貨統合
第2次世界大戦後の国際通貨体制と欧州
欧州通貨危機と欧州統合
欧州通貨制度 (EMS)
欧州中央銀行制度

市民的・社会的ヨーロッパ
欧州失業問題
地域格差問題
欧州福祉国家の現状
欧州基本権憲章

EUの安全保障問題

後期は各国経済とEUの産業分野を取り上げます

各国経済の現状
フランス
ドイツ
イギリス
イタリア
スペイン
オランダ・ベルギー・ルクセンブルグ
北欧諸国

産業分野としては
農業・農村・食料
伝統的部門
先端産業

なお、随時、EUの最新トピックスを解説します。

履修上の留意点

講義を興味深く聞き、内容を理解するためには、ある程度の基礎知識や、EUで現実に起こっている出来事への関心が必要です。是非、インターネットや、新聞、雑誌で自分の興味が持てる事柄を探してください。

成績評価の方法

前期末と学年末にペーパー試験を行います。
成績評価に際しては、出席回数を考慮します。卒業年次生に対する再試験は行いません。

教科書

特に指定しません。

参考書等

- 1) 田中素香、長部重康、久保広正、岩田健治『現代ヨーロッパ経済』（有斐閣）2001年
- 2) 藤井良弘『EUの知識』（日本経済新聞社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
ロシア・東欧経済論	山 縣 弘 志 <small>やまがた ひろし</small>	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることはできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエンと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達しえたか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに応えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの——レーニン時代——
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からベレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) プレジネフと停滞の時代
 - (3) ベレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本——比較経済史——

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。

再試験実施。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

その他

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報・経済ネットワーク論	なかすみ みつあき 中 濟 光 昭	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B11・14選	

講義のねらい

本講義は、

- 1 経済学を学ぶ上で必要な情報リテラシーを身につける
- 2 パソコンを駆使して情報ネットワーク上の経済システムを探求することを目的としている。

パソコンの実習および課題を通じて、電子メール、WWW等のインターネットの利用、さらには、ワープロソフト (Word)、表計算ソフト (Excel) を使って、レポート作成を行えることが1のゴールであり、情報ネットワーク経済の基盤となる情報システム概論、電子商取引概論を理解し、事例を通じてインターネット上の電子商取引、オンラインバイキング、オンライントレーディングなどについて理解することが2のゴールである。本講義の詳細については、<http://www.komazawa-u.ac.jp/du/economics/keizai/kougi/jkn.htm>を参照すること。

講義の内容・授業スケジュール

前期：

- 1) 教場のパソコンの使い方、Windowsの基本操作、受講上の注意など
- 2) インターネットとは？
- 3) インターネットから情報を得るには？
- 4) WWWを楽しむ
- 5) グループウェアで共同作業を行なう
- 6) インターネットで株取引シミュレーションをやってみる
- 7) 電子メールを使ってみよう
- 8) 電子メールを使いこなす
- 9) ワード (ワープロ) を使ってみよう
- 10) ワードで図や表を描いてみよう
- 11) エクセル (表計算ソフト) の基本操作
- 12) エクセルで計算してみよう
- 13) エクセルでグラフをつくろう
- 14) レイアウトを考えたレポートをつくろう
- 15) 簡単なWEBページの作成
- 16) 夏休みのレポートの説明

後期：

- 1) 情報システム概論
- コンピュータのコスト構造、組織変革論、技術概論
- 2) 電子商取引概論
- 電子商取引のインパクト、電子決済概論、法制度
- 3) インターネットビジネス概況
- マイクロソフトにみる情報ビジネス戦略、インターネットビジネスを覆う危機
- 4) 事例研究 (amazon. com, yahoo. comなどについてビジネスモデルを調査・分析する)
- 5) 冬休みのレポートの説明

履修上の留意点

当初はコンピュータの初心者着想した講義を行うが、例年多数の受講者がおり、各自のレベルに合わせた実習は難しい。従って各自講義外でもパソコンの操作を練習する必要がある。パソコンを所有し、パソコンに慣れ親しむことが望ましい。毎回なんらかの課題を出すので単位取得には出席と予習・復習が必須である。なお、実習を含むため、追・再試験は行わない。また卒業年次生においても期限までにレポートを提出しないものは、単位を認めない。

成績評価の方法

講義終了時課す課題 (出欠を兼ねる) と夏季・冬季休業時に課すレポートによる。再試験なし。

教 科 書

初回の講義で指示

参 考 書 等

初回の講義で指示

そ の 他

・本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがある。初回の講義に「必ず」出席すること。卒業年次生についても例外は認めない (事前に相談すること)。

・本講義では、前期に経済学部が必要と思われる情報リテラシーを学習する。従って1年次での履修が望ましい。1年次に履修する場合、新入生オリエンテーションの総合情報センターのガイダンスに出席し、Komanet利用登録手続きを行なうこと。

・Komanetに登録している前提で講義を行なうので、2年次以上でKomanet未登録者は4月初旬に4号館1F自習室に行き、登録手続きを行なうこと (登録なしに受講することは講義内容上困難

である)。

・講義に関する質問などは、事前予約の上、第二研究館4F 2437研究室 (tel : 03 - 3418 - 9352) に来室するか、nakasumi@komazawa - u. ac. jpにメールすること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
プログラミング論	はまもと かずひこ 濱 本 和 彦	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・2・3選	4

講義のねらい

現在の社会においてコンピュータはあらゆる分野で使用されており、その重要性は非常に高い。それに伴いソフトウェアの機能強化が必要とされており、ソフトウェアの開発におけるプログラミング技術の重要性はますます高くなっている。またコンピュータの使用環境もスタンダードからインターネットなどのネットワーク上での利用へと変化し、それに伴って供給されるソフトウェアを記述するプログラミング言語も変化している。

本講義ではまず、ソフトウェア開発におけるプログラミング技術の位置づけを明らかにするために、ソフトウェア工学の基礎について講義する。次にプログラミング技法とプログラミング言語について講義する。プログラミング言語としてはC言語とJavaを扱い、実際にソフトウェアを作成しながら包括的なプログラミング技術、ソフトウェア開発について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

まず、ソフトウェア工学の基礎とプログラミング技法（構造化やオブジェクト指向）について講義する。次に、プログラミング言語について実際に演習（ソフトウェア作成）を交えながら講義する。言語としてはC言語とJavaを扱う。前期にC言語、後期にJavaを扱う予定である。C言語は基本情報技術者試験レベルを目標として、各種データ構造からポインタ、関数、構造体、ファイル操作まで講義する。Javaでは、主に、インターネットのWWW上でプログラムを発信するためのJavaアプレットについて講義する。いずれも実際に演習を行い、「アルゴリズムの作成」、「流れ図の作成」、「コーディング」、「コンパイル」、「実行」、「デバッグ」、というソフトウェア開発の流れを学習する。

履修上の留意点

できるだけコンピュータの初心者に対しても理解しやすいように講義を行うが、各自の予習復習が理解のためには必要である。なお、メールによる出席調査、課題提出を行うため、履修予定学生は大学のメールアドレスの取得手続きを行っておくこと。なお、最初の数回の講義においてプログラミングの実習のためのコンピュータの操作方法について説明するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

講義中に出す課題、長期休暇中に課すレポート、および中間試験、期末試験により評価する。なお、再試験を実施する。

教科書

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

講義中に指定する。

その他

講義は実際にコンピュータの画面をプロジェクトで見せながら行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
情報処理論	いわせ ひろかず 岩 瀬 弘 和	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3選	

講義のねらい

高度情報化社会といわれている現代社会において、コンピュータグラフィックス（CG）は様々なところで利用されており、今後、インターネットにおける技術向上やコンピュータの家庭内への普及とともに、CGを作成したり鑑賞する機会が急速に増大するものと予想される。
この講義では、CGの概要から始まり、CG作成のための基本的な理論を学習していく。その際、既存のCG作成ソフトを使用しながらその技術を習得するとともに、CG理論の理解を深めていく。さらに、現在CGが応用されている分野を知り、今後どのようにCGが活用され、発展していくのかについて議論する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・コンピュータグラフィックスとその展開
- ・2次元CGの作成と変換理論の習得
- ・3次元図形の表示技術（投影方法と透視変換、除線処理と陰面処理など）
- ・自由曲線の種類とその理論（ベジエ曲線、Bスプライン曲線など）
- ・自由曲面の種類とその理論（ベジエ曲面、Bスプライン曲面など）
- ・3次元モデリングの実際、コンピュータアニメーションなど

上記の理論を学習するとともに、Photoshop、VRML、Java Scriptなどの使用方法についても習得する。

履修上の留意点

パソコン使用経験者が望ましい。

成績評価の方法

出席状況および提出課題にて評価する。
再試験はレポートにて実施する。

教科書

配布資料。

参考書等

山中成典、小林孝史（編）『VRMLの達人』（森北出版）
黒瀬能幸『3次元図形処理工学』（共立出版）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
商品学	いしざき よしふみ 石 崎 悦 史	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3選	

講義のねらい

現在の商品の状況は変化が激しいが、消費者のニーズと企業との関係のなかで出現するものである。それをもとにして、商品の将来と社会生活の変化を考えたい。
現実のなかから商品学の体系を作り出すという手法を試みようとしているが、これが成功するかどうかは学生諸君の参加の程度にかかっている。自分の頭で考えるという習慣を大学生としてもたないと勉強はほとんど意味をもたないからである。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の順にしたがうが、現実をいかに抽象化していくかということ念願においているので、商品ブランド、CMなどの役割から社会科学の体系まで考えるプランを実行してみたい。教科書をみて判断して下さい。

成績評価の方法

前・後期に筆記試験をおこなう。再試験を実施する。

教科書

石崎悦史『商品知識イノベーション戦略』（同友館）1,600円

参考書等

- (a) 石崎悦史『商品学と商品戦略』（白桃書房）
- (b) 片岡寛編著『市場力学を変える商品多様化戦略』（中央経済社）
- (c) 片岡寛編著『拡大する栄養ドリンク市場』（中央経済社）
- (d) 見目洋子『「生活福祉」を実現する市場創造』（中央経済社）

その他

例年受講者が多いので、大教室での講義形態をとらざるをえないが、勉強をおもしろくするための方向性を示したいと考えている。勉強が生きる力になることを期待したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商業史	こ う の や す の り 幸 野 保 典	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B11・12選	

講義のねらい

商業史とは、各時代の人間の経済生活のなかでとくに商業活動を取りあげて、その具体的役割や歴史的変遷を明らかにする学問だといってよいであろう。この場合の経済生活とは、人間が生存のために必要な生活必需品などさまざまな財貨（商品）を獲得し、それらを消費しながら日常生活を繰り返すことである。広義の商業とは、財貨がどこで生産され、どのような経路で生産者から消費者へ運ばれ売られるかに関わることである。

経済の発達した現在では、消費者は必要な消費財をみずから生産せず、第三者が生産した財貨を商品として市場から購入しなければならない。人間の経済生活は市場における商品の売買という取引行為を通して営まれている。そして、商品売買という取引行為が生産活動から独立した場合、商品を購入して再び販売するこの取引行為は生産とは別の独立した職業として専門的に営まれることになる。これが本来の意味での商業で、それを専門に営む者が商人である。

このように、本来の商業は市場における商品の購入と再販売という連続した二つの取引からなっている。しかし、現実には商品取引が行なわれる場合には、金融業（信用業務）、通信業（発注・受注業務）、保険業（商品の保全）、運輸業（商品運送業務）、倉庫業（商品の保管）などが商品の売買に付随して行なわれることから、これらも商業の範疇として考えられ、商業史の対象とならう。外国との商取引である貿易も商業史の重要な一部門である。

このように商業史の対象は多岐にわたるが、本講義では、日本における小売商問題、とくに大正・昭和期の小売商問題に重点をおきたいと思う。それは、今日の小売商問題の源流を探るうえで重要であると考えられるからである。経済史とのかかわりのなかで商業史をみることは当然のことではあるが、小売商問題に限っては社会史や文化史からのアプローチも重要な要素となる。経済的効率のみから小売商問題を理解したり、外国との経済摩擦の解消策としての規制緩和問題に重点を置き解決を計ろうとすれば、地域文化の崩壊や個性の喪失はまぬがれないと考える。

科 専 門 教 育 目 録

講義の内容・授業スケジュール

- I. 商業史の課題と方法（1回）。II. 明治期の商業、1. 近代商業の経済的環境（1回）、2. 近代商業経営の成立（1回）、3. 商業教育の展開（1回）。III. 大正・昭和期の小売問題、1. 小売商の社会経済環境（1回）、2. 商業人口の過剰現象とその定着度（1回）、3. 中小商業者の零細性（1回）、4. 各種小売形態の発展、a. 百貨店①百貨店の発展（2回）②百貨店の植民地、占領地への進出（1回）、b. チェーンストアなどの発展（1回）、c. 小売市場、産業組合（1回）、d. 商店街①商店街の形成（1回）②各地「商店街ニ関スル調査」の概要（1回）③菓嶋地蔵通商店街、浅草仲見世商店街、谷中銀座商店街（1回）④砂町銀座商店街、高円寺純情商店街、中野北口サンモール・ブロードウェイ商店街（1回）5. 中小小売商の経営実態、a. 小売商経営の実際（1回）、b. 小売商問題の発生と社会的認識（1回）。c. 露天商（ヤシ・香具師・てきや）（1回）。6. 中小小売商の社会運動、a. 反百貨店運動（1回）、b. 反産運動・その他の社会運動（1回）。IV. 戦時下の商業、1. 商業の再編成（1回）、2. 中国占領地における物資通済業務と百貨店（1回）。V. 戦後の小売商問題、1. 流通革命とスーパー・マーケット（1回）、2. コンビニエンス・ストアの発展（1回）を予定している。

履修上の留意点

とくになし。

成績評価の方法

前期にレポート、後期に試験を実施する。再試験を実施する。

教 科 書

とくに指定しない。毎回講義にはレジユメを用意する予定である。

参 考 書 等

- 竹林庄太郎『日本中小商業の構造』（有斐閣）1941年
 日本小売業経営史編集委員会『日本小売業経営史』（公開経営指導協会）1967年
 糸園辰雄『日本中小商業の構造』（ミネルヴァ書房）1975年
 藤田貞一郎、宮本又郎、長谷川彰『日本商業史』（有斐閣）1978年
 石坂昭雄、壽永欣三郎、諸田實、山下幸夫『商業史』（有斐閣）1995年
 白澤恵一『地域経済と小売商業』（溪水社）1982年
 鈴木安昭『昭和初期の小売商問題』（日本経済新聞社）1980年
 田中道雄『商店街経営の研究－潮流・変革・展望－』（中央経済社）1995年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
消費経済論	かわしま 川 島 美 保	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・2・3選	4

講義のねらい

「消費経済論」という学科目の理解は必ずしも一様ではない。ここでは労働力再生産領域＝消費生活領域の経済学と捉え、消費経済論の対象を消費行動や物やサービスの購買に関わる問題に限定せず、世帯における消費過程の内実をも視野に入れ、消費生活上の諸問題を検討する。今日の経済のグローバル化、情報化、少子・高齢化等の進展は消費構造に転換を迫るものであるが、21世紀の消費生活をめぐる諸課題を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 消費経済研究の対象と方法
2. 消費経済研究の動向（2回）
3. 戦後の消費生活の歩み（3回）
4. 勤労者の生活構造と家計
5. 家計調査の歴史と家計分析の方法（2回）
6. 現代の家計構造の特徴
7. 企業社会の変容と生涯家計収支
8. 諸階層の家計と消費生活課題（2回）
9. 戦後の消費者問題・消費者政策の変遷（4回）
10. 情報化と消費生活（2回）
11. カード化社会と消費者問題（2回）
12. 無償労働と地域通貨
13. 生活福祉環境の変化と消費生活（2回）
14. 持続可能な消費と新しいライフスタイル

履修上の留意点

日頃、消費生活に関わる問題に関心を持つこと。再試験実施。

成績評価の方法

レポート

教 科 書

伊藤セツ・川島美保編著『新版消費生活経済学』（光生館）2,200円前後

参 考 書 等

授業中に紹介する。適宜プリント資料を配布する。

そ の 他

授業の方法：講義

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営戦略論	た ぶ ち や す お 田 淵 泰 男	経 A・商 1・2・3・4 選 12以降入学生/経 B 1・2・3 選	4

講義のねらい

企業をとりまく経営環境が、ダイナミックに変化している現代、経営戦略の優劣いかんが、企業の栄枯盛衰に重大な影響をもつようになっています。企業がそうした環境に、いかにうまく適応すべきかを考える経営戦略は、現代企業にとっても最も重要なものであるとともに、現代経営学における中心的な研究分野の1つになっています。

この講義では、これまでの経営戦略論の展開をふまえ、経済学部で経営戦略論を学ぶ皆さんにとって是非必要な重要論点にかんする知識を提供し、それらの考え方の理解をはかることをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

経営戦略論のつぎのような主要分野について、それぞれの理論を事例ないしフィールドリサーチによる最近の実例などをまじえて解説します。

- ・経営戦略論への招待
戦略とは何か、経営戦略とは何か、経営戦略論の発展過程と概念の構築、経営戦略の体系。
- ・企業が生存していくために選択・決定すべき「企業戦略としての事業領域（ドメイン）の定義
- ・企業が成長戦略のなかで新しい製品・市場をめざして複数の事業分野に経営資源を展開していく「多角化戦略」
- ・多角化した企業が経営資源をどのような製品事業へ選択的に重点配分すべきかを考える『事業ポートフォリオ戦略』
- ・競合企業に対して競争上の優位な地位を獲得するための「競争戦略」
- ・その他
機能分野別の戦略（研究・技術開発戦略など）、経営戦略と組織、最新の経営戦略論の動向などについて、授業時間数の配分を考慮して取り扱います。

履修上の留意点

企業行動の論理を探究しようとする意欲をもって、その機会を常日頃意識的にさまざまな視点からとらえようとする姿勢が大切です。

成績評価の方法

期末試験により評価します。出席は加点対象とします。ただし、受講者の学習意欲や出席状況を参考にして、レポートを加点対象とした総合評価とすることがあります。再試験を実施します。

教科書

開講時に説明します。

参考書等

適宜紹介します。

その他

毎回、プロジェクター（パワーポイント）を利用します。図表を多用するとき、詳細な説明を要するときはプリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
財務管理	おぐら やすひろ 小 椋 康 宏	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B11・12選	4

講義のねらい

本年度の講義については、第1に、経営のグローバル化における企業経営の財務問題に焦点をあわせながら、財務管理の基本的枠組みと財務管理の基礎原理を修得させることをねらいとする。また第2に、日本的経営財務の視点から、日本の企業体のなかにある財務管理の実態をとりあげ、日本的経営の再構築としての新しい経営財務原理を展開する。とくに日本企業の財務管理実践についても論及する。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 財務管理研究の方法
財務管理研究の方法を明らかにする。ここでは、とくに経営学のなかでの財務管理の位置づけを明らかにする。財務管理研究と実践経営学研究との関連についても明らかにする。
- ② 財務管理研究の流れ
アメリカ財務管理研究の流れを明らかにし、a、企業金融論的財務論、b、管理論的財務論、c、意思決定論的財務論、d、実践学的財務論のそれぞれの方法と課題を明らかにする。
- ③ 財務管理組織
財務管理の典型的組織として、アメリカ企業の財務管理組織を明らかにする。また日本企業の財務管理組織をとりあげ、日本企業の経理部と財務部の実態を明らかにする。
- ④ 財務分析
財務分析の比率分析および体系分析を通じて、企業の評価分析の一技法を検討する。また財務分析の体系化として財務分析の理論研究を展開する。
- ⑤ 運転資本管理
運転資本管理の理論と技法を明らかにする。あわせて資金運用表の仕組みを明らかにする。
- ⑥ 確実性下における投資決定
投資決定の基本概念を明らかにする。投資決定のプロセスを明らかにし、投資決定基準とくにa、回収期間法、b、正味現在価値法、c、内部利益率法、d、収益性指数法の内容を明らかにする。
- ⑦ 不確実性下における投資決定
不確実性とリスクおよびリスクとリターンを概念を明らかにする。とくに不確実性下で採用される投資決定方法について明らかにする。
- ⑧ 資本コスト
財務管理研究のキーワードである「資本コスト」の理論を明らかにする。ウエストン、ブリガム、ゴードン等による伝統的意思決定論的財務論の理論に加え、モジリアーニ、ミラーによるいわゆる「MM理論」の展開を通じて、資本コスト論の重要性を明らかにする。
- ⑨ 資本構成
資本構成の理論を明らかにする。営業レバレッジの理論、財務レバレッジの理論についてもふれる。最適資本構成理論をベースに企業評価論を展開する。
- ⑩ 資本調達
資本調達の制度論について明らかにする。とくにエクイティ・ファイナンスの理論を資本コスト論との関係で明らかにする。

以上の項目に加え、⑪配当政策、⑫株価モデル、⑬CAPM理論、⑭M&A理論、⑮日本的経営財務論、⑯国際的経営財務論のトピックスを講義のなかでとりあげたい。

年間スケジュールに関しては、①～⑤項目については前期において、⑥～⑯については後期において講義予定である

履修上の留意点

講義のなかでの演習問題については、よく復習すること。

成績評価の方法

出席率80%以上
レポート 1～2回（講義における演習問題）
試験 学年末試験（再試験を実施しない）

教科書

小椋康宏『経営財務（増補版）』（同友館）1984年 2,884円

参考書等

小椋康宏『日本的経営財務論』（中央経済社）1984年
諸井勝之助『経営財務講義』第2版（東京大学出版会）1989年
若杉敬明『企業財務』（東京大学出版会）1988年
岡部政昭『現代の経営財務』（同文館）1990年
赤石雅弘、小嶋博、榊原茂樹、田中祥子編『財務管理』（有斐閣）1993年
小山明宏『経営財務論——不確実性、エージェンシー・コストおよび日本の経営——』（三訂版）（創成社）1996年

そ の 他

講義形式で行なうが、講義中での質問を受ける。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営学史	いわなが こうじ 岩 永 宏 治	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・2・3選	4

講義のねらい

企業・経営における実践の理論的体系化として生成・発展してきた経営学の歴史的展開を中心に講義していく予定です。その際、アメリカを代表する学説を焦点にし、それらの学説がいかなる歴史的、経済的、思想的背景のなかで成立し、企業・経営あるいは組織・人間のいかなる側面を問題にし、どのような理解を示してきたのかを解明していきます。そのなかで、アメリカにおける経営学の基本的性格とその歴史的・客観的な意義と役割を明らかにしていくつもりです。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① アメリカ経営学の基本的性格
- ② アメリカ資本主義と管理問題
- ③ 独占形成と管理問題
- ④ アメリカ経営学の思想的背景
- ⑤ テイラリズム
- ⑥ 科学的管理と精神革命
- ⑦ フォーデズム
- ⑧ 合理化運動と労働問題
- ⑨ ホーソン実験と人間関係論
- ⑩ 人間関係論の基本思考
- ⑪ フォレット学説の特徴
- ⑫ 行動科学的管理学説の展開

履修上の留意点

開講時に指示します。

成績評価の方法

ペーパーテストと出席状況により評価します。
再試験を実施する。

教 科 書

高木・丸山編著『経営管理の理論と歴史』（中央経済社）

参 考 書 等

必要に応じて随時指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
会計監査論	もりた よしひろ 森 田 佳 宏	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3選	

講義のねらい

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為の全部または一部につき、それに関与しない独立の第三者が分析的に検討を加え、その適否または成否に関する批判的意見を表明することである。これは、会計監査の一般的意義であるが、会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。財務諸表監査とは、企業が作成する財務諸表の適否について、監査人が公正な立場から検討を加えて専門家としての意見を表明し、もって財務諸表に対する社会一般の信頼を高めるための制度であり、主として、投資者、債権者その他の利害関係者の利益擁護を目的とする監査である。

いうまでもなく、財務諸表監査は、企業が作成する財務諸表をその対象としている。財務諸表とは、周知のとおり、毎事業年度に作成される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等の財務に関する決算書類である。

これら財務諸表の適否の検討にあたって、監査人の判断の基礎となるものが、商法、財務諸表規則、企業会計原則等の会計に関する法令および慣習規範であり、監査人の行為の尺度となるものが監査基準である。

講義の内容・授業スケジュール

職業監査人による財務諸表監査（特に証券取引法監査）を中心として、会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度、監査基準等に関する研究を行う。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに、「簿記論」、「会計学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

原則として試験の結果により評価する。なお、再試験は実施する。

教科書

指定しない。必要に応じて資料を配布する。

参考書等

税務研究会編『企業会計規則集』（税務研究会出版局）
飯岡透、市村一之、鳥崎規子『会計監査概論』（中央経済社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
管理会計論	いしかわ ゆうじ 石 川 祐 二	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B1・2・3選	

講義のねらい

実務においても適応可能な管理会計上の基礎的知識と基礎的論理を身につけてもらうことが、本講義の最大の目標である。とりわけ、経済的状況が厳しい現代において、企業の生き残りのために企業管理を適切に実施する必要性が高まり、その時に管理会計情報を有効に利用することが、一つの重要な鍵になると考えられる。情報を有効に利用するためには、それを生み出す仕組みを理解し、さらに、社会的諸関係の中でその情報が果たす役割・意味を知ることが大切である。そのような理解が進むよう、講義を行いたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期：管理会計をとらえる視点を最初に明らかにし、その後、原価概念と利益概念を中心とした基礎概念を示す。さらには、管理会計上の伝統的技法をとり上げる。

後期：近年、議論の中心となっている管理会計上の技法をいくつか取り上げ、その意味を考える。

履修上の留意点

電卓を用いるので、持参すること。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。再試験は実施しない。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

講義において適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原価計算論	すずき かつひろ 鈴木 勝 浩	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B11・12選	

講義のねらい

原価計算は「目的」に対する「手段」の体系にはかならないから、原価計算はその目的との関連において理解されなければならない。多くの企業において、原価計算システムは経営情報システムのコアを形成し、経営管理に関連するさまざまな情報ニーズに応えることができるように、システムの構築が考えられるべきである。原価計算システムに対する情報ニーズは、経営環境や経営戦略の変化に応じて絶えず変化する。特にFA化が進んだ今日、伝統的な原価計算の中にはその有用性を失いつつあるものもある。そこで本講義では、伝統的な原価計算を解説しその問題点を把握した後、原価計算の新しい潮流について話を進めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本講義の内容とスケジュールは概ね以下の通りである。

- I 原価計算の歴史
- II 原価計算総論
- III 財務諸表作成のための原価計算
- IV 経営管理のための原価計算
- V 原価計算の新しい潮流

履修上の留意点

本講義の主テーマはFA化を前提にした現代企業における原価計算である。日頃から製造業に関する問題について関心を持って欲しい。

また教科書にある計算事例を使いながら講義を進めていくので、当然のことではあるが、教科書は必ず購入すること。

成績評価の方法

出席率及び定期試験の総合評価で行う。
再試験は実施する。

教科書

山田庫平編著『原価計算の基礎知識』（東京経済情報出版）

参考書等

毎回プリントを配布する。
参考文献については必要に応じて紹介する。

科専門
教育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
税務会計論	やなぎ ゆうじ 柳 裕 治	経A・商1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経B11・12選	

講義のねらい

本講義では、税務会計論の初学者を対象に、法人企業の課税所得計算理論を体系的に理解することを目的とする。あわせて、租税の時事問題に触れ、租税に関する幅広い知識を修得できるようにしたいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

税務会計とは、税法（特に法人税法）の規定に従って課税所得および税額を計算することによって租税債務を確定するための会計である。企業会計は、通常、帳簿記入・決算・納税申告という一連の手続きによって完結するが、税法は企業の所得に課税するため、その計算過程において企業会計と密接な関わりをもっている。

そこで本講義では、企業会計と関連させながら、法人が課税所得および税額を計算し、申告し、納税する一連の税務会計手続について、法人税法の理論を中心として体系的に説明していくが、所得税法および消費税法についても触れる。法人税法については、法人税の意義、基礎的概念、課税所得計算構造、益金・損金の会計、リース会計、消費税の会計、国際課税等を解説する。

成績評価の方法

中間試験（またはレポート）および学年末試験により評価する。
再試験は実施しない。

教科書

柳裕治著『税法会計制度の研究』（森山書店）

参考書等

岸田・矢内・柳・吉村著『現代税法の基礎知識』（ぎょうせい）
井上・柳・矢内著『法人税の計算と理論』（税務研究会）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
憲法	うちだ まりこ 内 田 真 利 子	経 A・商 1・2・3・4 選 12以降入学生/経 B 1・2・3・4 選	4

講義のねらい

市民と公権力との関係、個人と集団との関係、少数者と多数者との関係において、憲法の存在意義を再確認すること。受講者が、自分自身に関わる問題として憲法に興味を持つためのきっかけにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

政治の動向、社会的事件、受講者にとっての身近な関心事などを題材に選び、「人権」という観点から問題点の整理および検討を行う。具体的なテーマは、現実社会の変化に応じて、また受講者からの要望に応じて、適宜選択していく。網らする領域は幅広い。その一例を以下に挙げる。環境、平和、象徴（日の丸・君が代・天皇制）、家族と法、学校における人権、職場における人権、医療と人権、性愛の自由、外国人の人権、宗教と人権、犯罪と法、報道と人権、性差別……。

履修上の留意点

毎回の授業に単に出席するだけでなく、主体的に参加できる人にも受講してほしい。

成績評価の方法

通常授業時間中に年数回、小レポート作成を課す。このレポートのほか、授業への参加意欲についても成績評価の対象とする。なお、「試験」は行わない。したがって「再試験」も行わない。

教 科 書

授業で指示する。

参 考 書 等

六法（出版社、サイズは問わない）、少なくとも日本国憲法の全条文。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民法一部	おおみや 大 宮 隆	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・2・3選	4

講義のねらい

民法という法律は、日常の社会生活（財産関係と家族関係）を規律の対象とし、総則・物権・債権・親族・相続の五編に編別されている。本講の対象は、第一編総則、第二編物権である。なかでも総則は、全編に共通な規定と、どの編にも入れることができない規定を集めて構成されているので、抽象的な法文形式が多い。講義においては、具体例を挙げてわかりやすく説明したいと思っている。

講義の内容・ 授業スケジュール

- ① 民法の意義
- ② 民法典の編別
- ③ 民法の指導原理とその修正
- ④ 自然人
- ⑤ 法人
- ⑥ 物
- ⑦ 法律行為
- ⑧ 期間
- ⑨ 時効
- ⑩ 物権変動
- ⑪ 占有権
- ⑫ 所有権
- ⑬ 地上権
- ⑭ 永小作権
- ⑮ 地役権
- ⑯ 留置権
- ⑰ 先取特権
- ⑱ 質権
- ⑲ 抵当権

科 専
門 教
目 育

履修上の留意点

講義には六法持参のこと。講義終了時に次週の予告をするので、教科書を読んでくること。

成績評価の方法

年度末の定期試験と出席状況を総合して評価する。再試験を実施する。

教科書

『新民法概説（1）総則・物権』（有斐閣双書） 1,900円

参考書等

講義の中で随時紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
民法二部	お 織 だ て る こ 織 田 晃 子	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B11・12選	4

講義のねらい

民法二部の講義は債権総論と債権各論を対象とする。条文で言うと、399条～724条であり大変広範囲である。一年間でこれらすべてを網羅することは到底無理である。よって、まず日常の普通の取引、例えば、だれでも思い浮かべるであろう不動産の売買をとりあげ、売買の交渉から契約の成立、その履行にいたるまでの財産法上の問題をとりあげ、次に売買契約が履行されなかった場合の法的処理、すなわち債務不履行による損害賠償や解除に進む。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 売買の交渉から契約の成立、その履行
 - ① 契約の成立
 - ② 契約の履行過程
 - ③ 契約の履行終了
 - ④ 登記の移転
 - ⑤ 債権譲渡
- 2 契約不履行の場合の法的処理
 - ① 債務不履行
 - ② 契約の解除
 - ③ 他人の物の売買
 - ④ 瑕疵担保責任
 - ⑤ 債権者代位権
 - ⑥ 詐害行為取消権
- 3 その他
第三者による債権侵害、多数当事者の債権関係等。

履修上の留意点

六法は必ず持参すること

成績評価の方法

期末試験の成績と出席日数により評価する。再試験実施。

教科書

教場にて指示する。

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

専
門
教
育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商法一部	や ま だ や す ひ こ 山 田 泰 彦	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B11・12選	4

講義のねらい

この講義では、株式会社法を中心にする。現代の経済活動において不可欠の組織となっている株式会社—その構造、運営に関する法規制を体系的に取り上げて見て行きたい。また、近時は、株式会社法上の問題が新聞等で報じられることが多いが、こうしたトピックについても、できるならば触れてみたいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

まず、①会社法総論として、会社の経済的機能、法的意義を見た後、株式会社の特徴を位置付ける。次いで、②株式会社の設立を取り上げたい。その後、③株式制度に入る。具体的には、a. 株式の意義、b. 株主平等の原則、c. 株式譲渡自由の原則とその例外、d. 株券、株主名簿、名義書換を中心に講義する。③cのあたりで、夏休みに入るものと予定している。そして最後に、④会社の運営を取り上げる。a. 機関総論、b. 株主総会、c. 取締役・取締役会、d. 監査体制がその大まかな内容となる。

履修上の留意点

講義中での私語は厳禁する。これを守れない諸君には、教場からの退場と、場合により、さらに強い措置を取る。平成13年に重要な改正があったので、講義には、必ず六法全書（平成14年度版以降のもの）を持参のこと。

成績評価の方法

期末試験での評価による。場合により出席をとり、成績評価の参考とする。再試験は実施する。

教科書

荒木正孝『企業法』（成文堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商法二部	はるた ひろし 春 田 博	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、実質的意義における商法に属する手形法及び小切手法について論じ、あわせて、権利を流通させるための技術としての有価証券に関する法理について、受講生諸君に理解を深めてもらうことを目的とした。

講義の内容・
授業スケジュール

ほぼ条文の順序に即して講義を進めてゆく予定であるが、まず初めに有価証券に関する基礎理論についてあらかじめまとめて講ずることを考えている。

履修上の留意点

一切の紙片のみによって権利に関する全てが決せられるという事情から厳格かつ合理的な解釈が絶えず探究されざるを得ない分野であり、それゆえに原則がひととき重要視されることになる。その意味では、現実に履修を終えているか否かを措いても、私法の一般法たる民法（とりわけ総則部分）の知識がとりわけ重要になるという経緯について、一応了解して欲しい。

成績評価の方法

学年末に実施される定期試験の結果によって行なう。再試験なし。

教 科 書

まずは何であれこの分野に関する気に入った図書を一読し、読了しておくことを強く希望する。但し、著者に依じて基礎理論に大きな相違が生ずる分野であるので、この点にはよく留意しておいて欲しい。

教科書としては、とりあえず、田辺光政著『最新手形法小切手法』（三訂版）（中央経済社）3,600円の使用を予定しており、この本の叙述に即して講義を進める予定である。

参 考 書 等

必要に応じ教室においてその都度指示する。

そ の 他

授業は講義形式で行なう。

科 専
門 教
目 育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済法	おかだ としひろ 岡 田 外司博	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少くともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。再試験実施。

教 科 書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
労働法	ふじもと 藤 本 茂	法 B 3・4 選	4

講義のねらい

今日、労働法の舞台である労働関係は、日本型雇用システムの変容とも言われるように、変化しています。雇用調整・リストラ、出向・転籍や年俸制の導入といったものです。

労働法も、この変化に無関係ではありません。

この変動は、労働者個人に降りかかってきます。その意味では、雇用関係法領域において、顕著な問題であるといえましょう。裁量労働制、配転法理、解雇法理、男女雇用平等などなどです。労働組合を中心に扱う労使関係法領域にはあまり時間を割くことができません。

この変動の時期における現代的課題を考えるにあたって、基礎的事項における形成定着している労働法理を学び、これからの展望を模索しようと思います。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、下記事項について、基本的なことをまなび、現代的課題に言及します。

詳しくは、第1回目の授業のときに配布するプリントで述べます。ここでは、一応のアウトラインを述べるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変容と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 組合が自由に活動できる環境の整備－不当労働行為
- (7) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (8) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (9) 人事異動－配転、出向、転籍
- (10) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (11) 賃金、賞与、退職金
- (12) 労働時間、時間外労働
- (13) 休憩、休日、休暇
- (14) 労働災害など

履修上の留意点

出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。ただし、授業のマナーは守ってください。たとえば、私語はNo、内職はNo、携帯電話はOffなど。

成績評価の方法

成績は、平常点を加味することはありませんが、学年末試験がメインです。再試験は、実施します。

教科書

授業は、レジュメと資料を配布して進めます。教科書は、特に指定しません。しかし、道しるべとして教科書は用意してください。適当と思われる概説書をいくつか、第1回日の授業で、紹介します。これを参考にして1冊は用意してください。

参考書等

第1回日の授業で紹介します。

六法は最新のもの（法改正があるので特に留意してください）そして、労基法施行規則の載っているものを用意してください。

その他

皆さんが、各事項について、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら、授業を進めます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
行政法	かねこ しょうへい 金子 昇 平	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・4選	4

講義のねらい

現代の行政法は、従来、対象とされていない、新たな法分野が続出している。例えば、行政手続法、情報公開法等の制定をはじめ、各行政分野ごとの基本法が整備されようとしている。また、現実の行政需要も変化し、発達し、その適正化が求められている。

そこで講義においては、行政法総論での、基本的な原理や原則に対する、よりアップ・トゥー・デートな課題を積極的に掲示し、諸君とともに、問題発見と問題解決のための法的手法を考えてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 行政と法の関係
 - ①法による行政の原理 ②行政法の意義と範囲 ③行政法の法形式 ④行政上の法律関係
- 2) 行政主体と私人
 - ①行政主体と行政客体 ②国の行政組織 ③地方公共団体の行政組織 ④行政機関・公務員
- ⑤行政情報と法
- 3) 行政手続法
 - ①行政立法 ②自治法 ③行政計画 ④行政行為 ⑤行政契約 ⑥行政指導 ⑦行政調査 ⑧行政強制 ⑨行政罰
- 4) 行政手続の法
- 5) 行政救済法
 - ①国家賠償法 ②行政上の苦情処理 ③オンブズマン ④行政上の不服申立 ⑤行政訴訟

科専
門教
育

履修上の留意点

行政法は、きわめて数多くの法律が登場してくるので、六法全書を必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績により評価する。再試験実施。

教科書

成田頼明他『現代行政法』[第4版] (有斐閣)

参考書等

塩野宏他編『行政判例百選Ⅰ・Ⅱ』(第四版) (有斐閣)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国際法	さいとう ひろし 齋 藤 洋	経A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経B1・4選	4

講義のねらい

この講義は一年を通して国際法の基礎知識を習得することを目的とします。国際社会も人間が作り出した存在ですから、人間の持っている観念や思想に基づいて建設されています。社会は自分が生まれたときから死ぬまで永久に同じでありつづけることはなく、その時代に生きた人々の考えによって、大きく変わるものです。現代国際社会はどのような考えを土台としているのか、その上にどのようなルールが作り上げられているのか、といった点を中心に講義します。

講義の内容・授業スケジュール

講義はテキストの目次に示されている順序で行います。特に前期は国際社会の大枠および国家に関する事項、後期は人的・地的管轄権や国際組織などが中心となります。

履修上の留意点

国際社会の出来事を日常生活の中で直接実感するのは難しいです。それゆえに履修者は、新聞の国際面を毎日読み、意識的かつ強引に自分自身で想像力を働かせて、講義内容と自分の知識をつなぎ合わせる努力をしてください。そうすると面白くなります。

成績評価の方法

成績は、年度末の定期試験で決定します。定期試験に持込が許されるのは、①指定されたテキスト、②授業中に配布したプリント、③自筆のノート（コピーは不可）だけです。再試験実施。

教科書

斎藤洋『国際法講義ノート・資料2002』(新有堂) 予価2,000円+税

参考書等

特に指定しませんが、市販されているいずれかの国際法の教科書およびいずれかの条約集があれば好ましいです。

その他

授業は、講義方式で行います。可能な限り一話完結型にするつもりですが、2～3回かかってしまうこともあります。板書の代わりにテキストを用いますので、必ずテキストを持参してください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
原書講読Ⅰ	い わ な が こ う じ 岩 永 宏 治	経A・商1・2・3・4選	4
原書講読Ⅱ		経A・商2・3・4選	

講義のねらい

日本経済の成功論としてアメリカの研究者・実務家が展開している「日本経済論」から2、3の論文を取り上げます。なかでも、日本の経営についてわが国大企業の歴史的な経営実態に焦点を当てた研究を中心にみていきますが、そのなかでアメリカの研究者・実務家が日本経済の「成功」をどう理解し、どのように評価しているのかを批判的に考察することによって、日本の経営についての特質を明らかにしていきます。今日、日本の経営について問い直すことは、現在の日本経済の状況に照らしても大いに意義のあることだといえます。

上記の課題を原書講読を通して考察していくわけですから当然一定の制約があります。皆さんの語学力を前提に「量より質」を重視し、主要な論説に限定して講読していく予定です。

講義の内容・
授業スケジュール

日本経済の「成功」について考える場合、企業活動を主軸とした政治・経済体制、すなわち「企業中心社会」の形成・確立の歴史的展開過程の理解が重要になります。そこで「The Large Company: Identification and performance」を取り上げ、大企業の行動様式について見ていくことが不可欠になります。講読方法は輪読で全員に参加してもらいます。各担当者の分量は本人との合意に基づいて分担しますが、各回ごとの予定量は常に全員が予習しておく必要があります。

履修上の留意点

開講時に指示します。

成績評価の方法

平常点で評価します。
①分担報告 ②予習状況 ③出席状況。再試験なし。

教科書

テキストは、開講時にコピーを配布します。

参考書等

必要に応じて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
原書講読Ⅰ	い わ な み ふ み た か 岩 波 文 孝	経A・商1・2・3・4選	4
原書講読Ⅱ		経A・商2・3・4選	

講義のねらい

近年、日本における企業集団の再編や企業集団に象徴される大企業と大銀行との結合が構造的な変化に直面しています。また、企業集団の構造は、コーポレート・ガバナンスの構造にも影響を与えることとなります。本講義では、企業集団の構造、とくに企業集団のコアに位置する株式相互持合いやメインバンク・システムについて、英語の著書を用いて理解を深めていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の企業間ネットワークとメインバンクの構造について書かれた文献を用いて、近年の巨大企業をめぐる企業間関係の特徴を探っていきます。なお、授業の進め方については、輪読形式による授業を行います。

履修上の留意点

受講者は事前に授業範囲の予習を行った上で、受講してもらいたい。

成績評価の方法

平常点により評価します。いわゆる出席状況、予習状況、分担報告による総合評価を行います。再試験なし。

教科書

Mark J. Scher (1997) 『Japanese Interfirm Networks and their Main Banks』 MacMillan Press. を用います。随時コピーを配布します。

参考書等

随時指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
原書講読Ⅰ	こすぎ しゅうじ 小 杉 修 二	経A・商1・2・3・4選	4
原書講読Ⅱ		経A・商2・3・4選	

講義のねらい

現在の中国の諸政策のバックボーンをなしている登小平の考えを知るために、その著作を中国語で読む。参加者は中国語履修者であること。中国語を母国語とする者は日本語への厳密な翻訳能力習得を目標とする意欲のある者に限る。

成績評価の方法

再試験なし。

教科書

プリントして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
原書講読Ⅰ	しみず たかし 清 水 卓	経A・商1・2・3・4選	4
原書講読Ⅱ		経A・商2・3・4選	

講義のねらい

ヨーロッパの経済に関する英語ないし仏語の論文、新聞記事などを読み、経済専門書の読解力をつけるのが目的です。大学院入試のレベルで行います。

講義の内容・
授業スケジュール

欧州の幾つかの国の経済の現状についてのテキストを、受講生の皆さんに翻訳してもらい、それを素材にして、正しい読み方を指導し、内容の解説を行います。

履修上の留意点

1週間の予習には4時間程度かかります。また、それだけ時間をかけて準備しなければ学習の成果も期待できません。

成績評価の方法

再試験なし。

教科書

プリントして配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
原書講読Ⅰ	ちよん ちやんよん 鄭 章 淵	経A・商1・2・3・4選	4
原書講読Ⅱ		経A・商2・3・4選	

講義のねらい

韓国の経済発展に関する朝鮮語文献を講読して、韓国経済に関する理解を深めてもらうことを目的とする。受講生には予め朝鮮語に対する基礎的な理解力が求められるが、講義では、受講生の習熟度に合わせてできるだけ平易な解説に努めるつもりである。朝鮮語に自信のない諸君も奮って参加してほしい。

成績評価の方法

出席率、レポート回数などを加味して、総合的に評価する。再試験なし。

教科書

初回講義時にプリントを配布する。
また、辞書や文法書などについても当日紹介する予定である。

科専門教育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原書講読Ⅰ	な か だ あ き お	経A・商1・2・3・4選	4
原書講読Ⅱ	中 田 秋 男	経A・商2・3・4選	

講義のねらい

書物には読んで直ぐわかる（情報として読む）ものと、何度読んでも理解できない（古典として読む）ものがある。特に古典と呼ばれているものは、何度でも読み返されて行く運命にあるものかも知れない。授業では日本語で読むと決して見えてこないものが、原書ではハッキリと見えてくる事の不思議な謎に迫りたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

経済学の歴史の中で大きな山脈としてそびえ立っている、三人の経済学者の著書から抜粋して読んでいきます。すなわち、「経済学誕生の書」と言われているアダム・スミスの『諸国民の富』（1776）、「資本主義社会の経済的な運動法則」を明かにしたカール・マルクスの『資本論』（1867）、大恐慌のあと「政府の役割を重要視」するジョン・メナード・ケインズの『雇用・利子および貨幣の一般理論』（1936）。尚、学生諸君の方で要望があれば一緒に検討したいと思います。

成績評価の方法

出席点及び平常点の総合で評価します。再試験は実施しません。

教 科 書

テキストはコピーして配布します。

参 考 書 等

講義の中で紹介します。

専
門
教
育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原書講読Ⅰ	な か す み み つ あ き	経A・商1・2・3・4選	4
原書講読Ⅱ	中 濟 光 昭	経A・商2・3・4選	

講義のねらい

コンピュータの基礎及びCプログラミングを説明する英文を読み、さらにCプログラムの例題を説明することでコンピュータの知識を習得していく。

講義の内容・
授業スケジュール

輪講形式で講義を行う。各自に英文やプログラムの例題を割り当て、和訳・用語の解説などを行ってもらう。

履修上の留意点

履修条件は以下の通りである。
 ・WindowsとWordの基本操作が出来ること（総合情報センターの基礎講習会修了程度）
 ・KOMAnetへ登録されていること
 ・欠席しないこと
 プログラミング論の単位を取得していることが望ましいが、未取得でも本人の努力次第で履修は可能である。
 なお、輪講形式で進めるため、追・再試験は行わない。

成績評価の方法

出席とレジュメ、発表、レポートにより評価

教 科 書

初回の講義で指示

参 考 書 等

初回の講義で指示

そ の 他

・本講義はパソコンのある教場で行うため、履修制限を行うことがある。初回の講義に「必ず」出席すること。
 ・講義に関する質問などは、事前予約の上、第二研究館 4 F 2437 研究室（tel: 03-3418-9352）に入室するか、nakasumi@komazawa-u.ac.jp にメールすること

科目名	担当者名	配当学科	単位
原書講読Ⅰ	ふくはら よしのが 福 原 好 喜	経A・商1・2・3・4選	4
原書講読Ⅱ		経A・商2・3・4選	

講義のねらい

カール・マルクス『資本論』（ドイツ語）を講読する。在職中に第三巻の終りまで行くのが私の夢である。今年度は恐らく価値形態論を読むことになる。講義は訳のみでなく、内容の詳しい説明検討を行う。授業は少人数なのでゼミのような雰囲気である。学生諸君から希望があれば、夏休みなど泊まり込みで勉強することもある。受講者は、第二外国語としてドイツ語をとった人、あるいは独学でもドイツ語の素養のある人が望ましい。（夏休みには私のところにドイツ人の家族が泊りに来るので彼らと交歓の機会が持てたらと思っている。）

一昨年は男子1名、女子2名、昨年は男子1名の受講者であったが、本年はもう少し多くの受講生が来てくればと思っている。ドイツ語及びドイツ文化の好きな人は来てほしい。ドイツ、オーストリア及び日本でオペラの監督として活躍中の高嶋勲氏はこの独書講読より育って行った。

履修上の留意点

授業は固苦しい話しばかりでなく、ドイツ人の酒の飲み方や夫婦のあり方などもよま話しも含めて、ユツタリとしたものにしたいと思っている。

成績評価の方法

再試験なし。

その他

よく出来た時は、コーヒーもでる。

科専門
教
育

科目名	担当者名	配当学科	単位
原書講読Ⅰ	ほり りゅうじ 堀 龍 二	経A・商1・2・3・4選	4
原書講読Ⅱ		経A・商2・3・4選	

講義のねらい

日本企業は、現代、グローバル競争を勝ち抜くために、総額人件費の削減に邁進している。そのなかでリストラという名の人員削減が相次いで行われ、終身雇用（長期雇用）の崩壊とか雇用形態の多様化といった事態が進展している。アメリカでもすでに1990年代にホワイトカラー、とりわけ中間管理職の削減が大規模に行われ、安定的雇用のいわゆる「キャリア・ジョブ」が減少した。これは雇用が不安定化する傾向であり、このままキャリア・ジョブは消滅するのかそれとも一時的現象なのかをめぐって論争も展開された。今年は、この論争に関する英文の論文を読む予定である。ある程度、専門的なテーマに関する学術的な英文を読めるようにすることが狙いであるが、同時に、日本の雇用がこの先どのような方向へ向かうのかを考えるうえで参考になりたい。

講義の内容・授業スケジュール

初回にガイダンスを行い、テーマに関する予備的知識を持ってもらうために全般的な説明をする予定である。講読文献については、テーマに関するいくつかの英文論文のなかから、受講者の希望を踏まえて選択することにする。講読方法は、受講者の数にもよるが、できるだけ輪読方式で進める。読み進むなかで随時立ち入った解説や説明もつけ加えるつもりである。

履修上の留意点

知らない単語の意味をテキストに書き込むだけでなく、ノートを作ってしっかりとした予習をやってきてほしい。

成績評価の方法

予習状況、出席、分担報告、質問、ノート提出を中心に平常点で評価する。再試験なし。

教科書

開講時にコピーを配布する。

参考書等

ピーター・キャベリ『雇用の未来』（若山由美訳）（日本経済新聞社）2001年
その他、講義のなかで適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原書講読Ⅰ	やすもと 安 元 稔	経A・商1・2・3・4選	4
原書講読Ⅱ		経A・商2・3・4選	

講義のねらい

1700年から1850年のイギリスにおける社会経済史を英語の教材を使って勉強します。農業・都市・第3次産業の発展・生活水準・経済政策等の局面の変化を中心に見て行きます。

講義の内容・
授業スケジュール

受講者が割り当てられた個所を和訳し、学術用語・その他に関する質問に答えるという形で進めます。

履修上の留意点

割り当てられた個所の予習と出席が最低限の条件です。

成績評価の方法

出席・予習のことで評価します。再試験は実施しません。

教 科 書

今年度は、M. J. Daunton 『Progress and Poverty』 (Oxford) 1995を使います。テキストはコピーして配布します。

専
門
教
育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
原書講読Ⅰ	やまがた 山 縣 弘 志	経A・商1・2・3・4選	4
原書講読Ⅱ		経A・商2・3・4選	

講義のねらい

ソ連邦解体以後、あらゆる教科書が使いものにならない状態となっているが、解体以前から、社会科学分野で批判的な読み方を要求しないものはなかったと言ってよい。従って主体的な読み方はいつでも必要であったし、今後も必要である。

成績評価の方法

平常のパフォーマンスを評価する。
再試験なし。

教 科 書

Города Подмосковья в трех книгах. Книга первая. М., 1979

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代経済事情Ⅰ（前期） 〔都市開発と経済〕	すがはら あきふみ 菅 原 章 文	経A・商1・2・3・4選	2
		12以降入学生/経B1・2・3・4選	

講義のねらい

皆さんは「Sim City（シムシティ）」というコンピュータ（テレビ）ゲームを知っていますか。コンピュータ上で都市開発をシミュレーション（模擬実験）するゲームです。原野に道路や鉄道を建設し、水道・下水道・電気を整備し、病院や学校を建設すると、そこに人が住み、企業が事務所を構え、…、というように都市の開発・成長、そして衰退が描かれています。ここに出てくる要素のひとつひとつが都市の形成に欠かせないものです。

現実の都市はさらに複雑な要素によって構成されています。この講義では、都市を構成する様々な要素に注目し、その動向を知ることを通して、最近の経済に何が起きているか、今後どのような方向に進んでいくのか考えていきます。

講義の内容・ 授業スケジュール

次のようなキーワードで、都市の経済を分析・展望します。（順序は変更する可能性があります）

- ・都市と人口流動 … 都市の成長と衰退
- ・都市と食糧 … 誰が都市を養うのか
- ・都市と物流 … 都市を支えるコンビニ
- ・都市と情報 … インターネットは都市の「神経」
- ・都市とインフラストラクチャー … 道路とクルマの未来
- ・都市と環境 … 循環型社会の展望
- ・都市とエネルギー … 電力会社が選べる時代に
- ・都市とブランド … 都市の魅力
- ・都市開発とその経済 … 都市鉄道と遊園地

履修上の留意点

プリントを配布し、教材とします。題材はできるだけ身近なことから選び、技術革新と規制緩和・国際化など経済の構造変化に注目しながら、皆さんと一緒に考える機会にしたい。質問は歓迎しますが、私語は謹んでいただきたい。再試験なし。

成績評価の方法

2～3回に1度、講義内容に沿った小論文をその場で提出してもらいます。成績の70%は、この小論文で評価します。定期試験も実施します。

科専門
教育
目録

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代経済事情II (前期) 〔スポーツとビジネス〕	は た の じ ゅ う 羽 田 野 治 朗	経 A・商1・2・3・4選 12以降入学生/経 B1・2・3・4選	2

講義のねらい

2002年に開催されるW杯は、日本のスポーツを取り巻く環境と周辺のビジネスにオリンピック以上の影響を与えることは必至である。スポーツはこれまで単に時間とカネを費やす消費財として扱われてきたが、スポーツの存在は今や国民の健康・医療といったことにまで波及している。このような実態を経済・文化のグローバル化をリンクしながらスポーツの意義と経済的・文化的な価値を考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. スポーツとビジネス
2. スポーツとマーケティング
3. スポーツとメディア
4. スポーツとイベント
5. スポーツとツーリズム
6. スポーツと用品市場
7. スポーツとライセンス
8. スポーツと地域振興
9. スポーツと健康
10. 生涯スポーツとシルバー市場
11. スポーツとマネージメント
12. W杯後のスポーツとビジネス

履修上の留意点

スポーツに興味があり、今後スポーツに携わる仕事に就こうという気持ちのある学生の受講を期待する。

成績評価の方法

定期試験の成績と課題レポートの提出を基に総合的に評価する。再試験実施。

教 科 書

なし。
独自に作成する資料を使用する。

参 考 書 等

講義内容やテーマにより紹介する。

そ の 他

講義を中心に行うが、一部討論形式も予定している。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代経済事情Ⅲ（後期） 〔出版と流通〕	井 田 森 太 郎 <small>い だ しんたろう</small>	経 A・商 1・2・3・4 選 12以降入学生/経 B1・中 4 選	2

講義のねらい

- ・出版業界の不況の要因を歴史的にたどりながら今後のあるべき姿を考察する。
- ・出版業界のみならず、日本経済の今後の浮沈のカギは「護送船団方式」に守られてきた経済活動から脱し、真の資本主義経済による正しい競争原理から生まれることを認識することが肝心であることを強調したい。
- ・一方、世界経済のグローバルスタンダード化が叫ばれる中、日本的経営の良さの一つである「和の精神」は忘れてはならず、「競争と互助」の精神を正しく持って企業経営にあたることこそが、本来の経済活動の目的であることも併わせて強調したい。
- ・経済学を学ぶ学生としてダイナミクスに変化する日本経済の今を知ることは、将来必ず役立つものと確信し、企業に身を置く者としての立場から実務的な話を中心だが、少しでも問題意識の向上につなげたい。

講義の内容・授業スケジュール

①出版業の歴史的成り立ちの考察②戦後ベストセラーと時代的背景について③出版業界不況の要因と問題点④出版業界の新しい流れ～今と将来を探る～⑤経済活動における出版業界の役割と使命 他

履修上の留意点

実務的な内容であり、身近なテーマとして聴いて欲しい。今の出版業界の現状を知り少しでも経済活動（買う側から売る側への関心）に興味を持って欲しい。

成績評価の方法

70%以上の出席日数を満たさない者は基本的に不可。レポートによる内容（視点、掘り下げ度、オリジナリティー等）により評価。再試験実施。

教科書

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代経済事情Ⅳ（後期） 〔今日の消費者行動〕	長 尾 邦 彦 <small>なが おくにひこ</small>	経 A・商 1・2・3・4 選 12以降入学生/経 B1・中 4 選	2

講義のねらい

昨今の消費者の意識・行動の特徴を明らかにする。背景なども含めて経済学的に位置づける。

講義の内容・授業スケジュール

今日の消費者の特徴を示す新聞記事や雑誌などの記事や特集を材料に、事象の意味を理論的に掘り下げる。

履修上の留意点

消費関連記事（新聞の毎月のスーパー、百貨店、コンビニエンス・ストア売上高動向や流通企業関連ニュース、連載記事、週刊誌など）を読んでおくのが好ましい。

成績評価の方法

3,000～4,000字のレポート提出。2～3の課題から、1つテーマを選ばせる。

教科書

特に指定しない。毎回簡単なレジメを配布する。

参考書等

桑原武夫・日系産業消費研究所編「ポストモダン手法による『消費者心理の解説』」（日本経済新聞社）

その他

授業の方法——講義

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代産業事情Ⅲ（前期）	さいとう 藤 正	経A・商3・4選	2

講義のねらい

野村証券株式会社の提供による本講座は、「資本市場とグローバル証券ビジネス」をテーマとし、野村証券および野村総合研究所の現役スタッフによって前期13回の予定で講義される。

講義では、証券市場に関するタイムリーな話題を中心に全体論からスタートし、資産運用の考え方や実践を簡潔に紹介した後、グローバル証券業のコアビジネスである、国内リテール、インベストメントバンキング、フィクスト・インカム、エクイティ、アセット・マネジメントの考え方やビジネス実例を紹介する。最後に、ITと対面営業の融合など、リテール証券ビジネスの現状と展望について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 証券市場の役割
- 2) 経済成長と金融・資本市場
- 3) 証券市場規制と投資者保護
- 4) 資産運用とライフプランニング
- 5) グローバル資産運用
- 6) エクイティ（株式）ビジネス
- 7) フィクスト・インカム（債券）ビジネス
- 8) アセット・マネジメント・ビジネス
- 9) 投資銀行ビジネス
- 10) ベンチャービジネスとIPO（株式公開）
- 11) リテール証券ビジネスの実践
- 12) リテールマーケットのビジネス戦略とIT戦略
- 13) リテール証券ビジネスの競争戦略

履修上の留意点

最新のグローバル証券ビジネスを扱うため、常に新聞等の経済記事に注意を払って講義に臨んで欲しい。

成績評価の方法

出席を重視しつつ、理解度を測るために適宜レポートを提出してもらい、総合的に評価する。再試験なし。

教科書

毎回、授業で講義資料を配付する。

その他

授業は毎回異なる講師によって行われる。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	あさの かつみ 浅野 克巳	経A・商2選	4

講義のねらい

演習Ⅰでは『日本経済と産業』をテーマとして以下の内容を検討しよう。
 現在、日本の実質GDPは530兆円である。もし90年代の停滞がなければGDPは一体どれだけになっているのだろうか。「失われた10年」の原因を解明するために、日本経済システムの特徴、あるいは日本企業システム、メインバンク・システムの機能、あるいはコーポレート・ガバナンスの仕組み、さらに企業行動の特徴、あるいは産業組織の実態などを近年著しい発展を遂げている「産業組織の経済理論」を参照しながら、さまざまな統計資料を使ってできる限り現実に則し勉強し、日本経済の再生に向けて21世紀の新たなビジョンを描いてみよう。

履修上の留意点

演習は講義と違い学生諸君の参加によってはじめて成り立つ。授業には必ず出席することはもとより、授業はディスカッション形式で行うので、必ず予習しておくことが大事。また、エクセルを使った経済分析やシミュレーションも行うので「情報センター」を利用して活用できるようにしておくこと。

成績評価の方法

出席率、授業態度、レポートの内容等を総合して評価する。

教科書

長岡・平尾『産業組織の経済学』（日本評論社）1998年
 ボール・ミルグロム＝ジョン・ロバーツ『組織の経済学』（NTT出版）1997年
 小田切宏之「企業経済学」（東洋経済新報社）2000年

参考書等

経済企画庁『経済白書』その他の資料については授業の中で指示する。

その他

卒業研究 有

専門
教育
科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	あべ ひろし 阿部 弘	経A・商2選	4

講義のねらい

演習（ゼミナール）の内容：テーマは「市民と経済学」である。
 現在のわたしたちの社会は「市民社会」といわれている。そしてこの社会は「資本主義」をその根幹にもっているものでもある。そこで、この「資本主義」にのっとった「市民社会」はどのようなものなのか、「資本」という「利潤」追求を本質に持つ体制と、「市民」という「自由・平等・博愛」を基盤に持つ人間の在り方との比較を通じて、この問題にアプローチしてみようと思う。特に現在はこの問題がある特定の国のレベルを越えてグローバルな次元で展開していることを考えるとき、わたしたちはこれらの問題に接近していくためには広い視野をもって臨まなくてはならない。

講義の内容・授業スケジュール

この「演習Ⅰ」は2年次生が対象であるので、出発点として世界史的観点をも身につけることを課題とする。その上で、参加者各人の固有のテーマを設定し、12月には各自の研究の発表を行うと共に論文として提出し、ゼミナールの機関誌『アルファ』に掲載するものとする。

履修上の留意点

ゼミナールの行事は「阿部ゼミ」全体で企画・施行するが、そのようなものとしては次のものがある：
 ＊ 春と夏の合宿／＊ 10月のゼミナール対抗ソフトボール大会
 ＊ 論文発表大会／＊ その他コンパ等

成績評価の方法

ゼミナールであるから参加者各自の自立した研究発表が評価の基準になるが、論文発表会に参加しないものは単位が取得できない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習 I	あ ら き よ し ひ ろ 荒 木 勝 啓	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

経済変動の姿をコンピュータ上でシミュレートするというテーマに向けて様々なコンピュータ技法をマスターしていく。

講義の内容・
授業スケジュール

モデルをマルチメディア・プレゼンテーション可能にするため、全員に最低DTP（デスクトップアプリケーション）の方法を習得させる。すなわち①編集方法（Page Maker, Quark Express）②グラフィックス（Illustrator）③レタッチ・修正（Photoshop）を習得させる。ゼミ生は課題として、2年次後期からDTP検定2種試験にチャレンジする。今までに3人合格したが、次回から難易度が易化するという事なので、さらに合格者をふやしたい。

成績評価の方法

検定試験への挑戦と出席点。

教 科 書

指定なし。ただし必要な場合指示する。

そ の 他

Macintosh教場を使う。サブゼミ（金曜6：00より）で、C言語をマスターする。例年ほぼ完全に修了している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習 I	い し か わ ゆ う じ 石 川 祐 二	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

企業の管理上、会計情報が様々なかたちで利用される。その情報を生み出すための仕組みとして、管理会計の技法が存在している。その技法を取り上げ、それが社会の多様な関係の中で果たす役割について研究する。それによって、社会現象を分析するための視点を、共に養いたい。

講義の内容・
授業スケジュール

演習 I では、管理会計上の技法を取り上げるのに先立って、会計に関する基礎知識について学習する。特に、簿記と原価計算について、その基礎を固めたい。基本的には、テキストを中心に報告とディスカッションを行うが、計算方法などの技術的な面の学習も進めたい。

履修上の留意点

積極的に参加をすること。また、ゼミ生同士で協調しあい、楽しいゼミ運営をしてもらいたい。

成績評価の方法

特に出席を重視するが、報告内容等も含め、総合的に評価する。

教 科 書

初回の演習時に指示する。

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

そ の 他

合宿その他のイベントについては、話し合いで決定する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	いわした ひろし 岩 下 弘	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

3年間のゼミのテーマは流通・流通政策の国際比較である。2年次には日本における流通問題を研究対象とし、3年次では国内の流通政策、4年次では流通政策の国際比較を対象とする。

日本における流通問題としては、大きな問題としてコンビニの光と影、小売商店数の減少、大手小売企業の資本蓄積構造、商店街の空洞化、中心市街地の活性化、海外大手小売企業の日本市場参入、などがある。

たとえば、「ヤオハン」は何故海外に進出し、倒産したのか。「そごう」は何故巨艦主義をとり、その結果何故倒産したのか。「ダイエー」は何故経営の危機に直面しているのか。コンビニは繁栄しているとはどういう意味なのか。商店街がシャッター通りになっているのは何故か。

このように、われわれの生活の周囲で流通をめぐるいろいろな問題が発生している。2年次では、まずこのような現象の事実を知り、その原因を調べる。

小売業の持つ市民生活にとっての意味を探る。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの輪読あるいは報告。

履修上の留意点

ゼミは参加することに意味がある、ということを忘れないこと。

成績評価の方法

ゼミ、合宿、コンパ等への出席およびレポートの提出回数により評価。

教科書

必要に応じて指定。

参考書等

その都度指示。

その他

卒業研究 有

科専門
教育
目録

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	いわなが こうじ 岩 永 宏 治	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

現代日本の社会構造は「企業中心社会」として特徴づけられています。それが何を意味するのか、どのような企業・経営行動を意味しているのか。社会にとって不可欠な機能の担い手であり、私達と過去・現在・未来にわたって重要ななかかわりをもつ企業・経営について、今日問われている諸問題の検討を通し「我々にとって企業経営とは何か」というテーマを考えていきます。そのなかで、企業・経営についての実態的理解を深めていくと同時に基礎的科学的な視点の確立を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

- ① 文献講読を年間を通して実施します。
 - a 全員サブノート作成 b 報告者はレジュメ（報告要旨）を作成し、全員にコピー配布
 - c コメンテータによる疑問点などの提示と全員での討論 d まとめ
- ② 研究指導計画と方法
 - a ゼミ合宿（7月）——各自の研究方向と研究テーマについて共同研究とその報告
 - b ゼミ合宿（3月）——個別研究テーマの確定とグループ指導

履修上の留意点

当ゼミでは、以上のような演習内容を通して、ゼミ生の皆さんの主体的・自主的学習意識の形成を目指していきます。そこで、ゼミ生の方々の率直な疑問や問題意識の表明が不可欠です。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

必要に応じて指示します。

その他

「卒業研究」を併設する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	い わ な み ふ み た か 岩 波 文 孝	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

近年の急速なIT革新の進展や企業活動のグローバル化に伴って、個別企業内の組織改造の再編成のみならず、グローバルな組織戦略が展開されています。ここでは、企業間ネットワークと経営システムをテーマとして、企業経営の仕組みを理解していくとともに、企業経営に関する興味・関心を深めていくことを目指していきます。

講義の内容・授業スケジュール

輪読形式により報告担当者・グループによるレジュメ報告を中心に討論を行います。合宿では、現代の企業経営が抱える諸問題について、討議していきます。

履修上の留意点

ゼミナールは、受講生の主体的な学びの姿勢にもとづいて運営されます。ここでは専門の学習へ向けて、自らの課題を発見し、問題意識を深めていくという積極的な学習スタイルが求められます。受講の際には企業経営に関する興味・関心を持ちゼミナールに参加してもらいたい。

成績評価の方法

ゼミへの出席、発表内容、積極的な討議への参加などの平常点による総合評価を行います。

教科書

開講時に指定します。

参考書等

必要に応じて指定します。

専
門
教
育
目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	お お い し ゆ う じ 大 石 雄 爾	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

21世紀を迎えた現在、日本経済は今なお90年代から続いた不況を脱け出していない。この深刻で長びく不況は、バブル経済がなぜ生じ、そしてなぜはじけたのか、というナゾを解くことなしには理解できない。このゼミでは、バブル経済とその後の不況局面を研究することをおして、日本経済の特質と今後のあり方について考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

この演習では、森岡孝二他『現代経済を学ぶ』をテキストとして、バブル経済の発生とその崩壊の理由をはじめ、日本経済がかかえる根本問題について学んでいく。また、地球環境の保護、高齢化社会のあり方、日本が多くの国に行なっている開発援助など、特に今日重要となっている問題についても立ち入って学習する。

平常の演習では、主としてテキストを中心に報告と討論を行ないつつ内容の理解につとめ、合宿において現代の興味ある経済問題について検討していく。

成績評価の方法

原則として平常点であるが、その中には提出を求めた感想文などの評価も含まれる。

教科書

森岡孝二他『現代経済を学ぶ』（ミネルヴァ書房）

参考書等

大西広他『政治経済学』（大月書店）

その他

「卒業研究」を併設する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	おおがきかつお 大吹勝男	経A・商2選	4

講義の内容・
授業スケジュール

情報化と現代企業の物流。現在、製造業、商社、卸売業から小売業まで、物流の合理化が叫ばれています。『物流』で何だか知っていますか。「世間」はIT革命とやらのウカレ、ノボせているようですが、その革命とやらの本質を知りたくないですか。企業間の電子商取引・eコマースだけではなく、消費者と企業間でもeコマースがひろがり、インターネット上での買い物が増え、それによって消費者のライフスタイルが一変し、また産業活動や産業構造が変化するという。そうすると、従来の商業や物流そしてそこで働く人々にどのような影響を及ぼすのかを研究しなければならない。価格破壊現象が単なる安売り競争としてではなく、物流の合理化によるコストダウン競争として、それも世界的な競争として、行われようとしています。さらに、いまではIT革命によってコストダウンがはかられるそうです。国内では、メーカーと大手スーパーが提携し、市場支配をめざす製販同盟を結ぶなどして、最初のステップが物流面での協力であったりします。また、メーカーは製造部門と販売部門を一体化する動きをみせています。さらに、百貨店は将来どうなるのでしょうか？等々商業・流通には多くの問題が提起されています。そこで現代企業の経営戦略において重要性を増している『物流』と『情報経済化』を中心テーマとしながらこれに関連して卸売業、百貨店、スーパー、デスカウント・ストア、一般小売商、総合商社等々の今後の動向についても学習します。卒業時には、底の浅い実用学の学習者ではなく、社会人となって困難な問題にあっても学問をした人間として、きちっと解決することのできる科学的な思考能力を身につけた人間になっていることを期待します。

科
専
門
教
育

成績評価の方法

学年末のレポートの提出によって成績を評価する。卒業研究も併せて開講する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	おぐりたかし 小栗崇資	経A・商2選	4

講義のねらい

日本の企業会計制度は今、大きな転換期にさしかかっている。グローバル化の影響による会計制度の大改革は会計ビッグバンと呼ばれるが、計算構造の面でもディスクロージャーの面でもこれまでの財務会計の枠組みや原理・方法は大きく変容しつつある。会計の学習者にとっては、従来のような勉強だけでは変化についていくことができないので大変やっかいであるが、発想を変えれば、現代経済のなかでの会計の役割や仕組みを研究するチャンスである。演習では「日本の会計制度と会計ビッグバン」をテーマに学習を進めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

演習Ⅰでは、まず企業会計の基礎を理解することに重点を置き、企業会計の従来の考え方と新しい考え方を比較しながら、現代の財務会計の原理や方法を学習する予定である。財務会計の理論を中心にディスカッションを重視してすすめるが、一方で、会計は基礎からの技術的積み上げが重要なので、簿記・会計の初心者にはまず、日商簿記検定2級、3級を取得できるように指導したい。

履修上の留意点

演習では討論を重視しているため、積極的に参加すること。夏季合宿やコンパ、企業見学などもゼミの大切なイベントとして取り組みたいので、企画力のある意欲的な学生の参加を希望したい。なお、「卒業研究」も開講する予定である。

成績評価の方法

総合的に判断する。①出席状況、②分担報告、③レポート。

教科書

遠藤・小栗・新谷・徳前『新世紀の企業会計論』（白桃書房）3,300円

参考書等

演習の中で指示。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	こすぎ しゅうじ 小 杉 修 二	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

本ゼミは地球温暖化問題とその解決策を考える。

1万年前に農業が発明されて、文明が始まったと言われる。この間、地球の気候は15℃プラス・マイナス1℃の間という、極めて安定した状態の間にあった。森林伐採や化石燃料の使用によって、21世紀末までに2℃の昇温がおけると予測されているが、これは文明の崩壊の可能性を知らんでいると言える。さまざまな異常気象、熱帯の伝染病や害虫の北上、巨大台風、海面上昇、国土の浸食、農業の崩壊等その影響するところは非常に大きい。これらがその他の様々な環境問題と合わせて我々を襲うだろう。

我々の文化や経済学というのは豊かさが切望された貧しい時代にできたものである。そして、経済成長はたしかに我々の生活を豊かで便利なものにした。

しかし、どんな経済活動も自然の生命維持システムという土台を離れては存立が不可能であることが今明らかになりつつある。こうした課題の前では、今までの常識、文明、経済学も全面的見直しが必要になるだろう。

この先40～50年は生きるであろう諸君にとってこれらをどうするかは避けて通れない深刻な問題であろう。

出席率70%以上を中心にする。

成績評価の方法

そ の 他

ビデオを使った授業で理解を深める。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	こばやし まさと 小 林 正 人	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

この2年生の演習では、現時点で最も注目されている産業界の一つを取り上げて調査し、経済分析のおもしろさを味わうことにしたい。そのために、書籍、新聞、雑誌などの文献資料の読み方や集め方、報告書の作り方や報告の仕方、討論の仕方、グループ作業のすすめ方などの知的作業に取り組みます。これと平行して、ワープロによる報告書作成や、インターネットによる情報検索にも慣れ、さらに自分のホームページの開設をめざします。以上の取り組みを、4年生の「卒業研究」へとむすびつけます。

下記のウェブサイトの「小林ゼミのひろば」で、これまでのゼミの活動を見ることができます。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>

講義の内容・授業スケジュール

今年度のテーマは「IT（情報技術）経済の歴史と現状」です。IT経済とは、IT産業（コンピューター、情報機器、半導体、ソフトウェア、情報サービス、電気通信など）や、インターネット・ビジネス、電子商取引などを中心とする経済分野のことです。

前期には、一定の文献にもとづいて、みんなで議論したり、グループごとに発表や討論をします。またインターネットによる文献検索や情報検索にも取り組みます。

後期では、各ゼミ生が選んだ文献について報告し、討論します。そして各ゼミ生の報告をそれぞれのホームページに掲載することをめざします。

履修上の留意点

ゼミ生の自発的な発表、発言、調査が基本です。また、ゼミの円滑な運営のためのルールに従うこと。駒沢大学総合情報センターのメールアカウント（KOMAnetのユーザーIDとパスワード）をゼミが始まるまでに取得しておくこと。

成績評価の方法

前期末と学年末のレポートを基本とし、ふだんの報告発表や発言内容を加味して評価します。

教 科 書

なし。

参 考 書 等

授業中にゼミ生と相談して決めます。「テキストの候補」を、上記のサイトの「小林ゼミのひろば」に掲載します。

そ の 他

「卒業研究」（卒業論文のみ）を併設

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習 I	さいとう 藤 正 さいとう 藤 正	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

「金融大改革と銀行業」をテーマとし、金融の仕組みがどのように変化しているのか、それともなっており銀行業務がどのように変化しているのかを学びます。

講義の内容・授業スケジュール

IT（情報通信技術）の発展が金融業務を大きく変え、ヘッジファンド、デリバティブなどの聞き慣れない用語を新聞紙上で目にするが多くなりました。今や金融業務は「資金の貸借」という意味だけではとらえきれない一大変革の時代にあり、銀行業務も大手銀行を中心に、「預貸業務」中心の伝統的銀行業務からデリバティブやM&A（合併）の仲介へと大きく変貌を遂げています。

演習では、金融業務の大変革をもたらしている「グローバル競争」のあり方を検討しながら、「預貸業務」中心の伝統的銀行業務が現代経済においても依然として重要であるといえるのか否かという点の検証を中心的課題とします。

履修上の留意点

ゼミナールは少人数であり、討論を通じて具体的な問題についての理解を深めたり、議論の仕方を学ぶところに意義がありますので、積極的な諸君の参加を求めます。

成績評価の方法

年間を通した、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。

教科書

建部正義『はじめて学ぶ金融論』（大月書店）

参考書等

日本銀行『わが国の金融制度』
日本経済新聞社『経済新語辞典』（毎年、新版が発行されています）

その他

「卒業研究」を併設します。

科
専
門
教
育
目
録

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習 I	さとなか 中 恆 志 さとなか 中 恆 志	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

この演習は2年次生を対象とし、副表題を「財政学」とする。わが国経済はバブル崩壊後の不況からくる財政収入の減少、国債の大量累積、就職難と失業の増加、人口高齢化にともなう年金財政の逼迫等と大きな問題に直面している。世界の経済大国であるわが国は、過去にどの国も経験したことのない大規模で、グローバルな経済問題にいやおうなしにかかわらねばならない。わが国の財政運営の舵取りも未知の経済問題に遭遇している。これからの財政問題に取り組むためには従来の財政思想の限界を理解し、さらに発展させることが必要である。

講義の内容・授業スケジュール

近代経済理論のなかから財政理論の学習に必要な部分の基礎知識について理解するために、質問応答方式や練習問題訓練により授業を進める。

履修上の留意点

「財政学」、「財政政策」、「地方財政論」、「マクロ経済学」、「国民所得論」、「行政法」等の関連科目の履修が望ましい。

成績評価の方法

平常点により評価する。演習は参加することが重要であるから、出席を重視する。

教科書

最初の授業で指定する。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	しみず たかし 清 水 卓	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

2002年1月から一般に流通し始める欧州連合（EU）の統一通貨ユーロ、今後数年でEUに参加してくる旧共産圏の中・東欧諸国、構成メンバー国数の増加に対応してのEU自体の機構改革など、現在のヨーロッパで起きている様々な動きの意味について考えていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

ゼミの参加者各人がそれぞれの問題関心に応じて資料を集め、分析し、自分なりの考えを分かりやすく他のメンバーに伝えられるようになるために、研究発表の形式で行います。

履修上の留意点

最新のデータはインターネットで容易に手に入りますが、それを活用するため英語とコンピュータをある程度マスターすることが必要です。

成績評価の方法

平常授業や合宿への参加や、研究発表への取組を評価して成績を決めます。

教 科 書

教科書はありません。（新聞を読むことを重視します。）

参 考 書 等

必要に応じてお知らせします。

そ の 他

「卒業研究」併設。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	しろた じゅん 代 田 純	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

金融の入門書を読むゼミとする。金融とは何か、といった基本的なことが理解できるようなテキストを受講生と相談して選び、金融への導入ゼミとしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期においては、金融についての新書を1冊読み理解することを目指す。後期においてはややレベルを上げていきたい。

履修上の留意点

演習なので出席が前提となる。

成績評価の方法

日常点を重視する。出席、発表、質疑への参加が重視される。

教 科 書

受講者と相談して決定する。

参 考 書 等

参考までに代田による市販の出版物は以下のようなものである。
 代田 純『ロンドンの機関投資家と証券市場』（法律文化社）1995年
 代田 純『現代イギリス財政論』（劉草書房）1999年
 代田 純『日本の株式市場と外国人投資家』（東洋経済新報社）2001年
 二上編『日本型金融システムの転換』（中央経済社）1995年
 龍編『現代の財政金融』（日本経済評論社）1995年
 中尾編『金融グローバリズム』（東大出版会）2001年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	<small>せとおか</small> 瀬戸岡 <small>ひろし</small> 紘	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応した経済、社会、経営などにかんする学習と研究の基礎的能力をやしなうとともに、そうして習得したものを、話す力、書く力を高めることによって、実際にうまく表現できるようにすること。何を学習・研究の対象としてとりあげるかは、受講者の希望によります。かなり幅広くとめているのが当ゼミの特徴です。

講義の内容・授業スケジュール

アメリカの大学（なかでもシカゴ大学）の演習の方式を採用したゼミです。受講者の学習に有益な材料をふんだんに提供し、ゼミ生はそれらを活用し、相互に実践をとおして体得します。前半期は、スピーチ、プレゼンテーション、ディスカッション、ディベートのしかた、レジュメ、小論、論文の書きかた、本のさがしかた、読みかた、資料のあつかいかたの習得が主になります。パソコンについては、ゼミ開講後半年以内に全員がひととおり使いこなせるまで徹底的に講習します。後半期は、グローバル化時代の特徴と諸問題にかんする書物の輪読と討論が中心になります。ゼミで身につけた能力を上級のゼミ生とともに活用してみる場としてサブゼミ活動が、また、他大学の学生との交流をとおして学ぶ場として日本学生経済ゼミナールへの参加が、さらに、海外（とりわけアメリカ）の学生との交流と討論をとおして楽しく学ぶ場としてインターネットと遠隔授業がおこなわれます。そのほか、工場見学など多彩なイベントが用意されています。

成績評価の方法

ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は当人のやる気です。

教 科 書

随時、有益な文献を紹介します。

そ の 他

このゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問い合わせたりすることのほか、下記のホームページにアクセスしてください。
http://www.komazawa-u.ac.jp/Gakubu/Setooka_Seminar/

科専門教育
目育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	<small>そがのぶたか</small> 曾我信孝	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

マーケティングの概念を明確にし、マーケティングで展開される諸政策を学習する過程で、問題の発見の方法、分析の方法、討論の方法などを学習する。

講義の内容・授業スケジュール

マーケティング、流通関連の教科書を指定し、章単位程度に分割し、受講生に発表してもらう。残り時間を討論にあてる。11月末に他学年との合同ディベート大会を開催する。ディベート大会の課題発表（10月上旬）後は、グループ研究が中心になる。

成績評価の方法

出席状況（合宿参加も含む）、発表要旨（レジュメ）、ゼミ行事への取り組みなどで総合評価する。

教 科 書

春合宿時に決定する。

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

そ の 他

「卒業研究」を併設する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	ちよん 鄭 ちやんよん 章 淵	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に戦後（第二次世界大戦）東アジア経済の発展過程に関する知識を身につけてもらうことです。ここでいう東アジアとは、北東アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭にアジアNIEs（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）ASEAN 3（タイ、マレーシア、インドネシア）中国その他と続く発展の様は、しばしば「雁行形態の発展」と称されてきました。ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく現状において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

専 門 教 育 目

講義の内容・ 授業スケジュール

演習Ⅰ：東アジア経済に関する基礎知識を身につけるため次の文献を輪読してもらいます。具体的には、予め報告分担を決め、報告者は各自が作成したレジュメに基づいて報告してもらいます。

大野健一・桜井宏二郎著『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円＋税

演習Ⅱ：演習Ⅰでの学習を土台に東アジア経済に関する知識をさらに深めます。演習Ⅰと同じく文献を輪読してもらいます。文献は後日指定します。

演習Ⅲ：「卒業研究」の作成がゼミ活動の中心となります。各自のテーマに従い個別指導を行います。

また、全ゼミ生を対象に夏期休暇にゼミ合宿を予定しています。そこでは別の文献を取り上げて講読し、ビデオ鑑賞なども予定しています。

成績評価の方法

出席率、レポート回数、合宿への参加状況などを加味して総合的に判定します。

そ の 他

演習Ⅱ、演習Ⅰの諸君には4年次に「卒業研究」を併設します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	とくなが としあき 徳 永 俊 明	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国（発展途上諸国：第3世界）の国際関係とそこでの人々の生活の問題を研究します。第3世界の社会・経済や人々の暮らしを研究しながら、日本・日本人・私たち一人ひとりの人生・生活を考えます。国際政治・経済の中での人間と人間の関係、とくに第3世界の人々が直面しているさまざまな豊かさや貧困、そして彼らのたたかひについての検討を通じて、日本・日本人・私たち自身の豊かさや貧困を考えるのです。

春・夏2回の全学年そろってのゼミ合宿のテーマは「人生」です。幸福とは？ 自由とは？ 愛するとは？ 一人ひとりの意見がみんなからまじめに受けとられ、一人ひとりがみんなの意見を参考にして考えを深めます。

ゼミ最大のイベントは、これも全学年そろっての東南アジアへの研修旅行（自由参加）。これまでフィリピン・ベトナム・インドなど11か国へ行きました。いわゆる「観光旅行」ではなく、人々と交流し、人々の生活とその向上への努力や文化などを見聞することで、アジアの人々を知り、私たち自身の生活と考え方を再検討します。この旅で、私たちの頭のなかの〈世界〉は一挙に広がり、深くなります。

第3世界の人々と自分の現実のなかに〈夢〉を求め、見つけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

上の趣旨に沿って、学生諸君と相談しながらすすめます。

履修上の留意点

何よりも〈考える〉努力が大切です。〈考える〉努力を惜しまない諸君を求めます。

成績評価の方法

〈考える〉努力をしたかどうかをもって評価します。

参 考 書 等

討論のための資料・〈考える〉ための材料は、学生諸君と相談しながら用意してすすめます。

そ の 他

〈考える〉努力の成果を「卒業研究」としてまとめます。

科 専
門 教
育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	ともまつ よしひこ 友 松 憲 彦	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

この演習は経済史の入門を課題としています。現在経済はどのように生まれ、いかなる特徴や問題を持ち、今後どの方向に変化していくのか、経済史はこうした問題を人類の過去の経済活動の軌跡を研究することによって明らかにする学問です。経済史という学問の課題と方法の理解につとめます。

講義の内容・授業スケジュール

18世紀末から19世紀に西欧諸国が経験した産業革命（工業化）は、近代社会の光と陰をつくりだした原点として重要な歴史的意味を持っています。産業革命に関する基礎文献を読みながら、経済史の重要な概念や基礎理論を学びます。過去ばかりではなく、現在の経済問題に関心を持つことが歴史研究にとって重要であることを知るために、新聞なども教材とします。また文献や資料を探し、レポートを書き、研究結果を発表し、議論をする、といった学問研究の技術を習得することにも努めます。

履修上の留意点

「経済史」「西洋経済史」「日本経済史」「商業史」等をあわせて履修することが望ましい。

成績評価の方法

①年度末のレポート②平常点（レジュメ、報告、討論の状態）③出席で評価。

そ の 他

卒業研究を併設します

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	なかすみ みつあき 中 濟 光 昭	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

本演習では、情報システムやインターネットが経済とどう関わるかを考えます。具体的には、実際に企業で使われているシステムを用いた実習、ビジネスショウなど展示会の見学などを軸に、演習担当者のシステムエンジニア時代の経験・人脈を活かした指導、インターンシップへの参加、社会人との交流を行ないます。また、日本学生経済ゼミナールへ参加し、他大学との議論を行っています。詳細は、演習担当者のWEBページ、
<http://www.komazawa-u.ac.jp/du/economics/seminar/nakasumi/>
 に掲載します。本演習に興味があるひとは、必ずチェックしてください。

講義の内容・ 授業スケジュール

総合情報センターネットワーク講習会の内容をマスターしていることを前提とし、情報機器を用いたレポート作成、プレゼンテーション技法を学ぶとともに3、4年と一緒に研究を行なうサブゼミで、1) 情報技術(システム設計、プログラミングなど) 2) インターネットと経済(電子商取引の仕組み、法規制など) 3) 情報デザイン(ホームページをわかりやすくデザインする方法)のグループに分かれ、テーマごとに勉強してもらいます。具体的には、研究の基本的な流れである

- ・問題発見・事前調査
- ・資料収集
- ・アウトライン作成
- ・レポート作成
- ・プレゼン資料作成
- ・プレゼン

の手順をパソコンを活用して実践するとともに、各グループごとにレポート作成とプレゼンを行います。情報系資格取得の自主ゼミも行っています。

履修上の留意点

毎日メールを読み、WEBページを調べ、ワープロを打つことが求められます。サブゼミ、合宿、インターゼミ、各種イベントへの参加を義務とします。

成績評価の方法

出席と課題提出、夏季合宿、学年末に行う発表とレポート、ゼミ運営上の雑務、イベントへの参加、資格取得などを総合評価します。

教 科 書

別途指示

参 考 書 等

別途指示

そ の 他

演習Ⅲでは「卒業研究」を併設します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	はし の と も こ 橋 野 知 子	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

〈近代日本経済史の研究〉過去における選択が現代の経済社会にどのような影響を与えているのでしょうか？このゼミナールでは日頃我々が抱く疑問を解く鍵を経済史の中から発見する方法や考え方を学び、そのおもしろさを味わうことを目標とします。また、歴史を視るには、私たち自身が現代をどのように認識するかという、同時代人としての視点が不可欠です。よって、歴史だけではなく現代日本の経済問題も同時に考察していくこととします。なお、卒業研究を併設します。

講義の内容・授業スケジュール

日本経済史の諸分野を分析する基礎を養うと同時に「社会科学とは何か」という問題を考えたいと思います。その過程で論文の読み方、発表・報告の仕方、議論の進め方、レポートの書き方、データベースソフトを利用した分析などといったスキルを身につけましょう。さらに先輩である三年生とともに自主ゼミを作って共同論文を書き、日本学生経済ゼミナールに参加しましょう。

履修上の留意点

日本経済史に興味がある学生を歓迎します。同時に、ゼミという組織の形成に積極的に参加し(伝統を形成中です)、そのなかで自分を成長させようという強い意志と根性、仲間を思いやる心を持った学生を歓迎します。

成績評価の方法

平常点ならびにゼミ活動(時間内・時間外)への貢献度。

教科書

第一回目のゼミで話し合った上で決定します

参考書等

必要に応じて随時紹介します。

その他

演習Ⅱ、Ⅲの紹介も必読のこと。週に一度のゼミだけでなく、学年の枠を越えてゼミ活動を展開するのが「橋野ゼミナール」の特徴です。これまで年間1・2回の合宿、企業・工場や博物館の見学、自主ゼミを作って日本学生経済ゼミナールへの参加などを進めてきました。また全てのゼミナリス滕(ゼミ生)がゼミ内の係の活動を通じて、活発で円滑な組織を形成・運営し、相互の交流をはかっています。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	ひやくた よしはる 百 田 義 治	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

現代日本の企業が直面するビジネス・マネジメント（経営管理）に関わるテーマを中心に、グローバル化・情報化（IT革命）の進展など経営環境が激変するなかで21世紀を迎え大きく変貌する日本企業とその経営の実態をリアルに学び、将来を展望します。

講義の内容・授業スケジュール

次のようなテーマに取り組みます。

- ①メガ・コンペティション、グローバル・スタンダードが叫ばれるなかで、日本企業の経営行動はどのように変化しているのか？
- ②企業不祥事がなぜ多発するのか？その防止（コーポレート・ガバナンス）には何が必要なのか？
- ③いま、なぜ、能力主義・成果主義なのか？終身雇用・年功制はなぜ修正されなければならないのか？
- ④なぜ、企業は海外進出するのか？経営が国際化するなかで異文化との共生には何が必要なのか？
- ⑤企業は環境問題にどのように取り組んでいるのか？などなど

履修上の留意点

経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法

出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。

教科書

未定

参考書等

未定

その他

「卒業研究」（4単位）を併設します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習 I	ふくはら よしのぶ 福 原 好 喜	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

「よく遊びよく学ぶ」というのが福原ゼミのモットーである。ヨットもテニスも初心者には手ほどきをする。福原ゼミで諸君が学ぶのは別にテキストからだけではない。教師や学生仲間とのつき合いを通して夫々の個性をのびのびと育ててほしいと思っている。

学生に、勉学はもとより、精神的、肉体的訓練も幾分かでも与えることが出来ればと思う。サブゼミとして、専門にとらわれない経済問題全般についての研究会を実施中である。春秋年2回、2・3・4年ゼミ、全メンバーによる駒沢公園一周のマラソン大会とそれに続く合同コンパが恒例行事となっている。3年という歳月はそう長くない。自分を鍛えることにもっと意欲を持つよう。

学生との人間的つきあいを大事にするゼミにしたいと思っている。

講義の内容・ 授業スケジュール

このゼミナールは経済学の基本となる社会科学方法論に関する基礎的な文献を読むことにしている。昨年は大塚久雄『社会科学の方法』、マックス・ウェーバー『社会科学方法論』、『職業としての学問』、カール・マルクス『経済学の方法』などを読んだ。主観を離れられない個人が如何にして学問の客観性を保証しうるのか？これがゼミの基本テーマである。ゼミはディスカッション方式で行うので何よりも学生の自主的な勉学態度を期待する。ガリ勉である必要はないが、勉学に情熱を持った学生に是非来てほしい。

夏の合宿では、研究会とともに、午後はテニスカゼミのヨットで操縦訓練を行っている。午前勉強、午後スポーツ、夜研究会という日課である。

履修上の留意点

(福原ゼミナール十訓)

福原ゼミ生は以下の教えを胸に刻み、その実践を心掛けなければならない

1. 理想を高く掲げ、日々の努力を怠らざること
1. 人格の陶冶を心掛け、心身の鍛練に努めること
1. すべての生命を慈しみ、無用の殺生をなさざること
1. 社会的貢献に努め、弱者の救済に役立つこと
1. 質素を旨とし、浪費をなさざること
1. 規則正しい生活を心掛け、早朝マラソンを欠かさざること
1. 親の葬儀以外は授業をさぼらざること
1. 隣に優しく、白らには厳しかるべきこと
1. 白らの責務を回避せざること
1. 酒を愛すも、深酒は慎むこと

成績評価の方法

出席点及び論文評価

参 考 書 等

福原好喜『総理に忠告すー日本経済危機水域に入れりー』

そ の 他

「卒業研究」併設
ゼミについて詳しく知りたい方は経済学部福原のホームページを御覧下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	ふるさわ こうぞう 古 沢 紘 造	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

2年演習〔アフリカの社会と文化Ⅰ〕
アフリカを知るおもしろさは、混沌とした世界にあるようだ。生活様式一つを取っていても狩猟採集、遊牧、農耕というように実に多様だ。こうした異質な社会を理解することによって、私たちのものの見方、考え方を問い直す契機となれば得るものは大きい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①次のテーマについて研究発表を行う。
A 多様な人間社会（ライフスタイル）
1 狩猟採集民 2 牧畜民 3 農耕民 4 都市民
B 多様な人間関係
1 通過儀礼（大人と子ども） 2 親族（身内とよそ者） 3 経済活動（贈与と交換） 4 宗教と権力（まつりとまつりごと）
②アフリカをテーマにしたユニークな雑誌を発行する。
③演習をアクティブなものとするため、楽しい企画（アフリカ・フェスティバル、コンサート、映画祭、サッカー大会）にチャレンジする。

履修上の留意点

研究発表、レポート提出、ゼミ活動への参加に基づき総合的に評価する。

そ の 他

「卒業研究」を併設する。

専
門
教
育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	ほり りゅうじ 堀 龍 二	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

労務管理論に関する基本的知識の獲得や問題意識の涵養をねらいとしています。とくに現代日本の労務管理はいま大きく変化してきています。従来の労務管理がどのような特徴と構造をもっていたのか、それがなぜいま、どのような方向へ変化してきているのか。こうした問題を考えるのに有用な知識を修得していただくのが課題です。

講義の内容・授業スケジュール

適当なテキストを用いながら、それを輪読し、また担当を決めて要旨を報告してもらうといった方法で知識を修得するとともに、ゼミとしての共通の認識を養ってもらう。また、基本的な統計資料の利用といった学習スキルの向上も図っていく。後期にはグループを作り、グループごとにテーマを決め、グループ内での下調べをもとにゼミで報告する方法も予定しています。

履修上の留意点

労務管理論に関する基本的知識の修得が主眼とはいえ、ゼミでの私の説明、他の人の報告、そこでの議論において、理解しにくいと感じたことをうやむやにしないで、質問する姿勢を大切にしてください。つまり積極的な発言を期待しています。

成績評価の方法

基本的に日頃のゼミへの参加、丹念な下調べ、レジュメ・レポートの提出、積極的な発言を中心に評価します。

教 科 書

現在検討中で、初回ゼミまでに決定します。

参 考 書 等

ゼミのなかで適宜指示します。

そ の 他

夏休みなどを利用して合宿を行う予定です。演習Ⅱ・Ⅲまで引き続き履修した場合には、演習Ⅲ履修時に「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	まつい りゅうへい 松 井 柳 平	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

世界を舞台に経済は毎日めまぐるしく変動し、激動している。この不確実な変動を科学的に認識し、統計的手法を用いて、経済、社会を分析する。

講義の内容・授業スケジュール

パソコン（マッキントッシュ）を用いて経済分析をおこなう。あわせて、プレゼンテーションのための、画像処理（イラストレータ、3DCGなど）やデジタル・コンテンツの作成なども学ぶ。

履修上の留意点

履修希望者は教員と面談の上、受講許可を得ること。

成績評価の方法

ゼミでの取り組みの積極さ（問題を自ら発見・提起し、そして自らそれを調査・解決する姿勢）、またレポートの提出を求める場合がある。

教科書

開講時に指示する

参考書等

ゼミ希望者は、細野真宏著『経済のニュースが面白いほどわかる本』（中経出版）を開講時までに読んでおいて下さい。

その他

ゼミ希望者はゼミ開講までに、総合情報センターの講習会を受講しておいて下さい。卒業研究（卒業論文・卒業制作）あり。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	みつおか はくみ 光 岡 博 美	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

演習Ⅰでは、現代日本の労働問題や社会保障を研究するための準備として、これらの分野に関する基礎的な学習を行うこととします。具体的には、参加者と相談しながらテキストを決定し、毎時間レポーターによる報告と討論を積み重ね、確実にテキストの内容が理解できるように努力します。1年間で、できるだけたくさんのテキストを読んでいく予定です。ゼミ参加者は、毎時間きちんと出席し、同時に、自分自身がどのようなテーマで今後の研究を行っていくのかを考えて下さい。（例えば、「日本の労使関係」、「女性労働問題」、「日本の社会保障・福祉」）

履修上の留意点

通常の講義とは違って、演習は参加者自身が協力し、全員の努力で充実したものとなります。教員の話を一方向的に聞くのではなく、全員が発言し、活発な討論を期待します。

成績評価の方法

成績は(1)出席 (2)レポーターとしての努力や工夫などを総合的に判断して評価します。通常の講義のような筆記試験は行いません。

教科書

演習参加者の意見や要望を参考にして決めたいと思います。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	みぞ て よしかず 溝 手 芳 計	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

- 授業は次の2点に留意して進めます。
- ①農業・農村・食料に関わる諸問題を経済学的視点から理解し、政策を批判的にみていくための基礎的学力の修得をめざす。
 - ②ゼミ形式による集団学習方法を体得してもらう

講義の内容・授業スケジュール

テキストの輪読とディスカッションを中心に進めます。基本テキストの学習以外に、データ収集、参考文献の学習等、宿題を求めるかもしれません。

成績評価の方法

①出席状況、②レポートと発表の内容、態度、③討論への参加状況・発言内容等を総合的に評価。

教科書

田代洋一『日本に農業は生き残れるか』（大月書店）
2冊目以降は、受講生と相談して決める。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	もりおか 森 岡 仁	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

21世紀を迎えた先進諸国の経済と人口の成長は引き続き低水準にある。社会保障・人口問題研究所の平成9年推計によると、日本の人口は2007年の1億2,800万人をピークに、その後は減少すると予測されている。出生率の低下による影響は多方面に及び、人口高齢化とともに国民の関心は高いが、特に近年では社会保障との関係で出生率の動向が注目されている。

講義の内容・
授業スケジュール

この演習では経済人口学の立場から、わが国における人口の少子化や高齢化が経済に対してもつ相互の関係を明らかにする。

履修上の留意点

休まず出席することが演習履修の第一条件である。

成績評価の方法

平常点

教 科 書

大湖寛『少子化時代の日本経済』（日本放送出版協会）

参 考 書 等

演習の中で適宜紹介する。

そ の 他

「卒業研究」を併設する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	もりた よしひろ 森 田 佳 宏	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

会計とは、企業の経営活動の状況を数字によって表現しようとするもので、その具体的な技術が簿記であり、その背後にある理論が会計学といわれるものである。会計学の領域は大きく財務会計と管理会計に分けられる。本演習では、財務会計の基礎理論を学ぶことを目的とする。財務会計とは、投資者、債権者、税務当局、消費者など、企業外部の利害関係者に対し、会計情報という形で企業の実態を明らかにする外部報告会計である。さらに、このような外部報告会計に信頼性を付与するため、資本金5億円以上または負債総額200億円以上の会社、および有価証券の募集・売出しをしようとする会社または有価証券を上場している会社などに対して、公認会計士または監査法人による会計監査が義務づけられている。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストをベースとして、財務会計および監査の領域に属する基礎的な諸問題を取り上げ、解説および学生諸君による報告・討論を行う。必要に応じて簿記の学習（日商簿記検定試験3級程度）を取り入れることもある。1年間の演習の終了時にはレポートの提出を課す予定である。なお、演習Ⅲに「卒業研究」を併設する。

履修上の留意点

特別な事情がない限り、毎回出席すること

成績評価の方法

いわゆるゼミであるから出席を重視するが、そのほかに報告内容（レジュメを含む）、レポートなどを考慮に入れて総合的に評価する。

教 科 書

新井清光『現代会計学（第5版）』（中央経済社）2,500円

参 考 書 等

演習時に適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	谷 敷 正 光 <small>やしきただみつ</small>	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

テーマ〔日本経済発展史入門〕
2年生の演習は日本経済、日本産業の驚異的成長はいかにして可能だったのか、日本経済の発展過程と経済システムを明らかにしていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕は、戦前・戦後の日本経済発展の理解や事実認識の手助けとして、和田英『富岡日記』、山本茂実『あゝ野麦峠—ある製糸工女哀史』、中村隆英『昭和恐慌と経済政策』、邦光史郎『トヨタ王国』、木下英治『東急王国』などの小説や「あゝ野麦峠」「若き日の豊田佐吉」「生きている昭和市」などの映画、「金融恐慌日本を揺るがす」「乗用車ゼロからの出発」などのビデオを教材として使用して班別課題発表やプレゼンテーションの練習をします。

〔後期〕は、前期に学んだ「題材」にかかわる学術論文を読み進めたり、基礎的文献を教材に日本資本主義の形成期、産業資本確立期、独占資本主義確立期を中心に日本経済の発展過程や経済システムを班別課題発表やプレゼンテーションで明らかにしたいと思います。

〔授業以外〕に夏休み、春休みを利用して宿舎を行い、集中的研究を行う他、ソフトボール、ボーリング大会、旧跡めぐりなどを行い、ゼミ員の親睦をはかることにしています。

履修上の留意点

4年ゼミまで続けられる人を望んでいます。

成績評価の方法

出席を基本に、常日頃の発表やレポートなどで総合評価します。

教科書

山本弘文『近代日本経済史』（有斐閣）

参考書等

速水融、宮本又郎編『日本経済史（全8巻）』（岩波書店）
『日本歴史大事典（全4巻）』（小学館）

その他

4年ゼミでは、「卒業研究」を開設しますので希望する人は履修することができます。

科 専
門 教
育

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	安 元 稔 <small>やすもとみのる</small>	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

初めて経済史を勉強する諸君に、「経済史」という学問領域の特色・経済史的なものの見方・経済史の面白さを知ってもらうことがこの演習の主なねらいです。

講義の内容・授業スケジュール

テキストを選び、それぞれ分担して要約・疑問点・興味を持った点を報告してもらいます。学術用語・概念を調べ報告してもらうこともあります。

履修上の留意点

なじみのない学術用語・概念が多く出て来ますので、その都度おっくうがらずに図書館で調べることが必要です。

成績評価の方法

日常の勉学態度・出席状況を見て成績を評価します。

教科書

第1回目のゼミナールの際、指示します。

参考書等

適宜指示します。

その他

「卒業研究」は実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	やまがた ひろし 山 縣 弘 志	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

比較経済論研究の入門

講義の内容・
授業スケジュール

専門的学習・研究へ向けての入門的トレーニングを行う。国際的な視野を獲得し、卒業時に各自のテーマで論文作成することを目標とする。2年次においては、(1)社会科学の文献に慣れる、(2)論理的思考を育てる、(3)プレゼンテーションを経験する、(4)問題意識を明確にもつ、(5)世界経済の全体像をイメージできるようにする、(6)国際的な比較の観点を常に意識する、を主な柱として授業を組み立てる。

成績評価の方法

出席、発表、討論への参加を点数化して総合評価する。

教 科 書

岡沢憲美『スウェーデンの挑戦』
西川潤『世界経済入門』
石弘之『地球環境報告』
暉峻淑子『豊かさとは何か』
以上岩波新書

そ の 他

非喫煙者が望ましい。
「卒業研究」有。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	よしの 吉 野 紀	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

総合情報センターの機材を使いながら、金利と利回りの話や、現在価値に割引く考え方を導入点として、成長率、成長モデルなどテーマを徐々に拡大し、自らシミュレーション(模擬実験)を行えるよう指導してゆく。結果はフロッピー・ディスクに保存しておくので、後で自分で自由に拡張してゆくことができるであろう。

成績評価の方法

日常の授業姿勢を評価の基準とする。

参 考 書 等

蓑谷千風彦他『パソコンによる数量分析』(数量経済分析シリーズ第6巻)(多賀出版)

そ の 他

「卒業研究」併設。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	よしだ けい いち 吉 田 敬 一	経 A・商 2 選	4

講義のねらい

この演習は日本経済分析の入門を基本課題としています。

バブル崩壊後の日本経済は長期にわたって深刻な不況に喘いでいます。90年代の世紀末大不況は単純な循環性の不況ではなく、日本経済の構造とりわけ日本型生産システムの抜本的再編成に基礎を置く「構造転換不況」として把握する必要があります。そこで本演習では、21世紀に入った今日、国際的な観点を含めて、日本経済の問題点がどこにあり、なにが、いかに、なぜ変化しようとしているのか、そしてそれが地域経済と中小企業に対してどのような影響を及ぼしつつあるのかを、ともに考えていきます。

また、以上の内容の共同研究を通して、演習生各自が自分自身の世界観・社会観（ものの見方・考え方）を確立することを目標として、演習を運営していきます。

講義の内容・授業スケジュール

講義とは異なり、演習は学生諸君の自主性・主体性が不可欠です。そこで演習生をグループ化し、班単位でレジュメを作成し、報告・議論を進めていきます。

履修上の留意点

- ①ゼミ活動（合宿やイベント、コンパなど）に積極的に参加し、各種の役割分担を主体的に引き受けること。
- ②無断欠席・遅刻は厳禁。
- ③演習での議論にアクティブに関与すること（ゼミは講義の延長ではなく、ゼミ生が中心となり運営するもの）。

成績評価の方法

出席状況、平常点（レジュメ、報告内容、討論への参加度など）およびレポートなどを中心に総合的に評価します。

教科書

最初の演習の時間に指示します。

参考書等

演習を進める中で適宜に紹介します。

その他

演習Ⅲでは「卒業研究」を併設します。

科
専
門
教
育

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅱ	あさの か つ み 浅 野 克 巳	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

演習Ⅰの継続として以下の内容を検討する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 現代日本経済システムの特徴 2. 日本の企業と産業組織 3. 日本の企業システム
4. 市場と取引コスト 5. 情報の経済分析 6. ネットワーク外部性 7. 巨大企業の誕生と「収獲増」の波 8. 技術進歩と研究開発 9. 知的財産権と企業 10. 構造改革と日本経済
11. メインバンクシステムと資本市場 12. 日本企業とコーポレートガバナンス。

履修上の留意点

演習は講義と違い学生諸君の参加によってはじめて成り立つ。授業には必ず出席することはもとより、授業はディスカッション形式で行うので、必ず予習しておくことが大事。また、エクセルを使った経済分析やシミュレーションも行うので「情報センター」を利用して活用できるようにしておくこと。

成績評価の方法

出席率、授業態度、レポートの内容等を総合して評価する。

教科書

長岡・平尾『産業組織の経済学』（日本評論社）1998年
ポール・ミルグロム＝ジョン・ロバーツ『組織の経済学』（NTT出版）1997年
小田切宏之『企業経済学』（東洋経済新報社）2000年

参考書等

経済企画庁『経済白書』。その他の資料については授業の中で指示する。

その他

卒業研究 有

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習II	あべひろし 阿部 弘	経 A・商3選	4

講義のねらい

演習（ゼミナール）の内容：テーマは「市民と経済学」である。
現在のわたしたちの社会は「市民社会」とあるといわれている。そしてこの社会は「資本主義」をその根幹にもっているものでもある。そこで、この「資本主義」にのっとった「市民社会」はどのようなものなのか、「資本」という「利潤」追求を本質に持つ体制と、「市民」という「自由・平等・博愛」を基盤に持つ人間の在り方との比較を通じて、この問題にアプローチしてみようと思う。特に現在はこの問題がある特定の国のレベルを越えてグローバルな次元で展開していることを考えるとき、わたしたちはこれらの問題に接近していくためには広い視野をもって臨まなくてはならない。

講義の内容・授業スケジュール

この「演習II」は3年次生が対象であるので、グローバルな視点で「市民社会」の分析をすることを課題とする。その上で、参加者各人の固有のテーマを設定し、12月には各自の研究の発表を行うと共に論文として提出し、ゼミナールの機関誌である『アルファ』に掲載するものとする。

履修上の留意点

ゼミナールの行事は「阿部ゼミ」全体で企画・施行するが、そのようなものとしては次のものがある：

- * 春と夏の合宿 / * 10月のゼミナール対抗ソフトボール大会
- * 論文発表大会 / * その他コンパ等

成績評価の方法

ゼミナールであるから参加者各自の自立した研究発表が評価の基準になるが、論文発表会に参加しないものは単位が取得できない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習II	あらかよしひろ 荒木 勝 啓	経 A・商3選	4

講義のねらい

経済変動の姿をコンピュータ上でシミュレートするというテーマに向けて様々なコンピュータ技法をマスターしていく。

講義の内容・授業スケジュール

モデルをマルチメディア・プレゼンテーション可能にするため、全員に最低DTP（デスクトップアプリケーション）の方法を習得させる。すなわち①編集方法（Page Maker, Quark Express）②グラフィックス（Illustrator）③レタッチ・修正（Photoshop）を習得させる。ゼミ生は課題として、2年次後期からDTP検定2級試験にチャレンジする。今までに3人合格したが、次回から難易度が易化するということなので、さらに合格者をふやしたい。

成績評価の方法

検定試験への挑戦と出席点。

教科書

指定なし。ただし必要な場合指示する。

参考書等

Macintosh 教場を使う。サブゼミ（金曜6：00より）で、C言語をマスターする。例年ほぼ完全に終了している。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	いしかわ ゆうじ 石 川 祐 二	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

企業の管理上、会計情報が様々なかたちで利用される。その情報を生み出すための仕組みとして、管理会計の技法が存在している。その技法を取り上げ、それが社会の多様な関係の中で果たす役割について研究する。それによって、社会現象を分析するための視点を、共に養いたい。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅱでは、管理会計上の様々な技法を取り上げたい。特に、近年議論の中心となっている新しい技法に焦点を当て、共に学びたいと考えている。さらに、その学習をつうじて、ゼミ生が各自のテーマを見つけ出し、深く掘り下げていくための基礎を固めるよう、取り組みたい。報告とディスカッションを中心に進める。

履修上の留意点

積極的に参加をすること。また、ゼミ生同士で協力しあい、楽しいゼミ運営をしてもらいたい。

成績評価の方法

特に出席を重視するが、報告内容等も含め、総合的に評価する。

教科書

初回の演習時に指示する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

合宿その他のイベントについては、話し合いで決定する。

科
専
門
教
育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	いわした ひろし 岩 下 弘	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

3年間のゼミのテーマは流通・流通政策の国際比較である。2年次には日本における流通問題を研究対象にし、3年次では国内の流通政策、4年次では流通政策の国際比較を対象とする。

日本における流通問題としては、大きな問題としてコンビニの光と影、小売商店数の減少、大手小売企業の資本蓄積構造、商店街の空洞化、中心市街地の活性化、海外大手小売企業の日本市場参入、などがある。

たとえば、「ヤオハン」は何故海外に進出し、倒産したのか。「そごう」は何故巨艦主義をとり、その結果何故倒産したのか。「ダイエー」は何故経営の危機に直面しているのか。コンビニは繁栄しているとはどういう意味なのか。商店街がシャッター通りになっているのは何故か。

このように、われわれの生活の周囲で流通をめぐるいろいろな問題が発生しているが、これに対して政府および地方公共団体はどのような政策で対応しているのか。それらが市民生活の質の向上に役立っているのか、を探るのが3年次の課題である。

小売資本の蓄積構造にたいする公共政策の有効性を探る。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの輪読あるいは報告。

履修上の留意点

ゼミは参加することに意味がある、ということを忘れないこと。

成績評価の方法

ゼミ、合宿、コンパ等への出席およびレポートの提出回数により評価。

教科書

必要に応じて指定。

参考書等

その都度指示。

その他

卒業研究 有

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習II	いわなが こうじ 岩 永 宏 治	経 A・商3選	4

講義のねらい

企業、経営実践の理論化・体系化である経営学説の基礎研究を課題とします。ある学説がどのような歴史的・経済的・思想的背景のもとで形成され、企業・経営あるいは組織・人間のどのような側面を問題にし体系的理解を示してきたのか、といった学説研究の基礎的考察を中心にします。また、現代企業・経営の諸活動を反映した現代経営・管理学説についても適時、取り上げていく予定です。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 文献講読を年間を通して実施します。
 - a 全員サブノート作成
 - b レジュメ（報告要旨）の作成
 - ※レジュメのレベル
 - ア テキストの要約
 - イ 疑問・不明な箇所の調査
 - ウ 肯定・否定的見解や資料の提示
 - エ 自己の見解（感想を含む）
 - c コメンテータによる疑問点などの提示と全員での討論
 - d まとめ
- ② 研究指導計画と方法
 - a ゼミ合宿（7月）——各自の研究方向と研究テーマについて
 - b ゼミ合宿（3月）——個別研究テーマの確定とグループ指導

専
門
教
育
目

履修上の留意点

当ゼミでは、以上のような演習内容を通して、ゼミ生の皆さんの論理的思考方法の確立と共同研究を通じた資料収集方法の把握を目指していきます。そこで、ゼミ生の方々の積極的な主体的かかわりが不可欠です。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教 科 書

開講時に指示します。

そ の 他

「卒業研究」を併設する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習 II	い わ な み ふ み た が 岩 波 文 孝	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

現代の企業は急速な IT 革新の進展や企業活動のグローバル化に伴って、個別企業内の組織構造の再編成のみならず、グローバルな組織戦略を展開しています。近年では、企業合併もダイムラーとクライスラーのようにグローバルなレベルで展開しており、それが業界再編を加速しています。その一方で、わが国では、「バブル経済」崩壊以降の不況下で、倒産や不法融資などによる経営の行き詰まりなどの問題も続出しています。本演習では、企業間ネットワークと経営システムをテーマとして、現代企業の経営組織・組織間関係の課題を多面的に検討していきたい。また、組織間関係の視点からコーポレート・ガバナンスの構造についても検討していきたい。これらを通じて、現代の企業経営に関わる問題意識を深めていくことを目的とします。

講義の内容・授業スケジュール

輪読形式により報告担当者・グループによるレジュメ報告を中心に討論を行います。合宿では、現代の企業経営が抱える諸問題について、討議していきます。

履修上の留意点

ゼミナールは、受講生の主体的な学びの姿勢にもとづいて運営されます。ここでは専門の学習へ向けて、自らの課題を発見し、問題意識を深めていくという積極的な学習スタイルが求められます。受講の際には企業経営をめぐる諸問題について問題意識をもちゼミナールに参加してもらいたい。

成績評価の方法

ゼミへの出席、発表内容、積極的な討議への参加などの平常点による総合評価を行います。

教科書

開講時に指定します。

参考書等

必要に応じて指定します。

科 専
門 教
目 育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習 II	お お い し ゆ う じ 大 石 雄 爾	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

2年次の演習 I では現実の経済問題について幅広く学んだ。それをふまえて、この演習では市場経済の進歩的側面とそれが抱える問題点について考える。

講義の内容・授業スケジュール

市場経済とは資本主義的商品経済のことである。今では、世界中のほとんどの地域が市場経済に組みこまれている。そのため、私たちがこの世界でより良い暮らしを実現するには、市場の運動法則やその仕組みを正しく理解することが必要となる。

マルクスの『資本論』は、この複雑な仕組みを、一般的なことからより具体的なことがらへと、ナゾ解きにも似た推理でみごと明らかにした。マルクスといっしょにミステリー感覚で考えながら、市場経済の原理や法則を自分のものにしていく。

平常の演習では、『商品の価値と価格』について報告と討論を行ない、1年間かけて読んでいく。合宿では、その応用として、国際経済・経済援助などに関するテキストを用いて学習する。

成績評価の方法

原則として平常点であるが、その中には提出を求めた感想文などの評価も含まれる。

教科書

大石雄爾『商品の価値と価格』（創風社）

参考書等

カール・マルクス『資本論』（新日本新書）

その他

「卒業研究」を併設する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	お お ぶ き か つ お 大 吹 勝 男	経 A 商 3 選	4

講義の内容・
授業スケジュール

『情報化』と現代企業の『物流』。前年度の学習成果をふまえて、日本企業の『物流』についての研究を一層深めることを課題とする。価格及び企業利益への影響は勿論のことですが、特に、労働者・サラリーマンへの影響つまりは消費者に与える影響等々について研究をすすめたいとおもいます。

成績評価の方法

学年末のレポートの提出によって成績を評価する。卒業研究も併せて開講する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	お ぐ り た か し 小 栗 崇 資	経 A ・ 商 3 選	4

専
門
教
育
目

講義のねらい

演習Ⅰと同じねらい。演習Ⅱでも引き続き「日本の会計制度と会計ビッグバン」をテーマに学習を進めたい。

講義の内容・
授業スケジュール

演習Ⅱでは、演習Ⅰに引き続き、現代の財務会計の原理や方法を学習する予定である。テキストを中心にディスカッションを重視してすすめるが、3年生後半には各自が研究テーマをもって学生自身で調査・研究を進めるように指導したい。

履修上の留意点

演習では討論を重視しているので、積極的に参加すること。夏季合宿やコンパ、企業見学などもゼミの大切なイベントとして取り組みたいので、企画力のある意欲的な学生の参加を希望したい。なお、「卒業研究」も開講する予定である。

成績評価の方法

総合的に判断する。①出席状況、②分担報告、③レポート。

教 科 書

演習の中で指示。

参 考 書 等

演習の中で指示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	こすぎ しゅうじ 小 杉 修 二	経 A・商3選	4

講義のねらい

本ゼミは地球温暖化問題とその解決策を考える。
 森林伐採や化石燃料の使用によって、21世紀末までに2℃の昇温が起ると予測されているが、これは文明の崩壊の可能性をはらんでいると言える。
 我々の文化や経済学というのは豊かさが切望された貧しい時代にできたものである。そして、経済成長はたしかに我々の生活を豊かで便利なものにした。
 しかし、どんな経済活動も自然の生命維持システムという土台を離れては存立が不可能であることが今明らかになりつつある。こうした課題の前では、今までの常識、文明、経済学も全面的見直しが必要になるだろう。
 この先40～50年は生きるであろう諸君にとってこれらをどうするかは避けて通れない深刻な問題であろう。
 暗い展望が描かれそうだが、当ゼミはあくまで明るく楽しい未来を考えるための知識・思考力と学生の交流をつちかうつもりである。
 また、時に応じて日本その他を例にとって、経済成長がこれまでどのようにおきてきたのかを学習する。2～3年次にかけては、環境問題、現代の労働・消費・生活・文化のいろいろな面を学習し、それらと経済成長とのかかわり具合を考える。

科専門教育
目録

成績評価の方法

出席率70%以上を中心にする。

教科書

小宮山宏『地球温暖化問題に答える』（東大出版室）1,800円等を使う。

その他

ビデオを使った授業とデイベイトでメリハリをつけるようにしている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	こばやし まさと 小 林 正 人	経 A・商3選	4

講義のねらい

テーマ：「戦後日本の経済システムと産業システム」
 戦後の日本経済の動向を詳しく知るためには、その中での産業の発展や企業活動のあり方について深く立ち入って検討する必要があります。しかも現在の平成不況のなかで、日本の経済システムと産業システムは大転換を迫られています。このゼミでは、戦後日本経済の歴史や産業発展の要因について調査し、経済発展において主導的な役割をした産業や企業、その産業や企業がかかえている課題などを研究します。
 下記のウェブサイトの「小林ゼミのひろば」で、これまでのゼミの活動を見ることができます。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>

講義の内容・授業スケジュール

前期には、一定の文献にもとづいて日本産業の歴史について全般的に調べます。
 後期では、個別の産業・業界について、ゼミ生ごとにあるいはグループごとに調査研究を行います。

以上の調査研究をふまえて、4年生の演習で「卒業研究」（卒業論文のみ）を完成させます。

履修上の留意点

ゼミ生の自発的な発表、発言、調査が基本です。また、ゼミの円滑な運営のためのルールに従うこと。

成績評価の方法

前期末と学年末のレポートを基本とし、ふだんの報告発表や発言内容を加味して評価します。

教科書

なし。

参考書等

授業中にゼミ生と相談して決めます。「テキストの候補」を、上記のサイトの「小林ゼミのひろば」に掲載します。

その他

「卒業研究」（卒業論文のみ）を併設

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	さいとう 藤 正 齋 藤 正	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

「金融大改革と銀行業の役割」をテーマに、望ましい金融システムのあり方について考えます。

講義の内容・
授業スケジュール

金融ビッグバンの展開にともない、巨大銀行同士の統合や合併、インターネット・バンキング、ソニーやヨーカ堂などによる銀行業務への参入など、金融制度は一大変革の時代を迎えています。他方、行政は不良債権の「最終処理」なくして景気回復はないという理由から、金融機関に不良債権の早期処理をせまっていますが、広範囲に及んでいる「貸し渋り」をさらに押し進め、とくに中小企業や地域経済に深刻な影響を及ぼすことが懸念されます。

演習Ⅱでは、わが国における具体的金融問題を素材としながら、望ましい金融制度のあり方について考えます。

履修上の留意点

日本社会は現在大きな変革期にあり、日本の将来をどのように描くのかという視点が求められています。金融問題を対象としながら、諸君一人一人が独自の視点を獲得されることを望みます。

成績評価の方法

年間を通した、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。

教 科 書

大橋・小西・齋藤・平澤・田村『日本のビッグインダストリー6 金融』（大月書店）

そ の 他

「卒業研究」を併設します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	さとなか つねし 里 中 恆 志	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

この演習は3年次生を対象とし、副表題を「財政学」とする。近代経済学の理論的枠組みを取り入れたかたちでの財政理論はこれまでの経済現象を解明するための有力な理論体系を含んでいた。そしてその応用としての経済安定化のための財政政策は重要な経済政策の一つであった。しかし経済社会の発展とともに今や、それらの財政思想および財政理論の限界が明らかになりつつあり、現在では新しいかたちの接近がいくつも試みられるようになっている。ここでは従来の財政思想の限界を分析するなかから、今後の財政理論の展開の可能性を検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

公共財政の現代的課題を理解し、検討判断する能力を養うために現代財政を論じたテキストを使用する。輪読形式の精読により内容に対するゼミ生の共通理解を得て検討し、できるだけ多く進む。

履修上の留意点

「財政学」、「財政政策」、「地方財政論」、「マクロ経済学」、「国民所得論」、「行政法」等の関連科目の履修が望ましい。

成績評価の方法

平常点により評価する。

教 科 書

最初の授業で指定する。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習II	しみず たかし 清水 卓	経 A・商3選	4

講義のねらい

現代ヨーロッパ問題をより体系的にとらえるため、EU諸国の第二次大戦後の経済発展とEU統合の歴史と現状の二つの課題を柱に、グローバル化という名のアメリカナイゼーションに対抗し「ヨーロッパ・モデル」を追求しているEUの動向を、我が国の「改革」路線との比較検討を踏まえて検討します。
専門文献を精読します。

講義の内容・授業スケジュール

演習Iを参照のこと。

履修上の留意点

演習Iを参照のこと。

成績評価の方法

演習Iを参照のこと。

教 科 書

演習Iを参照のこと。

参 考 書 等

必要に応じてお知らせします。

そ の 他

演習Iを参照のこと。

科専門教育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習II	しろた じゅん 代 田 純	経 A・商3選	4

講義のねらい

金融に関するゼミとする。日本の金融を中心としつつ、金融に関する国際比較、金融のグローバル化について学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期においては、金融についての入門書を1冊読み理解することを目指す。後期においてはややレベルを上げていきたい。

履修上の留意点

演習なので出席が前提となる。

成績評価の方法

日常点を重視する。出席、発表、質疑への参加が重視される。

教 科 書

受講者と相談して決定する。

参 考 書 等

参考までに代田による市販の出版物は以下のようなものである。
代田 純『ロンドンの機関投資家と証券市場』（法律文化社）1995年
代田 純『現代イギリス財政論』（劉草書房）1999年
代田 純『日本の株式市場と外国人投資家』（東洋経済新報社）2001年
二上編『日本型金融システムの転換』（中央経済社）1995年
龍編『現代の財政金融』（日本経済評論社）1995年
中尾編『金融グローバリズム』（東大出版会）2001年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	せとおか ひろし 瀬戸岡 紘	経 A・商3選	4

講義のねらい

「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応して、経済、社会、経営、文化を分析し、自分の意見をもてる人間を養成すること。また、そういう時代を生きぬく社会的正義感をもった人間を養成することがねらいです。何を研究の対象としてとりあげるかは、受講者の希望により決定します。

講義の内容・
授業スケジュール

アメリカの大学（なかでもシカゴ大学大学院）の演習の方式を大胆に採用したゼミです。前半期は思考に強くなるための方法、デジタル時代の学習と研究の方法、学ぶ者の社会的責任などを、ゼミ生との対話のなかで提示します。後半期は、それらを各自の関心あるテーマに実際に活用してみる活動を共同でおこない、学習の成果を確かなものにします。ゼミで身につけた能力を後輩のゼミ生を指導するという形で活用してみる場としてサブゼミが、また、それらの能力を検証する場として日本学生経済ゼミナールの東京大会、全国大会への参加が、さらに、インターネットや遠隔授業をとおしてアメリカの学生との交流をつうじた学習がおこなわれます。工場見学など多彩なイベントもゼミ生が自主的に企画実行しています。

成績評価の方法

ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は当人のやる気です。

教 科 書

随時、有益な文献を紹介します。

そ の 他

このゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問い合わせたりすることのほか、下記のホームページにアクセスしてください。

http://www.komazawa-u.ac.jp/Gakubu/Setooka_Seminar/

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	そ が のぶたか 曾 我 信 孝	経 A・商3選	4

講義のねらい

実際に企業がどのようなマーケティングを展開しているかを分析し、それらの政策がどのように評価できるのか。さらにそれらの政策に内在する問題点を指摘できる能力を育成することにねらいを置いている。

講義の内容・
授業スケジュール

前期にマーケティングの応用に関する文献を講読しながら、夏合宿までに問題意識とその解決方法の予備作業をしてもらう。夏合宿で、その結果を報告してもらい、検証する。後期にそれを論文にしてもらう。その論文は論文集として発行する。11月末に他学年との合同ディベート大会を開催する。

成績評価の方法

出席状況（合宿参加も含む）、発表要旨（レジュメ）、ゼミ行事への取り組みなどで総合評価する。論文集への参加は重視する。

教 科 書

春合宿時に決定する。

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

そ の 他

「卒業研究」を併設する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習II	ちよん 鄭 ちやんよん 章 淵	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に戦後（第二次世界大戦）東アジア経済の発展過程に関する知識を身につけてもらうことです。ここでいう東アジアとは、北東アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭にアジアNIEs（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）ASEAN 3（タイ、マレーシア、インドネシア）中国その他と続く発展の様は、しばしば「雁行形態的発展」と称されてきました。ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく現状において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰ：東アジア経済に関する基礎知識を身につけるため次の文献を輪読してもらいます。具体的には、予め報告分担を決め、報告者は各自が作成したレジュメに基づいて報告してもらいます。
大野健一・桜井宏二郎著『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円＋税

演習Ⅱ：演習Ⅰでの学習を土台に東アジア経済に関する知識をさらに深めます。演習Ⅰと同じく文献を輪読してもらいます。文献は後日指定します。

演習Ⅲ：「卒業研究」の作成がゼミ活動の中心となります。各自のテーマに従い個別指導を行います。
また、全ゼミ生を対象に夏期休暇にゼミ合宿を予定しています。そこでは別の文献を取り上げて講読し、ビデオ鑑賞なども予定しています。

成績評価の方法

出席率、レポート回数、合宿への参加状況などを加味して総合的に判定します。

そ の 他

演習Ⅱ、演習Ⅰの諸君には4年次に「卒業研究」を併設します。

科専門教育
目録

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習II	とくなが としあき 徳 永 俊 明	経 A・商3選	4

講義のねらい

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国（発展途上諸国：第3世界）の国際関係とその中での人々の生活の問題を研究します。第3世界の社会・経済や人々の暮らしを研究しながら、日本・日本人・私たち一人ひとりの人生・生活を考えます。国際政治・経済の中での人間と人間の関係、とくに第3世界の人々が直面しているさまざまな豊かさと貧困、そして彼らのたたかひについての検討を通じて、日本・日本人・私たち自身の豊かさと貧困を考えるのです。

春・夏2回の全学年そろってのゼミ合宿のテーマは「人生」です。幸福とは？ 自由とは？ 愛するとは？ 一人ひとりの意見がみんなからまじめに受けとられ、一人ひとりがみんなの意見を参考にして考えを深めます。

ゼミ最大のイベントは、これも全学年そろっての東南アジアへの研修旅行（自由参加）。これまでフィリピン・ベトナム・インドなど11か国へ行きました。いわゆる「観光旅行」ではなく、人々と交流し、人々の生活とその向上への努力や文化などを見聞することで、アジアの人々を知り、私たち自身の生活と考え方を再検討します。この旅で、私たちの頭のなかの〈世界〉は一挙に広がり、深くなります。

第3世界の人々と自分の現実のなかに〈夢〉を求め、見つけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

上の趣旨に沿って、学生諸君と相談しながらすすめます。

履修上の留意点

何よりも〈考える〉努力が大切です。〈考える〉努力を惜しまない諸君を求めます。

成績評価の方法

〈考える〉努力をしたかどうかをもって評価します。

参 考 書 等

討論のための資料・〈考える〉ための材料は、学生諸君と相談しながら用意してすすめます。

そ の 他

〈考える〉努力の成果を「卒業研究」としてまとめます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習II	ともまつ よしひこ 友 松 憲 彦	経 A・商3選	4

講義のねらい

この演習は西洋社会経済史の研究を課題としています。本年度は「産業革命の諸問題」をテーマにします。演習I（2年）を学んだ基礎理論や概念を手がかりに、ヨーロッパやアメリカの産業革命に関する社会経済問題を自由に選び、それぞれが研究を進めます。

問題発見、研究、発表、討論の能力を高め、大学生にふさわしい自主的、主体的な勉学態度を養うことをめざします。

履修上の留意点

「経済史」「西洋経済史」「日本経済史」「商業史」等をあわせて履修することが望ましい。

成績評価の方法

①年度末のレポート②平常点（レジュメ、報告、討論の状態）③出席で評価。

そ の 他

卒業研究を併設します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	な か す み み つ あ き 中 濟 光 昭	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

本演習では、情報システムやインターネットが経済とどう関わるかを考えます。具体的には、実際に企業で使われているシステムを用いた実習、ビジネスショーなど展示会の見学などを軸に、演習担当者のシステムエンジニア時代の経験・人脈を活かした指導、インターンシップへの参加、社会人との交流を行います。また、日本学生経済ゼミナールへ参加し、他大学との議論を行っています。詳細は、演習担当者のWEBページ、
<http://www.komazawa-u.ac.jp/du/economics/seminar/nakasumi/>に掲載します。本演習に興味があるひとは、必ずチェックしてください。

講義の内容・授業スケジュール

進路相談と2年演習の研究成果を踏まえた論文の作成を行います。個別のテーマに合わせて、プログラミング演習なども行います。2、4年と一緒に研究を行なうサブゼミで、1) 情報技術(システム設計、プログラミングなど) 2) インターネットと経済(電子商取引の仕組み、法規制など) 3) 情報デザイン(ホームページをわかりやすくデザインする方法)のグループに分かれ、テーマごとに勉強してもらいます。これとは別に各自テーマを設定し、レポート作成とプレゼンを行います。

履修上の留意点

毎日メールを読み、WEBページを調べ、ワープロを打つことが求められます。サブゼミ、合宿、インターゼミ、各種イベントへの参加を義務とします。指導効果を高めるため、バイトやサークルより演習を優先するひとを切に望みます。

成績評価の方法

出席と課題提出、夏季合宿、学年末に行う発表とレポート、ゼミ運営上の雑務、イベントへの参加、資格取得などを総合評価します。

教 科 書

別途指示

参 考 書 等

別途指示

そ の 他

演習Ⅲでは「卒業研究」を併設します。若干名のメンバー補充を行いますが、2年演習で行う程度のコンピュータリテラシがあることを条件とします。詳しくは、演習募集期間に相談に来てください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅱ	橋野知子 <small>はしのともこ</small>	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

〈近現代日本経済史の研究〉演習Ⅰで得た基本的知識をふまえて、戦前・戦後日本の経済発展を多様な角度から視て議論します。日本経済が発展する一方で、さまざまな問題が発生してきました。同時代人はこれをどう考えたのか、そして私たちはどう考えるのかを議論します。卒業研究を併設します。

講義の内容・
授業スケジュール

文献の輪読を通じて理解を深める一方で、テーマ別に編成されたグループでの共同研究を進めます。共同研究の成果は、夏合宿での報告・ディスカッションを経て、レポートとして作成することで、卒論作成のためのスキルを身につけます。後期からは卒業研究を見据えて、個人の研究報告をしてもらいます。さらに後輩である二年生とともに自主ゼミを作って共同論文を書き、日本学生経済ゼミナールに参加しましょう。

履修上の留意点

演習Ⅰの「履修上の留意点」を参照のこと。もちろん演習Ⅱからの参加も歓迎します。

成績評価の方法

平常点、ゼミ活動への貢献度。

教科書

第一回目のゼミナールで話し合います。

参考書等

必要に応じて随時紹介します。

その他

演習Ⅰ、Ⅲの紹介も必読のこと。このゼミで形成されつつある制度のほとんどは、ゼミナリストンによる自治の成果です。その一つにゼミナリストンが作ったさまざまな係があげられます。ゼミ幹事長、副幹事長のほか、例えば合宿・コンパ係、ホームページ係、就職係、記録・編集係などがあります。これら係の担当者は、学年の枠を超えて積極的にゼミ活動に貢献しています。そのことによって、ゼミナリストンの研究が効率的かつ円滑に楽しく進められています。特に三年次後半からは、四年生の就職係の助言を受けながら三年生の就職係が中心となって、就職活動のための各種イベントをスタートさせます。就職活動は単にJOBを探すことではなく、自分がこれからどう生きるか考える機会です。ゼミを通じて考え、そして生き方を真剣に語り合える友だちを得て下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	はせがわ よしかず 長谷川 義和	経A・商3選	4

講義のねらい

現代社会は、企業中心社会です。受験競争や消費競争、夫or妻の争奪競争からマイホーム獲得競争にいたるまで、競争社会の中心に実は企業への就職競争が位置しています。企業の内部もサラリーマンの出世競争・生き残り競争です。そして、最後に生き残って経営者に成り上がったサラリーマンにしても、企業自身の業績責任に不断に脅迫されて過労死寸前です。企業自身が、好況のときも不況のときも生き残り競争のただ中にあるのです。企業は、利潤のための利潤、生産のための生産をどこまでも続けていかなければなりません。経済のグローバル化は、企業のこの傾向をさらに純化し強めるものです。サラリーマンからも、経営者からも、株主からも独立して、自己拡大の衝動に駆りたてられて走りつづける企業。国民の豊かに無縁の「利潤のための利潤」。地球環境や資源の制約にも無関心の「生産のための生産」。——これが現代社会の最大の謎であり、21世紀前半に解決しなければならない現代社会の最大の課題のありかです。諸君の人生のかなりの部分で関わらざるをえない企業中心社会の課題に、思い切って真正面からぶつかってみましょう。

教科書

プリント、佐高他『日本会社原論』、川人『過労死社会と日本』、熊沢『能力主義と企業社会』、奥村『会社本位主義は崩れるか』、野村『雇用不安』、サロー『資本主義の未来』、間宮『法人企業と現代資本主義』、マルクス『資本論』など。関係文献を系統的に読み進めるなかで同時に「日本語を使いこなす力」を身につけます。

その他

〔ゼミの3つの目標〕

1. ゼミを一生懸命やるなかで本物の友達をつくろう。
2. 日本語を自由に使いこなせるようになろう。
3. 自分の人生の指針になるような勉強をみつけよう。

勉強大好き人間歓迎、勉強嫌い人間も歓迎。コンパ大好き人間大歓迎。社会派・無頼派・はみ出し派大歓迎。一人と人との出会い＝仁義とやる気だけを大切にします。

◎「卒業研究」を併設します。

科専門
教育
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	ひやくた よしはる 百田 義治	経A・商3選	4

講義のねらい

現代日本の企業が直面するビジネス・マネジメント（経営管理）に関わるテーマを中心に、グローバル化・情報化（IT革命）の進展など経営環境が激変するなかで21世紀を迎え大きく変貌する日本企業とその経営の実態をリアルに学び、将来を展望します。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰの継続です。個別・グループ別に決定したテーマについて取り組みます。

履修上の留意点

経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法

出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。

教科書

未定

参考書等

未定

その他

「卒業研究」（4単位）を併設します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	ふくはら よしのぶ 福 原 好 喜	経 A・商 3 選	4

講義の内容・
授業スケジュール

このゼミナールではカール・マルクスの『資本論』やマックス・ウェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』の輪読を行う。専門の研究会以外に週1回自由テーマの読書会を持っている。合宿、コンパ、マラソン大会とゼミの行事は多彩であるが、そんな中から真の友人を得、自分なりの勉学態度を身につけてくれればと思っている。若下名募集。
「卒業研究」併設。

成績評価の方法

出席点及び論文評価

参 考 書 等

福原好喜『総理に忠告すー日本経済危機水域に入れりー』

そ の 他

「卒業研究」併設
ゼミについて詳しく知りたい方は経済学部福原のホームページを御覧ください。

専
門
教
育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	ふるさわ こうそう 古 沢 紘 造	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

3年演習〔アフリカの社会と文化Ⅱ〕
アフリカに関心を置いた卒業作品の制作に着手する。作品の形態は、個人の好みに合わせ、ルポ、エッセイ、評論など自由に選択する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 卒業作品について数回の中間発表を行う
- ② アフリカをテーマにしたユニークな雑誌を発行する。
- ③ アフリカに関連した企画の主要な担い手となる。

成績評価の方法

作品中間発表、レポート提出、ゼミ活動への参加に基づき評価する。

そ の 他

「卒業研究」を併設する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	ほり 堀 りゅうじ 龍 二	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

わが国企業の労務管理はいま大きな変化のうねりのなかにあります。雇用、賃金、教育・訓練、昇進・昇格、労働時間、福利厚生だけでなく、労務管理のほとんどの領域で、かつて日本の労務管理と特徴づけられた制度や慣行が改廃されつつあります。新しい方向を示すキーワードは、多様化、弾力化（フレキシビリティ）、成果主義、個別主義などです。現在進行中の制度や慣行の改廃は、どうやら地殻変動のような本質的部分を含むように思われます。それらがどのような背景から生じているのか、どこに向かおうとしているのか、こうした問題を念頭におきながら、現代労務管理の動向を大局的・客観的に捉えることがねらいです。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミ生にワーキンググループを作ってもらい、現代労務管理の変容を①雇用、②賃金、③労働時間、④教育訓練・能力開発、⑤福利厚生などの領域ごとに大別して、各グループが1つの領域を担当し、具体的なテーマを決めて報告し、全員で議論するという形式で進める予定です。時間がとればサブゼミも設けて、本ゼミの準備にあてたい。

履修上の留意点

グループメンバーがお互いに協力して調べものをするといったゼミの楽しみを味わってほしい。また全員が自由な意見をいえる雰囲気を大切にしたい。

成績評価の方法

基本的に日頃のゼミへの参加、丹念な下調べ、レジュメ・レポートの提出、積極的な発言を中心に評価します。

そ の 他

皆さんは学生時代の終わりに就職活動を通じて企業の労務管理と直面することになります。演習を通じて、皆さんと働き方について語りあいたいと思っています。なお演習Ⅲ履修時には「卒業研究」を併設します。

科 専
門 門
教 教
育 育
目 目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	まつ い 柳 平 りゅうへい	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

世界を舞台に経済は毎日めまぐるしく変動し、激動している。この不確実な変動を科学的に認識し、統計的手法を用いて、経済、社会を分析する。

講義の内容・授業スケジュール

パソコン（マッキントッシュ）を用いて経済分析をおこなう。あわせて、プレゼンテーションのための、画像処理（イラストレータ、3 DCGなど）やデジタル・コンテンツの作成なども学ぶ。

履修上の留意点

履修希望者は教員と面談の上、受講許可を得ること。

成績評価の方法

ゼミでの取り組みの積極さ（問題を自ら発見・提起し、そして自らそれを調査・解決する姿勢）、またレポートの提出を求める場合がある。

教 科 書

開講時に指示する

参 考 書 等

ゼミ希望者は、細野真宏著『経済のニュースが面白いほどわかる本』（中経出版）を開講時までに読んでおいて下さい。

そ の 他

ゼミ希望者はゼミ開講までに、総合情報センターの講習会を受講しておいて下さい。卒業研究（卒業論文・卒業制作）あり。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	みつおか はくみ 光岡博美	経A・商3選	4

講義のねらい

演習Ⅰの勉強を前提として、各人のテーマをさらに深く研究していくことを目標とします。参加者は自分の研究テーマを登録し、順次報告してもらいます。各人の報告は討論に付し、担当教員がコメント、今後の研究についてのアドバイスをを行います。また、研究テーマが近接している場合にはテーマ別のグループによる共同研究を組織し、グループ別の発表会なども予定しています。参加者はこの1年間の勉強にもとづいて、次年度のゼミ論文に取り組んでもらいたい。

成績評価の方法

(1)出席は当然のことですが(2)自分の研究テーマをどれだけ深くほりさげ研究に努力を払ったのかという点を重視します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	みそて よしかず 溝手芳計	経A・商3選	4

講義のねらい

現代の農業・食料に関わる問題と政策について、経済学的視点から検討し、受講者が自分なりの意見をもつことをめざす。

講義の内容・授業スケジュール

テキストの輪読とディスカッションを中心に進めます。基本テキストの学習以外に、データ収集、参考文献の自主学習を求めます。

履修上の留意点

1年間の学習の終わりに、個人レポートを提出してもらう予定。

成績評価の方法

①出席状況、②ゼミ・レポートと発表、③討論への参加状況、④個人レポートを総合的に評価。

教科書

食糧政策研究会編『WTO体制下のコメと食糧』（日本経済評論社）
余力があれば、2冊目以降、食品安全に関わる文献を読みたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅱ	もりおか じん 森岡仁	経A・商3選	4

講義のねらい

現在世界の人口は60億を超え、増加速度は衰えたとはいえ、開発途上地域を中心になお増加を続けている。しかし、先進諸国では低出生率に伴う少子高齢化問題に悩み、日本も例外ではない。

講義の内容・授業スケジュール

3年次の演習では、これら相反する人口問題を抱える世界の人口を取り上げ、それが社会経済的のどのような問題を具体的に生み出しているのか議論してみたい。

履修上の留意点

休まず出席することが演習履修の第一条件である。

成績評価の方法

平常点

教科書

濱英彦・河野稠果編『世界の人口問題』（大明堂）

参考書等

演習の中で適宜紹介する。

その他

「卒業研究」を併設する。
4年演習
4年次生は追加募集しない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅱ	もりた よしひろ 森 田 佳 宏	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

財務会計は、企業をとりまく利害関係者の利害調整およびその意思決定に貢献することを目的として発展してきている。さらに、財務会計によってもたらされる情報に信頼性を付与するために会計監査が行われている。したがって、財務会計と会計監査には密接なつながりがあり、財務会計の知識なくして会計監査を深く理解することはできない。本演習においては、財務会計および監査の領域に属する諸問題を、学生相互間の討論を中心として研究していく。なお、演習Ⅲに「卒業研究」を併設する。

講義の内容・
授業スケジュール

まずテキストを用いて財務会計の理論を習得し、その後に監査論の学習に進む。これらの学習は、次年度における卒業研究の基礎となるものである。

履修上の留意点

特別な事情がない限り、毎回出席すること。明るく楽しいゼミにしたいと思うので、自主的にゼミを運営できるような、積極的かつ協調の精神に富んだ諸君の参加を期待している。

成績評価の方法

いわゆるゼミであるから出席を重視するが、そのほかにゼミにおける報告（レジュメを含む）・発言内容やゼミ活動に対する取り組みなどを考慮に入れて総合的に評価する。

教 科 書

最初の演習時に指示する。

参 考 書 等

演習時に適宜紹介する。

科 専
門 教
育

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅱ	やしき ただみつ 谷 敷 正 光	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

テーマ〔日本経済の発展と高度工業化社会の研究〕
3年ゼミは、戦後の日本経済の発展過程と各時期における発展要因、構造的特質を明らかにし、明治以降西欧以外の諸国で日本だけが独立を維持し、高度工業国に脱皮しえたかを説明するとともに、戦後50余年間の日本型経済システムの形成と破綻の過程を基礎文献や学術論文を使って明らかにしたいと思います。

講義の内容・
授業スケジュール

〔前期〕は、戦後の日本経済を中心に、経済復興期、高度成長期、経済構造の転換期、安定成長期、バブル経済期の推進要因と各段階の構造的特質を明らかにしたいと思います。

〔後期〕は、空前の大好況と「経済大国」が破綻し、戦後の日本経済を支えてきた日本型経済システムが破綻していった過程を考察します。これらの考察は、班別課題発表、プレゼンテーションを通じて明らかにしたいと思います。

〔授業以外〕にも集中的研究とゼミ員相互の親睦をはかるために合宿を行います。

成績評価の方法

出席を基本に、平日頃の発表やレポートなどで総合評価します。

教 科 書

橋本寿朗『戦後の日本経済』（岩波書店）
佐和隆光『平成不況の政治経済学』（中公新書）

参 考 書 等

紫垣和夫『昭和の歴史（全10巻）』（小学館）
速水融、宮本又郎『日本経済史（全8巻）』（岩波書店）

そ の 他

4年ゼミでは、「卒業研究」を開設しますので、希望する人は履修することができます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	やすもと 安 元 稔	経 A・商3選	4

講義のねらい

われわれが現在生活している産業社会は、18世紀後半にイギリスで始まった産業革命に端を発しています。今年度の演習Ⅱでは、18-19世紀のイギリス経済の特質をさまざまな角度から見て行きます。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストの要約・疑問点・興味を持った点の報告、関連する学術用語・概念等の調査・報告を中心に演習を進めます。

履修上の留意点

学部で講義「経済史」を受講することが望ましい。

成績評価の方法

日常の勉学態度・出席状況を見て成績を評価します。

教 科 書

第1回目のゼミナールの際、指示します。

参 考 書 等

適宜指示します。

そ の 他

「卒業研究」は実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	やまがた ひろし 山 縣 弘 志	経 A・商3選	4

講義のねらい

比較経済論の専門的学習・研究

講義の内容・
授業スケジュール

現代世界のリアリティをどうとらえるかは経済学の重要な責務となっている。テクノロジーの発展が生み出すヴァーチャリティと現実とのギャップをいかに埋めるか、わたし達の知恵が問われているといえる。20世紀に顕在化した課題—環境、戦争、福祉、民族、競争と平等、これらどう取り組むべきか。市場主義の限界は明らかであり、他方で「20世紀社会主義」も対案となりえなかった。ヨーロッパ、ロシアの経験に学び、比較経済論の視点から、これらの問題を考えていきたい。後期は自主研究の発表の形で授業を進める。

成績評価の方法

出席、発表、討論への参加を点数化して総合評価する。

教 科 書

相談の上決める。

そ の 他

非喫煙者が望ましい。
「卒業研究」有。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	よしの 吉野 紀 <small>おさむ</small>	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

経済状況を「かなり」とか「非常に」といった形容詞を用いて言い表わすのではなく、「数量」や「尺度」を用いることでより客観的に提示することが、私の手法であると、かつてケネーが表明していたが、そうした考え方に軸足を置きつつも、規範的 (normative) な経済の論理を生かすか否かは、良くも悪くも、生身の人間の、教育で育まれたかあるいは伝統として社会全体に受け継がれてきたかの思想 (身体に染みついた考え方であり、容易に変革しえない部分) に依存する。

日本社会の底流にあるこうした部分との接点にも目を向けてゆくことにしよう。

成績評価の方法

日常の授業にとり組む姿勢を評価の基準に置く。

教科書

開講時に指示する。

その他

「卒業研究」併設。

科専門教育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅱ	よしだ けい いち 吉田 敬一	経 A・商 3 選	4

講義のねらい

この演習は日本経済分析入門と中小企業研究入門を基本課題としています。
バブル崩壊後の日本経済は国際化・価格破壊・規制緩和の新 3 K 現象の下で長期にわたり深刻な不況に喘いでいます。そこから生じている諸矛盾は国民の雇用の 8 割近くを支えている中小企業の存立を根底から脅かしています。そこで本演習では、21 世紀に入った今日、国際的な観点を含めて、日本経済の問題点がどこにあり、なにが、いかに、なぜ変化しようとしているのか、そしてそれが地域経済と中小企業に対してどのような影響を及ぼしつつあるのかを、ともに考えていきます。

また、以上の内容の共同研究を通して、演習生各自が自分自身の世界観・社会観 (ものの見方・考え方) を確立することを目標として、演習を運営していきます。

講義の内容・授業スケジュール

講義とは異なり、演習は学生諸君の自主性・主体性が必要不可欠です。そこで演習生をグループ化し、班単位でレジュメを作成し、報告・議論を進めていきます。

履修上の留意点

- ①ゼミ活動 (合宿やイベント、コンパなど) に積極的に参加し、各種の役割分担を主体的に引き受けること。
- ②無断欠席・遅刻は厳禁。
- ③演習での議論にアクティブに関与すること (ゼミは講義の延長ではなく、ゼミ生が中心となり運営するもの)。

成績評価の方法

出席状況、平常点 (レジュメ、報告内容、討論への参加度など) およびレポートなどを中心に、総合的に評価します。

教科書

最初の演習の時間に指示します。

参考書等

演習を進める中で適宜に紹介します。

その他

演習Ⅲでは「卒業研究」を併設します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅲ	あ さ の か つ み 浅 野 克 巳	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

演習Ⅱの継続として以下の内容を検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 現代日本経済システムの特徴 2. 日本の企業と産業組織 3. 日本の企業システム 4. 市場と取引コスト 5. 情報の経済分析 6. ネットワーク外部性 7. 巨大企業の誕生と「収穫逓増」の波 8. 技術進歩と研究開発 9. 知的財産権と企業 10. 構造改革と日本経済 11. メインバンクシステムと資本市場 12. 日本企業とコーポレートガバナンス

履修上の留意点

演習は講義と違い学生諸君の参加によってはじめて成り立つ。授業には必ず出席することはもとより、授業はディスカッション形式で行うので、必ず予習しておくことが大事。また、エクセルを使った経済分析やシミュレーションも行うので「情報センター」を利用して活用できるようにしておくこと。

成績評価の方法

出席率、授業態度、レポートの内容等を総合して評価する。

教 科 書

長岡・平尾『産業組織の経済学』（日本評論社）1998年
ポール・ミルグロム＝ジョン・ロバーツ『組織の経済学』（NTT出版）1997年
小田切宏之『企業経済学』（東洋経済新報社）2000年

参 考 書 等

経済企画庁『経済白書』。その他の資料については授業の中で指示する。

そ の 他

卒業研究 有

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅲ	あ べ ひろし 阿 部 弘	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

演習（ゼミナール）の内容：テーマは「市民と経済学」である。

現在のわたしたちの社会は「市民社会」といわれている。そしてこの社会は「資本主義」をその根幹にもっているものでもある。そこで、この「資本主義」にのっとった「市民社会」はどのようなものなのか、「資本」という「利潤」追求を本質に持つ体制と、「市民」という「自由・平等・博愛」を基盤に持つ人間の在り方との比較を通じて、この問題にアプローチしてみようと思う。特に現在はこの問題がある特定の国のレベルを越えてグローバルな次元で展開していることを考えるとき、わたしたちはこれらの問題に接近していくためには広い視野をもって臨まなくてはならない。

講義の内容・
授業スケジュール

この「演習Ⅲ」は卒業年次生が対象であるので、資本主義生産様式との比較の観点から「市民社会」の分析をすることを課題とする。参加者は各人の固有のテーマを設定し、12月には各自の研究の発表を行うと共に論文として提出し、ゼミナールの機関誌『アルファ』に掲載するものとする。なお、この研究は「卒業研究」とする。

履修上の留意点

ゼミナールの行事は「阿部ゼミ」全体で企画・施行するが、そのようなものとしては次のものがある：

- * 春と夏の合宿 / * 10月のゼミナール対抗ソフトボール大会
- * 論文発表大会 / * その他コンパ等

成績評価の方法

ゼミナールであるから参加者各自の自立した研究発表が評価の基準になるが、論文発表会に参加しないものは単位が取得できない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅲ	あ ら き よ し ひ ろ 荒 木 勝 啓	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

経済変動の姿をコンピュータ上でシミュレートするというテーマに向けて様々なコンピュータ技法をマスターしていく。

講義の内容・授業スケジュール

コンピュータ上でのグラフィカル表現が可能になったので、その表現を駆使して経済変動モデルを構築する。ソフトはEXTDという汎用シミュレーションソフトを使う。モデルとしては同じでも、各自の表現のちがいに、毎年オリジナルなプレゼンテーションモデルができて上がる。

成績評価の方法

オリジナルモデルの作成がすなわち卒業作品となる。

そ の 他

C言語をマスターした学生は、就職の際に圧倒的に希望の会社、職種につくことができるというのが実情である。DTPの技能についても同様である。そうした学生はNIT、キャノン販売、雑誌出版社、美術書印刷会社などほぼ本人の希望通りに決まっている。本ゼミとは、そうしたプロフェッショナルな技能を身に付けた上で、その技術をもとにはじめてオリジナルな自己表現をすることができるという現実を知る場であると心得よ。

科 専
門 門
教 教
育 育

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅲ	い わ し た ひ ろ し 岩 下 弘	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

3年間のゼミのテーマは流通・流通政策の国際比較である。2年次には日本における流通問題を研究対象にし、3年次では国内の流通政策、4年次では流通政策の国際比較を対象とする。多国籍化している大手小売資本の企業行動＝経営戦略とそれに対する海外諸国の公共政策を、日本の政策と比較しながら検討する。
小売資本に対する公共政策の国際比較

講義の内容・授業スケジュール

テキストの輪読あるいは報告。卒論は別に指導。

履修上の留意点

ゼミは参加することに意味がある、ということを忘れないこと。

成績評価の方法

ゼミ、合宿、コンパ等への出席およびレポートの提出回数により評価。

教 科 書

必要に応じて指定。

参 考 書 等

その都度指示。

そ の 他

卒業研究 有

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅲ	いわなが こうじ 岩 永 宏 治	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

企業、経営の現代の実態や企業・経営実践の理論化・体系化である経営・管理学説に関連したテーマを各自で選択し、ゼミ論文を作成します。(2年——個別研究領域の確定、3年——個別研究テーマの確定とサブノート・資料収集)

講義の内容・
授業スケジュール

- ① 年間を通して研究指導を実施します。その際、テーマごとにグループ分けし、グループごとの研究指導を行なっていきます。9月以降、論文執筆に入ります。
- ② 研究指導計画と方法
aゼミ合宿——序、章構成、引用、参考文献リストの作成。
(7月)

成績評価の方法

平常点で評価します。

参 考 書 等

必要に応じて指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅲ	おおいし ゆうじ 大 石 雄 爾	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

2年次・3年次のゼミ活動・学習の成果をゼミ論文(卒業研究)としてまとめること、そのための準備と執筆が中心となる。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は各自、就職活動に専念し、自分の性格や能力に合ったやりがいのある就職先を確保するべく努力する。
後期にはいと、卒業研究のためのレジメを作成し、執筆にとりかかる。提出された論文は、ゼミ活動とともに長く思い出に残るよう『経済学ゼミ論集』にまとめる。

成績評価の方法

原則として平常点であるが、「卒業研究」が提出されない場合には、演習Ⅲの単位も取り消しとなることがある。

そ の 他

「卒業研究」を併設する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅲ	おおぶき かつお 大 吹 勝 男	経 A・商 4 選	4

講義の内容・
授業スケジュール

現代日本企業の物流に係わる諸問題をテーマとして論文を作成することを課題とする。

成績評価の方法

ゼミ論文の提出によって成績を評価する。「卒業研究」も併せて開講する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅲ	おぐり たかし 小 栗 崇 資	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

新規募集せず。

講義の内容・
授業スケジュール

各自の研究テーマについて調査・研究を進め、卒業研究に結実するように指導したい。

成績評価の方法

総合的に判断する。①出席状況、②分担報告、③レポート。

教 科 書

演習の中で指示。

参 考 書 等

演習の中で指示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅲ	こすぎ しゅうじ 小 杉 修 二	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

問題の解決学習をする予定である。人類が工業文明の成果をひきつぎながら、衣食住の需要を満たし、なおかつ、楽しく暮らせる社会について考えられないかどうか検討してみよう。
ゼミは学生のレポートと討論が中心になるが、その実現は学生諸君の熱意に頼るところが大きい。最近、本ゼミで重視しているのは、対立する正反対の意見を素材とするダイアログである。これは仮想討論ではあるが、こうした経験を通じて、自分の意見を表明したり、他の意見とぶつかり合う訓練として役立つことを期待している。諸君の意欲的な参加を待つ。

成績評価の方法

出席率70%以上を中心とする。

そ の 他

「卒業研究」を併設する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅲ	こばやし まさと 小 林 正 人	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

テーマ：「戦後日本の経済システムと産業システム」
このゼミでは「卒業論文」の作成を指導します。
これまでのゼミでの調査や研究をふまえて、各ゼミ生が自発的に研究したい産業ないし業種（あるいはなんらかの産業問題）についてテーマを決め、その特徴、歴史、課題や問題点などを卒業論文にまとめます。これにより各ゼミ生が、4年間の経済学部での学習と研究を集大成します。

講義の内容・
授業スケジュール

卒業論文の提出までに必要な段階として、文献一覧の提出、文献研究発表、論文の予定目次と題名の決定、中間発表、指導教員の予備審査などがあります。
審査を通った論文は、卒業論文集（仮称『産業システム学生論集』）に編集して印刷、製本します。したがって、卒業論文の最終稿はワープロで、一定の書式に従って提出します。具体的には下記のウェブサイトの「小林ゼミのひろば」に掲示します。
<http://www.komazawa-u.ac.jp/~kobamasa/>

履修上の留意点

ゼミの円滑な運営のためのルールに従うこと。

成績評価の方法

上記「演習の内容・スケジュール」で示した「卒業論文の提出までに必要な段階」を踏んだかどうかを評価します。

参 考 書 等

各ゼミ生が選んだ文献以外に、全体で必要な参考文献があれば、授業中にゼミ生と相談して決めます。

そ の 他

「卒業研究」（卒業論文のみ）を併設

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅲ	さいとう 藤 正 齊 藤 正	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

演習Ⅰ・Ⅱの集大成としてゼミナル論文の作成をめざします。テーマは自由ですが、第1回目の授業までにテーマを確定してもらいます。

講義の内容・授業スケジュール

前期は就職活動等で全員が揃うことは難しいですが、就職情報を交流したり、新聞記事を題材に議論するのが慣例となっています。就職活動を通じて社会への関心が深まったり、勉学への新たな意欲が湧いてくるケースも少なくなく、飛躍的に成長できる時期でもあります。後期はゼミ論の執筆に向けて、報告・議論を積み重ねていきます。

履修上の留意点

4年生は学生時代の締めくくりの年です。勉学面でも、生活面でも社会人への備えが求められます。

成績評価の方法

年間を通した、ゼミナルへの参加の積極性を重視して評価します。

そ の 他

「卒業研究」を併設します。

専
門
教
育
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅲ	さとなか 恒 志 里 中 恒 志	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

この演習は4年次生を対象とし、副表題を「財政学」とする。構造改善に向けての財政出動、規制緩和等、新聞・学術誌等のマスコミでとりあげられる公共財政の現代的課題を理解検討する能力を養い、事柄に対し自分の意見がもてるような訓練を行う。原則として全員に「卒業研究」の論文を作ってもらうことを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

前期は学術誌、「日本経済新聞」等の公共財政に関する現代の論調を材料に理解力を高める訓練をする。「卒業研究」を課しているため、夏休み以降の後期は順番を決めて中間報告の発表を求め、論文作成の指導を行う。

履修上の留意点

「財政学」、「財政政策」、「地方財政論」、「マクロ経済学」、「国民所得論」、「行政法」等の関連科目の履修が望ましい。

成績評価の方法

平常点により評価する。「卒業研究」については提出論文を点数評価する。

教 科 書

最初の授業で指定する。

参 考 書 等

授業中に適宜紹介する。

そ の 他

この演習は「卒業研究」を併設する。できあがった「卒業研究」は通常の授業時間とは別に報告発表の機会を設ける。報告発表は12月にゼミ生全員参加のもと一人約45分程度で、2日間を組む予定である。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅲ	しみず たかし 清 水 卓	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

自分が決めたテーマでゼミ論文あるいは「卒業研究」を作成するのが課題です。一生の思い出になるよう、大学時代の学習の総まとめとして真剣に取り組んでもらいたいと思います。

履修上の留意点

演習Ⅰを参照のこと。

成績評価の方法

演習Ⅰを参照のこと。

教科書

演習Ⅰを参照のこと。

その他

演習Ⅰを参照のこと。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅲ	すずき かつひろ 鈴 木 勝 浩	経 A・商 4 選	4

科
専
門
教
育

講義のねらい

2・3年次で習得した知識に基づき、今日重要と考えられる会計学上の諸問題を取り上げ、できる限り幅広く検討して行きたいと考えています。取り上げるテーマや参考文献・資料については必要に応じて指示します。また各自会計上の問題について興味を抱いたテーマについて個人研究も行っていく予定です。

その他

「卒業研究」併設。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅲ	せとおか ひろし 瀬 戸 岡 紘	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

「グローバル化」と「デジタル化」の時代に即応して、経済、社会、経営、文化など各自の学習と研究の成果を卒業論文にまとめます。何をテーマにとりあげるかは、各自の希望で決定します。

講義の内容・
授業スケジュール

卒業論文の検討と完成が年間の最大の課題です。各自の論文の構想は、ゼミ生全体からのコメントを受けることでねりあげられます。他方、各ゼミ生は他人のテーマに関与することで耳学問としての幅広い知識と教養を得ることができます。また数百人におよぶ当ゼミ卒業生との交流をつうじて、就職・進学・留学の準備をします。そのほか、日本学生経済ゼミナールへの後輩の参加を後援したり、インターネットや遠隔授業をつうじた海外の学生との交流をリードしたり、工場見学などゼミの各種イベントにスーパーバイザーとして後輩を支援します。

成績評価の方法

ゼミ活動にたいする各自のあらゆる態度を総合して評価します。最大の眼目は当人のやる気です。

教科書

卒業論文に必要なあらゆる文献が参考書になりますが、それは個々人で異なります。

その他

このゼミにかんする一層くわしい情報は、ゼミに直接きて見学したり問い合わせたりすることのほか、下記のホームページにアクセスしてください。
http://www.komazawa-u.ac.jp/Gakubu/Setooka_Seminar/

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅲ	そ が の ぶ た か 曾 我 信 孝	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

現在社会で必要としているマーケティング戦略、あるいはその技法の検証能力、さらに自ら製品開発や広告などの企画をするための発想力を身に付けてもらうことを狙いにしている。

講義の内容・授業スケジュール

ホットなテーマに沿った文献を選び、議論を中心とした授業にする。マーケティングに関する重大な時事があれば、それを議題にすることもある。後期のディベート大会では、幹事学年として後輩の指導にもあたってもらう。

成績評価の方法

出席状況（合宿参加も含む）、発表要旨（レジュメ）、ゼミ行事への取り組みなどで総合評価する。

教科書

春合宿時に決定する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

「卒業研究」を併設する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅲ	ちよん ちやんよん 鄭 章 淵	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に戦後（第二次世界大戦）東アジア経済の発展過程に関する知識を身につけてもらうことです。ここでいう東アジアとは、北東アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭にアジアNIEs（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）ASEAN 3（タイ、マレーシア、インドネシア）中国その他と続く発展の様は、しばしば「雁行形態の発展」と称されてきました。ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく現状において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰ：東アジア経済に関する基礎知識を身につけるため次の文献を輪読してもらいます。具体的には、予め報告分担を決め、報告者は各自が作成したレジュメに基づいて報告してもらいます。
大野健一・桜井宏二郎著『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円＋税

演習Ⅱ：演習Ⅰでの学習を土台に東アジア経済に関する知識をさらに深めます。演習Ⅰと同じく文献を輪読してもらいます。文献は後日指定します。

演習Ⅲ：「卒業研究」の作成がゼミ活動の中心となります。各自のテーマに従い個別指導を行います。

また、全ゼミ生を対象に夏期休暇にゼミ合宿を予定しています。そこでは別の文献を取り上げて講読し、ビデオ鑑賞なども予定しています。

成績評価の方法

出席率、レポート回数、合宿への参加状況などを加味して総合的に判定します。

教科書

演習Ⅱ、演習Ⅰの諸君には4年次に「卒業研究」を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅲ	とくなが としあき 徳 永 俊 明	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国（発展途上諸国：第3世界）の国際関係とそこでの人々の生活の問題を研究します。第3世界の社会・経済や人々の暮らしを研究しながら、日本・日本人・私たち一人ひとりの人生・生活を考えます。国際政治・経済の中で人間と人間の関係、とくに第3世界の人々が直面しているさまざまな豊かさと貧困、そして彼らのたたくいについての検討を通じて、日本・日本人・私たち自身の豊かさと貧困を考えるのです。

春・夏2回の全学年そろってのゼミ合宿のテーマは「人生」です。幸福とは？ 自由とは？ 愛するとは？ 一人ひとりの意見がみんなからまじめに受けとられ、一人ひとりがみんなの意見を参考にして考えを深めます。

ゼミ最大のイベントは、これも全学年そろっての東南アジアへの研修旅行（自由参加）。これまでフィリピン・ベトナム・インドなど11か国へ行きました。いわゆる「観光旅行」ではなく、人々と交流し、人々の生活とその向上への努力や文化などを見聞することで、アジアの人々を知り、私たち自身の生活と考え方を再検討します。この旅で、私たちの頭のなかの〈世界〉は一挙に広がり、深くなります。

第3世界の人々と自分の現実のなかに〈夢〉を求め、見つけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

上の趣旨に沿って、学生諸君と相談しながらすすめます。

履修上の留意点

何よりも〈考える〉努力が大切です。〈考える〉努力を惜しまない諸君を求めます。

成績評価の方法

〈考える〉努力をしたかどうかをもって評価します。

参 考 書 等

討論のための資料・〈考える〉ための材料は、学生諸君と相談しながら用意してすすめます。

そ の 他

〈考える〉努力の成果を「卒業研究」としてまとめます。

科 専
門 教
育 目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅲ	ともまつ よしひこ 友 松 憲 彦	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

演習Ⅱ（3年）で開始した研究を発展させ、卒業研究に結実させていきます。

履修上の留意点

「経済史」「西洋経済史」「日本経済史」「商業史」等をあわせて履修することが望ましい。

成績評価の方法

①年度末のレポート②平常点（レジュメ、報告、討論の状態）③出席で評価。

そ の 他

卒業研究を併設します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅲ	なかすみ みつあき 中 濟 光 昭	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

インターネットの普及による電子商取引の活発化など、経済に関わる諸問題と情報通信システムとの関わりが、広範かつ大規模になってきました。この演習では、経済と情報技術の関わりを理解するために、情報システムを勉強し、インターネットが経済にどう関わるかを考えます。具体的には、商取引や物流システム、広告などがIT化することのメリット・デメリットを考察します。興味がある人にはデータベース設計実習なども行います。演習担当者のシステムエンジニア時代の経験・人脈を活かした指導（研究から進路相談まで）や社会人との交流を行ないます。また、他大学との交流にも力を入れています。日本学生経済ゼミナールへ参加し、他大学との議論を行なう予定です。詳細は、演習担当者のWEBページ、<http://www.komazawa-u.ac.jp/du/economics/seminar/nakasumi/>に掲載します。本演習に興味があるひとは、必ずチェックしてください。

講義の内容・授業スケジュール

3年までの成果を論文にまとめる作業を行います。就職相談及び論文提出と校正、発表を行います。昨年は、論集をCDROMとして作成しました。本年もプログラムや画像作品があれば、CDROM論集を発行する予定です。

履修上の留意点

本演習では、卒業研究として論文か卒業制作を選択できます。

成績評価の方法

出席、課題提出、課外活動を総合して評価します。

教 科 書

演習で指示

参 考 書 等

演習で指示

そ の 他

新規募集はしません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅲ	橋野知子	経A・商4選	4

講義のねらい

〈近現代日本経済史の研究〉演習Ⅲでは、演習Ⅰ、Ⅱで学んだことの集大成としての卒業研究を完成させることを目標とします。対象が日本経済であれば、時期は戦前・戦後を問いません。就職活動で得た経験やさまざまな知見を卒業研究作成に生かして下さい。なお、四年次からの新規参加は原則として認めていません。卒業研究を併設します。

講義の内容・授業スケジュール

前期のはじめは輪読や時事問題のチェックを中心とします。ゼミナリストンには、①前期終了時、②夏合宿、③秋学期にわたって最低3回の卒業研究の報告を義務とします。卒業研究は『経済発展論集』として発行されます。

履修上の留意点

就職活動期もゼミ開講を原則とします。

成績評価の方法

平常点、研究報告の内容、卒業研究の水準、ならびにゼミ活動への貢献度。

教科書

演習Ⅱ終了時にゼミナリストンと話し合ってから決定します。

参考書等

必要に応じて随時紹介します。

その他

「学生時代にしか体験できないことは何か？」と聞かれたら、私はゼミ活動だと即答するでしょう。ゼミとは、学問・研究と課外活動を通じて人間が信頼関係を結ぶ場ではないでしょうか。その意味でこのゼミでは、担当教員もゼミナリストンの1人です。日本の経済発展の過程では、多くの制度や組織が形成され、それらが経済発展にさまざまな形で貢献してきました。現在それらの多くは「改革」を余儀なくされています。それはなぜでしょうか。物事の表面だけを追って、持論を展開するのではなく、制度や組織の歴史的展開を観察することによって初めて問題解決の糸口が見えてくるはずですが、ゼミナリストンたちはこのゼミでのさまざまな活動を通じて、「制度とは何か」、「組織とは何か」、「伝統とは何か」という、日本経済が現在抱えている問題の解法を自らの体験とともに論じることができるようになるでしょう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅲ	はせがわ よしかず 長谷川 義 和	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

現代社会は、企業中心社会です。受験競争や消費競争、夫or妻の争奪競争からマイホーム獲得競争にいたるまで、競争社会の中心に実は企業への就職競争が位置しています。企業の内部もサラリーマンの出世競争・生き残り競争です。そして、最後に生き残って経営者に成り上がったサラリーマンにしても、企業自身の業績責任に不断に脅迫されて過労死寸前です。企業自身が、好況のときも不況のときも生き残り競争のただ中にあるのです。企業は、利潤のための利潤、生産のための生産をどこまでも続けていかなければなりません。経済のグローバリゼーションは、企業のこの傾向をさらに純化し強めるものです。サラリーマンからも、経営者からも、株主からも独立して、自己拡大の衝動に駆りたてられて走り続ける企業。国民の豊かさに無縁の「利潤のための利潤」。地球環境や資源の制約にも無関心の「生産のための生産」。——これが現代社会の最大の謎であり、21世紀前半に解決しなければならない現代社会の最大の課題のありかです。

諸君の人生のかなりの部分で関わらざるをえない企業中心社会の課題に、思い切って真正面からぶつかってみましょう。

教 科 書

プリント、佐高他『日本会社原論』、川人『過労死社会と日本』、熊沢『能力主義と企業社会』、奥村『会社本位主義は崩れるか』、野村『雇用不安』、サロー『資本主義の未来』、間宮『法人企業と現代資本主義』、マルクス『資本論』など。関係文献を系統的に読み進めるなかで同時に「日本語を使いこなす力」を身につけます。

そ の 他

[ゼミの3つの目標]

1. ゼミを一生懸命やるなかで本物の友達をつくろう。
2. 日本語を自由に使いこなせるようになろう。
3. 自分の人生の指針になるような勉強をみつけよう。

勉強大好き人間歓迎、勉強大嫌い人間も歓迎。コンパ大好き人間大歓迎。社会派・無頼派・はみ出し派大歓迎。——人と人との出会い=仁義とやる気だけを大切にします。

◎「卒業研究」を併設します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅲ	ひゃくた よしはる 百 田 義 治	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

現代日本の企業が直面するビジネス・マネジメント（経営管理）に関わるテーマを中心に、グローバル化・情報化（IT革命）の進展など経営環境が激変するなかで21世紀を迎え大きく変貌する日本企業とその経営の実態をリアルに学び、将来を展望します。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅱの継続です。各人のテーマについて「卒業研究」に取り組みます。

履修上の留意点

経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法

出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。

教 科 書

未定

参 考 書 等

未定

そ の 他

「卒業研究」（4単位）を併設します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅲ	福原好喜 <small>ふくはら よしのぶ</small>	経 A・商 4 選	4

講義の内容・
授業スケジュール

原則として4年生の募集は行わない。

参 考 書 等

福原好喜『総理に忠告す——日本経済危機水域に入れり——』

そ の 他

「卒業研究」併設
ゼミについて詳しく知りたい方は経済学部の福原のホームページを御覧下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅲ	古沢紘造 <small>ふるさわ こうそう</small>	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

4年演習〔アフリカの社会と文化Ⅲ〕
卒業作品を完成する。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①卒業作品について2回の中間発表会と、公开发表会を行う。同時に作品の展示会を開催する。
- ②アフリカをテーマにしたユニークな雑誌を発行する。
- ③アフリカに関連した企画のサポーター役を務める。

成績評価の方法

作品発表、ゼミ活動への参加に基づき総合的に評価する。

そ の 他

「卒業研究」を併設する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅲ	堀龍二 <small>ほり りゅうじ</small>	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

わが国企業の労務管理はいま大きな変化のうねりのなかにあります。雇用、賃金、教育・訓練、昇進・昇格、労働時間、福利厚生だけでなく、労務管理のほとんどの領域で、かつて日本の労務管理と特徴づけられた制度や慣行が改廃されつつあります。新しい方向を示すキーワードは、多様化、弾力化（フレキシビリティ）、成果主義、個別主義などです。現在進行中の制度や慣行の改廃は、どうやら地殻変動のような本質的部分を含むように思われます。それらがどのような背景から生じているのか、どこに向かおうとしているのか、こうした問題を念頭におきながら、現代労務管理の動向を大局的・客観的に捉えることがねらいです。

講義の内容・
授業スケジュール

ゼミ生にワーキンググループを作ってもらい、現代労務管理の変容を①雇用、②賃金、③労働時間、④教育訓練・能力開発、⑤福利厚生などの領域ごとに大別して、各グループが1つの領域を担当し、具体的なテーマを決めて報告し、全員で議論するという形式で進める予定です。時間がとれればサブゼミも設けて、本ゼミの準備にあてたい。

履修上の留意点

グループメンバーがお互いに協力して調べものをするといったゼミの楽しみを味わってほしい。また全員が自由な意見をいえる雰囲気大切にしたい。

成績評価の方法

基本的に日頃のゼミへの参加、丹念な下調べ、レジュメ・レポートの提出、積極的な発言を中心に評価します。

そ の 他

皆さんは学生時代の終わりに就職活動を通じて企業の労務管理と直面することになります。演習を通じて、皆さんと働き方について語りあいたいと思っています。なお演習Ⅲ履修時には「卒業研究」を併設します。

専 門 教 育
目 録

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅲ	まついりゅうへい 松井柳平	経 A・商 4 選	4

- 講義のねらい

世界を舞台に経済は毎日めまぐるしく変動し、激動している。この不確実な変動を科学的に認識し、統計的手法を用いて、経済、社会を分析する。
- 講義の内容・授業スケジュール

パソコン（マッキントッシュ）を用いて経済分析をおこなう。あわせて、プレゼンテーションのための、画像処理（イラストレータ、3DCGなど）やデジタル・コンテンツの作成なども学ぶ。
- 履修上の留意点

履修希望者は教員と面談の上、受講許可を得ること。
- 成績評価の方法

ゼミでの取り組みの積極さ（問題を自ら発見・提起し、そして自らそれを調査・解決する姿勢）、またレポートの提出を求める場合がある。
- 教科書

開講時に指示する
- 参考書等

ゼミ希望者は、細野真宏著『経済のニュースが面白いほどわかる本』（中経出版）を開講時まで読んでおいて下さい。
- その他

ゼミ希望者はゼミ開講までに、総合情報センターの講習会を受講しておいて下さい。卒業研究（卒業論文・卒業制作）あり。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅲ	みつおかはくみ 光岡博美	経 A・商 4 選	4

- 講義のねらい

演習Ⅰ、Ⅱの勉強をもとに、総仕上げとしてのゼミ論文を完成させることが演習Ⅲの最大の目的です。ゼミ論文については、その内容はもとより、論文としての形式や体裁についても指導します。なお、「卒業研究」を併設します。
- 成績評価の方法

ゼミ論文の完成度によって評価します。ゼミ論文未提出者は単位を認定しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅲ	もりおかじん 森岡仁	経 A・商 4 選	4

- 講義のねらい

現在世界の人口は60億を超え、増加速度は衰えたとはいえ、開発途上地域を中心になお増加を続けている。しかし、先進諸国では低出生率に伴う少子高齢化問題に悩み、日本も例外ではない。
- 講義の内容・授業スケジュール

これら相反する人口問題を抱える世界の人口を取り上げ、それが社会経済的にどのような問題を具体的に生み出しているのか議論してみたい。
- 履修上の留意点

休まず出席することが演習履修の第一条件である。
- 成績評価の方法

平常点
- 教科書

濱英彦・河野稠果編『世界の人口問題』（大明堂）
- 参考書等

演習の中で適宜紹介する。
- その他

「卒業研究」を併設する。
4年演習
4年次生は追加募集しない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅲ	もりた よしひろ 森 田 佳 宏	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

本演習は「卒業研究」(卒業論文)の研究報告を中心に行う。卒業論文のテーマは演習Ⅰおよび演習Ⅱにおいて習得した財務会計および監査の知識にもとづき、これらの領域から各人が自由に決定することを原則とする。

講義の内容・
授業スケジュール

卒業論文の報告は、テーマの選定、章立ての決定、内容の報告の順に進める。

履修上の留意点

特別な事情がない限り、毎回出席すること。なお、原則として4年生の新規募集は行わない。

成績評価の方法

最終的な卒業論文の内容はもとより、その作成過程における報告内容(レジュメを含む)、さらにはゼミ活動に対する取り組みなどを考慮に入れて総合的に評価する。

教 科 書

原則として使用しない。

参 考 書 等

演習時に適宜紹介する。

科
専
門
教
育
目
録

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅲ	やしき ただみつ 谷 敷 正 光	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

テーマ【教育経済の研究】
4年ゼミは、産業人の育成に大きな影響を与えた近代教育の発展を日本経済の構造分析、日本経済の発展との関連において各自が自由に論題を設定して研究し、ゼミ論文を完成することになっています。

講義の内容・
授業スケジュール

〔4年ゼミ〕は、就職活動で欠席する人も多数いるので、ディスカッションが難しくなります。したがって文献を使って、人材養成の基礎をなす教育が日本経済の発展と不可分の関係においておし進められてきた過程を検証したいと思います。

〔卒業研究〕は、2年生からゼミで研究してきた集大成として各自が自由に論題を設定し、論文の作成をすすめます。詳細は3年ゼミで説明します。

研究の基礎資料は提供できるものは提供しますが、足りない所はインターネットを利用したり、図書館で資料収集をします。

成績評価の方法

基本的には出席、平常でのゼミ活動状況と完成したゼミ卒業論文で評価します。

教 科 書

尾崎ムゲン『日本の教育改革—産業化社会を育てた130年』(中央公論新社)

参 考 書 等

その都度、各自の論題によってお知らせします。

そ の 他

4年ゼミでは、「卒業研究」を開設しますので、希望する人は履修することができます。「卒業研究」の進め方は3年ゼミの終りに具体的に説明します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅲ	やすもと 安 元 みのる 稔	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

ヨーロッパ経済史の基礎知識を具体的な経済史分析の中で応用することがこの演習のねらいです。

講義の内容・
授業スケジュール

「ゼミ論」の報告・質疑応答という形で演習を進めます。

履修上の留意点

原則として規定枚数の「ゼミ論」の提出が義務付けられています。

成績評価の方法

日常の勉学態度・「ゼミ論」で評価します。
※「卒業研究」を認めます。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅲ	やまがた ひろし 山 縣 弘 志	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

比較経済論の専門的学習・研究を進め、論文作成をめざす。

講義の内容・
授業スケジュール

3年次から継続。就職活動に取り組みながら、各自の自主研究の発表を行ない、論文の形にまとめていく。

成績評価の方法

出席、発表、討論参加を総合評価する。

そ の 他

「卒業研究」有。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅲ	よしの 吉 野 おさむ 紀	経 A・商 4 選	4

講義のねらい

基本的な方向は演習Ⅱの延長線上にある。変わりゆくものは事実であり、変わらぬものは美を与えるが、もし演習Ⅱに比べて色彩にいろどりが加わるとすれば、この真実と美の実像をより豊富に示すことにあるかもしれない。

成績評価の方法

日常の授業姿勢を評価の基準とする。

教 科 書

開講時に指示する。

Ⅲ 他学部履修科目

Ⅲ. 他学部履修科目

禅学概論	〈佐藤秀孝〉	425
中国禅宗史	〈田中良昭〉	425
日本禅宗史	〈石井清純〉	426
禅籍講読Ⅰ	〈石井修道〉	426
禅籍講読Ⅲ	〈石井清純〉	427
仏教概論	〈池田練太郎〉	427
インド仏教文化史	〈金沢篤篤〉	428
中国仏教文化史	〈永井政之〉	428
日本仏教文化史	〈袴谷憲昭〉	428
中国古典語初級	〈石井公成〉	429
中国哲学史	〈前川亨〉	429
上代文学研究Ⅰ	〈小野寛〉	430
中古文学研究Ⅰ	〈松岡智之〉	430
中世文学研究Ⅰ	〈櫻井陽子〉	431
近世文学研究Ⅰ	〈近衛典子〉	431
近代文学研究Ⅰ	〈山崎眞紀子〉	432
比較文学	〈満谷マーガレット〉	432
児童文学	〈国松俊秀〉	433
西洋思想史	〈柴野博子〉	433
演劇概論	〈井上理恵〉	433
編集実務	〈長谷川孝〉	434
イギリス文学特講Ⅰ	〈荒井良雄〉	434
イギリス文学特講Ⅱ	〈高野正夫〉	435
イギリス文学特講Ⅲ	〈岡崎寿一郎〉	435
イギリス文学特講Ⅳ	〈中岡洋〉	436
イギリス文学特講Ⅴ	〈富士川義之〉	436
イギリス文学特講Ⅵ	〈丸小哲雄〉	437
アメリカ文学特講Ⅰ	〈東雄一郎〉	438
アメリカ文学特講Ⅲ	〈足田和人〉	438
演劇特講〈イギリス・アメリカ〉	〈落合和昭〉	439
時事英語	〈荒井良雄〉	439
地理思想史	〈竹内啓一〉	440
地形学	〈小池一之〉	441
人口地理学	〈大友篤〉	441
文化地理学	〈小田匡保〉	442
応用地理学	〈高木正博〉	442
現代地理学特論	〈長谷川均〉	443
日本史特講Ⅶ〔近代〕	〈小泉雅弘〉	443
東洋史特講Ⅹ〔近・現代〕	〈休講〉	
考古学特講Ⅲ	〈酒井清治〉	444
日本仏教史Ⅱ	〈休講〉	
西洋文化史Ⅰ	〈佐々木真〉	444
日本民俗学	〈谷口貢〉	445
哲学史	〈山口祐弘〉	445
歴史哲学	〈久保陽一〉	446

産業・職業社会学	〈山田 信行〉	447
マス・コミュニケーション論	〈川本 勝〉	448
社会福祉発達史	〈林 千代〉	448
行政法各論	〈斉藤 寿〉	449
比較憲法	〈斉藤 寿〉	450
親族法	〈竹中 智香〉	451
相続法	〈竹中 智香〉	451
西洋法制史	〈北野 かほる〉	452
英米法	〈北野 かほる〉	453
ヨーロッパ政治論(1)	〈中野 裕二〉	454
国際政治学	〈小堀 訓男〉	455
ヨーロッパ政治史	〈浦田 早苗〉	455
地方自治法	〈富井 幸雄〉	456
議会関係法	〈前田 英明〉	456
立法過程論	〈休 講〉	
比較政治学	〈三竹 直哉〉	457
現代国家論	〈大塚 桂〉	458
比較憲法	〈休 講〉	
国際経営論	〈茂垣 広志〉	459
経営分析論	〈片桐 伸夫〉	460
経営情報論	〈高井 徹雄〉	461
情報理論	〈西村 和夫〉	462
経営統計	〈長 国強〉	463
上代文学史	〈佐原 作美〉	463
中古文学史	〈鈴木 裕子〉	464
中世文学史	〈坂口 博規〉	464
近世文学史	〈清田 啓子〉	464
近代文学史	〈笹 瀬王 子〉	465
現代文学史	〈小林 治〉	465
異文化コミュニケーション	〈奥原 淳子〉	466
時事英語	〈岡本 誠〉	467
応用計測学	〈榎 尾 英次〉	467

科目名	担当者名	配当学科	単 位
禅学概論	さとう しゅうこう 佐藤 秀孝	経 A・商 12以降入学生/経B	4

講義のねらい

禅学とは禅に関する学である。禅（禪那）という修行法はインドに発生し、仏教に取り入れられ、中国や朝鮮さらに日本など広範に展開したものである。一概には規定できないが、この講義では禅と禅宗に関する基本的な知識を歴史面と思想面から概説し、あわせてそれら禅学研究のあり方について触れるものである。禅宗は仏教の中でもっとも実践的な宗派であり、中国・日本の歴史と文化に大きな足跡を記し、今日においては国際的関心も高い。この禅を学問的に考察せんとするのが禅学であり、本講義はその概論・概説にほかならない。

はじめにインド仏教における禅（禪定）について触れ、さらに禅の歴史的考察として、菩提達磨に始まる中国禅（禪宗）の基本的な歴史（禪宗史）を禅思想の展開を踏まえつつ概観し、また日本の禅宗にも及びたい。さらに思想面としては、禅の立場、禅の人間観・修行観、禅の生活さらに禅と文化、禅の今日的課題（本覚思想・見性の問題）など、およそ禅に関する諸方面からの概説的考察をなしたい。そして、これらに並行して禅学に関するそれぞれの分野における研究方法や基本的な資料などについても解説するつもりである。

成績評価の方法

平常点（出席率や学習態度）と年度末の定期試験による。

教科書

教科書はとくに指定しないで、その都度、諸資料をコピーなどで配布する。

参考書等

参考書としては駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）や田中良昭編『禅学研究入門』（大東出版）が有効であろう。

その他

授業方法としては原則として講義方式で行なう。

履修
科目
目録

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国禅宗史	たなか りょうしょう 田中 良昭	経 A・商 12以降入学生/経B	4

講義のねらい

本講座は、中国の禅宗の歴史を考察するものである。仏教の実践道とされた禅が中国に伝来し、菩提達磨を初祖とする系統がやがて中国禅宗を形成し、更にそれが独自の展開を果たし、後にチベット、韓国、日本へと伝承された。この中国禅の歴史的展開を、近年出現した敦煌資料を活用しながら検討する。

講義の内容・
授業スケジュール

仏教における禅の状況を序説的に第Ⅰ部とし、達磨の渡来による独特の禅法の開示から、馬祖の洪州宗、石頭の石頭宗によって禅宗が一宗として確立された中国禅宗の成立を第Ⅱ部とし、禅宗が五家七宗として各々その特性を発揮する唐末・五代から、日本の禅宗の元となった宋朝の禅、更に元代以後の禅という中国禅宗の展開を第Ⅲ部として全体を体系化する。

履修上の留意点

中国・日本の禅学や曹洞宗学を学ぼうとする学生諸君には、その基礎的な知識として歴史的な禅の流れを確かなものにしておくことが、その後の学習にとって最善の方法である。

成績評価の方法

学年末試験を中心とするが、平常の授業への出席を重視し、その結果を加味して評価する。

教科書

現在適当なものが存在しないので、ノートを使用する。

参考書等

比較的理解しやすいものに、〈講座禅〉第3巻『禅の歴史——中国——』中の柳田聖山稿『中国禅宗史』と近刊の伊吹敦『禅の歴史』がある。専門書としては、関口真大『禅宗思想史』、柳田聖山『初期禅宗史書の研究』、『禅仏教の研究』、田中良昭『敦煌禅宗文献の研究』、篠原壽雄・田中良昭編『敦煌仏典と禅』、鈴木哲雄『唐五代禅宗史』、『中国禅宗史論考』、石井修道『宋代禅宗史の研究』等が代表的なものであり、研究の手引書として田中良昭編『禅学研究入門』がある。

その他

授業の方法は講義であり、ノートを使用し、必要に応じて資料を配布し、内容についての説明を可能な限り詳細に加えていきたい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本禅宗史	い し い せいじゆん 石 井 清 純	経 A ・ 商 12以降入学生/経B	4

講義のねらい

中国において成立した禅宗は、鎌倉時代に日本に伝播し発展した。それは、ある部分では中国の叢林制度そのままの移植であり、またある部分では柔軟に日本の文化に順応して変容した。本講義では、その展開の様相を歴史的に概観し、現存する禅宗各派の成立基盤を明確化してゆく。

講義の内容・授業スケジュール

禅の伝来より、時代を追って明治時代の禅宗三派の成立までを概観する。
 1. 奈良・平安時代の「禅」の伝来、2. 「禅宗」の成立、3. 五山と林下、
 4. 禅宗教団の地方展開、5. 江戸幕府の宗教政策と禅宗、6. 隠元の来朝
 7. 明治維新と禅宗の統合、8. 禅宗各派の再成立。

成績評価の方法

前期終了時のレポートおよび年度末の筆記試験をもって判定する。

教科書

講義ごとにプリントを配布。

参考書等

竹貫元勝『日本禅宗史』（大蔵出版）・船岡誠『日本禅宗の成立』（吉川弘文館）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
禅籍講読Ⅰ	い し い しゆうどう 石 井 修 道	経 A ・ 商 12以降入学生/経B	4

講義のねらい

この講義は禅宗史話を原典テキストで味読するものである。唐代の最も魅力ある禅者を一人一人読み進めて行きたいが、年間、数限られた人数しか触れられないであろう。しかし、できるだけ数多くの禅者に触れてみたい。①菩提達磨②二祖慧可③五祖弘忍④六祖慧能⑤青原行思⑥南嶽懷讓⑦石頭希遷⑧馬祖道一⑨薬山惟儼⑩百丈懷海⑪雲巖曇晟⑫南泉普願⑬趙州從諗⑭潯山靈祐⑯黄檗希運⑰洞山良价⑱臨濟義玄⑲雪峰義存⑳玄沙師備㉑雲門文偃などを中心としたい。話は公案化されたよく知られたものを紹介したいが、興味ある行状はできるだけ触れるつもりである。

講義の内容・授業スケジュール

原典にいきなり真っ正面からぶつかる。

履修上の留意点

教科書の『中国禅宗史話』を読み、予備知識を付けておく。

成績評価の方法

夏期休暇後に教科書の感想文のレポート提出20点と学年末の筆記試験80点で評価する。成績にはある程度出席数を考慮し、原則として二桁の数の出席を目安とする。

教科書

石井修道『中国禅宗史話』（禅文化研究所）3,605円

参考書等

入矢義高『臨濟録』（岩波文庫）、入矢義高等『禅語辞典』（思文閣書店）

他履修科目
学部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
禅籍講読Ⅲ	い し い せいじゆん 石 井 清 純	経 A ・ 商 1?以降入学生/経B	4

講義のねらい

この講義は、日本において禅宗が成立した当時の禅籍を講読するものである。具体的には、日本史の時代区分でいうところの中世、すなわち鎌倉時代から室町南北朝時代に編集された禅語録や法語類がこれにあたる。

禅宗は、鎌倉時代、武家政権の幕開けと共に日本に伝来したことで知られる。そしてそれは、その後、一部では中国の五山制度を導入することにより中央に進出し、また他方では、種々の宗教的要素を取り込んで地方に展開していった。つまり、この時代は、まさに日本の禅宗が生まれ、そして独り歩きを始めた時代なのである。

この講義では、まず、禅の表現形式に慣れるために、各種仏教関連の辞書を用いて丹念に禅籍を読み進める。そしてさらに、読み進んだ内容から、日本の禅林の思想的特徴を把握できればと考えている。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は、日本における禅思想の特徴を見出す意味から、臨済宗大応派の日本人禅匠の語録を読み進める。この派は、後の日本禅林の展開に大きな影響を与えたものであり、その主張を知ること、禅の日本的展開の様相を知るに不可欠といえる。

講義前半は、対象となるテキストをプリントにて配布、そこに現われる禅語の意味を、一つ一つ丹念に辞書を用いて確認してゆく。これは、禅籍の独自の漢文表現と、仏教関係辞書の検索方法の双方に慣れることを意図したものである。

辞書的使用方法と漢文表記に慣れたところで、後半は、思想的内容を読解する演習へと移行してゆく予定である。

履修上の留意点

辞書や参考書類は用意するが、自己の読解力を高める意味でも、講義中に用いる基本的な辞書類は各自で用意されたい。

成績評価の方法

前期中に2回、後期中に1回、計3回の小テスト（ペーパーテスト）を行なう。それに年度末の定期試験を加えた計4回のテストを総合して成績を評価する。

教科書

講義ごとにプリントを配布。

参考書等

講義中に使用する予定の辞書類
『禅学大辞典』（大修館書店）、『中日大辞典』（大修館書店）、『禅語辞典』（思文閣）
『新字源』（角川書店）、『助字小字典』（内山書店）

履他
修学
科目
部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教概論	い け だ れんたろう 池 田 練 太 郎	経 A ・ 商 1?以降入学生/経B	4

講義のねらい

本講義は、仏教の基本的な要素である三宝（仏・法・僧）の体系にしたがって、開祖であるブッダ、その教義、それを維持し展開させた教団の順に仏教の基本的立場を概説していく。内容はインド仏教が中心になるが、中国・日本などの諸地域に広まった仏教にもふれていく予定である。

講義の内容・授業スケジュール

教科書として用いる『仏教入門』の次第にしたがい、最初に「仏教とは何か」について考え、その後、①ブッダの生涯、②仏の本質、③法 仏教の真理観、④一切法 法の種類、⑤輪廻と業・煩惱、⑥悟りへの道、⑦心 実践の主体、⑧修行者の理想像、⑨戒律と教団の組織、⑩仏教の歴史（インドとその周辺・中国・朝鮮・日本）の順に進めていく。

成績評価の方法

授業中に数回行う予定の小テスト、及び年度末の定期試験によって評価する。

教科書

高崎直道著『仏教入門』（東京大学出版会刊）2,200円

科目名	担当者名	配当学科	単位
インド仏教文化史	かなざわ 金 沢 あつし 篤	経 A・商 1?以降入学生/経B	4

講義のねらい

インド生まれの仏教を、広範で多岐多彩なインド文化の史的展望の中でとらえてみたい。

講義の内容・授業スケジュール

神や人間などが織りなす奇想天外なインドの物語世界の解説を皮切りに、仏教の出現と展開と衰頽にまつわる文化的トピックを論究する。

履修上の留意点

仏教や古今のインド文化に熱い関心を持つ学生諸君の主体的取り組みを期待する。

成績評価の方法

年度末試験などで総合的に判断する。

教科書

指定なし（資料は教場で適宜指示する）。

参考書等

教場で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国仏教文化史	ながい 永 井 まさし 政 之	経 A・商 1?以降入学生/経B	4

講義のねらい

ここでいう「文化」とは、現代の我々が日常的にイメージするそれではなく、「人間の営み」としての文化である。当然、「仏教」という宗教も「文化」の枠組みの中に入る。このように「仏教」をとらえるとき、それが中国の歴史の中で、どのような変化展開をしたか。それが本講義のテーマとなる。

今年度は、インドで生まれた仏教が中国に定着するさまざまな紆余曲折の中で、特に興味を引く「仏・菩薩への信仰」を取りあげて考えてみたい。

成績評価の方法

成績評価は平常点に期末試験の結果を加味する。

参考書等

必要な参考書は授業において指示する。またコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教文化史	はかまや 袴 谷 のりあき 憲 昭	経 A・商 1?以降入学生/経B	4

講義のねらい

この講義では、日本に完全に定着してしまった仏教文化の実態を、江戸期に成立した仏教以外の文献を通して、分析的に考察することに主眼を置く。その目的で、文献としては、江戸初期に成立したと見做される邦人イルマン不下齋巴鼻庵の『妙貞問答』上巻と、江戸末期に富永仲基（1715-1746）によって著わされた、『翁の文』『出定後語』とを主として取り上げる。これらの講義を通して、永い鎖国政策の間の仏教が、これ以前に成立していた仏教と、明治以降今日に至る仏教との間で、いかなる意味で思想的につながっているかを再考することになるであろう。

講義の内容・授業スケジュール

講義における文献の取り上げ方は、必ずしも通時的ではないだろうが、前期にまず『翁の文』を講読して、仲基の「加上説」が思想史における思想構築の意味をどのように認識したものであるかを検討することから開始することは決っている。

履修上の留意点

参加者は、文献を自ら読もうとしていることが要求される。

成績評価の方法

学年末の定期試験による。ただし、参加者の状況によっては評価の方法も変りうる。

教科書

石浜純太郎・水田紀久・大庭脩校注『翁の文』、日本古典文学大系97、近世思想家文集（岩波書店、1966年）。ただし、入手困難かもしれないので、必要に応じてコピーを配布する。

参考書等

講義において適宜指示する。

他履修
学科
部目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国古典語初級	い し い こう せい 石 井 公 成	経 A ・ 商 1?以降入学生/経B	4

講義のねらい

漢文読解の基本的な力と、中国思想の基本的な知識を身につけることを目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

基本的な文法から始め、中国仏教に大きな影響を及ぼした『老子』『荘子』『易経』およびそれらの注釈を読む。

履修上の留意点

口頭での訓読、現代語訳、訓読からの漢文の復原など、学生諸君に作業を課しながら講読してゆくため、予習が必要である。

成績評価の方法

試験を行うが、授業中に上記の作業をよく担当している者については、平常点を加算する。

教科書

使用せず、コピーを配布する。

参考書等

教場で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国哲学史	まえ かわ とおる 前 川 亨	経 A ・ 商 1?以降入学生/経B	4

講義のねらい

中国人の世界観、人間観の歴史的展開を把握することを目的とする。儒教・道教・仏教の思想とその相互関係の理解が主な課題である。特に、東アジア世界の中での中国思想という視野を失わないように心掛けたい。中国人の思考様式の特徴を明らかにし、それが日本人の思考様式とどこまで共通し、どれだけ異なるかを考える機会となれば幸いである。

講義の内容・
授業スケジュール

今年度は孔子から始めて唐宋代に至る時代を取り扱う。その場合にも、断代史的ではなく問題史的に進めていくので、近・現代との関係も考慮することになるであろう。受講者はそこから関心のある問題を発見して行ってほしい。

履修上の留意点

中国の思想・宗教・文化・社会などに関心を有する多様な受講者の参加を希望する。古典中国語もしくは現代中国語の初歩的な知識をもっていること（少なくともそれらの語学に履修意欲をもっていること）が望ましいが、授業じたいはその方面の知識なしでも理解可能であろう。ただし、継続して出席する意志と意欲を有する者以外の登録は認めない。レポートのみ提出して単位を取得しようなどという安易な気持ちでの受講はお断りする。問題意識と積極的な意欲に富む受講者を求める。

成績評価の方法

授業の内容に関連するレポートを前期と後期に提出してもらう。

教科書

特に必要としない。

参考書等

授業中に適宜紹介する。

そ の 他

できるだけ多くの情報を提供するため、講義形式をとるが、受講者の意見を微しながら進めたい。積極的な問題提起、討論を歓迎する。

履他
修学
科目
部

科目名	担当者名	配当学科	単位
上代文学研究Ⅰ	おののひろし 小野寛	経 A・商 1?以降入学生/経B	4

講義のねらい

万葉集をよむことから、上代文学の特質を考える。

講義の内容・
授業スケジュール

万葉集全20巻から、名作・問題作を選び、その作品について原文の検討、その訓みの確定、語句の研究、ことばの原義・語法、歴史的・社会的・地理的背景を詳細に調べる。授業は全面的講義方式による。毎時出欠をとる。

履修上の留意点

講義はその都度、新しく調査研究してまとめてゆくものだから、必ず出席して、ひたすらノートをとること。講義でわからないことはそのままにせず、チェックし、メモして、自分で調べてみる。質問も歓迎。

成績評価の方法

数回のレポートと学年末の筆記試験（持込一切なし）によって評価する。

教科書

小野寛著『新選万葉集抄』（笠間書院刊）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中古文学研究Ⅰ	まつおかともゆき 松岡智之	経 A・商 1?以降入学生/経B	4

講義のねらい

平安時代の仮名文学作品では、人生のいかなる局面でいかなる詩（和歌）が生まれるのかという関心が、作品生成の基盤となっているものが多い。本講義は、こうした作品形成のあり方をさまざまな作品の分析的読解を通して考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

①『伊勢物語』を出発点に、和歌と歌物語的ないし歌日記的なものに関する問題提起をする。②平安時代の和歌の特色を、前代とのつながりを考慮しながら把握する。③『伊勢集』冒頭部および『平中物語』を解説する。④『蜻蛉日記』『和泉式部』等、日記文学における和歌のあり方を考える。⑤①～④の検討を踏まえ、『源氏物語』を読解する。

成績評価の方法

レポート、筆記試験、出席状況を総合して評価する。

教科書

プリント配布。

参考書等

授業時に紹介する。

他履修
科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
中世文学研究Ⅰ	さくらい ようこ 櫻井陽子	経 A・商 1?以降入学生/経B	4

講義のねらい

源義経（牛若丸）像が日本の文学や芸能の中で、どのように形成され、また、変貌を遂げていったのかを追い、日本人がこの悲劇的、英雄的生涯を終えた人物に何を託したかったのかを、作品に触れながら明らかにしていく。また、知識階級の占有物ではない文学、或いは文化を考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

義経についての記載を追って、下記の各文献を読む。

平家物語
平治物語
吾妻鏡、及び歴史史料
義経記
謡曲
おとぎ草子

成績評価の方法

出席、授業態度、レポートによって総合的に評価する。

教科書

授業時に適宜プリントを用意する。

参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
近世文学研究Ⅰ	このえのりこ 近衛典子	経 A・商 1?以降入学生/経B	4

講義のねらい

上田秋成の読本『雨月物語』を読む。

講義の内容・
授業スケジュール

単に小説のストーリーを追うだけでなく、典拠となった中国白話小説、日本の古典作品の精読、本文との比較検討を通して、浮かび上がってくる作品の主題を考える。

履修上の留意点

出席重視。

成績評価の方法

出席状況、受講態度、レポート等を総合し評価する。

教科書

鷲山樹心編『講読雨月物語』（和泉書院）

その他

講義

他
履修
学
科
目
部

科目名	担当者名	配当学科	単位
近代文学研究Ⅰ	やま さき まき こ 山 崎 眞 紀 子	経 A ・ 商	4
		1?以降入学生/経B	

講義のねらい

1979年『風の歌を聴け』でデビューした村上春樹は、現在も第一線で活躍している作家である。この間、日本は経済効率優先の社会システムのもとに進んできた。結果、バブル経済、サブカルチャー、家族制度の崩壊などを生みだしてきた。共闘から個人へと変換してきたことも大きいだろう。村上春樹は人々が共闘している際にも個人で、徹底的に自分の足元を見続け、たとえていえば自分の中の井戸を汲み上げるようにして書いてきた作家である。もはや、現代は経済効率優先の社会システムのままでは、各所にほころびが生じてきている。こういう時代に、村上春樹作品を読むことによって、社会システム内に無自覚に呑み込まれるのではなく、個人一人一人が自分の井戸を汲み上げ、これから先の時間をどのように構築していくのかを考えていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

村上春樹作品の代表作を基本的には発表時間順に読んでいく。主に文庫本をテキストとする。

履修上の留意点

事前にテキストの指定部分を必ず読んでくること。授業時間の前半は講義式で進め、後半は各自考察を深めるために課題に従って文章化したり、意見を発表して貰ったりする。従って、授業に積極的に参加する姿勢が必要となってくる。テキストを読んでこなかったり、私語をしたり、テキストを持参せず眠っている、などという態度は困るので、履修をする場合は、これらのことをしないことが条件となる。なお、携帯電話は講義中に触れることも認めません。

成績評価の方法

平常点（授業への参加度や授業時の意見や文章等）を何よりも重要視する。学年末にレポート提出を課すか、ペーパーテストを行うかは、受講者の反応に従って決定したい。全講義数のうち、3分の1以上の欠席の場合は単位を認定しないので注意すること。

教科書

（新潮文庫）『世界の終わりとハードボイルド・ワンダーランド』（上・下）（新潮文庫）『ねじまき鳥クロニカル』（第1部～第3部 全三巻）、『図書館奇譚』（講談社文庫『カンガルー日和』所収）、『眠り』（文春文庫『TVピープル』所収）、『ねじまき鳥と火曜日の女たち』（文春文庫『パン屋再襲撃』）、『街と、その不確かな壁』（文庫本見取録なのでプリント作成）

参考書等

総合的には『村上春樹作品研究事典』（鼎書房）3,800円があるが、購入を強制するものではない。他の参考書及びサブテキストについては授業中適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
比較文学	みつたに 満谷マーガレット	経 A ・ 商	4
		1?以降入学生/経B	

講義のねらい

文化交流のもっとも重要な手段である翻訳の問題について考えてみたい。まず、最近話題となっているジェンダー翻訳論やポスト・コロナル翻訳論を含めて、さまざまな翻訳論を紹介しながら、言語と文化の問題を幅広く扱う。比較文学の伝統的な主題である「影響関係」の枠を超えて、翻訳が創作活動をどう刺激したかが見えてくるはずだ。また、翻訳は「読む」ことから始まるとすれば、それは当然「誤読」を伴う。日本の近代は西洋を「誤読」することから出発したといえるだろうし、西洋も日本を「誤読」し続けているといえるだろう。小説、詩、児童文学など、具体的なテキストを読みながら、明治の翻訳者が西洋から何を、どのように取り入れようとしたのかを見るとともに、十九世紀のジャポニズム（日本趣味）から戦後のハイク・ブームにいたるまで、西洋が日本をどのように読んできたのかを見ていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

授業は講義を中心に進めるが、テキストを読むこともある。教科書はないが、必要に応じてプリントを配る。外国語のテキストには必ず日本語訳か解説がつく。横文字アレルギーの人は困るだろうが、英語に堪能である必要はない。

成績評価の方法

前期、後期と試験を行う。

教科書

プリント

参考書等

秋山勇造『翻訳の地平』（翰林書房）1995
日本近代思想体系15『翻訳の思想』（岩波書店）1991
西田直敏『「新体詩抄」研究と資料』（翰林書房）1994など

科目名	担当者名	配当学科	単 位
児童文学	くにまつ としひで 国 松 俊 英	経 A・商 1?以降入学生/経B	4

講義のねらい

童話や児童文学といえば、かつては「子どもに役立つ文学」、「子どものためになる文学」という考えが中心だった、大人が子どもに与えるものであった。けれどその考えは、時代とともに変わってきた。現代では「大人と子どもが共有できる文学」と考える人がふえてきた。大人が楽しめ、感動できる児童文学が多く生まれるようになった。この時間は、児童文学の特質、そのジャンル、作家と作品について学ぶ。

成績評価の方法

出席状況、授業態度、レポート

教科書

適宜プリントを配布

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋思想史	しばのひろこ 柴 野 博 子	経 A・商 1?以降入学生/経B	4

講義のねらい

生の哲学と解釈学を中心に、19世紀から20世紀の西洋思想をみてゆきたい。

講義の内容・
授業スケジュール

前期はショーペンハウアーとニーチェの思想をとりあげ、後期はデイルタイとガダマーの解釈学をとりあげます。

成績評価の方法

年2回の筆記試験またはレポートによって評価します。

教科書

久保陽一『原点による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演劇概論	いのうえ よしえ 井 上 理 恵	経 A・商 1?以降入学生/経B	4

講義のねらい

演劇とは何か、演劇学とは何か、について西洋及び日本のこれまでの演劇論を検討しながら考えていく。特に戯曲と演出、俳優、演技の関係、文学と演劇の間に横たわる深く広い大河をいかように収斂すればいいのかについて考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

演劇史、ドラマトウルギー論、演劇理論史など、ギリシャからフランス、イギリス、ドイツ、そして日本の状況等について比較検討しながら触れることになる。ビデオや舞台で展開される演劇を観て、西洋と日本の文化の違いを理解し考えるつもりである。

履修上の留意点

個別な日本の戯曲を検討する時間はないので個別研究を学びたい者は国文学特講Xを同時に受講されることが望ましい。
また、実際の舞台を見ていって批評を書いてもらうつもりであるから本講座を受講する者は前期一回、後期一回、劇場に足を運ぶことを条件としたい。

成績評価の方法

成績評価はレポート（二回の観劇批評およびその他二回）およびテスト。

教科書

授業時に販売（約500～800円）『井上理恵講義ノート』（私家版）

参考書等

毛利三彌『東西演劇の比較』（放送大学教育振興会）

その他

講義形式。ビデオ視聴や観劇後には討論をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
編集実務	はせがわ 長谷川 孝	経 A ・ 商 1?以降入学生/経B	4

講義のねらい

編集とは、<誰かに——何かを——伝える>過程、つまり「何か」に気づき、その意味をつかみとり、表現の形を整えて、受け手に引き渡していく一連の過程に携わる仕事です。その過程で「どう伝えるのかに必要な知識・技能とともに、そのための知的基礎体力・感覚的な力をきたえ、「何を・なぜ」伝えるのかを考えて、自分なりの「目のつけどころ」(視点・視野・視角)をつくることを目指します。また、編集のはたらきは日常生活の中でだれもが行っていることなので、それを意識的に適用し、情報化社会で多様な情報を主体的に選択し活用できる「よき受信人」であるだけでなく、「よき発信人」になるために役立つことを願っています。

講義の内容・
授業スケジュール

新聞・雑誌・書籍など印刷媒体の編集を中心に、企画・取材・原稿の執筆・現行の整理やレイアウトなど、実際の常識・技能を取り上げ、その中で「目のつけどころ」や、編集をする上での意思や責任を考えます。とくに、ものごと・できごと、文章やデータから「何か」とその意味を読み取り、感じ取り、問う力、自分の表現をつくり出す力を養うよう考えています。

履修上の留意点

授業を「取材」する(「教わる」ではなく)という構えで参加してください。また授業で「取材」した(自分なりに感じ気づき考えたことを、毎時、短い文章で書いてもらいます。

成績評価の方法

自己評価点および、課題作品(B4判2つ折4ページの個人紙・誌を制作)と授業で書く短文(感想文)など平常の提出物によります。

教 科 書

プリントを使用します。

他履修
学学科
部目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
イギリス文学特講Ⅰ	あらいよしお 荒井良雄	経 A ・ 商 1?以降入学生/経B	4

講義のねらい

シェイクスピアの全作品を中心に、エリザベス朝演劇をとりあげて、イギリス演劇の特色と思想的文化的背景を講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

ギリシャ・ローマ演劇やシェイクスピア以前の聖書劇や道徳劇にふれたのち、シェイクスピアの史劇、喜劇、悲劇、悲喜劇と、クリストファー・マーロウやベン・ジョンソンなどの劇をとりあげる。

履修上の留意点

イギリス演劇史の中で最も活気に満ちたルネッサンス時代の演劇を考察するので、イギリス史や演劇史の参考書を読んでおくことが望ましい。

成績評価の方法

夏休みのレポートと冬休み前の試験で評価する。

教 科 書

『イギリス文学案内』野町二・荒井良雄著(朝日出版社)

参 考 書 等

『シェイクスピア全集』小田島雄志訳(白水社)(全37巻各冊600円から800円)
『シェイクスピア事典』高橋康也・他編(研究社)14,000円(図書館で利用できる。)

そ の 他

演劇の講義なので、作品理解の補助手段として、イギリス演劇の映画化作品やテレビ→映画化作品、そして日本での翻訳上演などを見ることをすすめたい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講II	たかのまさお 高野正夫	経 A・商 12以降入学生/経B	4

講義のねらい

18世紀後半までの英詩の世界では、秩序のある洗練された詩が好まれ、自然に対してはそれほど強い関心を持たれなかった。「理性の時代」と呼ばれた18世紀であったからこそ、詩人は秩序を尊び、粗野で洗練されていないものを拒絶したのである。その結果として、ある意味では快適で居心地のよい都会が、人の近づき難い荒々しい自然よりも好まれたのである。

もちろん、DrydenやPopeなどに代表される古典主義的な詩の特徴である洗練された秩序に逆らった詩人もいた。James Thomsonのように、人間を研究することなく、自然そのものの素朴な美しさを描いた詩人もいれば、また、Edward YoungやRobert BlairそしてThomas Grayのように、主に「死」を主題として陰うつな詩を書いた墓地派の詩人たちもいた。しかしながら、彼らのほとんどは18世紀の詩の特徴である、不自然で形式的な言葉遣いや技巧から抜け出すことはできなかった。

そして、1798年にWilliam WordsworthとSamuel Taylor Coleridgeによって出版されたLyrical Balladsという、1冊の詩集によってこのような古典主義的で因襲的な詩の流れが大きく変わってしまったのである。いわゆるロマン主義の時代の到来を告げるこの詩集に表現された素朴な言葉や主題は、保守的な批評家たちにとってはまったく受入れ難い、あまりにも革新的なものであったが、この小さな流れは、その後19世紀の前半まで英詩の主流となっていった。

イギリスの北西部に位置する湖水地方を愛し、そこに住んだこの2人の詩人の中でも、特に自然を愛したのがワーズワスであった。ワーズワスの詩に描かれた美しい、しかし時には厳しい姿を露にする自然をうたった詩や、彼が得意とした、普通の人々の様々な人生の絵巻様をうたった物語詩などを中心に読みながら、ワーズワスの詩の世界を見ていくことにする。

成績評価の方法

前期のレポートと期末試験によって評価する。

教科書

教場にて指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
イギリス文学特講III	おかざきとしちろう 岡崎寿一郎	経 A・商 12以降入学生/経B	4

講義のねらい

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく「現代性」modernityという言葉の感覚を理解することは、むづかしいとおもいます。この認識の方法によって、19・20世紀の英詩について、その現代的な意味を確認します。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行については、前期では、ワーズワス、コールリッジ、バイロン、シェリー、そしてキーツのロマン派詩人たちの詩について、フランス革命・イギリスの産業革命という時代的背景を捨象することなく論究してみたい。後期では、ヴィクトリア朝の時代と詩人たちについて、テニスン、ブラウニング、スウィンバーン、そしてマシュー・アーノルドの詩を検証した後、イギリスの近代文学を拓いたオスカー・ワイルドの詩と批評を出版として、近代詩人イエーツ、エズラ・パウンド、T. S. エリオットの現代詩（モダニズム）、さらにD. H. ロレンスの詩の論究を経て、現代イギリスの詩人たちの詩にと到達したいとおもいます。

成績評価の方法

成績評価については、平常評価としての出席（50%）、前期試験に代わる夏季レポート（25%）、後期試験（25%）による総合評価とします。

教科書

講義では、とくに教科書は指定せず、毎回、対象とした詩人と詩について必要なプリントを配布します。

参考書等

参考書・文献については講義中に適宜言及します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講Ⅳ	なかおか ひろし 中 岡 洋	経 A ・ 商 12以降入学生/経B	4

講義のねらい

イギリス小説のなかで特異な地位を占めつつ、もはや伝統の外部とはいいがたくなっているブロンテ文学について講義する。わが国では比較的よく親しまれていると思われるが、正しく理解するためにあらゆる方面から考察を加えてみようと思う。

講義の内容・授業スケジュール

具体的にはCharlotte Bronte (1816-55) のJane Eyre (1847) をはじめとして、姉妹のすべての小説にふれ、初期作品から詩歌、エッセイの類まで扱う。また映画化された作品もあり、それらを上映、鑑賞する機会ももちたい。全体をほぼ把握した段階で、その周辺の作家たちとの関連に言及し、広くイギリス文学の特質を理解するように努める。

履修上の留意点

出席に励むこと。各自が自覚をもって勉強に励むことを期待している。

成績評価の方法

出席回数と試験の結果によって評価する。

教科書

特に定めないが、その都度参考書を挙げて説明するので、読んでおくようにする。

参考書等

教場で適宜指示する。

その他

真面目に受講することを期待し、不真面目な受講態度の学生は退席してもらう。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講Ⅴ	ふじかわ よしゆき 富士川 義之	経 A ・ 商 12以降入学生/経B	4

講義のねらい

英国における文学と絵画についての講義。ロマン主義時代の風景詩と風景画、ラファエル前派から世紀末の文学と絵画の関連性についてふれる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

講義で述べる詩人や作家の文例をコピーで読むとともに、19世紀英国の画家たちの絵画をテレビ画面に映して見ることにより、文学と絵画により親しんでほしいと願っている。

履修上の留意点

積極的に取り組んでいただきたい。毎回出席をとる。

成績評価の方法

レポートと試験。

教科書

コピーを配布する。

参考書等

適宜指定する。

その他

講義が中心だが、討論の機会を随時もうけるつもりなので、ぜひ参加してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
イギリス文学特講Ⅵ	丸 小 哲 雄	経 A ・ 商 以 降 入 学 生 / 経 B	4

講義のねらい

文学研究が感動に始まるとすれば、それは個人的・主観的です。個人的・主観的であるとは、読み手の深奥の中心から「叫びのような声」に触れることです。批評することは、実は、文学テキストと読み手とをリアル・タイムで結んでゆくネットワークのようなものです。作者の世界と読み手の世界とをリアル・タイムで結びつけることで、読み手はテキスト世界との出会いに自らの心を開き、その出合のときその世界に対して読み手は違和感を抱く。かくして読み手は自らの世界を更新してゆくモーメントを獲得することになり、批評が始まります。

批評の世界は個人的・主観的な世界から宇宙的な世界に向けて発信し、文学以外の人間のさまざまな領域と共存し対峙していくわけです。批評的行為はいつまでも文学テキストに寄生しないで、自立していきます。

であるから、初発の読書体験を大切に、主体としての自分をどう形成してゆくかを説明し、そこから文学批評方法を修得し確立して、テキストの印象や感想に価値を見出せるようになります。とりわけ批評行為は、テキストの読み・解釈・批評の過程にあって、テキストの構造の折り目をゆるめて、テキストの持つ価値や姿勢に対して対立し、そのイデオロギーと対決する最後の機会であり、読み手がテキストに対してどのようにして責任をとるかを発見することです。その結果文学批評は個人の嗜好ではなく、集団的な判断の問題となってきますので、本講義は文学批評のさまざまな方法に親しみつつ、テキストの印象や感想に価値を見出せるように講義してゆきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文学テキストの虚構的世界とその必要性について
2. 文学的言語とは何か；日常言語と虚構言語の差異について
3. 文学テキストの機能と力について
4. 英文学研究の成立過程；文学研究制度の問題について
5. 伝統的方法とテキスト演習
6. ロシア・フォルマリズム
7. ニュー・クリティシズムとテキスト演習
8. 受容理論（読者論の立場）
9. 「精神分析批評と原型批評」とテキスト演習
10. 構造主義
11. 記号論
12. 「構造主義と記号論」とテキスト演習
13. ポスト構造主義
14. ニュー・ヒストリシズム
15. 批評精神の遍在性と批評的態度について

成績評価の方法

出席、前期・後期のターム・ペーパー（レポート作成）などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

- ・【*Elements of fiction* by R.Scholes】（英宝社）
- ・プリント使用：プリントのファイルを用意すること：読書リストのプリント配布

参考書等

- ・【楽しく読めるアメリカ文学】（ミネルヴァ書房）
- ・【楽しく読めるイギリス文学】（ミネルヴァ書房）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅰ	あづま 東 ゆういちろう 雄一郎	経 A・商 12以降入学生/経B	4

講義のねらい

アメリカ詩の概観、アメリカン・ルネッサンス、モダニズム、ポストモダニズムの流れにそつて、Walt Whitman, Emily Dickinson, Robert Frost, Wallace Stevens, W. C. Williams, Ezra Pound, T. S. Eliot, John Crowe Ransom, E. E. Cummings, Hart Crane, Langston Hughes, Elizabeth Bishop, John Berryman, Robert Lowell, Robert Bly, Allen Ginsberg, Gary Snyder, Sylvia Plath, Mark Strand等の詩人の作品を読んでゆきます。それぞれの詩人の作品を通して、アメリカの歴史、文化、人種差別、ジェンダー、宗教、自然、自我のヴィジョン、絵画、音楽等の問題を採り上げ、論じてゆきます。アメリカの自由詩をおおいに楽しんで下さい。新しい詩のスタイルは、一個人の技巧的な変革ではなく、新しい思想から生まれます。

教 科 書

新倉俊一『アメリカ詩入門』（研究社）2,200円

参 考 書 等

新倉俊一『アメリカ詩の世界』（大修館）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アメリカ文学特講Ⅲ	あしだ かずひと 足 田 和 人	経 A・商 12以降入学生/経B	4

講義のねらい

ロスト・ジェネレーションといわれる作家の文学に共通した特徴を探る。また、歴史的、文学史的背景を考慮に入れながら、彼らの短編小説の技法を学んでゆく。

講義の内容・
授業スケジュール

それぞれの作家の代表的な短編小説を読みながら、講義を行う。

履修上の留意点

あらかじめ指定された英文テキストを、読んでいることを前提に講義を進める。授業中に発言を求めることも少なからずあるので、積極的な参加を希望する。

教 科 書

プリントを配布。

参 考 書 等

必要に応じて紹介する。

他履修科目
学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
演劇特講 (イギリス・アメリカ)	おちあい かずあき 落合 和 昭	経 A・商 12以降入学生/経B	4

講義のねらい

主として、20世紀アメリカの著名な劇作家、および、現在、活躍中の劇作家を取り上げ、彼らの劇の特徴を、劇の構成要素（「筋」、「登場人物」、「テーマ」、「台詞」、「視覚効果（背景、照明等）」、「効果音（音楽も含む）」等を通して、できるだけ多角的に考察する。その際、演劇史における思潮も考慮に入れるつもりであるが、講義が概念的、抽象的にならないように、必ず、劇作品を通して、具体的に、劇の構成要素等を考察する。アメリカ劇作家以外にも、数人ではあるが、20世紀アイルランドやイギリスの劇作家も取り上げる予定である。さらに、一般的には、あまり知られていない劇作家、特に、一幕劇（短い劇、小説で言うなら、短編小説、通常、「場所」が一つだけの劇）を書いた劇作家も取り上げ、一幕劇の特徴やその多様性をも考察する。また、講義の中で、折に触れ、重要な演劇用語や劇場の種類等も学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

講義のなかで取り上げる主な劇作家は、アメリカでは、Susan Glaspell (1882-1948)、Alice Gerstenberg (1885-1972)、Engene O'Neill (1888-1953)、Thornton Wilder (1897-1975)、Tennessee Williams (1911-83)、Arthur Miller (1915-), Shirley Jackson (1919-65)、Edward Albee (1928-), Sam Shepard (1943-), David Mamet (1947-), アイルランドでは、John Millington Synge (1871-1909)、Samuel Beckett (1906-89)、イギリスでは、John Boynton Priestley (1894-1984)、Harold Pinter (1930-)等である。

履修上の留意点

講義の内容をふまえて、劇作品を分析してもらうので、積極的な参加が望ましい。

成績評価の方法

期末試験が全評価の40%、前期の課題が30%、後期の課題が30%とする。一回の課題は原稿用紙400字詰め5枚から10枚（ワープロの場合は、2000字から4000字）とする。出席率が3分の2以上を超えなければ、成績は不可とする。

教科書

- 1) 『The New Penguin Dictionary of Theatre』(洋書) (ペンギン)
- 2) プリント

履他
修学
科目
部

科目名	担当者名	配当学科	単位
時事英語	あらい よしお 荒井 良 雄	経 A・商 12以降入学生/経B	4

講義のねらい

このクラスでは、Newspaper EnglishとRadio Englishを中心に、Current Englishを学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

英字新聞、ラジオの英語、映画やテレビの英語、雑誌の英語を使って、Current Englishと英米文化の背景を研究をし、刻々と変る世界情勢を理解し、国際的視野を広げる事を目標とする。

履修上の留意点

その日のラジオの英語や英字新聞の英語を主として扱うので、各自が自習するとともに、辞書を必ず持参すること。

成績評価の方法

毎時間の小テストと、夏休み前と冬休み前の2回のテストで評価する。

教科書

『International Herald Tribune』(新聞や駅の売店で発売) 150円

参考書等

各種の時事英語辞典。

その他

テープを使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地理思想史	たけうち けいち 竹内 啓一	経 A・商 12以降入学生/経B	4

講義のねらい

地理学史ではなく、地理思想史の講義であり、ここで、地理思想史とは、領域、場所、環境といった空間的な生活条件に関する社会思想史であり、そのような地理思想史が、時代により、世界各地の文化により、どのように異なり、同時に普遍性、共通性を持っているかということが、まず大きなテーマになる。また地理思想史という場合、民衆レベルでの思想と実践 (folk geography) から、統治者のもの (official geography)、近代における制度化された高等教育機関でアカデミシャンとして禄をはんでいる者のもの (academic geography) まで、様々な次元のものがあり、これらの社会的背景を異にする多様な地理思想の間の接続と断絶関係を明かにすることも、この講義の一つの課題である。また地理的イマジネーション、環境に対する関心、地理的実践は空間的に限定された局地的なもの (local concerns)、国家レベルのもの (national concerns)、世界的なもの (global concerns) とスケールを異にするものがあり、これら間には多様な拮抗関係があって、その解明も地理思想研究の課題となる。このような folk、official academic geographies が、local、national、global、concerns をめぐって、どのような関係にあったかを、通時的 (diachronic)、かつ通文化的 (cross-cultural) に解明するのがこの講義の目的である。

講義の内容・授業スケジュール

下記の教科書、および配布資料を用いて、講述方式で講義をすすめる。まず上記の私の問題意識にしたがって、地理思想史の構造について話をし、後半の部分では地理的知識の形成と知の体系として地理学の展開、土木、軍事などにおける地理的実践の歴史を、いくつかのトピックごとに時代をおいながら話していく。

履修上の留意点

在外研究のため6月から10月にかけて休講するので、12月の補講期間に集中的補講をするので、あらかじめ心得ておいていただきたい。

成績評価の方法

学年末の持ち込み一切自由の筆記試験による。

教科書

ポール・クラヴァル (竹内訳) 『現代地理学の論理』(大明堂) 2,500円
日本の地理思想史については、私が作成した資料を配布。

参考書等

読むべき文献・参考書等は講義中に提示するが、アカデミー地理学の歴史、地図史、探検史に関する文献を以下にかかげておく。
手塚章 (訳編) 『地理学の古典』『続・地理学の古典』(古今書院)
西川治 (編) 『地理学総論』(総観地理学講座1) (朝倉書店)
水津一朗 『近代地理学の開拓者たち』(地人書房)
野沢秀樹 『フランス地理学の群像』(地人書房)
飯塚浩二 『人文地理学説史：方法論のための学説史的反省』(日本評論社) (『飯塚浩二著作集』6 平凡社に収録)
野沢秀樹 『ヴィダル・ド・ラ・ブラーシュ研究』(地人書房)
織田武雄 『古地図の世界』(講談社)
織田武雄 『地図の歴史』(講談社)
長澤和俊 『世界探検史』(白水社)
竹内啓一・杉浦芳夫編 『20世紀の地理学者』(古今書院)
R.J. ジョンストン (竹内監訳) 『場所をめぐる問題：人文地理学の再構築のために』(古今書院)
日本における近代地理学の発達については以下の私の著書と『地理学評論』2000年4月号の日本地理学会75周年記念号が参考になる。
『Modern Japanese Geography: An Intellectual History.』Kokon-Shoin

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地形学	こいけ かずゆき 小 池 一 之	経 A ・ 商	4
		12以降入学生/経B	

講義のねらい

地形学は、地表の形態とその形成過程を研究する学問で、山がちで変化に富む日本列島には種々の地形が分布している。

このため、日本列島は地形研究の上では、世界的にみても好都合な場所である。世界の最先端の研究が多く排出している。まず、地形学の基礎的な概念から説明し、時に最先端の研究成果や地形変化事変（各種の災害など）にも言及する。

講義の内容・授業スケジュール

年間の授業スケジュールの概要は次の通りである：

地形学の成り立ち、地表を変化させる種々の営力と地形の分類、
地表水の働きと地表の変化（マスウェディング、種々の河成地形、
組織地形）、海水の働きと地形、地球内部の力によって形成させる地形
（火山地形など）、地形発達

履修上の留意点

地理学の中ではかなり理学的（地球科学の1分野でもある）な色彩の強い学問分野である。高校時代に地学を履修していることが望ましい。

成績評価の方法

基本的には、学年末試験の成績で評価する。出席など平常点はあまり加味しない。

教科書

貝塚爽平著(1998)『発達史地形学』（東京大学出版会）3,400円＋税

参考書等

貝塚爽平・小池一之ほか編(1985)『写真と図でみる地形学』（東京大学出版会）4,500円＋税
小池一之ほか訳(1984)『一般地質学 2』（東京大学出版会）3,400円＋税

その他

授業は講義形式で最新の情報を知らせるプリント類を多く配布するとともにスライド、ビデオなどを使用する。

履他
修学
科目
部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
人口地理学	おるとも あつし 大 友 篤	経 A ・ 商	4
		12以降入学生/経B	

講義のねらい

地理学は、地域の特性や機能、地域的關係、地域間の相互作用、地域構造、あるいはこれらの変化を明らかにする学問である。しかし、地域は、地球表面上の一定の広がり（空間）と定義することができるが、きわめて抽象的な実在であるために、上記の諸要素を明らかにするためには、地球上に存在している何らかの事象を媒介にすることが必要になる。すなわち、人口地理学は、人口現象を媒介にして、上記の諸要素を明らかにしようとする学問である。したがって、人口地理学の研究にあたっては、まず、人口現象を正しく理解することが必要であり、そのためには、人口学の知識が必要となる。1年間という制約のなかでは、人口学とその知識に基づく人口地理学の2分野の講義はできないので、ここでは、人口学の基礎知識を説明しながら、これまでに人口地理学研究のなかで明らかにされた法則や理論などを並行して説明する。

講義の内容・授業スケジュール

人口構造（基本的構造、社会的構造、文化的構造、経済的構造）、人口動態（出生、死亡）、人口移動（国内移動、国際移動）、人口の地域分布、人口変動と将来予測、人口と資源、人口と環境などの項目について、体系的に説明する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文化地理学	小 田 匡 保	経 A ・ 商 1?以降入学生/経B	4

講義のねらい

文化地理学の内容は幅広いが、特に宗教地理学の代表的な研究テーマについて研究例に基づき述べる。

講義の内容・授業スケジュール

1. 文化地理学とその概要
2. 宗教地理学
3. 宗教分布
4. 宗教集落・宗教都市
5. 巡礼
6. 墓地

成績評価の方法

成績評価は、出席状況、レポート、試験によって行なう。
レポートが受理されない場合は、単位も認定されない。

教科書

使用しない。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
応用地理学	高 木 正 博	経 A ・ 商 1?以降入学生/経B	4

講義のねらい

この科目は、地理学と他の研究分野を視野に入れた学際的なテーマを考えている。講義では「河川」を対象とし、これの専門分野である河川工学や農業水利学などの成果をふまえて、地理学として河川をどのように扱うかを考える。河川は、河道だけでなく流域全体を捉えることが必要である。流域（地域）における自然的特性とその土地の人々とのかかわりあいを利用・災害・自然環境などの視点から講ずる。

講義の内容・授業スケジュール

まず、河川の流出に関する基本特性について水文学から講ずる。つぎに、いくつかの具体的な河川を事例として、利水・災害・河川環境などの視点からそれぞれ河川特性を考える。また、都市の水環境など、川をめぐる現実的な課題について、その本質を探る。

履修上の留意点

講義が中心になるが、受講者にも意識を持ってもらうため、夏休み中に現地調査を伴う課題を提示する。

成績評価の方法

学年末試験と夏休みのレポートの他、授業中の課題など平常点も加算する。

教科書

授業時間にプリントを配布する。

参考書等

配布プリントをとおり随時紹介する。

その他

講義中心。事例紹介のためのスライドやOHP、ビデオも使用する。

履修科目
他学部

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代地理学特論	はせがわ 長谷川	経 A・商 12以降入学生/経B	4

講義のねらい

この講義では、「オキナワ」をテーマに、島々の自然や環境、文化について地理学的なアプローチを試みたい。沖縄県では、本土復帰以降の30年間、巨額な資金が積み込まれ地域振興がはかられた。そのマイナスの結果として、島々の自然がいたるところで痛めつけられてしまった。この講義では、これらの現状とその背景にある沖縄の自然を解説し、地理学の分野で試みられている環境保全の取り組みや新しい調査方法を紹介したい。また、あわせて「オキナワ」の人々の暮らしの背景にある、本土にすむ私たちから見ればかなり異質に見える文化を「創作民謡」の歌詞などから解説してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期のテーマは「沖縄の自然」、「沖縄における土地改変と自然環境の悪化」である。サンゴ礁の自然をとおして、これらの現状を解説したい。なお、後期は前期の内容を受け「リモートセンシングデータ」や「地理情報システム」を使って、地域や環境の変化を抽出する方法、地理学への応用例を沖縄での事例を中心に解説する。また、今年度から(1)の最後で述べた内容に関しても講義に取り組みたい。ただし、1, 2時間の予定である。詳しいスケジュールについては、講義開始時に年間計画表(シラバス)を配布し説明する。

履修上の留意点

講義中の私語、いねむり、教室からの退中は認めない。

成績評価の方法

2回の定期試験結果により評価する。出席し講義をまじめに受けていれば単位取得は容易なはずである。

教科書

使用しない。毎回プリントを配布する。

参考書等

シラバスの付録として参考書のリストを示す予定である。

その他

VTR、スライド、PCによるプレゼンもおこなうが、基本的には講義形式の授業である。

履他
修学
科目
目

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本史特講Ⅶ(近代)	こいずみ まさひろ 小 泉 雅 弘	経 A・商 12以降入学生/経B	4

講義のねらい

近代日本の出発点となった幕末維新期の諸問題について講義し、最近の研究動向にも触れながら維新変革と近代国家の成立について考える。

講義の内容・授業スケジュール

最初に明治維新史の時代区分に関する諸説を検証し、次いで幕藩体制の崩壊から明治国家成立の過程を検討する。その際、必要に応じて史料講読を行いながら授業を進める。具体的には、ペリー来航・開国、安政の大地震と民衆、幕政改革、幕末の政治運動、江戸の都市騒擾、戊辰戦争、維新政権、民蔵分離問題、廃藩置県、藩閥権力の生成などを、集団・情報・国民国家といった観点も取り入れながら述べていく。

履修上の留意点

既成の歴史認識にとらわれるのではなく、史料批判や史料解釈などを基礎とした自ら歴史を考える姿勢を身につけてほしい。

成績評価の方法

定期試験により評価し、出席状況を加味する。

教科書

特にないが、必要な資料はコピーして配布する。

参考書等

講義内容に則して、適宜参考文献を紹介したい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
考古学特講Ⅲ	酒井清治	経 A・商 12以降入学生/経B	4

講義のねらい

古墳時代から古代にかけて朝鮮半島から伝わった須恵器が作られるが、この須恵器は古墳時代の畿内政権あるいは各地の首長層と密接な関連があり、古墳時代あるいは古代を考えるに重要な土器である。この須恵器は、現在全国各地で詳細な編年ができ、考古学的な年代決定の重要な資料となっている。また、生産地である窯跡が判明しており、消費地との需給関係がわかる。さらに須恵器生産は古墳時代にあつてはきわめて政治的に生産が開始されており、窯業生産地から生産体制を解明する材料となりうる。当時の手工業史としての須恵器生産史や流通史を解明

講義の内容・授業スケジュール

須恵器に関する論文を紹介しながら、須恵器の生産・流通・歴史的背景を概観する。

履修上の留意点

遅刻しないこと。

成績評価の方法

定期試験とレポートおよび平常点

教科書

授業の中で適宜紹介する。

参考書等

中村浩『須恵器』（ニュー・サイエンス社）
中村浩『和泉陶器窯の研究』（柏書房）
山田邦和『須恵器生産の研究』（学生社）

他履修科目
学修部

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋文化史Ⅰ	佐々木真	経 A・商 12以降入学生/経B	4

講義のねらい

近代社会の成立において、「管理」や「規律」といった概念が重要な役割を果たしたことは、さまざまな歴史家によって指摘されていることである。そこで、本講義では、近世末から近代にかけて、ヨーロッパ諸国において戦争や軍隊が有していた意味を考えつつ、上記の問題を検討してみたい。軍隊のあり方やその機能、国家による戦争の遂行は、近代国家や近代社会の形成に非常に大きな影響を与えており、最近ではそのような視点に立った研究が見られるようになった。本講義では、そのような研究動向をふまえ、フランスを主な題材として、近世から近代への移行において、戦争や軍隊がどのような役割を果たしたのかを考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義のサブテーマとしては、以下のものを考えている。

1. 絶対王政期の軍隊と戦争（戦術の変化、軍隊の実態、軍制改革、王権と戦争）
2. フランス革命と戦争（革命下の軍制改革、兵士と市民的自由）
3. 近代社会と戦争・軍隊（国民化・近代システムと軍隊、国家と軍隊、総力戦体制）

履修上の留意点

授業中に紹介する文献をなるべく多く読み、広い知識を身につけてほしい。

成績評価の方法

成績は学年末に行う筆記試験の成績に、不定期に調査する出席点を加算して判定する。

教科書

教科書は特に指定しない。

参考書等

山内進『掠奪の法観念史』（東京大学出版会）
専修大学人文科学研究所編『フランス革命とナポレオン』（未來社）
ジェフリ・パーカー『長篠合戦の世界史』（同文館）
A. J. P. テイラー『戦争はなぜ起こるか』（新評論）
マイケル・ハワード『ヨーロッパ史と戦争』（学陽書房）

その他

授業は講義形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本民俗学	たにくち 谷口 貢	経 A・商 12以降入学生/経B	4

講義のねらい

日本民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的知識を把握できるようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化において何が変化し、何が持続しているのかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考していくことにしたい。年間の講義予定は以下に掲げるとおりで、各々2回程に分けて行う。

- 第1講 家族と社会
- 第2講 産育儀礼——出産と子育て——
- 第3講 子どもと遊び
- 第4講 若者の民俗文化
- 第5講 成人儀礼
- 第6講 婚姻儀礼
- 第7講 女性の民俗文化
- 第8講 交際と贈答
- 第9講 老人

成績評価の方法

夏期レポート及び小レポートを実施する予定。したがって受講者の成績評価は、夏期レポートと小レポート、そして学年末の筆記試験の合計をもって行うものとする。

教科書

使用しない。

参考書等

谷口貢・他編『現代民俗学入門』（吉川弘文館）

他学部
履修科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
哲学史	やまくち まさひろ 山口 祐 弘	経 A・商 12以降入学生/経B	4

講義のねらい

カントを源とするドイツ観念論の諸思想は現代に様々な照明を与えてくれる。今日確実な思索を行おうとするならば、繰り返しそこに立ち返ることが求められ、またその意義は尽きない。だが、その発展を一望のもとに収めることはたやすいことではない。その根本にあった問題は何か、それを駆動したものは何か、が問われねばならない。そうした問題論的展開として捉ええた時に、ドイツ観念論は一つの歴史となるのである。本講は、この意味でドイツ観念論に歴史を発見しようとする試みである。カントが提起しかつ後世に残した課題を明らかにし、それが如何なる方向に解決を求めていったかをフィヒテ、シェリング、ヘーゲルを軸として考察する。

参考書等

山口祐弘『カントにおける人間観の探求』、『ドイツ観念論における反省理論』（勁草書房）

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史哲学	久保陽一	経A・商 12以降入学生/経B	4

講義のねらい

歴史哲学は、個々の事件を理念や原理から統一的に説明したり評価する歴史形而上学や、歴史認識の可能性や方法論を問う歴史認識論とに大別される。本講義では、これらの考え方を歴史的に検討し、今日の歴史認識の方向を探りたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 ヘルダーと和辻の風土論
- 2 ヘーゲルの歴史哲学
- 3 マルクスの史的唯物論
- 4 新カント派の文化科学方法論
- 5 デルタイの精神科学基礎論
- 6 ハイデガー、ガダマーの解釈学

履修上の留意点

ノートをよく取ること。私語はつつしむこと。

成績評価の方法

出席状況、レポート、試験。

教科書

ヘーゲル『歴史哲学』（上中下三冊）岩波文庫

参考書等

渡辺二郎『現代の思想的状況—歴史の哲学』（放送大学教育振興会）、シュネーデルバッハ『ヘーゲル以後の歴史哲学』（法政大学出版局）、久保陽一『初期ヘーゲル哲学研究』（東大出版会）

他履修
学科目
部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
産業・職業社会	やまだ のぶゆき 山 田 信 行	経 A ・ 商	4

講義のねらい

“労使関係”をキ概念として、産業社会学を体系的・概念的に講義する。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は2部から構成される。第1部（前期）では、産業社会学の主要な分野について日本の事例について紹介しながら概説する。第2部（後期）では、“国際化”をポイントにして労使関係の歴史比較分析を行う。具体的な講義プランは以下の通り。

第1部 現代日本の産業・労働

1. 産業社会の対象・方法・課題
2. 労使関係とはどんな関係なのか
3. 賃金・雇用・労働者
4. 労働者の統制と参加
5. 労働組合と労働運動
6. 技術革新と技能の変化
7. 国家と労使関係
8. 変容する産業・労働の世界

第2部 労使関係の国際比較

1. グローバリゼーションと労使関係
2. インダストリアルリズムと多元的資本主義発展
3. アメリカ合衆国と不自由労働
4. 資本・賃労働の国際化と日本的労使関係
5. 周辺社会とマレーシアの労使関係と資本主義発展
6. 労使関係と社会変動

履修上の留意点

必修科目ではないので、自覚的な参加を希望する。

成績評価の方法

学年末試験による

教 科 書

山田信行 『労使関係の歴史社会学』（ミネルヴァ書房）

参 考 書 等

適宜指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
マス・コミュニケーション論	かわもと 川 本 勝	経 A ・ 商	4

講義のねらい

社会的コミュニケーションの特質を整理し、マス・コミュニケーションの社会的機能、影響過程を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、社会生活とコミュニケーションとの関連を考える。

- ・社会的コミュニケーションの諸形態と特質。
- ・情報環境の変容とコミュニケーション内容。
- ・社会生活とコミュニケーション行動。

後期は、マス・コミュニケーション活動が社会や人々に対してどのような機能やインパクトを与えているかを考える。

- ・マス・コミュニケーション活動と諸問題。
- ・メディア・コミュニケーションの社会的機能。
- ・受容過程の特質と効果研究。

履修上の留意点

他学部・学科履修科目であるが、他学部・他学科の学生は、社会学の科目を履修して社会学の基礎知識を修得しておくこと。

成績評価の方法

講義中に課する小レポート、出席を考慮し、試験によって行う。

教科書

特に用いない。

参考書等

講義中に適宜指示する。

他履修科目
学部
部目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会福祉発達史	はやし 林 千 代	経 A ・ 商 12以降入学生/経B	4

講義のねらい

いつの時代にも人々の生活不安は、自然の変化と社会の変動によって生じる。社会の変動期には、常に多くの生活問題が発生し、大多数の人々は、生活困難におちいった。それに対応する社会福祉は一定の歴史的産物であること、そしてその理解に立って本質を把握し、現状と今後の方向を考える力をつけたい。

講義の内容・授業スケジュール

主に、英国と日本を中心に、資本主義社会の成立とともに生成した社会事業から社会福祉へ至る歩みを講述する。さらに、こんにちの福祉社会をも検証したい。単に事実の羅列ではなく、対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす思想、それらの関連などを立体的、構造的にとらえるというのが本講義の内容である。なお今も存在しつづける慈善（事業）をもとり上げたい。

特に日本の場合、社会福祉（事業）の前段階は、厚生事業といった。きわめて日本の特質を示すものとして深い考察が必要であると考えている。

履修上の留意点

熱心にとり組もうという意欲を持ってもらいたい。

成績評価の方法

最後にレポート提出を課す。

教科書

特に無い。

参考書等

その都度紹介する予定である。

その他

特に無し。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行政法各論	さいとう 藤 寿	経 A ・ 商 12以降入学生/経B	4

講義のねらい

人権保障制度、国会制度、内閣制度、司法制度、自治制度、財政制度など、各国の憲法制度について興味深い講義を続けながら、楽しく研究します。また、西欧主要諸国の憲法にとどまらず、アジア・アフリカ諸国や中南米諸国の憲法にもふれ、その特色を楽しく研究します。これらの講義は、1年間・全体を通して、極めて楽しい雰囲気の中でなされます。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 イギリス憲法は、どのように歩んできたか。
- 第2回 アメリカ憲法は、どのように歩んできたか。
- 第3回 フランス憲法は、どのように歩んできたか。
- 第4回 ドイツ憲法は、どのように歩んできたか。
- 第5回 東ヨーロッパ憲法は、どのように歩んできたか。
- 第6回 中国憲法は、どのように歩んできたか。
- 第7回 発展途上国憲法（アジア・アフリカ・中南米諸国憲法）はどのように歩んできたか。
- 第8回 世界各国の憲法は、どのような類型化が可能か。また、その特質は何か。
- 第9回 君主国憲法（イギリス・ベルギー・デンマーク憲法）の憲法上の特質は何か。
- 第10回 共和国憲法（アメリカ・フランス・ドイツ・イタリア・スイス憲法）の憲法上の特質は何か。
- 第11回 ロシア・中国憲法の憲法上の特質は何か。
- 第12回 発展途上国憲法の憲法上の特質は何か。
- 第13回 これまで（第1回～第12回）のreview。
- 第14回 世界各国憲法の人権保障制度は、どのようになっているか。また、その科学的な比較研究の方法について。
- 第15回 世界各国憲法の平等権保障について。
- 第16回 世界各国憲法の自由権保障について。
- 第17回 世界各国憲法の人身保護権保障について。
- 第18回 世界各国憲法の救済権保障について。
- 第19回 世界各国憲法の参政権保障について。
- 第20回 世界各国憲法の社会権保障について。
- 第21回 世界各国憲法の統治制度は、どのようになっているか。また、その科学的な比較研究の方法について。
- 第22回 世界各国憲法の国会制度について。
- 第23回 世界各国憲法の議院内閣制度について。
- 第24回 世界各国憲法の大統領制度について。
- 第25回 世界各国憲法の司法制度について。
- 第26回 世界各国憲法の自治制度について。
- 第27回 現代世界諸国の憲法上、人権保障制度と統治制度は、どのように運用されているか。また、今後は、どのように運用されるべきか。
- 第28回 これまで（第14回～第27回）のreview。
- 第29回 試験

履他
修学
科目
目部

履修上の留意点

※学生への要望
この講義は、楽しくかつ役に立つ講義です。私といっしょになって、「行政法各論」を楽しく研究してみませんか。私が、みなさんを、「水飲み場」へ、道案内します。
目には火を、顔には光をいだいて、ついてきて下さい。
Rouse up, O, Young Men of the New Age! (目覚めよ、新時代の若者たちよ!) との、イギリスの詩人、ウィリアム・ブレイクの叫びを、この際、みなさんに送ります。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合わせて、学年の成績とします。

教科書

拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比較憲法	さいとう 藤 寿	経 A・商・経 B	4

講義のねらい

人権保障制度、国会制度、内閣制度、司法制度、自治制度、財政制度など、各国の憲法制度について興味深い講義を続けながら、楽しく研究します。また、西欧主要諸国の憲法にとどまらず、アジア・アフリカ諸国や中南米諸国の憲法にもふれ、その特色を楽しく研究します。これらの講義は、1年間・全体を通して、極めて楽しい雰囲気の中でなされます。

講義の内容・授業スケジュール

- 第1回 イギリス憲法は、どのように歩んできたか。
- 第2回 アメリカ憲法は、どのように歩んできたか。
- 第3回 フランス憲法は、どのように歩んできたか。
- 第4回 ドイツ憲法は、どのように歩んできたか。
- 第5回 東ヨーロッパ憲法は、どのように歩んできたか。
- 第6回 中国憲法は、どのように歩んできたか。
- 第7回 発展途上国憲法（アジア・アフリカ・中南米諸国憲法）はどのように歩んできたか。
- 第8回 世界各国の憲法は、どのような類型化が可能か。また、その特質は何か。
- 第9回 君主国憲法（イギリス・ベルギー・デンマーク憲法）の憲法上の特質は何か。
- 第10回 共和国憲法（アメリカ・フランス・ドイツ・イタリア・スイス憲法）の憲法上の特質は何か。
- 第11回 ロシア・中国憲法の憲法上の特質は何か。
- 第12回 発展途上国憲法の憲法上の特質は何か。
- 第13回 これまで（第1回～第12回）のreview。
- 第14回 世界各国憲法の人権保障制度は、どのようになっているか。また、その科学的な比較研究の方法について。
- 第15回 世界各国憲法の平等権保障について。
- 第16回 世界各国憲法の自由権保障について。
- 第17回 世界各国憲法の人身保護権保障について。
- 第18回 世界各国憲法の救済権保障について。
- 第19回 世界各国憲法の参政権保障について。
- 第20回 世界各国憲法の社会権保障について。
- 第21回 世界各国憲法の統治制度は、どのようになっているか。また、その科学的な比較研究の方法について。
- 第22回 世界各国憲法の国会制度について。
- 第23回 世界各国憲法の議院内閣制度について。
- 第24回 世界各国憲法の大統領制度について。
- 第25回 世界各国憲法の司法制度について。
- 第26回 世界各国憲法の自治制度について。
- 第27回 現代世界諸国の憲法上、人権保障制度と統治制度は、どのように運用されているか。また、今後は、どのように運用されるべきか。
- 第28回 これまで（第14回～第27回）のreview。
- 第29回 試験

履修上の留意点

※学生への要望

この講義は、楽しくかつ役に立つ講義です。私といっしょになって、「比較憲法」を楽しく研究してみませんか。私が、みなさんを、「水飲み場」へ、道案内します。

目には火を、顔には光をいだいで、ついてきて下さい。

Rouse up, O, Young Men of the New Age（目覚めよ、新時代の若者たちよ！）との、イギリスの詩人、ウィリアム・ブレイクの叫びを、この際、みなさんに送ります。

成績評価の方法

試験の成績とレポートの成績を合せて、学年の成績とします。

教科書

拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

履修科目
他学
部目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
親族法	たけなか ちか 竹 中 智 香	経 A・商・経 B	4

講義のねらい

民法典第四編にあたる「親族法」の講義を行う。親族法は最も身近な家族生活を規制する部分であることから、民法の他の部分に比べて、初めて法律を勉強する者にとっても取り組みやすいと思われる。本講義では、家族という身近な問題の検討を通して民法になじみ、法的な視点・考え方を身につけることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

親族法の講義ではあるが、民法の初学者にとってわかりやすい私法入門であることも目指したい。民法の中でも親族法は、家族生活を規制する法律であるために、財産法の領域と異なる特徴を有している。この相違と親族法の特徴、さらに欧米家族法と比較したときのわが国の親族法の特徴を示しつつ、親族・婚姻・離婚・親子・親権・後見・扶養について順次論説していく。また、親族法に関する今日的な問題にも、できる限り触れたい。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教科書

遠藤浩ほか編『民法（8）親族〔第4増補版〕』（有斐閣双書）1,600円

参考書等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』（有斐閣）2,000円
六法

科目名	担当者名	配当学科	単 位
相続法	たけなか ちか 竹 中 智 香	経 A・商・経 B	4

講義のねらい

民法典第五編にあたる「相続法」の講義を行う。わが国の相続法は、戦前の家督相続から戦後の均分共同相続へと変遷し、さらに今日においては遺言制度の利用も増加するなど、大きく変化している。本講義では、こうした動向とその背景の理解とともに、財産法の応用問題といわれるほど難解な相続法の理解を図りたい。

講義の内容・授業スケジュール

わが国の相続法の変遷とその背景を検討したうえで、相続人・相続の効力・相続の承認および放棄・財産の分離・相続人の不存在・遺言・遺留分について、順次論説していく。

履修上の留意点

教科書を読んだうえで講義に出席することが望ましい。

成績評価の方法

おもに定期試験によって成績を評価するが、出席状況などの平常点も加味する。

教科書

遠藤浩ほか編『民法（9）相続〔第4増補版〕』（有斐閣双書）1,600円

参考書等

久貴忠彦・米倉明編『家族法判例百選〔第5版〕』（有斐閣）2,200円
六法

他
履
修
学
科
目
部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
西洋法制史	北 ^ま 野 ^た かほる	経 A・商・経 B	4

講義のねらい

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1部 総論
 - 第1章 法制史学概説
 - 第1節 法制史学の方法と対象
 - 第2節 法制史学の目的と効用
 - 第3節 イングランド法制史学の対象と方法
 - 第2章 イギリス歴史学の基本的知識
 - 第1節 時間的範囲
 - 第2節 空間的範囲
- 第2部 イングランド法制史
 - 第1章 古代
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 法構造
 - 第2章 中世 (1066-1350)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造 1 中世ヨーロッパの封建制
 - 第3節 社会構造 2 イングランドの封建制
 - 第4節 統治構造 封建制の解体
 - 第3章 近世 (1350-1650)
 - 第1節 歴史過程
 - 第2節 社会構造
 - 第3節 統治構造
 - 第4節 法構造

他履
修学
科目
部

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

年度当初に指示する。

その他

一冊で間に合うような参考書はないため、試験準備に最も有効なものは講義の際に筆記した各自のノートである。今年度から講義内容を少し偏向するため、過去の講義ノートはあまり役に立たない。敢えて出席はとらないが、出席してノートをとらないと事実上試験準備ができなくなるので十分注意すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英米法	北野 かほる	経 A・商・経 B	4

講義のねらい

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を外観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、司法機構と判例法を中心に考察する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 第1編 概論
 - 第1章 法系論
 - 第1節 西洋近代法の法系
 - 第2節 英米法系の特色
 - 第2章 英米法の特徴
 - 第1節 法内容の歴史性
 - 第2節 法概念の社会性
 - 第3節 法思考の実務性
 - 第3章 判例法の理論
 - 第1節 総論：「判例法主義」
 - 第2節 先例拘束性の原理
 - 第3節 判決における「法」
 - 第4節 法形成作用
- 第2編 司法制度
 - 第1章 裁判所制度
 - 第1節 イギリス
 - 第2節 アメリカ合衆国
 - 第2章 訴訟過程
 - 第1節 英米訴訟制度の特徴
 - 第2節 陪審

履修上の留意点

講義中の私語・騒音は厳しく規制する。予め十分留意すること。

成績評価の方法

論文式筆記試験（後期試験期間・年1回）

教科書

特に指定しない。

参考書等

望月礼二郎『英米法（新版）』（青林書院）現代法律学全集55 5,150円
その他の参考書：年度当初に指示する。

その他

今年度から講義進行計画に一部変更が生じるため、上記シラバス内で力点の置き方が変わる。試験準備には講義ノートが最も有効であるが、過年度のノートの有効性は大きく下がるので、各自注意して出席し、ノートをとること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨーロッパ政治論（１）	なかの ゆうじ 中 野 裕 二	経 A ・ 商 12以降入学生／経B	4

講義のねらい

この講義は西ヨーロッパ諸国の政治に焦点を当てる。西ヨーロッパの国々を全て網羅することは不可能であるので、平成14(2002)年度はイギリス、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、そしてEUを扱うこととする。各国の政治機構をごく簡単に理解した上で、各国政治の特徴と考えられる事象を取り上げ、考察を加え、各国の政治に対する理解を深める。

講義の内容・ 授業スケジュール

講義は以下の予定で進む。ただし、現実政治や学生の理解度によって内容や進度は変更があり得る。

1. イントロダクション
講義の進め方と成績評価などについての説明
2. イギリス
政治機構
政党政治——サッチャー保守党政権とブレア労働党政権
地方問題——北アイルランド問題
3. フランス
政治機構
移民問題——社会構造と政治の関係
極右政党の台頭——グローバル時代の問題
4. ドイツ
政治機構
連邦制国家の構造——EUのモデル？
選挙制度——人物本位の比例代表制
5. イタリア
政治機構
選挙制度と政党政治
6. スペイン
政治機構
フランコ時代から民主国家へ
地域主義
7. EU
政治機構
統合のプロセス——政府間主義か超国家主義か？
「民主主義の赤字」とサブシディアリティ原則

履修上の留意点

西ヨーロッパの政治に興味のある学生はもちろんのこと、日本の政治に興味のある学生の受講を希望する。講義の中では明示的に日本の政治との比較は行わないが、常に日本との比較を念頭に置いて講義を聴いて欲しい。
授業中の私語などには厳しく対処する。

成績評価の方法

学年末試験を70点、4回程度実施予定の小テストなどを30点に換算し100点満点で評価する。ただし、授業中の質問や発言などの積極的な参加は別途高く評価する。

教科書

教科書は用いないが、下の参考書は重要。詳細は、KOMANETのシラバス詳細画面を参照。その他の参考文献は講義内で適宜紹介する。

参考書等

田口富久治・中谷義和編『新版 比較政治制度論』（法律文化社）1999年
川勝平太・三好陽編『イギリスの政治』（早稲田大学出版部）1999年
奥島孝康・中村紘一編『フランスの政治』（早稲田大学出版部）1993年
大西建夫編『ドイツの政治』（早稲田大学出版部）1992年
馬場康雄・岡沢憲英編『イタリアの政治』（早稲田大学出版部）1999年
川成洋・奥島孝康編『スペインの政治』（早稲田大学出版部）1998年
大西建夫・中曾根佐織編『EU 制度と機能』（早稲田大学出版部）1995年
宮島喬編『現代ヨーロッパ社会論』（人文書院）1998年
中野祐二『フランス国家とマイノリティ』（国際書院）1996年
畑山敏夫『フランス極右の新展開』（国際書院）1997年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国際政治学	こ ぼ り の り お 小 堀 訓 男	経 A ・ 商	4
		12以降入学生/経B	

講義のねらい

国際社会に展開する政治現象を、政治学的アプローチで論及し、国際政治の本質を理解することが、本講義のねらいである。

前期の講義は、国際政治とは、いかなるものか、分かり易く概説する。具体的には、国家、権力、民族、階級、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等をテーマに“国際政治の本質”について考察する。つぎに、より理解を深めるために、“国際政治の基調”と題して、国際政治が展開し、現在に至るまでの、各時代の国際政治の基調を、歴史的に概観する。

後期では、“国際政治の問題”と題して、冷戦後の国際政治、ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーと環境問題、国連の使命と限界、地域統合と国家の役割の変化等の、国際政治学が取り組むべき課題を、理論的かつ実証的に解明しながら、受講生とともに考えたい。

講義の内容・
授業スケジュール

講義のテーマ、内容については予告する。受講生は必ず予習をして、講義に出ること。基本的な知識については、共通の理解を徹底したいので、全員で討論しながら授業を進めたい。よって、積極的な参加を求めらる。

成績評価の方法

1年間に数回程度、授業中に30分のショートテストを実施する。これは講義の理解の程度を知るためであるが、このテストの評価を30%とし、定期試験を70%の評価とする。

教 科 書

必要に応じて講義のなかで紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨーロッパ政治史	う ち た さ な え 浦 田 早 苗	経 A ・ 商	4
		12以降入学生/経B	

講義のねらい

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかにし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。本講義では、近代ヨーロッパの歴史全般を概説しながら、ヨーロッパが抱える問題の本質を明らかにすること、及び現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎概念を検討することに視点がおかれている。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・近代の始点—ルネサンス期と18世紀—
- ・英国革命とIRA
- ・ジャコバイトと英国王室
- ・議院内閣制の成立変遷過程
- ・英国における政治腐敗防止過程
- ・フランス革命と国家の概念
- ・フランス政治におけるジャコバン主義
- ・「後発国型近代化」の問題点—ドイツの場合—
- ・統合ヨーロッパの源流

成績評価の方法

前期リポート—7～8×400字—は任意ではあるが、年5～6回とる出席点とともに学年末試験に加算する。試験はあらかじめ提示した5問から2題出題する。(ノートの持ち込みは不可)

教 科 書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細な研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
地方自治法	とみい ゆきお 富井 幸雄	経 A ・ 商 12以降入学生/経B	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをきみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎回レジメを配布し、それに沿って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。

教科書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房）2,000円

参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正がなされたので、必ず平成13年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両法分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
議会関係法	まえだ ひであき 前田 英明	経 A ・ 商 12以降入学生/経B	4

講義のねらい

今年度は選挙法を中心に取り上げる。
選挙は、民主政治の基盤をなすものであり、民主政治の健全な発達を期するためには選挙が公明かつ適正に行われなければならない。選挙を公明かつ適正に行うためには、その根幹をなす公職選挙法や政治資金規正法や政党助成法などの規定を国民すべてが十分理解することが最も重要なことである。
衆議院選挙制度に関しては、賛否の議論の末、小選挙区比例代表並立制が導入され、1996年秋、改正法に基づく初めての総選挙が実施されたところであり、今年も総選挙が予想される。このような情勢を踏まえて、制度改正に民間政治臨調の委員として参画した経験をまじえながら、全学開講科目として、多くの学生にわかりやすく選挙法の趣旨を講義することとし、今年度から新たに「議会関係法」をスタートさせる。

講義の内容・授業スケジュール

1 選挙制度改正の理由、2 選挙権と被選挙権、3 小選挙区比例代表並立制の内容、4 政党・政策本位の選挙、5 供託金、6 重複立候補、7 選挙運動期間、8 戸別訪問、9 連呼行為などの選挙運動、10 新聞・放送による選挙運動、11 選挙運動費用、12 選挙運動・政治活動・選挙広告、13 選挙違反と連座制、14 選挙犯罪、15 公務員の地位利用、16 政治資金、17 団体・個人の寄付制限、18 政党交付金とその用途など。

履修上の留意点

できるだけ出席受講すること。

成績評価の方法

期末テスト、レポート、平常点の総合評価。

教科書

前田英昭著『選挙法・資料』高文堂出版社
前田英昭監修『明解選挙法・政治資金法の手引』（新日本法規出版）
前田英昭『政治腐敗防止法を考える』（信山社）
その他各種の選挙法に関する解説書

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
比較政治学	み た け な お や 三 竹 直 哉	経 A ・ 商 12以降入学生/経B	4

講義のねらい

世界のいろいろな国で起きていることを手がかりに、さまざまな政治現象がどう説明されるかを、いっしょに考える授業です。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、指定してある教科書を使い、方法論の基礎の基礎を勉強します。それから、優れたドキュメンタリーなど、かなりの数のビデオ教材を見て外国の様子を知り、随所で比較政治学分野で現在行われている最新の研究を紹介していきたいと思っています。2002年度は、移民政策の比較研究に特に力を入れたいと思っています。

前期中もしくは、後期中に、もう一冊か二冊、教科書として指定した本を買っていただく可能性があります。

この授業についての最新の情報は、下記のホームページで見られますので、ご利用ください。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

履修上の留意点

クラス全体の雰囲気や人数にもよりますが、3~4人のグループに分けて意見交換する時間を多く作りたと思いますので、そのつもりで参加してください。

なお、本を教科書として指定した場合には、授業は指定した箇所を読んできて、内容について討論する形式になります。読んできていない人は授業に参加できなくなりますので、注意してください。

成績評価の方法

学年末試験と平常点によります。詳しいことは最初の授業で説明しますし、下記のホームページにも掲載しますので、履修登録される方は<必ず>参照してください。なお、2002年3月まで掲載されているものは、あくまでも2001年度用です。2002年度用の情報は、2002年4月に入ってから確認してください。

<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

教科書

高根正昭『創造の方法学』（講談社）640円
他に一冊、もしくは二冊、指定する可能性があります。

参考書等

適宜指示します。

その他

授業では、みなさんがせつかく6年間（以上）も勉強した英語がさびつかないように、英語に接する機会を少しでも多く作るようにします。英語の資料は英語のまま見せたり配布したりします。

ホームページにこの授業用の掲示板を設けますので、質問や話し合いに使ってください。
<http://homepage2.nifty.com/mitakezemi/>

他
履
修
学
科
目
部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代国家論	お お つ か 大 塚 桂	経 A ・ 商 12以降入学生 / 経B	4

講義のねらい

福祉国家の見直しが叫ばれて久しい状況にあります。大国・日本丸はどこへすすもうとしているのでしょうか。ありうべき国家とは何か、が現代政治学にあつて重要課題とされています。本講義は、諸君がいままで履修してきた政治学、憲法学などの学科目の知識をふまえて、現代国家の実相にせまるのを目的とします。

さしあつて、現代国家を理解するには、国家概念の展開を理論（史）的に整理することからはじめるのが、ベターでしょう。政治学の発達を顧みたととき、政治学＝国家論であつたことがわかります。講義では、隣接科目（憲法・行政法・政治制度・政治思想史・政治史・行政学）の研究成果を積極的にとりいれながら「国家」の問題を討究していきます。国家論は総合科学としての性格を有するからです。

講義の内容・授業スケジュール

- A 国家論の課題ならびに研究方法
 ①序論 ②官立アカデミズムの形成
- B 国家学説の史的展開
 ①古代国家学説 ②中世国家学説 ③近代国家学説 ④現代国家学説
- C 法治国家の構成原理
 ①法治国家論 ②政治制度 ③官僚制 ④国家緊急権
- D 行政国家の構成原理
 ①福祉国家論 ②ネオ・コーポラティズム ③シティズンシップ ④きたるべき国家像

成績評価の方法

- 受講生と相談の上で、以下のいずれかの方式によって単位を認定します。
- A方式（レポートによる単位認定）
 ～年4回の課題を提出してもらい成績を評価します。レポート作成を通して、読解力と書く能力を涵養します。
- B方式（試験による単位認定）
 ～ペーパーテスト（中間・期末）による評価です。
- C方式（AとBの折衷）
 ※ なお、B方式のみ追・再試験を実施します。

教科書

大塚桂『現代国家へのアプローチ』（成文堂）3,000円

参考書等

上記教科書にかかげてある〈関連文献〉を参照のこと

その他

私の研究室は、第2研究館8階（2835）にあります。電話は、3418-9377（直）です。質問など気軽に訪問してください。

他履修科目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国際経営論	もがきひろし 茂 垣 広 志	経 A・商・経 B	4

講義のねらい

国際経営とは、国境を越えて事業を展開している企業（多国籍企業）の戦略およびマネジメントの課題に取り組んでいる経営学の一領域である。本講義のねらいとしては、経営戦略論、管理論、組織論をベースとして、比較経営や異文化マネジメントの視点を加味して、多国籍企業の戦略行動とマネジメントの特徴を理解することにある。つまり、国内的企業ではあまり問題とならないような、企業の国際化、多国籍化にかかわる諸問題を企業経営の視点から多面的に捉え、検討することを通じて国際経営に関する基本的理解を深めることを講義の目的としている。

講義の内容・
授業スケジュール

日本企業を念頭において授業を進めるが、欧米系多国籍企業との比較、ケースを用いて理解が深められるような講義の内容を予定している。授業のスケジュールに関しては、下記のような構成となっている。

1. 国際経営論入門、2. 経営戦略の基礎と国際経営戦略、3. 企業の国際化と国際経営環境、4. 企業の多国籍化と国際化の発展段階、5. 国際競争戦略のパターン、6. 国際戦略提携、7. 国際経営組織、8. 国際経営のモデル、9. 日本企業の国際経営（日米欧多国籍企業比較）、10. 海外子会社のマネジメント、11. 異文化マネジメント、12. 海外派遣（出向）者の育成・選抜・処遇、13. 日本企業の国際経営上の課題と展望

履修上の留意点

教科書を用いて講義を進めるため、授業に教科書を携帯のこと。

成績評価の方法

成績は、期末試験の結果によるが、その際、出席状況を加味する。

教科書

茂垣広志『グローバル戦略経営』（学文社）2,800円

参考書等

必要に応じて指示する。

その他

プロジェクターを用いて講義形式で授業を進行する。また、必要に応じて資料を配布する。この科目は、再試験を実施しません。

他
学
部
履
修
科
目

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営分析論	かたぎりのぶお 片 桐 伸 夫	経 A・商・経 B	4

講義のねらい

経営分析とは、文字どおり「企業の経営を分析すること」であり、かなり多方面にわたる内容をもっています。

皆さんが将来を託そうとする会社は、

- 1 財政的に安定しているだろうか（安定性分析）、
 - 2 「儲け」はどうだろうか（収益性分析）、
 - 3 経営活動の成果はきちんと配分されているだろうか（生産性分析）、
 - 4 長期的な会社の「伸び」はどうだろうか（成長性分析）、また、
 - 5 社会に対してどのように貢献しているだろうか（社会性分析）、
- といった内容です。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、企業の毎期の経営活動を報告する「貸借対照表」や「損益計算書」などの「財務諸表」の読み方をまず説明し、安定性・収益性分析を学習します。

後期は生産性・成長性・社会性分析や、さらに、損益分岐点・利益増減その他の分析をとりあげます。

「各自が企業の経営を分析できるようになる」ため、授業で必要最小限の理論を学び、ただちに、新聞などの最新のトピックによって企業の現実にあふれます。

履修上の留意点

この授業の目的は、「財務諸表分析」を中心に、各人が就職を希望する、あるいは興味を持っている会社の「分析」をしていただくことにあります。つたなくても、ささやかでも、その成果は皆さんの貴重な「財産」です。

成績評価の方法

成績評価はレポートと授業中のテストで行います。学年末試験は行いませんのでご注意ください。

*レポート・テーマ：前期「各自が関心を持っている企業の収益性・安定性分析」

：後期「各自が関心を持っている企業の成長性その他の分析（続）」

☆提出日（授業はじめに配付するシラバスに明記）以外は受け付けませんのでご注意ください。

*テスト範囲：財務諸表数値を用いた経営比率の算出問題。

☆質問は授業以外にも研究室2307号室で随時受け付けますので、遠慮なくおいでください。

教 科 書

開講時、指示します。

参 考 書 等

随時、紹介します。

そ の 他

この科目は、再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経営情報論	た か い て つ お 高 井 徹 雄	経 A・商・経 B	4

講義のねらい

経営スタッフの役割は、意思決定を支援すること、すなわち、意思決定者が適切な意思決定を行えるよう、決定の指針となる情報を提供することに外ならない。本講義では、将来、企業や官庁における経営スタッフを目指す諸君のために、経営情報に関する体系的な観点と、情報利用技術の基礎について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

I. 経営情報とシステムの観点（前期）

(1) 科学とシステムの観点（4月～5月：4週）

情報学のバックグラウンドにある考え方や知識について整理する。科学の方法とシステムのなものの方、それに基づく問題へのアプローチとはどのようなものかについて理解を深める。

(2) 情報学の基礎と周辺領域（5月～6月：5週）

情報処理技術に関わる基礎的な勉強をする。主としてコンピュータベースのシステムによる情報の取り扱いに関し、知っておくべき基礎的事項について整理する。

(3) 情報環境の発展と経営における利用（6月～7月：5週）

経営の場における意思決定と情報利用技術の関わりについて学ぶ。まず、企業における情報利用の形態の歴史の変遷を概観する。次いで、今日から近未来において、インターネット環境下の戦略的な情報の利用はどうあるべきか。すなわち、ITを用いた意思決定と管理のあり方、また電子商取引の現在と今後の発展について考察する。

II. 情報の利用技術（後期）

(1) 多変量データ解析（9月～10月：7週）

調査収集された生のデータは、そのままでは情報としての価値はない。データを加工・分析し、それが表す意味を解釈することで初めて意思決定のための情報が得られる。ここでは、定量的データを分析するための、重回帰分析、主成分分析、判別分析法を、またアンケート調査などで得られる定性的データを分析するための数量化Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ類法について、その原理と適用方法を学ぶ。

(2) シミュレーション（11月～12月：4週）

複雑な対象の動的な特徴を分析するための有力な方法としてシミュレーション技法がある。まず、社会経済系に関するシステム・ダイナミックス、工学的システムに関する有限要素法などの数値シミュレーション、待ち行列現象の解析に威力を発揮する離散系シミュレーションなど、代表的な手法についてその特徴を概観する。次いで、乱数を用いるモンテカルロ法の基礎的方法に触れた後、離散系シミュレーションの原理とモデル構築の方法について学ぶ。

(3) DSSとES（12月～1月：3週）

人工知能の原理と、その経営の場での応用として期待されるDSS（意思決定支援システム）、ES（専門家システム）の概要について学ぶ。

履修上の留意点

「情報処理基礎」と「経営数学」を履修済みまたは同時に履修していることを前提として授業を行う。また、「統計原論」か「経営統計論」のいずれかを履修済みまたは同時に履修することが望ましい。

成績評価の方法

前期、後期末に実施する筆記試験に基づき評価する。その他、出席状況も評価に反映させる。

教科書

教科書は指定せず、授業の各テーマに沿って適宜プリントを配布する。

参考書等

本講義のテーマに関わりの深い参考書として、高原康彦・高津信三編、高井徹雄他著『経営情報システム』（日刊工業新聞社）3,200円 を推奨しておく。

その他

この科目は再試験を実施しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報理論	にしむら かずお 西 村 和 夫	経 A・商・経 B	4

講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。主に、情報の量（情報量）を定義したシャノン（C. E. Shannon）流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として（シャノンという単位で）計算できるようになります。これによって、たとえば DNA の情報を記録するために十分なフロッピーディスクの枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値（平均値）であるエントロピーという概念も理解できます。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

その後で、エントロピーによって冗長度を導入します。言語の文字や音が冗長であることが、会話を成立させるために重要であることを理解します。

途中で、古代から現代にわたる暗号の話をして、現代の暗号技術の基礎についての理解は、現代社会で生きていくために必要なことです。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 4月 3回 授業内容概説、情報とは、情報量への要求
- 5月 3回 対数の原理と性質、計算練習
- 6月 4回 情報量の定義、練習、情報量の利用、2進法
- 7月 3回 暗号系と用語、古典的な暗号、“踊る人形”の解説
- 9月 2回 現代的な暗号、暗号技術を使ってできること
- 10月 2回 符号化（JISコード、国際符号化文字集合）、対数・情報量の間試験
- 10月 2回 確率過程およびマルコフ過程
- 11月 2回 遷移確率と同時確率
- 11月 1回 エントロピーの定義
- 12月 2回 冗長度、言語のエントロピー
- 12月 1回 価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
- 12月 1回 検査桁（CD）、情報の圧縮と乱数、デジタルとアナログ

履修上の留意点

4年次で履修するのは困難です。2～3年次のうちに履修しておくように強く奨めます。また、毎回出席して計算練習に参加していないと、試験問題を解くことは無理でしょう。

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています（上表 5月参照）。

成績評価の方法

10月の中間試験（30%）と定期試験（70%）との合計点によります。

教 科 書

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、プロジェクトとプリントを使います。適当な教科書はありません。

参 考 書 等

そのつど紹介します。

そ の 他

〔関連科目〕→ 経営情報論

この科目は、再試験を実施しません。

講義内容のページ：<http://www.komazawa-u.ac.jp/du/nis/Nis/lecture/info.html>

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営統計	ちよう 長 こきよう 国 強	経 A・商・経 B	4

講義のねらい

統計と企業経営の関わりについてを展開する経営統計とは、分析目的に対応して主に経営情報としてのデータを収集・処理・分析し、複雑な現象を理解すると共に、データを生成した集団や構造についてを予測し、いろいろな意志決定をサポートすることである。経営的意志決定において最も重要なことは、将来の経営状況をどう見るかであり、その予測に対して経営統計は十分な役割を果たされるはずである。この講義では、企業経営における統計データの具体例を数多く取り入れることによって、経営統計の手法をわかりやすく説明していく。また、数学苦手の学生を配慮し、講義の内容説明は微積分などの計算をいっさい用いず、数式の使用も必要最小限に止める。

講義の内容・ 授業スケジュール

予定している講義内容は以下の通りである。

経営統計について： 経営統計の役割、基礎概念
 統計特性値： 平均、分散、正規分布
 市場調査と統計整理： 調査の諸段階、標本設計、データ整理
 経営時系列： 季節指数、時系列予測
 経営指数： 物価指数、数量指数
 統計推測： 標本分布、区間推定、仮説検定
 統計的意志決定理論： 意思決定基準、期待効用理論

履修上の留意点

年間6回程度の演習問題を適時に配布し、それを独自かつ理解的に解ければ、中間試験や定期試験に心配する必要はない。

成績評価の方法

講義への出席状況と中間・定期試験の結果により総合的に判断する。

教科書

特に使用しないが、プリントは適時に配布する。

そ の 他

統計学、あるいは統計原論を先にまたは同時に履修することが望ましい。
 この科目は、再試験を実施しません。

他
履
修
学
科
目
部

科目名	担当者名	配当学科	単 位
上代文学史	さ 佐 は 原 さ く み 美	経 A・商 12以降入学生/経 B	4

講義のねらい

無文字時代の文学のありようから、文字を得て記録され、今日にまで継承されて来た飛鳥奈良時代の文学作品を中心に平安初期頃までの文学の流れを、史的背景をふまえながら考察していきたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

神話を豊富に含む『古事記』や『日本書紀』や『風土記』などの散文文学をはじめ、『万葉集』や漢詩集などの韻文学など、それぞれの作品の一端にふれながら、上代文学のおもしろさを発掘していきたい。

履修上の留意点

教科書に載っている例文や、配布されるであろうプリントの他に、上記の作品を積極的に読んで欲しいと思う。

成績評価の方法

課題のレポートや定期試験その他出席状況（重視）などを見て評価する。

教科書

山岸徳平編『作品中心 日本文学史』（新典社）1,030円

参考書等

授業時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中古文学史	鈴木裕子	経 A ・ 商	4
		12以降入学生/経B	

講義のねらい

古代後期（平安時代を中心として）の文学史を学びます。漢詩や和歌、物語や日記などの文学作品にはどのようなものがあるか、なぜそれらが千年もの時を超えて現代にまで読みつがれて来たのか、文学史に〈女性〉が果たしてきた役割とは何なのかなど一緒に考えてみましょう。

講義の内容・授業スケジュール

韻文・散文ともに実際に作品の一節を読みながら、それぞれの作品の特色や時代の思潮を理解し、古典文学に親しむ契機となるようにします。授業は教科書のほかにプリント教材を配布し、それらを用いての講義が中心となります。また、変体仮名を読む機会も設ける予定。

履修上の留意点

教師の一方通行にならないように適宜受講生に小作文や短い発表などの課題を課す予定です。

成績評価の方法

前期・後期に一度ずつ行う試験・授業態度・課題などから総合的に行います。

教科書

年表資料『中古文学史』（笠間書院）

参考書等

授業中に指示します。

他履修科目
学修部

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中世文学史	坂口博規	経 A ・ 商	4
		12以降入学生/経B	

講義のねらい

中世時代の文学の流れを考える。政治史的には鎌倉・室町時代と称される中世時代の文学史は、実はその鎌倉期と室町期とで作品傾向が大きく推移していることを考えたい。

講義の内容・授業スケジュール

開講時、総論として古代からの伝統、また近世への展開を配慮して中世時代の文学を概観し、各ジャンルにわたりその史的展開を講じてゆく。

履修上の留意点

授業で取り上げられる作品や作者等について、詳細に論じられないので、文学辞典に紹介される程度の内容は読んで欲しい。

成績評価の方法

定期試験の結果と出欠状況を参考にして評価する。

教科書

乾安代・櫻井武次郎・新聞一美他著『日本古典文学史』（双文社出版）1,699円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
近世文学史	清田啓子	経 A ・ 商	4
		12以降入学生/経B	

講義のねらい

近世（江戸時代）の文学の流れを通観する。江戸時代は、庶民が力を発揮できた時代であると同時に、政治的束縛も各分野に及ぼされた。そのような中で、文学を志した人々のあり方はどんなものであったか、どういう作品が生み出されたかを探って行きたい。

講義の内容・授業スケジュール

教科書とする『近世文学史』には、作品もかなり掲載されているので、なるべく丁寧に作品の意義を見きわめつつ、近世初期から末期までの変遷を辿ることになる。

履修上の留意点

文学とは何か、を、常に念頭においてほしい。

成績評価の方法

学年末の定期試験、夏期レポート、折々の提出物等による。

教科書

佐藤毅他編『近世文学史』（双文社出版）1,800円

参考書等

教室で指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
近代文学史	さ せ お う じ 笹 瀬 王 子	経 A ・ 商	4
		12以降入学生/経B	

講義のねらい

日本の近代は、江戸から明治へと改元された時から始まるとされる。文学の世界も同様である。旧来の文学を一新し、近代文学としての歩みを始め、自立し、その独自性を発揮するまでの道程を知り、確認することは文学研究の上からばかりでなく、今を生きる私達現代人にとっても自ら〈近代〉を問う意味で有意義となろう。

講義の内容・
授業スケジュール

本講義では、明治開化期の文学の考察を手始めとして以降は時代の流れに沿って文芸思潮を中心にその時々の文学運動を参看しながら個々の作品の歴史的な意味について考えていく。

履修上の留意点

講義の性格上、ともすれば作品名の羅列になりがちであるが、可能な限り数多くの作品にじかにふれるようにしたい。従って、受講者は知識として作品名を覚えればよいというのではなく、あらかじめ課題となる作品を自主的に読み、考える姿勢を強くもって講義に臨むことを要望する。

成績評価の方法

受講態度、学習意欲等の平常点、レポート、試験によって総合的に評価する。

教 科 書

岡保生、大久保典夫編『現代日本文学史』（おうふう）
吉田精一編『近代文学』（おうふう）

参 考 書 等

講義の際、適宜指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代文学史	こ は や し お さ む 小 林 治	経 A ・ 商	4
		12以降入学生/経B	

講義のねらい

現代日本文学の流れを概観しつつ、時代との関わりの中で生成される作品の系譜を考える。現代の起点を関東大震災のあった大正12（1923）年前後に置き、以降、昭和の終り（1988）まで見ていくことになろう。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は総論と昭和20年の敗戦までを、後期にそれ以後を取り上げる予定。

履修上の留意点

授業で取り上げた作品は、できるだけ多くを授業と平行して読むことが望まれる。また、特に詳しくふれる作品はあらかじめ指示するので、必ず読んでおくこと。

成績評価の方法

定期試験の結果、レポートの内容等を総合し、さらに出欠状況を加味して評価する。

教 科 書

三好行雄編『近代文学史必携』（学燈社－別冊國文學－）1,000円

参 考 書 等

『時代別日本文学史事典（現代編）』（東京堂出版）6,000円

履他
修学
科目部

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
異文化コミュニケーション	おくはら じゅんこ 奥 原 淳 子	経 A ・ 商	4
		12以降入学生/経B	

講義のねらい

目的は「外へ目を向けること、そして同時に内を知ること」です。「外」と「内」は、それぞれ「外国」に対する「日本」であり、「他」に対する「自己」でもあります。

近年、国際化がますます進み、異なる文化を背景とした人との交流が盛んになってきました。しかも、国籍、年齢、文化背景、ステータスなど実に多様化しています。このような状況にあつて、今後必要となってくるのは、「異なる文化を理解し、受容すること」であり、同時に、「自己の文化を理解し、発信すること」だと言えます。

しかし、理解すること、受容すること、そして、発信することは容易なことではありません。それらについて、一つ一つ考えていきたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

授業では、以下の問題について考えていきます。

- ・「日本人」とはだれか。
- ・「コミュニケーション」とは何か。
- ・それぞれの状況での自分（相手）の態度はどのような価値判断に根ざしているのか。
- ・文化摩擦はどうして起こるのか。
- ・言語や非言語コミュニケーションは国によってどう違うのか。
- ・日本文化や日本語にはどんな特徴があるのか。
- ・異なる文化背景を持った者同士は共生していくことができるのか。また、そのためにはどうしたらいいのか。

履修上の留意点

授業は教師側からの一方的な知識の伝達ではなく、学生自身が考え、調べ、発言する形をとりたと思います。具体的には、多くの文献を読むこと、グループでの意見交換や考察、発表などが授業の中心的な活動となります。従って、受身でなく、自ら積極的に学ぶ姿勢を持って授業に臨むことを期待します。

成績評価の方法

出席・提出物・発表・授業態度・試験

教 科 書

開講時指示します。

参 考 書 等

開講時指示します。

他履修
学科目

科目名	担当者名	配当学科	単 位
時事英語（前期）	おかもと 岡 本 誠	経 A・商 12以降入学生/経B	4

講義のねらい

「時事英語」なる英語があるわけではない。英語でいえば“Current English”ということになる。文学作品でお目にかかるような構成や文体のものではないわけである。メディアの英語と考えてよい。

小説やドラマには起承転結というか、順を追ってプロットが展開され、終りに近くなってクライマックスに達する。時事英語では、これとは逆に、最初に話の内容を全部さらけ出し、重要な点から説明していく。この最初の部分をleadという。

かくして、内容の構成や文体の点で新聞・雑誌・放送といったメディアで接する英語についてはそれなりの認識が必要となる。本講義ではそういった分野の英語にふれることをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

その日の朝のアメリカからの短波放送のニュースを聴き、そのニュースキャスターの原稿を作ってみる。インターネットも利用した内外の新聞やNewsweekなどの記事も併用する。受講する諸君はこの分野の語法である journalese に親しみ、新聞英語ぐらゐは読み慣れるようにしてほしい。

履修上の留意点

世界の政治・経済の動きに注意を払ってほしい。それが社会の事象に対して問題意識をもつことに通ずる。こういう態度はいよいよ社会人になるときにモノを言う。講義中にケータイを鳴らした者は減点。

成績評価の方法

受講中の発表。小テスト。出席状況。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

『時事英語講座』（研究社）

履他
修学
科目
目録

科目名	担当者名	配当学科	単 位
応用計測学（前期）	かしおえいじ 檀 尾 英 次	経 A・商 12以降入学生/経B	1

講義のねらい

放射線機器工学を2年次に学習し、医用機器工学を3年次に学習するが、これらの講義で含まれなかった重要な機器について行う。

医用画像診断装置を主体とするが、生体電気計測および生体磁気計測についてもそれらの基本を学ぶ。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 核医学診断装置
 - 放射性核種および放射線計測の基礎
 - ガンマカメラ
 - SPECT
 - PET
 - 核医学データ処理装置およびソフトウェア
- 2) 超音波診断装置
- 3) PACS（画像管理システム）
- 4) 生体電気計測
- 5) 生体磁気計測

履修上の留意点

あらかじめ放射線計測学および放射線機器工学を習得していること。国家試験で核医学機器関連に対応できるよう講義するので全員受講することが望ましい。他学科にあっては高校で物理を習得していることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験および出席状況により評価する。

教科書

教材としてプリントを使用する。

Ⅳ 「日本語」・「日本事情」科目

IV. 「日本語」・「日本事情」科目 (対象：外国人留学生・海外帰国子女)

《日本語科目》

日	本	語	I	〈佐野典子〉	473
日	本	語	I	〈多田羅哲子〉	473
日	本	語	II	〈佐野典子〉	473
日	本	語	II	〈多田羅哲子〉	474
日	本	語	III	〈多田羅哲子〉	474
日	本	語	III	〈湯村礼子〉	475
日	本	語	IV	〈石川守〉	475
日	本	語	IV	〈湯村礼子〉	475
日	本	語	V	〈石川守〉	476
日	本	語	V	〈多田羅哲子〉	476
日	本	語	VI	〈石川守〉	477
日	本	語	VI	〈多田羅哲子〉	477

《日本事情科目》

日本事情 I 〔地理〕 (前期)	〈須山	聡〉	477
日本事情 II 〔自然〕 (前期)	〈清水	善和)	478
日本事情 III 〔歴史〕 (後期)	〈宮本	由紀子)	479
日本事情 IV 〔思想〕 (前期)	〈赤羽	由規子)	479
日本事情 V 〔社会〕 (後期)	〈山田	信行)	480
日本事情 VI 〔政治・法律〕 (後期)	〈前田	英昭)	480
日本事情 VII 〔文学〕 (後期)	〈岡田	豊)	481
日本事情 VIII 〔文化・芸術〕 (後期)	〈赤羽	由規子)	481
日本事情 IX 〔経済〕 (前期)	〈瀬戸岡	紘)	482
日本事情 X 〔経営〕 (前期)	〈鈴木	幸毅)	482

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語Ⅰ	さ の の り こ 佐 野 典 子	全 学 科	2

講義のねらい

日本語の聴解能力の向上を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の映画・TVドラマなどの内容を把握する。

成績評価の方法

試験、提出物、授業態度、出席率などにより、総合的に評価する。

教 科 書

特に教科書は使わない。聴解シートは、その都度、配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語Ⅰ	た た ら あ き こ 多 田 羅 哲 子	全 学 科	2

講義のねらい

常用漢字の読み方を中心に日本語の知識を強化する。
漢字の正確な読み書き、語彙の様々な意味・使い方、文法、表現等の練習を通して日本での生活および専門教科の学習に役立つ日本語の知識を身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

- ・常用漢字を正確に読めるようにする。そのためには読み方のルールも知る。
- ・語句の基本的意味・用法とともに学生生活に必要なと思われる派生的意味や使い方も練習する。
- ・助詞・機能語・慣用表現・文法事項等の復習もする。

成績評価の方法

平常点と期末試験の成績で評価する。

教 科 書

プリント教材（常用漢字を基本とした語彙集、および文系教科の概論、入門書、新聞等から抜粋した例文集）を配布する。

「日本語
事情」

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本語Ⅱ	さ の の り こ 佐 野 典 子	全 学 科	2

講義のねらい

日本語の読解能力の向上を目的とする。

講義の内容・
授業スケジュール

小説、ノンフィクション、エッセイなどを輪読する。

成績評価の方法

試験、発表、提出物、出席率などにより総合的に評価する。

教 科 書

授業で使用する教材は、担当者が、そのコピーを用意する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅱ	たたらあきこ 多田羅 哲子	全学科	2

講義のねらい

- 話すことを中心に日本語の運用能力を養う。
- 事実の説明や、スピーチ、質疑応答、討論等を通して、正しく適切な表現を用いて日本語が自由に話せるようになることを目指す。
- 発音、アクセント、イントネーション等、自分の日本語を自分で見直し矯正する習慣をつける。
- あわせて書く練習もする。

講義の内容・授業スケジュール

- 発音アクセントの基礎練習、朗読練習等を行う。
- 読んだこと、聞いた内容を自分の言葉で説明したり、それに対する自分の考えを述べる練習をする。
- スピーチをし、その内容について質疑応答、意見交換、討論等を行う。
- ディベートを通して適切な表現で自己主張したり、相手を説得する練習をする。
- 話したことを文章にまとめる。
- テープを聞き自分の日本語を意識し矯正する。

履修上の留意点

積極的に授業活動に参加し、提出物は必ず提出すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

必要に応じてコピーを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本語Ⅲ	たたらあきこ 多田羅 哲子	全学科	2

講義のねらい

- 聴きとることを中心に日本語の総合的能力を養う。
- 話題になっていることについて生の日本語を通じて深く理解し、また的確に表現できるようになることを目指す。
- 一つのテーマについて聴きとる（見る）・読む・話す・書く活動を通じてバランスのとれた日本語の力を身につける。

講義の内容・授業スケジュール

- 今話題になっているテーマについてビデオを見たり、本・新聞・雑誌などの文章を読んで内容を把握する。
- その内容を説明したり、それについて自分の考えを述べたり討論したりする。
- また、それらを文章に表現する練習もする。

履修上の留意点

必ず出席し、授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点、つまり授業中の発音や提出物を重視する。

教科書

ビデオを使用。プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語Ⅲ	<small>ゆ む ら れ い こ</small> 湯 村 礼 子	全 学 科	2

講義のねらい

これまで修得してきた日本語能力をさらに強化し、文献を自分で調べながら読み、理解できるようにする。さらに、文献を通して、考え、自分の意見を持ち、発表・説明ができるようになることを目指す。

講義の内容・授業スケジュール

新聞・雑誌・文学作品・専門書などから教材を選び、読み進める。読んだ後に、意見を出し合ったり、討論を行ったりし、さらに認識を深め、最後に小レポートを提出してもらう。後期には、各自分担当を決めて調べたり、資料を収集したりしての発表も行なう。

履修上の留意点

授業活動を重視するので、当然、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

試験（漢字・語彙テストetc）、内容把握小レポート、授業での発表、その他の授業活動（発言、他の人の意見を良く聴くこと・授業態度etc）を総合的に評価する。

教科書

授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語Ⅳ	<small>い し か わ まもる</small> 石 川 守	全 学 科	2

講義のねらい

日本語の中上級の文型、表現、会話の表現を学ぶことを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. 形式名詞を中心とした表現。
2. 最近よく使われる会話文型を分析する。
3. 会話特有の表現について学ぶ。

履修上の留意点

受身の立場ではなく、できるだけ発言することが望ましい。

成績評価の方法

授業へのとりくみと期末試験等で総合的に評価する。特に出席は重視。

教科書

授業中に配布する。

参考書等

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語Ⅳ	<small>ゆ む ら れ い こ</small> 湯 村 礼 子	全 学 科	2

講義のねらい

書くことを中心に授業を進める。日常生活、大学生活に必要な文章力をさらに高めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

文・段落・文章の書き方、文章の種類などについて講義し、実践し学生に書いてもらう。書いたものについて再度見なおし進めていく。

履修上の留意点

講義・授業中の実践活動が重要なので、毎時間の出席を原則とする。

成績評価の方法

作文・レポートなど（5回程度）
授業活動（発言、授業態度、授業中の提出物etc）

教科書

授業中にプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語Ⅴ	いしかわ まもる 石 川 守	全 学 科	2

講義のねらい

日本語の「基礎文法」についてより深く理解するために詳しく分析し、そこに潜む日本語文法の特質を考え、ひいては話し、聞き、書き、読む際により正確に深く日本語が理解できるようになることを目指したい。したがって、基礎的な文法に特に自信のない学生に受講してもらいたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、テキスト「日本語基礎文法」を使って、そこに出てくる項目を中心に、ともに考え分析しながら進めていきたい。始めは、初級レベルから始め、時間が許せば中級レベルのものも分析してみたい。

履修上の留意点

扱う学習項目は主に初級文法であるが、文法的な問題は基本的なものほど難しく、また深く掘り下げて分析して行くので、内容は単なる初級であると考えないでほしい。

成績評価の方法

成績評価は、筆記試験と平常点（出席、授業への参加度）の二つで評価する。

教科書

教材は、授業中にプリントを配布する。

参考書等

特になし

その他

授業は講義形式ではなく、常に教師から学生に質問をする形で行なっていく。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語Ⅴ	たたら あきこ 多田羅 哲子	全 学 科	2

講義のねらい

- ・読むことを中心に話す力、聴解力、作文力など日本語の総合的な能力を高める。
- ・現在マスコミ等でよく使われている表現、外来語等の語彙などを知る。

講義の内容・授業スケジュール

本・新聞・雑誌等の生教材を読んで、今話題になっていることについて、語彙・表現・文法事項などを確認する。
テーマについて話し合ったり書いたりする。

履修上の留意点

授業中の活動が大切なので必ず出席すること。

成績評価の方法

平常点を重視する。

教科書

プリントを配布、ビデオも使用。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語VI	いしかわ まもる 石川 守	全 学 科	2

講義のねらい

「いろはがるた」にあらわれる古くから庶民に親しまれてきた日本のことわざを通し、日本人の考え、日本語の表現、文法などを学んでいく。

講義の内容・授業スケジュール

「いろはがるた」を読みながら、その内容について討論し、また、自国のことわざについて考えていく。

履修上の留意点

できるだけ、発言すること。

成績評価の方法

平常点と試験

教科書

コピーを配布する。

参考書等

随時、教室で指示する。

その他

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本語VI	たたら あきこ 多田羅 哲子	全 学 科	2

講義のねらい

読解能力を向上させる。
文章を読むことを通して、文法や適切な語彙の使い方を確かめ、表現力を養う。

講義の内容・授業スケジュール

小説・エッセイなどを中心に読み、そこに出てくる表現、語彙の使い方、文法などを確かめ、正しくより適切に使えるよう練習する。

履修上の留意点

授業に積極的に参加すること。

成績評価の方法

平常点と筆記試験

教科書

プリントを配布。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情I 〔地理〕(前期)	すやま さとし 須 山 聡	全 学 科	2

講義のねらい

日本のさまざまな地域についての知識を深め、日本の地域的な特徴について考察する。

講義の内容・授業スケジュール

授業はゼミ形式で進める。受講者で日本の特定地域（都道府県あるいは都市）を分担し、それぞれに地域について毎回2～3人に発表してもらい、それをもとに議論する。

成績評価の方法

出席と発表内容、および議論への参加状況によって評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情II 〔自然〕(前期)	しみず よしかず 清水 善和	全 学 科	2

講義のねらい

日本はアジア大陸の東端に位置する島国であり、亜寒帯の北海道から温帯の本州を通り亜熱帯の沖縄まで、約3,000kmの細長い国土を有している。四季の季節変化が明瞭で梅雨や台風、日本海の多雪のような独特な気象現象もみられる。また、37万平方キロメートルの狭い国土の中に、山脈、丘陵、河川、湖沼、平野、海岸が箱庭のように組み合わせり、多種多様な地形が形成されている。さらに、日本は複数のプレートの境界域にあたるため、世界でも有数の火山・地震地帯となっており、これらによる自然災害も多い。このような多様な自然環境を反映して、日本には独特の生物相が発達している。

本講義では日本の自然を位置、気候、地質・地形、生物の4章に分けて解説する。その際に次の3つの視点に留意する：(1) アジア全体の自然の中に日本を位置付ける、(2) 現在の状態と過去の歴史とのつながりを重視する、(3) 自然と日本人の生活、文化との関わりにも注目する。すなわち、できるだけ時間的、空間的に広い視野から日本の自然をとらえることにより、留学生の母国の自然とのつながりも確認できるようにしたい。なお、日本の自然破壊の歴史や自然保護のあり方等についても適宜言及する。

講義の内容・ 授業スケジュール

- I 章 位置
 - 1. 国土の範囲
 - 2. 行政区分
 - 3. 位置の特徴
- II 章 気候
 - 1. 世界の気候帯
 - 2. 海流
 - 3. 気候の特徴
 - 4. 気団と季節
 - 5. 台風
 - 6. 天気予報
 - 7. 生物季節
 - 8. 俳句と季節
- III 章 地質・地形
 - 1. 弧状列島
 - 2. 変動の歴史
 - 3. 多様な地形
 - 4. 火山
 - 5. 地震
- IV 章 生物
 - 1. 世界の植生帯
 - 2. 日本の植生帯
 - 3. 生物地理区
 - 4. 日本の海産生物
 - 5. 帰化種の侵入
 - 6. 自然保護の制度

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

レポート(2回)と出席回数に基づいて評価する。

教科書

特定の教科書はなし。

参考書等

参考書は適宜紹介する。

その他

毎回配付する補助教材のプリントを用いて講義する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅲ 〔歴史〕(後期)	みやもと ゆきこ 宮 本 由 紀 子	全 学 科	2

講義のねらい

日本の歴史を学ぶことで日本民族の持つ民族性を理解する手掛りとして。

講義の内容・
授業スケジュール

特に江戸時代に至る過程を講義し、鎖国制度の完成までを目安にする。

履修上の留意点

板書を中心とし、わかり安く楽しい講義をこころがけるので、ノートを取り、理解できないところは質問するなどして疑問を残さないようにすること。

成績評価の方法

出席日数を評価の参考とし、レポートまたは筆記試験で成績の評価とする。

教 科 書

なし

参 考 書 等

その都度知らせる。

そ の 他

講義のみ

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅳ 〔思想〕(前期)	あかば ゆきこ 赤 羽 由 規 子	全 学 科	2

講義のねらい

日本人が古くから伝承してきた民族音楽の中に、日本人の精神世界を見ていく。
民族音楽とは、古来、人々が生きていく上で、衣食住と同じように必要としてきた音楽で、それは、例えば信仰、祭り、作業、遊びなどに伴う形で存在している。ほとんどは作者不詳であり、楽譜もなく、普通の人々の間で口頭伝承されていく性質のものである。テープやビデオを用いて、実際に音楽を視聴しながら講義を進めていきたい。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

そ の 他

その都度知らせる。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情V 〔社会〕(前期)	やま だ のぶゆき 山 田 信 行	全 学 科	2

講義のねらい

歴史的背景を考慮しながら、現代日本社会の基本的な趨勢と問題について概説する。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 戦後日本の社会変動
－高度成長から低成長へ－
2. 現代日本の基本的趨勢
－情報化・グローバル化・高齢化(少子化)－
3. 現代日本の社会問題
・景気後退と失業
・教育問題
・その他の病理現象
それぞれについて、新聞その他の記事を資料として用いる予定。

成績評価の方法

学期末レポートによる(予定)。

教 科 書

特になし。

参 考 書 等

資料を配布。

そ の 他

講義形式の予定。

〔日本事情〕
〔日本語〕

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情VI 〔政治・法律〕(後期)	ま え だ ひであき 前 田 英 昭	全 学 科	2

講義のねらい

日本の政治状況を外国との比較において解説する。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の政治状況をとらえた新聞記事などを読み、学生の間で意見交換する方法で勉強し、主として次のテーマの理解につとめる。
日本の国会、選挙、官僚、政策、政治史、政治文化など。

成績評価の方法

出席回数と平常点による。

教 科 書

『国会と政治改革』(小学館文庫)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅶ 〔文学〕（後期）	お か だ 岡 田 豊	全 学 科	2

講義のねらい

本講義は、日本語を母語としない留学生を対象に、問題発見能力の涵養と、日本文学・日本語に対する理解を深めることを目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

日本の現代作家の作品を取り上げて、現代の日本の文化事情や時代性と表現とを関わせて考察する。扱う作家は、村上春樹・村上龍・吉本ばなな・辻仁成を予定している。各自がテーマを選定し、調査研究して発表する、という方法で授業を進める。ビデオを上映して、作品との比較を試み、討議するときもある。

履修上の留意点

受身でなく積極的な姿勢で臨むこと。

成績評価の方法

出席・提出物・発表・授業態度

教科書

その都度指示する。

参考書等

その都度指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本事情Ⅷ 〔文化・芸術〕（後期）	あ か ば ゆ き こ 赤 羽 由 規 子	全 学 科	2

講義のねらい

いわゆる「伝統邦楽」といわれている、日本の古くからの和楽器による音楽や芝居の中に、日本人の義意識を探っていく。

また、日本の伝統音楽は、そもそもアジア諸国の音楽を学ぶことから始まり、そこから次第に日本人に合った独特のものを生み出していったのであり、更に明治以後には西洋音楽からも多くの触発を受け、戦後には「現代邦楽」を目差している。そのような過程をも合わせて見て行きたい。テープやビデオを用いて、わかりやすく講義を進めていく。

履修上の留意点

第一回目にオリエンテーションを行うので必ず出席すること。

成績評価の方法

出席数、筆記試験によって採点する。

参考書等

その都度知らせる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情Ⅸ 〔経済〕(前期)	せとおか 瀬戸岡 ひろし 紘	全 学 科	2

講義のねらい

日本の経済事情のアウトラインをわかりやすく解説します。みなさんが日本にきた以上、ぜひ知って帰りたいことを、たくさん話することがねらいです。

講義の内容・
授業スケジュール

以下のようなトピックを一回の講義でひとつずつとりあげます。しかし、とりあげる順序は、みなさんの希望に応じていれかえることがあります。

◇日本の工業、◇日本の農業および水産業、◇日本のサービス業および金融、◇明治維新以前の日本経済の歴史、◇明治維新以降の日本経済の歴史、◇第2次世界大戦以降の日本経済の展開、◇日本経済とアメリカ経済、◇日本経済とアジア経済、◇日本経済と政府の役割、◇日本の労働者・サラリーマンの生活、◇日本経済と社会や文化の変化

成績評価の方法

日ごろの授業態度で評価します。具体的には、出席40%、小テスト30%、宿題30%が目安です。再試験は実施いたしません。

教 科 書

特定の教科書は使いません。授業のなかで随時適切な本を紹介し、日ごろあなたが目にすることそのものを題材として授業をすすめます。いわば、あなたの周囲にあるものそれ自体が教科書です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本事情Ⅹ 〔経営〕(前期)	すずき こうき 鈴木 幸毅	全 学 科	2

講義のねらい

環境問題を取り上げ、外国の状況と比較しながら日本の特徴をとらえる。

成績評価の方法

出席を重視し、時々短いレポートの提出を求める。

教 科 書

教科書、参考書は、授業のはじめに指定する。

経済学科フレックスB
第 2 部 経 済 学 科

I 全学共通科目

1 宗教教育科目

1. 宗教教育科目

仏教と人間	〈皆川広義〉	491
仏教と人間〔再クラス〕		
仏教と人間	〈小坂機融〉	492
仏教と人間〔再クラス〕		
仏教と人間〔再クラス〕	〈松本史朗〉	492
仏教と人間〔再クラス〕	〈河村孝道〉	492
仏教と人間〔再クラス〕	〈岩永正晴〉	493
仏教と人間〔再クラス〕	〈晴山俊英〉	493

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間	みながわ ひろよし	経 B 1 必	4
仏教と人間〔再クラス〕	皆 川 広 義	全 学 科	4

講義のねらい

仏教の開祖・釈尊（おしゃかさま）の生涯と教えを学ぶことによって、現代に生きる私たちの人間としての道を学んでゆきたい。

釈尊は、約2500年まえ、インドのヒマラヤ南麓にあった釈迦国の皇太子として生まれた。彼は、青年時代までは幸せな人生を歩んでいたが、ある日身近にいる人々の老病死の苦悩をみて、自分もいつかはあのような一大事に直面することを自覚させられた。

釈尊は、この生死の苦悩から解脱して、安心と生きがいを求めて、沙門という宗教者になられた。沙門は、樹下石上に生活し、三衣一鉢しか所有しないで、道を求める宗教者であった。彼は幸いにも六年の修行の後に、菩提樹下で座禅瞑想中に悟りを得て、生死の苦悩からの解脱道を発見せられた。人間が、なんのために生まれ、成長し、そして老い、病にたおれ、死してゆくのかという人生の目的をも悟られたのである。

釈尊は、悟りを得てから45年間、八十歳で亡くなられるまで、自分が悟り発見した生死の苦悩からの解脱道と人生の目的とを、多くの苦悩に打ちひしがれている人々に伝道されたのである。

本学は、曹洞宗がこの釈尊の教えにもとずいて設立した大学であり、この『仏教と人間』の講義を通して、各自がおのれの人間としての道を学びとっていただきたい。

講義の内容・授業スケジュール

はじめに、人間と宗教について、社会学、心理学、宗教学、仏教などをふまえて、わかりやすく語りたい。

次に、釈尊の生涯と教えを考察し、彼の宗教の成立とその教えへの世界へのひろがりについて述べる。

結びに、仏教の教えを通して、私たちがなんのために生まれ、成長し、老病死してゆくのか、つまり、人生の目的について、各自が自分の問題として明らかにできるようにしてゆきたい。

I 人間と宗教

- 1 現代人の意識と行動
- 2 世界の宗教状況
- 3 我国の宗教と問題点
- 4 有所得の宗教と無所得の宗教
- 5 人間存在の有限性 生老病死

II 仏教 仏教の開祖 釈尊の生涯と教え

- 1 釈尊の国インドと時代
- 2 誕生と成長
- 3 出家求道 沙門の道
- 4 菩提樹下の悟り 自己の真実 生命
- 5 初めての説法 釈尊の教え ①縁起説 ②血諦説
- 6 45年の伝道
- 7 沙羅双樹下の入滅
- 8 弟子たちによる仏教の誕生
- 9 釈尊仏教の世界へのひろがり

III 人生の目的

私たちは、なんのために生まれ、成長し、老い、病にたおれ、そして死してゆくのか。

積極的に聴講し、学習することを希望する。

宗教教育科目の「仏教と人間」は、本学がほこりうる講座であり、この授業を通して他大学ではなかなかない人間の陶冶と人格の完成をなしとげて、豊かな人生をつくりだしていただきたい。

履修上の留意点

成績評価の方法

聴講態度（出席率など）、レポート、年度末の定期試験などによって、総合的に評価する。

参 考 書 等

奈良康明『仏教と人間』（東京書籍）1,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間	こ さ か き ゆ う 小 坂 機 融	経 B 1 必	4
仏教と人間〔再クラス〕		全 学 科	4

講義のねらい

当授業は、大学教育を実施するに当って、先づ本学の建学の理念である仏教思想による知性と慈悲とを兼ね備えた人間の育成を目指し、仏教的情操を基調として、広い知識と専門の学位とを修得して行くという本学独自の講座である。

仏教は、人間および世界に対する深い洞察からもたらされた思想信仰である。偏りのない智慧の獲得をもって一切を正しく認識判断して、おのおのの実人生を虚妄なものではなく、確実なものとして生きる道を示して来た。仏教は、伝統を有しているが、決して古くさいものではなく、常に現実の事として響くものであるから、これからの諸君の学業と人生に生かされることを切望する。

講義の内容・授業スケジュール

1. 現代文明社会の明と暗
2. 現代文明の理念を吟味する
3. 科学技術の飽なき進歩への信仰と危惧
4. 人間の自然認識とその問題点
5. 人間—その成りたちと変貌—
6. 本能と自我とエゴイズム
7. 仏教における人間観・世界観・自然観
8. 仏教による認識と行動
9. 仏教を基盤とする文化・社会・政治・経済等
10. 逼塞しない人生

履修上の留意点

この講座の核は、誰れもがそらすことのできない課題であるので自身で真剣に考えることに努めてほしい。

成績評価の方法

授業の伝達度を確認するため、毎時間その日の問題を提示して解答して貰うことと、期末試験・出席状況等によって評価する。

教 科 書

講義形式、出来れば1～2回坐禅実習。

参 考 書 等

松本史朗著『仏教への道』、奈良康明著『仏教と人間』（共に東京書籍）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	ま つ も と し ろ う 松 本 史 朗	全 学 科	4

講義のねらい

本学の建学の理念である「仏教の教義と曹洞宗立宗の精神」を学生諸君に理解してもらうことが、この講義のねらいである。従って、仏教とは何か、それは人生において如何なる意味をもつのかを、分かりやすく説明したい。

講義の内容・授業スケジュール

講義は、仏教成立以前のインド思想から始めて、仏教の開祖である釈尊の思想、さらに大乘仏教の經典の思想、及び、日本仏教の思想の説明へと進みたい。

成績評価の方法

年度末の試験によって、成績を評価する。

教 科 書

松本史朗『仏教への道』（東京書籍）1,400円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	か わ む ら こ う どう 河 村 孝 道	全 学 科	4

講義のねらい

宗教—仏教・禅の教えを学び、その教説を通して自己の生死の問題を考えてゆく。

参 考 書 等

宗教学Ⅰ・Ⅱ

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	いわなが しろうせい 岩 永 正 晴	全 学 科	4

講義のねらい

曹洞宗によって創立された駒澤大学で学ぶ学生諸君に仏教への関心を持ってもらうことが本講義の目的です。しかし、煩雑な儀礼や慣例・漢文などの語学・特殊な用語・独特の思考法・多量の文献など、諸君から仏教を遠ざける要因は少なくないでしょう。そこで本講義は、その要因のひとつ、仏教で用いる用語の解説に主眼を置きながら、仏教の考え方を紹介していきます。宗教にまつわる問題が取り沙汰される昨今、ひとえに熱狂したり嫌ったりするのではなく、仏教について冷静に考察するための材料が提供できれば、と考えています。

講義の内容・
授業スケジュール

原則として毎回ひとつの用語をテーマに定め、解説する。

履修上の留意点

成績評価に際しては、平常点など補助的な評価材料を一切用いないので注意して貰いたい。

成績評価の方法

学年末の試験のみによって成績評価を行う。レポート・出席点等はない。

教科書

講義の進行に随って資料を配布する。

参考書等

平川彰著『仏教入門』（春秋社刊）
古田紹欽訳注『正法眼蔵随聞記』（角川文庫）
その他は講義の中で適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
仏教と人間 〔再クラス〕	はれやま しゅんえい 晴 山 俊 英	全 学 科	4

講義のねらい

仏教と一口に言っても、場所により宗派により様々な相違があり、場合によっては同じ仏教でも180度違う主張をする。これは人間が人間として生きることの多様性を示していることに他なるまい。仏教を信じる信じない、そして何が「正しい仏教」なのかは、最終的には個人の信念に依ろうが、一社会人としてその予備知識を養っておきたい。その意味も込めて、本講義のねらいは各国・各宗派の特徴とその背景を、大きな仏教史の中で概観して貰うことにある。

講義の内容・
授業スケジュール

釈尊の生涯とその教えに始まり、インド・中国・日本における仏教の展開と主な人物、特徴を概説していく。

履修上の留意点

仏教が何らかの展開する際には、必ず人間の何らかの要請が介在していると思われる。本講義を通じて、そういった人間の要請というものを考察されたい。

成績評価の方法

期末試験に出席の状況を加味して評価する。

参考書等

授業において適宜指示する。

2 教養教育科目

授業時間表の区分「B」の科目を履修する場合は、
フレックスBの頁を参照してください。(→P. 435)

2. 教養教育科目

(1) 人文分野

宗教学〔聖と俗〕〈菅原 壽清〉	499
宗教学〔比較宗教文化〕〈田中 かの子〉	500
文学〔日本文学-古典-〕(1)(3)〈合瀬 純華〉	501
文学〔日本文学-近代-〕(2)〈保明 陽子〉	501
歴史学〔日本近代史〕(1)〈林 彰〉	502
歴史学〔中国古代史〕(2)〈小林 惣八〉	502
歴史学〔中国古代思想史〕(3)〈小林 惣八〉	502
哲学〔西洋思想の源流〕〈河谷 淳〉	503
哲学〔近代の人間観と世界観〕〈伊古田 理〉	503
哲学〔現代文明と人間〕〈鈴木 聡〉	503
論理学〔科学方法論と現代論理学〕〈伊古田 理〉	504
論理学〔科学方法論と現代論理学〕〈麻生 享志〉	504
倫理学〔現代と倫理〕〈古田 知章〉	505
倫理学〔人生と倫理〕〈末木 恭彦〉	505
教育の思想〈伊藤 茂樹〉	506
教育と社会〈伊藤 茂樹〉	506
発達と学習の心理学〈川田 三夫〉	507
カリキュラムと学習〈川田 三夫〉	507

(2) 社会分野

法学・憲法〔法と権利〕〈鶏 徳 啓 登〉	508
法学・憲法〔法と社会生活〕〈長谷川 日出世〉	508
社会科学論〔社会認識の思想〕〈枝 松 正 行〉	509
経済学〔現代経済と人間〕〈明 瀬 政 治〉	510
社会学〔現代社会を考える〕〈呉 炳 三〉	511
社会学〔現代文化を考える〕〈橋 爪 敏〉	511
統計学〔社会現象の統計的決定〕〈新行内 康 慈〉	512
文化人類学〔文化と人間〕〈川 上 新 二〉	512
文化人類学〔諸民族とコスモロジー〕〈杉 井 純 一〉	513
政治学〔政治システムと政治参加〕〈浦 田 早 苗〉	514
政治学〔国際社会と日本〕〈山 村 恒 雄〉	514

(3) 自然分野

心理学(1)〔ヒューマン・ウォッチング〕〈鈴木 順 一〉	515
心理学(2)〔人間関係を考える〕〈鈴木 順 一〉	515
生物学〔生態と進化〕〈清水 善 和〉	516
生物学〔生物と環境〕〈中 村 敏 枝〉	518
コンピュータ基礎(1)・(3)〔コンピュータと情報〕〈竹 田 洋 一〉	519
コンピュータ基礎(2)・(4)〔コンピュータと情報〕〈小 川 健 次 郎〉	519
地球科学〔地球環境の現在・過去・未来〕〈山 縣 毅〉	520
地球科学〔変動帯としての日本列島〕〈藤 井 享〉	521
自然環境論〔宇宙から見た地球環境〕〈篠 原 正 雄〉	522
自然環境論〔環境と保全〕〈山 縣 毅〉	522

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗教学 〔聖と俗〕	すがわら としきよ 菅 原 壽 清	経 B 選 II以降入学生/経A・商選	4

講義のねらい

人間の精神世界の根源にあって人びとの生活を支える宗教文化の理解は、現代社会においても不可欠であると思われます。そこで、本講義では「聖と俗」というテーマで、人びとの暮らしと宗教について、その宗教的営みを宗教人類学の視点からとらえて行きたいと考えております。授業の前期は宗教学・宗教人類学・特に「聖と俗」についての基礎的な問題を、後期は東南アジア・中国雲南の人びと、日本人などの宗教文化について具体的な事例を基にしながら、現代社会との関わりや人びとの暮らしと宗教について講義して行きたいと思っております。

講義の内容・
授業スケジュール

- 〈宗教人類学入門〉
 1. 宗教と宗教人類学（宗教をとらえる視点）
 2. 宗教人類学の研究領域（多様なアプローチ）
- 〈宗教の多様性〉
 3. さまざまな宗教形態（その多様な形態）
 4. 宗教の分類方法（現代の分類方法）
- 〈聖なるコスモロジー〉
 5. 聖と俗
 6. 東南アジア・中国雲南の人びとの暮らしと宗教
 7. 日本人の生死観
シャーマニズムの世界

成績評価の方法

試験・出席・その他

教科書

指定なし。

参考書等

授業で紹介

その他

東南アジア・中国雲南のビデオ・スライドなども使用

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
宗 教 学 〔比較宗教文化〕	た な か 田 中 かの子	経 B 選 以 降 入 学 生 / 経 A・商 選	4

講義のねらい

宗教は、人間が自他の生命（いのち）をより善くまっとうするための究極的な拠りどころと生き方を提示する。

諸宗教の興起し発展してきたこの世界において、わたくしたちはいま、宗教を比較して、宗教それぞれの現代的意義と役割を見出すべき時機を迎えている。

以上の視点から、本講の宗教学は、諸宗教のありかたをとおして生命（いのち）と人間性の普遍的価値を観ることをねらいとする。

講義の内容・ 授業スケジュール

現代世界に生きつづける諸宗教のなかから講義担当者自身の現地調査と人々との交流経験をともなう宗教のいくつかを選び、それぞれの歴史・思想・文化について解説する。さらに、宗教間に生じる誤解や偏見を指摘し、正しい「他者」認識と平和友好的な「人間」理解とはどうあるべきかを考える。それにはなによりまず、それぞれの宗教を信奉する人々が「生命（いのち）を」まっとうするための道（a way of 'Life'）をどのようにあゆんでいるのかを実際に観ることが望ましい。

ひとつの宗教につき2回分の講義を割り当てるなかで、2回目は主として、

- 1) 祈りの声や聖歌（録音テープ）を鑑賞して生きた宗教の聴覚的イメージをとらえ、
- 2) スライド上映により宗教生活の実際を垣間見る。

年間のプログラムは以下のとおりである。

- I. 比較宗教学の基礎知識（宗教学における比較とは何か、宗教多元主義の問題点、聖なるものをめぐる諸宗教の構成要素一覽）。
- II. 宗教史の歴史的連関を考慮し、1) ゴロアスター教、2) ユダヤ教、3) キリスト教、4) イスラーム、5) シーク教、6) ヒンドゥー教、7) ジャイナ教、8) 仏教、9) 仏教とキリスト教の比較美術の順に講ずる。

履修上の留意点

世界の諸宗教と仏教との接点を探り、現代における仏教ならではの役割を見出そう。

成績評価の方法

各自の創意工夫を「答え」とする論述式の学年末試験、レポート、出席状況。

教 科 書

プリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文学(1)(3) 〔日本文学「古典」〕	お お せ す み か 合 瀬 純 華	経 B 選 以降入学生/経A・商選	4

講義のねらい

平賀源内といえばエレキテルの発明家であり、本草学者、鉱山開発、殺人の末の獄死など、その破天荒な生涯から奇人変人として知られている。だが、彼の文学作品は当時の江戸の戯作者たちに影響を与え、「江戸戯作の祖」として評価されている。日本の古典文学史においては源内が生きた18世紀後半は、文化の中心が上方から江戸へ移行し、洒落本や黄表紙など多様な都市文芸が開花する時期でもある。以上の観点から、この講義では平賀源内の文学と江戸中期の戯作を鑑賞することを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

まずは文学史的な知識をふまえた上で、平賀源内の生涯と時代背景を概観し、特に小説『風流志道軒伝』を現代語訳しながら講読する。その他の江戸戯作については、具体的な作品を影印と翻字によって読みながら、版本の書型とジャンルなど書誌的なことにも留意する。

履修上の留意点

講義中の私語、携帯電話の使用(含メール)は禁止する。

成績評価の方法

出席状況および前後期2回の定期試験による。

教科書

必要に応じてプリントして配布する。

参考書等

中村幸彦校注『風来山人集』(岩波書店、日本古典文学大系)その他。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
文学(2) 〔日本文学「近代」〕	ほ あ き よ う こ 保 明 陽 子	経 B 選 以降入学生/経A・商選	4

講義のねらい

明治以降における日本の「近代化」を、「文学」という切り口で考える。先行する西欧の「近代化」を前提に、その影響を否応なく受けてきた過去の歴史的経緯を考慮しつつ、近代社会において文化後進国ゆえの、曖昧かつ複雑な構造をもつ、日本独自の「近代化」を文学的視座からとらえる。主に、啓蒙色の強い明治三十年代の文学的素材をもとに、現代社会をかいま見る。

講義の内容・授業スケジュール

文学作品に現れた様々なテーマは、作品の古今にかかわらず、現代社会を個人レベルで読み解く鍵である。日常にある「文学」的なものという身近な視点から、敢えて通俗性という枠組みをとおして、そこに潜む「社会」の様相をかいま見る。具体的には、近年話題になっている現代作家の作品と、明治時代の文学作品を比較しながら、そこにある「文学」とは何を意味しているのか、を探求する。前者については講義開始時に公示するが、後者については明治大正時代に活躍した徳富蘆花の代表作『不如帰』などを取り上げる。

履修上の留意点

この講義では、みなさんと共に「今」を考えることを主眼としている。年間を通して、文学作品を本格的に読むことでしか得られない情報を取得し、現在と一緒に考えていくために、実際に作品を読み、授業に出席し、かつ参加していくことが望まれる。

成績評価の方法

毎回の授業を通して課されたテーマの考察が、不定期なレポート提出という形で成績に反映される。

教科書

適宜講義で指示する。

参考書等

適宜講義で指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学(1) 〔日本近代史〕	はやし 林	あまら 彰	4
		経 B 選 11以降入学生/経A・商選	

講義のねらい

本年度は、明治・大正期の思想を中心に考察していく予定である。西洋から輸入された近代思想が日本でどのように展開されるのか、逆に伝統的な思想（儒教など）が近代思想とどう対立・錯綜していくのか。それらを概観していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

前期は近代史の概説をこころみる。その後、知識人・民衆、体制側の思想動向をみていく。とくに、明治後期の思想（初期社会主義・修養思想など）には重視していきたい。

成績評価の方法

レポートと定期試験、講義への出席。

教科書

講義中に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学(2) 〔中国古代史〕	こばやし 小林	そうはち 惣八	4
		経 B 選 11以降入学生/経A・商選	

講義のねらい

中国史の歩みを大別すると、黄河文明、殷周時代、秦漢時代、魏晉南北朝時代、隋唐時代、五代・宋時代、元・明・清時代、新生中国とに分けられる。本講義ではその歩みを多角的にとらえ通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、中国史の概説書や図表を座右に置いて聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
歴史学(3) 〔中国古代理想史〕	こばやし 小林	そうはち 惣八	4
		経 B 選 11以降入学生/経A・商選	

講義のねらい

ユウラシア大陸の歴史の歩みは、中国を中心に北アジア、中央アジア、西南アジア、東南アジア、インドが相互に影響しあいながら進展していく。本講義では、中国の歩みを多角的にとらえ、時に周辺諸民族の歩みにも触れながらこれらを通観するものである。

成績評価の方法

前・後期のレポート提出と定期試験による総合評価。
詳細は追って指示する。

教科書

特別定めないが、アジア史の概説書や図表を座右において聞くことを望む。

その他

出席を重視する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲学 〔西洋思想の源流〕	かわたに 河 谷	あつし 淳	4
		経 B 選 11以降入学生/経A・商選	

講義のねらい

この授業ではギリシア哲学（古代哲学）とキリスト教哲学（中世哲学）とを主に扱う。これらふたつの哲学思想は西洋思想の二大源流に対応するものであり、それぞれは知と信という対立のもとに理解することができよう。しかしながら、ふたつの源流は不連続と同時に連続性という側面も併せ持ち、複雑に分岐・合流を繰り返しながら近現代の思想へと流れ込んでいる。そうだとすれば、現代の私たちが古代・中世哲学について考えるということは現代哲学の一形態であると言ってもよいであろう。

講義の内容・
授業スケジュール

講義では次のような内容を取り扱う。
 ①ギリシア哲学（ソクラテス以前・ソクラテス・プラトン・アリストテレス）
 ②キリスト教哲学（教父哲学、スコラ哲学）
 ③近代哲学（デカルト、ロック、カント）

成績評価の方法

中間・期末試験（それぞれ40点満点）、レポート、出欠による総合評価。

教 科 書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲学 〔近代の人間観と世界観〕	い こ た 伊 古 田	まさる 理	4
		経 B 選 11以降入学生/経A・商選	

講義のねらい

近代以降の人間の活動のありかたを考察することをねらいとするが、本年度は「技術」をテーマとし、「ものをつくる」という人間の活動のもつ意味と問題点をさぐる。

成績評価の方法

試験（夏期中間＋期末定期）＋レポート課題による。

教 科 書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
哲学 〔現代文明と人間〕	す ず き 鈴 木	さとの 聡	4
		経 B 選 11以降入学生/経A・商選	

講義のねらい

本講義では、イギリス経験論・プラグマティズム・現象学・生の哲学・分析哲学などにおける素材の中で厳選されたものを叩き台として、一つの問題をとことん考え抜くという態度を学生諸君が身につけるための機会を提供したいと思う。

講義の内容・
授業スケジュール

《合理的な行為と因果性》を中心テーマとし、以下の素材を叩き台として講義を進める予定である。

1. ヒュームの因果性
2. 逆向き因果
3. 時間論
4. ニューカムのパラドクス
5. 囚人のディレンマ

履修上の留意点

毎回の出席が望ましい。

成績評価の方法

成績は、中間試験・期末試験・小レポート・出席点で評価する。

教 科 書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

そ の 他

本講義は、講義→レポート（質問）→レポートを反映した講義→……という形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	いこた まさる 伊古田 理	経 B 選 11以降入学生/経A・商選	4

講義のねらい

現代論理学の内容を、「ことばの正しさ」のうちで「推論の正しさ」のかたちづくる領域がどのようなものかを考えることにより、紹介してゆく。

具体的には、「推論の正しさ」の領域がどのようなメカニズムで機能しているかを習得することを第一の目標として、そのうえで（時間の許すかぎり）こうした領域の位置づけについて論ずることにしたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①古典的三段論法
- ②公理系Ⅰ～命題論理
- ③公理系Ⅱ～述語論理
- ④コンピュータと論理

成績評価の方法

年2回の試験（夏期中間試験＋年度末定期試験）を実施し、それとは別に各学期にそれぞれレポート課題を出す。

詳細については、授業開始時のガイダンスの際に説明する。

教科書

開講時に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
論理学 〔科学方法論と現代論理学〕	あさお たかし 麻 生 享 志	経 B 選 11以降入学生/経A・商選	4

講義のねらい

西洋哲学の中で、論理学は常に大きな位置をしめてきた。論理とは何か、正しさをどう説明すればよいか、真理をどのようなものとするか、といった問題の考察に、「論理学」は欠かせない。このような「論理の本性への考察」には、古代ギリシャの哲学者、アリストテレスの論理学を知る必要がある。彼の論理学には、当時の学問がおかれた状況が強い影響を与えていたと考えられる。その後、自然科学の発達によって学問状況は変化した。その変化に対応する形で論理学の変革も試みられた。さらに、二十世紀に入って、数学研究と論理学研究の交流・接触が考えられるようになる。このように論理学は変化の歴史を持つ。そこで①論理とは何かを考え、②変化する論理学の各内容についての知識を持ち、③日常生活における論理の活用について、自分で考えることの手引きを与えることをねらいとする。

講義の内容・
授業スケジュール

論理の本性、真理論、パラドックス、アリストテレス論理学、帰納法論理、実験主義論理学、論理学方法論、記号論理学概論、日常生活における正しい推論、学問と論理などの話題が考えられる。

履修上の留意点

大学という学問の場においては、講義を理解し、練習問題をこなし、内容を記憶するだけでは、十分ではない。自分で検討し、疑い、考えることが絶対に必要である。そのために、自分で本を読んだり、調べたりという作業が加わる。意欲ある取り組みと、徹底的に自分の頭で考える姿勢を求めたい。

成績評価の方法

平常点として、出席と、講義中に行う問題や論述を主な評価材料にし、前期・後期試験・夏休みのレポート成績を加味する。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

基本的にはなし。

その他

講義と問題演習（ないし論述筆記）。早退は、許可のない限り認めない。主体的な質問は大いに歓迎する。初日はガイダンスとし、定時から五分程度、または正規の終了時刻前五分間に資料を配布して質問を受け付けます。（その間は、雑談的内容にあてる予定で、退出自由。）この時配布する資料は、履修に必要ですので、何らかの方法で必ず入手するようにして下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学 〔現代と倫理〕	ふるたともあき 古 田 知 章	経 B 選	4
		以降入学生/経A・商選	

講義のねらい

今日、多くの領域で、倫理の確立、再構築が求められている。これは、言い換えると、現代において倫理というものが分からなくなっていることの現れである。そして、このような状況のもと、われわれは、ひとつの人格をもつ個人として、自らの倫理観を模索していかなければならない。しかし、倫理とは何かを考えると、個々の領域、場面での「正しさ」の中身を検討すると同時に、その際の倫理的主体となるべき「自己」のあり方が知らなければならない。逆に言うと、この生きている自分が外的世界や他者と結んでいる関係、あるいは、自分が自分自身について考えることの意味などを明確にすることで、現代社会に生きるわれわれの向かうべき方向も見えてくる。そして、この見通しの上に立ってこそ、個々の領域での倫理観も意義あるものとなると考えられる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、「自己」と「世界」あるいは「他者」との関係などの、「自己」と倫理をめぐる基礎的な諸問題を整理し、後期は、前期で扱った内容をもとに、現代社会で関心が集まっている、生命倫理、環境倫理といった応用倫理に関する諸問題の検討をおこなう。

成績評価の方法

中間試験と期末試験、レポート等で評価する。

教科書

『原典による哲学の歴史』（公論社）

参考書等

講義の際にその都度紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
倫理学 〔人生と倫理〕	すえきやすひこ 末 木 恭 彦	経 B 選	4
		以降入学生/経A・商選	

講義のねらい

人は一人では生きることができない。生きることは、必然的に人と人の関りの場に身を置かねばならない。人倫の中に生きるのである。人は、また、「よく」生きることを求める。ここに、どう生きるのが「よく」生きることか、また、それがどうして「よく」生きることになるのかという問題が生じる。これらは、「倫理学」の主要な内容をなす。本講義は、我々が生きることの「倫理」性に自覚を深めることを目的として、その参考となるように先人の「倫理」をめぐる諸説を紹介する。

講義の内容・授業スケジュール

今年度は、特に環境との関わりに問題をしぼる。又、参考とする先人は、東洋（特に中国・日本）に限り、東洋の伝説的な思想が現代に於ていかに役立つかを課題としたい。教科書は、国際シンポジウム「東洋の伝統的環境思想の現代的意義」の報告論文集である。講義は、教科書に収める論文の中から講師が重要と考える論文を選び、順次読み進みながら考察を深めてゆく。

履修上の留意点

ノートは確実にとる（板書を書き写すだけでなく口頭説明も的確に要をとらえ記録すること）

成績評価の方法

中間試験と学年末試験、レポートに出席態度を加味して判断する。

教科書

『東洋的環境思想の現代的意義』（農山漁村文化協会）

参考書等

講義中に適宜に指示する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育の思想 (前期)	いとう しげき 伊藤 茂樹	経 B 2 選 12以降入学生/経A・商選	2

講義のねらい

私たちが今日知っている学校教育という営みは、近代という時代の到来とともに出現した制度であり、また近代社会を成り立たせる不可欠の制度でもある。この「公教育」のバックボーンとなった思想、歴史的経緯、その特色や社会的帰納について概観し、今日の教育やそれが直面する諸問題について考えるための手がかりを探索する。

講義の内容・
授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
・近代社会と教育
・学校という場

履修上の留意点

自分が通ってきた学校やそこで受けてきた教育について、批判的に再考する姿勢を求める。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教育と社会 (後期)	いとう しげき 伊藤 茂樹	経 B 2 選 12以降入学生/経A・商選	2

講義のねらい

学校教育という営みは社会のあり方や他の諸領域に広く影響されると同時に、社会に影響を及ぼす関係にある。また一方で、学校という場もひとつの社会を形成している。こうした観点から、現代社会における学校教育が直面している諸問題や、これからの時代に学校教育が向かおうとしている方向性について、多面的に考えていく。

講義の内容・
授業スケジュール

とりあげるテーマ群として以下のようなことがらを予定している。
・現代の教育問題
・教育改革の現在

履修上の留意点

ふだんから教育に関するニュースに気をつけ、自分なりに考えることを心がける。

成績評価の方法

学期末試験により評価する。

教科書

教科書は特に指定せず、参考書はその都度指示する。

そ の 他

この科目は、教職課程の必修科目です。教職課程・社会教育主事講座・博物館学講座のいずれかに登録していない学生の履修人数を制限する場合があります。1回目の授業に必ず出席し、担当者の指示に従ってください。

この科目は、平成11年度までに「教育原理」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
発達と学習の心理学 (前期)	かわだ みつお 川 田 三 夫	経 B 2 選 1:以降入学生/経A・商1選	2

講義のねらい

- 1) 子供の成長・発達の概要を理解する。
- 2) 学習心理学の基本的な事項を理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1) 発達や学習の理論
- 2) 乳児期・幼児期
- 3) 児童期
- 4) 青年期
- 5) 青年後期・成人期
- 6) 人格の発達
- 7) 社会性の発達
- 8) 情緒や性意識の発達
- 9) 交友・対人関係の発達
- 10) 若者文化や社会風俗
- 11) 非行等の問題行動
- 12) 情緒障害や神経症的な問題行動
- 13) 学校生活をめぐる問題点
- 14) 試験

履修上の留意点

教科書は指定せずレジュメ、資料等を配布し講義を行う。板書を少なくして、学生自身がノートを取るようにさせている。日頃から努力して語彙力を高めてほしいと思っている。

成績評価の方法

学期末に定期試験を行う。それ以外にも不定期に小試験（論述・レポート）を行うことがある。授業の際に口頭試問や提出してもらうものがあり、評価の際に考慮される。以上の合計得点で所定の基準に従い評価される。

教科書

ない。

参考書等

参考文献は授業中に適宜紹介する。

その他

授業の方法は講義が中心だが、毎回何らかの形でいろいろ質問される。現実を見聞しながら考えてほしいと思っている。この科目は、平成11年度までに「教育心理学」「青年心理学」の単位を修得した者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
カリキュラムと学習 (後期)	かわだ みつお 川 田 三 夫	経 B 2 選 1:以降入学生/経A・商1選	2

教養教育

講義のねらい

- (1) 教育課程を中心に学校の全般的な運営について理解する。
- (2) 教育や学習の基本的な知識の学習をもとにして教育者としての基礎を作る。

講義の内容・
授業スケジュール

- ①教育について、②学習・教育心理学、③教育学・教育原理、④発達心理学、⑤教育課程、⑥学習指導要領、⑦普通教育・職業教育、⑧障害児教育、⑨教育方法、⑩教育評価、⑪新しい動向 (1)、⑫新しい動向 (2)、⑬生徒・教師の諸問題、⑭教育・学校の諸問題、⑮試験

履修上の留意点

教科書は指定せずプリント、資料等を配布し講義を行う。

成績評価の方法

学期末に定期試験を行う以外にも不定期に小試験を行う。以上の合計得点（100点満点）で所定の基準に従い評価される。

教科書

教科書は特に指定しない。参考文献は授業中に適宜紹介する。

その他

授業の方法は講義が中心で、アンケート等を実施することがある。前期に、「発達と学習の心理学」を履修することを原則とします。この科目は、平成11年度以前入学者は、履修できません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と権利〕	けいとく ひろとう 鶏 徳 啓 登	経 B 選 以降入学生 / 経 A・商選	4

講義のねらい

人間は社会の中で生まれ、他の人と利害を対立しながら社会生活を営むものである以上、そこには相互の利害を調整し、紛争を解決するためのルール（規範）が必要である。「社会あるところ法あり。」（法諺）といわれるのはそれを如実に示すものである。この授業では、法の概論と基礎的な実定法上の権利・義務との二つに分けて、「法」とそこに認められる「権利」を講義する。

講義の内容・授業スケジュール

- 法の概論は次の内容を中心として行う。
 - 法の意義②法発生背景③法とその近辺の社会規範④法の種別と解釈⑤法の適用
- 実定法上の権利・義務の講義は次の内容を中心として行う。
 - 民法上の権利－権利の主体と客体、権利能力・行為能力、権利の種類と内容（財産法上の権利、親族法上の権利、相続法上の権利）、権利の発生・消滅。
 - 憲法上の権利－自由権（経済的自由権、精神的自由権、身体的自由権）、平等権、社会権（生存権、教育権、勤労権、労働者の権利）、参政権（選挙権、被選挙権）、受益権（請願権、国家賠償請求権、裁判を受ける権利、刑事補償請求権）。
 - 国家・地方公共団体の権利－国家作用と三権分立制の意義・統治機構、立法権と立法機関、行政権と行政機関、司法権と司法機関、地方公共団体の自治権と住民の権利。

成績評価の方法

出席状況と試験。

教科書

小林弘人・松村格編著『法学・憲法』（八千代出版）3,500円

参考書等

『小六法』または『ポケット型小六法』（出版社・定価各種類）、その他参考書等については教場にて説明。

科目名	担当者名	配当学科	単位
法学・憲法 〔法と社会生活〕	はせがわ ひでよ 長 谷 川 日 出 世	経 B 選 以降入学生 / 経 A・商選	4

講義のねらい

我々は、好むと好まざるとにかかわらず、法と密接なかかわりのある生活を強いられている。しかしながら多くの場合、我々はこの事実を知らず、何等かの法的問題が発生した時に初めて、これに気付く。

本講義では、まず、社会生活を営む上で不可欠な、社会規範としての法の生成およびその性質についての分析をおこなう。そして、次に、そこで得られた法概念を基礎に、国家の基本法である憲法と我々のかかわりあいを検討する。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、法を学ぶために必要な基礎的知識の修得を目指す。具体的には法と道徳の関係、法と強制、法の体系性、国家と法、実定法上の原則等。

後期は、日本国憲法を具体的に検討する。特に日本国憲法の基本原理の成り立ち、基本的人権の保障規定等についての検討。

成績評価の方法

定期試験によるものとする。

教科書

長谷川日出世著『法の基礎概念と憲法』（成文堂）

参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会科学論 〔社会認識の思想〕	えだまつ まさゆき 枝 松 正 行	経 B 選 !!以降入学生/経A・商選	4

講義のねらい

社会科学には自然科学や人文科学とは独自の対象把握の方法や体系がある。社会現象を形成する個々の人間は、生産的労働を中心とする活動の担い手としてつねに目的意識的な社会活動を行う能動的主体であるにもかかわらず、総体としての社会現象は、市場メカニズムに象徴されるように人間の意識を超えた物理現象の如き客観的な運動法則に従っている。しかもそれは連続的であると同時に、飛躍や発展を伴う固有の歴史法則でもある。グローバルトリレンマに直面した現代世界は過去に例を見ない大転換期であるが、社会科学こそは歴史科学であると同時に近未来科学であり、社会の変化・生成・発展法則の先見的な究明と管理こそは学的使命なのである。

講義ではマルクス経済学、ヴェーバー社会学、ドラッカー経営学などに学びつつ、現代の社会経済システムの転換メカニズムを解明し、オルタナティブな持続可能社会への移行を展望する。

講義の内容・授業スケジュール

上記のような社会科学的視座を基礎として、これらを現代社会に適用し、同時多発テロ以降の世界情勢や小泉「構造改革」の歴史的な性格を解明するとともに「循環型・男女共同参画社会」への現実的転換を加速しうる実践的な政策・管理科学についても明らかにしていく。

履修上の留意点

日々の経済・社会報道に関心を注ぎ、たえず生の現実素材をとりいれておくこと。

成績評価の方法

前・後期の中間試験ないしレポートと平常点により評価する。

教科書

とくに指定しないが、参考文献はその都度紹介する。

参考書等

大塚久雄著 『社会科学の方法』（岩波新書）など。

その他

毎回授業の冒頭でカードによる前回授業時の学生諸君の質問・意見・要望を紹介し、出来るだけ授業内容に反映させていく。個別の質問・相談は授業終了時に対応する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済学 〔現代経済と人間〕	みようせ まさはる 明 瀬 政 治	経 B 選 1)以降入学生/経A・商選	4

講義のねらい

本講義は、理論体系を近代経済学に依拠し、私たちがその中で日々生活している現代の市場経済の仕組み・機能をできるかぎり平易に解説し、結果として受講生諸氏の「経済を見る目」を培うことをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

受講生にあつては、本講義を単に教養科目の一つとしての経済学と考えている人もいれば、これをさらに本格的な経済学へ向かう導入部と理解している人もいると思います。

講義を進めるにあたり、前者に対しては「教養は身につけてこそ教養」と考えて、単なる「知識」の習得ではなく現実の生活の中で生かせる「知恵」となるよう工夫しています。つまり、テクニカルタームの解説に随することなく、具象から学問のコアを浮かび上がらせる手法を採っています。

また、この講義は、それ自体、完結した現代経済学への入門を企図していますので、平易な表現の中に押さえるべき主要事項はきっちりと盛り込んでいます。したがって、「経済原論Ⅱ」、「価格理論」、「国民所得論」、「財政政策」のような、経済学部で開講されているもっと上級レベルの科目への橋渡し役を意図しています。

上記の趣旨から、ここではテクニカルタームによるテーマの羅列は致しません。

講義に臨んで、私の信条らしきものを掲げておきます。

- ① 難しいことを、あーそうか、と言わせたい
 - ② きょうは「経済学」か、と言わせたい
- そして、
- ③ 結構おもしろい（じゃん）、と言わせるぞ

成績評価の方法

成績は、学期末に行う試験を中心に評価しますが、予告有りで業間チェック（クイズ）を行い、平常点として考慮します。

教科書

教科書は、開講時に指示します。基本事項を整理しておきたい受講生、もっと本格的に学びたい受講生には、下記の図書を推薦します。

参考書等

- 幸村千佳良 著『経済学事始』（多賀出版）
 伊藤 元重 著『入門経済学』（日本評論社）
 林 俊彦 著『需要と供給の世界』（日本評論社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学 〔現代社会を考える〕	お びよんさん 呉 炳 三	経 B 選 以降入学生 / 経 A・商選	4

講義のねらい

社会学が対象とする領域は「家族」「経済」「企業」「教育」「宗教」「思想」「文化」など様々である。このような領域において特徴的であるといえる問題は何だろうか。また、われわれは、それらの問題を解決するためにどのような手段を取りうるのか。この講義は、前期は社会学の基礎となる諸概念を踏まえた上で、後期よりは、以下のようなトピックスに焦点をあてて、現代社会の特徴的な問題について考察を深めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①現代の社会変動にともなう家族の変化をおう。特に乳幼児期における親との関わりや家族生活における様々な要因によって子供の社会化に影響を与え、または青春期や高齢期に様々な問題が現れる。このような一連をみていくとともに、少子化・高齢化といった家族に関する諸問題の検討。
- ②経済のグローバルイゼーションにともなう企業活動の意義、特に企業人の「豊かさ」と「余暇」の問題。
- ③社会・文化的産物として男性・女性はいかにして生産されていくのだろうか。「恋愛」、「性」、「結婚」といった事項を中心に「ジェンダー（社会的な性）」の問題を考える。
- ④若者文化（ユース・カルチャー）が現代において果たす役割とは？など文化を通じて日本人の心を分析していく。

履修上の留意点

授業を通じて、何かを学びたい学生は歓迎します。何の目的意識もなく、時計の振り子のように「出席さえすればよい」、また「教養科目なので、簡単に単位がとれる」と思っている学生は履修しないようお勧めします。

成績評価の方法

開講時に説明する。

教科書

開講時に説明する。

参考書等

講義の中に、その都度お知らせします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
社会学 〔現代文化を考える〕	はしづめ さとし 橋 爪 敏	経 B 選 以降入学生 / 経 A・商選	4

講義のねらい

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供し、あわせて、「現代社会」についての若干の問題を論ずることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

「講義のねらい」で述べたように、この講義は「社会学」の知識と、「社会学」的見方を通してみた「現代社会」の問題を扱うことになる。しかし、ほとんどの学生諸君は「社会学」についての予備知識は無いものと思われる。「社会学」は高等学校までの社会科とはかなり異なっている。そこで、まず、前期においてこのような社会学独自の社会現象の見方、考え方、基礎的な知識を理解し、後期に、こうした理解を踏まえて、「現代社会」の諸問題—文化とは何か、現代文化とは何か、大衆文化等—を扱うことにしたい。

成績評価の方法

成績の評価は、講義内容に関わる基本的な問題について、学年末におこなうペーパー・テストによって評価する。

教科書

安藤喜久雄ほか編『社会学概論』（学文社）

参考書等

高尾・橋爪編『社会学の基礎』（犀書房）
R. ニスベット『現代社会学入門1～4』（講談社学術文庫）
その他授業中に適宜指示したい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
統計学 〔社会現象の統計的決定〕	しんぎょうち こうじ 新行内 康 慈	経 B 選 以降入学生 / 経 A 商選	4

講義のねらい

統計学は、観測値からその源泉の特徴や傾向を明らかにして結論を引き出す方法であり、経営、経済をはじめとする社会現象の解析、意思決定など幅広い分野で活用されています。本講義は、統計学の入門として、その基本的な考え方と諸手法を、現実の問題を引用しながら平易に解説することをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

- ①記述統計 ②標本空間と確率
③確率変数と確率分布 ④母集団と標本
⑤推定 ⑥検定 ⑦相関 ⑧回帰

履修上の留意点

統計学は積み重ねが要求される分野です。継続して講義に出席し、一步一步確実に理解していくことが大切です。

成績評価の方法

出席状況、課題演習、期末試験を総合して評価します。

教科書

- ・P.G. ホーエル著（浅井晃、村上正康共訳）『初等統計学』（培風館）1,650円
- ・必要に応じてプリントを配布します。

参考書等

必要に応じて適時紹介します。

その他

教科書・配布資料に基づき、例題を交えて講義し、さらに理解を深めて実際に活用できるようにするため、適時課題演習を実施します。また、期末試験も実施します。

科目名	担当者名	配当学科	単位
文化人類学 〔文化と人間〕	かわかみ しんじ 川 上 新 二	経 B 選 以降入学生 / 経 A 商選	4

講義のねらい

日本にも韓国にも中国にも「愛人」という語があります。現在の日本でどのような意味で使われているか、すぐに思い当たると思いますが、韓国では恋人の意味で、中国では夫または妻の意味で使われています。また「親戚」というと、現在の私たちは具体的にどのくらいの範囲の人々まで思い浮かべるでしょうか。イトコ（4親等）ぐらいまででしょうか。韓国では6親等（祖父の兄弟の孫）や8親等（ひいおじいさんの兄弟のひ孫）まで含んで考えられているようです。では中国では？などと、同じ語でも3つの国の人々が考える内容とは各々違うようです。中国や韓国の女性は結婚しても姓は変わりません。これは現在日本で検討されている夫婦別姓の問題と同じ線上で考えられる問題かどうかなど、東アジアの3国を比べただけでもさまざまな相違点が見つかります。世界にはさまざまな民族の文化や社会が存在していますが、文化人類学は分析、比較、考察を通じてさまざまな文化を理解し、人間とは何かを考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

文化人類学の学問的特徴や、家族、姻族、親族、呪術、宗教、経済、法などの諸問題について考察していきます。

成績評価の方法

定期試験や出席状況などで総合的に評価します。レポートを提出してもらった場合もあります。

教科書

- 祖父江孝男『文化人類学入門』（中公新書）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
文化人類学 〔諸民族とコスモロジー〕	すぎ い じゆん いち 杉 井 純 一	経 B 選	4
		以 降 入 学 生 / 経 A・商 選	

講義のねらい

様々な民族が絶えず各地を移動する現代世界では、私たちは「異質な他者」との出会いを日常的に経験します。こうした多民族社会に生きる私たちは以前にもましてコミュニケーションの困難に直面します。お互いが先入観や偏見にとらわれず、十分な意志疎通を図るためには、相互の民族的、文化的背景への理解が前提となります。

文化人類学は民族や文化の多様性を比較することで、相互の文化的相違についての認識を深める学問です。例えば、人々の生活様式や儀礼、慣行を通して「人間を取りまく世界、宇宙の成り立ちやしくみ」についての多様な観念体系を理解していきます。

本講義では、前期に文化人類学の基礎、後期に民族とコスモロジーを学びます。まず、「他者を理解する」ことの困難さを味わいながら、「他者との共生」の可能性について考えていくことが本講義の目的です。

講義の内容・ 授業スケジュール

- I 文化人類学の基礎
 - 1. 文化人類学とは何か
 - 2. 文化とコミュニケーション
 - 3. 環境と人間
 - 4. ジェンダーとセクシュアリティ
 - 5. 婚姻・家族・親族
- II 民族とコスモロジー
 - 1. 呪術と宗教
 - 2. 儀礼の構造
 - 3. 儀礼・神話・世界観
 - 4. 神聖王権
 - 5. 民族・宗教・国家

履修上の留意点

ビデオを見た感想を問うことがあります。

成績評価の方法

夏期レポート（20%）、期末試験（80%）で評価します。

教 科 書

特に指定しません。

参 考 書 等

祖父江孝男『文化人類学入門』（中公新書）
佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』（新曜社）

そ の 他

できるだけ、ビデオを利用します（年に4～5回程度）。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政治学 〔政治システムと政治参加〕	浦 田 早 苗	経 B 選 11以降入学生/経A 商選	4

講義のねらい

二十一世紀が幕を開け、世界は更なる高度産業化時代を迎えた。産業・技術の進歩はこれまでにない早さで社会の変質をもたらし、そのため、「政治家のトライアングル」という言葉では、もはや日本の政治システムを語る事が難しくなってきた。政治改革、行政改革、税制改革が政治経済の緊急課題となっているが、システムの歪み、疲弊を探し当て、それを立て直すことにのみ関心をそそいでいたのなら日本の将来はないであろう。大切なのは新たなシステムの構築であり、そのためには、私たち国民一人一人が正面から政治を見つめ直すことが必要である。本講義では政治の現状を分析し、問題の根源がどこにあるのか考察して、そのためにわれわれがすべきこと、できることを考えるための一助を示してみたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の冒頭では各自の政治への関心を高めるため、その週に起こった国内外の時事問題を取り上げ解説し、現在の世界、日本が抱える課題について考える。前期の講義では、日本の政治事情の比較対照として、政治参加の進んだ欧米諸国の政治を概観する。後期は現代日本政治社会システムの分析を行う。取り上げるテーマは官僚制と天下り、会社主義の変容、スタグフレーションとその対策、公共投資の功罪、潜在的利益集団の意義、投票行動などである。

成績評価の方法

年5～6回行う小テスト－簡単な政治論評－は出席点代わりとし、学年末試験に加算する。試験はあらかじめ指示した5問から2題出題する（ノートの持ち込みは不可）。

教 科 書

特に教科書は指定しないが、さらに詳細に研究を望む学生には適宜参考書を推薦する。参考書は必読でないが、常に新聞を「読む」ことが全員に義務づけられている。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
政治学 〔国際社会と日本〕	山 村 恒 雄	経 B 選 11以降入学生/経A 商選	4

講義のねらい

「法学」や「経済学」とは違い、「政治学」に対して抱くイメージは、人によってかなり異なるようである。この授業は副題にある通り「国際社会」のなかで日本が直面するさまざまな課題を取り上げ、それを素材として「政治を見る眼」を養うことを目的とする。具体的には、素材として取り上げる問題は時事問題であるが、授業は時事問題の解説が目的ではなく、受講生のひとりひとりが、政治的問題に対して自分の意見を形成できるよう、素材として取り上げた問題を通して「分析の道具」を提供するものである。

講義の内容・授業スケジュール

時事問題を素材として用いるため、具体的な問題を予め示すことはできないが、分析のための基本的な知識として、以下の項目を取り上げる。

- 1 ウェストファリア体制の形成
- 2 近代の国際政治
- 3 現代の国際政治
- 4 冷戦構造
- 5 核兵器
- 6 食糧問題
- 7 環境破壊と持続可能な開発
- 8 日本の貿易摩擦
- 9 日本の国際貢献

履修上の留意点

受け身ではなく、積極的に授業に参加できる意欲のある人を歓迎します。

成績評価の方法

レポートと学期末試験による。評価基準については、別途配布する。なお、レポート未提出者は、学期末試験の受験資格を失うので注意すること。

教 科 書

特定の教科書は使用しない。

参 考 書 等

授業中、随時指定。

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学(1) 〔ヒューマン・ウォッチング〕	すずき じゅんいち 鈴木 順一	経 B 選 17以降入学生/経A・商選	4

講義のねらい

心理学全般の幅広い知識の概念学習は、個人的にできるので自宅でしていただきます。
授業では、主として性格心理学や臨床心理学を背景に、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いを鏡として自己を見つめ、自分や他人の性格を理解し、自己成長するための体験学習をしていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。

- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
- ② 自分や他人の性格を理解する。
- ③ 自分の性格形成史をふり返る。
- ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
- ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
- ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択して下さい。

毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないで下さい。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教科書

中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）1,500円
川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』—自己理解ワークブック—（ナカニシヤ出版）1,600円

科目名	担当者名	配当学科	単位
心理学(2) 〔人間関係を考える〕	すずき じゅんいち 鈴木 順一	経 B 選 17以降入学生/経A・商選	4

講義のねらい

より良い人間関係を築くには、自分や他人の性格を深く理解し受容する必要があるでしょう。特に、自己を知り自分をコントロールすることは重要です。

自分のことは自分が一番良く知っているようでいて、実は案外知らないことが多いことを深層心理学は教えてくれます。他人という鏡を通して自己を見つめなおさないと、本当の自分の姿はなかなか見えてこないものです。

本講座では、主として性格心理学や臨床心理学を背景にして、学生相互のコミュニケーションを深め、お互いの性格を理解し、より良い人間関係を築いていくような体験学習をしていきます。

講義の内容・
授業スケジュール

次のような内容を、講義と共にグループにより体験学習していきます。

- ① 学生相互のコミュニケーションを深め、心のふれあいを体験する。
- ② 自分や他人の性格を理解する。
- ③ 自分の性格形成史をふり返る。
- ④ 性格変容の理論と技法を学ぶ。
- ⑤ 心の悩みから立ち直る方法を学ぶ。
- ⑥ 心病む人の心理的成長を援助するかかわり方を学ぶ。

履修上の留意点

講義形式ではなく、グループによる話しあい中心の体験学習のため強い主体的参加意欲が要求されます。最初の授業で述べる授業方針とルールをよく理解して、自己の責任において主体的に選択して下さい。

毎回出席をとり、出席が重視されますので欠席しがちな人は履修しないで下さい。

成績評価の方法

平常の小試験、小レポート、そして出席点等の平常点にて評価します。

教科書

中村昭之編『心理学概説』（八千代出版）1,500円
川瀬正裕・松本真理子編『自分さがしの心理学』—自己理解ワークブック—（ナカニシヤ出版）1,600円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生物学 (生態と進化)	しみず よしかず 清水 善和	経 B 選 11以降入学生/経A・商選	4

講義のねらい

地球上の生物はすべて約40億年前に誕生した始原生物に端を発し、その後に連続と続いた進化の産物である。どの生物も進化の遺産を負って存在しており、進化を抜きにして生物を理解することはできない。また、この地球上には現在1000万種以上の生物が存在していると推定されている。肉眼では見えないバクテリアから体長20 mを越すシロナガスクジラまでさまざまな形、大きさの生物が熱帯から極地、高山から深海まで地球上のあらゆる場所において独自の生活を築いている。そして、これらの生物は孤立して存在するのではなく、互いに密接な関係を保ちながら地球上にさまざまな生態系を形成している。この複雑、多様な姿が生物のもう一つの特徴である。一方、生命の基本的な情報を担う分子である遺伝子の研究が進んで、あらゆる生命現象を遺伝子レベルで統一的に理解することも可能になってきた。そこで、本講義では生物の進化、多様性、遺伝子を3つのキーワードにして、生物の分類や生態の実際を体系的に捉えるとともに、生物の進化や多様性の維持に関するメカニズムについて解説する。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 第1章 遺伝子と進化-我ら生物みな兄弟
 - (1) 生命の歴史性
 - (2) 遺伝子と生命現象
 - (3) 進化のメカニズム
- 第2章 40億年の生物進化-偶然と必然が織りなす奇跡
 - (1) 地質年代図
 - (2) マーグリスの共生説
 - (3) カンブリアの爆発
 - (4) 大量絶滅
 - (5) 生物の上陸
- 第3章 系統と分類-名もなき雑草はない
 - (1) リンネ式分類体系
 - (2) 生物五界説
 - (3) 種の定義と属性
 - (4) 分子時計と系統樹
- 第4章 行動と進化-生物は誰がために生きるか
 - (1) 動物行動学の歩み
 - (2) 適応度とゲーム理論
 - (3) 利他的行動と血縁淘汰
 - (4) 性選択と性比
 - (5) 利己的遺伝子
- 第5章 個体群生物学-産めよ殖えよ地に滴てよ
 - (1) 潜在的な増殖率
 - (2) 密度効果
 - (3) 生命表
- 第6章 共生と競争-出し抜きながら深い仲
 - (1) 種間関係と共生
 - (2) 花と昆虫の共進化
 - (3) 菌根
 - (4) 擬態
- 第7章 人類の進化-ヒトは唯一の生き残り
 - (1) 霊長類の系統
 - (2) ヒトの発展段階
 - (3) ホミニゼーション(ヒト化)
 - (4) 人体の特徴
- 第8章 進化論-進化論も進化する
 - (1) ダーウィン以前
 - (2) ダーウィン進化論
 - (3) ネオ・ダーウィニズム
 - (4) 進化論批判
- 第9章 生態系-命は無数のつながりの中で
 - (1) 生態系(エコ・システム)
 - (2) 食物連鎖と生物濃縮
 - (3) 光合成と呼吸

- (4) 生産諸量
- 第10章 物質の循環-元素はめぐるよどこまでも
 - (1) 物質循環の大原則
 - (2) 水の循環
 - (3) 炭素の循環
 - (4) 窒素の循環
 - (5) 地球環境の形成
- 第11章 植生遷移-裸地もいずれは森林に
 - (1) 遷移のモデル
 - (2) さまざまな遷移
 - (3) 森林の更新
- 第12章 生物多様性-多様な世界に未来あり
 - (1) 3つの多様性
 - (2) 多様性の尺度
 - (3) 生物地理区と植生帯
 - (4) 多様性の危機
- 第13章 人為と生物-生物界のグローバリゼーション
 - (1) 里山の生物
 - (2) 都市と生物
 - (3) 帰化種の侵入

履修上の留意点

特になし。

成績評価の方法

試験、レポート、出席を勘案して評価する。

教科書

特に定めない。

参考書等

章ごとに適宜紹介する。

その他

講義で必要な図表は適宜プリントにして配布する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生物学 〔生物と環境〕	な か む ら と し え 中 村 敏 枝	経 B 選 以降入学生/経A・商選	4

講義のねらい

米同時多発テロ事件が起きた2001年9月、国内では、狂牛病問題が浮上した。狂牛病は牛の致死性の感染症であるが、病原体がプリオンというたんぱく質であること、ヒトおよび他の生物に種の壁を越えて感染することが生物学的には興味深い。英国でこれが蔓延したのは羅病した牛の屍体を飼料（肉骨粉）として用いたことによるという。つまり、経済性・効率性の追求の結果である資源の有効利用が、草食動物である牛に肉食、しかもとも食いをさせたため生じた、人災なのである。人間の生産活動は、生物と環境にいま何をもたらしているのだろうか。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. はじめに 地球の歴史・生命の誕生
2. 生物の生活
 - a. 生命の維持
 - b. 植物の物質生産
 - c. 植物の生産過程
 - d. 植物の相互作用
 - e. 植物群落の遷移
 - f. 動物の個体群
 - g. 個体群の内部構造生殖行動
 - h. 生殖行動
 - i. 動物の種間関係
3. 生態系
 - a. 物質循環とエネルギーの流れ
 - b. 生態系の安定性
4. 人間の活動と地球環境
 - ・化学物質の功罪
 - a. 化学物質と生物
 - b. ダイオキシン
 - c. 内分泌攪乱化学物質（環境ホルモン）
 - ・生物工学
 - d. 遺伝子組み換え生物
 - e. クローンと動物工場
 - f. 生殖医療
 - ・地球環境問題
 - g. 開発による自然の改変
 - h. オゾン層の破壊
 - i. 地球温暖化
 - j. 原子力利用の諸問題
 - k. 食料と人口・人類の未来

履修上の留意点

義務教育までの数学、理科はじめ各教科の知識を本講義の前提とする。
意見発表の場を設けたいので、積極的に取り組む学生の参加を期待します。

成績評価の方法

期末試験と平常点で総合評価します。

教 科 書

赤堀他著『生物学 - 地球に生きるいのちを考える』（宣協社）

参 考 書 等

その都度紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (1)(3) 〔コンピュータと情報〕 (前期)(後期)	たけだ よういち 竹 田 洋 一	経 B 選	2

講義のねらい

これまでコンピュータにあまり接したことのない初心者を対象にして、ビジネス社会に出るときに戸惑わない程度までの初歩的なパソコンでの情報処理能力を実習を通して身につけることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

情報教育センターのパソコン（OSはWindows）で主としてワープロソフト（WORD）と表計算ソフト（EXCEL）を用いる実習を行う。Windowsの基本的操作、日本語入力の仕方、基礎的な文書装飾、基本的な表計算とデータ処理、などを扱う予定である。

履修上の留意点

一人一台のパソコンを使用する授業であるが教場のパソコン台数には限りがあるので受講希望者多数の場合は抽選を行う。また授業での学習だけでは不十分なので積極的な自主学習（自宅または情報センターの自習室などのパソコンで）を並行して行うことが強く望まれる。

成績評価の方法

毎回の出席状況、提出してもらった課題、そして筆記テストの三つを総合的に判断して最終的な成績評価を行う。

教科書

教科書は使用しない。そのかわり毎回プリントを配布する。

参考書等

参考書は必要に応じて適宜授業の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
コンピュータ基礎 (2)(4) 〔コンピュータと情報〕 (前期)(後期)	おがわ けんじろう 小 川 健 次 郎	経 B 選	2

講義のねらい

インターネットの原理や原則を学ぶ。その上で実現されているさまざまなサービスを、実習を通じて理解する。

講義の内容・授業スケジュール

多数のコンピュータがネットワークを通じて相互に接続されたインターネットについて学ぶ。この上で具体的に電子メールやWWWなどのサービスを取りあげ、実習を通じて理解する。こうしたサービスを通じて、何ができるか、何をやってもよいか、何をやってはいけないか、といった事柄を、技術的、倫理的、法的側面から学ぶ。

履修上の留意点

予備知識は仮定しないが、講義は必ず毎回出席し、出題された演習を必ず解いているものとする。半期の授業なので、就職活動や教育実習などで2回以上休むことが当初から予定されている学生は、その時期の授業は履修申請しないこと。駒澤大学の総合情報センターのコンピュータの利用申請が必須となる。利用申請は、授業の中で適宜行う。

成績評価の方法

評価は授業時間中に適宜行う演習やレポートによって行う。

参考書等

参考書は必要に応じて紹介する。

そ の 他

実習のために、計算機室で講義を行う。コンピュータの数に限りがあるので、受講者数を制限することもある。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地球科学 〔地球環境の現在・過去・未来〕	やまがた 山 縣 たけし 毅	経 B 選 以降入学生/経A・商選	4

講義のねらい

現在、地球温暖化、海水準の上昇、オゾン層の破壊などの地球規模の自然環境の変化が、21世紀の大きな問題として捉えられています。これらの問題に対処する手段、特に自然環境がどのように過去、将来において変化し、それが何に起因するかを推定・予測する手段の一つとして地球科学があります。本講義では、地球科学による過去の環境（古環境）の推定・復元方法を、地球環境の変遷を創生期から現在までたどりながら、理解してもらうことを目標としています。

また、私たちが住んでいる関東地方の古環境の復元も、いくつかの地域を例に取りながら解説していきます。受講者にとって、自分の居住地域と共にグローバルな自然環境についても考える契機になることを期待します。

講義の内容・ 授業スケジュール

前半に地球科学の概説を行い、後半に地球環境の変遷、関東地方の地質について講義をしていきます。

1. 地球の内部構造と地質変動
2. 地球の環境変遷
3. 関東地方の地質
 - ・ 関東平野の断層と地震
 - ・ 房総・三浦半島の地質－付加テクトニクス－
 - ・ 伊豆大島、箱根の火山活動
 - ・ 関東山地の地質
 - ・ 関東平野の地下表層部の地質

成績評価の方法

定期試験と出席状況により評価します。

教 科 書

特に定めない。

参 考 書 等

『最新 図表地学』（浜島書店）ISBN 4 - 8343 - 4002 - 3 C7344

そ の 他

OHP、スライド等を使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地球科学 〔変動帯としての日本列島〕	ふじい 藤 井 享	経 B 選	4
		!!以降入学生/経A'商選	

講義のねらい

地球科学は、地形、岩石、地質、火山、地震、重力など地球に関するさまざまな現象を研究する分野であるが、地殻の変動や地形・地質の形成史を究明することが特に重要である。日本列島はユーラシア大陸と太平洋に挟まれており、島弧―海溝系（海溝を伴う弧状列島）の変動帯である。日本列島付近は4種類のプレートが衝突しあっており、火山活動、地震が多発、地形の起伏が大きく地質構造も複雑である。したがって、日本列島は世界でも第一級の変動帯とって過言ではない。

日本列島は火山活動や地震の頻発する自然条件下にあるため、否応なしにそれらに遭遇することも止むを得ない。したがって、これらの自然現象を正しく理解し、日頃から関心を抱くとともにその対策を講じることが重要である。本講義は、以下のような変動地形と日本列島の地形の由来を十分理解できるように展開したいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

授業は地図を多用して、世界で最も活動的な変動帯としての日本列島の地形を多角的に扱ってみたい。主な内容とスケジュールは次のとおりである。

- ① 地球上の変動帯とプレートテクトニクス
- ② 島弧―海溝系の変動帯と日本列島
- ③ 島弧と火山帯
- ④ 第四紀の地殻変動（曲動地形、断層地形等）
- ⑤ 日本列島の活断層
- ⑥ 日本列島の巨大地震と変動地形
- ⑦ 火山活動と火山地形
- ⑧ 最終氷期と後氷期の日本列島

履修上の留意点

「地球科学」は、地球の内部や地表で行われる自然現象を扱うために、地図を多用する。そのため、「地図帳」（高校で使用したもので可）を準備すること。また、講義ノートをとることは重要。地図やその他の図を書くことが多いので、色鉛筆（12色）を準備してほしい。

成績評価の方法

テスト、レポート、出席状況を総合して評価する。

教科書

使用しない。

参考書等

貝塚爽平著『日本の地形―特質と由来』（岩波新書）1977
その他の参考書、文献等は講義の中で紹介する。

その他

講義形式であるが、必要によりビデオ、スライド等を使用する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然環境論 〔宇宙から見た地球環境〕	しのはら まさお 篠原 正 雄	経 B 選 以降入学生/経A・商選	4

講義のねらい

工場が周囲を汚染する公害問題から始まって、今日では全地球的な環境問題が議論されている。人類の活動が、物質循環においてもエネルギー循環においても惑星規模に達したことの当然の結果である。本講では個別の環境問題ではなく、[地球環境]とはそもそもどんなものであり、どのように形成され、変化してきたかを論じる。

太陽系の惑星の一つである地球の自然環境は46億年の太陽系の歩みの結果形成されてきた。現在も、太陽はもちろんのこと、太陽系内外の宇宙からのさまざまな影響の下にある。また、過去30年間の太陽系探査により多くの天体が調べられ、地球をこれらの天体と比較しながら研究できるようになってきた。本講では、現代の天文学と惑星科学の成果の上に立ち宇宙の視点から地球の自然環境を考える。

講義の内容・授業スケジュール

太陽放射は地球環境の支配的な要因である。ところが人類は化石燃料の使用等により太陽放射と地球環境の関係を変えようとしている。前期は、まず太陽放射について学び、太陽系の他の惑星との比較をおりませつつオゾン層、地球温暖化について考える。

化石燃料を減らすには、原子力や太陽エネルギーなどの代替源が要る。しかしそれが別の環境破壊を引き起こす可能性もある。後期は核エネルギーと放射能環境、太陽エネルギー利用の可能性について学ぶ。さらに、地球独特の自然が形成されてきた歴史をたどり、未来を考える。

成績評価の方法

年度末に行う筆記試験による。平常点を加味する。

教科書

石田蕙一著『宇宙と地球環境』1,600円 その他、講義の中で紹介する。

参考書等

小宮山宏著『地球持続の技術』(岩波新書) 660円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
自然環境論 〔環境と保全〕	やまがた たけし 山 縣 毅	経 B 選 以降入学生/経A・商選	4

講義のねらい

18世紀後半から始まった産業革命以降、産業文明の発展により、地球規模の環境変化が自然の復元能力を超えて急激に進んでいます。その変化は、人類の生存自体にも深刻な影響を及ぼすようになってきています。本講義では、地球科学的立場から、地球環境の諸問題を解説し、人間活動が自然環境に与える影響、環境保全の意義について考えてもらうことを目標としています。実生活で体験したり、各種報道により伝えられる地球環境に関する諸事象を正しく理解するための教養を、受講者に身につけてもらえるように、講義を進めていきます。

講義の内容・授業スケジュール

1. 地球表層の環境変遷とその要因
2. 人間活動による環境変化
(地球温暖化、大気酸性化、オゾン層の破壊)
3. 資源・エネルギーと環境
4. 地質変動による環境変化と自然災害
(地震、火山活動、崖崩れ)
5. 地球環境に対する海の影響
6. 環境保全

履修上の留意点

なし

成績評価の方法

定期試験と出席状況により評価します。

教科書

特に定めない。

参考書等

講義の中で紹介します。

その他

OHP、スライド等を使用します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報数学 〔情報と論理〕	お ざ わ 小 沢 誠	経 B 選	4
		以 降 入 学 生 / 経 A ・ 商 選	

講義のねらい

数学の特徴である論理的・抽象的な考え方と、それらが情報処理における具体的・計算的な方法といかに深い関連を持つかが理解出来るようにする。

講義の内容・
授業スケジュール

前期に、集合・論理・図形と方程式・代数系・行列・行列式及び固有値を、後期に、微分・積分・積分の応用・確率・統計・数え上げの方法を扱う。

履修上の留意点

毎回出席すること。数学は一つ一つの積み重ねであるので、欠席した場合には補習が必要である。

成績評価の方法

試験の結果で評価する。出席も考慮する。

教 科 書

情報処理教育研究会『情報数学の基礎』（日本理工出版会）2,500円

参 考 書 等

野崎昭弘・田中公治『情報数学入門』（サイエンス社）1,117円

そ の 他

毎回の授業を三分割し、定義・定理の紹介、例題の解説の後、練習問題を解いていただく。

3 外国語科目

3. 外国語科目

英語 I A (経 B) 〈葉島千歌〉	529
英語 I A (経 B) 〈田中保〉	529
英語 I A (経 B) 〈杉本誠〉	530
英語 I A (経 B) 〈河内賢隆〉	530
英会話 I (経 B) 〈コブレマッキー, D. S.〉	530
英語 LL I (経 B) 〈真砂久晃〉	530
英語 I B (経 B) 〈林明人〉	531
英語 I B (経 B) 〈八十木裕幸〉	531
英語 I B (経 B) 〈田口清一〉	531
英語 I B (経 B) 〈林明人〉	532
英語 I A・I B [再クラス] 〈丹治弘昌〉	532
英語 I A・I B [再クラス] 〈伊勢村定雄〉	532
英語 I A・I B [再クラス] 〈八十木裕幸〉	533
英語 I A・I B [再クラス] 〈池上賀英子〉	533
英語 I A・I B [再クラス] 〈本間俊一〉	533
英語 II A (経 B) 〈村石恵照〉	534
英語 II A (経 B) 〈島村豊博〉	534
英語 II B (経 B) 〈河内賢隆〉	535
英語 II B (経 B) 〈葉島千歌〉	535
英語 II A・II B [再クラス] 〈丸小哲雄〉	536
英語 II A・II B [再クラス] 〈田口清一〉	536
英語 II A・II B [再クラス] 〈飯沼好永〉	536
英語 II A・II B [再クラス] 〈萩原輝〉	537
ドイツ語 I A (経 B) 〈清水修〉	538
ドイツ語 I B (経 B) 〈篠原敏昭〉	538
ドイツ語 I A・I B [再クラス] 〈百濟勇〉	538
ドイツ語 II A (経 B) 〈清水修〉	539
ドイツ語 II B (経 B) 〈篠原敏昭〉	539
ドイツ語 II A・II B [再クラス] 〈百濟勇〉	539
フランス語 I A (経 B) 〈八木明美〉	540
フランス語 I B (経 B) 〈木下雄介〉	540
フランス語 I A・I B [再クラス] 〈前田祝一〉	540
フランス語 II A (経 B) 〈八木明美〉	541
フランス語 II B (経 B) 〈木下雄介〉	541
フランス語 II A・II B [再クラス] 〈竹田正純〉	541
中国語 I A (経 B) 〈尹景春〉	542
中国語 I B (経 B) 〈王聡〉	542
中国語 I A (経 B) 〈杉山静〉	542
中国語 I B (経 B) 〈秋元翼〉	542
中国語 I A・I B [再クラス] 〈大久保明男〉	542
中国語 I A・I B [再クラス] 〈三田村圭子〉	543
中国語 I A・I B [再クラス] 〈秋元翼〉	543
中国語 II A (経 B) 〈尹景春〉	543
中国語 II B (経 B) 〈秋元翼〉	544
中国語 II A・II B [再クラス] 〈大久保明男〉	544

中国語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕〈東 映 全〉	544
スペイン語ⅠA(経B)〈亀山 晃 一〉	545
スペイン語ⅠB(経B)〈中山 直 次〉	545
スペイン語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈栗林 ゆき絵〉	545
スペイン語ⅡA(経B)〈亀山 晃 一〉	546
スペイン語ⅡB(経B)〈中山 直 次〉	546
スペイン語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕〈栗林 ゆき絵〉	547
ロシア語ⅠA(経B)〈廣田 英 靖〉	548
ロシア語ⅠB(経B)〈廣田 英 靖〉	548
ロシア語ⅠA・ⅠB〔再クラス〕〈杉山 秀 子〉	549
ロシア語ⅡA(経B)〈廣田 英 靖〉	549
ロシア語ⅡB(経B)〈廣田 英 靖〉	550
ロシア語ⅡA・ⅡB〔再クラス〕〈杉山 秀 子〉	550
英 会 話 Ⅰ〈コブレーマッキー, D.S.〉	551
英 会 話 Ⅱ〈コブレーマッキー, D.S.〉	552
英 語 LL Ⅰ〈真砂 久 晃〉	553
英 語 LL Ⅱ〈池上 賀英子〉	553

英 語 I A

〈英語 I A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : 入学時の英語を基礎として、英語の運用能力をのばします。文章表現の場合、文から段落へ、会話表現の場合、日常基本表現から、多様な会話表現の理解と運用能力を目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I A	は じ ま ち か 葉 島 千 歌	経 B 1 年	2

講義のねらい

英語を理解するためには精読と多読が必要であるが、この授業では比較的易しい英文を扱い、多読をすることでリーディング能力を高めることを目的とする。そのために1年間に易しいテキスト2冊を使用する。多読に必要な基本語彙習得の目標は3000語(担当者オリジナル)とし、10分間の単語テストを隔週に実施する。リーディングのスピードは1分間に10行以上読むことを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

1. ガイダンス
 - ・授業の進め方の説明
 - ・多読の意義について
2. 自分の能力を知るために
 - ・自己確認テスト
3. 1分間に内容を把握しながら英文を頭から読みこなす訓練をする。
 - ・内容確認、文法説明
 - ・その結果を成績グラフに記入する

成績評価の方法

中間試験+後期試験+積極的授業態度+出席の総合評価

教 科 書

1. 『*Dead Man's Island*』 600円 Oxford Univ. press
2. 『*Ear-rings from Frankfurt*』 600円 Oxford Univ. press

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I A	た な か たもつ 田 中 保	経 B 1 年	2

講義のねらい

口語英語の極めて使用頻度の高い基本的な日常表現を通して、英語的発想を学び、英語としての自然な表現に慣れて、ダイアログからディスカッションへと英語の運用能力を培うようにする。

講義の内容・授業スケジュール

授業は予習・復習を前提とした発表形式によって行なう。

成績評価の方法

成績評価の方法は、以下の項目を総合的に検討して評価する。

1. 授業時の発表
2. 授業時の小テスト
3. レポート
4. 前期・後期の筆記試験
5. 出席状況

教 科 書

『リスニングから会話への基礎演習』(朝日出版社) 1,700円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠA	すぎもと 杉本 誠	経 B 1 年	2

講義のねらい

新聞という人間生活のあらゆる面を取り扱う媒体をわたしたちの日常生活の情報源として活用することに視点を置いて、時事英語、特に新聞英語やメディア英語への理解を深めることを目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

前期は容易に、しかも楽しく英字新聞が読めることを重視し、旅行、環境、健康、スポーツなどの日常生活に密接な関わりのある記事を取り上げる。後期は、政治、経済、文化、社会生活などの記事をできるだけ多く読み、大意を把握し、読む速度をあげるようにする。内容把握、語法、リスニング、英訳などの練習問題を通じて、総合的な英語力を身につけることを目的とする。

履修上の留意点

速読が進むので、かならず毎時間の予習が必要である。

成績評価の方法

前・後期定期試験、レポート、小テスト、出席率などを総合して評価する。

教科書

福田・伊藤編『新聞の英語2002年度版』（朝日出版社） 1,400円

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語ⅠA	かわうち 河内 賢隆	経 B 1 年	2

講義の内容・授業スケジュール

ここで取り上げている主な内容は人類の未来、言語・芸術・食文化・意識の起源などを直接我々自身にかかわる今日的な課題である。興味深く読めると思う。なお基礎クラスなので文法的な事項も扱い取り上げ、やさしく解説していく。

成績評価の方法

真面目な態度と学習意欲（出席点と発表点）＋前・後期のテストの結果——それぞれを50点＋50点とする。

教科書

『知の再発見—明日への課題を考える』（金星堂）

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話Ⅰ	コプレーマッキー, D. S.	12以降入学生/経 B 1 年	2

(P. 551参照)

外国語

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語LLⅠ	まなご 真砂 久晃	12以降入学生/経 B 1 年	2

(P. 553参照)

英 語 I B

<英語 I B の授業内容と履修上の留意点>

Reading and Listening Comprehension (Reading and Listening)：入学時の英語を基礎として、より高度な構文の理解と speed reading の基礎を身に付けます。読解力の場合、精読に加えて段落、章などの大意が把握できること、聴解力の場合、大意が把握できることを目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I B	はやし 林 明 人	経 B 1 年	2

講義の内容・ 授業スケジュール

口語英作文を勉強します。テープを聴き解答を確認します。その後、関連表現を説明します。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、発表、小テスト、事前に提出する問題の解答、出席の総合評価。

教 科 書

『さあ始めよう 会話作文』（朝日出版社） 1,700円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I B	やそぎ ひろゆき 八十木 裕 幸	経 B 1 年	2

講義のねらい

ビジネス、経済、文化欄から実務に則したやさしい内容のトピックスを英字新聞などから選びプリントし、それを教材として使い、ビジネス英語の基礎を学ぶことを目的とします。また、英語のヒット曲を聴きながら音声変化に慣れ親しみ、英語の総合力向上することを目指します。

講義の内容・ 授業スケジュール

未来マネー、ノンバンク、大手企業、アメリカ経済、ヘッドハンティング、などの記事の読解、ヒットソング12曲を対象に取り上げて音の連結、脱落、同化、短縮形、音声変化の複合、注意すべき母音、音弱화를学びます。

履修上の留意点

プリントは前もって配布します。ヒットソングによるリスニング訓練はテキストを用います。予習を確実に実行してください。

成績評価の方法

前期・後期テスト、小テスト、レポート、出席状況（1回欠席＝5点減点）などを総合的に判断し評価します。

教 科 書

プリント 角山輝彦『English with Hit Songs』（成美堂） 1,700円（税別）

参 考 書 等

授業時に紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 I B	たぐち せい いち 田 口 清 一	経 B 1 年	2

講義のねらい

テキストの精読により英文の正確かつ深い読みの訓練を行なうと共に、グローバルな視野に立った総合的英語力の向上を目指す。これに加え、英語にまつわる様々な常識や背景知識を語ってくれるテキストの内容から、大学生に不可欠の”Cultural literacy”をも身につけられれば一石二鳥であろう。

尚、授業は演習形式をとるので予習を大前提とする。

成績評価の方法

出席と平常点を重視し、これに定期試験を加えて総合的に評価する。平常点では何よりも学問的意識のあり方を重視したい。尚、出席が3分の2に満たない場合は不合格とする。

教 科 書

J. McConnell, 『The Background of English（英語の常識）』（成美堂）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I B	はやし 林 明 人	経 B 1 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

問題を解きながら英語文法の基礎を勉強します。さらに、やさしいリスニング練習をします。

成績評価の方法

前・後期の定期試験、発表、小テスト、事前に提出する問題の解答、出席の総合評価。

教科書

『大学生のための基礎英文法』（成美堂） 1,700円
『超カンタン旅行英会話』（マクミラン）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	たんじ 丹 治 弘 昌	経 B 2 年	2

講義の内容・
授業スケジュール

具体的には教場にて説明します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語 I A・I B 〔再クラス〕	いせむら 伊勢村 定 雄	経 B 2 年	2

講義のねらい

英語の発音・表現をアメリカ文化を学びながら身につける。

講義の内容・
授業スケジュール

主に本文の訳読・設問により読みをダイアログで暗唱をし、English Breakで文化を学ぶ。
前期・・・Unit 1～Unit 7
後期・・・Unit 8～Unit 15

履修上の留意点

事前に必ず予習し、CDのチェックを怠りなく。辞書は持参せよ！

成績評価の方法

ペーパーテスト及びオーラルテストによる。

教科書

Sadao Isemura&Dennis R. Kogge著『アメリカン・ライフを英語で』（CD付き）1,900円

参考書等

中型英和辞典

その他

1 限目に詳細は説明するので必ず出席のこと。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	やそぎ ひろゆき 八十木 裕 幸	経 B 2 年	2

講義のねらい	ビジネス、経済、文化などに関する実用英語の運用能力をたかめることを目標とします。ヒット曲を聴きながら音声変化に対応できる能力の育成を目的とします。		
講義の内容・ 授業スケジュール	フードサービス、未来マネー、ノンバンク、新世代住宅、新型車、外資系ホテルなどに関する報道記事を読解します。併せてリスニングの訓練をします。		
履修上の留意点	プリントを事前に配布します。毎回指名して授業をすすめますので必ず予習を実行してください。		
成績評価の方法	各種テスト、レポート、出席状況（1回欠席＝5点減点）などの総合で評価します。		
教科書	プリント 角山照彦他『English with Hit Songs』（成美堂） 1,700円（税別）		
参考書等	授業時に紹介する。		

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	いけがみ かえこ 池 上 賀英子	経 B 2 年	2

講義のねらい	読解力とヒアリング能力の向上。
講義の内容・ 授業スケジュール	1回の授業で3～4頁進みます。
履修上の留意点	授業前の下調べを怠らないようにして下さい。
成績評価の方法	出席、レポート、テスト。
教科書	教室で指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	ほんま としかず 本 間 俊 一	経 B 2 年	2

講義の内容・ 授業スケジュール	教科書の英文の訳読とその構文理解を中心として学びながら、話題は英米文化圏の日常生活、そして彼らの思考、さらに日本との比較に及ぶ。通常の授業は、前もって学習する予定を発表し、予習を前提に授業を進める。さらに年間を通じていくつか課題の提出を要求するつもりである。学習においては、もちろん細部にこだわるつもりであるが、あまり細部にこだわり過ぎて全体観を失うことは愚かなことであるから、時には相手に大きな誤解を与えない程度に大胆に要約する能力を養えるようにする。		
成績評価の方法	前期と後期の2回の試験はもちろんのこととして、普段の授業での発表、さらに年間を通じての課題の提出で評価を決定する。授業の出席は3分の2以上、遅刻3回で1回の欠席と計算する。なお、課題の提出の仕方については授業で細かく説明するつもりであるが、休暇中にパソコン・ネットワークでも可能であるから興味のある学生はそれに習熟されたい。		
教科書	『愛の諸相』（朝日出版社） 1,700円		

英 語 II A

〈英語 II A の授業内容と履修上の留意点〉

英語による意思伝達 (Writing and/or Speaking) : I A を基礎として、より高度な英語の運用能力を身に付けます。文章表現の場合、段落から自由作文へ、会話表現の場合、ダイアログからディスカッションを目指します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 II A	<small>むらいし えしやう</small> 村 石 恵 照	経 B 2 年	2

講義のねらい

現実的なトピックにもとづいたダイアログモデルの習得、自分自身の経験をいかせる会話練習、語い練習などを通して会話力の充実をめざす。

成績評価の方法

評価は出席、授業参加意欲、小テスト (数回) を統合して決定される。

教 科 書

『*English Firsthand Gold Level 2*』 (Longman社) 2,300円 (CD付)
本テキストはCDが付属しているので、学生は自宅で自習することができる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 II A	<small>しまむら とよひろ</small> 島 村 豊 博	経 B 2 年	2

講義のねらい

英文を書く際に既習の文型や文法事項をどう活用すればよいかを学び、興味ある話題についてパラグラフのレベルで英文が書けることを目標にする。同時に日本とアメリカの生活文化の違いへの理解を深め、これを英語で表現できるようにする。

成績評価の方法

前後期二度の定期試験に提出物など平常点を加えて、総合評価をください。

教 科 書

斉藤 宏/Keith T. Nishimura著 『*WRITING ABOUT CROSS-CULTURAL TOPICS*』 (成美堂)
1,600円

英 語 II B

〈英語 II B の授業内容と履修上の留意点〉

Speed Reading and Intensive Reading: I B を基礎として、できるだけ多くの量を読めるように、大意の把握に心掛け、読む速度を上げます。また、より高度な英文を正確に理解するための構文も学びます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 II B	かわうち けんりゆう 河 内 賢 隆	経 B 2 年	2

講義のねらい

放送機器の発達のお陰で、世界の動きは時々刻々家庭に送られてくる。したがって、我々はその様な時事問題には無関心でいられない。本授業では主要な世界の問題を取り上げ、分析や解説を加えながらすすめていく。語学の授業なので、テープレコーダを利用しヒアリングの力をつけることも目指す。

成績評価の方法

出席点25+発表点(年間3回)25、それに前・後期の定期テスト50を加える。

教 科 書

『新世紀世界展望』(マクミラン)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 II B	はしまち か 葉 島 千 歌	経 B 2 年	2

講義のねらい

この授業では特にコミュニケーションを意識してすすめるが、英語習得には「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能が必要であるのはいままでもないことである。使用するテキストはオールラウンドにこの4技能を学習できる構成になっている。1年次で培った英語力を生かし、読解は平易な英文を文頭から一気に読み文章のかたまりとして内容を理解し、それを自分の言葉で発信できるような表現力をつけたい。

講義の内容・ 授業スケジュール

- ・ 英文理解のための解釈に必要な基本語彙の習得に単語テスト50題を「基本語彙3000」(担当者オリジナル)を使用し、隔週に15分行う。
- ・ リーディングは速読の後"Check"や"Exercise"を学習しながら要点を読む。
- ・ 内容に関連した対話の演習を行う。

成績評価の方法

中間試験+後期試験+出席3分2以上+積極的授業態度の総合評価とする

教 科 書

英米文化学会 編著 『"Domo, Dome" Paradise Fun Volga』(桐原書店) 1,600円+税

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	丸 小 哲 雄	経 B 3 年	2

講義のねらい

授業は、語学的な技術と同様に、日本と欧米との根本的な発想法のズレを考えるクラスとした。ものの考え方、価値観、生活のライフ・スタイルなどは、その国の制度・習慣・宗教といった文化規範によって培われ、またその国の気候や風土も国民性に影響を及ぼすから、そこでまず、日本文化の独自性と日本人の構想力の働き方や発想法のパターンを自己確認しておく必要がある。いわば自国の事柄に自覚的になることで、英語の潜在能力を顕在化させる基礎としたい。

講義の内容・授業スケジュール

20分間を教材を利用してリスニング・タイムとして70分をリーディング・タイムとします。リスニング・タイムは語彙と総合理解を、リーディング・タイムはテキストの読み・解釈・批評の能力を涵養してゆきます。数回の小テストを行いません。レポート提出もあります。

成績評価の方法

出席、平常テスト、前期・後期の語学試験などの総合評価。クラスでの発表者には別途評価。

教科書

リスニング・テキスト：『First Steps to TOEIC Test Listening』（桐原書店）
リーディング・テキスト：『The Compact Culture』（英宝社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	田 口 清 一	経 B 3 年	2

講義のねらい

グローバルな視野に立ち、語彙、文法、背景知識（一般教養）が三位一体となった総合的英語力の向上を目指す。そのためには、歴史、美術、音楽、数学、医学といった幅広いトピックを扱い、学生に必須の“cultural literacy”を修得すべく編まれた本テキストは格好のものであろう。年間を通して、「知的に考える語学」を徹底して実践したい。尚、授業は演習形式をとるので予習を大前提とする。

成績評価の方法

出席と平常点を重視し、これに定期試験を加えて総合的に評価する。平常点では何よりも学問的意識のあり方を重視したい。尚、出席が3分の2に満たない場合は不合格とする。

教科書

『Fundamentals-Cultural Literacy for Students-（英語で築く知の礎）』（鶴見書店）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	飯 沼 好 永	経 B 3 年	2

講義のねらい

様々な英語の文章を読みながら、より速く、正確に内容を把握する力を養うことを目指していきたい。また、リーディングの英文は、一種のライティングのお手本でもありますので、ライティングに活かせるよう、基本的な文法事項を踏まえつつ英語の文章構造も丁寧に捉えていきたい。

履修上の留意点

受け身の姿勢では自己の英語力を向上させることは困難ですから、積極的に授業に参加して下さい。そのためには予習をしっかりと行うよう心がけて下さい。

成績評価の方法

成績は、出席状況、授業への取り組み方、課題、定期試験等を考慮して行う。平常評価（50%）、前期・後期試験（50%）

教科書

リーディング：柴山森二郎・上地安貞『Read the age of Transition』（三修社） 1,800円
ライティング：プリント使用

科目名	担当者名	配当学科	単 位
英語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	はぎわら 萩原 てる 輝	経 B 3 年	2

講義のねらい

これまで学んできた英語を基礎として、自分の考えや意見を、英語で表現できる能力の習得を目標とする。

講義の内容・
授業スケジュール

4月から6月は、“Happiness”と“Money”と“Work”についての章を学ぶ。7月は前期のまとめと、前期試験を実施。9月から12月は、“Love and Hate”と“Humor and Laughter”と“Experince”についての章を学ぶ。1月は後期試験を実施する。

履修上の留意点

いつでも自分の考えや意見を英語で表現出来るようにするために、自主的に勉強する態度を身に付けて欲しい。なお、教科書、英和・和英辞典を毎時間持参すること。

成績評価の方法

成績評価は、3分の2以上の出席、授業態度、試験の結果、等の総合評価。

教 科 書

Jim Knudsen 著 「名句で英語を学ぶ」(南雲堂) 1,957円

〔ドイツ語〕

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA	しみず 清水 おさむ 修	経 B 1 年	2

講義のねらい

ドイツ語の文法を、特に日本語および英語と比較対照させながら理解し、身に付け、また基礎的な語彙を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

この授業においては「読む・書く」に重点を置いて授業を進めます。語学の学習においては「聞く・話す」「読む・書く」という要素のバランスが重要であることはいうまでもない。しかし、初めて、しかも第二外国語としてドイツ語を学ぶには、まず文法と語彙を学ぶことが重要です。ほとんどの学生が大学生になって初めて第二外国語としてドイツ語を学び始めるということを考慮して、常に「なぜ」という問題意識を提起しながら授業を進めていきます。そこでは当然、日本語や英語との比較対照が問題になり、これが日本語や英語への理解をさらに深める契機になればと考えています。

履修上の留意点

常に参加者の意欲と関心が反映される授業を心がけますので、進度は予測できません。したがって、やむを得ず欠席した時は必ず自分の責任で補ってお願いいたします。

成績評価の方法

年に2回実施する予定の試験等で総合的に判断する。

教科書

早川東三『完全ドイツ文法（改訂版）』（朝日出版社）

参考書等

ヴォルフガング・シュレヒト『独検突破単語集』（三修社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠB	しのはら としあき 篠原 敏昭	経 B 1 年	2

講義のねらい

発音や文法、簡単な文章など、ドイツ語の基礎的な知識の習得を目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

下記のテキストを用いて授業をおこないます。ドイツの文化や歴史、ドイツ人の考え方などもテキストをとおして学んでいきたいと思っています。

履修上の留意点

欠かさず出席すること、予習・課題をやってこること、辞書を必ずもってくることを。

成績評価の方法

毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になるでしょう。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。

教科書

小川さくえ他 『はじめてのドイツ語コミュニケーション』（白水社）2,100円

参考書等

授業の中で指示します。

その他

テープをつかった授業をおこなう予定です。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ドイツ語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	ももずみ いさむ 百 済 勇	経 B 2 年	2

講義のねらい

1991年以来、ベルリン・ドイツ経済研究所の客員研究員をしているが、そこではドイツ人以外の外国の学生、院生も実習生として研修している。そこで共通していることは、学習、研究の目的意識が明確であること、さらに外国語修得が優れていることだ。これまで習った蓄積を基礎にして、ドイツ語、英会話文章で朗読に力点を置く。毎回、何等かの形で読ませ、それを採点する。その平常点を重視、その結果期末試験は行わない。プリントは教場で配布。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅡA	しみず おさむ 清 水 修	経 B 2 年	2

講義のねらい

特にコミュニケーション能力の養成をめざします。

講義の内容・
授業スケジュール

最初は特に、復習に力を入れます。受講者の習熟度、意欲に合わせて授業を進めて行きます。

履修上の留意点

ドイツの文化を知り、それについて考えるということは、日本の文化を知り、それについて批判的に考えるということです。
受講者には自分自身の意見を持つこと、主体的に考えるという態度を期待します。

成績評価の方法

主に平常点で評価します。

教 科 書

プリントを用意します。

参 考 書 等

授業中に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅡB	しのはら としあき 篠 原 敏 昭	経 B 2 年	2

講義のねらい

ドイツ語ⅡA・ⅡBで習った基礎的なことがらをもとに、簡単なレベルから始めて、少しずつレベルをあげながらドイツ語の文章の理解に取り組んでいきたいと思っています。

講義の内容・
授業スケジュール

下記のテキストを用いて授業をおこないますが、ドイツの文化や生活、歴史や考え方などもテキストをとおして学んでいきたいと思っています。

履修上の留意点

予習をやってくること、欠かさず出席すること、辞書を必ずもってくること。

成績評価の方法

毎回の授業における各人の取組みを重視したいと思っています。予習や宿題の消化が大事になります。小テスト、期末試験、学年末試験などを含めて総合的に評価します。

教 科 書

シュテファン・ヴント/本橋右京『グリム童話で学ぶドイツ語』（都文堂）2,000円

参 考 書 等

授業の中で指示します。

そ の 他

テープをつかった授業をおこなう予定です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ドイツ語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	ももずみ いさむ 百 済 勇	経 B 3 年	2

講義のねらい

1991年以来、ベルリン・ドイツ経済研究所の客員研究員をしているが、ここではドイツ人以外の外国の学生、院生も実習生として研修している。そこで共通していることは、学習、研究の目的意識が明確であること、さらに外国語修得が優れていることだ。これまで習った蓄積を基礎にして、毎回、何等かの形でテストを行う。それを提出し、採点后に返す。その平常点で採点、期末試験は行わない。プリントによる試験問題は、毎回配布。

[フランス語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA	八木明美 <small>や き あ け み</small>	経 B 1 年	2

講義のねらい

初めてフランス語を学ぶ学生を対象に、フランス語の初級文法の説明と演習を行う。日常語は理解でき、辞書を使用すれば簡単な文章なら読めるようにしたい。出席を欠かさないこと。積極的に授業に参加すること。予習・復習、特に復習を欠かさないこと。

成績評価の方法

期末に行う試験ほかに、レポート、小テスト、授業中の積極性なども考慮して評価する。

教科書

『ル・フランセ』（白水社） 1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠB	木下雄介 <small>きのした ゆうすけ</small>	経 B 1 年	2

講義のねらい

フランス語の基本文法を習得する。

講義の内容・授業スケジュール

おおむね教科書の章立てにそって授業を進める。

履修上の留意点

初めて学ぶ外国語である以上、予習復習が必要なことは言うまでもない。その反面、扱うのは初歩的な事項ばかりであるから、地道な努力をつづけるなら、容易にマスターできるであろう。学生諸君の努力に期待するゆえんである。予習を怠り、教室に坐りに来るだけの学生は受講者とは認めない。

成績評価の方法

期末・学年末試験の成績に平常点を加味して採点する。

教科書

『新・ゆっくりいそげフランス語』（CD付き）（芸林書房） 2,400円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	前田祝一 <small>まえ だ のりかず</small>	経 B 2 年	2

講義のねらい

初めてフランス語を学習するものとして、一番の基礎から開始します。

講義の内容・授業スケジュール

練習問題をくり返し教室で実践して、その積み重ねで少しずつ理解を深めてもらいます。

履修上の留意点

毎週の授業が、その前までの学習成果の上に立っての新しいことの勉強ですから、決して欠席しないこと。欠席すれば取り残されてしまいますから要注意。

成績評価の方法

前・後期のペーパー・テストで成績評価をしますが、毎週の課題がどれだけ消化できているかについても配慮します。

教科書

朝倉剛編『総合フランス語一文法・演習・読章一』〈三訂版〉（朝日出版社）1,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡA	八木明美	経 B 2 年	2

講義のねらい

初級文法をひととおり学習した者を対象にさらに文法学習を通してフランス語を理解することを目的として授業をすすめる。

成績評価の方法

出席、予習・復習、積極的な授業参加を求める。前期1回、後期1回のテストで成績評価します。

教科書

『ル・フランセ』（白水社） 1,750円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡB	木下雄介	経 B 2 年	2

講義のねらい

1年次の授業で修得した文法の知識をもとに、辞書と相談しながら文章を読み解く練習をする。

講義の内容・
授業スケジュール

平易な文章の短篇小説をテキストに用いる。

履修上の留意点

予習復習が必要なことは言うまでもない。テキスト中のすべての単語の品詞名・用法を確認して授業にのぞむこと。予習を怠り、教室に坐りに来るだけの学生は受講者とは認めない。かならずともな仏和辞典を教室に持参すること（ポケット版の小辞典は不可）。

成績評価の方法

平常点を重視し、期末・学年末の試験成績を加味して採点する。

教科書

原章二編注『キャビン11』（白水社）1,365円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
フランス語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	竹田正純	経 B 3 年	2

講義のねらい

これまでに学習した諸事項の復習・補完に力を入れてゆきたい。

成績評価の方法

前・後期の最終日のテキストを中心に評価するが、平常授業で課す提出物も評価対象とするつもりである。

教科書

P・Guth（川村編）『ムスティクと砂売りおじさん』（駿河台出版社） 500円

中 国 語

中国語ⅠA・ⅠB・ⅡA・ⅡB

(P.140) 参照

【辞書について】

(P.140) 参照

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅠA	尹 景 春 <small>いん けいしゅん</small>	経 B 1 年	2
中国語ⅠB	王 聡 <small>わう そう</small>	経 B 1 年	2

講義のねらい

初めて中国語を学ぶ人を対象に、1年間で中国語の基礎が身につくようにすると同時に、言葉の勉強を通じて中国に対する関心が高まることを目指します。

講義の内容・授業スケジュール

中国語学習によって難しいとされる発音の練習を重視しながら、やさしい例文を使って基本的な文法を学び、さらに基本的な語彙や会話表現を学びます。

履修上の留意点

4分の3以上の出席と、授業中に声を出して練習する積極的な姿勢が必要です。

成績評価の方法

成績評価は、テストによりますが、出席率や日常的な学習態度も重視します。

教 科 書

尹景春・竹島金吾『中国語はじめの一步』(白水社) 2,200円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅠA	杉 山 静 <small>すぎやま やすし</small>	経 B 1 年	2
中国語ⅠB	秋 元 翼 <small>あきもと たく</small>	経 B 1 年	2

講義のねらい

中国語を初めて学ぶ者を対象とする。発音・初級文法・基本的な会話表現を学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

前期は発音の基礎やピンインのつづり方をひと通り学んだ後に文法説明に入っていく。後期は、よりなめらかな発音を目指しながら、文法知識を積み重ねていく。

履修上の留意点

初級は特に発音が大事なので、口を大きく動かし、積極的に声を出すことを望む。また、基本単語も覚える必要があるので、復習をきちんとするように。4分の3以上の出席を要する。

成績評価の方法

平常の学習態度・理解度および前後期の期末テストで評価する。

教 科 書

渡辺晴夫『中国語ハーヴェスト』(朝日出版社) 2,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	おおくぼ あきお 大久保 明 男	経 B 2 年	2

講義のねらい

正確な発音と基礎文法の習得をめざす

履修上の留意点

毎回予習、復習が必要。

成績評価の方法

以下の三項目で総合評価する
 ① 出席率：全授業回数の四分の三以上出席すること。6回以上の欠席は単位放棄とみなす。
 ② 小テスト：各課終了後に小テストを行う。必ず受けること。
 ③ 学習態度：遅刻、早退、私語、指されて「わかりません」の即答などは消極的な学習姿勢としてマイナス評価される。

教 科 書

尹景春・竹島毅『中国語はじめの一步』(白水社) 2,060円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	<small>みたむら けいこ</small> 三田村 圭子	経 B 2 年	2

講義のねらい	中国語の発音と文法の基礎を短い文例を学びながら、習得する。
講義の内容・授業スケジュール	最初の2ヵ月は、「ピンイン」の表記と、発音を中心に進める。その後は、配布するプリントと練習問題で文法の基礎を固める。
履修上の留意点	前回の失敗を繰り返さないこと。宿題は毎回提出すること。
成績評価の方法	出席重視。試験は年4回実施する。遅刻は3回で1回の欠席とする。
教科書	相原茂『1年生のころ』（朝日出版社）2,500円
参考書等	第1回の授業時に。

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	<small>あきもと たすく</small> 秋 元 翼	経 B 2 年	2

講義のねらい	再履修者がこれまでの学習方法の欠点を自覚し、自分でその欠点を克服して当初の学習目標を達成できるようにする。
講義の内容・授業スケジュール	発音入門からやり直し、初級の文法と表現を一年間でマスターする。
履修上の留意点	発音訓練が重要なので、教室では口を大きく動かし、積極的に声を出すようにしてほしい。また、基本単語を覚えることも大事なので、CD等を活用し、復習することを望む。4分の3以上の出席を要する。
成績評価の方法	平常の学習態度と理解度および前・後期の期末テストで評価する。
教科書	山田眞一『500語マスター基本中国語』（同学社） 2,300円

科目名	担当者名	配当学科	単位
中国語ⅡA	<small>いん けいしゆん</small> 尹 景春	経 B 2 年	2

講義のねらい	中国人の考え方や習慣、風俗等についてやさしい文章で編集されたテキストを用いる。中国語を学習すると共に中国と中国の文化、社会などをより深く知り、中国への理解を深めることを目指す。
講義の内容・授業スケジュール	語学は独学ではなかなか進歩しない。一番効果的な勉強は授業に積極的に参加すること。テープ等活用して十分練習すること。
履修上の留意点	4分の3以上の出席と、授業中に声を出して練習する積極的な姿勢が必要である。
成績評価の方法	出席率、授業態度、試験などで評価する。
教科書	荒屋勤・尹景春『中国と日本』（朝日出版社） 2,100円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡB	あきもと たすく 秋 元 翼	経 B 2 年	2

講義のねらい

既に学んだ初級の文法、表現を基礎に、聴解力・会話力のレベルアップをはかる。

講義の内容・授業スケジュール

音声聞き、意味をとる練習をする。聞き取り・書き取り・口頭練習を中心に授業を進め、一年間で一冊教科書を終える。発音の矯正にも力を入れる。

履修上の留意点

音声面に重点をおいた授業なので、目を教科書から離して、積極的に声を出すように望む。CD等を活用し、予習・復習をするように。4分の3以上の出席を要す。

成績評価の方法

平常の学習態度と理解度および前・後期の期末テストで評価する。

教科書

董燕・遠藤光暁『話す中国語 初級～中級篇』（朝日出版社） 2,500円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	おおくぼ あき お 大久保 明 男	経 B 3 年	2

講義のねらい

中国語の「聴く」「話す」「読む」「書く」、各方面のバランスのとれた表現力を身につけることを目指す。

履修上の留意点

積極的に授業に参加すること。毎回予習、復習すること。

成績評価の方法

- (1) 出席：最も重視する。年間6回以上の欠席者は履修者と認めない。
- (2) テスト：定期試験のほか、小テストを随時行う。
- (3) 学習態度：遅刻、私語、回答回避などの消極姿勢はマイナス評価となる。以上による総合評価

教科書

尹景春・竹島毅『中国語さらなる一歩』（白水社） 2,000円

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	あざま えい ぜん 東 映 全	経 B 3 年	2

講義のねらい

初級で学んだ中国語の基礎（ピンイン）を復習しながら、音読と中国語の構造（語法）を中心に学んでいく。中国語のヒアリングと会話能力の向上を目指します。

講義の内容・授業スケジュール

言葉の習得は、「聞く」「話す」「書く」をまんべんなく学習する。一回一回の授業を大切にしながら進んでいきたい。

履修上の留意点

出来るだけ遅刻しないこと、欠席しないこと。授業中に必ず声を出して勉強する必要がある。

成績評価の方法

出席、授業態度、試験等総合的に判断する。

教科書

陳榮生等共著『中国に行こう』（神保出版）1,800円

[スペイン語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA	かめやま こういち 亀 山 晃 一	経 B 1 年	2

講義のねらい

初級文法から始め、発音・アクセント・イントネーションを練習する。比較的簡単な例文を確実に習得することで会話の基礎を作り、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当たって役立つ、コミュニケーション能力の開発と養成を行う。背景文化や歴史にも触れ、関心を育てることにより、学習継続の為の動機付けとしたい。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしないこと。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠB	なかやま なおし 中 山 直 次	経 B 1 年	2

講義のねらい

楽しみながら、スペイン語に親しむことを目指します。

講義の内容・ 授業スケジュール

まず、場面別の会話文を音読・訳読・対話演習します。次に、その会話文から取り出した表現や文法を解説します。最後に、関連問題を解いたり、応用練習したりします。

履修上の留意点

初習の語学は、途中が抜け落ちると続けにくくなります。なるべく、欠席しないようにしてください。また、当然ながら、予習をして授業に臨んで欲しいものです。

成績評価の方法

授業中の演習や応答の状況、および宿題や小テストの成績などを記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とします（いわゆる学期末定期試験は行いません）。

教科書

中山著『トーレス一家の人たちと』（芸林書房）

参考書等

辞書：宮城他編『現代スペイン語辞典』（白水社）
参考書：中山著『初級スペイン語』（白水社）
特に上記の本でなくてもかまいませんが、辞書のほかに手頃な自習参考書も一冊利用することをお勧めします。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅠA・ⅠB (再クラス)	くりばやし ゆきえ 栗 林 ゆ き 絵	経 B 2 年	2

講義のねらい

基本的な文法事項を整理して、スペイン語のことばのしくみを学習する。

講義の内容・ 授業スケジュール

授業は文法事項の説明とそれを応用した練習問題という構成で進める。前期は現在形、後期は過去形、未来形、現在完了を中心に学習する。随時、課題、小テストを実施。

履修上の留意点

指示された課題は必ずやってくることを。

成績評価の方法

平常点（出席、課題）6割以上、試験（小テストおよび前後期末）6割以上で合格とする。出席が6割に満たない者には単位を与えない。

教科書

堀田英夫『現代感覚でおぼえるスペイン語のエッセンス』（朝日出版社）1,900円

参考書等

『プログレッシブスペイン語辞典』（小学館）
*辞書はすでに所有しているものはそれを使用すればよいが、未購入の者は上記の辞書を購入するように。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡA	かめやま こういち 亀 山 晃 一	経 B 2 年	2

講義のねらい

基礎的な文法知識と日常会話によく出て来る表現を確実に身に付け、スペイン語圏で生活したり、旅行するに当たって困らない為の、コミュニケーション能力を養成する。演習の機会を多くすることにより、習得した知識を定着させる。

履修上の留意点

決して、遅刻・欠席をしないこと。自ら興味を持ち、学習を継続すること。

成績評価の方法

数回のテスト、日頃の出席状況、受講態度を総合して行う。

教科書

開講時、指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
スペイン語ⅡB	な か や ま な お し 中 山 直 次	経 B 2 年	2

講義のねらい

前年度に引き続き、文法の体系的学習の完成を目指します。

講義の内容・
授業スケジュール

昨年度スペイン語ⅡBで使用した、『やさしいスペイン語』の後半を学習します。これまで通り、スペイン語文法の基本事項を説明した後、理解を深めるために練習問題を解きます。ただし今年度は、授業が単調になるのを避けるため、毎回副読本を使って簡単なスペイン語会話の演習をします。

履修上の留意点

なるべく「専用ノート」を作ってください（小テストの時に参照するためにも）。

成績評価の方法

授業中の演習や応答の状況、および宿題や小テストの成績などを記録しておき、その合計を数値化して成績の評価とします（いわゆる学期末定期試験は行いません）。

教科書

昨年度からの継続（購入不要）：中山著『やさしいスペイン語』（白水社）
今年度用の副読本：中山著『250語でできるやさしいスペイン語会話』（白水社）

参考書等

辞書・参考書等は、現在持っているもので十分まにあうと思います。ただし、辞書は小型の携帯用だけでは幾分物足りなくなるかもしれませんので、その場合、できれば『現代スペイン語辞典』（白水社）・『西和中辞典』（小学館）・『新スペイン語辞典』（研究社）などのうちいずれか一冊を補充してください。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
スペイン語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	くりばやし ゆきえ 栗 林 ゆき絵	経 B 3 年	2

講義のねらい

スペイン語の基本的な文法の体系を学び、簡単な新聞や小説が読めるようになることを目標にする。

講義の内容・
授業スケジュール

授業は前半で文法事項の整理・学習を行い、後半で新聞記事等を読む、という構成で進める予定。

履修上の留意点

講読のテキストは授業中に配布するので必ず出席すること。辞書は授業中に使用するので必ず持ってくること。スペイン語の表現が日本語のどんな表現にあたるかを考えながら勉強してほしい。

成績評価の方法

4月中に受講票を提出しない者は単位取得の意志があるとみなさない。平常点（出席・発言）、小テスト、前後期の試験とも60%以上とることが単位取得の最低条件である。

教 科 書

上田博人『12課のスペイン語文法』（白水社）

参 考 書 等

〈辞書〉『プログレッシブスペイン語辞典』

*辞書はすでに所有している者はそれを使用すればよいが、未購入の者は上記を購入のこと。

[ロシア語]

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅠA	<small>ひろた ひでやす</small> 廣 田 英 靖	経 B 1 年	2

講義のねらい

一般的に、語尾変化があるロシア語は、難しい言語であるとおもわれがちですが、その動詞、形容詞、名詞の語尾変化を含む文法体系は、驚くほど首尾一貫しており、ある程度基本文法を学ぶと、ロシア語の文体が如何に単純、明快であるか、さらにその構成が極めておおらかで、自由、柔軟なことに気がつきます。このような特徴を持つユニークなロシア語の学習を通して、ユーラシア大陸における旧ソ連の各共和国、諸民族の生活や文化の背景にも広い視野でスポットをあてます。

最初の段階では、ローマ字やギリシャ文字と共通のものもあるわずか33個のロシア語アルファベットの綴、発音をイラストで示し、次にごく簡単な言葉、挨拶、ことわざを利用しながら、アクセントとリズム、イントネーションを反復練習し、自然におぼえることに重点をおきます。

徐々にロシア語の基本文法を体系的に分かりやすく解説し、平易な文型、実用的で応用のきく会話表現を学び、辞書を用い簡単な文章が正確に読み取れるようにします。

授業の合間には、気分転換をかねてポピュラーなロシア民謡を口ずさんだり、楽しく内容豊かなアニメーション・ビデオを鑑賞し、頭脳を能率よく働かせるロシア語学習を目指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

戸辺又方『1年生のロシア語』（白水社）1,400円

参考書等

『露和辞書』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅠB	<small>ひろた ひでやす</small> 廣 田 英 靖	経 B 1 年	2

講義のねらい

ロシア語ⅠAで学んだアルファベットや言葉を、具体的に用いられる日常会話の形式で繰り返し練習し、簡単な挨拶から始まるやさしい表現を直接耳から聞き覚えます。ディクタント（書取）を行い、耳で聞き取り、筆記体でもしっかりと書けるようにします。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

米重文樹『話すロシア語入門』（白水社）1,300円

参考書等

『露和辞書』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅠA・ⅠB 〔再クラス〕	<small>すぎやま ひでこ</small> 杉 山 秀 子	経 B 2 年	2

講義のねらい

一般的に、語尾変化があるロシア語は、難しい言語であるとおもわれがちですが、その動詞、形容詞、名詞の語尾変化を含む文法体系は、驚くほど首尾一貫しており、ある程度基本文法を学ぶと、ロシア語の文体が如何に単純、明快であるか、さらにその構成が極めておおらかで、自由、柔軟なことに気がつきます。このような特徴を持つユニークなロシア語の学習を通して、ユーラシア大陸における旧ソ連の各共和国、諸民族の生活や文化の背景にも広い視野でスポットをあてます。

最初の段階では、ローマ字やギリシャ文字と共通のものもあるわずか33個のロシア語アルファベットの綴、発音をイラストで示し、次にごく簡単な言葉、挨拶、ことわざを利用しながら、アクセントとリズム、イントネーションを反復練習し、自然におぼえることに重点をおきます。

徐々にロシア語の基本文法を体系的に分かりやすく解説し、平易な文型、実用的で応用のきく会話表現を学び、辞書を用い簡単な文章が正確に読み取れるようにします。

授業の合間には、気分転換をかねてポピュラーなロシア民謡を口ずさんだり、楽しく内容豊かなアニメーション・ビデオを鑑賞し、頭脳を能率よく働かせるロシア語学習を日指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

戸辺又方『1年生のロシア語』（白水社）1,400円

参考書等

『露和辞書』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡA	<small>ひろた ひでやす</small> 廣 田 英 靖	経 B 2 年	2

講義のねらい

ロシア語ⅠAで学んだ基本的な語尾変化、基礎文法を復習しながら、複文（関係代名詞、形動詞、副動詞など）をさらにわかりやすく具体的に解説し、辞書の引き方を学び、辞書をたよりに簡単な文章を読んだり、日常会話も試みます。

授業の合間には、ロシア文化圏を紹介するビデオを鑑賞し、またWindowsで日本語ワープロソフトWordを用いてロシア語の文書を作り、「パソコンでロシア語の処理ができる」ことを実感します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

教場にてプリントを配布。

参考書等

『露和辞書』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡB	ひろた ひでやす 廣 田 英 靖	経 B 2 年	2

講義のねらい

ロシア語Ⅰで学んだことを基礎に、新聞・雑誌などから選んだ生の興味ある見出しや短い文章を教材として利用し、ロシア語の理解力を向上させるために、辞書を実用的な文章の学習に取り組みます。

授業の合間には、旧ソ連、新しいロシアおよびその近隣諸国の文化、歴史の理解に役立つビデオを鑑賞し、またユーモアあふれるロシアのアネクドット（小話）や含蓄に富んだことわざにもふれ、生き生きとした実践的なロシア語学習を目指します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

教場にてプリントを配布。

参考書等

『露和辞書』

科目名	担当者名	配当学科	単 位
ロシア語ⅡA・ⅡB 〔再クラス〕	すぎやま ひでこ 杉 山 秀 子	経 B 3 年	2

講義のねらい

ロシア語ⅠAで学んだ基本的な語尾変化、基礎文法を復習しながら、複文（関係代名詞、形動詞、副動詞など）をさらにわかりやすく具体的に解説し、辞書の引き方を学び、辞書をたよりに簡単な文章を読んだり、日常会話も試みます。

授業の合間には、ロシア文化圏を紹介するビデオを鑑賞し、またWindowsで日本語ワープロソフトWordを用いてロシア語の文書を作り、「パソコンでロシア語の処理ができる」ことを実感します。

成績評価の方法

出席および平常点を重視し、授業内に行う小テストを加え評価します。

教科書

教場にてプリントを配布。

参考書等

『露和辞書』

英 会 話 I ・ II

初級の会話クラスです。基本的な日常表現ができることを目指します。達成目標の目安は英検2級合格、TOEFL のスコアー450点、TOEIC のスコアー500点程度です。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英会話 I	コブレーマッキー, D. S.	11以前入学生/経B1111選	2

講義のねらい

To develop the students' ability to understand and use spoken English in everyday contexts.

講義の内容・授業スケジュール

April	Introductions, greetings, asking for information Talking and asking about families
May	Asking about and describing people. Asking and answering questions about personal history REVIEW TEST
June	Welcoming, making offers, accepting & refusing Asking about and telling prices, paying for goods Asking about & identifying locations (inside), giving directions Describing procedures, narrating a sequence
July	REVIEW TEST
September	Routines & schedules, telling time Ordering food & drink, asking for information
October	Inviting, making excuses Making suggestions, talking about the weather REVIEW TEST
November	Likes & Dislikes, gift giving suggestions, objections Describing people & jobs Asking & talking about past events
December	REVIEW TEST
January	Presentations & Discussion

履修上の留意点

Must be active learners, using English individually, in pairs, and in groups. Weekly use of Internet resources will also be required.

成績評価の方法

Students will be assessed by homework, interview, role-play simulations and written tests. There will be two formal tests each semester.

教 科 書

The main text used will be 『Expressions : Book 1』 by David Nunan, published by Heinle & Heinle (price apx. ¥2,400). Students will also need to acquire accompanying cassette tapes or CD .

参 考 書 等

Supplementary materials may also be supplied by the teacher.

科目名	担当者名	配当学科	単位
英会話II	コプレーマッキー, D. S.	経 B 1 2 3 4 選	2

講義のねらい

To develop students' ability to present and discuss information about life, interests and current topics.

講義の内容・
授業スケジュール

April Introductions, greetings, asking for information
Talking and asking about families

May Asking about and describing people.
Asking and answering questions about personal history
REVIEW
TEST

June Welcoming, making offers, accepting & refusing
Asking about and telling prices, paying for goods
Asking about & identifying locations (inside), giving directions
Describing procedures, narrating a sequence

July REVIEW
TEST

September Routines & schedules, telling time
Ordering food & drink, asking for information

October Inviting, making excuses
Making suggestions, talking about the weather
REVIEW
TEST

November Likes & Dislikes, gift giving
suggestions, objections
Describing people & jobs
Asking & talking about past events

December REVIEW
TEST

January Presentations & Discussion

履修上の留意点

Must be active learners and users of English. Students will be required to work in pairs or small groups, using English only. Students will also be required to make weekly use of Internet resources.

成績評価の方法

Will be by homework, interview, role-play simulations and written tests. There will be two formal tests each semester.

教科書

The main text will be 『Expressions : Book 2』 by David Nunan, published by Heinle & Heinle (price apx. ¥2,400). Students will also need to acquire accompanying cassette tapes or CD .

参考書等

Supplementary materials may also be provided by the teacher.

英語 L L I ・ II

ランゲジ・ラボラトリ（1号館3・4階のLL教場）を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。I、IIとも TOEFLで450点、TOEIC500点、英検2級合格程度を達成目標とする初級レベルのクラスです。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L I	^{まなご} 真 砂 ^{ひだあき} 久 晃	I以前入学生/経B111選	2

講義のねらい

基本的な英語のListening能力と発音の向上をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

毎時間、ビデオを見ながら、Listeningの練習をして耳を慣らし、正しい発音ができるようにする。

履修上の留意点

出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。（正当な理由のある欠席については考慮する）

成績評価の方法

成績 = (前期の点数 + 後期の成績) ÷ 2
 前期、後期共、成績は (100点満点) = 出席点 (20~30%) + テスト (70~80%) となる。

教科書

小野田栄著 『DailyEnglish』（金星堂）2,000円

その他

最初の授業では、詳しい説明をするので、必ず出席すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
英語 L L II	^{いけがみ} 池 上 ^{かえこ} 賀 英子	経 B 1 2 3 4 選	2

講義のねらい

英語のヒアリング能力を、ニュース・映画・音楽を通じて向上させる。

教科書

教室で指示します。

4 保 健 体 育 科 目

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種日を通して展開し、その種日の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

保健体育科目時間表

(於：本校体育館)

	月 曜 日		火 曜 日		水 曜 日		木 曜 日	
6 時 限	※大石	ニュースポーツ			高 橋	空手道	鈴 木	健康・スポーツ論
	秋 田	バドミントン			※村松	卓球		
	宮 沢	卓球			三 幣	バドミントン		
7 時 限	大 石	ニュースポーツ	竹 田	健康・スポーツ論	※高橋	空手道		
	秋 田	バドミントン			村 松	卓球		
	※宮沢	卓球			三 幣	バドミントン		

※は、科目の主担当者

英語 L L I ・ II

ランゲジ・ラボラトリ（1号館3・4階のLL教場）を使用し、英語の発音、アクセント、イントネーションなどの口頭練習、日常会話などのヒアリングとスピーキングを訓練します。I、IIとも TOEFLで450点、TOEIC500点、英検2級合格程度を達成目標とする初級レベルのクラスです。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 L L I	ま な こ ひ さ あ き 真 砂 久 晃	II以前入学生/経B1234選	2

講義のねらい	基本的な英語のListening能力と発音の向上をめざす。
講義の内容・授業スケジュール	毎時間、ビデオを見ながら、Listeningの練習をして耳を慣らし、正しい発音ができるようにする。
履修上の留意点	出席が3分の2未満の学生は単位を取得できない。（正当な理由のある欠席については考慮する）
成績評価の方法	成績 = (前期の点数 + 後期の成績) ÷ 2 前期、後期共、成績は (100点満点) = 出席点 (20~30%) + テスト (70~80%) となる。
教 科 書	小野田栄著 『DailyEnglish』 (金星堂) 2,000円
そ の 他	最初の授業では、詳しい説明をするので、必ず出席すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
英語 L L II	い け が み か え こ 池 上 賀 英 子	経 B 1 2 3 4 選	2

講義のねらい	英語のヒアリング能力を、ニュース・映画・音楽を通じて向上させる。
教 科 書	教室で指示します。

保健体育科目の目標

本学の『保健体育科目』は、総合的人間性の形成を目指し以下の点に留意して開設されています。

人間がひととして生きていくうえで、自己の身体について知り、理解を深めていくことは重要なことであり、健康の増進や、体力の向上のための基本的な知識や習慣を、生涯を通じて知的・身体的遺産として獲得することは、あらゆる人間活動を支える基盤であります。スポーツは、単に楽しみとしてではなく、健康や体力づくりの手段として、また、身体を認識する手段としても重要であると考えられます。本学の『保健体育科目』は、様々なスポーツ種目を通して展開し、その種目の特性に沿った活動や経験を通して、生涯を通じて健康の増進や体力の向上を図ると共に、スポーツを享受する能力を高め、ゆとりある人間社会の形成を実現する能力を学生自らが考え獲得することを目標としています。

さらに、人間疎外条件の多い現代社会において、運動実践の過程で習得される公正、協調、克己、決断、集中などのスポーツの本質的要素であるパーソナリティーを共通の体験を通して得ることで、学生時代でなければ得られない人間関係を構築し、社会性を養い、人間愛豊かな人間を形成することを目指しています。

保健体育科目時間表

(於：本校体育館)

	月 曜 日		火 曜 日		水 曜 日		木 曜 日	
6 時 限	※大石	ニュースポーツ			高 橋	空手道	鈴 木	健康・スポーツ論
	秋 田	バドミントン			※村松	卓球		
	宮 沢	卓球			三 幣	バドミントン		
7 時 限	大 石	ニュースポーツ	竹 田	健康・スポーツ論	※高橋	空手道		
	秋 田	バドミントン			村 松	卓球		
	※宮沢	卓球			三 幣	バドミントン		

※は、科目の主担当者

4. 保健体育科目

健康・スポーツ論（後期）	〈竹田幸夫〉	559
健康・スポーツ論（前期）	〈鈴木淳平〉	560
健康・スポーツ実習（卓球）	〈松村誠・宮沢栄作〉	561
健康・スポーツ実習（バドミントン）	〈秋田浩一・三幣晴三〉	562
健康・スポーツ実習（空手道）	〈高橋俊介〉	563
健康・スポーツ実習（ニュースポーツ）	〈大石武士〉	564
生涯スポーツ演習（シーズン前期）	〈竹田幸夫 他〉	565
生涯スポーツ演習（シーズン後期）	〈佐藤政之 他〉	566

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ論（前期）	す ず き し ゅ ん べ い 鈴 木 淳 平	経 B 1 選 必	2
健康スポーツ論（前期） 〔再クラス〕		経 B 2 年	

講義のねらい

健康としての具備すべき条件（13項目）の追求と、それに深くかかわる体育、スポーツの本質を見つめて、その科学的、医学的知識を持って、将来の社会的・生活拡充化の意識の育成を図る

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：体育の発生と今日までの各々の時代的変遷と併せて古代体育の目的と現代の体育の具体的目標について。
- 2 時限目：健康のための条件を再確認し、健康と身体運動の意義を人間以外の動物の寿命等を例として認識させる。
- 3 時限目：スポーツの発生経緯、発案者、命名の様相、各々の特徴、分類について
- 4 時限目：スポーツと体力の関係について
- 5 時限目：運動能力発達の原理
- 6 時限目：運動能力の領域
- 7 時限目：運動能力の構造
- 8 時限目：運動能力とスポーツ技能の分析
- 9 時限目：総合体力の定義と要素
- 10 時限目：スポーツ実施上の功罪、その一つとしてのスポーツ生涯について
- 11 時限目：　　〃
- 12 時限目：トレーニング理論全般
- 13 時限目：　　〃
- 14 時限目：　　〃
- 15 時限目：まとめ

成績評価の方法

成績評価は学期末の筆記試験による。

教 科 書

不要。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (卓球)	むらまつ 村松	経 B 1 選 必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 (卓球)	まこと みやざわ えいさく 誠・宮沢 栄作	経 B 2 年	

講義のねらい

文明発達著しい今日、日常生活の中での動的プログラムは益々減少しつつある。このような生活環境、特に二部学生に対して、例え少ない時間であっても、卓球を通じて身体を動かすことを主なねらいとしたい。特に卓球は瞬時の動きを必要とするから、意識的に敏捷な動きを課したい。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション、目標の説明
- 2 時限目：ラケットの種類の特長、ラケットの握り方、ラケットとボールを使った遊び
- 3 時限目：サービス、レシーブ、フォアハンドドライブ
- 4 時限目：サービス、フォアハンドドライブ、スマッシュ
- 5 時限目：サービス、バックハンド
- 6 時限目：サーブレシーブ、バックハンド
- 7 時限目：総合練習
- 8 時限目：総合練習 シングルスゲーム
- 9 時限目：シングルスゲーム
- 10 時限目：　　　　　　〃
- 11 時限目：　　　　　　〃
- 12 時限目：ダブルスゲーム
- 13 時限目：　　　　　　〃
- 14 時限目：　　　　　　〃
- 15 時限目：まとめ、テスト

成績評価の方法

出席を重視する。

そ の 他

服装は運動着、体育館用シューズ。
用具は全て貸与する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (バドミントン)	あきた こういち みぬま はるみ 秋田 浩一・三幣 晴三	経 B 1 選 必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕 (バドミントン)		経 B 2 年	

講義のねらい

バドミントンは、大衆スポーツとして日本人には非常に親しい存在である。幼いころからバドミントンラケットとシャトルコックで遊びとしてラリーを楽しんでいる。にもかかわらず、バドミントンを正式のルールのもとで実施できる人は非常に少ない。これは、おそらく学校体育の中で実施している学校がすくないことによるものであろう。

本講義では、手軽に実施できて、しかも運動量も予想以上に多く、虚々実々の駆け引きを必要とするバドミントンを、生涯スポーツとして長く楽しめるように、そのための基礎知識と技術を提供しようとするものである。

講義の内容・授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション・バドミントンの基礎知識・ラリー練習
(バドミントンのスイング技術・グリップ)
- 2 時限目：サーブの基本技術・フォアとバックスイングの基本技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 3 時限目：スマッシュの基本技術/ネット際のプレー技術
簡易ゲーム (ダブルスのラリーゲーム)
- 4 時限目：バドミントンコートの説明・ダブルスゲームの運び方、ルールの説明
正式ルールでのダブルス練習試合
- 5 時限目：ダブルスゲーム、1部リーグから4部リーグまでのリーグ戦第1日目
- 6 時限目：同 第2日目
- 7 時限目：同 第3日目
- 8 時限目：同 第4日目
- 9 時限目：同 第5日目
- 10 時限目：シングルスゲームの運び方、ルールの説明、正式シングルスゲームでの練習試合
- 11 時限目：シングルスゲーム、1部から7部までのリーグ戦
- 12 時限目：同 第2日目
- 13 時限目：同 第3日目
- 14 時限目：ダブルス、トーナメント優勝戦
- 15 時限目：シングルス、トーナメント優勝戦

履修上の留意点

服装：一般的な運動服装
シューズ：運動靴 (体育館用として中履きのシューズを使用すること)

教 科 書

出席を主体とし、それに技術、ルール、マナーなどの理解度を加える。

そ の 他

バドミントンラケット・シャトルコックは大学で用意する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (空手道)	た か ほ し し ゅ ん す け 高 橋 俊 介	経 B 1 選 必	2
健康・スポーツ実習 〔再クラス〕(空手道)		経 B 2 年	

講義のねらい

空手道は、男子、女子を問わずに誰でもができ、空手道を通して礼節を重んずる精神を養成することを目的とする。また、身体各部を均等に動かし呼吸運動を伴うことによって内臓諸器官の機能を向上させることができる優れた健康法でもある。さらに護身術としても楽しく特殊な技術を習得する授業である。

講義の内容・ 授業スケジュール

- 1 時限目：空手道の歴史と技の説明
- 2 時限目：自然体での上段直突、中段直突、上段揚受、中段外受
- 3 時限目：閉足立ちによる前蹴り、前屈立ちによる逆突、下段払い
- 4 時限目：前屈立ちによる移動基本、追突、前蹴り
- 5 時限目：前屈立ちにて後方に下がって上段揚受、中段外受、下段払い、下段払い受
- 6 時限目：自然体から左右の猿臂、前屈立ちで身体を回転してからの猿臂打
- 7 時限目：総合的に反復して練習
- 8 時限目：総合的に反復して練習
- 9 時限目：2人組で相対して攻撃技と防禦技をかけ合う約束組手に入る。
- 10 時限目：約束組手の中に猿臂打、手刀打を入れて護身術に入る。
- 11 時限目：総合的に反復して練習
- 12 時限目：総合的に反復して練習
- 13 時限目：総合的に反復して練習
- 14 時限目：総合的に反復して練習
- 15 時限目：実技試験

履修上の留意点

- 1) 服装は、全員が授業用の空手衣を着用する。
- 2) 教場：修道館（第2体育館）2階

成績評価の方法

授業出席状況、授業の参加態度、実技テストにて総合的に評価する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
健康・スポーツ実習 (ニュースポーツ)	お お い し た け し 大 石 武 士	経 B 1 選 必	2
健康・ニュースポーツ実習 〔再クラス〕 (ニュースポーツ)		経 B 2 年	

講義のねらい

現在、ニュースポーツとして注目されている簡単で安全、手軽にできるスポーツチャンバラやミニサッカー・バウンドテニスなど、それぞれのスポーツを余暇ゲーム感覚で楽しみながら、現在および将来の健康の保持増進を目的とする。そして、生涯スポーツとして取り組むことのできる基本的な姿勢を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 時限目：オリエンテーション
- 2 時限目：スポーツチャンバラ：基本姿勢
- 3 時限目：スポーツチャンバラ：受け、体捌きの基本動作
- 4 時限目：スポーツチャンバラ：足捌き、打の基本動作
- 5 時限目：スポーツチャンバラ：応用打法
- 6 時限目：スポーツチャンバラ：受打の基本動作
- 7 時限目：スポーツチャンバラ：バウンドテニス・ミニサッカー
- 8 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 9 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 10 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 11 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 12 時限目：スポーツチャンバラ： 〃 〃
- 13 時限目：総合
- 14 時限目：総合
- 15 時限目：テスト

履修上の留意点

- 1) 定員：40名とする。
- 2) 服装：一般的運動服装で身軽に動きやすいものがよい。シューズ・その他のものは不要。
- 3) 教場：修道館（第2体育館）2階

成績評価の方法

出席率70%、総合評価30%で行なう。

科目名	担当者名	配当学科	単位
生涯スポーツ演習（シーズン前期・基礎／応用） ゴルフ	たけだ ゆきお 竹田 幸夫 他	経 B 選	2

講義のねらい

「健康・スポーツ実習」で行われているゴルフ授業を一步進めて、ゴルフコースを使用してゴルフの基本からラウンドプレーまでを体験することをねらいとする。したがって、初めてゴルフを体験しようとする初心者から、経験者までを対象とするカリキュラムが組まれている。

ゴルフの技術的な上達を主たるねらいとするが、プレイヤーとしてのマナーやエチケット、さらに同伴競技者とのコミュニケーションも本講義の重要なねらいである。

生涯スポーツとして、ゴルフの良さを十分に楽しみ、ゴルフを通して良き人間関係を作っていくための基礎を学んでほしい。

講義の内容・ 授業スケジュール

- (1) 事前授業 1回目 5月18日（土）講義：12:10～12:50 2研-101 教場
「ゴルフの基本知識1、オリエンテーション」
2回目 7月20日（土）講義：13:00～15:30 2研-102 教場
「ゴルフの基礎知識2」

※上記の事前授業は、オリエンテーションを兼ねるので必ず出席すること。

- (2) 実習内容
- 1日目 9月9日（月）実技：14:00～17:00 《オリエンテーション・打撃練習》
講義：19:00～21:00 《ゴルフスイングの基本》
- 2日目 9月10日（火）実技：09:00～12:00・13:30～16:30 《打撃練習・その他》
講義：19:00～21:00 《ゴルフのエチケット・マナー》
- 3日目 9月11日（水）実技：09:00～12:00・13:30～16:30 《打撃練習・その他》
講義：19:00～21:00 《ゴルフのルール・ラウンドについて》
- 4日目 9月12日（木）実技：09:00～12:00・13:30～16:30 《ラウンド・その他》
講義：19:00～21:00 《ラウンドの反省と総括》
- 5日目 9月13日（金）実技：09:00～12:00・13:30～16:30 《ラウンド・その他》

履修上の留意点

- (1) 服装・用具
- ① 一般的なゴルフ服装（セーター・ウインドブレーカーも天候によって必要）
 - ② ゴルフシューズ（ソフトスパイクに限る）は、必ず用意すること。ただし、練習場においては運動靴でも可。
 - ③ グローブは、必ず各自で用意すること。
- ※ゴルフクラブ・キャディーバック等は大学で用意するが、自分の物を持参してもよい。
- (2) 場所・宿泊
- ① 宿泊先：軽井沢千ヶ滝温泉ホテル 0267-46-1111
長野県北佐久郡軽井沢町千ヶ滝温泉
 - ② 練習場：軽井沢ゴルフ練習場 0267-48-1211
 - ③ コース：晴山ゴルフ場・ホテルコース・和美パー3コース・その他
- (3) 実施期間 平成14年9月9日（月）～13日（金） 4泊5日
- (4) 募集人員 定員20名
受講票を教務部窓口で配布するので、履修届提出の際添付すること。定員に達した時点で受講票の配布を終了する。
- (5) 集合・解散 現地（軽井沢千ヶ滝温泉ホテル） 詳細については（時間：道順など）事前授業で説明するので必ず出席すること。
- (6) 費用 49,500 ※交通費は含まれない。
- (7) 納入方法 経理部窓口で、平成14年5月24日（金）～6月6日（木）までに納入すること。
出席点70%、技術の上達度及び小テスト30%（ルール、マナー等）

成績評価の方法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
生涯スポーツ演習（シーズン後期・基礎／応用） スキー	さとうまさゆき 佐藤政之 他	経 B 選	2

講義のねらい

現在我が国においてスキーは、国民スポーツと言われるまでに普及し、「生涯スポーツ」として楽しむことのできるスポーツとして定着している。スキーを楽しむ為、実習および講義によって基礎技術や練習方法、ならびにゲレンデにおけるマナーについて理解を深めていきたい。

実習は、スキーの技術レベルに応じて、1班10名程度にグループ分けして実施する。コースの内容は、以下の通りである。

基礎コース：雪面に慣れることから始まり、ブルーク更にシュテムターンの習得

応用コース：パラレル、ウェーデルンと斜面に応じた総合滑降技術の習得、および完成をめざす。

講義の内容・授業スケジュール

- 事前講義：5月18日（土）12:10～12:50 2研-102教場
「オリエンテーション・スキーの基礎知識1」
12月21日（土）13:00～15:30 2研-102教場「スキーの基礎知識2」
- 実習内容および現地講義
1日目＜2月17日（月）＞午後、現地ホテルロビー集合
午後：班別実習および全体講義「スキー基礎技術解説および安全・マナー」
2日目＜2月18日（火）＞
午前・午後：班別実習および全体講義「スキー応用技術解説」
3日目＜2月19日（水）＞
午前・午後：班別実習および全体講義「スキーと自然・ウィンタースポーツ」
4日目＜2月20日（木）＞
午前・午後：班別実習および班別講義「本実習の反省とまとめ」
5日目＜2月21日（金）＞
午前・午後：班別実習 午後、現地解散の予定

履修上の留意点

シーズンコーススキーの授業は、下記の要領で実施する。

- 日程：平成15年2月17日（月）～2月21日（金）の4泊5日
- 場所：実習 安比高原スキー場
宿泊・現地講義 安比グランドアネックス（0195）73-6155
- 受講料：50,000円 ※なお左記金額には、交通費は含まれない。
受講者は、費用を納入期間平成14年5月24日（金）～6月6日（木）までに経理部窓口で納入すること。
- 定員：30名
受講票を教務部窓口で配布するので、履修届提出の際添付すること。定員に達した時点で受講票の配布を終了する。
- オリエンテーション：上記の事前講義（5月18日（土）・12月21日（水））で実習の説明を行うので必ず出席すること。
- スキー用具：スキー用具は現地でレンタル可能（有料）。
- 特記事項：スキー実習日程は、卒業年次生の追再試・1～3年次生の追試験と重なっているので特に注意すること。

成績評価の方法

事前講義および実習（5日間）に参加終了し、2単位が認められる。成績評価の方法は、事前授業参加状況、各班において実施する実技テストと実習参加態度、並びにスキー基本技術や、理解度も含めて総合的に成績評価がなされる。

そ の 他

都合で参加できなくなった場合は、早急に保健体育部（03-3709-0717）に連絡すること。尚、実習に不参加の場合、受講料の一部は、返却されないことがある。

Ⅱ 専 門 教 育 科 目

経済学科フレックスB・第2部経済学科

授業時間表の区分「A」の科目を履修する場合は、
フレックスAの頁を参照してください。(→P.287)

Ⅱ. 専門教育科目

経済学概説〈曾我信孝〉	573
経済学概説〈吉田敬一〉	573
経済理論ⅠA・資本の原理〈有井行夫〉	574
〔平成11年度以前入学生：経済原論Ⅰ〕	
経済理論ⅠB・経済システムの原理〈休講〉	
経済原論Ⅱ・ミクロ経済学〈松井柳平〉	575
〔平成11年度以前入学生：経済原論Ⅱ〕	
経済原論Ⅱ・マクロ経済学〈休講〉	
〔平成11年度以前入学生：経済原論Ⅱ〕	
経済学史〈福原好喜〉	576
経済数学〈水野勝之〉	577
価格理論〈荒木勝啓〉	578
国民所得論〈吉野紀〉	579
計量経済学〈休講〉	
統計原論〈稲葉敏夫〉	580
景気循環論〈野村信廣〉	580
現代資本主義論〈長島誠一〉	581
社会思想史〈阿部弘〉	582
経済史〈休講〉	
日本経済史〈橋野知子〉	583
西洋経済史〈友松憲彦〉	584
経済政策〈萩原伸次郎〉	585
農業政策〈休講〉	
工業政策〈奥山雅之〉	585
経済地理〈休講〉	
中小企業論〈休講〉	
環境経済論〈山口由二〉	586
財政学〈里中恆志〉	587
公共経済学〈半谷俊彦〉	588
財政政策〈休講〉	
地方財政論〈篠原章〉	588
金融論〈休講〉	
国際金融論〈秋山誠一〉	589
社会政策〈光岡博美〉	590
人口論〈休講〉	
教育経済論〈谷敷正光〉	591
労働経済論〈休講〉	
日本経済論〈休講〉	
国際経済論〈休講〉	
アジア経済論〈鄭章淵〉	593
中国経済論〈休講〉	
アメリカ経済論〈休講〉	
ヨーロッパ経済論〈清水卓〉	594
ロシア・東欧経済論〈山懸弘志〉	595
情報・経済ネットワーク論〈休講〉	

プログラミング論	〈濱本和彦〉	596
情報処理論	〈岩瀬弘和〉	597
商学総論	〈大吹勝男〉	598
商業政策	〈岩下弘〉	599
マーケティング	〈休講〉	
商品学	〈石崎悦史〉	600
交通論	〈塩見英治〉	601
商業史	〈幸野保典〉	602
消費経済論	〈休講〉	
経営学総論	〈休講〉	
経営管理論	〈休講〉	
財務管理	〈白坂亨〉	603
財務管理	〈田淵泰男〉	604
労務管理論	〈休講〉	
経営戦略論	〈休講〉	
経営学史	〈岩永宏治〉	605
会計学総論	〈石川祐二〉	605
簿記論	〈鈴木勝浩〉	606
財務会計論	〈休講〉	
会計監査論	〈森田佳宏〉	606
管理会計論	〈休講〉	
原価計算論	〈鈴木勝浩〉	607
税務会計論	〈高木克己〉	608
経営分析	〈休講〉	
貿易論	〈休講〉	
貿易実務	〈休講〉	
銀行論	〈休講〉	
証券市場論	〈佐藤昇〉	609
保険論	〈今泉敬忠〉	610
憲法	〈内田真利子〉	610
民法一部	〈織田晃子〉	611
〔平成11年度以前入学生：民法〕		
民法二部	〈河野弘矩〉	612
商法一部	〈島原宏明〉	613
〔平成11年度以前入学生：商法〕		
商法二部	〈島原宏明〉	613
経済法	〈岡田外司博〉	614
労働法	〈藤本茂〉	615
行政法	〈塩入みほも〉	616
国際法	〈王志安〉	617
原書講読Ⅰ・Ⅱ(英)	〈枝松正行〉	618
原書講読Ⅰ・Ⅱ(英)	〈中田秋男〉	618
原書講読Ⅰ・Ⅱ(英)	〈広田秀樹〉	619
原書講読Ⅰ・Ⅱ(仏)	〈中田秋男〉	620
現代経済事情Ⅱ	〈羽田野治朗〉	620
現代経済事情Ⅰ	〈菅原章文〉	621
現代経済事情Ⅲ	〈井田森太郎〉	621
現代経済事情Ⅳ	〈長尾邦彦〉	622

現代産業事情 I	〈休講〉	
現代産業事情 II	〈小栗 崇資〉	622
現代産業事情 III	〈齊藤 正〉	623
総合専門科目 I	〈休講〉	
総合専門科目 II	〈休講〉	
総合専門科目 III	一夏季集中一 〈阿部 弘〉	624
総合専門科目 IV	一夏季集中一 〈石川 祐二〉	625
総合専門科目 V	〈休講〉	
総合専門科目 VI	〈休講〉	
会計資格特別演習	〈鈴木 勝浩〉	625
情報資格特別演習	〈永井 勇〉	626
教員試験特別演習	〈谷敷 正光〉	627
基礎ゼミ	〈浅野 克巳〉	628
基礎ゼミ	〈徳永 俊明〉	628
基礎ゼミ	〈大石 雄爾〉	629
基礎ゼミ	〈大吹 勝男〉	629
基礎ゼミ	〈百田 義治〉	630
基礎ゼミ	〈齊藤 正〉	631
演習 I	〈大吹 勝男〉	632
演習 I	・ II	632
演習 I	・ II	633
演習 I	・ II	634
演習 I	・ II	634
演習 I	・ II	635
演習 I	・ II	635
演習 I	・ II	636
演習 I	・ II	636
演習 I	・ II	637
演習 I	・ II	637
演習 I	・ II	638
演習 I	・ II	639
演習 I	・ II	640
演習 I	・ II	641
演習 I	・ II	641
演習 I	・ II	642
演習 I	・ II	643
演習 I	・ II	644
演習 II	・ III	644

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済学概説	<small>そ が の ぶ た か</small> 曾 我 信 孝	経 B 1 必	4

講義のねらい

これから経済を学ぼうとしている学生を対象に、経済への興味をより高め、様々な問題意識を持ってもらうことを目的にしている。したがって、講義ではより多くの身近な事例をとりあげ、その解説をより幅広くすることで、学生諸君の興味が様々な専門分野へ成長することを期待している。

講義の内容・授業スケジュール

次の3つを考慮に入れながら、今日的で、身近な日本経済、あるいは国際経済にかかわる事例あるいは事象を取上げ、解説し、学生諸君の考えをまとめてもらう。

- ①その事例・事象がなぜ経済的に重要なのか？
 - ②その事例・事象にかかわる問題がほかにないのか？
 - ③それらの問題はどのように解決するのか？
- テーマは前期2つ、後期2つで年間4つを計画している。

履修上の留意点

年間4回予定しているテーマに関する学生諸君が考える解決の方法、新たな問題意識などをレポートで提出してもらう予定である。したがって、平常の講義では、まじめな授業態度はもちろんであるが、新たな問題意識をもてるような態度で臨んで欲しい。

成績評価の方法

年間4回（予定）のレポートと授業中への出席（授業中の小テスト）で40点を考慮に入れ、期末で60点満点評価の試験をする。ただし、期中のレポートで著しく評価の高いものは高得点を付けることもある。再試験を実施する。

教 科 書

基本的には使用しない。

参 考 書 等

授業中に紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済学概説	<small>よ し だ け い い ち</small> 吉 田 敬 一	経 B 1 必	4

講義のねらい

本講義は初めて経済学を学ぶ1年生を対象にしており、経済問題に興味をもってもらい、経済学を学ぶことは苦しいことではなく（経済が苦）、それは面白く楽しいこと（経済楽）だと認識してもらうことをねらいとしています。

そこで本講義は理論的アプローチを柱とするのではなく、実際の具体的な経済問題をテーマにして進めていきます。但し、必要に応じて個々の問題を科学的に解明するための理論の紹介も取り入れていきます。

講義の内容・授業スケジュール

講義は以下の項目を柱として行ないます。

- I 経済学入門の入門
- II 日本経済の高度成長の秘密
- III バブル経済と世紀末大不況の構図
- IV 日本型経済システムの強さと弱点
- V 日本の経営の光と影

履修上の留意点

毎日の新聞およびテレビの経済特集に目配りし、激変する経済状況の実体を捕まえるように自主学習することを期待します。

成績評価の方法

学年末試験とレポートで評価します。また、再試験も実施します。

教 科 書

本講義では教科書は使用しません。

参 考 書 等

授業中に必要に応じて参考文献を紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済理論ⅠA・資本の原理	あ べ ひろし 阿 部 弘	12以降入学生/経BⅠ・Ⅱ・Ⅲ選	4
経済原論Ⅰ		11以前入学生/経BⅠ・Ⅱ必・経済学専修 11以前入学生/経BⅠ・Ⅲ選・商学専修	

講義のねらい

「経済理論」という科目は「経済学の体系」を示すものです。この講義は、経済学部で設置している「経済理論」のⅠAであり、主としてマルクスの『資本論』を土台として講義・演習をおこないます。

一般に知られているように、『資本論』はその副題を「経済学批判」としていて、階級社会における、「体制的な経済学」に対する批判を展開しています。この講義では、現在の「経済」が抱えている問題は何か、その基本的な枠組みについて、『資本論』が19世紀半ば（1867年）に批判したその内容と現在の問題とを比較しながら、「経済学」はどうあるべきかを、受講生の皆さんと共に考えていこうと思います。

講義の内容・授業スケジュール

- I 「富」とは何か
 - 1 「富」とは何か
 - (1) 「富」は人間にとって外部に存在する
 - (2) 「富」の人間からの乖離
 - (3) 「富」に支配された人間
 - 2 「経済学の方法」
 - (1) 「国富」
 - (2) 私的所有
 - (3) 価値
 - 3 人間社会と交換価値
 - (1) 商品
 - (2) 貨幣
 - (3) 商品カテゴリーと人間社会
- II 資本
 - 1 資本の生産
 - (1) 資本と商品
 - (2) 資本の本質
 - (3) 階級の生産
 - 2 資本の運動法則
 - (1) 資本の運動範式
 - (2) 資本の生産と再生産
 - (3) 階級社会の拡大再生産
 - 3 資本の蓄積と階級の生産
 - (1) 資本の蓄積
 - (2) 資本関係と人間労働
 - (3) 資本蓄積の本質
- III 資本主義生産様式と人間社会—まとめ

成績評価の方法

- 1 レポートによる評価
 - (1)年間4回のレポート作成を通じて「成績評価」を行います。
 - (2)レポートは、第1回目：7月
第2回目：10月
第3回目：11～12月
第4回目：1月

このばあい、第1回目は講師が受講生全体に共通のテーマを提起します。そして2回目以後は受講生の皆さん各自が作成したレポートからテーマをそれぞれ設定します。

- 2 その他：「定期試験」、それに付随する「追試」、そして「再試」は行いません。

教科書

教科書・参考書等については講義の中で指定しますが、講義の性格上、マルクスの『資本論』は必読文献です。ですから、基本として次の文献を指定しておきます。

マルクス：『資本論』（大月書店）（国民文庫）1～9分冊。

池上肇：『文化経済学のすすめ』（丸善ライブラリー）

その他

講師との連絡方法

受講生と講師が連絡できるように、次に講師の住所等を掲載しておきます。

阿部弘：〒179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204 TEL 03-3976-7984

研究室：第2研究館5F No.2538、TEL 03-3418-9360

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済理論Ⅱ・ミクロ経済学	まついりゅうへい 松井柳平	12以降入学生/経01・2・3・4選	4
経済原論Ⅱ		11以降入学生/経01・2小・経済学専修	
		11以降入学生/経01・2小・商学専修	

講義のねらい

世の中にはさまざまな経済的社会的問題が存在する（いままで経済的社会的な問題意識をもったことのない極楽な人には、新聞を毎日読む習慣を身につけることを勧める）。さまざまな経済的社会的問題に対して、どのように考え答えていったらよいのであろうか。

現実の経済はあまりに複雑すぎて、そのままでは物事の本質を見失いかねない。そこで複雑な現実の経済をある程度単純化し、実際の経済のモデル（モデル）を構築し、それを対象に分析をおこなうことになる。もちろん、プラモデルのような物理的なモデルを作るのではないが、現実を単純化、抽象化することによって、本質を取り出そうというのである。経済モデルは数学を用いて記述される場合が多いが、経済学には、十分整理して議論しないと、とんだ理由づけをしかねない場合や、論点が未整理のため自ら混乱を招く例は少なくなく、このようなとき、数学的思考が役に立つのである。実際、数学における思考訓練は、無限の可能性の中から必要な論理をえぐり出すことにある。いわゆる抽象力である。それは単純化による論理の明確化と言ってもよいし、あるいは見通しをつける能力と言ってもよい。理論にとって、数学的思考による自己点検は怠ることはできない。だが、本講義では微分等の数学は一切使わない。小学校レベルの四則演算と中学校レベルの1次方程式程度の理解のみを前提する。

こうして現実を単純化、抽象化した経済モデルを用いて得られた結果は、分析の前提となっているさまざまな仮定に大きく依存している。得られた結論は、あくまでそこでの仮定、つまり採用したモデルに依存しており、仮定が変われば、結論も自ずと変わりうる。そのため、経済学（少なくともミクロ経済学とマクロ経済学）においては、導かれた結論だけを暗記したりしてもまったく意味はない。議論の前提となるさまざまな仮定や論理的な推論プロセスと一っしょいになってはじめて、結論が意味をもつのである。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、ミクロ経済学の基礎理論を教場での実験等を通じて体験的に学習する。

ミクロとは微視的ということであり、ミクロ経済学は諸主体の行動の動機づけにまでさかのぼって、経済全体を理解しようとする。社会に存在する資源は稀少であり、すべての人の欲望を無制限に満たすことはできない。当然、稀少な資源の利用を、だれに、どれだけ、許すべきか、といった資源配分の問題が発生する。資源配分のメカニズムとしてはさまざまあるが、私たちが生活している市場経済における価格メカニズムが挙げられる。価格メカニズムは、その資源に対してもっとも高い価格を支払える人に優先的にその資源の利用を許すメカニズムである。本講義ではこの価格メカニズムという資源配分の機構に焦点を当てることになる。

こうした価格メカニズムのしくみを、教場での市場取引のシミュレーション等を通じて学んでいくことになる。

履修上の留意点

授業に出席する人には、授業前の予習が必須要件として求められる。授業に出席していれば偉いというものではない。授業後、熟考してもなお疑問点があれば積極的に質問してほしい。

成績評価の方法

期末試験によって評価するが、授業中の練習問題解答のプレゼンテーションや実験への参加などにも特別の評価を与える。（再試験実施）

教科書

開講時に指示する。

参考書等

授業中に随時、紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済学史	ふくはら よしのぶ 福 原 好 喜	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

学問としての経済学の成立は、近代ブルジョア社会の生誕と軌を一にしている。例えばイギリスの重商主義、フランスの重農主義、ドイツの歴史学派、そして又イギリスの古典学派などの経済諸理論は、一方では世界資本主義の発展段階に、そして他方ではその国民経済の編成過程によって色濃く規定されている。経済学の歴史を単に経済学者による経済理論の受容、継承の歴史としてではなく、近代ブルジョア社会の成立、並びにその変容の過程の中で捉えようと思う。近代における経済学の成立・体系化の歩みを、近代資本主義の成立並びに確立過程の中に位置づけるというのが私の基本的視角である。講義は重商主義段階からマルクス経済学の成立までを包括する。経済学の歴史とはまさしく近代ブルジョア社会の自己認識の歴史に他ならない。かかる観点から、学生諸君に経済学及び経済学史に対する心底からの興味を喚起できればと思っている。授業ははじめに近代ヨーロッパの生成史を英、仏、独について概括し、後半で各国経済学の成立史を講義する。

履修上の留意点

出席点を40点つけるので不真面目な人はとらないでほしい。大人数の授業となるので、私語居眠りは厳禁、ひどい場合は退場願う。授業は学生の興味ある具体的話から始める。

成績評価の方法

出席もせず単位がほしいなどという不届きな学生がいるので出席を頻繁にとる。テストも厳格につけるつもりなので、それでもという熱意のある学生のみとってほしい。前期レポート、後期試験。再試実施。

そ の 他

一部で横道の話の方が面白いという風評があるが、学生の次元で経済学の話をしよという意図であって、本人には少し不本意な評価である。授業には全力投球する。PHS禁止。履修者多数で授業の混乱が予想される場合、履修者の制限をする。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済数学	みずのかつし 水野勝之	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

経済理論は数学を利用して説明される。しかしながら、数学のうちどれが必要か不必要かは現段階で諸君は知らない。また、経済学の授業で突然数学が使われても忘れてしまった諸君もいればはじめて目にする諸君もいるはずだ。本講義では、今後の諸君の経済学の勉強への数学の適用を念頭において、そこで利用されるであろう数学の基礎とその経済学へのあてはめを行っていきたいと思う。講義内容は、経済学の例示としてマクロ、ミクロととびとびになるが「経済学に利用される数学」という方針の下に体系化させる。数学の苦手な諸君にも十分理解できるように授業の進め方をしたい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 数学の用語・記号あれこれ
 - ①関数
 - ・関数
 - ・同次性
 応用：効用関数と生産関数
 - ② Σ （シグマ）
 - ・応用：予算式の表示
 物価指数
 - ③その他
2. 微分と偏微分
 - ①微分の意味と最大・最小
 - ・応用：弾力性・他
 - ②微分いろいろ
 - ・積の法則
 - ・合成微分
 - ・その他
 - ③偏微分
 - ・偏微分の意味
 応用：効用関数と限界効用
生産関数と限界生産力
 - ④その他
 - ・全微分
 - ・オイラーの定理
 - ・ラグランジュ未定係数法ー最適消費ー
3. 行列
 - ①ベクトルと行列
 - ②行列の加減と積
 - ③行列式
 - ④逆行列
 - ⑤余因子と余因子行列
 - ⑥連立方程式

履修上の留意点

数学は全く苦手でもよい、出席することが望ましい。

成績評価の方法

授業中の課題と期末テストの総合評価
尚、再試験は実施しない。

教科書

水野勝之『テキスト経済学』（中央経済社）
水野勝之『マクロ経済分析入門』（創成社）

参考書等

水野勝之『どうなってるの！？日本の経済』（中央経済社）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
価格理論	あらき よしひろ 荒 木 勝 啓	経B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

価格理論の目的は、経済の中でミクロ主体が互いに競争と最適化を行うことにより、市場および経済一般がどのような方向に向かうかを研究することである。もし競争が理想的に行われ、情報や資源移動の完全性が保証されるならば、市場はパレート最適と呼ばれるある種の理想状態に達し、価格は自然に社会的厚生を最大化する水準に定められる。しかし例えば市場参加者が2という少数者で行われるならば、たとえ同様の競争自体が行われても、結果はクールノー・ナッシュ均衡とよばれるような、完全競争とは異なった市場均衡に到達するであろう。またその競争のありようによっては同じ2という参加者の競争から、シュタッケルベルク均衡と呼ばれるさらに異なった均衡状態が作り出されることになる。その点はもはやパレート最適からはほど遠い点である。

このように、価格理論は、一般に「物価水準」と呼ばれているような現実のデータとしての価格というよりも、経済の市場の枠組みやミクロ主体の行動様式に関する様々な想定から導出されるas ifパフォーマンスとしての価格決定を調べる科目である。従ってその分析のためにはどこまでも「最適化」手法がつかまとう。しかも経済学の場合最適化はほとんどの場合「制約付き最適化」である。

制約のないところに経済は成立しない。近代経済学を生み出した限界革命の旗手であるカール・メンガーは次のように述べる。「村にわき出る泉があり、その水をだれでもが飲めるならば、その水をめぐる経済現象は生じないであろう。しかし、旅人が増えて村人が水を自由に飲めなくなったときから泉の水に経済現象が生じ始める。」

以上のように価格理論では内容の理解がほぼ制約付き最適化手法の理解如何にかかっているといてもよい。従って講義のかなりの部分があるための準備と練習に当てられるとありがたい。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 価格理論で学ぶこと
- (2) 多変数関数と曲面
- (3) 微分、変微分、全微分
- (4) 対数関数の微分と成長理論
- (5) 生産関数、コブ・ダグラス生産関数
- (6) ベクトルの直交と勾配ベクトル
- (7) 制約付き最適化問題のグラフィカルな理解
- (8) ラグランジュ乗数法
- (9) 加重限界効用均等の法則
- (10) 練習問題
- (11) 代替効果と所得効果の計算
- (12) 需要曲線と需要の価格弾力性
- (13) パレート最適、ボックスダイアグラム
- (14) MR曲線
- (15) 独占均衡
- (16) 消費者余剰と生産者余剰、独占均衡の死重的損失
- (17) 費用曲線と供給曲線
- (18) 生産関数から短期費用関数の導出
- (19) 生産関数から長期費用関数の導出
- (20) クールノー・ナッシュ均衡
- (21) クールノー・ナッシュ均衡解の練習問題
- (22) 等利潤曲線
- (23) シュタッケルベルク均衡解
- (24) シュタッケルベルク均衡解の練習問題
- (25) ゼロサムゲームの解法

成績評価の方法

試験はノート・教科書・参考書持ち込み可。再試験あり。

教科書

浅野・荒木・浅田『エコノミックス』（成蹊堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国民所得論	よしの おさむ 吉野 紀	経B1・2・3・4選 1位以降入学生/経A・商1・1・1選	4

講義のねらい

わが国は法人企業だけで277万（平成3年）あり、就業者6,400万人のうちの約68%にあたる4,380万人がここで働いている。この生産活動からさまざまな財（商品）やサービスが産出されてくるが、その種類や数量たるや膨大なものとなる。この大きさを1年という単位期間内で集計し、金額表示にしたものが大雑把に言ってGDP（国内総生産）にあたる。生産された財・サービスは、誰かが貨幣を支払って支出・購入してくれるからこそ、また次の年の生産活動を実現可能にしてくれる。その誰かは、一つは4,400万に昇る家計世帯であり、二つには他の企業であり、その他に政府もあり、日本からの輸出を引き受けてくれる海外の購入者であったりもする。ここには、財・サービスの売渡しの見返りにあたる円や外貨で支払われる貨幣の流れがみられる。これを称して経済循環とよぶが、わが国の1年間の規模は平成7暦年のGDPによって483兆円に達すると評価されている。

一つの国民経済を眺めようとすれば、このように大きな集計量と接することが不可欠となる。このことは、数限りない取引が日々結ばれていることを考えればむしろ当然と言えよう。こうした取引関係は複雑に入り込んでおり、その1つ1つを追跡すると、国民経済全体という大きな森の中に迷い込むことにもなりかねない。そこで、森の上に舞い上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。このような視点に立つ経済の分析手法が、巨視的（マクロ）分析とよばれ、経済全体の活動の成果を集計量でとらえようと編み出された国民経済計算の整備とともに発展してきたのである。そこでは、無数の複雑に絡みあった諸取引を、いくつかの類似した性質を共有するグループ（経済主体）毎に分け、それぞれの取引額を記録し、そして経済主体のさまざまな取引相互間の依存関係を説明しようとするところに狙いがさだめられている。

講義の内容・授業スケジュール

1. 「国民経済計算の話」……………5回
GDP、GNPなどの経済指標や消費、投資、輸出入などの国民経済全体をとらえる単位を理解することと、さまざまな諸取引間の相互関係を日本経済の循環図を通してとらえることが主題である。《参考》経済企画庁「平成6年日本経済の循環図」（配布資料）
2. 「総需要・均衡産出量・均衡所得」……………4回
いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に則って説明され、次の第3講で活躍するIS曲線の基礎理解を得ることが目標となる。このテーマの終了後、練習問題を解くレポートが課せられる。解答は配布され、解説は授業の中で行なわれる。
《参考》中谷蔵 『入門マクロ経済学』（日本評論社）第3章
3. 「貨幣・利子および同時均衡」……………8回
この段階で貨幣の果たす役割が明示的に導入され、前講までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の現況との関連が説明の中に登場する機会も増えてゆくであろう。また、利子率に触れるとき、預貯金の利率に加えて有価証券の利回りにも馴染んでもらうことになるであろう。その他、国家公務員、地方公務員、国税専門官などの専門科目試験の例題を示す事もある。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題がレポートの課題として課せられる。正解と解説は授業中で示す。
《参考》伊達邦春（編）『マクロ経済学』（八千代出版）第9章
4. 「金融政策、財政政策」……………4回
前講までの内容が理解できれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。その上で、国内のおよび国際的クラウディング・アウト効果を取り扱われる。アメリカのベトナム戦争時に生じた国内的クラウディング・アウト効果に関するケース・スタディは興味をよぶのであるまいか。
《参考》ドーンブッシュ・フィッシャー『マクロ経済学（上）』（CAP出版）第4章
5. 「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」……………5回
ここまでで扱われてきたのは、財・サービスの市場と貨幣市場であったが、これに労働市場が明示的に組み合わされる。さらに物価の変動が重要なテーマとして加わる。

基本的には期末試験による。2回の練習問題に対するレポートは一定の評価対象となりうる。再試験は原則として実施しない。

R. J. ゴードン『現代マクロエコノミクス（上）』（第6版）（多賀出版）

成績評価の方法

教科書

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
統計原論	い な ば と し お 稲 葉 敏 夫	経B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

経済現象を統計的に分析する際、基本となる概念および手法を出来る限り数式を使用することなく説明したい。たとえば、消費支出と国民所得、投資と利子率などの経済変数間の関係に着目する。このような経済変数間の関係を調べる、典型的な方法である回帰分析を取り扱う。それとともに消費支出、投資など実際にどのデータを使用するのが妥当であるかについても議論する。

講義の内容・授業スケジュール

前期は基本的な概念を説明する。2変量間の関係を表す相関係数、そして回帰直線を扱う。また、確率概念を導入することによって、平均値、標準偏差をとらえ直す。

後期は統計的推測の基礎を講義する。世論調査における政党支持率の変化は統計的に意味があるのか、新薬は旧薬よりもはたして効き目があるのかなど、身近な例を取り上げる。

成績評価の方法

平常点とレポートによって評価する。再試験は実施しない。

教科書

稲葉三男・稲葉敏夫・稲葉和夫著『経済・経営 統計入門』（共立出版）2,100円

その他

授業は講義の形態をとるが、年に数回コンピュータルームで簡単な実習を行う。数式の使用はできるだけ避け、主として図や表を使用して説明する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
景気循環論	の む ら の ぶ ひ ろ 野 村 信 廣	経B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

景気（循環）への関心は高い。それは(1)景気循環が多くの人々の生活に影響する(2)景気循環の姿がその時々で変化する(3)景気循環が経済の諸問題に影響する一などのためである。授業では、(1)景気循環を把握する方法(2)景気循環を引き起こす原因とメカニズム(3)景気循環を応用しての景気の現状観測と将来予測一などを学ぶ。学生達が一般の景気判断に対する理解・評価能力を身に付け、自分自身で景気判断や予測が出来るようにする。10912景気循環論に比べて25052景気循環論はより実践的、応用的側面に力を入れる。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 景気循環を学ぶ意味
- (2) 景気循環の推移
- (3) 景気指標による景気循環の把握
- (4) 景気循環を引き起こす原因とメカニズム
- (5) 景気循環が経済に及ぼす影響
- (6) 景気循環による景気予測の方法と実践

履修上の留意点

日々の経済に強い関心を持つ

成績評価の方法

定期試験・レポート・出席状況

教科書

田原昭四『日本と世界の景気循環－現代景気波動論－』（東洋経済新報社）3,780円

参考書等

随時参考資料を配布

その他

講義中心も、質疑応答を歓迎する

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代資本主義論	ながしま せいいち 長 島 誠 一	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

第2次大戦後の経済社会（現代資本主義）の構造と循環と発展の過程を説明する。現代資本主義は資本制商品経済が成立・確立・発展（変質）してきた歴史的（社会）有機体であるとの認識にたつて、今後の展望と改革の方向をも考えてみたい。

講義の内容・
授業スケジュール

- I 資本主義の段階的発展（原始蓄積期・自由競争段階・独占段階）
- II 戦後資本主義の構造（世界経済の戦後体制・国家の政策・独占資本・資本＝賃労働関係・産業構造・産業予備軍・金融資本（企業集団）・金融寡頭制）
- III 戦後の資本主義の循環と発展（世界の景気循環・世界資本主義の長期的発展過程・日本の循環と発展）
- IV 高度経済成長期の経済（世界の景気・日本の景気・景気循環の変容）
- V スタグフレーション期の経済（高度成長からスタグフレーションへ・IMF体制の崩壊（金・ドル交換停止）・スタグフレーションの進展・日本の景気・スタグフレーション下の景気変動・インフレーションの軽微化とバブルの発生）
- VI バブルの進展と景気循環（世界経済の投機化・バブルの構造・日本の景気・金融寡頭制支配の腐朽化（経済スキャンダル））
- VII バブルの崩壊と1990年代（世界経済の変化と世界の景気・不良債権下の日本の長期不況）
- VIII 現代資本主義の構造変化と構造危機（構造変化・構造危機・構造改革）
- IX 新しい社会の建設（社会主義への展望）

履修上の留意点

なるべく多く教室に来て講義を聞いてほしい。現代の諸問題に関心を持ってほしい。受講者数が少なければゼミ形式でやることもありうる。

成績評価の方法

夏休み前にレポート、学年末に教場試験（ペーパーテスト）。両方の成績再試験は実施する。

教 科 書

拙者『戦後の日本資本主義』（桜井書店）2001年

参 考 書 等

拙者『経済学言論』（青木書店）1996年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会思想史	あ べ ひろし 阿 部 弘	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・11・12選	4

講義のねらい

「経済学」という科学は、人間社会の歴史とともに歩んできた内容を持ちます。しかし、その学問としての成立過程は、19世紀に入って、ヨーロッパ社会で「近代市民社会」が成立してくる時期と軌道を一つにしています。

この講義では「経済学」の成立と「市民社会」との関係を明らかにすることを目標にしていますが、「経済学」の原型は、古代の社会で形成されてきた、「帝王学」的な政治・経済政策論に求められるから、最初にその実態を、東洋社会の「経世済民論」とインド・ヨーロッパの農業政策技術や重商主義的な政策論の展開に観ていくことにします。第2部として近代ヨーロッパ社会での、フランス革命に象徴される「ブルジョアジー」、およびその後登場してくる「プロレタリアート」が「経済学」の成立過程にどのような影響を及ぼしたのかを考察します。そのうえで、現代社会にあって、「経済学」は何を問題提起しているのかを受講生諸君と共に考えていきたいと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

年間の講義は次の構成となります。

第1部：「経世済民」という考え方

第1章：古代中国での「経世済民」思想

第2章：インド・ヨーロッパ的帝王学

第3章：日本における輸入学問としての「経世済民論」

第2部：ヨーロッパ社会での「経済学」の形成過程

第1章：「個人主義」思想の形成と「道徳哲学」の新たな展開

－マンデヴィル思想から「道徳感情論」へ

第2章：フランス革命と「経済学」の形成過程

第3章：マルクスの経済学体系

成績評価の方法

- 1 「成績評価」は年間4回のレポートの作成で行います。レポートは7月・10月・12月・1月におこないます。したがって「定期テスト」は行いません。年4回のレポートを行うのは、講義形式のばあいには評価を年1回のテストで行いますと、とかく受講生の皆さんと講師との交通がみられなくなるからです。レポートの形式は、7月の第1回目は講師が受講生全体に共通なテーマを設定し、第2回以後は作成されたそれぞれのレポートからテーマを設定します。
- 2 上記のように年間4回のレポートを皆さんとともに実施していくのですから、回数が少なくてもよいとか、1回だけレポートを密かに作成して「送りつけ」てきたり、私のポストに投げ入れたりしても、評価が悪くなるだけですから注意してください。
- 3 「評価」はレポートで行いますので、「定期試験」を実施しない関係で、それに付随した、「追試験」とか「再試験」は行いません。

そ の 他

受講生と講師が「レポート」外で連絡し得るようになるために、講師の住所を下に記しておきます。

阿部弘：〒179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204/TEL03-3976-7984

研究室：第2研究館5F No.2538/TEL03-3418-9360

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
日本経済史	はし の と も こ 橋 野 知 子	経B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3選	

講義のねらい

本講義では、近代日本における経済社会の動きを国際的な経済環境のなかに位置づけながら考察していきます。特に近年の数量経済史や経済発展論の分野における研究蓄積を利用しながら、また西欧やアジアとの比較を念頭において講義する予定です。

学生諸君には、日本経済における現代的課題や戦後経済史の重要な問題が、この講義での考察する歴史的背景のなかで生まれてきたことを理解して欲しいと思っています。よって、単なる「丸暗記」を要請するものではありません。知ることこそが重要なのです。講義の中で、第二次大戦以前の日本経済における基本的事実を理解し、大まかな流れをつかみ、重要な問題を発見して下さい。

講義の内容・授業スケジュール

1. 近代日本経済史へのアプローチ1ー日本経済史に対するさまざまな見方
2. 近代日本経済史へのアプローチ2ー幕末の経済と開港、明治維新、近代国家の形成と経済共通基盤の整備
3. 近代経済成長の始動ー殖産興業と松方財政、在来部門の成長と再編成
4. 国際政治・経済秩序「ボックス・ブリタニカ」のなかの日本経済
5. 工業化の進展1ー近代工業の発展と貿易、技術移転とその担い手
6. 工業化の進展2ー農業部門と非農業部門との関係
7. 日清・日露戦争と日本経済
8. 第一次世界大戦と日本経済1ー世界秩序の変化と日本経済
9. 第一次世界大戦と日本経済2ー動力革命、在来産業の近代化、重化学工業化の進展
10. 「慢性的不況」ー金融再編成と産業合理化
11. 二重構造の発生と都市化に伴う社会の変化
12. 「ボックス・ブリタニカ」の解体と日本経済ー国際金本位制度の終焉
13. 1930年代の経済成長1ー政策の転換、銀行制度
14. 1930年代の経済成長2ー産業構造、産業組織の変化
15. 戦後経済史への展望ー市場経済の変容、戦時統制経済、太平洋戦争

履修上の留意点

重要なトピックスについては参考文献に加えて統計資料、一次資料などを配布して説明します。配布された資料を通じて、図表を理解する力を養いましょう。日本経済史への理解を深めるためにも、講義中紹介された参考文献については、できる限り読むように心がけて下さい。

現在起こっているさまざまな問題には、必ず歴史的な背景があります。日常生活の中でニュースや新聞などに積極的に慣れ親しみ、そこで感じた「なぜ? どうして?」という疑問を大切にして下さい。また、当時の社会や経済を実際に知る人の話を積極的に聞いてみて下さい。教科書では得られない新鮮な驚きや発見があるはずです。

成績評価の方法

期末試験、レポート、出席（小テストを実施）などで総合的に評価します。再試験はありません。

教科書

指定しません。毎回プリントを配布します。

参考書等

講義の中でその都度紹介します。

その他

授業は講義形式ですが、映像の利用による説明も取り入れたいと思っています。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
西洋経済史	ともまつ よしひこ 友 松 憲 彦	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

「西洋経済史」という科目名を聞いて、21世紀の日本に生活する自分に18世紀や19世紀のヨーロッパやアメリカの経済を学ぶ意味があるのだろうか、という疑問をもつ人もいるでしょう。あるいは、これまでの経験から人名や年号の丸暗記を強いられる科目ではないかと思ひ、それだけでウンザリの人もあるかもしれません。

しかしこの講義は、歴史的事実を解説し、それを暗記することを少なくとも主題にはしていません。講義がめざすことは、資本主義とよばれる現代経済の特徴や問題がどのように生まれてきたのか、またそれが今後どう変化していくのかを、資本主義の母体であった西ヨーロッパやアメリカの「過去の経済」（＝経済史）の研究によって考えることです。また、「過去の経済」を知ることが、われわれの生きている現在の経済や社会を見なおし、相対化する目を養ううえでも重要なことです。

さらに「西洋経済史」は、経済学を学ぶうえでの基礎科目でもあることも指摘しておきます。例えば、この講義からは経済学の発達の歴史的背景を知るうえでの不可欠の知識が得られるでしょう。あるいは、世界経済の流れを理解し、そこに日本経済の歴史を位置づければ、現在の日本経済の特徴や問題にもより深い理解が可能となると思ひます。そうした意味で、「西洋経済史」は経済学の広範な諸科目と密接な関係をもち、経済学学習の土台となる科目といえるでしょう。

講義の内容・授業スケジュール

1. なぜ西洋経済史を学ぶのか
2. 資本主義とはなにか
 - (1) 商品経済と市場経済
 - (2) 近代と前近代の経済
3. ヨーロッパ中世の経済 ―封建制の構造―
 - (1) 中世農村と農業
 - (2) 中世都市と商工業
4. 中世から近代への移行期の経済 ―資本主義の成長―
 - (1) 「封建制の危機」と資本主義の発生
 - (2) 農村工業の成長
 - (3) 海外市場の発達
 - (4) 国内市場の発達
5. 近代の経済① ―資本主義の確立―
 - (1) 産業革命の原因
 - (2) 産業革命の過程
 - (3) 産業革命の結果
6. 近代の経済② ―世界資本主義の形成―
 - (1) イギリス経済と世界経済
 - (2) 後発国の産業革命
 - (3) 植民地の形成
7. 近代の経済③ ―資本主義の変質―
 - (1) 「大不況」と資本主義の構造変化
 - (2) 植民地支配とその結果
8. 現代の経済

成績評価の方法

期末試験、授業中の小レポートに出席状態を加味する。再試験は実施する。

教科書

配布される「資料」が教科書の代わりとなる。

参考書等

岡田泰男編著『西洋経済史』（八千代出版）1996年
 長岡・太田・宮本編著『世界経済史入門』（ミネルヴァ書房）1992年
 石坂・船山・宮野・諸田著『新版西洋経済史』（有斐閣）1994年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済政策	はぎわら しんじろう 萩原 伸次郎	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

現代の経済政策を歴史的パースペクティブの下に講義します。経済政策を経済構造との関連で把握する重要性を理解してほしいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

1. 経済政策論の課題 2. 現代資本主義の形成と経済政策（大恐慌からニューディールへ、ファシズムとブロック経済化） 3. 現代資本主義の確立と経済政策（ボックス・アメリカーナの形成、巨大化した国家と経済政策、経済成長とケインズ政策） 4. 現代資本主義の構造転換と経済政策（ケインズ政策の危機、新自由主義的経済政策、金融自由化と金融不安定） 5. 21世紀の経済政策とは

履修上の留意点

教科書は講義において参照しますから必ず持参して下さい。またノートも必ず持参し、筆記を怠らないでください。必要事項は板書します。

成績評価の方法

定期試験と出席率。

教科書

萩原伸次郎『アメリカ経済政策史』（有斐閣）3,000円

参考書等

田代・萩原・金澤『現代の経済政策』（有斐閣）2,900円

その他

授業は講義形式で行います。教科書、参考書の関連箇所について詳しく解説する方式をとりまますから、教科書は授業に持参し、ノートをとって下さい。良い成績をとる最も効率的方法は、授業に出席し、教科書を参照しながら白筆ノートを作ることです。講義用の資料は教科書に含まれていますから配布しません。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
工業政策	おくやま まさゆき 奥山 雅之	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

我が国の工業を題材として、その生産構造の特徴を確認しながら、海外生産の加速や空洞化の進展といった状況のもと、その展望と工業政策の方向を考察する。また、環境との調和、新産業育成、産学連携といった今日的課題についても検討を加える。

講義の内容・授業スケジュール

- ①日本産業における工業の役割と特徴
- ②生産構造の変化と生産の海外化
- ③大都市工業の実態と課題
- ④地方都市工業の実態と課題
- ⑤技能継承と技術革新
- ⑥工業政策の今日的課題（環境との調和、新産業育成、産学連携など）
- ⑦我が国工業の展望と工業政策の今後

履修上の留意点

講義を通じて「ものづくり」の役割や重要性について再認識することを目標とする。

成績評価の方法

成績は学年末試験で評価する。追試・再試は行わない。

教科書

加藤秀雄著『ボーダレス時代の大都市産業』（新評論）

参考書等

必要がある場合には、授業で別途案内したい。

その他

多くの企業事例を紹介しながら、日本の「ものづくり」の将来を一緒に考えていきたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
環境経済論	やまぐち ゆうじ 山 口 由 二	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

産業革命以降、人類は無限とも思える生産力を得て、それまでとは比べものにならない急速な経済発展・成長を成し遂げてきた。この大量生産、大量消費を美德とする社会における経済成長は、すべての人々に文化的で豊かな生活を与えるものとして、これまで、声高に異議を唱える者はほとんどいなかった。しかし、21世紀が間近にせまる現在、様々な矛盾が露呈してきている。そのもっとも大きな問題が、環境問題である。

現在の環境問題は、かつての水俣病に代表される公害問題のように加害者と被害者が明確に分離されるものばかりではなく、地球温暖化のように、ほとんどすべて人々が加害者であると同時に被害者となりうる問題や、熱帯雨林の破壊や、酸性雨問題のように、貧しさゆえに引き起こされ、そのことが南北問題にまで発展しているより複雑な問題もある。

本講義では、経済成長と環境の相互関係を歴史的視点と理論的視点の両視座から論じると共に、様々な事例を提示して経済成長の意味や、経済成長と環境破壊とのトレードオフの関係について論じる。この講義を通して、受講者の方々に環境経済学への問題意識を喚起したい。

講義の内容・授業スケジュール

前期では、おもに、資源・環境問題、及び環境経済学を理論的に論じる。その上で、後期では、地球温暖化問題、国有林や東京湾の漁業のコスト・ベネフィット分析、捕鯨問題、自動車の社会的費用、ダイオキシンの問題、農業の環境問題など様々な事例を取り扱う。

履修上の留意点

本講義は、近経の基礎的知識を必要とするが、講義過程でその都度、簡単に復習を行いたい。環境経済学は、まだ確固とした学問体系が出来上がっておらず、発展の余地があり今後ますます重要となる研究分野である。この講義で積極的な質問や議論がでることを希望する。

成績評価の方法

前期はレポート、後期はテストを行う。

また、適宜に簡単なレポートを提出していただき、これも考慮する。再試験を実施する。

教科書

未定、最初の授業時に指定する。

参考書等

・K. W. カップ著 篠原泰三訳『私的企業と社会的費用』（岩波書店）

環境経済学の古典的名著。生産過程で第三者や社会が受ける、公害、環境汚染による損失を社会的費用として、大気汚染、水質汚染、動植物の絶滅、人災、エネルギーの枯渇、森林の濫伐等について理論と実際の両面で分析を試みている。1950年に原著は刊行されている。

・宇沢弘文著『自動車の社会的費用』岩波新書（岩波書店）

若い人ならば皆大好きで、現代社会においてこれなしには成り立たないと思われる自動車の外部不経済性を徹底的に追求した名著。私が自動車の免許を取らないのもこの本を読んだため？。宇沢氏は日本の近経の一人者で、ノーベル賞をもらってもまさか文化勲章はもらうまいと思っていました。ちょっと古い本だがおすすめ。

・宮本憲一著『環境経済学』（岩波書店）3,600円ぐらい

筆者は公共経済学者、政治経済学者の立場から長年様々な公害問題に立ち向かってこられた。環境経済学を「容器の経済学」と称し、環境をあらゆる経済活動の「容器」としてとらえている。やはり、読んでおいてほしい本。

・環境庁編『環境白書平成13年度版』（株）ぎょうせい

白書というと堅苦しく難しいイメージがあるが、『環境白書』は、現在の環境問題についてかかっている良書。総説は毎年サブタイトルがかわり13年度版は「地球と共生する「環の国」日本を目指して」となっている。「環の国」の環は「環境」や「循環」の環の意で、「持続可能な簡素で質を重視する循環型社会」をイメージしたものである。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財政学	さとなか つねし 里 中 恆 志	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

経済生活の中で公共部門の占める比重は確実に増加しつつある。財政学は公共財政経済を対象とする学問であるが、そこでは市場経済原理の私経済とは異なる原理が作用する。公経済は租税徴収等による資金調達と、それをとおしての財政支出によらねば需要を充足できない経済領域である。したがって租税負担配分の方式、財政支出基準の考え方を問題にする。経済社会の変遷につれて負担の方式や支出基準についての考え方も変化する。そして公経済の比重が高まるにつれて、公経済と私経済の相互のかかわりもますます重要になる。

国民が財政意志の形成に参加する方法は民主主義の手続きをとおしてであるから、有効な財政政策の実現のためには、国民が財政をコントロールするルールと、その背後に作用し合う諸力について理解していなければならない。国民はまた財政政策に対する基礎的な判断基準をもっていないなければならない。このような観点から財政意志の形成過程、租税徴収による負担の配分、歳出の効率と合理性、財政の総需要管理政策について講ずる。

講義の進め方はまず財政意志の形成過程では予算の編成手続きの理解から入る。歳入面については租税収入を主要税種別に扱い、つぎに歳出面について主要経費別の考察を進める。さらに公経済の私経済へのかかわりについて総需要管理政策の視点から講ずる。

講義の内容・授業スケジュール

(第1週) 講義内容の紹介と年間授業計画の説明 (第2週) 公共財と公共部門 (第3週) 財政の歴史概略 (第4週) 予算編成と主計局の査定 (第5週) 予算編成と政党政治 (第6週) 予算政府案と議会審議 (第7週) 予算の執行と競争入札 (第8週) 予算の政治過程 (第9週) 租税原則学説 (第10週) 給与所得税と課税の普遍性 (第11週) 申告所得税と累進課税 (第12週) 法人税と徴税技術 (第13週) 国際化と移転価格税制 (第14週) 一般消費税と付加価値 (第15週) 地方税と地方歳出 (第16週) 地方財政費と財政調整の制度 (第17週) 機関費と純粹公共財 (第18週) 公共事業費と費用=便益分析 (第19週) 公共事業費と公共財産の形成 (第20週) 社会保障関係費と所得再分配 (第21週) 補助金とスピルオーバー (第22週) 国債費と公債負担 (第23週) 総需要管理政策と国民所得の決定 (第24週) 課税乗数と均衡予算定理 (第25週) 公債による財源調達と債券価格 (第26週) 大量国債の累積とその限界 (第27週) 財政金融政策と国際収支 (第28週) 財政投融资と政府貯蓄 (第29週) 試験と評価についての説明 (第30週) 試験

授業の配当曜日によって年度授業回数に若干の異動があり、予定どおりの時間数が組めないことがある。その場合は一部予定を割愛することがある。

履修上の留意点

関連科目として、経済学部の専門教育科目である「経済理論Ⅱ」、「価格理論」、「国民所得論」、「行政法」の履修が望ましい。「財政学」は経済と政治の学際的分野の科目でもあるから、他学部履修科目として開設されている法律学科の「行政法各論」、政治学科の「地方自治法」等の履修も有効である。

成績評価の方法

成績評価は学期末テストとして行われる試験による。試験は論述式による。自筆のノート持ち込み可。再試験を実施する。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

大蔵省大臣官房調査企画課長編『図説日本の財政』各年度版(東洋経済新報社)
野口悠紀雄 著『公共政策』モダン・エコノミックス12(岩波書店)2,000円
中谷巖 著『入門マクロ経済学』(日本評論社)3,300円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
公共経済学	はんや としひこ 半 谷 俊 彦	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

公共部門（国、地方自治体、公企業など）の経済的役割は市場経済を補完することであり、これには①資源の効率的配分、②富と所得の再配分、③経済の安定化がある。この授業では、こうした目的を達成するためには公共部門がどう行動すべきであるのかを、経済学的な視点から学ぶ。

講義の内容・授業スケジュール

1. 公共経済の手段（予算、租税、公債、公共投資、年金保険、介護保険など）
2. 資源の効率的配分（環境政策、環境税、外部経済、公共財の理論など）
3. 富と所得の再配分（租税や社会保険、生活保護などの役割と問題点）
4. 経済の安定化（景気対策および経済成長政策の効果や問題点）

成績評価の方法

原則として前期試験および後期試験により評価するが、出席状況も平常点として加味する。4年次生については再試験を実施する。

教 科 書

特に指定しない。

参 考 書 等

H. ツインマーマン・K.-D. ヘンケ著、里中恆志・篠原章・半谷俊彦・平井源治・八巻節夫訳『現代財政学』（文眞堂）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
地方財政論	しのはら あきら 篠 原 章	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

地方財政の枠組みを理解するとともに、地方財政の基本問題を分析するための基礎的な手法を学ぶことを主眼とする。時事問題なども、折に触れて取り上げる予定である。

講義の内容・授業スケジュール

年間を通じて以下の項目を講義する予定である。

[基礎編]（主として前期）

1. 地方財政論を学ぶということ
2. 地方公共支出の役割
3. 地方公共支出の現状
4. 地方公共支出と公共財供給
5. 租税体系と地方税
6. 地方税制度の歴史と現状
7. 負担と受益
8. 地方債の基礎知識

[応用編]（主として後期）

1. 分権と集権
2. 地方財政調整の実態
3. ケーススタディ：沖縄問題と地方分権
4. 地方財政と地域開発
5. 地方財政制度の国際比較
6. ケーススタディ：高齢化社会と地方財政
7. ケーススタディ：「東京」の社会経済学

履修上の留意点

初学者を対象としたコースだが、財政学の知識があれば、より深く理解することができる。したがって財政学の履修経験があるか、財政学を履修中であることが望ましい。

成績評価の方法

学期末の筆記試験と授業時の課題（レポート）等によって総合評価する。再試験を実施する。

教 科 書

片桐昭泰・兼村高文・星野泉共編著『地方財政論』（税務経理協会刊）2,800円（本体価格）

参 考 書 等

参考書・参考文献・資料等は随時指示する。

そ の 他

テキスト・参考書以外に、新聞等の時事的な資料やビデオ資料等もしばしば利用する予定である。質問等については電子メール（akirashinohara@ma2.justnet.ne.jp）でも受けつける。また、篠原ホームページ（<http://www.daito.ac.jp/~akirashi/>）にも講義関連の情報を掲示するので活用してほしい。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国際金融論	あきやま せい い ち 秋 山 誠 一	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

今日の国際取引は、經常取引（商品・サービスの輸出入）と資本取引の両面において、自由化が進んでいる。このなかで国際間の経済取引が拡大するとともに、国際間の決済とファイナンスが重要な問題となってきた。決済は外国為替を用いて行われるので、經常取引と資本取引にもとづく外国為替の需給関係が外国為替相場を決定するが、逆にその変動が經常取引と資本取引に影響を与え、ひいては各国の経済活動全体に影響を及ぼす。このため、為替相場・通貨危機が各国の経済危機の発端となり、また経済危機は為替相場・通貨危機として現れる。このような今日の経済のグローバル化のもとでは、外国為替の仕組みや国際金融市場の一定の知識がなければ、各国および世界の経済状況を正確に理解することはできない。そこで、外国為替や国際金融問題を理解するために必要な基礎的知識を得ることをねらいとして主に以下の内容で講義を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 国際決済と外国為替の仕組み
- 2) 外国為替の基本概念とその手段
- 3) 外国為替市場と外国為替銀行の操作
- 4) 国際経済取引と国際収支概念
- 5) 国際資金移動と国際金融市場の発展
- 6) 国際通貨制度の歴史的発展と国際通貨
- 7) 変動相場制と最終決済なき国際通貨制度

履修上の留意点

講義は初学者にも理解できるが、新聞・雑誌・ニュース等の国際金融問題の動きに興味を持つことが望ましい。

成績評価の方法

成績評価は、原則として学年末試験によって、さらに小テスト、レポートを加味して行なう。再試験を実施する。

教科書

秦忠夫・本田敬吉『国債金融のしくみ（改訂版）』（有斐閣）

参考書等

授業の進行に沿って紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
社会政策	みつおかはくみ 光岡博美	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の半ばに、その当時のヨーロッパでは後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけではなく、国民の権利を前提にして、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題へのアプローチの方法として、労使関係論の学問は発達を促すこととなった。戦後の日本においても欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、労使関係をその実態に即して理解しようという研究が大きな影響を及ぼしている。

なお、全体の講義を通じて、その時々社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。

講義の内容・授業スケジュール

そこで、上に述べたような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うこととしたい。

- (1) 社会改良の思想と理論
- (2) 労使関係論の思想と理論
- (3) 日本における社会政策・労働問題（戦前）
- (4) 日本における社会政策・労働問題（戦後）
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 高齢化社会と社会保障
- (7) 日本の労使関係の現実と未来

上にのべた(1)～(7)のテーマについて、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の解説、最近注目されている外国人労働者問題やフェミニズム論、また私が専門的に研究してきた問題なども解説したいと考えている。

履修上の留意点

特にないが、これまでは毎年かなりの数の履修者がいるために教場も比較的大きな教場であった。そのためか、時として後部座席での私語が目立った。教場での私語は慎むこと。また私の講義では黒板をフルに利用するので、受講者はなるべく黒板の近くで聞いてほしい。

成績評価の方法

本年度は前期末に試験を行うか、あるいはレポートの提出を求める。どちらにするかは適当な時期に講義のなかで指示する。年度末試験については2～3週間前の授業で詳しく解説する。成績評価は前期末の試験かレポートと年度末試験の成績による。なお、再試験は実施しない。

教科書

特にないが、講義の内容と関連して参考書を適時指示する予定である。

科目名	担当者名	配当学科	単位
教育経済論	やしきただみつ 谷敷正光	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

この講義は経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について明らかにするのがねらいである。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、2000年に向けて一連の教育改革を行ってきた。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「アメリカ教育法」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランスの「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした欧米先進国の経済再建と教育改革の動向、日本の経済と教育の現状をまず明らかにする。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した経済復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の人材教育要求と国の教育政策、産業教育政策を明らかにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

- 先進国の経済発展と教育
 - 日本の産業化とリテラシー・識字率
 - 日本の経済成長と教育
 - アメリカの教育最前線（ビデオ）
 - レーガン大統領の経済と教育1「危機に立つ国家」（一部ビデオ）
 - レーガン大統領の経済と教育2「国家は応える」（一部ビデオ）
 - ブッシュ大統領の経済と教育1「全米教育サミット」（一部ビデオ）
 - ブッシュ大統領の経済と教育2「2000年のアメリカ」（一部ビデオ）
 - クリントン大統領の経済と教育「アメリカ教育法」（一部ビデオ）
 - サッチャー首相の経済と教育「教育改革法」（一部ビデオ）
 - メジャー首相の経済と教育「競争力白書」（一部ビデオ）
 - ブレア首相の経済と教育「知のネットワーク」（一部ビデオ）
- 戦前日本の経済発展と実業教育政策
 - 学制時代における経済と教育1 富国強兵・殖産興業（映画）
 - 学制時代における経済と教育2 学制公布と「行政管理学校」
 - 教育令時代における経済と教育1 工場私下と産業の勃興（一部ビデオ）
 - 教育令時代における経済と教育2 教育令公布と実業補習学校・徒弟学校
 - 学校令時代における経済と教育1 産業革命と産業の発展（一部ビデオ）
 - 学校令時代における経済と教育2 学校令公布と実業教育・「機業地学校」
 - 実業学校令時代における経済と教育1 資本主義の確立（一部ビデオ）
 - 実業学校令時代における経済と教育2 実業学校令公布と「委託教育」「企業内学校」
- 戦後日本の経済発展と産業教育政策
 - 復興期の経済発展と教育 産業教育振興法公布（一部ビデオ）
 - 高度成長第1期の経済発展と教育（一部ビデオ）
 - 高度成長第2期の経済発展と教育（一部ビデオ）
 - 高度成長第3期の経済発展と教育（一部ビデオ）
 - 高度成長終焉後の経済発展と教育

履修上の留意点

- ① 午間5～6回程度小テストを実施し、平常点とする。
- ② 現実的理解のためにビデオ・映画を使用する。
- ③ 毎時間、講義用のプリントを配布する。一度配布したプリントは、後の時間では配布しない。
- ④ 毎時間かなり板書するので、黒板が見えにくい人はできるだけ前に着席のこと。

成績評価の方法

- ① 授業中の小テストと期末試験の成績によって評価する。
- ② 再試験を実施する。

教科書

毎時間、講義の教材として年間40～50枚のプリントを配布するので、教科書は特に使用しない。

参考書等

参考文献は講義の中で適宜紹介するので、興味のある人は読んで講義の参考にして下さい。
土志田征・『レーガノミックス』（中公新書）

原田和明『ブッシュの米国経済』（日本経済新聞社）
大原進『クリントンの米国経済』（日本経済新聞社）
小林泰宏『アメリカで進む教育改革』（朝日新聞社）
森嶋通夫『サッチャー時代のイギリス』（岩波新書）
G・メイナード『サッチャーの経済革命』（日本経済新聞社）
舟場正富『ブレアのイギリス』（PHP新書）
ブライアン・サイモン『現代の教育改革・イギリスと日本』（エイデル）
A・グリーン、J・ハリスン『英国病』（新評論社）
楯西光速『日本資本主義発達史—産業資本の成立と発展—』（有斐閣）
猪木武徳『学校と工場』（読売新聞社）
三好信浩『日本の女性と産業教育—近代産業社会における女性の役割—』（東信社）
天野郁夫『教育と近代化』（玉川大学出版部）
沼口博『学校教育と経済発展』（学文社）
その他は講義の中で紹介します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
アジア経済論	ちよん 鄭 ちやんよん 章 淵	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

この講義では、受講生諸君のアジア経済に対する理解を深めるために、アジア経済を歴史・理論・現状分析の3分野に大きく分け、できるだけその全体像に迫る予定である。基本的な視座としては、1960年代以降本格化したアジアの経済発展を20世紀後半期に新たに勃興した資本主義発展の事例と捉え、その特徴並びに発展と矛盾のメカニズムの解明に焦点を当てる。その際、従来のアジア経済論のように（典型的には、新古典派開発経済学）工業化の本格化した60年代以降の時期にのみ注目するのではなく、その「前史」をなす時期（特に、植民地期や戦後1950年代までの時期）も射程に入れて、通史的に経済発展過程を捉える。また、60年代以降の工業化過程において常に経済発展をリードしてきたアジア国家の役割を重視し、「開発独裁」概念を援用した分析を試みる。そして、あくまでもアジアに視座を置きつつも、現在に至る歴史過程において、その都度、アジア経済に決定的な影響を及ぼしてきた世界経済の動向にも注意を払いたい。

講義の内容・授業スケジュール

〔前期〕

1. 経済発展の前史
 - (1) 植民地経済の概要
 - (2) 戦後経済発展の初期条件
2. アジアNIEsの経済発展
 - (1) アジアNIEsの範疇と経済発展の特徴
 - ※NIEsの用語説明、経済開発戦略の特徴、産業の特徴
 - (2) 開発独裁体制の成立
 - ※韓国の事例、その他の開発独裁
 - (3) 経済発展と民主化の弁証法
3. ASEAN諸国の経済発展
 - (1) タイ・マレーシア・インドネシアの経済発展過程
 - (2) ASEANの歴史
 - (3) 日本企業の進出状況

〔後期〕

4. アジア社会主義諸国の開放政策
 - (1) 中国の開放政策
 - (2) その他……ベトナム、北朝鮮
5. アジア経済発展論の系譜
 - (1) アジアNIEs論
 - (2) 東アジア経済発展論
6. アジアにおける地域経済協力
 - (1) APECの発展過程
 - (2) ASEANの自由化過程
 - (3) その他の中小規模経済圏
7. アジア経済の現状
 - (1) アジア通貨危機の発生とその影響
 - (2) その他の諸問題…環境問題etc.
 - (3) 日本とアジアとの関係の展望

成績評価の方法

前後期二回のペーパーテストと夏期レポートで総合的に評価する。試験の際に自筆のノートを参照にしますので、講義中ノートをよくとってもらいたい。追・再試験を実施する。

教科書

特に定めないが、準テキストとして以下の文献を読んでもらいたい。
大野健一・桜井宏二郎『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円（税抜き）

参考書等

参考文献については、講義中に随時紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ヨーロッパ経済論	しみず たくし 清水 卓	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

本年1月1日から、EU諸国の統一通貨であるユーロが一般に流通するようになり、EU諸国の経済統合は高度な段階に入りました。数年のうちには10カ国を超える中欧、東欧諸国がEUに加盟することになっており、EUの機構改革も着手されました。こうして、世界におけるEUの存在はますます大きくなってきます。

本講義はEUとメンバー諸国の動きを紹介し、その意義を明らかにします。

講義の内容・ 授業スケジュール

前期にはEUの主な課題の経過と現状を取り上げます。

市場統合の経過と現状

市場統合への道

1992年市場統合計画

現段階における市場統合への課題

欧州通貨統合

第2次世界大戦後の国際通貨体制と欧州

欧州通貨危機と欧州統合

欧州通貨制度 (EMS)

欧州中央銀行制度

市民的・社会的ヨーロッパ

欧州失業問題

地域格差問題

欧州福祉国家の現状

欧州基本権憲章

EUの安全保障問題

後期は各国経済とEUの産業分野を取り上げます。

各国経済の現状

フランス

ドイツ

イギリス

イタリア

スペイン

オランダ・ベルギー・ルクセンブルグ

北欧諸国

産業分野としては

農業・農村・食料

伝統的部門

先端産業

なお、随時、EUの最新トピックスを解説します。

履修上の留意点

講義を興味深く聞き、内容を理解するためには、ある程度の基礎知識や、EUで現実に起こっている出来事への関心が必要です。是非、インターネットや、新聞、雑誌で自分の興味が持てる事柄を探してください。

成績評価の方法

前期末と学年末にペーパー試験を行います。

成績評価に際しては、出席回数を考慮します。再試験は行いません。

教科書

特に指定しません。

参考書等

- 1) 田中素香、長部重康、久保広正、岩田建治『現代ヨーロッパ経済』(有斐閣) 2001年
- 2) 藤井良弘『EUの知識』(日本経済新聞社)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
ロシア・東欧経済論	やまがた ひろし 山 縣 弘 志	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

外国経済研究の課題を、その経済事情に通じることという形で、狭く設定する必要はないので、各自の問題意識に引きつけてとらえてもらえばよいが、とりわけ、独特のソ連経済からロシア的・資本主義的・市場経済への転換を、資本主義世界経済のあり方、日本経済のあり方を念頭に置きつつ講義する予定である。その際、ソ連経済史の評価のためには社会主義論の捉え直しが不可欠であり、他方で政策も含めた経済現象の総体を文化的基盤と切り離して論じることはできないから、常に総合的視点と批判精神を伴った受けとめを期待する。

講義の内容・授業スケジュール

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、一つの歴史的移行過程にあるが、「どこからどこへ？」の問題は必ずしも決着済みではない。この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも独自の経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に入って、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてその歴史は通例まぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義に到達したか否か自体が吟味の対象である。これは同時代史の問いかけに答えるために必要な認識であろう。

社会主義論の歴史的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制の認識が深まれば、「どこからどこへ？」の問題の第1段階に答える可能性が生まれるであろうし、その第2段階を検討することは、我々の時代の当面している課題を明らかにすることに通じるであろう。

1. 社会主義とロシア革命
 - (1) 社会主義論とマルクス
 - (2) ロシア革命のめざしたもの—レーニン時代—
2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代
 - (1) 1920年代から30年代への転換
 - (2) ソ連型「社会主義」の特質と行きづまり
3. 「計画経済」と经济管理システム
 - (1) 「計画経済」の成立と実態
 - (2) ソ連型经济管理システム
4. ソ連経済の生産力水準
 - (1) 経済構造の特質と軍事生産
 - (2) 工業生産力と工業技術
 - (3) 農業問題
5. 停滞からベレストロイカへ
 - (1) 経済改革の時代
 - (2) プレジネフと停滞の時代
 - (3) ベレストロイカとその挫折
6. ロシア・東欧経済の現状と課題
 - (1) ロシア・東欧の文化と社会
 - (2) 資本主義化の諸問題
 - (3) ロシアと日本—比較経済史—

履修上の留意点

トピックスにコメントすることが多いと思われるので、必ずしも授業計画通り、またその全てを網羅して進むとは限らないが、部分から全体を照射するように心がけたい。敢えて挑発的な講義にしたいので、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを期待する。

成績評価の方法

成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行う。模範答案等の丸写しは認めない。オリジナリティを評価する。
再試験あり。

教科書

教科書はない。参考書は適宜指示する。歴史の見直しが必要とされ、変化の激しい時代に、万全の教科書はありえない。

参考書等

教科書はないので、授業中にノートを取るのとは当然のことになるだろう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
プログラミング論	はまもと かずひこ 濱 本 和 彦	経B1・2・3・4選 <small>12以降入学生/経A・商1・2・3・4選</small>	4

講義のねらい

現在の社会においてコンピュータはあらゆる分野で使用されており、その重要性は非常に高い。それに伴いソフトウェアの機能強化が必要とされており、ソフトウェアの開発におけるプログラミング技術の重要性はますます高くなっている。またコンピュータの使用環境もスタンドアロンからインターネットなどのネットワーク上での利用へと変化し、それに伴って供給されるソフトウェアを記述するプログラミング言語も変化している。

本講義ではまず、ソフトウェア開発におけるプログラミング技術の位置づけを明らかにするために、ソフトウェア工学の基礎について講義する。次にプログラミング技法とプログラミング言語について講義する。プログラミング言語としてはC言語とJavaを扱い、実際にソフトウェアを作成しながら包括的なプログラミング技術、ソフトウェア開発について講義する。

講義の内容・授業スケジュール

まず、ソフトウェア工学の基礎とプログラミング技法（構造化やオブジェクト指向）について講義する。次に、プログラミング言語について実際に演習（ソフトウェア作成）を交えながら講義する。言語としてはC言語とJavaを扱う。前期にC言語、後期にJavaを扱う予定である。C言語は基本情報技術者試験レベルを目標として、各種データ構造からポインタ、関数、構造体、ファイル操作まで講義する。Javaでは、主に、インターネットのWWW上でプログラムを発信するためのJavaアプレットについて講義する。いずれも実際に演習を行い、「アルゴリズムの作成」、「流れ図の作成」、「コーディング」、「コンパイル」、「実行」、「デバッグ」、というソフトウェア開発の流れを学習する。

履修上の留意点

できるだけコンピュータの初心者に対しても理解しやすいように講義を行うが、各自の予習復習が理解のためには必要である。なお、メールによる出席調査、課題提出を行うため、履修予定学生は大学のメールアドレスの取得手続きを行っておくこと。なお、最初の数回の講義においてプログラミングの実習のためのコンピュータの操作方法について説明するので、必ず出席すること。

成績評価の方法

講義中に出す課題、長期休暇中に課すレポート、および中間試験、期末試験により評価する。なお、再試験を実施する。

教科書

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

参考書等

講義中に指定する。

その他

講義は実際にコンピュータの画面をプロジェクタで見せながら行う。

科目名	担当者名	配当学科	単位
情報処理論	いわせひろかず 岩瀬弘和	経B1・2・3・4選 2以降入学生/経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

高度情報化社会といわれる現代社会において、コンピュータグラフィックス (CG) は様々なところで利用されており、今後、インターネットにおける技術向上やコンピュータの家庭内への普及とともに、CGを作成したり鑑賞する機会が急速に増大するものと予想される。

この講義では、CGの概要から始まり、CG作成のための基本的な理論を学習していく。その際、既存のCG作成ソフトを使用しながらその技術を習得するとともに、CG理論の理解を深めていく。さらに、現在CGが応用されている分野を知り、今後どのようにCGが活用され、発展していくのかについて議論する。

講義の内容・授業スケジュール

- ・ コンピュータグラフィックスとその展開
- ・ 2次元CGの作成と変換理論の習得
- ・ 3次元図形の表示技術 (投影方法と透視変換、陰線処理と陰面処理など)
- ・ 自由曲線の種類とその理論 (ベジエ曲線、Bスプライン曲線など)
- ・ 自由曲面の種類とその理論 (ベジエ曲面、Bスプライン曲面など)
- ・ 3次元モデリングの実際、コンピュータアニメーションなど

上記の理論を学習するとともに、Photoshop、VRML、JavaScriptなどの使用方法についても習得する。

履修上の留意点

パソコン使用経験者が望ましい。

成績評価の方法

出席状況および提出課題にて評価する。
再試験はレポートにて実施する。

教科書

配布資料

参考書等

田中成典、小林孝史 (編) 『VRMLの達人』 (森北出版)
黒瀬能幸 『3次元図形処理工学』 (共立出版)

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商学総論	おおぶき かつ お 大 吹 勝 男	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・1・1・1選	4

講義のねらい

近年、大学においてさえも、学問が軽視される風潮にあります、そして生残りをかけ、学生集めのために実用主義を売りものにする大学もあります。また、大学は社会的要請に答えねばならないという主張のもとに、その実、社会ではなく、会社・企業のために大学が存在することを主張し、かつ君たちに会社人間になることを勧めるマスコミや評論家等がいます。そして一方で、学問に背をむけ、それらに迎合する大学人がいます。しかし、大学は入学した君たちのためにあり企業のためにあるものではありません。そして、大学で学ぶことは、将来君たちが人間らしく生きるための助けになるものでなければなりません。本学もまた大学である限り、学問の場でなければなりません。いいかえれば、大学でしか学べないこと、物事の見方、考え方を学ぶことです。さらにいうならば、実用的でないもの、すぐには役に立たないもの、これらを学ぶのが大学です。実用的なことは、その場限りのものであり、また入社してから容易に身につくものなのです。何年間かキャリアを積んだビジネスマンから聞くことは、大学時代に学問をしておくべきであったということです。諸君も、使い捨てのサラリーマンになることのように、体系的に思考する能力を身につけて下さい。そして、社会に出て現実に困難な問題に出会った時に、学問をした人間として、大学の卒業生として、きちっと解決のできる人間になってください。本講義では、科学的経済学の立場から流通論を、そして商業論を講義するものであり、その内容からして商業経済学といいかえてもよいとおもいます。したがって、授業では、現代における流通および商業に関する諸現象を科学的に認識するために必要な流通理論（物流の基礎理論を含む）および商業資本の理論を講義しますが、それらの知識を習得するとともに、それらを学ぶ過程において体系的な思考方法を習得し、思考能力を高めてください。そのためには一年間を通して授業に出席することが必要です。また本講義は、君たちが履修するであろうマーケティングや商業政策・流通政策のための基礎理論を提供するとおもいます。

講義の内容・授業スケジュール

授業内容は下記の項目の通りですが、本年度は、これらの項目について講義しながら、現代企業の経営戦略において重要性を増している物流問題を考えるうえで、その基礎となる理論について特に力を入れたいと思います。

- (1) 商品論（価値論）・電子マネー
- (2) 生産過程論（労働過程論）
- (3) 流通過程論（資本の流通過程・流通時間・流通諸費用）
- (4) 資本の回転と流通資本
- (5) 商業資本の本質論
- (6) 商業資本の自立化論・電子商取引（eコマース）
- (7) 商業利潤論
- (8) 純粋流通費用論
- (9) 商業労働論
- (10) ホワイトカラー労働論（サラリーマン論）
- (11) 商業資本の回転と価格
- (12) 大規模商業資本論
- (13) 独占的商業資本論
- (14) 卸売排除論
- (15) 流通系列化論

成績評価の方法

評価は期末試験によるが、授業の予習をかねてレポートを課すこともありうる。また各授業項目が終る毎に、小テストを実施し、君たちの理解度を確認、一層の理解を深める手段とします。期末試験は論述形式でおこなう。再試験は実施する。

教 科 書

- | | | |
|------------------------------|---|----------------|
| 1 大吹勝男著『新版流通費用とサービス理論』（梓出版社） | 5 | 『経済学論集』第22巻第4号 |
| 2 『経済学論集』（駒沢大学経済学部発行）第20巻第2号 | 6 | 『経済学論集』第26巻第1号 |
| 3 『経済学論集』第20巻第4号 | 7 | 『経済学論集』第27巻第1号 |
| 4 『経済学論集』第22巻第1号 | | |

以上、2から7までの『経済学論集』には、大吹勝男の執筆する商業資本、商業利潤および商業労働に関する論文が掲載されていますから、図書館にてコピーして利用して下さい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商業政策	いわした 岩 下 ひろし 弘	経B1・2・3・4選	4

講義の内容・
授業スケジュール

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
 - 1 90年代の小売商業構造
 - 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
 - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 わが国の流通政策論
 - 1 中小小売商保護政策論
 - 2 流通近代化政策論
 - 3 流通システム化計画論
 - 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
 - 1 70年代の流通
 - 2 80年代流通産業ビジョン
 - 3 90年代流通ビジョン
 - 4 21世紀へ向けた流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
 - 1 百貨店法
 - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
 - 2 中小小売商業振興法
 - 3 小売商業調整特別措置法
 - 4 大店法
 - 1) 1973年法 2) 1979年改正法
 - 3) 1991年改正法
 - 5 凍結宣言、要綱及び条例
 - 6 通産省による行政指導＝抑制措置
 - 7 規制緩和
 - 1) 規制緩和の流れ－前川レポート、行革審報告
 - 2) 日米構造問題協議 3) 適正化措置
 - 8 特定商業集積法
 - 9 街づくりと都市計画
- 五 流通政策の転換
 - 1 大店立地法
 - 2 中心市街地活性化法
- 六 海外の流通政策
 - 1 イギリス
 - 1) 出店調整政策－都市・農村計画法
 - 2) 日曜営業問題－商店法
 - 2 フランス－ロワイエ法
 - 3 ドイツ－土地利用計画
 - 4 アメリカ－ゾーニング規制

成績評価の方法

定期試験、レポート、出席により評価。再試験は実施しない。

教科書

指定しない。

参考書等

その都度指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商品学	い し ぎ き よ し か み 石 崎 悦 史	経B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

現在の商品の状況は変化が激しいが、消費者のニーズと企業との関係のなかで出現するものである。それをもとにして、商品の将来と社会生活の変化を考えたい。

現実のなかから商品学の体系を作り出すという手法を試みようとしているが、これが成功するかどうかは学生諸君の参加の程度にかかっている。自分の頭で考えるという習慣を大学生としてもたないと勉強はほとんど意味をもたないからである。

講義の内容・授業スケジュール

教科書の順にしたがうが、現実をいかに抽象化していくかということを念願においているので、商品ブランド、CMなどの役割から社会科学の体系まで考えるプランを実行してみたい。教科書をみて判断して下さい。

成績評価の方法

前・後期に筆記試験をおこなう。再試験を実施する。

教 科 書

石崎悦史『商品知識イノベーション戦略』（同友館）1,600円

参 考 書 等

- (a) 石崎悦史『商品学と商品戦略』（白桃書房）
- (b) 片岡寛編著『市場力学を変える商品多様化戦略』（中央経済社）
- (c) 片岡寛編著『拡大する栄養ドリンク市場』（中央経済社）
- (d) 見目洋子『「生活福祉」を実現する市場創造』（中央経済社）

そ の 他

例年受講者が多いので、大教室での講義形態をとらざるをえないが、勉強をおもしろくするための方向性を示したいと考えている。勉強が生きる力になることを期待したい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
交通論	し お み え い し 塩 見 英 治	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

「交通」を経済面から眺め、交通現象に経済理論の光をあて、様々な交通問題の解決策について考察します。同時に、「交通」を通して「経済学」「経済」の理解を深めることを狙いとしています。とくに、現代の交通市場の変化と規制を中心とする政策の課題について検討します。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 交通の概念と交通経済論の特質
2. 交通技術の発展と交通政策の展開
3. 現代資本主義における交通政策の展開
4. 情報社会における交通
5. 交通需要の性質と市場対応
6. 環境変化と交通需要マネジメント
7. 交通サービスと交通システム
8. 交通の産業組織と市場構造
9. 交通の規制と規制緩和(1)
10. 交通の規制と規制緩和(2)
11. 物流の変革とSCM
12. 航空の規制緩和と企業行動
13. 運賃学説の系統
14. 負担力主義・差別運賃
15. 限界費用・平均費用決定運賃、二部料金制
16. インセンティブ規制運賃
17. 交通事業の変革と運賃制度改革
18. 道路混雑とロードプライシング
19. 交通事業における運賃制度
20. 交通社会資本の整備と費用負担
21. 高速道路の整備と料金問題
22. 交通投資の決定と評価
23. 国際交通の自由化と航空産業の再編
24. 総合交通政策の「総合性」の期待と限界

履修上の留意点

出席しないと理解できない部分が含まれています。出席可能なことを前提に履修して下さい。

成績評価の方法

授業期間中に授業内容に関する課題レポート(一回)を提出のこと。課題レポートを提出しないと期末試験をうけることができないので、履修の際に注意して下さい。また、簡単な小テストを授業期間中に実施します。なお評価は期末テスト結果を最大重視し、小テストとレポートの参考点を加味して行います。再試験は実施しません。

教 科 書

教科書は指定しません。基本的にプリントを配布します。

参 考 書 等

塩見英治編『改訂 交通産業論』(白桃書房)1994年
小淵洋一著『現代の交通経済学』(中央経済社)1996年
金本良嗣・山内弘隆編『講座・公的規制と産業』(NTT出版)1995年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商業史	こ う の や す の り 幸 野 保 典	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3選	4

講義のねらい

商業史とは、各時代の人間の経済生活のなかでとくに商業活動を取りあげて、その具体的役割や歴史的な変遷を明らかにする学問だといってよいであろう。この場合の経済生活とは、人間が生存のために必要な生活必需品などさまざまな財貨（商品）を獲得し、それらを消費しながら日常生活を繰り返すことである。広義の商業とは、財貨がどこで生産され、どのような経路で生産者から消費者へ運ばれ売られるかに関わることである。

経済の発達した現在では、消費者は必要な消費財をみずから生産せず、第三者が生産した財貨を商品として市場から購入しなければならない。人間の経済生活は市場における商品の売買という取引行為を通して営まれている。そして、商品売買という取引行為が生産活動から独立した場合、商品を購入して再び販売するこの取引行為は生産とは別の独立した職業として専門的に営まれることになる。これが本来の意味での商業で、それを専門に営む者が商人である。

このように、本来の商業は市場における商品の購入と再販売という連続した二つの取引からなっている。しかし、現実商品取引が行なわれる場合には、金融業（信用業務）、通信業（発注・受注業務）、保険業（商品の保全）、運輸業（商品運送業務）、倉庫業（商品の保管）などが商品の売買に付随して行なわれることから、これらも商業の範疇として考えられ、商業史の対象となる。外国との商取引である貿易も商業史の重要な一部門である。

このように商業史の対象は多岐にわたるが、本講義では、日本における小売商問題、とくに大正・昭和期の小売商問題に重点をおきたいと思う。それは、今日の小売商問題の源流を探るうえで重要であると考えられるからである。経済史とのかかわりのなかで商業史をみることは当然のことではあるが、小売商問題に限っては社会史や文化史からのアプローチも重要な要素となる。経済的効率のみから小売商問題を理解したり、外国との経済摩擦の解消策としての規則緩和問題に重点を置き解決を計ろうとすれば、地域文化の崩壊や個性の喪失はまぬがれないと考える。

講義の内容・授業スケジュール

I. 商業史の課題と方法（1回）。II. 明治期の商業、1. 近代商業の経済的環境（1回）、2. 近代商業経営の成立（1回）、3. 商業教育の展開（1回）。III. 大正・昭和期の小売問題、1. 小売商の社会経済環境（1回）、2. 商業人口の過剰現象とその定着度（1回）、3. 中小事業者の零細性（1回）、4. 各種小売形態の発展、a. 百貨店①百貨店の発展（2回）②百貨店の植民地、占領地への進出（1回）、b. チェーンストアなどの発展（1回）、c. 小売市場、産業組合（1回）、d. 商店街①商店街の形成（1回）②各地「商店街二関スル調査」の概要（1回）③巢鴨地藏通商店街、浅草仲見世商店街、谷中銀座商店街（1回）④砂町銀座商店街、高円寺純情商店街、中野北口サンモール・ブロードウェイ商店街（1回）。5. 中小小売商の経営実態、a. 小売商経営の実際（1回）、b. 小売商問題の発生と社会的認識（1回）c. 露天商（ヤシ・香具師・てきや）（1回）。6. 中小小売商の社会運動、a. 反百貨店運動（1回）、b. 反産運動・その他の社会運動（1回）。IV. 戦時下の商業、1. 商業の再編成（1回）、2. 中国占領地における物資通済業務と百貨店（1回）。V. 戦後の小売商問題、1. 流通革命とスーパー・マーケット（1回）、2. コンビニエンス・ストアの発展（1回）を予定している。

履修上の留意点

とくになし。

成績評価の方法

前期にレポート、後期に試験を実施する。再試験を実施する。

教科書

とくに指定しない。毎回講義にはレジユメを用意する予定である。

参考書等

竹林庄太郎『日本中小商業の構造』（有斐閣）1941年
日本小売業経営史編集委員会『日本小売業経営史』（公開経営指導協会）1967年
糸園辰雄『日本中小商業の構造』（ミネルヴァ書房）1975年
藤田貞一郎、宮本又郎、長谷川彰『日本商業史』（有斐閣）1978年
石坂昭雄、壽永欣三郎、諸田實、山下幸夫『商業史』（有斐閣）1995年
白澤恵一『地域経済と小売商業』（溪水社）1982年
鈴木安昭『昭和初期の小売商問題』（日本経済新聞社）1980年
田中道雄『商店街経営の研究－潮流・変革・展望－』（中央経済社）1995年

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財務管理	しらさか 白 坂 <small>とおる</small> 亨	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

財務管理は企業の資本についての諸問題を研究対象とする学問です。しかも、企業側からすれば、この財務管理はその企業の形態や業種、規模によっても変化します。したがって、学問領域も広く、商法および税法、証券取引法、独占禁止法といった法制度とも密接に関連しています。またその奥も深いものとなっています。

このような状況のもと、財務管理は利益管理（費用管理と収益管理）と資本管理（調達管理と運用管理）の両側面において発生する問題の背景や、要因を解明すべく、企業を取り巻く金融・証券市場の構造解明と役割の認識を深めることを目的としています。

講義の内容・授業スケジュール

そのため、本講義においては次にしめす項目を2・3回に分けて検討します。

1. 財務管理論の枠組み
2. 会社制度
3. 財務管理の役割り
4. 資金調達の実態－株式資本－
5. 資金調達の実態－借入れ資本－
6. 資金調達の実態－社債資本－
7. 資金調達の実態－自己金融－
8. 配当政策
9. コーポレート・ガバナンス

履修上の留意点

履修するにあたり、学生諸君に望むことはただ一つ、積極的な授業参加です。

成績評価の方法

成績評価は出席、小テスト、レポート等により総合的に評価します。再試験を実施します。

教 科 書

教科書・参考書は開講時に指示します。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
財務管理	た ぶ ち や す お 田 淵 泰 男	経B1・2・3・4選	1
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

企業をとりまく経営環境が、ダイナミックに変化している現代、経営戦略の優劣いかんが、企業の栄枯盛衰に重大な影響をもつようになっています。企業がそうした環境に、いかにうまく適応すべきかを考える経営戦略は、現代企業にとっても最も重要なものであるとともに、現代経営学における中心的な研究分野の1つになっています。

この講義では、これまでの経営戦略論の展開をふまえ、経済学部で経営戦略論を学ぶ皆さんにとって是非必要な重要論点にかんする知識を提供し、それらの考え方の理解をはかることをねらいとしています。

講義の内容・授業スケジュール

経営戦略論のつぎのような主要分野について、それぞれの理論を事例ないしフィールドリサーチによる最近の実例などをまじえて解説します。

- ・経営戦略論への招待
 - 戦略とは何か、経営戦略とは何か、経営戦略論の発展過程と概念の構築、経営戦略の体系。
 - ・企業が生存していくために選択・決定すべき「企業戦略としての事業領域（ドメイン）の定義
 - ・企業が成長戦略のなかで新しい製品・市場をめざして複数の事業分野に経営資源を展開していく「多角化戦略」
 - ・多角化した企業が経営資源をどのような製品事業へ選択的に重点配分すべきかを考える『事業ポートフォリオ戦略』
 - ・競合企業に対して競争上の優位な地位を獲得するための「競争戦略」
 - ・その他
- 機能分野別の戦略（研究・技術開発戦略など）、経営戦略と組織、最新の経営戦略論の動向などについて、授業時間数の配分を考慮して取り扱います。

履修上の留意点

企業行動の論理を探求しようとする意欲をもって、その機会を常日頃意識的にさまざまな視点からとらえようとする姿勢が大切です。

成績評価の方法

期末試験により評価します。出席は加点対象とします。ただし、受講者の学習意欲や出席状況を参考にして、レポートを加点対象とした総合評価とすることがあります。再試験を実施します。

教科書

開講時に説明します。

参考書等

適宜紹介します。

その他

毎回、プロジェクター（パワーポイント）を利用します。図表を多用するとき、詳細な説明を要するときはプリントを配布します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営学史	い わ な が 岩 永 宏 治	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

企業・経営における実践の理論的体系化として生成・発展してきた経営学の歴史的展開を中心に講義していく予定です。その際、アメリカを代表する学説を焦点にし、それらの学説がいかなる歴史的、経済的、思想的背景のなかで成立し、企業・経営あるいは組織・人間のいかなる側面を問題にし、どのような理解を示してきたのかを解明していきます。そのなかで、アメリカにおける経営学の基本的性格とその歴史的・客観的な意義と役割を明らかにしていくつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

- ① アメリカ経営学の基本的性格
- ② アメリカ資本主義と管理問題
- ③ 独占形成と管理問題
- ④ アメリカ経営学の思想的背景
- ⑤ テイラリズム
- ⑥ 科学的管理と精神革命
- ⑦ フォーデズム
- ⑧ 合理化運動と労働問題
- ⑨ 人間関係論とホーソン実験
- ⑩ 人間関係論の基本思考
- ⑪ フォレット学説の特徴
- ⑫ 行動科学的管理学説の展開

履修上の留意点

疑問などを積極的に提示して下さい。

成績評価の方法

ペーパーテストと出席状況により評価します。再試験を実施する。

教科書

高木・丸山編著『経営管理の理論と歴史』（中央経済社）

参考書等

必要に応じて随時指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
会計学総論	い し か わ 石 川 祐 二	12以降入学生/経B1・2・3・4選 11以前入学生/経B1・2・3・4選/商学専修 11以前入学生/経B1・2選/経済学専修	4

講義のねらい

会計は「ビジネスの言語」とあるといわれる。我々は、常に言葉によって物事を把握し、理解している。会計という言葉によって、ビジネスに関する様々な事象が把握され、理解されているのである。会計はそのようなはたらきによって、社会の中で何らかの役割を果たすことになる。そこで、本講義では、その役割について理解するための基礎を学ぶことにしたい。具体的には、簿記の基本を学習し、その上で、会計の社会的な役割について、監査も含めて全般的に見ることとする。

講義の内容・授業スケジュール

前期：簿記の基本的な体系と、そのことから考えられる会計の基本的性質について明らかにする。また、会計の基本パラダイムの変遷について触れることにする。
後期：財務諸表の仕組みと内容について、また、監査の役割について学習する。さらに、日本の会計制度の特徴と現在の動向についても講義する予定である。

履修上の留意点

基本の理解が後の学習にとって重要なので、休まず出席することを心がけること。

成績評価の方法

小テスト・レポート・年度末試験を総合評価する。再試験は行わない。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

講義において適宜紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
簿記論	鈴木勝浩	経B1・2・3・4選	4

講義のねらい

簿記は、企業の経済活動を貨幣価値的に把握し、一定の記帳原理に基づいて記録・計算する方法である。現在企業ではコンピュータによる会計処理が主流となっているが、その基本には複式簿記の原理があり、マニュアル方式による簿記と何の変わりもない。また簿記は会計関連科目を学ぶ上で基礎的前提となるものであるため、初めて会計を学ぶ学生を考慮に入れ、複式簿記の原理をわかりやすく解説を行っていく。

講義の内容・授業スケジュール

本講義では、まず簿記の歴史と複式簿記の原理を解説した後、日商簿記検定3級程度の知識を得るべく、簿記一巡の手続に従い、記帳演習を取り入れながら個別事項を学習していく。また現在の実務状況を勘案し、コンピュータ環境下における簿記会計の在り方についても触れていきたい。

履修上の留意点

簿記はその性格上、知識の積み重ねが必要であるためなるべく欠席しないこと。また簿記は一定のルールさえ習得してしまえばその後の理解は容易である。したがって講義のスタートを大事にしたいと考えており、学生諸君もそのつもりでいて欲しい。

成績評価の方法

出席率、提出物および定期試験の総合評価で行う。
再試験は実施する。

教科書

『要点整理 日商簿記検定練習問題集3級』（一橋出版）
飯岡透著『簿記概論及び簿記概論練習帳』（創成社）

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

講義の際には、必ず電卓を持参すること。

科目名	担当者名	配当学科	単位
会計監査論	森田佳宏	経B1・2・3・4選 <small>12以降入学生/経A・商1・2・3・4選</small>	4

講義のねらい

会計監査とは、企業における会計記録および会計行為の全部または一部につき、それに関与しない独立の第三者が分析的に検討を加え、その適否または正否に関する批判的意見を表明することである。これは、会計監査の一般的意義であるが、会計監査のうち、現在もっとも広く行われ、かつ、もっとも重要な監査方式は、職業監査人すなわち公認会計士による財務諸表監査である。財務諸表監査とは、企業が作成する財務諸表の適否について、監査人が公正な立場から検討を加えて専門家としての意見を表明し、もって財務諸表に対する社会一般の信頼を高めるための制度であり、主として、投資者、債権者その他の利害関係者の利益擁護を目的とする監査である。

いうまでもなく、財務諸表監査は、企業が作成する財務諸表をその対象としている。財務諸表とは、周知のとおり、毎事業年度に作成される貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等の財務に関する決算書類である。

これら財務諸表の適否の検討にあたって、監査人の判断の基礎となるものが、商法、財務諸表規則、企業会計原則等の会計に関する法令および慣習規範であり、監査人の行為の尺度となるものが監査基準である。

講義の内容・授業スケジュール

職業監査人による財務諸表監査（特に証券取引法監査）を中心として、会計監査の意義・目的、種類および歴史、ならびに会計・監査制度、監査基準等に関する研究を行う。

履修上の留意点

本講義の履修にあたっては、すでに「簿記論」、「会計学総論」および「財務会計論」を履修済みであることが望ましい。

成績評価の方法

原則として試験の結果により評価する。なお、再試験は実施する。

教科書

指定しない。必要に応じて資料を配布する。

参考書等

税務研究会編『企業会計規則集』（税務研究会出版局）
飯岡透、市村一之、島崎規子『会計監査概論』（中央経済社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
原価計算論	すずき かつひろ 鈴木 勝 浩	経B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

原価計算は「目的」に対する「手段」の体系にはかならないから、原価計算はその目的との関連において理解されなければならない。多くの企業において、原価計算システムは経営情報システムのコアを形成し、経営管理に関連するさまざまな情報ニーズに応えることができるように、システムの構築が考えられるべきである。原価計算システムに対する情報ニーズは、経営環境や経営戦略の変化に応じて絶えず変化する。特にFA化が進んだ今日では、伝統的な原価計算の中にはその有用性が失いつつあるものもある。

そこで本講義では、伝統的な原価計算を解説しその問題点を把握した後、原価計算の新しい潮流について話を進めていきたい。

講義の内容・授業スケジュール

本講義の内容とスケジュールは概ね以下の通りである。

- I 原価計算の歴史
- II 原価計算総論
- III 財務諸表作成のための原価計算
- IV 経営管理のための原価計算
- V 原価計算の新しい潮流

履修上の留意点

本講義の主テーマはFA化を前提にした現代企業における原価計算である。日頃から製造業に関する問題について関心を持って欲しい。

また教科書にある計算事例を使いながら講義を進めていくので、当然のことではあるが、教科書は必ず購入すること。

成績評価の方法

出席率及び定期試験の総合評価で行う。
再試験は実施する。

教科書

山田庫平編著『原価計算の基礎知識』（東京経済情報出版）

参考書等

毎回プリントを配布する。
参考文献については必要に応じて紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
税務会計論	た か き か つ み 高 木 克 己	経 B 1・2・3・4 選 12以降入学生/経 A・商 1・2・3 選	4

講義のねらい

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。ここ数年、法人税も税率の引き下げをはじめ、多くの改正が行われている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義の内容・授業スケジュール

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
 - (1) 企業利益と課税所得の関係
 - (2) 益金の額及び損金の額
 - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
 - (1) 引渡基準
 - (2) 特殊販売収益の計上基準
 - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理
10. 圧縮記帳
11. 引当金と準備金
12. 企業を巡る国際課税の問題
 - (1) 移転価格税制
 - (2) タックス・ヘイブン対策税制
 - (3) 外国税額控除制度
13. 法人税額の計算

履修上の留意点

「簿記学」「会计学」等の基礎的な会計科目を修得した上で履修した方がより理解が深まると思われる。

成績評価の方法

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度提出を求める。再試験を実施しない。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

開講時に指示する。

その他

毎回出欠をとるかどうかは、初回の講義の中で受講生諸君と相談して決めたい。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
証券市場論	さとうのぼる 佐藤 昇	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

資金の調達・運用手段として、有価証券の役割が近年ますます重要性を高め、間接金融を中心とする企業金融は大きく変貌しようとしている。講義では証券市場の機能、市場構成など基礎的な分野の現状解説に止めず、市場の歴史・現状・将来展望を検討し、市場変化の方向性や必然性を見極める事に留意する。

講義の内容・
授業スケジュール

最初に証券市場で取り扱う対象である有価証券を定義するが、とくに近年における有価証券範囲拡大傾向について注目したい。

つぎに伝統的な有価証券である債券や株式の種類と機能、およびこれらの発行・流通市場の歴史と現状さらには将来像などについて講義する。また、債券と株式への投資を決定する際の尺度についても、計算方式と利用上の留意点を解説する。

1980年代後半にわが国の株式市場で発生した「バブル」とその崩壊は、現時点においても株式市場はもちろんわが国経済全般にわたって大きな傷跡を残しているが、バブルの歴史や発生・崩壊および後遺症伝播のメカニズムを検討する。

わが国は2001年までと期間を設定して、金融・証券市場全般の大改革「日本版ビッグバン」を実施した。この結果多方面に渡る市場改革が相次いで実現したが、金融機関の不良債権処理に関しては依然として課題を残している。

一方、近年における金融・証券市場のグローバル化にともなって、地球規模でマネーの動きが極めて早くなっており、市場の変化は従来になく激しくなっている。

このように、内外共に激変が予想されるため、ことに証券市場に関連して重要な事態が発生した際には、その都度背景、影響などを解説する。

履修上の留意点

証券・金融市場関連のニュースに関心をもって欲しい。その上で疑問点や不明な用語があれば、積極的に質問をしてもらいたい。

成績評価の方法

原則として学年末の定期試験によって評価する。再試験を実施する。

教 科 書

佐藤 昇ほか著『入門現代の証券市場』（東洋経済新報社）3,100円

参 考 書 等

佐藤 昇ほか著『現代経済と証券市場』（有斐閣）2,266円

科目名	担当者名	配当学科	単位
保険論	いまいずみ たかただ 今 泉 敬 忠	経B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

近年、個人であると企業であるとを問わず、多様化しかつ巨大化した危険（リスク）をどのように処理するかは、経済生活上大きな問題となっている。そうした危険の処理に当たって大きな役割を果たすのが保険制度である。本講義では、まず保険の基本的原理を理解し、その上で個別の保険を取り上げてその実際がどのようになっているかが理解できるようにすることを目標とする。

講義の内容・授業スケジュール

保険の研究方法には種々の方法があるが、本講義では、前期には、保険の基本的原理（すなわち、保険の生成、保険の概念、保険の機能、保険料、責任準備金、資産の運用とその規制、保険者の組織、保険の分類等）を取り上げ、後期には、個別の保険（例えば、歴史的に一番古く、その後生成したその他の保険に大なり小なり影響を与えた海上保険）を取り上げ、経済生活上危険の発生が予測される場合、その危険が現実発生し、それによって生じる経済的不利益（すなわち損害）が保険によってどのように補償されるかを、どの保険にも応用できる形で講義する。

履修上の留意点

保険は、必要があって生成し、長い年月を経て発展してきた経済制度であるから、それなりの独自の機構や組織をもち、更に用いられる用語にも特殊性がある。したがって、講義に出席してノートをとるだけでなく、下記参考書のいずれかを熟読することが必要であり、そうすることを希望する。

成績評価の方法

出席状況、授業時間中の態度および学年末試験を総合して評価する。
再試験あり。

教科書

特に指定しないが、下記参考書を利用することが望ましい。
なお、必要に応じて資料を配布する。

参考書等

鈴木辰紀編著『保険論』（第10版）（成文堂）
石名坂邦昭著『リスク・マネジメントの理論』（白桃書房）
前川寛『現代保険論入門』（中央経済社）
今泉敬忠・大谷孝一著『海上保険』（損害保険事業総合研究所）

科目名	担当者名	配当学科	単位
憲法	うちだ まりこ 内 田 真 利 子	経B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

市民と公権力との関係、個人と集団との関係、少数者と多数者との関係において、憲法の存在意義を再確認すること。受講者が、自分自身に関わる問題として憲法に興味を持つためのきっかけにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

政治の動向、社会的事件、受講者にとっての身近な関心事などを題材に選び、「人権」という観点から問題的の整理および検討を行う。具体的なテーマは、現実社会の変化に応じて、また受講者からの要望に応じて、適宜選択していく。網らする領域は幅広い。その一例を以下に挙げる。環境、平和、象徴（日の丸・君が代・天皇制）、家族と法、学校における人権、職場における人権、医療と人権、性愛の自由、外国人の人権、宗教と人権、犯罪と法、報道と人権、性差別……。

履修上の留意点

毎回の授業に単に出席するだけでなく、主体的に参加できる人にものみ受講してほしい。

成績評価の方法

通常授業時間中に年数回、小レポート作成を課す。このレポートのほか、授業への参加意欲についても成績評価の対象とする。なお、「試験」は行わない。したがって「再試験」も行わない。

教科書

授業で指示する。

参考書等

六法（出版社、サイズは問わない）、少なくとも日本国憲法の全条文。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
民法一部	お 織 だ 田 晃 子	12以降入学生/経B1・1・4選 経A・商1・2・3・4選	4
民法		11以前入学生/経B1・1・4選	

講義のねらい

このクラスは民法及び民法1が講義の対象とされている。そこで、民法総則を中心に行うが、具体的には取引行為、特に契約を通して必要があれば物権にもふれながら、下記の講義内容を進める。

講義の内容・
授業スケジュール

- 1 権利の主体
 - (1) 自然人
 - ① 権利能力
 - ② 意思能力、行為能力
 - ③ 不在者、失踪宣言
 - (2) 法人
 - ① 法人の意義・本質
 - ② 法人格否認の法理
 - ③ 権利能力なき社団・財団
 - ④ 法人設立とその能力
 - ⑤ 法人の不法行為責任
- 2 権利の客体
 - (1) 物の概念
 - (2) 不動産と動産
 - (3) 主物と従物
 - (4) 元物と果実
- 3 権利の変動
 - (1) 法律行為
 - (2) 意思表示
 - (3) 代理
 - (4) 無効及び取消
 - (5) 条件及び期限、期間
 - (6) 時効

履修上の留意点

六法は必ず持参すること。

成績評価の方法

期末試験の成績と出席日数により評価。再試験を実施する。

教科書

河野弘矩著改訂版『民法総則講義』（八千代出版）3,100円＋税

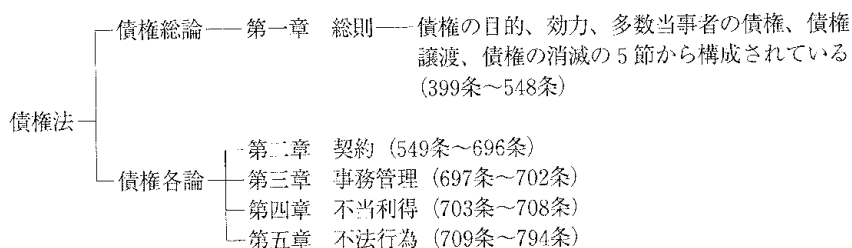
参考書等

『ポケット六法』（有斐閣）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
民法二部	河野弘矩	経B1・2・3・4選 12以導入学生/経A・商1・11選	4

講義のねらい

債権法とは、形式的には民法第三編債権の規定の総体（399条～724条）をいい、実質的には債権関係を規律する法規の全体を意味している。債権法は、物権法と共に市民生活のうち財産関係を規律する法規であり、主として財貨の移動関係を定めた法律といえよう。



講義上、債権法第一章総則を債権総論といい、第二章以降を債権各論と呼んでいる。本講義は、上記の第一章の債権総則を対象とする。債権総則は、実質上契約から生ずる債権を念頭においた規定と解される場合が多いことから、講義のなかでは契約の例示を多く登場させ、極力具体的事例を以て抽象的理論を説明するようにしたい。

講義の内容・授業スケジュール

講義の進行は、債権法の規定の順序に従い、以下の通り行う。

- 1 債権の意義及びその性質
- 2 債権の目的
- 3 債権の種類（特定債権、種類債権、金銭債権、利息債権、選択債権、任意債権）
- 4 債権の効力（自然債務、強制履行、債務不履行、第三者による債権侵害、責任財産の保全、他）
- 5 多数当事者の債権関係（連帯債務、保証債務）
- 6 債権関係の移転（債権譲渡、債務の引受、契約上の地位の譲渡）
- 7 債権の消滅（弁済、代物弁済、供託、相殺、更改、免除、混同）

履修上の留意点

必ず続けて受講すること。

講義には、六法全書を必ず持参すること。

講義についての質問は、毎回講義終了後質問を受けることは当然であるが、その他前期と後期の授業最終日に質問を受ける時間を設ける予定です。

成績評価の方法

期末試験により評価する。出席点を加味するか否かは今後検討したい。

教科書

教科書は、河野弘矩『債権法講義』（八千代出版）価格未定を使用予定。参考書については、授業のなかで紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商法一部	しまはら ひろあき 島 原 宏 明	12以降入学生/経B・1・2・3・4選、 経A・商1・2・3・4選	4
商法		11以前入学生/経B・1・2・3・4選	

講義のねらい

実質的な商法の領域の中から主に会社法を対象として講義を進めて行く。商法は民法と共に私法と言われる領域を構成しており、民法の特別法という地位に立つ。したがって本来は商法を学習する以前に民法の基礎知識があることが望ましいが、実情を考慮して、個々の論点の中で民法あるいは法学の領域にまで遡って説明することで補って行くつもりである。

会社法という領域は、商法典の中の第二編会社を中心として、有限会社法、商法特例法等によって構成されている。また、商法上の会社には、商法典に規定されている合名会社、合資会社および株式会社と、有限会社法に規定されている有限会社の四つがある。本講ではこの中から、現代資本主義社会において最も典型的な企業形態であり、かつ最も複雑な法規則を受けている株式会社の制度を中心として解説していく。

講義の内容・授業スケジュール

具体的には、①商法上の四つの会社の特徴、②株式会社の設立、③株式と株券、④株式会社の機関、⑤新株発行、⑥株式会社の計算、⑦社債、の順に講義を進めて行く。また、企業活動との係わりの薄い学生諸君にいくらかでも現実感を持ってもらうために適宜、コピーした判例を配布し、解説して行くつもりである。

成績評価の方法

期末試験による。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

宮島 司『会社法概説（第三版）』（弘文堂）
なお、小型の物でよいが必ず六法全書を携行すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
商法二部	しまはら ひろあき 島 原 宏 明	経B 1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

現代の経済社会における企業間の取引では、手形や小切手等の有価証券が数多く使用されている。中でも手形と小切手は典型的な有価証券であって、その流通に関する法規制の多くは商法上の他の有価証券にも及んでいる。したがってその体系の理解は有価証券全般を理解する上で不可欠なものである。また、手形や小切手は金銭債権と結び付いた証券であるため、これに関する法体系は債権法の一部として把握され、民法の債権総論と密接な関係にある。

講義の内容・授業スケジュール

手形法は第一編為替手形と第二編約束手形の二編から成り立っており、為替手形についての規定の多くを約束手形に準用するという構成になっている。ただし、わが国においては為替手形がほとんど用いられていないという現実があり、また為替手形に比べて約束手形の方が仕組みが単純であるため、条文の順序とは一致しないが講義では約束手形を中心に説明を行い、適宜為替手形、及び為替手形と基本的な仕組みを同じくする小切手についての説明を付け加えていくという形をとる。

なお、企業活動に関わったことのない学生諸君には手形や小切手の世界は現実感が乏しく興味が起こりにくいため、なるべく具体的な判例を示して解説をしていくつもりである。

成績評価の方法

成績評価は期末試験による。

教科書

島原宏明『手形法学への誘い』（八千代出版）2,500円

参考書等

開講時に指示する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
経済法	お か だ と し ひ ろ 岡 田 外 司 博	経B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・専1・2・3・4選	

講義のねらい

独占禁止法は、企業の経済活動に関する世界共通のルールとしてますます重要になりつつあるのみならず、実は私達の生活にも深く関わっている。ところが、独占禁止法の条文を見ると、一般になじみのうすい抽象的な用語が並んでいて難解であり、その理解は決して容易ではない。そこで、本講義では、最初数回は理論的問題にも触れるが、その後は独禁法の規制の内容とその実際の解釈運用について、具体的事例を多くふまえてできるだけわかりやすく解説することを目標にしたいと考えている。

講義の内容・
授業スケジュール

講義は2回に1枚プリントを配布し、そのプリントに書かれた設問にこちらの方で答えて行くという方法をとる。

履修上の留意点

プリントを受け取らずに講義を聴いても意味がないので、出席は取らないが、講義に出席して少くともプリントを受け取ることを勧める。

成績評価の方法

試験（後期1回のみ）によって判定する。再試験を実施する。

教 科 書

丹宗暁信・厚谷襄児編『新現代経済法入門』（法律文化社）

科目名	担当者名	配当学科	単 位
労働法	ふじもと 藤 本 しげる 茂	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・1・1・1選	4

講義のねらい

今日、労働法の舞台である労働関係は、日本型雇用システムの変容とも言われるように、変化しています。雇用調整・リストラ、出向・転籍や年俸制の導入といったものです。

労働法も、この変化に無関係ではありません。

この変動は、労働者個人に降りかかってくる。その意味では、雇用関係法領域において、顕著な問題であるといえましょう。裁量労働制、配転法理、解雇法理、男女雇用平等などなどです。労働組合を中心に扱う労使関係法領域にはあまり時間を割くことができません。

この変動の時期における現代的課題を考えるにあたって、基礎的事項における形成定着している労働法理を学び、これからの展望を模索しようと思います。

講義の内容・ 授業スケジュール

授業では、下記事項について、基本的なことをまなび、現代的課題に言及します。

詳しくは、第1回目の授業のときに配布するプリントで述べます。ここでは、一応のアウトラインを述べるに止めます。

- (1) 労働法の基礎的考え方
- (2) 日本型雇用システムの変容と労働法
- (3) 労働関係の主人公－労働者、使用者、労働組合
- (4) 労働条件の最低基準の法定－労働基準法の特徴
- (5) 雇用における男女平等
- (6) 組合が自由に活動できる環境の整備－不当労働行為
- (7) 労働条件の決定－労働契約、就業規則、労働協約
- (8) 雇用の入り口－採用、採用内定、試用期間
- (9) 人事異動－配転、出向、転籍
- (10) 雇用の出口－解雇、定年、退職
- (11) 賃金、賞与、退職金
- (12) 労働時間、時間外労働
- (13) 休憩、休日、休暇
- (14) 労働災害など

履修上の留意点

出席しましょう。また、積極的に質問をしてください。ただし、授業のマナーは守ってください。たとえば、私語はNo、内職はNo、携帯電話はOffなど。

成績評価の方法

成績は、平常点を加味することはありませんが、学年末試験がメインです。追・再試験は実施します。

教科書

授業は、レジュメと資料を配布して進めます。教科書は、特に指定しません。しかし、道しるべとして教科書は用意してください。適当と思われる概説書をいくつか、第1回目の授業で、紹介します。これを参考にして1冊は用意してください。

参考書等

第1回目の授業で、紹介します。

六法は最新のもの（法改正があるので特に留意してください）そして、労基法施行規則の載っているもの、を用意してください。

その他

皆さんが、各事項について、イメージを描きやすいように、裁判例など具体的な例を掲げながら、授業を進めます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
行政法	しおいり 塩 入 みほも	経B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

存在する法の約9割は行政法であり、行政法の基本的な仕組みと理論一般について講義を行いません。行政法は、民法や刑法、憲法等の他の法分野とは異なって、学生レベルではあまり日常生活に直接関連がないと感じられがちですが、例えば交通取締・治安等に関わる警察権行使の適法／違法や国家賠償請求の可否など、実は知っておくと便利なことがたくさんあります。また、政治を学ぶ上では、やはり行政法の知識を備え、日本の統治構造を支えている法的実態を知ることが重要でしょう。それを学ぶのが、当講義の狙いです。

講義の内容・
授業スケジュール

内容としては、まず最初に、総則——行政法学の基本原則、諸概念、諸制度等に関する基礎論——を説明し、次に、行政作用論——行政の各種行為形式(行政方法・行政行為・行政指導・行政契約・行政計画)とその法的性質(法的拘束力の有無など)、行政上の強制措置・制裁、行政調査など——を学び、以上の知識を前提として、最後に、国民の権利救済に関する行政救済法—国家賠償法、行政不服審査法、行政事件訴訟法—の仕組みにつき、講義していきます。

履修上の留意点

行政法を初めて学習する者でもその基礎知識を一年間で習得できるよう、判例・通説を引用しながら、出来るだけ解かり易く且つ簡潔に説明していくつもりです。特に公務員試験を目指している学生のために、出題頻度の高い問題は都度指摘します。

成績評価の方法

試験は学年末試験のみ。成績評価は、学年末試験の結果と平常点(不定期に確認する出欠)の総合判断により行ないます。再試験を実施する。

教 科 書

特定の教科書は使用しません。但し、オリジナルノートが作れるように毎回丁寧に板書します。

参 考 書 等

最初の講義の際に紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国際法	おう 王 しあ 志 ん 安	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

国際法学の基礎知識を修得し、国際関係の現状を法的側面から理解する能力を養う。

講義の内容・
授業スケジュール

国際法学の全体を様々な基礎的課題に細分し、毎回の講義においてできるだけ一つの課題を絞り、それぞれ基礎概念、理論体系、そして事例分析の形で解明する。前期においては、国際法の史的展開、国際法と国内法との関係、国際法の法的性質といった基礎知識から着手し、国家および国際機構にかかわる様々な法的問題を取り上げていきたい。たとえば、国家の分裂や統合に生じた国家の承認や承継の問題、違憲的な政府変更やクーデターに関する国際的対応の法的性格、国内裁判における未承認政府や国家の地位、そして国連を中心とした国際機構の法的地位や機能の形態などを分析する。

後期では、前期の基礎知識の修得を踏まえて、領域に関する管轄権、国際的人権保障、条約関係の理論および外交関係の法的仕組みを検証する。具体的には、国家領域の法的地位や取得に関する理論および実行、国際地域、国際海域および宇宙空間といった国際区域の法的地位、外国人の法的地位、人権保障に関する国際制度の展開、条約の締結、形式および効力に関する法規制、外交関係および領事関係における特権および免除などを取り上げる。

履修上の留意点

国際関係を法的側面からとらえる視点の養成を常に心構えとする。個々の概念、理論、事例を解明する戦術的な能力がまず重要視されるべきであるが、政治、外交、経済、文化といった様々な形態で展開される国際関係を法という枠内でとらえる戦略的な資質をのばすことも見失われてはならない。そのためには、教科書に取り上げられた学説を理解するだけでなく、講義に取り上げられた課題の視点、問題意思をしっかりと修得する必要もある。配布される参考資料や聴講ノートを参照しながら、教科書の理解を深めてもらいたい。

成績評価の方法

成績は年末の定期試験で決定する。ただし、前期小テストや講義出席の状況も成績を評価する際に考慮される。再試験を実施する。

教科書

松田幹夫編著 『現代国際法』 (八千代出版) 1997年 2,700円

参考書等

市販されている国際条約集

その他

授業はすべてpower pointを使って講義方式で行い、適宜に参考資料を配付する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
原書講読Ⅰ(英)	えだまつ まさゆき 枝松 正行	経B1・2・3・4選	4
原書講読Ⅱ(英)		経B2・3・4選	

講義のねらい

経済学を基礎とする社会科学の多くは、いうまでもなく欧米語圏に起源を有する学問である。今日の日本人は、さいわいにも先人たちの努力の賜である多くの翻訳書によってそれらの古典を母国語で学ぶことができる。そして母国語によって経済学や経営学、社会学や政治学を新たに発展させることもできた。それはそれで有意義なことであった。明治以降の日本の近代化がアジアのなかで飛躍的な成功を遂げた一因は、それを母国語で学びえた翻訳書に依拠している事実は否定できないであろう。ところが、皮肉なことに、その同じことが21世紀の日本人にとっては大きな足枷となる状況が急速に進行している。いわゆるグローバル化の進展がそれである。欧米語文献を原語のまま学んできたアジア人諸国のなかで、日本人の母国語主義は明らかに時代に遅れを取っている。英書講読は21世紀人に必要不可欠な基本スキルとなるだろう。

講義の内容・授業スケジュール

- 講義では、
- ① 現代感覚溢れる最前線の経済・社会・経営分析からの抜粋
(ドラッカー、ガルブレイス、レスター・サロー、ジョージ・ソロス、カラタニらの現代社会論)
 - ② 翻訳書で読むよりもむしろ深い理解が得られるような経済学の古典からの抜粋
(アダム・スミス、デイビッド・リカード、J・S・ミル、カール・マルクスらの経済学文献)などの英語に接する機会を設け、経済学や経営学を原書で学ぶ意義について実感してもらいたいと思っている。

履修上の留意点

出席平常点重視で筆記試験との総合評価によって判定する。

成績評価の方法

出席平常点重視で筆記試験との総合評価によって判定する。

教科書

テキストは受講生の要望や状況に合わせて選定しプリントを配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
原書講読Ⅰ(英)	な か だ あ き お 中 田 秋 男	経B1・2・3・4選	4
原書講読Ⅱ(英)		経B2・3・4選	

講義のねらい

書物には読んで直ぐわかる(情報として読む)ものと、何度読んでも理解できない(古典として読む)ものがある。特に古典と呼ばれているものは、何度でも読み返されて行く運命にあるものかも知れない。授業では日本語で読むと決して見えてこないものが、原書ではハッキリと見えてくる事の不思議な謎に迫りたいと思う。

講義の内容・授業スケジュール

経済学の歴史の中で大きな山脈としてそびえ立っている、三人の経済学者の著書から抜粋して読んでいきます。すなわち、「経済学誕生の書」と言われているアダム・スミスの『諸国民の富』(1776)、「資本主義社会の経済的な運動法則」を明かにしたカール・マルクスの『資本論』(1867)、大恐慌のあと「政府の役割を重要視」するジョン・メナード・ケインズの『雇用・利子および貨幣の一般理論』(1936)。尚、学生諸君の方で要望があるなら、一緒に検討したいと思う。

成績評価の方法

出席点及び平常点の総合で評価します。再試験は実施しません。

教科書

テキストはコピーして配布します。

参考書等

最初の講義で紹介いたします。

科目名	担当者名	配当学科	単位
原書講読Ⅰ (英)	ひろた ひでき	経B1・2・3・4選	4
原書講読Ⅱ (英)	広田 秀樹	経B2・3・4選	

講義のねらい

今、最も大切なことは若者の成長です！若者が新世紀を開く為に力をつけることです！21世紀の大舞台で活躍する大切な若者の英語力を絶対に伸長させる為に全力で講義します！！

講義の内容・授業スケジュール

今まで英語ができなかった人も、絶対にこの授業で英語ができるようになります！！授業に参加しただけで英語力が上昇し、経済関連の専門知識が確実に身につくような授業形態を採用する。即ち、指定テキストの講読と同時に、絶対に英語力を飛躍させるパワーベース読解法を導入し、パワーベース読解法を用いてのペーパーワークに毎回取り組んでもらう中で、学生諸君の英語力を確実に伸長させる。パワーベース読解法をマスターすれば、原書を講読する速度もかなり増すと考える。

〈授業スケジュール〉

基本的にパワーベース読解法のトレーニングと経済関連の原書講読の2つを軸に授業を展開する。

講義の概要は以下の通りである。

1 パワーベースメソッド (Power Base Method) の紹介 (4月)

パワーベースメソッドは、私が独自に開発した最も効果的な英語力伸長法である。それは、英語のリーディング・リスニング・スピーキングに特に必要な、不定詞・分詞・関係詞の諸用法や重要構文等を“記号化”し、英語の構造、英語で表現される言葉の流れを一瞬にしてキャッチする方法である。パワーベースは、英語をマスターする為の最強の「24の公式」です。この「24の公式」をマスターすればそれは生涯の財産になります。「24の公式」だけで英語の力は飛躍的に伸びます！パワーベースメソッドは短時間でマスターできるので最初に紹介したい。

2 原書講読

経済関連の興味深い、又世界的にも有名となった次の原書を講読する。定期的に読解をする部分を印刷して配布する。

(1) 『Economics』 by Paul. A. Samuelson 1973 (Ninth Edition, McGRAW - HILL BOOK COMPANY) (5・6月)

世界的に有名な伝統的な近代経済学のテキストであるこの本の、財政政策・金融政策関連のパートを読む中で、現代資本主義経済の主要経済政策のメカニズムを理解してもらう。

(2) 『MITI and the Japanese Miracle』 by Johnson, Chalmers 1982 (Stanford University Press) (7・9月)

この著作も近年世界的に読まれてきた本で、日本の通商産業省 (Ministry of International Trade and Industry-MITI) の産業政策と日本の経済発展について述べたものである。この著作の講読から、近年世界中に論争を引き起こしているMITIの産業政策について、また、日本経済の特殊性に関する知識を吸収してもらう。

(3) 『The Decline of the British Economy』 by Best, Michael H. and Jane Humphries 1986 (Oxford University Press) (10・11・12月)

この本も世界に反響を読んだもので、何故かつての超経済大国イギリスが衰退してきたのかというテーマで、経済大国の長期的な衰退のメカニズムを分析している。この本の政策関連の部分を読み、いかに経済政策の方向性が一国の経済の長期的動向に影響を与えるのかということを理解してもらう。

成績評価の方法

前期・後期の筆記試験及びレポートによって総合的に評価する。再試験を実施します。

教科書

前述した原書の主要部分を印刷して配布する。

参考書等

サムエルソン『経済学』(上・下) (岩波書店)
ダニエル・沖本『通産省とハイテク産業』(サイマル出版会)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
原書講読Ⅰ (仏)	な か た あ き お 中 田 秋 男	経B1・2・3・4選	4
原書講読Ⅱ (仏)		経B2・3・4選	

講義のねらい

「フランス語の原書講読」と聞くと、もうそれだけで嫌になってしまう学生諸君もいるかと思うが、是非私の授業をききにきてください。内容はとても興味深いものになっています。もし興味がわかなければ、話し合って興味のあるものにするつもりです。

講義の内容・授業スケジュール

最初は詩、シャンソン、雑誌、新聞記事など短いものを教材に用いてフランス語の基礎的な能力を養いたいと思います。初めての学生には音声学の基礎である発音のテクニックも伝授します。少しずつ慣れてきたら、今度は最近フランスで話題になっている経済関係の論文をとりあげて輪読していくつもりです。なるべく学生諸君の希望を取り入れながら、テキストを決めていくつもりですので、恐れずに是非参加してください。フランス留学10年の経験を生かすつもりです。

成績評価の方法

出席点及び平常点の総合で評価します。再試験は実施しません。

教科書

テキストはコピーして配布します。

参考書等

講義の中で紹介します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
現代経済事情Ⅱ (前期) 〔スポーツとビジネス〕	は た の じ ろ う 羽 田 野 治 朗	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商・11・12選	2

講義のねらい

2002年に開催されるW杯は、日本のスポーツを取り巻く環境と周辺のビジネスにオリンピック以上の影響を与えることは必至である。スポーツはこれまで単に時間と金を費やす消費財として扱われてきたが、スポーツの存在は今や国民の健康・医療をはじめ地域振興や雇用機会の創出といったことにまで波及している。このような実体を経済・文化グローバル化をリンクしながらスポーツの意義と経済的・文化的な価値を考察する。

講義の内容・授業スケジュール

1. スポーツとビジネス
2. スポーツとマーケティング
3. スポーツとメディア
4. スポーツとイベント
5. スポーツとツーリズム
6. スポーツと用品市場
7. スポーツとライセンス
8. スポーツと地域振興
9. スポーツと健康
10. 生涯スポーツとシルバー市場
11. スポーツとマネジメント
12. W杯後のスポーツとビジネス

履修上の留意点

スポーツに興味があり、今後スポーツに携わる仕事に就こうという気持ちのある学生の受講を期待する。

成績評価の方法

定期試験の成績と課題レポートの提出を基に総合的に評価する。再試験有り。

教科書

なし。独自に作成する資料を使用する。

参考書等

講義内容やテーマにより紹介する。

その他

講義を中心に行うが、一部討論形式も予定している。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代経済事情Ⅰ（前期） 〔都市開発と経済〕	すがはら あきかみ 菅原 章文	経B1・2・3・4選	2
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

皆さんは「Sim City（シムシティ）」というコンピュータ（テレビ）ゲームを知っていますか。コンピュータ上で都市開発をシミュレーション（模擬実験）するゲームです。原野に道路や鉄道を建設し、水道・下水道・電気を整備し、病院や学校を建設すると、そこに人が住み、企業が事務所を構え、…、というように都市の開発・成長、そして衰退が描かれています。ここに出てくる要素のひとつひとつが都市の形成に欠かせないものです。

現実の都市はさらに複雑な要素によって構成されています。この講義では、都市を構成する様々な要素に注目し、その動向を知ることを通して、最近の経済に何が起きているか、今後どのような方向に進んでいくのか考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

次のようなキーワードで、都市の経済を分析・展望します。（順序は変更する可能性があります）

- ・都市と人口流動
- ・都市と食糧
- ・都市と物流
- ・都市と情報
- ・都市とインフラストラクチャー
- ・都市と環境
- ・都市とエネルギー
- ・都市とブランド
- ・都市開発とその経済
- … 都市の成長と衰退
- … 誰が都市を養うのか
- … 都市を支えるコンビニ
- … インターネットは都市の「神経」
- … 道路とクルマの未来
- … 循環型社会の展望
- … 電力会社が選べる時代に
- … 都市の魅力
- … 都市鉄道と遊園地

履修上の留意点

プリントを配布し、教材とします。題材はできるだけ身近なことから選び、技術革新と規制緩和・国際化など経済の構造変化に注目しながら、皆さんと一緒に考える機会にしたい。質問は歓迎しますが、私語は謹んでいただきたい。

成績評価の方法

2～3回に1度、講義内容に沿った小論文をその場で提出してもらいます。成績の70%は、この小論文で評価します。定期試験も実施します。再試験は実施しません。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代経済事情Ⅲ（後期） 〔出版と流通〕	い だ しんたろう 井田 森太郎	経B1・2・3・4選	2
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

- ・出版業界の不況の要因を歴史的にたどりながら今後のあるべき姿を考察する。
- ・出版業界のみならず、日本経済の今後の浮沈のカギは「護送船団方式」に守られてきた経済活動から脱し、真の資本主義経済による正しい競争原理から生まれることを認識することが肝心であることを強調したい。
- ・一方、世界経済のグローバルスタンダードかが叫ばれる中、日本の経営の良さの一つである「知の精神」は忘れてはならず、「競争と互助」の精神を正しく持って企業経営にあたるのが、本来の経済活動の目的であることも併せて強調したい。
- ・経済学を学ぶ学生としてダイナミクスに変化する日本経済の今を知ることは将来必ず役立つものと確信し、企業に身を置くものとしての立場から実務的な話が中心だが、少しでも問題意識の向上につなげたい。

講義の内容・授業スケジュール

①出版業の歴史的成り立ちの考察②戦後ベストセラーと時代的背景について③出版業界不況の要因と問題点④出版業界の新しい流れ～今と将来を探る～⑤経済活動における出版業界の役割と使命

履修上の留意点

実務的な内容であり、身近なテーマとして聴いて欲しい。今の出版業界の現状を知り少しでも経済活動（買う側から売る側への関心）に興味を持って欲しい。

成績評価の方法

70%以上の出席日数を満たさないものは基本的に不可。レポートによる内容（視点、掘り下げ度、オリジナリティー等）により評価。再試験を実施する。

教科書

特になし。

参考書等

特になし。

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代経済事情Ⅳ（後期） 〔今日の消費者行動〕	ながおくにりこ 長尾 邦彦	経B1・2・3・4選 12以導入学生/経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい	昨今の消費者の意識・行動の特徴を明らかにする。背景なども含めて経済学的に位置づける。
講義の内容・ 授業スケジュール	今日の消費者の特徴を示す新聞記事や雑誌などの記事や特集を材料に、事象の意味を理論的に掘り下げる。
履修上の留意点	消費関連記事（新聞の毎月のスーパー、百貨店、コンビニエンス・ストア売上高動向や流通企業関連ニュース、連載記事、週刊誌など）を読んでおくのが好ましい。
成績評価の方法	3000～4000字のリポート提出。2～3の課題から、1つテーマを選ばせる。再試験なし。
教科書	特に指定しない。毎回簡単なレジメを配布する。
参考書等	桑原武夫・日経産業消費研究所編「ポストモダン手法による『消費者心理の解説』」（日本経済新聞社）
その他	授業の方法—講義

科目名	担当者名	配当学科	単位
現代産業事情Ⅱ（後期）	おぐりたかし 小栗 崇資	経B1・2・3・4選 12以導入学生/経A・商1・2・3・4選	2

講義のねらい	現代社会では、営利セクターの組織（企業）や公的セクターの組織（国・自治体）以外に市民主体による非営利セクターの組織（NPO）が活躍する領域が広がってきています。アメリカでは、非営利組織（NPO）は重要な雇用の場にもなっており、若者にとってやりがいのある仕事と受け取られています。日本でも従来からの福祉や教育の非営利法人とともに、特定非営利活動促進法のもとに新しいタイプのNPOが生まれてきています。NPOは単なるボランティアではなくて、それ自体が雇用を生み出すような市民事業体の性格もっています。企業のベンチャーと同じように、福祉や教育などの市民の生活領域で公共的な事業を市民が起こしていくことが期待されているのです。 この講義では、非営利組織（NPO）で活躍する第一線の専門家の方をお招きして仕事内容や経験を語っていただきます。それらの講義を通じて、非営利組織（NPO）の意義、現状、可能性などを考えてみたいと思っています。
講義の内容・ 授業スケジュール	毎時間、外部の講師の方に講義していただきます。魅力ある講師のかたがたにご登場いただけるものと期待しています。講義では、全体を通じて、NPOとは何か、日本と海外のNPOの原状、NPOの組織や運営の仕組み、NPOの可能性などを具体的な事例を交えて語っていただきます。講師の顔ぶれを含む講義スケジュールは事前にホームページ上で発表する予定です。
成績評価の方法	講義の感想を含むレポート（3～4回）で成績評価します。講義の特質上、再試験は行いません。
教科書	各講師から指示してもらいます。
参考書等	各講師から指示してもらいます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
現代産業事情Ⅲ（前期）	さいとう 藤 正 ^{ただし}	経 B 3・4 選	2

講義のねらい

野村証券株式会社の提供による本講座は、「資本市場とグローバル証券ビジネス」をテーマとし、野村証券および野村総合研究所の現役スタッフによって前期13回の予定で講義される。講義では、証券市場に紹介した後、グローバル証券業のコアビジネスである、国内リテール、インベストメントバンキング、フィクスト、インカム、エクイティ、アセット・マネジメントの考え方やビジネス実例を紹介する。最後に、ITと対面営業の融合など、リテール証券ビジネスの現状と展望について解説する。

講義の内容・授業スケジュール

- 1) 証券市場の役割
- 2) 経済成長と金融・資本市場
- 3) 証券市場規制と投資者保護
- 4) 資産運用とライフプランニング
- 5) グローバル資産運用
- 6) エクイティ（株式）ビジネス
- 7) フィクスト・インカム（債券）ビジネス
- 8) アセット・マネジメント・ビジネス
- 9) 投資銀行ビジネス
- 10) ベンチャービジネスとIPO
- 11) リテール証券ビジネスの現実
- 12) リテールマーケットのビジネス戦略とIT戦略
- 13) リテール証券ビジネスの競争戦略

履修上の留意点

最新のグローバル証券ビジネスを扱うため、常に新聞等の経済記事に注意を払って講義を臨んで欲しい。

成績評価の方法

出席を重視しつつ、理解度を測るために適宜レポートを提出してもらい、総合的に評価する。

教 科 書

毎回、授業で講義資料を配布する。

参 考 書 等

授業は毎回異なる講師によって行われる。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
総合専門科目Ⅲ (夏季集中)	あ べ ひろし 阿 部 弘	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい

戦後半世紀以上たった現在、またもや戦争が起きています。資本主義社会を謳っているアメリカはこの間、大きな戦争を4回以上行なっています。また日本でも財界が武器輸出を提起してきています。果たして、資本主義経済は戦争抜きでは存在できないことを物語っているのでしょうか。この講義はこのことを明らかにすることを、その目的としています。

講義の内容・
授業スケジュール

- A：理論的総括
1. 資本運動とその帰結(一般)
 - (1) 資本の輸出と資本それ自体の国民的性格の打破
 - (2) 労働力市場の世界化
 - (3) 植民地・新植民地政策の展開
 2. 国家独占的市場創出
 - (1) 過剰生産恐慌とその解決に際しての国家による市場創出
 - (2) 「社会主義国」に対する「資本主義体制」維持策としての軍事体制
 - (3) 資本主義体制維持の思想
 3. 軍事体制の経済的要素化
- B：戦争が社会秩序に及ぼした影響
1. 古代ギリシアにおける戦費の膨脹化と身分秩序の変動
 2. 軍事的統治体制——封建制度のもった意味
 3. 略奪商業と植民地体制化
- C：戦争と経済
1. USA
 - (1) 軍事技術と産業構造——その変遷
 - (2) 「冷戦」と軍事技術の道徳的磨損率の増大が及ぼした産業の空洞化
 - (3) 産業化した軍事技術の帰結(軍産複合体)
 2. 日本
 - (1) 国家総動員体制
 - (2) 日米安保体制
 - 1) ガリオア・エロア資金と軍事技術開発
 - 2) GNP比1%という軍事費の実体
 - 3) 米軍からの特需体制
 - (3) 軍事技術とコンピュータ産業
 - 1) 軍事技術の輸出
 - 2) PKO・海外派兵
 - 3) IT革命と危機管理
 3. 総括

成績評価の方法

1. レポートによる評価
2. 「定期試験」およびそれに付帯する「追試」や「再試」は行ないません。

教 科 書

教科書は用いません。

参 考 書 等

参考書等は講義の時に示します。

そ の 他

講師との連絡方法
受講生と講師の連絡ができるように、次の講師の住所等を掲載しておきます。
阿部弘：〒179-0072 練馬区光が丘6-1-4-204、TEL 03-3976-7984

科目名	担当者名	配当学科	単 位
総合専門科目Ⅳ (夏季集中)	いしかわ ゆうじ 石川 祐 二	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい	本講義のテーマは、「会計学とその方法論」である。会計学に取り組む場合、どのような立場をとるのか、について考える。このとき、哲学や言語学、社会学などの関連する分野に触れながら、講義を進めることにしたい。
講義の内容・授業スケジュール	会計の基礎的な知識について学んだうえで、様々な領域との関連を、個別的に見ることにする。
履修上の留意点	集中講義なので、休まず来ること。
成績評価の方法	出席と試験で評価する。再試験は行わない。
教科書	プリントを配布する。
参考書等	適宜、紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
会計資格特別演習	すずき かつひろ 鈴木 勝 浩	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	4

講義のねらい	本講義は、税理士試験の法人税法について、基礎的な理論及び計算方法を理解した上で、できる限り受験可能なレベルの知識の習得を目指すものである。法人税は、企業会計において算出された決算利益を基礎に、税務上の調整を行って求められた課税所得に対して課せられる。したがって法人税法は企業会計と有機的に結び付いており、その理解には企業会計の理論や会計処理を習熟していることが必要とされる。本講義では、企業会計の理論に関連付けながら、法人税法について理解を深めていきたい。
講義の内容・授業スケジュール	まず課税所得と法人税の算定に至るまでの流れを、特に別表1及び4を利用して体系的に理解をしていく。その後、課税所得算定に必要な個別調整事項を対象に詳細な解説を行うと共に、具体的な計算問題を通じて理解を深めていく。また税理士試験は計算に加えて理論も出題されるため、計算の根底にある税法上の理論的裏付けを条文に照らし合わせながら確認していく。また法人税法は計算問題のウエートが高いため、計算演習を多く取り得れながらより確実な知識を求めていきたい。授業スケジュールについては、受講生の理解を考慮しながら柔軟に対処していく予定である。
履修上の留意点	本講義を履修するに当たっては、特に株式会社に関する会計理論を理解していることが必要であり、日商簿記2級の商業簿記（工業簿記の知識は不要）程度の知識を有していることが望ましい。積み上げ方式により講義を進めていくので、できるだけ欠席しないこと。
成績評価の方法	出席率と講義中の演習で評価する。
教科書	渡辺淑夫著『法人税法の要点整理〔平成14年受験用〕』（中央経済社） 『法人税法 個別問題集〔平成14年度版〕』（TAC出版）
参考書等	日本税理士会連合会編『法人税法規集（最新のもの）』（中央経済社） 日本税理士会連合会編『法人税取扱通達集（最新のもの）』（中央経済社）
その他	法人税法は税理士試験の中でも特にボリュームの多い科目であり、かつ複雑難解であるといわれているため、資格取得に対して高い目的意識をもって講義に参加してほしい。また疑問点については遠慮せずに積極的に質問をして早期に解決すること。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
情報資格特別演習	ながい 永 井 勇	経B1・2・3・4選	4
		12以降入学生/経A・商1・2・3・4選	

講義のねらい

本講座は経済産業省「基本情報技術者試験」の受験を希望する学生への対策講座です。と同時に、情報処理技術（IT）の基礎的な知識・学力の習得を目的としています。当試験の合格を目指す学生はもとより、現在の社会で必要不可欠なITの基礎を学びたい学生が対象です。

「基本情報技術者」の資格はソフトウェア開発技術者、さらにはシステムアナリストなどの上級の情報関連技術者をめざすための登竜門的資格です。情報関連企業に限らず、金融機関、商社に至るまで、就職活動には非常に有利な資格です。

講義の内容・授業スケジュール

前期では主に午前問題を、後期では主に午後問題を、講義と演習を適度に混ぜて実施します。またコンピュータを利用したオンラインテストも適時併用します。

【前期】基礎講座（13回）の目安

第1回	コンピュータの歴史とその利用	【講義／演習】
第2～4回	コンピュータの仕組み	【講義／演習】
第5回	ソフトウェアの基礎	【講義／演習】
第6～7回	アルゴリズムとデータ構造	【講義／演習】
第8回	ソフト開発の基礎	【講義／演習】
第9回	ファイルとデータベース	【講義／演習】
第10～11回	通信ネットワーク	【講義／演習】
第12回	情報処理システム	【講義／演習】
第13回	総合演習	【演習】

【後期】答案演習講座（13回）の目安

第1回	産業社会と情報化、情報化の課題	【講義／演習】
第2～6回	プログラミング能力	【講義／演習】
第7回	表現能力	【講義／演習】
第8～9回	内部設計の基礎的能力	【講義／演習】
第10～11回	プログラム設計能力	【講義／演習】
第12～13回	総合演習	【演習】

履修上の留意点

単位取得には、毎回の出席と復習が必要です。また「プログラミング論」の単位を取得していることが望ましい。

成績評価の方法

定期試験に基本情報技術者試験の模試を実施します。

教 科 書

・『コンピュータシステムの基礎』（㈱アイテック） 4,000円

参 考 書 等

・『徹底解説基本情報技術者本試験問題』（㈱アイテック） 1,200円

そ の 他

基本情報技術者試験の合格やITに興味のある人が望ましく、またパソコンを使用した講義があるため、履修制限を行なう場合もあります。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
教員試験特別演習	やしき ただみつ 谷 敷 正 光	経B1・2・3・4選 12以降入学生/経A・商1・2・3選	4

講義のねらい

この講義は、教員採用試験を目指して努力している人に、教師としての資質・力量の形成と教員試験に必要な基礎学力を育成することを主眼としている。

近年、教員採用試験はより優れた、魅力ある教師を求めて選考試験も多様化・高度化し、筆記試験のみならず、面接、論作文、実技試験その他全般にわたって、さまざまな工夫がなされている。

そこで、本講は「君は、今なぜ教師を目指すのか」「どんな教師になりたいのか」「どんな教育をしたいのか」といった教師をめざすのに不可欠な教育理念の形成をはじめとして、教職教養、一般教養、専門教養の学習方法、面接・論作文演習などの試験対策、模擬授業実践、先輩教師との交流、学校見学、ボランティア活動などさまざまな活動を通して将来の教師としての資質・力量の涵養につとめたい。教職を目指す人ならば学部、学科を問わないので、いっしょに勉強し、教員志望者の夢を叶えたいと思う。

講義の内容・ 授業スケジュール

1. 教育の意義
2. 教師の資質と役割
3. 教員試験の心構えと学習計画
4. 西洋教育史の要点整理と問題演習
5. 日本教育史の要点整理と問題演習
6. 教育法規の要点整理と問題演習
7. 教育心理の要点整理と問題演習
8. 教育原理の要点整理と問題演習
9. 同和教育の要点整理と問題演習
10. 道徳教育の要点整理と問題演習
11. 学習指導要領の要点整理と問題演習
12. 一般教養の取り組み法
13. 専門教養の取り組み法
14. 集団討論の実際（演習）
15. 個人面接の実際（演習）
16. 集団面接の実際（演習）
17. 教育論作文演習
18. 模擬授業の実際（演習）
19. 総合問題演習
20. 学校見学
21. ボランティア活動

履修上の留意点

講義問題演習、討論などさまざまな活動を行うので、出席を重視する。

成績評価の方法

授業中実施する小テスト、討論の内容、小論文などを参考にすが、基本的には真剣さ、真面目さ＝出席状況なども加味して総合的に評価する。

教科書

必要に応じて講義教材としてプリントを配布するので、教科書は使用しない。

参考書等

- ①『教育小六法』（学陽書房、三省堂など）
- ②小学校、中学校、高等学校の学習指導要領

科目名	担当者名	配当学科	単 位
基礎ゼミ（前期）	^{あさの} 浅野 ^{かつみ} 克巳	経 B 1 選	2

講義のねらい

・日本企業の仕組みについて基礎的な理解をする
 近年、日本企業の国際競争力についてさまざまな疑問が示されている。GNP世界第2位を誇るわが国経済のどこに問題が生じているのだろうか？グローバル化と市場経済への移行という世界的なうねりの中で、改めてこれらの問題を問うことは、我々にとって大きな意義をもつことだろう。このような素朴な問題を梃子に、現代日本経済と企業・市場メカニズムの基礎理論を以下のような順序で勉強してみよう。

講義の内容・
授業スケジュール

1. 市場とは何か？
2. 市場経済の仕組み—その長所と欠点
3. 現代の日本企業
4. 企業と産業
5. 日本の企業システムの特徴—その1—
6. 日本の企業システムの特徴—その2—
7. バブルと不況
8. 失業率5.4パーセント！
9. 市場の失敗と政府の失敗
10. 資源と環境

成績評価の方法

出席率と授業態度を総合して評価する。

そ の 他

『日経新聞』を参考にしながら、授業はディスカッション形式で行う。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
基礎ゼミ（前期）	^{とくなが} 徳永 ^{としあき} 俊明	経 B 1 選	2

講義のねらい

<経済学>はモノやカネの動きを見ることで終わるものではありません。モノやカネの動きの背景に<人間>の生活の内容をつかむことがその核芯です。このことをいくつかの事例を材料にして訓練します。

講義の内容・
授業スケジュール

上の作業の中で、「<人間らしさ>とは何か？」という私たちにとってもっとも基本的なテーマを追求しながら、<考える>ことの大切さを学びます。

履修上の留意点

そして、<勉強>の方法をはじめとする<大学生活>の進め方を身につける努力をしましょう。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎ゼミ (前期)	お お い し ゅ う じ 大 石 雄 爾	経 B 1 選	2

講義のねらい

何かを学ぶということは実に楽しいことです。学ぶことは、私たちを無知から解放し、自由にしてくれるからです。このことは、無味乾燥と考えられがちな経済学についても当てはまります。

とくに、経済学は社会諸科学の基礎に位置していますから、経済学を学ぶことは、経済だけでなく社会全体の仕組みについて知るうえで大変有意義なことです。また、自分自身が社会でどのように生きていくかについて考えるうえでも多くの手がかりを与えてくれるでしょう。こうした学習によって、自分が何に向いているのか、また、自分はどんな分野のどんな仕事をすればよいのかも分かってくるわけですから、経済学を学ぶことは「自分探しの旅」に必要な地図を整える、といった意味をもつといえます。

では、どのように学ばば、経済学を楽しく学ぶことができるのでしょうか。その第一歩は、自分の身の回りからはじめて、地域、日本や世界全体で起きている現実問題に注目し、なぜそうした問題が起きるのかについて自分で疑問を抱き、よく考えてみることです。どうしても解決したいと思う問題が見つかったとき、どうしたら解決できるかという答えを求めて格闘し、自分で考えてみることはとても楽しいことです。その鍵は、現実問題について自前の問題意識をもつという点にあるといえます。この「基礎ゼミ」では、学生諸君が経済学に関心を抱き、自ら興味をもって経済学の学習にとり組んでゆくのを後押しすることができればと考えています。

講義の内容・授業スケジュール

何かを実際に学ぶうえでは、基本を十分に理解する必要があります。学ぶことの基本は今でも「読み・書き・話す」ということにあります。これを経済学についていえば、

- 1) 新聞、雑誌の記事や経済学関係の本を読み、
- 2) 感想文、レポートや論文などの文章にまとめ、
- 3) 経済問題について、自分の考えを話したり、他の人たちと討論する、

ということになるでしょう。この「基礎ゼミ」では、経済学を学んでいくうえに欠かせない以上のような作業を、いっしょに、できるだけ多様な形態で行ない、経済学の学び方に習熟していただきたいと思います。

なお、経済学のテーマとしては「労働と労働力」の問題を中心に上げたいと考えています。

履修上の留意点

この「基礎ゼミ」は、半期全体の授業をとおして前記のような目標に向かうことをめざすものです。毎回欠かさず出席して、ノートをとったり発言するなど、積極的に参加することが求められます。

成績評価の方法

成績評価は、平常点（出欠、提出物の評価、など）で行ないます。

教科書

とくに指定しない。

参考書等

授業の中で紹介する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎ゼミ (前期)	お お ぶ き か つ お 大 吹 勝 男	経 B 1 選	2

講義のねらい

本基礎ゼミでは、諸君がこれから4年の間、学習・研究するにあたり何らかの問題意識をもてるような内容のゼミになるように努めたい。その目的のためにも、私達が今日生き生活している、我が国の経済や政治にかかわる諸問題をできる限り取りあげ、ゼミを進めたいと考えている。

成績評価の方法

評価は期末試験を考えているが、場合によっては、レポートによる評価も考えている。

教科書

テキストは未定。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
基礎ゼミ (前期)	<small>ひやくた よしはる</small> 百 田 義 治	経 B 1 選	2

講義のねらい

経済学を学ぶことの楽しさ、経済学によって何がどのように理解できるのか、経済学はどのように学べばよいのか、このような経済学を学ぶ意義やその方法(学び方)を学生諸君との対話を通して(ゼミナール形式で)学習します。この基礎ゼミでは、経済学の中でも、とくに企業論、主として現代株式会社とは何かをテーマに、経済学を学ぶ意義について学生諸君と議論したいと思います。同時に、図書館や情報センターの利用の仕方、新聞や雑誌の読み方など経済学部の学生として経済学を学ぶ方法についても、図書館や情報センターを直接訪れて体験的に習得します。

講義の内容・
授業スケジュール

授業では、現代企業の動向を取上げた新聞や雑誌を教材として、グローバル化、情報化のなかで大きく変貌する日本企業の実態の把握に努めます。そして、現代社会における企業の役割、企業のあり方の変化と課題、また現代企業における働き方の変化や企業が求める労働者像の変化などのついて、学生諸君とともに考えたいと思います。

履修上の留意点

特に何もありませんが、学ぼうという意欲を持って参加してください。

成績評価の方法

出席と報告やレポートの内容で評価します。試験は行いません。

教 科 書

未定

参 考 書 等

未定

そ の 他

授業の方法はゼミナール形式です。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
基礎ゼミ（前期）	さいとう 藤 正 齋 藤 正	経 B 1 選	4

講義のねらい

- (1) 本年度新設された本講義では、経済学部の授業に関する基本的なオリエンテーションと経済学に関する基礎的なトレーニングを行います。
 - 1) 身近に何か疑問に思うことを拾いあげてみよう。
 - 2) 「経済学」はそれらの問題をどうすれば「解決」できるのかを解明しようとする学問です。
 - 3) 「問題」として何を「発見」するかはそれぞれの人によって異なるかもしれませんが、「問題」を主体的に「発見」しようとする姿勢が、「経済学」という「学問」に求められるもっとも重要な点です。
 - 4) さて、「問題」が発見できたとして、それをどのように「解決」すべきでしょうか？私たちの社会の仕組みがどのようにして成り立っているのかを理解することが必要です。たとえば、モノやサービスの「値段」はどのようにして決まる？円高・円安とは？アルバイトの賃金はどのようにして決まる？などなど、の疑問に答えるためには、これらはすべて「市場」において決まりますので、「市場」とは何かを理解することが必要です。さらに「市場」で「取引」される「商品」とは何か？、あるいは、「市場取引」は一般に「貨幣」によって媒介されますが、「貨幣」とは何か？などなど、の基本的構造について理解することが不可欠です。
- (2) 本講義の第2の課題は、「発見した問題」について「解決する」ための手助けとして、新聞・雑誌記事、著作、統計などの読み方を学ぶことにあります。図書館での文献の検索の仕方、インターネットからの情報の取得などを学びます。
- (3) 第3の課題は、「解決の道筋」が見つかったばあいに、それを自分の意見として述べ（プレゼンテーション）、互いに議論し（ディベート）、さらに文章としてまとめる能力をつけることです。レジメの作成、文献の引用、統計資料の表示の仕方などを学びます。
- (4) 2年次以降、さらに学習をすすめるために、経済学部のカリキュラムのガイドを行います。

講義の内容・授業スケジュール

- (1) 毎回、経済に関するトピックスをとりあげて授業を進めます。
- (2) できる限り、諸君と対話しながら授業を進めます。
- (3) 重要と思われる時事問題についてはディベートの時間を設けます。

履修上の留意点

- (1) 少人数であり、積極的な授業への参加を要望します。
- (2) 情報センターで利用登録をして下さい。

成績評価の方法

出席点40点、レポートおよび授業への積極的な態度（プレゼンテーション）60点で評価します。

教科書

岸本重陳『経済のしくみ100話』（岩波ジュニア新書）

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	おおがき かつお 大 吹 勝 男	経 B 2 選	4

講義の内容・
授業スケジュール

情報化と現代企業の物流。現在、製造業、商社、卸売業から小売業まで、物流の合理化が叫ばれています。『物流』で何だか知っていますか。「世間」はIT革命とやりにウカレ、ノボせているようですが、その革命とやらの本質を知りたくないですか。企業間の電子商取引・eコマースだけではなく、消費者と企業間でもeコマースがひろがり、インターネット上での買い物物が日常化し、それによって消費者のライフスタイルが一変し、また産業活動や産業構造が変化するという。そうすると、従来の商業や物流そしてそこで働く人々にどのような影響を及ぼすのかを研究しなければならない。価格破壊現象が単なる安売り競争としてではなく、物流の合理化によるコストダウン競争として、それも世界的な競争として、行われようとしています。さらに、いまではIT革命によってコストダウンがはかられるそうです。国内では、メーカーと大手スーパーが提携し、市場支配をめざす製販同盟を結ぶなどして、最初のステップが物流面での協力であったりします。また、メーカーは製造部門と販売部門を一体化する動きをみせています。さらに、百貨店は将来どうなるのでしょうか？ 等々商業・流通には多くの問題が提起されています。そこで現代企業の経営戦略において重要性を増している『物流』と『情報経済化』を中心テーマとしながらこれに関連して卸売業、百貨店、スーパー、デスカウント・ストア、一般小売商、総合商社等々の今後の動向についても学習します。卒業時には、底の浅い実用学の学習者ではなく、社会人となって困難な問題にあっても学問をした人間として、きちっと解決することのできる科学的な思考能力を身につけた人間になっていることを期待します。

成績評価の方法

学年末のレポートの提出によって成績を評価する。卒業研究も併せて開講する。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	いわした ひろし 岩 下 弘	経 B 2 選	4
演習Ⅱ		経 B 3 選	

講義のねらい

3年間のゼミのテーマは流通・流通政策の国際比較である。2年次には日本における流通問題を研究対象にし、3年次では国内の流通政策、4年次では流通政策の国際比較を対象とする。

日本における流通問題としては、大きな問題としてコンビニの光と影、小売商店数の減少、大手小売企業の資本蓄積構造、商店街の空洞化、中心市街地の活性化、海外大手小売企業の日本市場参入、などがある。

たとえば、「ヤオハン」は何故海外に進出し、倒産したのか。「そごう」は何故巨艦主義をとり、その結果何故倒産したのか。「ダイエー」は何故経営の危機に直面しているのか。コンビニは繁栄しているとはどういう意味なのか。商店街がシャッター通りになっているのは何故か。

このように、われわれの生活の周囲で流通をめぐるいろいろな問題が発生しているが、これに対して政府および地方公共団体はどのような政策で対応しているのか。それが市民生活の質の向上に役立っているのか、を探るのが3年次の課題である。

小売資本の蓄積構造にたいする公共政策の有効性を探る。

講義の内容・
授業スケジュール

テキストの輪読あるいは報告。

履修上の留意点

ゼミは参加することに意味がある、ということをお忘れのこと。

成績評価の方法

ゼミ、合宿、コンパ等への出席およびレポートの提出回数により評価。

教科書

必要に応じて指定。

参考書等

その都度指示。

その他

課題研究 有。
専修課程 「流通・流通政策」
必要科目 演習Ⅲ、商業政策、商学総論、マーケティング、中小企業論、商品学

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	あ べ 部 ひろし 弘	経 B 2 選	4
演習Ⅱ		経 B 3 選	
演習Ⅲ		経 B 4 選	

講義のねらい

テーマは「市民の経済学」である。
 現在のわたしたちの社会は「市民社会」とあるといわれている。そしてこの社会は「資本主義」をその根幹にもっているものでもある。そこで、この「資本主義」にのっとった「市民社会」はどのようなものなのか、「資本」という「利潤」追求を本質に持つ体制と、「市民」という「自由・平等・博愛」を基盤に持つ人間の在り方との比較を通じて、この問題にアプローチしてみようと思う。特に現在はこの問題がある特定の国のレベルを越えてグローバルな次元で展開していることを考えると、わたしたちはこれらの問題に接近していくためには広い視野をもって臨まなくてはならない。

講義の内容・授業スケジュール

「演習」では、現在私たちが生活している資本主義生産社会での比較眼によって「市民社会」の分析をすることを課題とする。参加者は各人の固有のテーマを設定し、12月には各自の研究の発表を行うと共に論文として提出し、機関誌である『アピール』に掲載するものとする。なおこの研究には「課題研究」を付け加える。

履修上の留意点

ゼミナールの行事は「阿部ゼミ」全体で企画・施行するが、そのようなものとしては次のようなものがある：
 ＊春と夏の合宿／ ＊10月のゼミナール対抗ソフトボール大会
 ＊論文発表大会／ ＊その他コンパ等

成績評価の方法

ゼミナールであるから参加者各自の自立した研究発表が評価の基準になるが、論文発表会に参加しないものは単位が取得できない。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	いわなが こうじ 岩 永 宏 治	経 B 2 選	4
演習Ⅱ		経 B 3 選	
演習Ⅲ		経 B 4 選	

講義のねらい

企業・経営についての実態と理論の基礎研究を実施する予定です。今年度は、企業・経営についての実態的理解を中心にします。

現代日本の社会構造は「企業中心社会」として特徴づけられています。それはどのような企業・経営行動を意味しているのか。社会にとって不可欠の機能の担い手であり、私達と重要なかわりをもつ企業・経営について問われている諸問題の検討を通して、「我々にとって企業経営とは何か」というテーマを考えていきます。そのなかで、企業・経営についての実態的理解を深めていく予定です。

講義の内容・授業スケジュール

- ①文献講読を年間を通して実施します。
- a 全員サブノートの作成
- b レジュメ（報告要旨）の作成
- c コメンテーターによる疑問点などの提示と全員での討論
- d まとめ

履修上の留意点

当ゼミでは、以上のような演習内容を通して、ゼミ生の皆さんの主体的・自主的学習意識の形成や論理的思考方法の確立を目指していきます。そこで、ゼミ生の方々の率直な疑問や問題意識の表明が不可欠です。

成績評価の方法

平常点で評価します。

教科書

開講時に指示します。

参考書等

必要に応じて指示します。

その他

「課題研究」を実施します。
 企業経営論 専修課程
 系統学習に必要な科目
 演習Ⅱ 演習Ⅲ 経営学総論 経営管理論 労務管理論 経営学史 経営戦略論

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	おくり たかし 小 栗 崇 資	経 B 2 選	4
演習Ⅱ		経 B 3 選	
演習Ⅲ		経 B 4 選	

講義のねらい

日本の企業会計制度は今、大きな転換期にさしかかっている。グローバルゼーションの影響による会計制度の大改革は会計ビッグバンと呼ばれるが、計算構造の面でもディスクロージャーの面でもこれまでの財務会計の枠組みや原理・方法は大きく変容しつつある。会計の学習者にとっては、従来のような勉強だけでは変化についていくことができないので大変やっかいであるが、発想を変えれば、現代経済のなかでの会計の役割や仕組みを研究するチャンスである。演習では「日本の会計制度と会計ビッグバン」をテーマに学習を進めたい。

講義の内容・授業スケジュール

演習では、まず企業会計の基礎を理解したうえで、現代の財務会計の原理や方法を学習する予定である。経営分析の基礎についてもあわせて学習し応用能力を付けるようにしたい。テキストを中心にディスカッションを重視してすすめるが、一方で、会計は基礎からの技術的積み上げが重要なので、受講者の状況を見て、日商簿記検定2級、3級を取得できるように指導したい。

履修上の留意点

演習では討論を重視しているので、積極的に参加すること。企画力のある意欲的な学生の参加を希望したい。なお、「課題研究」も開講する予定である。

成績評価の方法

総合的に判断する。①出席状況、②分担報告、③レポート。

教科書

遠藤・小栗・新谷・徳前『新世紀の企業会計論』（白桃書房）3,300円

参考書等

演習の中で指示。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	さいとう 藤 正 ただし	経 B 2 選	4
演習Ⅱ		経 B 3 選	
演習Ⅲ		経 B 4 選	

講義のねらい

「日本経済の構造改革の方向」をテーマとし、日本の「何を」「どのように」改革すべきなのかを主に新聞・雑誌記事を素材にしながら考えます。

講義の内容・授業スケジュール

世界経済は「大競争時代」といわれる激しい変化の時代にありますが、それは一方では、ソ連・東欧型社会主義の崩壊によって「市場経済化」が急速に拡大したこと、他方では、情報通信技術の発展によって産業構造や経済取引のあり方が大きく変化していることに由来しています。

そうしたなかで、日本経済はバブル経済崩壊後の不況をいまだ克服できておらず、企業のリストラによって勤労者の労働条件（就業機会、賃金、労働時間）がますます厳しくなっています。戦後50年あまりにわたって展開され、世界から「脅威」とも目されてきた「日本の経営」のあり方が、根本的に問われているのです。「6大改革」に代表されるさまざまな改革論議が飛び交うゆえんです。

履修上の留意点

ゼミナールは少人数であり、討論を通じて具体的な問題についての理解を深めたり、議論の仕方を学ぶところに意義がありますので、積極的な諸君の参加を求めます。そして、議論を通じて諸君が自らの「見解」を獲得することを大いに期待します。

成績評価の方法

年間を通じた、ゼミナールへの参加の積極性を重視して評価します。

参考書等

日本経済新聞社『経済新語辞典』：毎年新版が発行されており、新聞記事を理解するために役立ちます。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	しみず 卓 たかし	経 B 2 選	4
演習Ⅱ		経 B 3 選	
演習Ⅲ		経 B 4 選	

講義のねらい

2002年1月から一般に流通し始める欧州連合（EU）の統一通貨ユーロ、今後数年でEUに参加してくる旧共産圏の中・東欧諸国、構成メンバー国数の増加に対応してのEU自体の機構改革など、現在のヨーロッパで起きている様々な動きの意味について考えていきます。

講義の内容・授業スケジュール

ゼミの参加者各人がそれぞれの問題関心に応じて資料を集め、分析し、自分なりの考えを分かりやすく他のメンバーに伝えられるようになるために、主に研究発表の形式で行います。

履修上の留意点

最新のデータはインターネットで容易に手に入りますが、それを活用するため英語とコンピュータをある程度マスターすることが必要です。

成績評価の方法

平常授業や合宿への参加や、研究発表への取組を評価して成績を決めます。

教科書

教科書はありません（新聞を読むことを重視します）。

参考書等

参考書は授業で指示します。

その他

「課題研究」併設。
ヨーロッパ経済論 専修過程
ヨーロッパ経済論、清水演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、理論経済学ⅠA・ⅠB、国際経済論、日本経済論、国際金融論

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	そ 曾 が の ぶ た か 曾 我 信 孝	経 B 2 選	4
演習Ⅱ		経 B 3 選	
演習Ⅲ		経 B 4 選	

講義のねらい

前期でマーケティングに関する基礎学力を、後期でマーケティング戦略、あるいはその技法の検証能力、さらに自ら製品開発や広告などの企画をするための発想力を身に付けてもらうことを狙いにしている。

講義の内容・授業スケジュール

前期は主に文献講読と議論に中心を置く。夏合宿で受講生個別の研究テーマの検証方法について議論をする。後期はディベート大会向けのためのグループ研究を主体にする。並行して夏合宿の成果をレポートもしくは論文にってもらう。

成績評価の方法

出席状況（合宿参加も含む）、発表要旨（レジュメ）、ゼミ行事への取り組みなどで総合評価する。

教科書

春合宿時に決定する。

参考書等

必要に応じて紹介する。

その他

「課題研究」有。

専修課程を認定する『マーケティング戦略論』

【系統学習に必要な科目】演習Ⅰ、演習Ⅱ、演習Ⅲ、マーケティング、商学関連科目、経営学関連科目、会計学関連科目

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	ちよん ちやんよん 鄭 章 淵	経 B 2 選	4
演習Ⅱ		経 B 3 選	
演習Ⅲ		経 B 4 選	

講義のねらい

研究テーマは「現代東アジア経済研究」です。目的は、ゼミ生諸君に戦後（第二次世界大戦）東アジア経済の発展過程に関する知識を身につけてもらうことです。ここでいう東アジアとは、北東アジアと東南アジアを合わせた地域を想定していますが、同地域の著しい経済発展は「東アジアの奇跡」として世界の衆目を集め、日本を先頭にアジアNIEs（新興工業経済地域；韓国、台湾、香港、シンガポール）ASEAN3（タイ、マレーシア、インドネシア）中国その他と続く発展の様は、しばしば「雁行形態の発展」と称されてきました。ところが1997年に発生した「アジア通貨危機」を機に東アジア経済は混迷に陥り、専門家の間では先の「雁行形態」に乱れが生じているという指摘も出ています。今日の事態は、従来の研究スタイルに見られたように東アジア経済をただ「発展」の側面からのみ捉えるのではなく、「発展」と「危機」の両側面を視野に入れたアプローチが必須であることを示しているのではないのでしょうか。日本の経済的パートナーとして今後ますます東アジア諸国の重要性が増していく現状において、特に若い世代である皆さんにとって東アジアを理解することは大切な課題として提起されていると言えます。

講義の内容・授業スケジュール

下記の文献を輪読してもらいます。具体的には、予め報告分担を決め、報告者は各自が作成したレジュメに基づいて報告してもらいます。

また、夏期休暇にゼミ合宿を予定しています。そこでは別の文献を取り上げて講読し、ビデオ鑑賞なども予定しています。

成績評価の方法

出席率、レポート回数、合宿への参加状況などを加味して総合的に判定します。

教科書

大野健一・桜井宏二郎著『東アジアの開発経済学』（有斐閣アルマ）2,000円＋税

参考書等

「課題研究」を併設します。

アジア経済論専修課程：系統学習に必要な科目

アジア経済論、演習Ⅱ・Ⅲ、国際経済論、中国経済論、日本経済論、国際金融論、アメリカ経済論

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	とくなが としあき 徳 永 俊 明	経 B 2 選	4
演習Ⅱ		経 B 3 選	
演習Ⅲ		経 B 4 選	

講義のねらい

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ諸国（発展途上諸国：第3世界）の国際関係とそこでの人々の生活の問題を研究します。第3世界の社会・経済や人々の暮らしを研究しながら、日本・日本人・私たち一人ひとりの人生・生活を考えます。国際政治・経済の中での人間と人間の関係、とくに第3世界の人々が直面しているさまざまな豊かさや貧困、そして彼らのたたかいについての検討を通じて、日本・日本人・私たち自身の豊かさや貧困を考えるのです。

春・夏2回の全学年そろってのゼミ合宿のテーマは「人生」です。幸福とは？ 自由とは？ 愛するとは？ 一人ひとりの意見がみんなからまじめに受けとられ、一人ひとりがみんなの意見を参考にして考えを深めます。

ゼミ最大のイベントは、これも全学年そろっての東南アジアへの研修旅行（自由参加）。これまでフィリピン・ベトナム・インドなど11か国へ行きました。いわゆる「観光旅行」ではなく、人々と交流し、人々の生活とその向上への努力や文化などを見聞することで、アジアの人々を知り、私たち自身の生活と考え方を再検討します。この旅で、私たちの頭のなかの〈世界〉は一挙に広がり、深くなります。

第3世界の人々と自分の現実のなかに〈夢〉を求め、見つけましょう。

講義の内容・授業スケジュール

上の趣旨に沿って、学生諸君と相談しながらすすめます。

履修上の留意点

何よりも〈考える〉努力を求めます。

成績評価の方法

〈考える〉努力をしたかどうかをもって評価します。

参考書等

討論のための資料を使ってすすめます。

その他

〈考える〉努力の成果を「課題研究」としてまとめます。
 〈現代国際経済〉専修課程認定に必要な科目——国際経済論、貿易論、アジア経済論、中国経済論、日本経済論

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	ともまつ よしひこ 友 松 憲 彦	経 B 2 選	4
演習Ⅱ		経 B 3 選	
演習Ⅲ		経 B 4 選	

講義のねらい

この演習は経済史の入門を課題としています。現在経済はどのように生まれ、いかなる特徴や問題を持ち、今後どの方向に変化していくのか、経済史はこうした問題を人類の過去の経済活動の軌跡を研究することによって明らかにする学問です。経済史という学問の課題と方法の理解につとめます。

講義の内容・授業スケジュール

18世紀末から19世紀に西欧から始まった産業革命（工業化）は、近代社会の光と陰をつくりだした原点として重要な歴史的意味をもっています。近代資本主義国家となった世界各国の工業化を比較して共通点や相違点を明らかにし、それぞれの特徴を理解します。また文献や史料を探し、レポートを書き、研究結果を発表し、議論をする、といった学問研究の技術を習得することにも努めます。

成績評価の方法

①年度末のレポート②平常点（レジュメ、報告、討論の状態）、③出席で評価。

その他

課題研究を実施。
 社会経済史専修課程
 演習Ⅰ、演習Ⅱ、演習Ⅲ、経済史、西洋経済史、日本経済史、商業史、社会思想史、経済学史

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	はしのともこ 橋野知子	経 B 2 選	4
演習Ⅱ		経 B 3 選	
演習Ⅲ		経 B 4 選	

講義のねらい

〈近現代日本経済史の研究〉「100年前、200年前の人たちはどのように考え、どのような経済活動を行ってきたのだろうか？また、過去における選択が現代の私たちの経済社会にどのような影響を与えているのだろうか？」といった、日頃皆さんが抱く疑問を解く鍵が、歴史の中に隠されています。このゼミナールではそれを発見する方法や考え方、そしておもしろさを学んで欲しいと思います。なお、課題研究を併設します。

講義の内容・
授業スケジュール

日本経済史の諸分野を分析する基礎を養うために、さまざまな文献を輪読します。その際、論文の読み方、発表・報告の仕方、レジュメの書き方、議論の進め方、レポートの書き方などを同時に学んでいきます。後期からは各自が興味・関心をもったテーマについて、報告してもらうこととします。

履修上の留意点

日本経済史に興味がある学生を歓迎します。同時に、ゼミに積極的に参加し、そのなかで自分を成長させようという強い意志と根性、仲間を思いやる心をもった学生を歓迎します。

成績評価の方法

平常点（出席を重視します。さらにゼミにおける積極的な発言など）ならびにゼミ活動への貢献度。

教科書

第一回目のゼミで話し合った上で決定します。

参考書等

必要に応じて随時紹介します。

その他

このゼミに関心のある方は、一度ゼミに見学に来てください。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	ひやくた よしはる 百 田 義 治	経 B 2 選	4
演習Ⅱ		経 B 3 選	
演習Ⅲ		経 B 4 選	

講義のねらい

現代日本の企業が直面するビジネス・マネジメント（経営管理）に関わるテーマを中心に、グローバル化・情報化（IT革命）の進展など経営環境が激変するなかで21世紀を迎え大きく変貌する日本企業とその経営の実態をリアルに学び、将来を展望します。

講義の内容・授業スケジュール

次のようなテーマに取り組みます。

- ①メガ・コンペティション、グローバル・スタンダードが叫ばれるなかで、日本企業の経営行動はどのように変化しているのか？
- ②企業不祥事がなぜ多発するのか？その防止（コーポレート・ガバナンス）には何が必要なのか？
- ③いま、なぜ、能力主義・成果主義なのか？終身雇用・年功制はなぜ修正されなければならないのか？
- ④なぜ、企業は海外進出するのか？経営が国際化するなかで異文化との共生には何が必要なのか？
- ⑤企業は環境問題にどのように取り組んでいるのか？などなど

履修上の留意点

経済雑誌や新聞やネット情報などを日常的に熟読・検索し、現代企業とその経営に関心を払い、各自の問題意識をもってゼミに参加してください。

成績評価の方法

出席、ゼミにおけるリーダーシップ、発表内容、レポートなどを総合して平常点評価を行います。

教科書

未定。

参考書等

未定。

その他

「課題研究」を行います。「ビジネス・マネジメント」専修課程の認定を行います。専修課程認定のための系統的学習に必要な科目は、経営学総論、経営学史、経営管理論、労務管理論、演習などです。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	ふくはら よしのぶ 福 原 好 喜	経 B 2 選	4
演習Ⅱ		経 B 3 選	
演習Ⅲ		経 B 4 選	

講義のねらい

「よく遊びよく学ぶ」というのが福原ゼミのモットーである。ヨットもテニスも初心者には手ほどきをする。福原ゼミで諸君は学ぶのは別にテキストからだけではない。教師や学生仲間とのつき合いを通して夫々の個性をのびのびと育ててほしいと思っている。

学生に、勉学はもとより、精神的、肉体的訓練も幾分かでも与えることが出来ればと思う。サブゼミとして、専門にとられない経済問題全般についての研究会を実施中である。春・秋年2回、2・3・4年ゼミ、全メンバーによる駒沢公園一周のマラソン大会とそれに続く合同コンパが恒例行事となっている。3年という歳月はそう長くない。自分を鍛えることにもっと意欲を持とう。学生との人間的つきあいを大事にするゼミにしたいと思っている。

講義の内容・授業スケジュール

このゼミナールは経済学の基本となる社会科学方法論に関する基礎的な文献を読むことになっている。昨年は大塚久雄『社会科学の方法』、マックス・ウェーバー『社会科学方法論』、『職業としての学問』、カール・マルクス『経済学の方法』などを読んだ。主観を離れられない個人が如何にして学問の客観性を保証しうるのか？これがゼミの基本テーマである。ゼミはディスカッション方式で行うので何よりも学生の自主的な勉学態度を期待する。ガリ勉である必要はないが、勉学に情熱を持った学生に是非来てほしい。

夏の合宿では、研究会とともに、午後はテニスカゼミのヨットで操縦訓練を行っている。午前勉強、午後スポーツ、夜研究会という日課である。

履修上の留意点

(福原ゼミナール十訓)

福原ゼミ生は以下の教を胸に刻み、その実践を心掛けなければならない。

1. 理想を高く掲げ、日々の努力を怠らざること
1. 人格の陶冶を心掛け、心身の鍛練に努めること
1. すべての生命を慈しみ、無用の殺生をなさざること
1. 社会的貢献に努め、弱者の救済に役立つこと
1. 質素を旨とし、浪費をなさざること
1. 規則正しい生活を心掛け、早朝マラソンを欠かさざること
1. 親の葬儀以外は授業をさぼらぬこと
1. 隣に優しく、自らには厳しがるべきこと
1. 自らの責務を回避せざること
1. 酒を愛すも、深酒は慎むこと

成績評価の方法

出席点及び論文評価

参 考 書 等

福原好喜『総理に忠告すー日本経済危機水域に入れりー』

そ の 他

ゼミについて詳しく知りたい方は経済学部福原のホームページを御覧下さい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	ふるさわ こうぞう 古 沢 紘 造	経 B 2 選	4
演習Ⅱ		経 B 3 選	
演習Ⅲ		経 B 4 選	

講義のねらい

〔アフリカの社会と文化〕

アフリカを知るおもしろさは、混沌とした世界にあるようだ。生活様式一つを取ってみても狩猟採集、遊牧、農耕というように実に多様だ。こうした異質な社会を理解することによって、私たちのものの見方、考え方を問い直す契機となれば得るものは大きい。

講義の内容・授業スケジュール

- ①次のテーマについて研究発表を行う。
 - A 多様な人間社会（ライフスタイル）
1 狩猟採集民 2 牧畜民 3 農耕民 4 都市民
 - B 多様な人間関係
1 通過儀礼（大人と子ども） 2 親族（身内とよそ者） 3 経済活動（贈与と交換） 4 宗教と権力（まつりとまつりごと）
- ②自分の好みに合わせて、アフリカをテーマにしたルポ、エッセイ、評論、童話などを書き、個性的な雑誌をつくる。
- ③演習をアクティブなものとするため楽しい企画（アフリカ・フェスティバル、コンサート、映画祭、サッカー大会）にチャレンジする。

成績評価の方法

研究発表、レポート提出、ゼミ活動への参加に基づき総合的に評価する。

そ の 他

「課題研究」併設
国際地域比較論専修課程
演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ〔アフリカの社会と文化〕
国際経済論、貿易論、ヨーロッパ経済論、ロシア・東欧経済論、アジア経済論、中国経済論、アメリカ経済論、日本経済論

科目名	担当者名	配当学科	単位
演習Ⅰ	ほり りゅうじ 堀 龍 二	経 B 2 選	4
演習Ⅱ		経 B 3 選	
演習Ⅲ		経 B 4 選	

講義のねらい

労務管理論に関する基本的知識の獲得や問題意識の涵養をねらいとしています。とくに現代日本の労務管理はいま大きく変化してきています。従来の労務管理がどのような特徴と構造をもっていたのか、それがなぜいま、どのような方向へ変化してきているのか。こうした問題を考えるのに有用な知識を修得してもらうのが課題です。

講義の内容・授業スケジュール

適当なテキストを用いながら、それを輪読し、また担当を決めて要旨を報告してもらうといった方法で知識を修得するとともに、ゼミとしての共通の認識を養ってもらう。また、基本的な統計資料の利用といった学習スキルの向上も図っていく。後期にはグループを作り、グループごとにテーマを決め、グループ内での下調べをもとにゼミで報告する方法も予定しています。

履修上の留意点

労務管理論に関する基本的知識の修得が主眼とはいえ、ゼミでの私の説明、他の人の報告、そこでの議論において、理解しにくいと感じたことをうやむやにしないで、質問する姿勢を大切にしてほしい。つまり積極的な発言を期待しています。

成績評価の方法

基本的に日頃のゼミへの参加、丹念な下調べ、レジュメ・レポートの提出、積極的な発言を中心に評価します。

教科書

現在検討中で、初回ゼミまでに決定します。

参考書等

ゼミのなかで適宜指示します。

そ の 他

夏休みなどを利用して合宿を行う予定です。なお、本演習では「専修過程」の制度を設けています。名称は「企業労働」です。指定の系統科目は以下の通りです。
労務管理論、経営管理論、経営学史、経営学総論、社会対策、労働法

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
演習Ⅰ	まつ井 柳平	経 B 2 選	4
演習Ⅱ		経 B 3 選	
演習Ⅲ		経 B 4 選	

講義のねらい

世界を舞台に経済は毎日めまぐるしく変動し、激動している。この不確実な変動を科学的に認識し、統計的手法を用いて、経済、社会を分析する。

講義の内容・授業スケジュール

パソコン（マッキントッシュ）を用いて経済分析をおこなう。あわせて、プレゼンテーションのための、画像処理（イラストレータ、3DCGなど）やデジタル・コンテンツの作成なども学ぶ。

成績評価の方法

ゼミでの取り組みの積極さ（問題を自ら発見・提起し、そして自らそれを調査・解決する姿勢）、またレポートの提出を求める場合がある。

教科書

開講時に指示する。

参考書等

ゼミ希望者は、細野真宏著『経済のニュースが面白いほどわかる本』（中経出版）を開講時までに読んでおいて下さい。

その他

ゼミ希望者はゼミ開講までに、総合情報センターの講習会を受講しておいて下さい。課題研究あり。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	やしきただみつ 谷 敷 正 光	経 B 2 選	4
演習Ⅱ		経 B 3 選	
演習Ⅲ		経 B 4 選	

講義のねらい

演習Ⅰテーマ〔日本経済発展史入門〕

2年生の演習は日本経済、日本産業の驚異的成長はいかにして可能だったのか、日本経済の発展過程と経済システムを明らかにしていきたいと思います。

演習ⅡⅢテーマ〔日本経済の発展と高度工業化社会の研究〕

3・4年ゼミは、戦後の日本経済の発展過程と各時期における発展要因と構造的特質を明らかにし、明治以降西欧以外の諸国で日本だけが独立を維持し、高度工業国に脱皮しえたかを解明するとともに、戦後50余年間の日本型経済システムの形成と破綻の過程を基礎文献や学術論文を使って明らかにしたいと思います。

講義の内容・授業スケジュール

演習Ⅰ

〔前期〕は、戦前・戦後の日本経済発展の理解や事実認識の手助けとして、和田英『富岡日記』、山本茂実『あゝ野麦峠—ある製糸工女哀史』、中村隆英『昭和恐慌と経済政策』、邦光史郎『トヨタ王国』、木下英治『東急王国』などの小説や「あゝ野麦峠」「若き日の豊田佐吉」「生きている昭和市」などの映画、「金融恐慌日本を揺るがす」「乗用車ゼロからの出発」などのビデオを教材として使用して班別課題発表やプレゼンテーションの練習をします。

〔後期〕は、前期に学んだ「題材」にかかわる学術論文を読み進めたり、基礎的文献を教材に日本資本主義の形成期、産業資本確立期、独占資本主義確立期を中心に日本経済の発展過程や経済システムを班別課題発表やプレゼンテーションで明らかにしたいと思います。

演習ⅡⅢ

〔前期〕は戦後の日本経済を中心に、経済復興期、高度成長期、経済構造の転換期、安定成長期、バブル経済期の推進要因と各段階の構造的特質を明らかにしたいと思います。

〔後期〕は、空前の大好況と「経済大国」が破綻し、戦後の日本経済を支えてきた日本型経済システムが破綻していった過程を明らかにします。これらの考察は、班別課題発表、バズセッションを通じて明らかにしたいと思います。

〔授業以外〕に夏休み、春休みを利用して合宿を行い、集中的研究を行う他、ソフトボール、ボーリング大会、旧跡めぐりなどを行い、ゼミ員の親睦をはかることにしています。

履修上の留意点

4年ゼミまで続けられる人を望んでいます。

成績評価の方法

出席を基本に、平日頃の発表やレポートなどで総合評価します。

教科書

演習Ⅰ：山本弘文『近代日本経済史』（有斐閣）

演習Ⅱ：橋本寿朗『戦後の日本経済』（岩波書店）

佐和隆光『平成不況の政治経済学』（中公新書）

尾崎ムゲン『日本の教育改革—産業化社会を育てた130年』（中央公論新社）

参考書等

速水融、宮本又郎編『日本経済史（全8巻）』（岩波書店）

『日本歴史大事典（全4巻）』（小学館）

その他

①4年ゼミでは、「課題研究」を開設しますので、希望する人は履修することができます。

②教育経済研究 専修課程を開設しますので、以下の科目の中から5科目履修して下さい。

系統学習に必要な科目は、

演習Ⅰ 演習Ⅱ 演習Ⅲ 教育経済論 日本経済論 日本経済史 近代経済学

国民所得論 社会政策 労働経済論 人口論 経済政策 財政政策

マーケティング 商業史 中小企業論 景気循環論の中から選択履修

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅰ	やまがた ひろし 山 縣 弘 志	経 B 2 選	4
演習Ⅱ		経 B 3 選	
演習Ⅲ		経 B 4 選	

講義のねらい

比較経済論

講義の内容・
授業スケジュール

テクノロジーの発展が生み出すヴァーチュアリティと現実（リアリティ）とのギャップをいかに埋めるか、わたしたちの知恵が問われている。20世紀に顕在化してはまだ未解決の課題——環境、戦争、福祉、民族、競争と平等、これらとどう取り組むべきか。市場主義の限界は明らかであり、他方で「20世紀社会主義」も対案となりえなかった。ヨーロッパ、ロシアの経験に学び、比較経済論の視点から、これらの問題を考えていきたい。

2年次生は入門の文献、3年次生は専門の文献、4年次生は自主研究のそれぞれ発表によって授業を進める。

成績評価の方法

出席、発表、討論への参加を総合評価する。

教科書

相談の上決める。

その他

非喫煙者が望ましい。

「課題研究」有。

【比較経済論】専修課程

系統学習に必要な科目 ロシア・東欧経済論 ヨーロッパ経済論 アジア経済論 日本経済論
国際経済論 アメリカ経済論 貿易論 中国経済論

科目名	担当者名	配当学科	単 位
演習Ⅱ	おおぶき かつお 大 吹 勝 男	経 B 3 選	4
演習Ⅲ		経 B 4 選	

講義の内容・
授業スケジュール

『情報化』と現代企業の『物流』。前年度の学習成果をふまえて、日本企業の『物流』についての研究を一層深めることを課題とする。価格及び企業利益への影響は勿論のことですが、特に、労働者・サラリーマンへの影響つまりは消費者に与える影響等々について研究をすすめたいとおもいます。

成績評価の方法

学年末のレポートの提出によって成績を評価する。

Ⅲ 他学部履修科目

Ⅲ. 他学部履修科目

国際紛争解決法	〈王志安〉	649
法思想史	〈河見誠〉	650
日本法制史	〈茂野隆晴〉	651
西洋法制史	〈休講〉	
国際関係論	〈南山淳〉	651
地方自治法	〈富井幸雄〉	652
倒産処理法	〈奥野善彦〉	652
アメリカ経営学	〈休講〉	
経営組織論	〈伊藤信二〉	653
中国禅宗史	〈須山長治〉	653
日本禅宗史	〈角田泰隆〉	654
インド仏教史	〈池田道浩〉	654
日本仏教史	〈袴谷憲昭〉	655
書道	〈野村宙弘〉	655
仏教と文化	〈奥野光賢〉	656

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
国際紛争解決法	おう 王 しあん 志 安	経 A・商・経 B	4

講義のねらい

国際法における紛争処理の様々な手段について、それぞれの形態、機能、限界及び適用可能性を把握し、国際紛争解決の法的仕組みを理解する。

講義の内容・
授業スケジュール

国際紛争の処理を具体的な法制度、手続きの側面から取り上げ、一回の講義で一つの課題を絞り、それぞれ制度の展開、機能及び事例検証の形で解明する。前期では、国際紛争の基本構造、紛争解決手段の基本的枠組みを講義した上で、外交的手段による紛争解決、国連における紛争解決及び世界貿易機構（WTO）の紛争処理制度を取り上げる。具体的には、国際義務違反の責任形態、紛争の平和的解決の意義、交渉、仲介、国際調査及び調停といった制度の展開及び適用、国連における紛争処理の制度的展開及び現状、そしてWTOの紛争処理制度の発展、手続き及び制度の意義を講義する。後期では、仲裁裁判及び国際司法裁判を取り上げる。具体的には、国際裁判の史的展開、仲裁裁判制度の確立及びその手続き、国際商業仲裁の現状、国際司法裁判所の組織、管轄権、適用法規則、手続規則などを講義する。

履修上の留意点

参考資料を適宜に配布し、教科書の内容を補足しながら講義を進めていく。聴講ノートをしっかり取ってもらいたい。

成績評価の方法

年末の筆記試験によって評価する。ただし、前期小テストや出席状況も成績を評価する際に考慮される。

教 科 書

松田幹夫編著『現代国際法』（八千代出版）1997年 2,700円

参 考 書 等

市販されている国際条約集および国際判例集。これらにつき開講時に詳しい情報を提供する。

そ の 他

授業は主として講義方式で行うが、判例の分析につき学生のまとめ報告を求めることもある。板書のかわりに、power pointを利用した講義を行う。

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
法思想史	かわみ 河 見 誠	経 A・商・経 B	4

講義のねらい

21世紀を迎え、あらゆる場面で20世紀的枠組みが問い直されようとしている。法や権利の在り方に関しても同様である。近代的国家という枠組み自体が疑問に付されたり、個人の生き方を近代的な法や権利という枠組みで捉えることへの倫理的批判が提起されることもしばしば見受けられる。このような時代状況の中で、法や権利の在り方を真摯に模索していくためには、「法とは何か」「権利はなぜ尊重されなければならないのか」といった、根元的な問いと格闘しなければならないだろう。しかしそういった格闘は、何も2002年現在の私たちが初めて取り組むわけではない。過去、何千年にもわたる「法思想」の歴史があるのである。過去の「法思想」に耳を傾けることを通して、21世紀にふさわしい法や権利の在り方を、ともに模索していきたい。

講義の内容・授業スケジュール

私たちが現在よって立っている法体系、とりわけその根本にある憲法の中に見られる基本的人権や民主的統治機構は、基本的には近代の自然権思想や社会契約論に源泉を持つと考えられる。従って、本講義では、近代法思想を重要な軸にしたいと考えている。そのことを念頭に置きつつも、講義の進め方としては、オーソドックスに古代ギリシャの法思想からスタートして、時系列的に法思想を追っていくこととする。

近代以前：古代ギリシャの法思想（ソフィスト、ソクラテス、プラトン、アリストテレス）、
中世ローマ・キリスト教の法思想（キケロ、アウグスティヌス、トマス・アクィナス）

近代：自然権・社会契約論（ホブズ、ロック、ルソー）、功利主義（ベンサム、ミル）、ドイツ観念論（カント、ヘーゲル）

近代から現代へ：社会主義法思想（マルクス）新カント派法哲学（ケルゼン、ラートブルフ）、再生自然法論（コーイング、カウフマン）、分析法理学（ハート）、現代正義論とリベラリズム（ロールズ、ドゥオーキン）

成績評価の方法

定期試験（後期終了後1回）を主たる評価基準とする。その他、長期休暇中にレポートを課するかも知れない。

教 科 書

田中成明他『法思想史（第2版）』（有斐閣Sシリーズ）1977年 1,700円

参 考 書 等

随時紹介する。また、参考資料を随時配布する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本法制史	<small>しげの たかはる</small> 茂野隆晴	経A・商・経B	4

講義のねらい

「法制史」は基礎法学の一つであるが、歴史学の一分野でもあるという両属性がある。私の担当する「日本法制史」は日本人の法生活の歴史的考察であり、それを時代区分をなすことによって行っていくというものである。

各時代の人びとの生活を規範的側面より探究、分析していくものであるから、少しでもその実体にせまる上からも多くの史料を勉強して実際に元の文章そのものを読んでいけば法制史の理解はより深まろう。

ともあれ、基礎法学あるいは理論法学といっても、その位置づけ、あり方については、未だ法学教育のうえで定かでないようである。ただ、基礎法学がより重視され、仮に実定法と同じような比重で科目配当されたとすれば、日本法制史について言うなら、古代・中世・近世・近現代といった名称が冠せられた講座がみられるようにもなろうか。

講義の内容・授業スケジュール

時代区分として、上古（氏族法時代）、中古（律令法時代）、中世（武家法時代前期）、近世（武家法時代後期）、近代（含む幕末）の5期に分ち、前期は、それぞれの時代の公法・刑事編を行なう。後期には、同じく時代を繰り返し、私法・民事編を行なう。

履修上の留意点

史資料に則して行なうことの多い授業ですのでテキストは必ず揃えて持参のこと。また、授業中の私語は厳禁ゆえに、守れない者があれば直接にも指摘することになる。

成績評価の方法

年間1度の定期試験の評点に出席点を加味して評価する。

教科書

大久保治男・茂野隆晴共著『日本法制史』（高文堂出版社刊） 3,000円

参考書等

大久保治男・茂野隆晴共編著『日本法制史史料60選』（芦書房刊）2,500円このほかは、ばあいにより指示します。

その他

授業の方法は講義による。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
国際関係論	<small>みなみやま あつし</small> 南山 淳	経A・商・経B	4

講義のねらい

近代ヨーロッパに成立した国民国家体系は、戦争による世界秩序の崩壊と新たな世界秩序の創造というサイクルを描きながら、地球全体を覆うまでにその規模を拡大してきた。他方、「グローバル化」に象徴されるトランスナショナルな活動の増殖は、今日、国際間に極めて重要な影響を及ぼすようになってきている。つまり、現代国際関係の最大の特徴は、国家間関係とトランスナショナルな関係が同一の時空間に併存し、相互に影響を与えあっているという点にある。本講義の目的は、複雑化する現代国際関係の全体像を構造的に理解することにある。構造的な理解とは、近代から現代にいたる国際関係のダイナミズムのなかで、持続する領域と変容する領域を確定していく作業に他ならない。そのためには、国際関係史と国際関係理論を別々に考えるのではなく、双方を一体のものとして、有機的に理解することが不可欠となる。

講義の内容・授業スケジュール

前期は、主権国家、国際的アナーキー、権力政治、安全保障、相互依存など、国際関係論の基本概念の理解と主要理論の解説に重点をおき、後期は、国際組織、地域紛争、グローバル経済、地域環境、ジェンダーなど、現代国際関係における具体的な諸問題を取りあげる予定である。

履修上の留意点

政治学、近現代史、国際問題に関する基本的な知識を整理したうえで受講すること。

成績評価の方法

出席状況、レポート、学期末試験により評価する。

教科書

進藤榮一著『現代国際関係学』（有斐閣）

松岡完著『20世紀の国際政治』（同文館）

参考書等

講義の中で紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単位
地方自治法	とみ い ゆ き お 富井幸雄	経A・商・経B	4

講義のねらい

日本国憲法下における地方自治の法制度を体系的に理解する。すなわち、昭和22年に制定された地方自治法が具体的にいかなる意味をもち現実化されているか、憲法の意図する地方自治の理念がそこに具体化されているかを批判的に検討する。平成12年度より、地方分権を旨とした新しい地方自治制度がスタートする。この改革がいかなる意義をもつのかをかみしめながら、新地方自治法の理念を理解する。

講義の内容・授業スケジュール

地方自治法の体系に沿って講義を行う。前期は、憲法と地方制度の関係を比較法的ならびに歴史的に考察を行った後、地方公共団体の概念、住民の地位及び権利、自治立法権について議論する。後期は、地方公共団体の事務、組織、財政、地方公務員制度について勉強する。教科書を基本に講義するが、毎週レジメを配布し、それに添って授業を行う。判例等の資料も適宜配布する。

成績評価の方法

前期試験（40％）と学年末試験（60％）で総合的に評価する。なお、出席は適宜とる予定である。単位認定のとき考慮することがある。

教科書

原田尚彦『地方自治の法としくみ』（学陽書房）2,000円

参考書等

『地方自治判例百選（第2版）』（別冊ジュリスト）。
なお制度の概要を大まかに理解するには、鈴木正明他『図解 地方自治法』（良書普及会）は便利。地方自治の制度的問題を勉強するには、新藤宗幸『地方分権』（岩波書店）、同他『概説日本の地方自治』（東京大学出版会）は必読。

その他

講義では頻繁に法律の条文に言及するので、六法（『地方自治小六法』（学陽書房）があるがポケット六法でよい。）は必携。その都度チェックすること。平成12年度には地方自治法の大規模な改正があるので、必ず平成12年度版を購入すること。憲法や行政法の履修者が望ましいが、少なくとも両方分野について高い関心を持つこと。わからないことは遠慮なく質問に来て欲しい。

科目名	担当者名	配当学科	単位
倒産処理法	おく の よ し ひ こ 奥野善彦	経A・商・経B	4

講義のねらい

私が管財人として任務を遂行した更正会社日本リースの事件処理などを通じ、可能な限り実践的な視点から倒産処理法を学ぶこととする。

倒産処理手続は、通常、任意整理と法的整理に区分され、さらにその目的に従い、再建型と清算型に分けられる。

任意整理は、裁判所外で債務者と債権者間で私的に進められる整理手続で、再建型にも清算型にも利用され、法的整理手続の原型となっている。これに対し、法的整理手続は、再建型の類型に入るものとしては、会社更正、会社整理、並びに民事再生手続があり、清算型の類型に入るものとしては特別清算と破産がある。

この講義では、「倒産」に直面している人又は企業に対し、如何なる手続を選択することが債権者及び債務者にとって最も好ましいか、というようなことから始め、最高学府で倒産処理法を学んだ者として、当然身につけなければならない法的知識並びに法的技法を習得することにした。

履修上の留意点

真面目で誠実で、且つガッツのある学生に履修してもらいたい。

成績評価の方法

履修態度、レポート並びに試験（論文式）

教科書

追って指定

参考書等

奥野善彦著『会社再建』（小学館）定価1,600円

その他

前期－講義 後期－ゼミ

科目名	担当者名	配当学科	単 位
経営組織論	伊藤 信二	経 A・商・経 B	4

講義のねらい

我々は、「産業革命より大々的な文化変容」の時代に生きている。経済活動の主体である企業組織も内外に新たな問題を抱え、生き残りのため新たな方策を模索している。

本講義では、これまで企業の管理組織がどのような考え方で編成され、また、どのような変遷をたどって発展してきたかを概観した上で、今日の企業のさまざまな革新努力とその意味を理解し、新しい時代における企業組織と個人の関係のあり方を考えていく。

講義の内容・授業スケジュール

[前期講義]

- (1) 問題意識－歴史的な変化に直面する日本企業、構造的変化と循環的变化
- (2) 20世紀の支配的な経営原理－テーラリズムの誕生とその意味
- (3) 経営における人間的側面－人間関係論、X理論とY理論など [後期講義]

[後期講義]

- (1) 管理組織の発展－歴史と発展の理論
- (2) 組織構造－組織の編成原理、組織図の読み方
- (3) 管理機構モデルの意義とその限界
- (4) 新しい企業組織のあり方－革新の試みと展望

履修上の留意点

問題意識を触発し、講義内容の理解を促進するために、また理解度を把握するために小課題を時々出します。基本的には講義形式をとりますが、受講生の意見も取り入れながら展開していく予定なので、参加意識をもって臨んでほしい。

成績評価の方法

課題への取り組み方、前後期の筆記試験によって評価します。

教科書

特定のテキストは用いず、参考文献は講義中に適宜指示します。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
中国禅宗史	須山 長治	経 B 以降入学生/経 A・商	4

講義のねらい

『景德伝燈録』には1,700人余りの禅僧たちが登場する。その一人一人が語り出す世界は、今日の我々が見てもまことに感動的である。それは彼らが“己の現存”を言葉によって、いかに表現しようとしたかを、目の当たりにするからである。禅宗は自らを不立文字と標榜するが、実際には言語を断ち切らず、言語によって言語の届かない世界をあらわにしようとした精神運動なのである。この事実を、禅の語録を通して考察して行きたい。

講義の内容・授業スケジュール

昨年度に引き続き、本年度も『碧巖録』を解説しながら、達磨以降の禅僧たちの言行を調べていく。これにより、中国禅は時代とともにどういう問題意識を展開していったか、その軌跡をたどりながら、全体的に“中国禅”とはなにかを考えて行きたい。

履修上の留意点

出席を重視する。

成績評価の方法

試験は基本的な内容を問う。具体的には、論述。

教科書

プリントを配布する。

参考書等

『碧巖録』(岩波文庫)、『雲竇頌古』(禅の語録シリーズ)

科目名	担当者名	配当学科	単 位
日本禅宗史	つ の だ た い り ゅ う 角 田 泰 隆	経 B 以降入学生 / 経 A・商	4

講義のねらい

禅宗という宗派はないが、坐禅および禅定を主たる実践とする教えの流れを汲む宗派を禅宗と呼び、一般的には曹洞宗・臨済宗・黄檗宗の総称として禅宗と呼んでいる。本科目は、日本の禅宗の歴史について概説する。

講義の内容・授業スケジュール

日本の禅宗の歴史についての研究をするものであるが、その基礎知識として、まず、禅とは何かについて、インドや中国における禅の仏教史における位置と思想について、概説したい。そのうち教科書（第三部禅宗の歴史－日本篇）によりながら、日本の禅宗の歴史を講義してゆく。

成績評価の方法

定期試験の筆記試験の成績によって評価する。ただし、原則として所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席しなかった者は、筆記試験の成績の如何に関わらず単位は認定されない。

教科書

駒澤大学仏教学研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）2,370円

参考書等

授業において紹介する。

科目名	担当者名	配当学科	単 位
インド仏教史	い け だ み ち ひ ろ 池 田 道 浩	経 B 以降入学生 / 経 A・商	4

講義のねらい

インドにおいて既に釈尊の教説に対する異なった解釈が多数存在していた。各学派はこれこそが正しい教えであることを主張し論争を繰り返していたことが伝えられている。仏教における論争の歴史を学習することによって各学派の主張が明瞭となり、一見多様な仏教の思想が理解しやすくなると思われる。この講義はインド仏教の思想的展開の理解を目的とする。

講義の内容・授業スケジュール

インド仏教のおおまかな思想史について考察する。釈尊の教え、釈尊滅後の教団、大乘仏教の発生と展開等が主な項目である。特に中観派と瑜伽行派との論争については、実際にいくつかの文献を講読していきたい。

成績評価の方法

受講者多数の場合、学年末の試験によって厳しく評価する。

教科書

特定の教科書は使用しない。

参考書等

高崎直道『仏教入門』（東京大学出版会）
平川彰『インド仏教史』上下巻（春秋社）

科目名	担当者名	配当学科	単位
日本仏教史	は か ま や の り あ ま 袴 谷 憲 昭	経 B 1?以降入学生/経A・商	4

講義のねらい

下記の教科書により、日本仏教史を講義する。ただし、単なる講義に終わらせないために、17世紀に入るか入らないかに完成していたと思われる、邦人イルマン不干斎巴鼻庵の『妙貞問答』上巻によって、その論述するところの我が国の八宗の教義をも講読研究することにした。この講読によって、当時のキリシタンが、いかに我が国の仏教のことを理解していたかを知っておく必要があると考えるからである。

講義の内容・授業スケジュール

講義も講読も、以上の「ねらい」に即して、適宜追められるであろう。

履修上の留意点

単に講義を聞くだけではなく、上記の文献を自ら読んでみようと思うものの参加が望まれる。

成績評価の方法

学年末にレポートを課して評価したいと考えているが、状況次第で変更もありうる。

教科書

末本文美士『日本仏教史——思想史としてのアプローチ——』（新潮文庫）560円
井出勝美・海老沢有道『妙貞問答』上巻
海老沢有道他編著『キリシタン教理書』（キリシタン文学双書）
キリシタン研究第30輯（教文館）1993年 287-354頁

参考書等

ヴァリニャーノ著・家入敏光訳編『日本のカテキズモ』（天理図書館）1969年
袴谷憲昭『法然と明恵——日本仏教思想史序説——』（大蔵出版）1998年

科目名	担当者名	配当学科	単位
書道	の む ら ち ゅ う こ う 野 村 宙 弘	経 B 1?以降入学生/経A・商	4

講義のねらい

王羲之の蘭亭序をはじめ、各種古典の臨書による、実技の指導を行う。

履修上の留意点

書道実技の為、墨、硯、文鎮、下敷、半紙等の文房四宝の用意が必要。
(正しい用筆法、正しい墨のすり方等、初歩的な基礎勉強の指導と、かんたんな書道史の説明を行う)

教科書

王 羲之『蘭亭序』（清雅堂）360円

科 目 名	担 当 者 名	配 当 学 科	単 位
仏教と文化	お ぐ の み つ よ し 奥 野 光 賢	経 B	4
		以降入学生/経A・商	

講義のねらい

日常生活において何気なく使われている言葉の中から、仏教に関わるものを毎回取り上げて、その言葉の持つ本来の意味、語義の変遷等を考察することによって、「仏教と文化」の問題を考えてみたい。その際、教理史・仏教史に対する知識は必要不可欠になるので、講義は必然的に教理史・仏教史を再度確認しながら進めることになるであろう。

講義の内容・
授業スケジュール

前期は、(1)に記したねらいにしたがって毎回ある「仏教語」を取り上げて講義形式で授業を進める。後期は、「仏教語」だけでなく日常行なわれている「仏教行事」等にも眼を向けて授業を進める予定である。

履修上の留意点

一方的な授業にならないよう、疑問点はどしどし質問して欲しい。

成績評価の方法

学年末試験によって評価する。年間出席数が総授業時間の3分の2に満たないものは、成績評価の対象としない。その他、レポートの提出を求める場合もある。

教 科 書

特に指定せず、プリントを配布する。

参 考 書 等

授業において適宜指示する。

そ の 他

授業は講義形式とする。